



ユーザーガイド

AWS エンドユーザーメッセージング SMS



AWS エンドユーザーメッセージング SMS: ユーザーガイド

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

AWS エンドユーザーメッセージング SMS とは	1
AWS エンドユーザーメッセージング SMS を初めてお使いになる方向けの情報	5
AWS エンドユーザーメッセージング SMS の機能	5
AWS エンドユーザーメッセージング SMS へのアクセス	6
リージョン別の可用性	7
SMS メッセージングの仕組み	12
AWS エンドユーザーメッセージング SMS の概念	13
AWS エンドユーザーメッセージング SMS のセットアップ	16
にサインアップする AWS アカウント	16
管理アクセスを持つユーザーを作成する	17
AWS SDKs の使用	18
開始方法	20
初めてのユーザーチュートリアル	21
ステップ 1: プールの作成	22
ステップ 2: 設定セットを作成する	23
ステップ 3: 保護設定を作成する	25
ステップ 4: SMS シミュレーターを使用して、テストメッセージを送信する。	26
次のステップ: サンドボックスから本番環境に移行する	27
検証済み送信先電話番号の追加	29
SMS/MMS および音声サンドボックス	31
SMS/MMS サンドボックス	31
SMS/MMS サンドボックスからの移行	33
音声サンドボックス	34
メッセージパーツのプレビュー	35
シミュレーター電話番号	36
送信元シミュレーター電話番号	37
送信先シミュレーター電話番号	37
支出制限を設定	40
ベストプラクティス	44
SMS および MMS のベストプラクティス	44
法律、規制、および通信事業者の要件の遵守	45
禁止メッセージの内容	46
許可を取得する	49
古いリストにはメッセージを送信しないでください	54

顧客リストを監査する	55
レコードを保持する	55
メッセージは明確、正直、簡潔にしてください	55
適切に応答する	59
エンゲージメントに基づく送信を調整する	59
適切な時間に送信する	60
複数チャンネルでの重複を回避する	60
専用ショートコードを使用する	60
送信先の電話番号を確認する	60
冗長性を考慮した設計	61
非アクティブ化された電話番号の処理	61
音声のベストプラクティス	64
法律と規制の遵守	65
適切な時間に送信する	65
複数チャンネルでの重複を回避する	65
音声不正被害の防止	65
SMS および MMS の制限と規制	67
SMS 文字制限	67
GSM 03.38 文字セット	68
メッセージの例	69
MMS ファイルの種類、サイズ、文字数の制限	71
メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限	72
ショートコード	73
ロングコード	73
通話料無料の番号	74
送信者 ID	74
共有ルート	74
メッセージルート	75
発信元 ID の選択	77
送信者 ID	78
ロングコード	78
10 桁のロングコード (10DLC)	79
ショートコード	79
通話料無料の番号 (TFN)	80
発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項	81
一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択	81

双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択	85
RCS メッセージング	88
RCS とは	88
RCS の主な利点	89
RCS と SMS の違い	90
SMS フォールバックが重要な理由	91
サポートされている RCS 機能	92
2 レベルの ID モデルについて	92
RCS の開始方法	93
RCS のセットアップとテスト	93
RCS セットアップの AI エージェントプロンプト	99
RCS エージェントの管理	103
AWS RCS エージェントについて	104
2 レベルの ID モデルについて	105
AWS RCS エージェントの作成	107
AWS RCS エージェントの更新	108
AWS RCS エージェントの表示	109
テストエージェントの確認	110
国の起動ステータスの表示	110
AWS RCS エージェントの削除	111
RCS メッセージのテスト	111
テストエージェントとは	112
テストデバイスの追加	113
テスターの招待フロー	114
テストデバイスの表示	114
テストメッセージの送信	114
SMS フォールバックのテスト	115
RCS テストのトラブルシューティング	115
電話プールを使用した RCS から SMS へのフォールバック	117
RCS 配信が失敗する方法	118
SMS フォールバックを可能にするもの	118
プールを使用する理由	119
Pool-per-use-case モデル	120
アカウントレベルの送信によるコンプライアンスリスク	120
フォールバックロジックと優先順位	121
SMS フォールバックの請求への影響	123

SMS フォールバックのテスト	124
プールでの AWS RCS エージェントの管理	125
RCS メッセージの送信	125
送信パターン	125
スティッキー送信、優先順位、SMS フォールバック	128
コードの例	128
RCS メッセージを送信するための AI エージェントプロンプト	130
配信受信処理	132
インバウンド RCS メッセージの受信	134
双方向 RCS メッセージングの仕組み	134
双方向メッセージングの送信先の設定	135
インバウンドメッセージペイロード形式	138
サポートされているメッセージタイプ	139
RCS のキーワード管理	140
Lambda を使用したインバウンドメッセージの処理	140
インバウンド RCS メッセージングのベストプラクティス	142
各国での RCS の起動	142
登録のテスト	143
国起動のテンプレートとしてのエージェントのテスト	144
米国での の起動	144
カナダでの の起動	145
ユースケースの選択	146
登録状態管理	147
キャリアごとの起動ステータス	149
キャリアの承認タイムライン	150
登録に関する一般的な問題とトラブルシューティング	150
RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング	153
RCS メッセージングメトリクス	154
OriginationIdentityType デイメンションで既存のメトリクスを変更	155
RCS メトリクスデイメンション	156
インバウンド RCS メッセージメトリクス	157
RCS のベストプラクティスのモニタリング	157
RCS の請求と料金モデル	158
請求の概要	159
米国の料金モデル	159
カナダの料金モデル	160

登録料金	161
二重配送の請求	162
コンテンツ違反料金	162
請求書の透明性	163
電話プール	164
電話プールを作成する	165
電話番号または送信者 ID を追加する	167
すべての電話プールを表示する	169
電話プールを削除する	170
プールのオプトアウトリストを変更する	171
共有ルートを更新する	173
電話プールの削除保護の使用	174
電話プールのタグを管理する	174
共有電話プールを一覧表示する	175
プールでの AWS RCS エージェントの管理	176
AWS RCS エージェントを使用したプールの作成	176
既存のプールへの AWS RCS エージェントの追加	177
RCS のプール設定要件	179
プールからの AWS RCS エージェントの削除	180
[電話番号]	182
SMS および MMS の国別の機能と制限	183
SMS でサポートされている国と地域	184
MMS でサポートされている国と地域	206
音声サポートされている国と地域	207
電話番号をリクエストする	210
ショートコードをリクエストする	219
ロングコードをリクエストする	223
電話番号のステータスと機能を表示する	225
電話番号の機能を変更する	226
電話番号をリリースする	228
電話番号のオプトアウトリストを変更する	229
削除保護の使用	230
電話番号のタグを管理する	231
共有電話番号を一覧表示する	233
送信者 ID	234
送信者 ID の国別の機能と制限	235

登録済み送信者 ID および動的な送信者 ID	235
送信者 ID に関する考慮事項	235
送信者 ID 表示名ルール	236
送信者 ID をリクエストする	237
を使用して送信者 ID をリクエストする サポート	240
送信者 ID をリリースする	242
送信者 ID のタグを管理する	243
共有送信者 ID を一覧表示する	244
登録	245
推定登録時間	248
登録時間に影響する要因	248
国とタイプ別の推定登録時間	248
登録の管理	251
コンソールを使用して新しい登録を作成する	252
AWS CLIを使用して登録を作成する	254
登録のステータスを確認する	262
登録の名前を変更する	262
登録を編集する	263
登録の最新バージョンを破棄する	263
登録を削除する	264
登録関連リソースを表示する	266
登録に関する Gen-AI フィードバック	266
登録レビューワーカーの改善	266
登録レビューワーカーのデータ処理	267
Gen-AI フィードバックの使用	267
拒否の理由を理解する	269
登録の問題に関する詳細情報を取得する	285
登録フォーム	287
オーストラリアの送信者 ID 登録	288
ベラルーシの送信者 ID 登録	291
中国の SMS テンプレート登録フォーム	294
エジプトの送信者 ID 登録	296
フィンランドの送信者 ID 登録	299
インドの送信者 ID 登録	301
インドネシアの送信者 ID 登録	312
アイルランドの送信者 ID 登録	315

ヨルダンの送信者 ID 登録	319
カザフスタンの送信者 ID 登録	322
ケニアの送信者 ID 登録	326
クウェートの送信者 ID 登録	329
フィリピンの送信者 ID 登録	333
カタールの送信者 ID 登録	336
ロシアの送信者 ID 登録	340
サウジアラビアの送信者 ID 登録	343
シンガポールの送信者 ID 登録	346
スリランカの送信者 ID 登録	353
タイの送信者 ID 登録	356
トルコの送信者 ID 登録	359
アラブ首長国連邦の送信者 ID 登録	363
英国の送信者 ID 登録	367
ベトナムの送信者 ID 登録	371
ザンビアの送信者 ID 登録	374
専用番号登録フォーム	377
オーストラリア	378
オーストリア	380
チリ	382
デンマーク	385
フィンランド	387
ドイツ	389
香港	391
ハンガリー	393
インド	396
イタリア	398
オランダ	400
ノルウェー	402
ポーランド	404
ポルトガル	406
スペイン	408
スウェーデン	410
英国	412
米国 10DLC 登録	414
通話料無料番号の登録を編集する	434

米国のショートコード登録	445
双方向 SMS メッセージング	457
電話番号の双方向 SMS メッセージングを設定する	458
電話プールの双方向 SMS メッセージングを設定する	460
Amazon SNS トピックの IAM ポリシー	462
Amazon SNS トピックのトピックポリシー	464
Amazon Connect の IAM ポリシー	466
双方向 SMS メッセージペイロードの例	468
キーワード	469
必須オプトアウトキーワード	471
キーワードアクション	472
電話番号にキーワードを追加する	472
電話番号で使用されるキーワードを表示する	473
電話番号で使用されるキーワードを編集する	474
電話番号からキーワードを削除する	475
電話プールにキーワードを追加する	476
電話プールで使用されるキーワードを表示する	477
電話プール内のキーワードを編集する	478
電話プールからキーワードを削除する	479
設定セット	481
設定セットを作成する	481
設定セットを編集する	482
すべての設定セットを表示する	483
設定セットを削除する	483
設定セットのタグを管理する	484
設定セットの保護設定の関連付けを編集する	486
イベントの送信先	487
イベントタイプ	487
イベントデータの例	491
SMS サンプルログ	491
SMS Protect のサンプルログ	496
音声イベントログの例	502
MMS サンプルログ	505
Amazon CloudWatch イベントの送信先のセットアップ	509
Amazon CloudWatch の IAM ポリシー	509
Amazon CloudWatch イベントの送信先を作成する	511

Amazon CloudWatch イベント送信先を編集する	513
Amazon CloudWatch イベント送信先を削除する	515
Amazon Data Firehose の送信先を設定する	516
Amazon Data Firehose の IAM ポリシー	517
Amazon Data Firehose イベント送信先を作成する	519
Amazon Data Firehose イベント送信先を編集する	521
Amazon Data Firehose イベント送信先を削除する	523
Amazon SNS イベント送信先の設定	524
Amazon SNS アクセスポリシー	524
Amazon SNS イベント送信先を作成する	527
Amazon SNS イベント送信先を編集する	529
Amazon SNS イベント送信先を削除する	531
オプトアウトリスト	533
必須のオプトアウトリストキーワード	534
セルフマネージド型のオプトアウト	534
セルフマネージド型のオプトアウトをセットアップする	535
オプトアウトリストを作成する	536
発信元 ID を表示する	537
オプトアウトリストの詳細を表示する	537
送信先電話番号をオプトアウトリストに追加する	539
送信先電話番号を検索する	540
送信先電話番号を削除する	540
オプトアウトリストを削除する	541
オプトアウトリストのタグを管理する	542
共有オプトアウトリストを一覧表示する	543
メッセージフィードバック	544
メッセージフィードバックの処理方法	545
設定セットのメッセージフィードバックを有効にする	545
メッセージフィードバックを含むメッセージを送信する	545
メッセージフィードバックのステータスレコードを変更する	547
不正防止	548
保護設定	549
保護設定を作成する	552
国ルールを変更する	554
関連付けを変更する	555
保護設定を削除する	558

削除保護の設定	559
保護設定の名前を変更する	561
保護設定のタグを管理する	561
国ルールモード	563
国ルールモードとは	563
国モードを設定する	564
保護メトリクスを表示する	564
保護メトリクスの処理方法	565
電話番号のオーバーライドルール	567
電話番号オーバーライドルールの処理方法	568
電話番号のオーバーライドルールを作成する	569
電話番号のオーバーライドルールをクエリする	571
電話番号のオーバーライドルールを編集する	572
電話番号のオーバーライドルールを削除する	574
ダッシュボードメトリクス	576
SMS または音声メッセージの送信	581
SMS メッセージの送信	581
音声メッセージの送信	584
MMS メッセージの送信	587
前提条件	587
を使用して MMS を送信する AWS CLI	589
Amazon S3 バケットのセットアップ	590
通知	592
Notify の開始方法	595
前提条件	595
ステップ 1: 通知設定を作成する	596
ステップ 2: 使用可能なテンプレートを参照する	597
ステップ 3: テストメッセージを送信する	598
ステップ 4: 利用可能な国を確認する	599
次の手順	599
通知設定の管理	599
設定プロパティ	599
表示名の確認	600
通知設定の作成	601
通知設定の表示	602
Notify 設定の更新	602

通知設定の削除	604
Notify テンプレートの使用	604
テンプレートプロパティ	604
テンプレートの表示	605
テンプレート変数	606
デフォルトテンプレートの設定	607
階層の通知	607
基本層	607
アドバンス階層	608
アドバンス階層へのアップグレード	608
コンプライアンス上の責任	612
Notify を使用したメッセージの送信	612
SMS メッセージの送信	612
音声メッセージの送信	613
DryRun モードの使用	614
リクエストパラメータの送信	614
メッセージルーティングの仕組み	615
メッセージフィードバック	615
配信イベント	616
エラー処理	616
重要な注意事項	617
トラブルシューティング	617
Notify での専用番号の使用	618
ハイブリッドルーティングの仕組み	618
プールを関連付ける利点	618
プールの関連付けの管理	618
サポートされている国を通知する	619
基本的な階層の国	620
アドバンス階層の国	621
サポートされている国の確認	622
国情報フィールド	622
設定で国を有効にする	623
支出制限を通知する	623
Notify の使用制限の管理	624
アカウント制限の引き上げをリクエストする	625
通知クォータと制限	625

アカウントレベルのクォータ	625
設定レベルの制限	625
API レート制限	626
クォータの引き上げをリクエストする	627
モバイルキャリアの前提条件を通知する	627
必要な利用規約	627
必要なプライバシーポリシー	628
必要なオプトインフロー	629
カスタマーサポートの要件	630
モバイルキャリアの前提条件チェックリストを通知する	630
キャリア検索	631
キャリア検索のユースケース	631
サポートされている電話番号形式	632
でのキャリア検索サービスの使用 AWS CLI	632
キャリアルックアップレスポンス	633
共有リソースの使用	635
電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有するための前提条件	636
電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有する	636
共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID の共有を解除する	638
共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を特定する	638
共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID の責任とアクセス許可	639
所有者のアクセス許可	639
コンシューマーのアクセス許可	639
請求と使用量測定	639
インスタンスクォータ	639
送信者 ID または電話番号を Amazon Pinpoint と共有するポリシーの例	639
送信者 ID を Amazon Pinpoint および Amazon SNS と共有するポリシーの例	641
Amazon Pinpoint および Amazon SNS と電話番号を共有するポリシーの例	643
SMS 請求および使用状況レポートを理解する	645
例 1: 英国へのメッセージの送信	648
例 2: 米国へのメッセージの送信	648
請求用の AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースにタグを付ける	648
サポートをリクエストする	649
使用クォータ変更のリクエスト	650
SMS 利用額しきい値ケースを開く	650
セキュリティ	652

データ保護	653
データ暗号化	654
保管中の暗号化	654
転送中の暗号化	654
エンドユーザーメッセージングの SMS メッセージ処理	655
キー管理	655
ネットワーク間トラフィックのプライバシー	655
AWS エンドユーザーメッセージング SMS 用のインターフェイス VPC エンドポイントの作成	656
ID とアクセス管理	658
オーディエンス	658
アイデンティティを使用した認証	659
ポリシーを使用したアクセスの管理	660
AWS エンドユーザーメッセージング SMS と IAM の連携方法	662
アイデンティティベースのポリシーの例	669
AWS マネージドポリシー	674
サービスにリンクされたロールの使用	676
トラブルシューティング	679
AWS エンドユーザーメッセージング SMS ポリシーアクション	681
コンプライアンス検証	696
SMS のセキュリティ保証プログラムに関する考慮事項	696
耐障害性	697
SMS ルーティングの耐障害性	697
インフラストラクチャセキュリティ	697
AWS エンドユーザーメッセージング SMS の設定と脆弱性の分析	698
サービス間での不分別な代理処理の防止	698
セキュリティのベストプラクティス	700
SMS プロトコルのセキュリティに関する考慮事項	700
SMS プロトコルセキュリティのベストプラクティス	700
モニタリング	702
CloudWatch によるモニタリング	703
CloudWatch メトリクス	704
CloudWatch アラームの作成	712
使用量のモニタリング	714
月別使用量の表示	715
SMS または音声による使用量アラームを作成します。	715

CloudTrail ログ	717
AWS CloudTrail でのエンドユーザーメッセージング SMS データイベント	719
AWS CloudTrail でのエンドユーザーメッセージング SMS 管理イベント	720
AWS エンドユーザーメッセージング SMS イベントの例	720
EventBridge の使用	726
配信された SMS メッセージのイベント	727
送信された SMS メッセージのイベント	728
送信された音声メッセージのイベント	729
登録ステータス変更のイベント	729
AWS PrivateLink	731
考慮事項	731
インターフェイスエンドポイントの作成	732
エンドポイントポリシーを作成する	732
クォータ	734
SMS および MMS クォータ	739
10DLC クォータ	741
保護設定クォータ	742
登録クォータ	742
RCS クォータ	742
音声クォータ	743
サポートによるクォータの引き上げリクエスト	746
AWS Service Quotas を使用するクォータ引き上げのリクエスト	747
ドキュメント履歴	749
.....	dcclvii

AWS エンドユーザーメッセージング SMS とは

Note

Amazon Pinpoint の SMS、MMS、音声 (テキスト読み上げ) 機能は、AWS エンドユーザーメッセージングと呼ばれるようになりました。

[AWS エンドユーザーメッセージング SMS](#) は、application-to-person (A2P) SMS、MMS、RCS、および音声メッセージングサービスであり、ウェブ、モバイルアプリケーション、またはビジネスアプリケーションでメッセージングを配信するために必要なグローバルスケール、耐障害性、柔軟性を提供します。SMS メッセージは、利用可能な通信チャネルのうち SMS が最も効果的で偏在していることが実証されているため、最も重要で緊急性の高い通信に使用されます。顧客は、ワンタイムパスワード (OTP) によるログインと認証、マーケティングメッセージ、市民向け情報発信、配送ステータスの更新、予約のリマインダーなど、時間的制約が厳しく確実に届けなければならないユースケースを優先します。

マルチメディアメッセージングサービス (MMS) は、画像、音声、テキスト、動画ファイルを含むメディアメッセージを携帯電話に送信する機能を提供する SMS の拡張機能です。MMS を使用すると、さまざまなブランド、ワークフロー、マーケティングのユースケースにわたって、エンゲージメントを向上できます。

ビジネス向けのリッチコミュニケーションサービス (RCS) は、検証済みのブランドアイデンティティ、配信受信、メッセージのメッセージングパフォーマンスの向上を提供します。AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、RCS が利用できない場合に、自動 SMS フォールバックを使用して RCS 経由でテキストメッセージを送信することをサポートしています。ブランドを表す AWS RCS エージェントを作成し、電話プールを使用してシームレスな RCS-to-SMS フォールバックを有効にします。詳細については、「[RCS メッセージング](#)」を参照してください。

このユーザーガイドの情報は、マーケティング担当者、ビジネスユーザー、開発者を含むすべての AWS エンドユーザーメッセージング SMS ユーザーを対象としています。このガイドには、主に を使用して AWS エンドユーザーメッセージング SMS を操作するユーザーにとって特に役立つ情報が含まれています AWS マネジメントコンソール。

Note

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は pinpoint-sms-voice-v2 API 名前空間を使用します。

このドキュメントに付随する他の文書がいくつかあります。次のドキュメントは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS APIs に関連するリファレンス情報を提供します。

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 AWS CLI リファレンス](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS には、SMS、MMS、音声メッセージを送信するために設計された API (AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API と呼ばれます) が含まれています。Amazon Pinpoint API は、スケジュールされたイベント駆動型のキャンペーンやジャーニーを通じてメッセージを送信することに重点を置いていますが、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API は、SMS、MMS、音声メッセージを個々の受信者に直接送信するための専用機能を提供します。AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 API v2 は、Amazon Pinpoint キャンペーンおよびジャーニー機能とは独立して使用できます。または、両方を同時に使用して、さまざまなユースケースに対応できます。既に Amazon Pinpoint を使用して SMS、MMS、または音声メッセージを送信している場合、アカウントはこの API を使用するよう既に設定されています。2 つの API の主な機能の違いを以下に示します。

API	Amazon Pinpoint API	AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API
機能	1. プロジェクト – 受信者情報、セグメント、キャンペーン、ジャーニーのコレクションです。 2. マルチチャネル – チャネルは、メッセージによって対象者セグメントとつながるプラットフォームを表します。	1. 電話プール – 電話プールは、電話番号と送信者 ID のコレクションで、メッセージを送信し、プール内の番号が失敗した場合にフェイルオーバーを提供するために使用できると同じ設定を共有します。

API	Amazon Pinpoint API	AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API
	3. セグメント – 特定の属性を共有する顧客のグループです。 4. キャンペーン – 特定の対象者セグメントを取り込むメッセージングイニシアチブです。 5. ジャーニー – カスタマイズされた複数のステップからなるエンゲージメント体験です。 6. 分析 – Amazon Pinpoint によって提供される分析を使用すると、ユーザーの参加、キャンペーンのアウトリーチ、収益などに関連する傾向を表示して、ユーザーベースを把握できます。	2. 電話番号 – 発信者番号とも呼ばれる電話番号は、送信者を識別する番号の数値文字列です。 3. 送信者 ID – SMS メッセージの送信者を識別する英数字名です。 4. 設定セット – メッセージを送信するときに適用される一連のルールです。 5. オプトアウトリスト – メッセージを送信してはならない送信先 ID のリストです。 6. 登録 – 国によっては、国内で使用するには電話番号と送信者 ID を登録する必要があります。AWS エンドユーザーメッセージング SMS では、登録を管理できます。 7. マルチメディアメッセージングサービス (MMS) – 画像、音声、テキスト、動画のファイルを含むメディアメッセージを携帯電話に送信します。 8. 設定の保護 – 世界中の各送信先国へのメッセージを許可またはブロックする国ルールのリストを作成します。

API	Amazon Pinpoint API	AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API
		9. RCS メッセージング – 電話プールを使用して、検証済みのブランド化されたテキストメッセージを Rich Communication Services (RCS) 経由で自動 SMS フォールバックで送信します。 10. 通知設定 – 独自の電話番号をプロビジョニングせずに、マネージド送信元 ID を使用してテンプレート化された OTP および検証メッセージを送信するための AWS マネージドメッセージングソリューション。
の数 AWS リージョン	13 AWS リージョン	32 AWS リージョン

この API は、独立系ソフトウェアベンダー (ISV) など、マルチテナントアーキテクチャのユーザーに適したソリューションです。この API を使用すると、イベントデータ、送信元電話番号、およびオプトアウトリストをテナントごとに分けられます。

SMS and Voice v2 API を使用するときは、電話プール、設定セット、イベント送信先を設定することをお勧めします。SMS and Voice v2 API は、送信したメッセージのイベントデータを自動的に出力しません。イベント送信先を設定すると、メッセージ配信や失敗イベントなどの重要なイベントデータをキャプチャできます。

この API のバージョン 2 の前に、バージョン 1 がありました。現在、この API のバージョン 1 を使用している場合は、引き続き使用可能で、使用を継続することは可能です。ただし、バージョン 2 に移行すると、電話番号プールの作成、プログラムによる新しい電話番号のリクエスト、電話番号の特定の機能の有効化/無効化などの追加機能を利用できます。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS を初めてお使いになる方向けの情報](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の機能](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS へのアクセス](#)
- [リージョン別の可用性](#)
- [ショートメッセージサービス \(SMS\) の仕組み](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の概念](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を初めてお使いになる方向けの情報

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を初めて使用する場合は、まず以下のセクションを読むことをお勧めします。

- [ショートメッセージサービス \(SMS\) の仕組み](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用してメッセージを送信するためのチュートリアル](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の機能

AWS エンドユーザーメッセージング SMS には、次の機能があります。

グローバルな Application-to-Person メッセージング

Application-to-Person メッセージングは、携帯電話番号に SMS および MMS メッセージングを提供します。

発信元 ID の登録

AWS End User Messaging SMS を使用して、電話番号または送信者 IDs を登録し、登録ステータスを追跡します。

SMS シミュレータ

SMS シミュレーターを使用してメッセージング環境をテストします。

RCS メッセージング

自動 SMS フォールバックを使用して、Rich Communication Services (RCS) 経由で検証済みのブランド付きテキストメッセージを送信します。RCS は、検証済みのブランドアイデンティティ、配信受信、メッセージングパフォーマンスの向上を提供します。詳細については、「[RCS メッセージング](#)」を参照してください。

通知 – マネージド OTP および検証メッセージング

マネージド型の電話番号を使用して、テンプレート化された SMS AWS および音声検証メッセージを送信します。発信元 ID のプロビジョニングは必要ありません。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング通知とは](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS へのアクセス

次のインターフェイスを使用して、AWS エンドユーザーメッセージング SMS 送信元 ID (電話番号または送信者 ID) をリクエストおよび管理できます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール

AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースを作成および管理するウェブインターフェイス。にサインアップしている場合は AWS アカウント、から AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールにアクセスできます AWS マネジメントコンソール。

AWS Command Line Interface

コマンドラインシェルのコマンドを使用して AWS サービスとやり取りします。AWS Command Line Interface は Windows、macOS、Linux でサポートされています。の詳細については AWS CLI、[AWS Command Line Interface 「ユーザーガイド」](#)を参照してください。AWS エンドユーザーメッセージング SMS コマンドは[AWS CLI](#)、[コマンドリファレンス](#)にあります。

AWS SDK

HTTP または HTTPS 経由でリクエストを送信するのではなく、言語固有の APIs を使用してアプリケーションを構築するソフトウェア開発者の場合、はライブラリ、サンプルコード、チュートリアル、その他のリソース AWS を提供します。これらのライブラリには、リクエストの暗号化署名、リクエストの再試行、エラーレスポンスの処理などのタスクを自動化する基本的な機能が用意されています。これらの関数を使用すると、作業をより効率的に開始できます。詳細については、「[AWSでの構築ツール](#)」を参照してください。

リージョン別の可用性

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、北米、欧州、アジア、オセアニア AWS リージョンの複数のリージョンで利用できます。各リージョンで、は複数のアベイラビリティゾーン AWS を維持します。これらのアベイラビリティゾーンは物理的に相互に分離されていますが、低レイテンシーで高スループットの冗長性に優れたプライベートネットワーク接続で統合されています。これらのアベイラビリティゾーンにより、非常に高いレベルの可用性と冗長性を提供しながら、レイテンシーを最小限に抑えています。

詳細については AWS リージョン、『』の[AWS リージョン「アカウントで利用できるを指定する」](#)を参照してください Amazon Web Services 全般のリファレンス。AWS エンドユーザーメッセージング SMS が現在利用可能なすべてのリージョンと各リージョンのエンドポイントのリストについては、『』の[「エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API とサービスエンドポイントのエンドポイントとクォータ」](#) Amazon Web Services 全般のリファレンス」または次の表を参照してください。AWS [AWS](#)各リージョンで利用できるアベイラビリティゾーンの数の詳細については、『[AWS グローバルインフラストラクチャ](#)』を参照してください。

リージョンの可用性

リージョン名	リージョン	Endpoint	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
米国東部 (バージニア北部)	us-east-1	sms-voice.us-east-1.amazonaws.com sms-voice-fips.us-east-1.amazonaws.com	はい	あり
米国東部 (オハイオ)	us-east-2	sms-voice.us-east-2.amazonaws.com sms-voice-fips.us-east-2.amazonaws.com	はい	あり

リージョン名	リージョン	Endpoint	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
米国西部 (北カリフォルニア)	us-west-1	sms-voice.us-west-1.amazonaws.com sms-voice-fips.us-west-1.amazonaws.com	はい	あり
米国西部 (オレゴン)	us-west-2	sms-voice.us-west-2.amazonaws.com sms-voice-fips.us-west-2.amazonaws.com	はい	あり
アフリカ (ケープタウン)	af-south-1	sms-voice.af-south-1.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (ハイデラバード)	ap-south-2	sms-voice.ap-south-2.amazonaws.com	はい	いいえ
アジアパシフィック (ジャカルタ)	ap-southeast-3	sms-voice.ap-southeast-3.amazonaws.com	はい	いいえ
アジアパシフィック (メルボルン)	ap-southeast-4	sms-voice.ap-southeast-4.amazonaws.com	はい	いいえ

リージョン名	リージョン	Endpoint	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
アジアパシフィック (ムンバイ)	ap-south-1	sms-voice.ap-south-1.amazonaws.com	はい	あり
アジアパシフィック (大阪)	ap-northeast-3	sms-voice.ap-northeast-3.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (ソウル)	ap-northeast-2	sms-voice.ap-northeast-2.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (シンガポール)	ap-southeast-1	sms-voice.ap-southeast-1.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (シドニー)	ap-southeast-2	sms-voice.ap-southeast-2.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (東京)	ap-northeast-1	sms-voice.ap-northeast-1.amazonaws.com	はい	はい
アジアパシフィック (ニュージーランド)	ap-southeast-6	sms-voice.ap-southeast-6.amazonaws.com	はい	いいえ
アジアパシフィック (台北)	ap-east-2	sms-voice.ap-east-2.amazonaws.com	はい	いいえ

リージョン名	リージョン	Endpoint	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
AWS GovCloud (米国東部)	us-gov-east-1	sms-voice.us-gov-east-1.amazonaws.com sms-voice-fips.us-gov-east-1.amazonaws.com	はい	いいえ
AWS GovCloud (米国西部)	us-gov-west-1	sms-voice.us-gov-west-1.amazonaws.com sms-voice-fips.us-gov-west-1.amazonaws.com	はい	あり
カナダ (中部)	ca-central-1	sms-voice.ca-central-1.amazonaws.com sms-voice-fips.ca-central-1.amazonaws.com	はい	はい
カナダ西部 (カルガリー)	ca-west-1	sms-voice.ca-west-1.amazonaws.com sms-voice-fips.ca-west-1.amazonaws.com	はい	いいえ

リージョン名	リージョン	Endpoint	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
欧州 (フランクフルト)	eu-central-1	sms-voice.eu-central-1.amazonaws.com	はい	あり
欧州 (アイルランド)	eu-west-1	sms-voice.eu-west-1.amazonaws.com	はい	はい
欧州 (ロンドン)	eu-west-2	sms-voice.eu-west-2.amazonaws.com	はい	はい
欧州 (ミラノ)	eu-south-1	sms-voice.eu-south-1.amazonaws.com	はい	いいえ
欧州 (パリ)	eu-west-3	sms-voice.eu-west-3.amazonaws.com	はい	はい
欧州 (スペイン)	eu-south-2	sms-voice.eu-south-2.amazonaws.com	はい	いいえ
欧州 (ストックホルム)	eu-north-1	sms-voice.eu-north-1.amazonaws.com	はい	はい
欧州 (チューリッヒ)	eu-central-2	sms-voice.eu-central-2.amazonaws.com	はい	いいえ
イスラエル (テルアビブ)	il-central-1	sms-voice.il-central-1.amazonaws.com	はい	いいえ

リージョン名	リージョン	Endpoint	SMS/MMS チャネルをサポート	音声チャネルをサポート
中東 (バーレーン)	me-south-1	sms-voice.me-south-1.amazonaws.com	はい	はい
中東 (UAE)	me-central-1	sms-voice.me-central-1.amazonaws.com	はい	いいえ
南米 (サンパウロ)	sa-east-1	sms-voice.sa-east-1.amazonaws.com	はい	はい

ショートメッセージサービス (SMS) の仕組み

SMS と呼ばれる [ショートメッセージサービス](#) は、モバイルデバイス間でのテキストメッセージの交換を許可するサービスです。通常 SMS メッセージは、最大 160 字と短く、実質的にあらゆるモバイルデバイスに対応しており、さまざまなモバイルネットワークで送受信できます。SMS は個人やビジネスのコミュニケーションに広く使用されており、個人やグループに簡潔なメッセージを送信する迅速で便利な方法を提供します。

Application-to-Person (A2P) SMS の仕組み

SMS は、モバイルネットワークのシグナリングチャネルで動作する音声通話に既に導入されているインフラストラクチャを使用します。SMS の仕組みの概要は次のとおりです。

1. アプリケーションがメッセージを開始する。アプリケーションがテキストメッセージを作成し、受信者の電話番号にメッセージを送信します。AWS はメッセージリクエストを受け取り、メッセージを処理します。
2. AWS がショートメッセージサービスセンター (SMSC) にメッセージを送信する。SMSC は、SMS メッセージの処理を担当する集中型サーバーです。

AWS は、エンドユーザーのモバイルデバイスにメッセージを配信するのに適切な SMS メッセージルートを選択します。選択した SMS ルートは、SMS メッセージを SMSC にルーティングする仲介になる場合もあれば、SMS を SMSC に直接ルーティングする場合もあります。これにより、メッセージが AWS 境界を離れ、適切な SMSC に配信されます。

3. SMSC がメッセージを配信する。SMSC は、一連のシグナリングメッセージを使用して、受信者のモバイルネットワークにメッセージを送信します。
4. メッセージが保存される。受信者の SMSC がメッセージを受信し、受信者のデバイスが受信できるようになるまで一時的に保存します。
5. 受信者のデバイスに通知が届く。受信者のデバイスが到達可能になると、受信者の SMSC は新しい SMS が確認可能であることを示す通知メッセージを送信します。
6. メッセージの取得: 受信者のモバイルデバイスが受信者の SMSC に接続してメッセージを取得します。
7. メッセージの表示: 受信者のモバイルデバイスがメッセージを受信し、受信者に表示します。
8. 配信確認の可能性。受信者のモバイルデバイスは、メッセージが正常に受信されたことを示す配信受領 (DLR) 確認を送信者の SMSC に送信する場合があります。その後、この DLR は AWS にリレーされ、アプリケーション所有者に渡されます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の概念

このセクションでは、主要な概念について説明し、AWS エンドユーザーメッセージング SMS に固有の用語を定義します。

設定セット

設定セットは、メッセージを送信するときに適用される一連のルールです。例えば、設定セットではメッセージに関連するイベントの送信先を指定できます。SMS イベント (配信イベントや失敗イベントなど) が発生すると、メッセージの送信時に指定した設定セットに関連付けられた送信先にルーティングされます。

イベント送信先

イベント送信先とは、SMS イベントと音声イベントが送信される場所 (Amazon CloudWatch Logs グループ、Amazon Data Firehose ストリーム、Amazon Simple Notification Service トピックなど) です。イベント送信先を使用するには、まず送信先を作成し、次にその送信先を設定セットに関連付けます。メッセージを送信するとき、API コールに設定セットへの参照を含めることができます。

キーワード

キーワードとは、顧客がレスポンスを引き出すためにユーザーの電話番号に送信できる特定の語句です。例えば、情報メッセージや、追加のメッセージを受け取るためのオプトイン、スペシャルオファー、その他のプロモーションメッセージやランザクションメッセージなどです。番号がキー

ワードで始まるメッセージを受信すると、AWS End User Messaging SMS はカスタマイズ可能なメッセージで応答します。

オプトアウトリスト

メッセージを送信してはならない送信先 ID のリスト。送信先 ID が送信元番号に STOP というキーワードで返信すると、送信先 ID が自動的にオプトアウトリストに追加されます。オプトアウトリストにある送信先番号にメッセージを送信しようとし、オプトアウトリストがメッセージの送信に使用されるプールに関連付けられている場合、AWS End User Messaging SMS はメッセージの送信を試みません。電話番号のセルフマネージド型オプトアウト機能を有効にした場合、受信者が「STOP」というキーワードを含むメッセージに返信しても、自動的にオプトアウトされません。

発信者

発信者とは、電話番号または送信者 ID を指します。

発信元の電話番号

電話番号を参照してください。

発信者の送信者 ID

送信者 ID を参照してください。発信者 ID とも呼ばれます。送信者を識別する英数字の文字列です。

Phone number (電話番号)

発信者番号とも呼ばれ、送信者を識別する番号の数値文字列です。これには、ロングコード、ショートコード、通話料無料番号 (TFN)、または 10 桁のロングコード (10DLC) があります。詳細については、「[発信元 ID の選択](#)」を参照してください。

電話プール

メッセージを送信するために使用できるものと同じ設定を共有する電話番号および送信者 ID の集合です。電話プールを経由してメッセージを送信する場合、適切な発信元 ID を選択してメッセージを送信します。電話プール内の発信元 ID が失敗した場合、その発信元 ID が同じ電話プール内にあると、電話プールは別の発信元 ID にフェイルオーバーされます。

登録済み電話番号

一部の国では、電話番号または送信者 ID を購入する前に、会社の ID を登録する必要があります。また、その国の受信者に送信するメッセージの審査も必要になります。登録は外部のサードパー

ティーによって処理されるため、登録の処理にかかる時間は電話番号のタイプと国によって異なります。必要な登録がすべて完了すると、電話番号のステータスがアクティブに変わり、使用可能になります。登録が必要な国の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

シミュレーター電話番号

シミュレーター電話番号は、発信元電話番号と検証済みの送信先電話番号として機能します。シミュレーター電話番号は登録を必要としません。

送信者 ID

発信者 ID とも呼ばれます。送信者を識別する英数字の文字列です。詳細については、[発信元 ID の選択](#)を参照してください。

検証済み電話番号/検証済み送信先電話番号

電話番号を参照してください。アカウントがサンドボックスにある場合は、検証プロセスを通過した送信先電話番号にのみ SMS メッセージを送信できます。電話番号は、検証コードを含む SMS メッセージングを受け取ります。プロセスを完了するには、受信したコードをコンソールに入力する必要があります。

通知設定

テンプレート化された SMS および音声メッセージを送信するためのブランドアイデンティティとメッセージング設定を表すリソース。通知設定には、表示名、ユースケース、有効なチャネル、有効な国、オプションの関連付けられた電話プールが含まれます。

通知テンプレート

OTP および検証メッセージを送信するための、事前承認され AWS、管理されたメッセージテンプレート。テンプレートには、送信時に置き換えられる可変プレースホルダー (検証コードなど) が含まれます。お客様は使用可能なテンプレートから選択しますが、作成または変更することはできません。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のセットアップ

このトピックでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS の使用を開始するのに役立つタスクと情報を提供します。このトピックを完了したら、[AWS エンドユーザーメッセージング SMS の開始方法](#)のチュートリアルに進めます。AWS アカウントが既にある場合は、[AWS エンドユーザーメッセージング SMS の開始方法](#)チュートリアルに進むことができます。

[AWS End User Messaging SMS および音声 v2 API リファレンス](#)には、サポートされている HTTP メソッド、パラメータ、スキーマが含まれています。

トピック

- [にサインアップする AWS アカウント](#)
- [管理アクセスを持つユーザーを作成する](#)
- [AWS SDK でのこのサービスの使用](#)

にサインアップする AWS アカウント

がない場合は AWS アカウント、次の手順を実行して作成します。

にサインアップするには AWS アカウント

1. <https://portal.aws.amazon.com/billing/signup> を開きます。
2. オンラインの手順に従います。

サインアップ手順の一環として、電話またはテキストメッセージを受け取り、電話キーパッドで検証コードを入力します。

にサインアップすると AWS アカウント、AWS アカウントのルートユーザー が作成されます。ルートユーザーには、アカウントのすべての AWS のサービス とリソースへのアクセス権があります。セキュリティベストプラクティスとして、ユーザーに管理アクセス権を割り当て、[ルートユーザーアクセスが必要なタスク](#)の実行にはルートユーザーのみを使用するようにしてください。

AWS サインアッププロセスが完了すると、 から確認メールが送信されます。<https://aws.amazon.com/> の [マイアカウント] をクリックして、いつでもアカウントの現在のアクティビティを表示し、アカウントを管理することができます。

管理アクセスを持つユーザーを作成する

にサインアップしたら AWS アカウント、日常的なタスクにルートユーザーを使用しないように AWS アカウントのルートユーザー、を保護し AWS IAM アイデンティティセンター、を有効にして管理ユーザーを作成します。

を保護する AWS アカウントのルートユーザー

1. ルートユーザーを選択し、AWS アカウント E メールアドレスを入力して、アカウント所有者[AWS マネジメントコンソール](#)としてサインインします。次のページでパスワードを入力します。

ルートユーザーを使用してサインインする方法については、「AWS サインイン ユーザーガイド」の「[ルートユーザーとしてサインインする](#)」を参照してください。

2. ルートユーザーの多要素認証 (MFA) を有効にします。

手順については、IAM [ユーザーガイドの AWS アカウント「ルートユーザー \(コンソール\) の仮想 MFA デバイス](#)を有効にする」を参照してください。

管理アクセスを持つユーザーを作成する

1. IAM アイデンティティセンターを有効にします。

手順については、「AWS IAM アイデンティティセンター ユーザーガイド」の「[AWS IAM アイデンティティセンターの有効化](#)」を参照してください。

2. IAM アイデンティティセンターで、ユーザーに管理アクセスを付与します。

を ID ソース IAM アイデンティティセンターディレクトリとして使用方法のチュートリアルについては、AWS IAM アイデンティティセンター「ユーザーガイド」の「[デフォルトを使用してユーザーアクセスを設定する IAM アイデンティティセンターディレクトリ](#)」を参照してください。

管理アクセス権を持つユーザーとしてサインインする

- IAM アイデンティティセンターのユーザーとしてサインインするには、IAM アイデンティティセンターのユーザーの作成時に E メールアドレスに送信されたサインイン URL を使用します。

IAM Identity Center ユーザーを使用してサインインする方法については、AWS サインイン「[ユーザーガイド](#)」の [AWS「アクセスポータルにサインインする」](#) を参照してください。

追加のユーザーにアクセス権を割り当てる

1. IAM アイデンティティセンターで、最小特権のアクセス許可を適用するというベストプラクティスに従ったアクセス許可セットを作成します。

手順については、「AWS IAM アイデンティティセンター ユーザーガイド」の「[アクセス許可セットを作成する](#)」を参照してください。

2. グループにユーザーを割り当て、そのグループにシングルサインオンアクセス権を割り当てます。

手順については、「AWS IAM アイデンティティセンター ユーザーガイド」の「[グループを追加する](#)」を参照してください。

AWS SDK でのこのサービスの使用

AWS Software Development Kit (SDKs) は、多くの一般的なプログラミング言語で使用できます。各 SDK には、デベロッパーが好みの言語でアプリケーションを簡単に構築できるようになる API、コード例、およびドキュメントが提供されています。

SDK ドキュメント	コード例
AWS SDK for C++	AWS SDK for C++ コード例
AWS CLI	AWS CLI コード例
AWS SDK for Go	AWS SDK for Go コード例
AWS SDK for Java	AWS SDK for Java コード例
AWS SDK for JavaScript	AWS SDK for JavaScript コード例
AWS SDK for Kotlin	AWS SDK for Kotlin コード例
AWS SDK for .NET	AWS SDK for .NET コード例

SDK ドキュメント	コード例
AWS SDK for PHP	AWS SDK for PHP コード例
AWS Tools for PowerShell	AWS Tools for PowerShell コード例
AWS SDK for Python (Boto3)	AWS SDK for Python (Boto3) コード例
AWS SDK for Ruby	AWS SDK for Ruby コード例
AWS SDK for Rust	AWS SDK for Rust コード例
AWS SDK for SAP ABAP	AWS SDK for SAP ABAP コード例
AWS SDK for Swift	AWS SDK for Swift コード例

可用性の例

必要なものが見つからなかった場合。このページの下側にある [Provide feedback] リンクから、コードの例をリクエストしてください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の開始方法

このトピックでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して電話番号、送信者 IDs、プール、設定セットを管理し、テスト SMS メッセージを送信する方法について説明します。SMS メッセージの送信と受信の両方をテストするには、シミュレーターの電話番号を使用することを推奨します。この[ワークショップ](#)は、コマンドラインインターフェイス (AWS CLI) AWS を使用して API コマンドを実行できる開発者と技術担当者を対象としています。SMS、MMS、発信元 ID の料金の詳細については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

Note

新しい AWS エンドユーザーメッセージング SMS アカウントを設定すると、本番稼働用アクセスをリクエストするまで、SMS、MMS、音声メッセージチャネルのサンドボックスに配置されます。サンドボックスでは、SMS、MMS、音声メッセージに制限を設けて、AWS エンドユーザーメッセージング SMS のすべての機能にアクセスできます。

- SMS/MMS サンドボックスの制限については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS SMS/MMS サンドボックス](#)」を参照してください。
- 音声サンドボックスの制限については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS Voice サンドボックス](#)」を参照してください。

サンドボックスから本番環境に移行する準備ができたら、移動するチャネルごとにサービス制限の引き上げリクエストの AWS サポート ケースを作成します。

Tip

電話番号を管理せずに OTP または検証メッセージを送信する場合は、Notify を使用できます。Notify では、AWS マネージド型の発信元 ID を使用してテンプレート化されたメッセージを送信できます。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング通知とは](#)」を参照してください。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用してメッセージを送信するためのチュートリアル](#)

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS サンドボックスで送信先電話番号を追加する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の SMS/MMS および音声サンドボックス](#)
- [メッセージパーツのプレビュー](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS のシミュレーターの電話番号](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で SMS、MMS、または音声の使用制限を設定する](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用してメッセージを送信するためのチュートリアル

このセクションでは、AWS End User Messaging SMS の使用開始に役立つように設計されたチュートリアルの概要を説明します。

対象者

このチュートリアルは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS のセットアップ、テスト、デプロイを担当するシステム管理者と開発者を対象としています。

使用される機能

このチュートリアルでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して以下を行う方法を示します。

- 電話プールを作成して設定する。
- 発信元 ID (電話番号または送信者 ID) をリクエストする。
- 保護設定を作成して設定する。
- SMS シミュレーターを使用して、テスト SMS メッセージを送信する。

所要時間

このチュートリアルの所要時間は約 10～15 分です。

リージョンの制限

このソリューションの使用に関連する国やリージョン別の制限はありません。

リソースの使用コスト

AWS アカウントの作成には料金はありません。ただし、このソリューションを実装することにより、次の表に記載されるコストの一部またはすべてが発生する可能性があります。

説明	コスト (USD)
メッセージ送信料金	AWS エンドユーザーメッセージング SMS を介して送信する SMS メッセージパートごとに料金が発生します。料金の詳細については、「 AWS End User Messaging の料金 」を参照してください。
電話番号の月額リース料金	各電話番号または送信者 ID をリースするには、月額料金を毎月支払います。月額料金は、電話番号と送信者 ID のタイプによって異なります。料金の詳細については、「 AWS End User Messaging の料金 」を参照してください。

AWS アカウントのアクセス許可

へのサインインに使用するアカウントは、次のタスクを実行できる AWS マネジメントコンソール 必要があります。

- プールを作成する
- 設定セットを作成する
- イベント送信先を作成します。
- SMS メッセージの送信

アカウントのアクセス許可詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS の ID とアクセスの管理](#)」を参照してください。

ステップ 1: プールの作成

このセクションの手順では、プールを作成し、そのプールに電話番号または送信者 ID を追加する方法を説明します。

プールを作成するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。

2. ナビゲーションペインの [概要] の [クイックスタート] セクションで、[プールを作成] を選択します。
3. [プールのセットアップ] セクションで、プール名 にプールの名前を入力します。
4. 以下のオプションのいずれかを選択してください。
 - [電話番号] - このオプションを選択した場合は、[関連付けに使用できる番号] で、次のいずれかを選択します。
 - [シミュレーター番号をリクエスト] および [国] ドロップダウンリストで、送信先の国を選択し、次に [番号をリクエスト] を選択します。

 Note

シミュレートされた電話番号は、登録は必要ありません。現実的なイベントを生成し、テストに使用されます。シミュレーター番号から送信されるメッセージは、他のシミュレーター送信先電話番号にのみ送信でき、通信事業者のネットワーク経由で送信されません。

- 以前に購入した電話番号を選択します。
 - [送信者 ID] - このオプションを選択した場合は、[関連付けに使用できる送信者 ID] から送信者 ID を選択します。
5. [電話プールを作成] を選択します。

ステップ 2: 設定セットを作成する

このセクションの手順では、設定セットを作成して、CloudWatch Events、Amazon Data Firehose、Amazon SNS の送信先を追加して、イベントタイプを選択する方法を説明します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [概要] の [クイックスタート] セクションで、[セットを作成] を選択します。
3. [設定セットの詳細] セクションで、[設定セット名] に名前を入力します。
4. [イベント送信先をセットアップする] で、次のいずれかを選択します。

- CloudFormation (推奨) を設定して、すべてのイベントをログに記録するように CloudWatch、Amazon Data Firehose、Amazon SNS CloudFormation を作成および設定します。
- [イベント送信先名] に、イベント送信先の名前を入力します。
- [スタックを起動] を選択します。
- 新しいブラウザウィンドウが開きます。[スタックのクイック作成] フォームを確認して、確認応答を調べます。[スタックの作成] を選択してください。

 Note

CloudFormation スタックの作成には最大 5 分かかる場合があります。

- 設定セットの作成ページで CloudFormation スタックのステータスインジケータが作成されたら、作成を選択します。
- [イベント送信先をセットアップする] では、設定セットとイベント送信先を手動で設定します。
- [イベント送信先名] に、イベント送信先の名前を入力します。
- [送信先タイプ] で、CloudWatch、Amazon Data Firehose、または Amazon SNS のいずれかを選択します。これらのイベント送信先を設定する方法の詳細については、「[Amazon CloudWatch イベントの送信先のセットアップ](#)」、「[Amazon Data Firehose の送信先を設定する](#)」、および「[Amazon SNS イベント送信先の設定](#)」を参照してください。
- [イベントタイプ] で、適切なオプションを選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) – [イベントタイプ](#) に記載されているすべての SMS イベントをイベント送信先に送信します。
 - カスタム SMS イベント – イベント送信先に送信する特定の SMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、[SMS イベント選択を編集] を選択します。[SMS イベント選択を編集] ウィンドウでは、ログに記録するイベントのみを選択します。[選択を保存] を選択します。
 - すべての MMS イベント (推奨) – [イベントタイプ](#) に記載されているすべての MMS イベントをイベント送信先に送信します。
 - カスタム MMS イベント – イベント送信先に送信する特定の MMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、[MMS イベント選択を編集] を選択します。[MMS イベント選択を編集] ウィンドウでは、ログに記録するイベントのみを選択します。[選択を保存] を選択します。

- すべての音声イベント (推奨) – [イベントタイプ](#) に記載されているすべての音声イベントをイベント送信先に送信します。
- カスタム音声イベント – イベント送信先に送信する特定の音声イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、[音声イベント選択を編集] を選択します。[音声イベント選択を編集] ウィンドウでは、ログに記録するイベントのみを選択します。[選択を保存] を選択します。
- [作成] を選択します。

5. [設定セットを作成] を選択します

ステップ 3: 保護設定を作成する

このセクションの手順では、AWS End User Messaging SMS がメッセージを送信できる国を指定する保護設定を作成する方法を示します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [概要] の [クイックスタート] セクションで、[設定を作成] を選択します。
3. [保護設定の詳細] で、[保護設定名] にわかりやすい名前を入力します。
4. 国ルールで、ルールを設定する国を選択します。国ごとに、メッセージ送信をブロック、フィルタリング、または許可するかを選択します。推奨事項：
 - ビジネスを行っていない国に対するブロックルール。
 - メッセージあたりのコストが高い国や SMS ポンピングが懸念される国に対してフィルター規則を使用。
 - フィルターを使用しない国の許可ルールの設定。

Note

次のステップでテストメッセージを送信する予定の国はブロックしないでください。

5. [関連付けタイプ] の [保護設定の関連付け] で、[設定セットの関連付け] を選択します。[関連付けに使用できる設定セット] で、ステップ 2 で作成した設定セットを選択します。
6. [設定を作成] を選択します。

ステップ 4: SMS シミュレーターを使用して、テストメッセージを送信する。

Note

検証済みの送信先電話番号を追加するには、ステータスが [アクティブ] である発信者が必要です。「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号のステータスと機能を表示する](#)」を参照してください。[アクティブ] である発信者がいない場合は、シミュレーターの電話番号とシミュレーターの送信先電話番号を使用してテスト SMS メッセージを送受信します。

このセクションの手順では、テスト SMS メッセージを送信して環境が正しく設定されていることを確認する方法を説明します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [概要] の [クイックスタート] セクションで、[SMS 送信をテストする] を選択します。
3. 発信者の場合、テストメッセージを送信する発信者のタイプとして [電話プール]、[電話番号]、または [送信者 ID] のいずれかを選択します。次に、ドロップダウンリストから発信者 ID を選択する必要があります。
 - (オプション) シミュレーターの電話番号が必要な場合は、[シミュレーター番号をリクエスト] を選択します。[シミュレーター番号をリクエスト] ウィンドウでドロップダウンリストから [国] を選択し、[番号をリクエスト] を選択します。

Important

シミュレーターの電話番号は、他のシミュレーターの送信先電話番号にのみ送信できますが、通信事業者のネットワーク経由で送信せずに実際の電話番号と同様に動作します。シミュレーターの電話番号を使用して送信先の電話番号を検証することはできません。例えば、米国のシミュレーターの電話番号は、米国の送信先のシミュレーターの電話番号にのみ送信できます。

4. [送信先番号] セクションで、[シミュレーター番号] または [検証済み番号] を選択し、ドロップダウンリストから番号を選択します。

検証済み送信先番号の現在のリストを表示するには、[検証済み番号] を選択し、[確認済みの送信先番号を管理] を展開します。検証済み送信先電話番号がない場合、または新しい検証済み送信先電話番号を追加する必要がある場合は、次の手順を実行します。

- a. 新しい送信先電話番号を確認するには、[新しい番号を確認] を選択します。
 - b. [送信先電話番号] の [電話番号を追加] ウィンドウで、テストメッセージを受信するデバイスの電話番号を入力します。電話番号は「+」で始まる必要があり、スペース、ハイフン、かっこを含めることはできません。例えば、+1 (206) 555-0142 は正しい形式ではなく、+12065550142 が正しい形式です。
 - c. [検証コードを送信] を選択します。
 - d. 送信先デバイスは、15 分間有効な検証コードを受信します。デバイスが受信したコードを [検証コード] フィールドに入力します。
 - e. [番号を確認] を選択します。
5. [設定セット] で、イベントデータを受信するイベント送信先を選択します。
 6. [メッセージ本文] に、カスタム SMS メッセージを入力します。
 7. [テキストメッセージを送信] を選択します。
 8. イベントログ: CloudWatch の場合、更新ボタンを選択してテストメッセージのイベントログを表示します。

 Tip

テスト SMS メッセージを送信してから少なくとも 10 秒待ってから更新します。

次のステップ: サンドボックスから本番環境に移行する

SMS サンドボックスで SMS 環境のフルテストを行った後、本番稼働の環境への移行をリクエストできます。

1. で AWS サポート ケースを作成しますか? <https://support.console.aws.amazon.com/support/home#/case/createissueType=service-limit-increase>。
2. [サービス制限の引き上げをご希望ですか?] リンクを選択し、以下を完了します。
 - [サービス] で、[AWS End User Messaging SMS (Pinpoint)] を選択します。

- [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - [送信する予定のメッセージのタイプは何ですか] で、発信元 ID を使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - メッセージを送信 AWS リージョン する元の で、メッセージを送信 AWS リージョン する元の を選択します。
 - [Which countries do you plan to send messages to (メッセージを送信する国)] で、ショートコードを購入する国またはリージョンを入力します。
 - [メッセージの受け取りをオプトインする方法] には、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - [お客様にメッセージを送信するために使用するメッセージテンプレートを指定してください] には、使用するテンプレートを指定します。
3. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
- リージョンで、メッセージを送信する AWS リージョン を選択します。

 Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[ケースの詳細] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[一般的な制限] を選択します。
 - [クォータ] で、[SMS の本番環境アクセス] を選択します。
 - [新しいクォータ値] には、1 を入力します。
4. [ケースの説明] で、[ユースケースの説明] に、このリクエストについて関連する詳細情報を入力します。

5. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。
6. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
7. 完了したら、[送信] を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS サンドボックスで送信先電話番号を追加する

Note

検証済み送信先電話番号は、アカウントがサンドボックスにある間のテストにのみ必要です。アカウントが本番環境にある場合は、検証済みの送信先電話番号を追加する必要はありません。

アカウントが SMS/MMS または音声サンドボックスにある場合は、検証済み送信先電話番号にのみメッセージを送信できます。アカウントには、最大 10 個の検証済み送信先電話番号を追加できます。検証済み送信先電話番号を追加するには、送信先電話番号にテキストまたは音声メッセージを送信し、デバイスが受信したコードを入力する必要があります。

開始する前に、アカウントにアクティブで、テキストまたは音声メッセージ機能を持つ発信元 ID が必要です。発信元 ID がない場合は、発信元のシミュレーター電話番号と送信先のシミュレーター電話番号を使用して、メッセージの送受信をテストできます。シミュレートされた電話番号の詳細については、「[シミュレーター電話番号](#)」を参照してください。発信元 ID は、発信元の国またはリージョン内でのみメッセージを送信できます。例えば、米国の発信元 ID は、米国の送信先電話番号にのみ検証メッセージを送信できます。

Important

シミュレーターの電話番号は、他のシミュレーターの送信先電話番号にのみ送信できますが、通信事業者のネットワーク経由で送信せずに実際の電話番号と同様に動作します。シミュレーターの電話番号を使用して送信先の電話番号を検証することはできません。例えば、米国のシミュレーターの電話番号は、米国の送信先のシミュレーターの電話番号にのみ送信できます。

のインストールと設定の詳細については AWS CLI、[AWS Command Line Interface ユーザーガイド](#)を参照してください。

1. [create-verified-destination-number](#) CLI コマンドを使用して、電話番号をアカウントに追加します。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-verified-destination-number --destination-phone-number PhoneNumber
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *PhoneNumber* を、メッセージを送信する E.164 形式の電話番号に置き換えます。例えば、+1 (206) 555-0142 は正しい形式ではなく、+12065550142 が正しい形式です。

完了すると、コマンドは次のステップで必要な検証済み電話番号の VerifiedDestinationNumberId を返します。

2. [send-destination-number-verification-code](#) CLI コマンドを使用して、デバイスに検証メッセージを送信します。最初の検証コードのみ無料です。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 send-destination-number-verification-code --verified-destination-number-id PhoneNumberID --verification-channel Channel
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *PhoneNumberID* を前のステップで受け取った VerifiedDestinationNumberId に置き換えます。
- *Channel* を、メッセージの送信に使用するチャンネルに置き換えます。使用するチャンネルをサポートする発信元 ID が必要です。これは TEXT または VOICE で、大文字と小文字を区別します。

デバイスは、ランダムに生成されたコードを含むメッセージを受信する必要があります。このコードは次のステップで必要になります。

3. [verify-destination-number](#) CLI コマンドを使用して、検証メッセージを送信します。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 verify-destination-number --verified-destination-number-id PhoneNumberID --verification-code Code
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *PhoneNumberID* を前のステップで受け取った VerifiedDestinationNumberId に置き換えます。
- *Code* を、送信先デバイスが受信した検証コードに置き換えます。

正常に完了すると、検証済み送信先電話番号のステータスは VERIFIED になります。サンドボックス内で、認証済み送信先電話番号にメッセージを送信できるようになりました。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の SMS/MMS および音声サンドボックス

新しい AWS エンドユーザーメッセージング SMS アカウントは、SMS/MMS または音声サンドボックスに配置されます。サンドボックスは、AWS のお客様および受信者の双方を詐欺や不正使用から保護します。これにより、テストと開発のために安全な環境が作成されます。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS SMS/MMS サンドボックス](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS MMS および音声サンドボックスから本番環境への移行](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS Voice サンドボックス](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS SMS/MMS サンドボックス

アカウントがサンドボックスにある間は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは SendTextMessages API ですべての SMS 送信方法を使用できます。MMS メッセージを送信するには、SendMediaMessage API を使用する必要があります。ただし、お客様のアカウントがサンドボックスにある間は、以下の制限があります。

- 毎月の SMS 利用限度額は 1.00 USD です。
- 毎月の MMS 利用限度額は 1.00 USD です。

- SMS および MMS メッセージは、検証済みの送信先電話番号にのみ送信できます。検証済みの番号は最大 10 個まで追加できます。
- SMS および MMS メッセージの送信に関する規則や制限が各送信先国に適用されます。例えば、米国の受信者にメッセージを送る場合は、まず米国の番号をリクエストおよび登録する必要があります。
- お客様が電話番号を所有していることを確認するために、その番号に検証コードを送信します。通常、SMS メッセージごとに標準料金がかかりますが、電話番号ごとの最初の検証コードに対する料金は免除されます。SMS 料金の詳細については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

 Note

受信したメッセージには、メッセージ料金とデータ料金が適用されます。検証リクエストごとに 1 通のメッセージを送信します。

- 宛先の電話番号を削除できます。ただし、電話番号を追加してから 24 時間経たないと、削除できません。
- SMS および MMS メッセージは、検証済みの送信先番号にのみ送信できます。検証済みの送信先電話番号を追加する方法の詳細は、「[検証済み送信先電話番号の追加](#)」を参照してください。

これらの制限は、本番稼働へのアクセス権をリクエストすることで解除することができます。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS MMS および音声サンドボックスから本番環境への移行](#)」を参照してください。

 Note

アカウントが疑わしい SMS/MMS トラフィックを送信していることが判明した場合、アカウントのメッセージ送信機能が一時的に停止されることがあります。このような場合は、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS MMS および音声サンドボックスから本番環境への移行](#)」の手順に従って本番環境アクセスを取得してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS MMS および音声サンドボックスから本番環境への移行

SMS/MMS サンドボックスで SMS/MMS 環境のフルテストを行った後、本番環境への移行をリクエストできます。SMS サンドボックスから本番環境への移行は、MMS 機能にも適用されます。

Note

アカウントが複数の がある場合は AWS リージョン、リージョンごとにサポートリクエストを送信する必要があります。
フィールドがオプションとしてラベル付けされている場合でも、サポートケースのすべてのフィールドに入力します。

SMS サンドボックスから本番環境に移行するには

1. で AWS サポート ケースを作成しますか? <https://support.console.aws.amazon.com/support/home#/case/createissueType=service-limit-increase>。
2. [ケースを作成] ページで、次の操作を行います。
 - [アカウントと請求] を選択します。
 - [サービス] で、[Service Quotas] を選択します。
 - [カテゴリ] で、リクエストに応じて [AWS End User Messaging SMS (Pinpoint)] または [AWS End User Messaging Voice (Pinpoint)] のいずれかを選択します。
 - [重要度] で、[一般的な制限事項] を選択します。
3. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
 - リージョンで、メッセージを送信する AWS リージョン を選択します。

Note

AWS リージョン リクエストセクションでは、 が必要です。また、[ケースの詳細] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[一般的な制限] を選択します。
- [クォータ] で、[SMS の本番環境アクセス] を選択します。

- [新しいクォータ値] には、1 を入力します。
4. [説明] の [ユースケースの説明] に、このリクエストについて関連する詳細情報を入力します。以下に対する回答を含めます。
- [SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する] で、SMS/MMS メッセージを送信するウェブサイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) [送信するメッセージのタイプ] で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - [Which countries do you plan to send messages to (メッセージを送信する国)] で、ショートコードを購入する国またはリージョンを入力します。
 - [メッセージの受け取りをオプトインする方法] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - [お客様にメッセージを送信するために使用するメッセージテンプレートを指定してください] で、使用するテンプレートを指定します。
5. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。
6. [次のステップ: 今すぐ解決するか、お問い合わせください] を選択します。[優先する問い合わせ言語] で、本件に関して連絡を受けるのに、[英語] か [日本語] を選択します。
7. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。追加の情報をご依頼することがあります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS Voice サンドボックス

お客様を不正使用から保護するため、初めてお客様のアカウントを作成する際は、作成したアカウントをサンドボックス環境に配置します。サンドボックス環境は、チャンネルをテストして評価を確立するのに役立ちます。アカウントがサンドボックスにある間は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS 音声メッセージングにフルアクセスできますが、以下の制限があります。

- 1 日のメッセージ数は 20 通までです。
- 音声メッセージは、24 時間以内に 1 人の受信者に最大 5 通まで送信することができます。
- 1 分間に最大 5 通まで送信できます。
- 音声メッセージの最長は 30 秒です。
- 特定の国にだけ音声メッセージを送信することができます。詳細については、「[音声クォータ](#)」を参照してください。
- 検証済みの送信先電話番号を追加する方法の詳細は、「[検証済み送信先電話番号の追加](#)」を参照してください。

アカウントを音声サンドボックス外に移動する準備ができたなら、サービス制限の引き上げリクエストの AWS サポート ケースを作成します。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS の SMS/MMS および音声サンドボックス](#)」を参照してください。

Note

本番稼働用アクセスをリクエストする前に、AWS エンドユーザーメッセージング SMS アカウントから少なくとも 1 つの音声メッセージを送信する必要があります。音声メッセージは、[SendVoiceMessage](#) API を使用して送信できます。

メッセージパーツのプレビュー

1 回の SMS メッセージには、最大 140 バイトの情報を含めることができます。メッセージに最大文字数を超える文字を含めると、メッセージは複数のパートに分割されます。受取人の携帯通信事業者やデバイスによっては、複数のメッセージが、1 つのメッセージとして表示されたり、個別のメッセージのシーケンスとして表示されたりする場合があります。

GSM 7-bit アルファベットとしても知られる「GSM 03.38 文字セット」のみがメッセージに使用されている場合は、最大 160 文字含めることができます。メッセージに GSM 03.38 文字セット以外の文字を使用する場合は、最大 70 文字を含めることができます。SMS メッセージを送信すると、AWS エンドユーザーメッセージング SMS は使用する最も効率的なエンコードを自動的に決定します。

送信されるメッセージパーツごとに料金が発生します。電話番号には、1 秒間に送信できるメッセージパーツの数に制限があります。メッセージが 2 つのメッセージパーツに分割されている場合は、メッセージパーツごとに料金が発生します。SMS メッセージを送信する前に、メッセージパーツプ

レビューを使用して、メッセージパーツの数を確認します。サポートされる文字セットの詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。メッセージサイズとスループットの詳細については、「[メッセージパーツ/秒 \(MPS\) の制限とは](#)」を参照してください。

メッセージパーツレビューの使用

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [ショートカット] で、[メッセージパーツレビュー] を選択します。
3. [SMS メッセージ] セクションで、SMS メッセージを入力します。メッセージを入力すると、[パーツレビュー] にエンコーディング、文字数、SMS メッセージパーツが表示されます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のシミュレーターの電話番号

AWS エンドユーザーメッセージング SMS に含まれている SMS シミュレーターを使用して、テキストメッセージを送信し、リアルなイベントレコードを受信できます。SMS シミュレーターは、以下にも役立ちます。

- 実際の SMS イベントレコードの表示。
- AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して SMS メッセージを送信するアプリケーションをテストします。

SMS シミュレーターを使用する場合、メッセージは送信元シミュレーター電話番号から送信され、リクエストした送信先シミュレーター電話番号にメッセージが送信されます。シミュレーターの電話番号は、メッセージがキャリアネットワーク経由で送信されないように、AWS エンドユーザーメッセージング SMS 内に留まるように設計されています。送信元と送信先のシミュレーター電話番号は、SMS と MMS で動作します。

トピック

- [送信元シミュレーター電話番号](#)
- [送信先シミュレーター電話番号](#)

送信元シミュレーター電話番号

シミュレーター電話番号をリクエストして送信元 ID として使用し、テストの SMS および MMS メッセージを送信できます。シミュレーター電話番号には、選択した国の国コードが表示されます。送信元 ID としてシミュレーター電話番号を使用する場合、同じ国の送信先シミュレーター電話番号にのみメッセージを送信できます。別の国に送信しようとする、メッセージは失敗します。例えば、米国のシミュレーター電話番号を使用して、英国の成功シミュレーター電話番号にメッセージを送信しようとする、エラーが返されます。

Note

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は現在、米国の発信元シミュレーターの電話番号をサポートしています。

送信元シミュレーター電話番号は、AWS End User Messaging SMS コンソールの SMS シミュレーターまたは AWS CLI を使用してリクエストできます。AWS CLI で送信元シミュレーター電話番号をリクエストするには、[\[電話番号をリクエスト \(AWS CLI\)\]](#) タブの指示に従い、番号タイプに SIMULATOR を使用します。

送信元シミュレーター電話番号をリクエストする

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. [ショートカット]、[SMS シミュレーターで SMS 送信をテストする] の順に選択します。
3. [発信者] で [電話番号] を選択し、[シミュレーター番号をリクエスト] のリンクを選択します。
4. [シミュレーター番号をリクエスト] ウィンドウの [国] で、ドロップダウンリストから国を選択します。[番号をリクエスト] を選択します。

送信先シミュレーター電話番号

送信先シミュレーター電話番号は、いくつかの国とリージョンで利用できます。国およびリージョンごとに、メッセージの成功イベントを発生させる電話番号と、メッセージの失敗イベントを発生させる電話番号が存在します。次の表は、シミュレーターが利用可能なすべての国およびリージョンの SMS/MMS のシミュレーター電話番号が表記されています。

国	イベントタイプ	Phone number (電話番号)
オーストラリア	Success	+61455944038
オーストラリア	失敗	+61455944039
オーストリア	Success	+43676800442031
オーストリア	失敗	+43676800442032
ベルギー	Success	+32460213922
ベルギー	失敗	+32460213923
チリ	Success	+56229140630
チリ	失敗	+56229140631
チェコ共和国	Success	+420790542286
チェコ共和国	失敗	+420790542287
デンマーク	Success	+4525919410
デンマーク	失敗	+4525919215
エストニア	Success	+37282720792
エストニア	失敗	+37282720793
フィンランド	Success	+3584573979110
フィンランド	失敗	+3584573979111
フランス	Success	+33755512501
フランス	失敗	+33755512502
Hong Kong	Success	+85257048426
Hong Kong	失敗	+85257048854

国	イベントタイプ	Phone number (電話番号)
ハンガリー	Success	+36707178770
ハンガリー	失敗	+36707178772
イタリア	Success	+394390009172
イタリア	失敗	+394390009174
ジャージー	Success	+447937404990
ジャージー	失敗	+447937404992
ルクセンブルグ	Success	+352691385880
ルクセンブルグ	失敗	+352691385882
オランダ	Success	+3197008100148
オランダ	失敗	+3197008100150
ノルウェー	Success	+4759449384
ノルウェー	失敗	+4759449387
ポーランド	Success	+48732141440
ポーランド	失敗	+48732141442
ポルトガル	Success	+351927946948
ポルトガル	失敗	+351927946950
ルーマニア	Success	+40783900330
ルーマニア	失敗	+40783900332
スペイン	Success	+34683783440
スペイン	失敗	+34683783442

国	イベントタイプ	Phone number (電話番号)
スウェーデン	Success	+46790645100
スウェーデン	失敗	+46790645102
スイス	Success	+41798075872
スイス	失敗	+41798075874
台湾	Success	+886903444630
台湾	失敗	+886903444632
英国	Success	+447860019066
英国	失敗	+447860019067
アメリカ	Success	+14254147755
アメリカ	失敗	+14254147167

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で SMS、MMS、または音声の使用制限を設定する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS では、各メッセージングチャネルの使用制限があります。

アカウント制限は、毎月チャネル経由でメッセージを送信するために使用できる最大金額を米ドルで表したものです。アカウント制限に達すると、AWS End User Messaging SMS はメッセージの送信を停止し、その月にさらにメッセージを送信するには、使用制限の引き上げをリクエストする必要があります。SMS または MMS のアカウント制限の支出制限の変更をリクエストすると、SMS と MMS の両方のアカウント制限が、リクエストされた新しい制限に設定されます。MMS と SMS には強制制限が個別にあります。例えば、MMS の強制制限を 10 USD に設定し、SMS の強制制限を 5 USD に設定できます。アカウント制限を変更するには、[使用クォータ変更のリクエスト](#) を参照してください。

強制制限は、任意で設定できる 1 USD からアカウント制限までの範囲で調整可能な支出制限 (USD 単位) です。強制制限を指定しない場合、アカウント制限まで使用できます。強制制限に達すると、

AWS End User Messaging SMS はメッセージの送信を停止します。メッセージの送信を再開するには、コンソールまたは AWS CLI を使用して強制制限を調整できます。例えば、SMS アカウントの制限を 100 USD に設定し、強制制限を 50 USD に設定すると、AWS End User Messaging SMS は、強制制限を引き上げるまでメッセージの送信を停止します。

残りの制限は、今月のメッセージ送信に使用できる残額です。

強制制限を調整して、サポートに連絡しなくても支出を増減できます。

支出の請求アラームを設定するには、[使用量のモニタリング](#) を参照してください。の設定の詳細については AWS CLI、[AWS Command Line Interface ユーザーガイド](#) の「[AWS CLI の設定](#)」を参照してください。SMS、MMS、発信元 ID の料金の詳細については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

View your spending limits (console)

すべての支出制限を表示する

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. [概要] ページで、[SMS 支出状況] に移動します。
3. [SMS 支出状況] ペインでは、[アカウント制限]、[強制制限]、[残りの制限] を表示できます。

[強制制限] に - が表示される場合は、制限が設定されていないことを意味します。

View your enforced spending limit (AWS CLI)

[describe-spend-limits](#) コマンドを使用して、すべてのチャネルの支出制限を表示できます。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-spend-limits
```

コマンドが完了すると、各チャネルのアカウント制限と強制制限が返されます。

Change your enforced spending limit (Console)

支出制限を変更する

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。

2. [概要] ページで、[SMS 支出状況] に移動します。
3. [SMS 支出状況] ペインで、強制制限を変更するチャネルの [編集] を選択します。
4. [支出制限を編集] ウィンドウで、以下を選択します。
 - 強制支出制限を更新 – 1 からアカウント制限の間で新しい強制制限を入力します。
 - デフォルトで最大送信制限 – このオプションを選択すると、強制制限がアカウント制限に調整されます。
5. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Set enforced spending limit (AWS CLI)

[set-text-message-spend-limit-override](#) コマンドを使用して、SMS チャネルの強制制限を設定できます。音声チャネルの場合は、[set-voice-message-spend-limit-override](#) コマンドを使用します。

次のコマンドは、SMS チャネルの強制制限を引き上げる方法を示しています。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 set-text-message-spend-limit-override --monthly-limit NewEnforcedLimit
```

NewEnforcedLimit を 1 から SMS チャネルのアカウント制限の間の値に置き換えます。

コマンドが完了すると、新しく設定された制限の値が返されます。

Remove an enforced spending limit (AWS CLI)

[delete-text-message-spend-limit-override](#) コマンドを使用して、強制制限を SMS チャネルのアカウント制限に設定することができます。音声チャネルの場合は、[delete-voice-message-spend-limit-override](#) コマンドを使用します。

次のコマンドは、SMS チャネルの強制制限を削除する方法を示しています。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-text-message-spend-limit-override
```

コマンドが完了すると、強制された制限の値が返されます。

 Note

Notify には、SMS、MMS、音声の支出制限とは別の支出制限があります。Notify の使用制限の管理については、「」を参照してください [支出制限を通知する](#)。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のベストプラクティス

メッセージの作成と送信において最良の結果を得るには、以下のベストプラクティスを実行することをお勧めします。

トピック

- [SMS および MMS のベストプラクティス](#)
- [音声のベストプラクティス](#)

SMS および MMS のベストプラクティス

さらに、携帯電話キャリアは、大量の SMS 送信者や MMS 送信者を継続的に監査し、未承諾メッセージを送信していると判断した発信者からのメッセージを調整またはブロックします。

未承諾コンテンツの送信は、[AWS の適正利用規約](#)にも違反します。AWS エンドユーザーメッセージング SMS チームは、SMS および MMS メッセージを定期的に監査し、未承諾メッセージを送信しているように見える場合、メッセージを送信する機能をスロットリングまたはブロックすることがあります。

多くの国、リージョン、管轄区域では、未承諾 SMS または MMS メッセージの送信に多額の罰金を科しています。例えば、米国の Telephone Consumer Protection Act (TCPA) には、消費者が未承諾メッセージを 1 通受け取るたびに 500 ~ 1,500 USD の損害賠償を受け取ることができる (送信者が支払う) と規定されています。

Important

このセクションでは、顧客エンゲージメントを高め、罰金を回避するために役立つ可能性があるいくつかのベストプラクティスについて説明します。ただし、このセクションには法的なアドバイスは含まれていないことに注意してください。法的なアドバイスを受けるには、弁護士に相談してください。

メッセージコンテンツを作成する前に、[SMS プロトコルのセキュリティに関する考慮事項](#)と [SMS プロトコルセキュリティのベストプラクティス](#)を確認し、SMS チャンネルがユースケースに適していることを確認してください。

トピック

- [法律、規制、および通信事業者の要件の遵守](#)
- [禁止メッセージの内容](#)
- [許可を取得する](#)
- [古いリストにはメッセージを送信しないでください](#)
- [顧客リストを監査する](#)
- [レコードを保持する](#)
- [メッセージは明確、正直、簡潔にしてください](#)
- [適切に応答する](#)
- [エンゲージメントに基づく送信を調整する](#)
- [適切な時間に送信する](#)
- [複数チャンネルでの重複を回避する](#)
- [専用ショートコードを使用する](#)
- [送信先の電話番号を確認する](#)
- [冗長性を考慮した設計](#)
- [非アクティブ化された電話番号の処理](#)

法律、規制、および通信事業者の要件の遵守

あなたの顧客が所在する地域の法および規制に違反すると、高額な罰金と罰が課されます。このためにも、事業を展開する各国や各地域の SMS および MMS メッセージングに関する法律を理解することは非常に重要です。

Important

多くの国では、現地の通信事業者がネットワーク上を流れるトラフィックの種類を決定する最終権限を保有しています。つまり、通信事業者は、現地の法律の最低要件より厳しい制限を SMS および MMS コンテンツに課す可能性があります。

次のリストには、世界中の主要なマーケットにおける SMS および MMS コミュニケーションに適用される主要な法律のリンクが含まれています。このガイドはすべての地域の法律を網羅しているわけではないため、お客様側で調べることが重要です。

- 米国: 1991 年の電話利用者保護法 (TCPA) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、[規則および規制](#)を連邦通信委員会のウェブサイトで参照してください。
- 英国: 2003 年のプライバシーおよび電子通信に関する規制(EC 指令) (PECR) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、英国情報コミッショナーオフィスのウェブサイト「[What are PECR?](#)」を参照してください。
- EU: 2002 年のプライバシーおよび電子通信に関する規則指令 (ePrivacy 指令と呼ばれることもある) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、[法律全文](#)を Europa.eu ウェブサイトで参照してください。
- カナダ: インターネットおよび無線スパム対策法 (カナダのアンチスパム法あるいは CASL) は、特定の種類の SMS メッセージに適用されます。詳細については、[法律全文](#)をカナダ議会のウェブサイトで参照してください。
- 日本: 特定電子メールの送信の適正化等に関する法律は、特定の種類の SMS メッセージに適用される場合があります。

送信者として、会社または組織がこれらの国のいずれかに拠点を置いていない場合でも、これらの法律が適用される場合があります。このリストの一部の法規制は迷惑 E メールあるいは電話を対象に元々制定されたものもありますが、SMS および MMS メッセージにも同様に適用するとの見解や拡張解釈が行われています。その他の国々や地域では、SMS および MMS メッセージの送信に関する独自の法規制を設けています。顧客が所在する各国や各地域の弁護士に相談して、法的なアドバイスを受けてください。

禁止メッセージの内容

以下の内容は、全世界のすべてのメッセージタイプにおいて一般的に禁止されているコンテンツのカテゴリです。一部の国では、以下の表に記載されているコンテンツを許可している場合がありますが、どの国でも未承諾コンテンツを積極的に許可しているわけではありません。国やモバイル通信事業者によっては、ライブメッセージングを有効にする前に番号または送信者 ID を登録する必要があります。番号を発信元として利用または登録する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- 規制当局は番号登録に高い基準を設けているため、番号を登録するには有効なオプトインワークフローを提供する必要があります。詳細については、「[SMS のベストプラクティス: アクセス許可の取得](#)」を参照してください。
- サードパーティーの URL 短縮機能で作成された短縮 URL は使用しないでください。これらのメッセージはスパムとしてフィルター処理される可能性が高くなります。短縮 URL を使用する場合は、10LDC の電話番号またはショートコードを使用してください。これらの番号のいずれかを

使用するには、メッセージのテンプレートを登録し、メッセージに短縮 URL を含めるようにする必要があります。

- 通話料無料番号の場合、キーワードオプトアウトおよびオプトインの応答は、通信事業者レベルで STOP、UNSTOP を設定します。これらは使用できる唯一のキーワードであり、変更できません。ユーザーが STOP、UNSTOP で返信したときの応答メッセージも通信事業者によって管理されているため変更できません。
- 複数の番号を使用して、同じメッセージまたは類似のメッセージコンテンツを送信しないでください。これはスノーシュースパムと呼ばれ、スパマーが番号レートやボリュームの制限を回避するために使用する手法です。
- これらの業界に関連するメッセージは制限対象とみなされ、厳重にフィルタリングされるか、完全にブロックされる可能性があります。これには、制限対象のカテゴリに関連するサービスのワンタイムパスワードや多要素認証が含まれます。

非準拠のユースケースとして登録を拒否され、この指定が間違っていると思われる場合は、AWS サポート経由でリクエストを送信できます。

次の表は、制限されるコンテンツの種類を表しています。

Category	例
ギャンブル	• カジノ • 宝くじ • ギャンブルを提供するアプリケーション/ウェブサイト • 50/50 ラッフル • スポーツ賭博
高リスク金融サービス	• 給料日ローン • 短期高利ローン • 自動車ローン • 住宅ローン • 学生ローン • 債権回収 • 在庫アラート

Category	例
	• Cryptocurrency
債権放棄	• 債務統合 • 債務削減 • 信用回復プログラム • 債務軽減 • 第三者機関による債権回収
一攫千金計画	• 在宅就業プログラム • リスク投資の機会 • ピラミッドまたはマルチレベルのマーケティングスキーム • ミステリーショッピング
違法物	• 大麻/CBD • クラトム • パラフェルナリア製品 (吸引具) • 花火 • ベイプ/電子タバコ
処方薬	• 処方箋が必要な薬
フィッシング/スミッシング	• ユーザーに個人情報やウェブサイトのログイン情報を開示させようと試みること。 • フィッシング攻撃やスミッシング攻撃をシミュレートするセキュリティ意識向上トレーニング。使用目的が従業員のトレーニングのみであっても、これらのメッセージは SMS 経由では許可されません。

Category	例
S.H.A.F.T。	• 性別 • 憎悪 • アルコール • 銃器 • タバコ/ベープ
サードパーティーのリードジェネレーション	• 消費者情報を購入、販売、共有する企業 • アフィリエイト融資 • アフィリエイトマーケティング • 詐欺的なマーケティング

許可を取得する

送信する予定のメッセージについて特定のタイプの受信を明示的に要求していない受信者には、決してメッセージを送信しないでください。同じ会社内の組織間であっても、オプトインリストを共有しないでください。

受信者がオンラインフォームを使用してメッセージの受信にサインアップできる場合、本人が気づかずに自動スクリプトがサブスクライブすることを防止するシステムを追加してください。また、1回のセッションでユーザーが電話番号を送信できる回数を制限する必要があります。

SMS または MMS オプトインリクエストを受け取ったら、メッセージの受信を希望することを確認するメッセージを受信者に送信します。受信者がサブスクリプションを確認するまで、追加のメッセージを受信者に送信しないでください。サブスクリプション確認メッセージの例は次のとおりです。

Text YES to join ExampleCorp alerts. 2 msgs/month. Msg & data rates may apply. Reply HELP for help, STOP to cancel.

日付、時刻、各オプトインリクエストおよび確認のソースが含まれる記録を保持してください。これは、通信事業者または規制機関から依頼された場合に役立つことがあり、顧客リストの定期的な監査の実施にも役立つことがあります。

オプトインワークフロー

場合によっては、米国の通話料無料やショートコード登録など、モバイル通信事業者からオプトインワークフロー全体のモックアップまたはスクリーンショットの提供が求められる場合があります。モックアップまたはスクリーンショットは、受信者が完了するオプトインワークフローによく似ている必要があります。

モックアップまたはスクリーンショットには、最高レベルのコンプライアンスを維持するため、必要な以下の開示事項をすべて含める必要があります。

オプトインに必要な開示

- プログラムを通じて送信するメッセージングユースケースの説明。
- 「メッセージ料金とデータ料金が適用される場合があります」というフレーズ。
- 受信者がメッセージを受け取る頻度の提示。例えば、定期的なメッセージングプログラムでは、「週に 1 通のメッセージ」と表示される場合があります。ワンタイムパスワードまたは多要素認証のユースケースでは、「メッセージの頻度は異なる」または「ログイン試行ごとに 1 通のメッセージ」と表示される場合があります。
- 利用規約とプライバシーポリシー文書へのパブリックアクセス可能なリンク。

Note

利用規約およびプライバシーポリシードキュメントへのパブリックアクセス可能なリンクがない場合は、登録フォームや [Amazon S3 の署名付き URL](#) などの別の方法に添付することもできます。

コンプライアンス違反オプトインの一般的な拒否理由

- 提供された会社名がモックアップまたはスクリーンショットに記載されているものと一致しない場合。明確ではない関係については、オプトインワークフローの説明で説明する必要があります。
- メッセージが受信者に送信されるように見えても、送信前に明示的に同意が得られない場合。すべてのメッセージには、対象の受信者からの明示的な同意が必要です。
- サービスにサインアップするためにテキストメッセージの受信が必要と思われる場合。ワークフローが、電子メールや音声通話などの別の形式でオプトインメッセージを受信する代替手段を提供していない場合、これは準拠しません。
- オプトイン言語がすべて利用規約に記載されている場合。開示内容は、リンク先のポリシー文書の中に入れるのではなく、オプトイン時に必ず受信者に提示する必要があります。

- 顧客があるタイプのテキストメッセージを受信することに同意し、他のタイプのテキストメッセージを送信する場合。例えば、顧客はワンタイムパスワードの受信には同意しましたが、投票メッセージやアンケートメッセージも送信されます。
- 上記に記載された必要な開示事項が受信者に提示されない場合。

次の例は、多要素認証のユースケースに関する携帯端末通信業者の要件に準拠しています。

examplecorp

Ready to create your example.com account? We're glad to hear it! We just need a few pieces of information. Fields marked with * are required.

First name*

Last name*

Email address*

Next >

examplecorp

You can enable Multi-Factor Authentication (MFA) to protect your account. If you do, we'll send you a unique password each time you sign in. Do you want to enable this feature?

☒ Enable MFA

☐ Disable MFA (less secure)

Next >

examplecorp

How do you want to receive MFA messages? Choose one option.

☒ Email

☐ Phone call

☐ Text message

Message and data rates may apply. If you choose to receive MFA passwords as text messages, we'll send you one text message per login attempt. To stop receiving messages, text "STOP" to 98765. For more information, text "HELP."

[Terms & Conditions](#) | [Privacy Policy](#)

Mobile number

When you press the **Next** button, we'll send you an MFA password to verify your phone number.

Next >

This section only appears when 'Text message' is selected

1. User provides basic account information.

2. User decides whether to enable MFA.

3. If MFA enabled, user chooses how to receive MFA token.

examplecorp

We sent a text message to you at (425) 555-0142. Enter the six digit code in that message to confirm your phone number.

[Resend code](#)

— — — — —

1	2 ABC	3 DEF
4 GHI	5 JKL	6 MNO
7 PQRS	8 TUV	9 WXYZ
+ * #	0	<X>

examplecorp

Ready to create your example.com account? We're glad to hear it! We just need a few pieces of information. Fields marked with * are required.

First name*

Last name*

Email address*

Next >

examplecorp

You can enable Multi-Factor Authentication (MFA) to protect your account. If you do, we'll send you a unique password each time you sign in. Do you want to enable this feature?

☒ Enable MFA

☐ Disable MFA (less secure)

Next >

examplecorp

How do you want to receive MFA messages? Choose one option.

☒ Email

☐ Phone call

☐ Text message

Message and data rates may apply. If you choose to receive MFA passwords as text messages, we'll send you one text message per login attempt. To stop receiving messages, text "STOP" to 98765. For more information, text "HELP."

[Terms & Conditions](#) | [Privacy Policy](#)

Mobile number

When you press the **Next** button, we'll send you an MFA password to verify your phone number.

Next >

4. If user chooses to receive MFA token by text, send a token.

5. User enters MFA token to verify phone number.

完成したテキストと画像が含まれ、オプトインフロー全体が注釈付きで表示されます。オプトインフローでは、顧客はテキストメッセージの受信に同意するために、明確な意図的行動をとり、必要な開示事項をすべて含める必要があります。

その他のオプトインワークフロータイプ

携帯端末通信業者は、前のセクションの規定に準拠している場合、口頭または書面によるオプトインなど、アプリケーションやウェブサイト以外のオプトインワークフローも受け入れます。コンプライアンスに準拠したオプトインワークフローと、口頭または書面によるスクリプトは、特定のメッセージタイプを受信することについて、受信者から明示的な同意を得ます。例えば、サービスデータベースに記録する前にサポートエージェントが同意を得るために使用する口頭スクリプトや、販促用チラシに記載されている電話番号などがあります。これらのオプトインワークフロータイプのモックアップには、オプトインスクリプト、マーケティング資料、または数字が収集されているデータベースのスクリーンショットを提供できます。オプトインが明確ではない場合やユースケースが一定量を超える場合、携帯端末通信業者はこれらのユースケースに関して追加の質問をすることがあります。

SMS および MMS 固有の利用規約ページ

また、携帯端末通信事業者は、特定の SMS および MMS 利用規約を顧客が利用できるようにする必要があります。以下の利用規約は、携帯端末通信事業者の要件に準拠しています。これらの利用規約をコピーし、ユースケースに合わせて変更できます。

Important

これらの利用規約をコピーする場合は、{中かっこ} で囲まれたすべての項目をユースケースに適した値に置き換えてください。また、これらの利用規約は、公開する前に法務部門で確認する必要があるため、それに応じて計画してください。

- サービスにオプトインすると、{送信予定のメッセージの説明} が送信されます。
- {ショートコードまたは電話番号} に「STOP」というテキストを送信すると、SMS または MMS サービスをいつでもキャンセルできます。「STOP」という SMS メッセージを送信すると、サブスクリプションが解除されたことを確認する SMS メッセージを返信します。その後、追加の SMS メッセージは送信されません。再度利用する場合は、初回と同様にサインアップしてください。その後、SMS および MMS メッセージの配信が再開されます。
- 詳細情報は、{ショートコードまたは電話番号} に「HELP」と入力することにより、いつでも取得できます。「HELP」という SMS メッセージを送信すると、サービスの利用方法とサブスクリプション解除の方法に関する手順を返信します。
- 次の携帯端末通信事業者にメッセージを配信できます。主要通信事業者: AT&T、Verizon Wireless、Sprint、T-Mobile、MetroPCS、US Cellular、Alltel、Boost Mobile、Nextel、Virgin Mobile。中小通信事業者: Alaska Communications Systems (ACS)、Appalachian

Wireless (EKN)、Bluegrass Cellular、Cellular One of East Central IL (ECIT)、Cellular One of Northeast Pennsylvania、Cincinnati Bell Wireless、Cricket、Coral Wireless (Mobi PCS)、COX、Cross、Element Mobile (Flat Wireless)、Epic Touch (Elkhart Telephone)、GCI、Golden State、Hawkeye (Chat Mobility)、Hawkeye (NW Missouri)、Illinois Valley Cellular、Inland Cellular、iWireless (Iowa Wireless)、Keystone Wireless (Immix Wireless/ PC Man)、Mosaic (Consolidated または CTC Telecom)、Nex-Tech Wireless、NTelos、Panhandle Communications、Pioneer、Plateau (Texas RSA 3 Ltd)、Revol、RINA、Simmetry (TMP Corporation)、Thumb Cellular、Union Wireless、United Wireless、Viaero Wireless、および West Central (WCC または 5 Star Wireless)。通信事業者は、メッセージの遅延または未配信について責任を負いません。

- 当社からお客様へ、またはお客様から当社へ送信されるメッセージには、メッセージおよびデータ料金が適用される場合があります。{期間} ごとに {メッセージの頻度} メッセージを受信します。テキストプランまたはデータプランの詳細については、携帯通信事業者にお問い合わせください。このショートコードで提供されるサービスについてご質問がある場合は、{サポートの E メールアドレス} まで E メールでお問い合わせください。
- プライバシーについてご質問がある場合は、{プライバシーポリシーへのリンク} のプライバシーポリシーを参照してください。

Important

これらの利用規約のコピーを顧客に提供しない場合、通信事業者はショートコードの申請を承認しません。これらの条件を確認後、パブリックアクセス可能な場所にホストする計画を立ててください。これらの利用規約にリンクする URL は、すべてのショートコードの申請に必須の要素です。ショートコードリクエストの送信時にこの URL が公開されていない場合は、URL を決定し、リクエストに添付するファイルに利用規約のコピーを含めてください。

古いリストにはメッセージを送信しないでください

人は電話番号を頻繁に変更します。2 年前に連絡先として同意を得た電話番号は、今では他の誰かが使用しているかもしれません。新しいメッセージングプログラムに古い電話番号リストを使用しないでください。使用した場合、電話番号が既に使用されていないか、そもそも同意したことを忘れてオプトアウトする人がいるため、一部のメッセージが送信されない場合があります。

顧客リストを監査する

定期的な SMS または MMS メッセージを送信している場合、顧客リストを定期的に監査してください。顧客リストを監査すると、メッセージを受信する顧客だけがメッセージを確実に受信することを確認しやすくなります。

リストを監査するときは、オプトインしている各顧客に、サブスクライブしていることを再確認するメッセージを送信し、サブスクライブ解除に関する情報を提供します。再確認メッセージの例は次のとおりです。

You're subscribed to ExampleCorp alerts. Msg & data rates may apply. Reply HELP for help, STOP to unsubscribe.

レコードを保持する

SMS および MMS メッセージを送信するよう各顧客よりリクエストされた日時と、各顧客に送信したメッセージを示すレコードを保持します。世界の多くの国や地域では、SMS および MMS の送信者がこれらのレコードを簡単に取り出せるように維持する必要があります。また、この情報は、携帯端末通信事業者より随時リクエストされる場合があります。提供する必要がある情報は、国または地域によって異なります。レコード維持の要件の詳細は、顧客が所在する国または地域ごとの商用 SMS メッセージングの規制を確認します。

場合によっては、キャリアや規制機関より、顧客がメッセージの受け取りを選択した事実の提供を求められることがあります。このような状況では、 から通信事業者または機関が必要とする情報のリストが サポート 届きます。必要な情報を提供しない場合は、以降の SMS および MMS メッセージを送信する機能が一時停止される場合があります。

メッセージは明確、正直、簡潔にしてください

SMS はユニークなメディアです。メッセージあたり 160 文字という制限があるため、メッセージは簡潔にする必要があります。電子メールなど、他の通信チャネルで使用する手法が SMS チャネルでは適用できない場合があります。SMS メッセージで使用するすると不正または詐欺的に思われる場合もあります。メッセージの内容がベストプラクティスに沿っていない場合、受信者はメッセージを無視する場合があります。最悪のシナリオでは、携帯端末通信事業者はメッセージをスパムとして識別し、以降はその電話番号からのメッセージをブロックすることがあります。

MMS のメッセージ本文は 1,600 文字までの制限があります。メッセージは簡潔である必要はありませんが、ベストプラクティスに従う必要があります。

次のセクションでは、効果的な SMS メッセージ本文を作成するためのヒントやアイデアをいくつか紹介します。

自分が送信者であることを明記してください

受信者は、メッセージがあなたから送信されたものであることをすぐに理解する必要があります。このベストプラクティスに従って、送信者は各メッセージの最初に識別名（「プログラム名」）を含めます。

この操作はしないでください。

```
Your account has been accessed from a new device. Reply Y to confirm.
```

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Financial Alerts: You have logged in to your account from a new device. Reply Y to confirm, or STOP to opt-out.
```

メッセージを個人から個人へのメッセージのように記載しない

マーケティング担当者の中には、メッセージを個人から送信されたように見せて、メッセージに個人的なタッチを加えようと思う人もいます。ただし、この手法を使用すると、メッセージがフィッシング詐欺のように受け取られる場合があります。

この操作はしないでください。

```
Hi, this is Jane. Did you know that you can save up to 50% at Example.com? Click here for more info: https://www.example.com.
```

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Offers: Save 25-50% on sale items at Example.com. Click here to browse the sale: https://www.example.com. Text STOP to opt-out.
```

お金の話には注意する

詐欺師は、お金を貯めたり、受け取りたいという人の欲求につけ込むことがよくあります。「話がうますぎる」と思わせるようなオファーを記載してはいけません。人を欺くためにお金の誘惑を使用してはいけません。通貨記号を使ってお金を示してはいけません。

この操作はしないでください。

```
Save big $$$ on your next car repair by going to https://  
www.example.com.
```

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Offers: Your ExampleCorp insurance policy gets you discounts  
at 2300+ repair shops nationwide. More info at https://www.example.com.  
Text STOP to opt-out.
```

必要な文字のみを使用する

ブランドは、多くの場合において、メッセージに ™ や ® などの商標記号を含めることで商標を保護する傾向があります。ただし、これらの記号は、160 文字の SMS メッセージに含めることができる標準文字セットには含まれていません。これらの文字は、GSM アルファベットと呼ばれます。これらの文字のいずれかを含むメッセージを送信すると、メッセージは別の文字エンコーディングシステムを使用して自動送信されます。このシステムでは、メッセージパーツごとに 70 文字までしかサポートされません。その結果、メッセージが複数に分割される可能性があります。送信するメッセージパーツごとに料金が請求されるため、メッセージ全体の送信にかかる費用が予想よりも高くなる可能性があります。さらに、受信者は 1 つのメッセージではなく、複数の連続したメッセージを受信する場合があります。SMS の文字エンコーディングの詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。

この操作はしないでください。

```
ExampleCorp Alerts: Save 20% when you buy a new ExampleCorp Widget® at  
example.com and use the promo code WIDGET.
```

代わりにこれを試してください:

```
ExampleCorp Alerts: Save 20% when you buy a new ExampleCorp Widget(R) at  
example.com and use the promo code WIDGET.
```

Note

上記の 2 つの例はほとんど同じですが、最初の例には GSM アルファベットではない登録商標記号 (®) が含まれています。その結果、最初の例は 2 つのメッセージパーツとして送信され、2 番目の例は 1 つのメッセージパーツとして送信されます。

有効で安全なリンクを使用する

メッセージにリンクが含まれている場合は、そのリンクが機能することを再確認してください。内部ネットワーク外のデバイスでリンクをテストして、リンクが正しく解決されることを確認します。SMS メッセージは 160 文字に制限されているため、URL が非常に長いと複数のメッセージに分割される可能性があります。短縮 URL を指定するには、リダイレクトドメインを使用する必要があります。ただし、tinyurl.com や bitly.com などの無料のリンク短縮サービスを使用しないでください。通信事業者は、そのドメイン上のリンクを含むメッセージをフィルタリングする傾向があります。リンクが会社または組織の排他的使用専用のドメインを指している限り、有料のリンク短縮サービスを使用できます。

この操作はしないでください。

Go to <https://tinyurl.com/4585y8mr> today for a special offer!

代わりにこれを試してください:

ExampleCorp Offers: Today only, get an exclusive deal on an ExampleCorp Widget. See <https://a.co/cFKmaRG> for more info. Text STOP to opt-out.

使用する略語数を制限する

SMS チャネルには 160 文字の制限があるため、一部の送信者は、メッセージに略語を多用する必要があります。しかし、略語を使いすぎると、多くの読者は企業からのものではないと受け止められ、一部のユーザーがメッセージをスパムとして報告する可能性があります。略語を多用せずに、首尾一貫したメッセージを書くことは至って可能です。

この操作はしないでください。

Get a gr8 deal on ExampleCorp widgets when u buy a 4-pack 2day.

代わりにこれを試してください:

ExampleCorp Alerts: Today only—an exclusive deal on ExampleCorp Widgets at example.com. Text STOP to opt-out.

適切に応答する

受信者がメッセージに返信したときは、有用な情報で応答するようにしてください。例えば、顧客がメッセージの1つにキーワード「HELP」で反応した場合、サブスクライブしているプログラム、毎月送信されるメッセージの数、詳細情報が必要な場合の連絡方法に関する情報を送信します。HELP レスポンスメッセージの例は次のとおりです。

HELP: ExampleCorp alerts: email help@example.com or call 425-555-0199. 2 msgs/month. Msg & data rates may apply. Reply STOP to cancel.

顧客がキーワード「STOP」で返信した場合、今後はメッセージが送信されないことを知らせます。STOP レスポンスメッセージの例は次のとおりです。

You're unsubscribed from ExampleCorp alerts. No more messages will be sent. Reply HELP, email help@example.com, or call 425-555-0199 for more info.

エンゲージメントに基づく送信を調整する

顧客の優先順位は時間の経過とともに変わる可能性があります。顧客がメッセージを必要としなくなった場合、メッセージを完全にオプトアウトしたり、メッセージを未承諾として報告したり可能性があります。このため、顧客とのエンゲージメントに基づいて送信手続きを調整することは重要です。

メッセージにめったに反応しない顧客の場合、メッセージの頻度を調整する必要があります。例えば、反応の多い顧客にメッセージを毎週送信している場合、反応の少ない顧客用に別の毎月のダイジェストを作成できます。

最後に、まったく反応のない顧客を顧客リストから削除します。このステップにより、顧客がメッセージを不満に感じることはなくなります。また、コストを削減し、送信者としての評判を維持することもできます。

適切な時間に送信する

通常の営業時間中にメッセージを送信します。メッセージを夕食や深夜の時間帯に送信している場合、顧客が邪魔をされないようにリストからサブスクリプション解除する可能性が高くなります。顧客がすぐに応答できない場合、SMS または MMS メッセージの送信を控えるようにします。

キャンペーンやジャーニーを多くの受信者に送信する場合は、発信者電話番号のスループットレートを再確認してください。受信者数をスループットレートで割ると、すべての受信者にメッセージを送信するのにかかる時間が分かります。

複数チャンネルでの重複を回避する

キャンペーンで、複数の通信チャンネル (E メール、SMS、MMS、プッシュメッセージ) を使用している場合、各チャンネルで同じメッセージを送信しないでください。同じメッセージを複数のチャンネルで同時に送信すると、顧客は送信動作を有用ではなく迷惑だと受け取る可能性が高くなります。

専用ショートコードを使用する

ショートコードを使用している場合、ブランドおよびメッセージタイプごとに別個のショートコードを維持します。例えば、会社に 2 つのブランドがある場合、それぞれ別のショートコードを使用します。同様に、トランザクションメッセージとプロモーションメッセージの両方を送信している場合、メッセージタイプごとに別のショートコードを使用するか、トランザクション用にショートコードを一度登録し、プロモーション用に別の登録を作成します。ショートコードのリクエストについては、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

送信先の電話番号を確認する

SMS および MMS メッセージを AWS エンドユーザーメッセージング SMS 経由で送信すると、送信するメッセージパートごとに課金されます。メッセージパーツごとに支払う料金は、受信者の国や地域によって異なります。SMS と MMS の料金の詳細については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS が SMS または MMS メッセージを送信するリクエストを受け入れると、そのメッセージの送信に対して課金されます。このステートメントは、たとえ意図した受信者が実際にメッセージを受け取らなかったとしても有効です。例えば、受信者の電話番号が使われていなかった場合や、有効ではない携帯電話番号にメッセージを送信した場合でも、メッセージの送信は課金対象となります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、SMS メッセージを送信するための有効なリクエストを受け入れ、配信を試みます。このため、メッセージを送信する電話番号が有効な携帯電話番号であることを検証する必要があります。Amazon Pinpoint phone number validation service を利用することで、電話番号が有効かどうか、どのような種類の電話番号か (携帯電話、固定電話、VoIP など) を検証することができます。詳細については、「Amazon Pinpoint デベロッパーガイド」の「[電話番号の検証](#)」を参照してください。

冗長性を考慮した設計

ミッションクリティカルなメッセージングプログラムでは、複数の AWS エンドユーザーメッセージング SMS を設定することをお勧めします AWS リージョン。AWS エンドユーザーメッセージング SMS は複数の AWS リージョンで利用できます。AWS エンドユーザーメッセージング SMS が利用可能なリージョンの完全なリストについては、「[AWS 全般のリージョンとエンドポイント](#)」を参照してください。

ショートコード、ロングコード、通話料無料、10DLC 番号など、SMS または MMS メッセージに使用する電話番号は AWS リージョンで複製することはできません。そのため、複数のリージョンで AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用するには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用するリージョンごとに個別の電話番号をリクエストする必要があります。たとえば、ショートコードを使用して米国の受信者にテキストメッセージを送信する場合は、AWS リージョンで使用する各リージョンで個別のショートコードをリクエストする必要があります。

一部の国では、冗長性を高めるために複数のタイプの電話番号を使用することもできます。例えば、米国では、ショートコード、10DLC 番号、通話料無料の番号をリクエストすることができます。これらの電話番号タイプはそれぞれ、受信者へのルートが異なります。同じまたは複数の AWS リージョン または複数の電話番号タイプを使用できる AWS リージョンと、冗長性がさらに強化され、耐障害性の向上に役立ちます。

非アクティブ化された電話番号の処理

非アクティブ化された電話番号は、携帯電話サブスクリバイバーがサービス契約を終了したか、電話番号を別のモバイルネットワークプロバイダーに移したことを意味します。最終的に、無効化された電話番号はリサイクルされ、新しいサブスクリバイバーに再割り当てされます。そのため、SMS または MMS メッセージプログラムにオプトインしていない別のサブスクリバイバーの電話番号に、誤って SMS または MMS メッセージが送信される可能性があります。

モバイルネットワークプロバイダーは、ネットワーク内の非アクティブ化された電話番号の最新リストを含む非アクティブ化レポートを頻繁に発行します。これらのレポートは、SMS および MMS 送信リストを最新かつ準拠した状態に保つ助けとなるように公開されています。

 Note

非アクティブ化レポートに記載されている携帯電話番号の多くは、サブスクライバーが別のモバイルネットワークプロバイダーに移した番号です。モバイルネットワークプロバイダーを変更するには、新しいモバイルネットワークプロバイダーからのオプトインが必要です。非アクティブ化された番号でエンドユーザーが引き続きメッセージを受け取ると考えていると、その番号を削除することにはリスクがあります。エンドユーザーの電話番号が非アクティブ化されていることがわかった場合、E メールや音声通話などの異なるチャネルを通じてエンドユーザーとやり取りできます。

非アクティブ化された電話番号の取り扱いが重要なのはなぜですか？

米国では、連邦通信委員会 (FCC) は、プロジェクトにオプトインしていないサブスクライバーの電話番号にメッセージを送信することをスパムと見なしています。このような行為について、エンドユーザーやモバイルネットワークプロバイダーから苦情が寄せられ、監査につながる可能性があります。また、SMS および MMS メッセージの送信がモバイルネットワークプロバイダーによって完全にブロックされるリスクもあります。最悪のシナリオでは、FCC から罰金を科されたり、集団訴訟の対象になったりする可能性があります。

さらに、AWS エンドユーザーメッセージング SMS を介して SMS または MMS メッセージを送信すると、送信するメッセージごとに課金されます。エンドユーザーリストを最新の状態に保つことで、不必要なメッセージについての請求を防ぐことができます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、非アクティブ化レポートのコピーを提供し、すべてのエンドユーザーリストを定期的に最新の状態に保つことができます。これらのレポートはモバイルネットワークプロバイダーから送信され、毎日処理されます。各レポートには、モバイルネットワークプロバイダーのネットワークで非アクティブ化された電話番号のリストが含まれています。これらをダウンロードして、既存のエンドユーザーリストと比較する必要があります。非アクティブ化されたすべての電話番号をエンドユーザーリストから削除します。

非アクティブ化レポートのリクエスト

非アクティブ化レポートのコピーを入手するには、まず、ファイルをダウンロードするためにリクエスト支払いバケットオプションを使用して、Amazon S3 GET OBJECT API リクエストにより、非アクティブ化レポートをリクエストする必要があります。リクエスト支払いバケットの詳細については、「[Amazon S3 ユーザーガイド](#)」の「[リクエスト支払いバケットからのオブジェクトのダウンロード](#)」を参照してください。

また、リクエスト支払いオプションを必要とする S3 バケットやオブジェクトに対するリクエストについては、料金が発生します。S3 リクエストのコストはリクエストタイプに基づいており、リクエスト数に応じて請求されます。S3 リクエストのコストの詳細については、「[Amazon S3 の料金](#)」を参照してください。

Note

非アクティブ化レポートでは、米国の電話番号のみが取得されます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS には、2 種類の非アクティブ化レポートが用意されています。使いやすくするため、最新の非アクティブ化レポートが必要な場合は、最新のオブジェクト形式を使用してリクエストを送信できます。特定の日付の非アクティブ化レポートが必要な場合は、日付固有のオブジェクト形式を使用してリクエストを送信できます。

Note

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、過去 90 日間の日付固有のオブジェクトのみを保存します。

次のテンプレートの例では、AWS CLIを介して非アクティブ化レポートをリクエストできます。の設定の詳細については AWS CLI、[AWS Command Line Interface ユーザーガイド](#)の「[AWS CLI の設定](#)」を参照してください。

Bucket name format: `{region}-pinpoint-sms-voice/`

Latest object format: `/sms-deact-reports/{iso2}/latest-deact-report.csv`

Date specific object format: `/sms-deact-reports/{iso2}/{YYYY}-{MM}-{DD}-deact-report.csv`

上の例に、以下の変更を加えます。

- `{region}` を、などのレポートをホスト AWS リージョン する に置き換えますus-east-1。バケット名 AWS リージョン でサポートされている のリストについては、の「[エンドポイントとクォータ](#)」を参照してくださいAWS 全般のリファレンス。
- `{iso2}` を、その国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コードに置き換えます。
- `{YYYY}` を 4 桁の年に置き換えます。

- `{MM}` を 2 桁の月に置き換えます。
- `{DD}` を 2 桁の日に置き換えます。

次の例は、AWS CLI コマンドを使用して最新の非アクティブ化レポートをリクエストする方法を示しています。

```
aws s3api get-object --bucket us-east-1-pinpoint-sms-voice --key sms-deact-reports/us/latest-deact-report.csv OUTFILE.csv --request-payer requester
```

次の例は、AWS CLI コマンドを使用して日付固有の非アクティブ化レポートをリクエストする方法を示しています。

```
aws s3api get-object --bucket us-east-1-pinpoint-sms-voice --key sms-deact-reports/US/2023-09-28-deact-report.csv OUTFILE.csv --request-payer requester
```

Amazon S3 GET OBJECT API リクエストが送信されると、コマンドで指定された OUTFILE.csv に非アクティブ化レポートがダウンロードされます。

Amazon S3 API を使用して、非アクティブ化レポートのリストを取得できます。非アクティブ化レポートは、埋め込みの sms-deact-reports/us/ フォルダ内でのみ一覧表示できます。

次の例は、使用可能な非アクティブ化レポートのリストを取得する方法を示しています。

```
aws s3api list-objects-v2 --bucket us-east-1-pinpoint-sms-voice --prefix "sms-deact-reports/us/" --request-payer requester
```

音声のベストプラクティス

このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した音声メッセージの送信に関連するいくつかのベストプラクティスについて説明します。これらのプラクティスは、受信者の満足度を高め、予期しない請求を防ぐのに役立ちます。

このセクションのトピック:

- [法律と規制の遵守](#)
- [適切な時間に送信する](#)
- [複数チャンネルでの重複を回避する](#)
- [音声不正被害の防止](#)

法律と規制の遵守

あなたの顧客が所在する地域の法および規制に違反すると、高額な罰金と罰が課されます。このためにも、事業を展開する各国の自動音声通話に関する法律を理解することは非常に重要です。送信者としての立場から、上記の国々に所在していない場合でもこれらの法規制の適用対象となる場合があります。お客様は、適用されるすべての法律を遵守する責任があります。一部の国の行政区分では、親国よりも厳しい規則が定められていることに注意してください。例えば、米国のいくつかの州では、音声通話に関する規則が米国連邦法よりも厳しくなっています。この情報は、法的なアドバイスを意図したものではありません。顧客が所在する各国や各地域の弁護士に相談して、法的なアドバイスを受けてください。

適切な時間に送信する

メッセージは、各受信者のタイムゾーンの通常の日中の営業時間にのみ送信します。メッセージを夕食や深夜の時間帯に送信している場合、顧客がその後改めて邪魔をされないようにリストから登録解除する可能性が高くなります。さらに、多くの国や地域では、ユーザーが自動メッセージを受信できる日時が制限されています。規制は国によって異なりますが、午前 9 時以前または午後 8 時以降にメッセージを送信しないことをお勧めします。また、多くの国では日曜日や祝日にメッセージを送信することも禁止されています。この情報は、法的なアドバイスを意図したものではありません。顧客が所在する各国や各地域の弁護士に相談して、法的なアドバイスを受けてください。

複数チャンネルでの重複を回避する

複数の通信チャンネル (音声、E メール、SMS、プッシュメッセージなど) を使用している場合、正当な理由がない限り、複数のチャンネルで同じメッセージを送信しないでください。同じメッセージを複数のチャンネルで同時に送信すると、顧客はこの動作を有用ではなく迷惑だと受け取る可能性が高くなります。

音声不正被害の防止

音声通話にはコストがかかる可能性があるため、不正アクセスから AWS アカウントを保護し、送信するメッセージの送信先をモニタリングすることが重要です。

IAM ロール、ポリシー、ユーザーを慎重に管理する

一般的に、ユーザーの IAM ポリシーでは、最小特権、つまりタスクの実行に必要なアクセス許可のみを付与し、それ以外は付与しないようにする必要があります。これらのアクセス許可を制限して、アクセスを少数のユーザーに限定することができます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM のセキュリティのベストプラクティス](#)」を参照してください。

さらに、ユーザーのパスワードとアクセスキーは定期的に変更する必要があります。パスワードとアクセスキーを変更するプロセスは、認証情報のローテーションと呼ばれます。詳細については、[IAM のセキュリティのベストプラクティス](#)を参照してください。

送信先の国を把握する

音声メッセージの送信に支払う 1 分あたりの料金は、受信者の国によって異なります。受信者の電話番号の国コードが、受信者がどの国にいるかを知るための最良の方法とは限りません。例えば、多くの送信者は、米国とカナダが同じ国コード (+1) を使用していることを認識しています。しかし、他の 23 の国と地域 (主に太平洋とカリブ海) でもこの国コードが使用されていることを認識していないかもしれません。これらの国の中には、音声メッセージを送信すると、他の国よりも大幅にコストがかかる場合があります。例えば、米国とカナダの受信者へのメッセージ送信は 1 分あたり 0.013 USD ですが、ジャマイカへの送信には 1 分あたり 0.564 USD かかります¹。これら 3 か国すべての電話番号は +1 で始まり、その後に 10 桁が続くため、慣れていない人には見分けるのが難しい場合があります。

[Amazon Pinpoint 電話番号検証サービス](#)を使用すると、メッセージを送信する先の各電話番号の国を確認できます。

送信先を特定の国に限定する

特定の国の受信者のみにメッセージを送信する予定の場合は、その国のみにメッセージを送信するようにメッセージ送信アプリケーションを設定します。

送信するメッセージの数を特定数に限定する

同じ受信者に 1 日に送信できる音声メッセージの数を特定数に限定できるようにアプリケーションを設定します。

¹ 表示されている価格は、2021 年 12 月現在のものです。1 分あたりの料金は変更される場合があります。現在の料金については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

SMS および MMS の制限と規制

SMS プロトコルには、複数の制限や規制が適用されています。例えば、各 SMS メッセージの長さを制限する技術的な制限があり、MMS ではメディアファイルのサイズとメッセージ本文の長さに制限があります。また、SMS と MMS を使用して送信できるコンテンツの種類に関する規制があります。このトピックでは、これらの制限と規制について説明します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で SMS および MMS メッセージングを設定するときは、これらの制限と制約を考慮する必要があります。ベストプラクティスとして、「[SMS および MMS のベストプラクティス](#)」で説明する技術を実装することもお勧めします。

トピック

- [SMS 文字制限](#)
- [MMS ファイルの種類、サイズ、文字数の制限](#)
- [メッセージパーツ/秒 \(MPS\) の制限とは](#)
- [メッセージタイプとメッセージルートの違い](#)

SMS 文字制限

1 回の SMS メッセージには、最大 140 バイトの情報を含めることができます。1 回の SMS メッセージに使用できる文字数は、メッセージに含む文字の種類によって異なります。

GSM 7-bit アルファベットとしても知られる「GSM 03.38 文字セット」のみがメッセージに使用されている場合は、最大 160 文字含めることができます。メッセージに GSM 03.38 文字セット以外の文字を使用する場合は、最大 70 文字含めることができます。SMS メッセージを送信すると、AWS エンドユーザーメッセージング SMS は使用する最も効率的なエンコードを自動的に決定します。

メッセージに最大文字数を超える文字を含めると、メッセージは複数のパートに分割されます。メッセージが複数のパートに分割されると、各パートには、その前のメッセージパートに関する追加情報が含まれます。受取人のデバイスは、このように分割されたメッセージパートを受信すると、この追加情報を使用して、すべてのメッセージパートを正しい順で表示します。受取人の携帯通信事業者やデバイスによっては、複数のメッセージが、1 つのメッセージとして表示されたり、個別のメッセージのシーケンスとして表示されたりする場合があります。その結果として、各メッセージパートの文字数は 153 (GSM 03.38 の文字のみを含むメッセージの場合) または 67 (他の文字を含むメッセージの場合) に減少します。SMS の長さ計算ツールを使用すると、メッセージを送信する前にメッセー

ジに含まれるメッセージパートの数を推定できます。これらのツールのいくつかはオンラインで入手できます。メッセージの最大サポートサイズは、1530 GSM 文字または 630 非 GSM 文字です。メッセージサイズがサポートされているサイズより大きい場合、メッセージは失敗し、AWS エンドユーザーメッセージング SMS は無効なメッセージ例外を返します。スループットとメッセージサイズの詳細については、「[メッセージパート/秒 \(MPS\) の制限とは](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS はすべての言語をサポートしていますが、受信者のモバイルキャリアとその規制によっては、特定の記号がケースバイケースで制限される場合があります。GSM 03.38 文字以外の文字を含む言語でメッセージを送信する場合、各メッセージパートの文字は 67 に減少します。

Important

複数のメッセージパートを含むメッセージを送信すると、メッセージ内のメッセージパート数に応じて課金されます。スループットとメッセージサイズの詳細については、「[メッセージパート/秒 \(MPS\) の制限とは](#)」を参照してください。

GSM 03.38 文字セット

GSM 03.38 文字セットに含まれるすべての文字を次のテーブルに示します。次のテーブルに示す文字のみを含むメッセージを送信する場合、そのメッセージには最大 160 文字を含めることができます。

GSM 03.38 標準文字												
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
ある	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m
n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
à	Å	å	Ä	ä	Ç	É	é	è	ì	Ñ	ñ	ò
Ø	ø	Ö	ö	ù	Ü	ü	Æ	æ	ß	0	1	2
3	4	5	6	7	8	9	&	*	@	:	,	¤

GSM 03.38 標準文字												
\$	=	!	>	#	-	i	¿	(	<	%	.	+
£	?	"	)	§	;	'	/	_	¥	Δ	Φ	Γ
Λ	Ω	Π	Ψ	Σ	Θ	Ξ						

GSM 03.38 文字セットには、前述のテーブルに示す記号に加えて、複数の記号が含まれています。ただし、これらの文字には、表示されないエスケープ文字も含まれているため、それぞれ 2 文字としてカウントされます。

- ^
- {
- }
- \
- [
-]
- ~
- |
- €

最後に、GSM 03.38 文字セットには、次の非表示の文字も含まれています。

- 空白文字。
- 改行制御。テキストのある行の行末であるとともに、次の行の先頭であることを示します。
- キャリッジリターン制御。テキストの行の先頭に移動します (通常は次の改行文字)。
- エスケープ制御。前述のリストの文字に自動的に追加されます。

メッセージの例

このセクションでは、SMS メッセージの例をいくつか示します。例ごとに、メッセージのメッセージパート数と合計文字数を示します。

例 1: GSM 03.38 アルファベットの文字のみを含む長いメッセージ

次のメッセージには、GSM 03.38 アルファベットの文字のみが含まれています。

Hello Carlos. Your Example Corp. bill of \$100 is now available. Autopay is scheduled for next Thursday, April 9. To view the details of your bill, go to <https://example.com/bill1>.

上のメッセージには 180 文字が含まれているため、複数のメッセージパートに分割する必要があります。メッセージを複数のメッセージパートに分割した場合、各パートには 153 文字の GSM 03.38 を含めることができます。その結果、このメッセージは 2 つのメッセージパートとして送信されます。

例 2: マルチバイト文字を含むメッセージ

次のメッセージには、GSM 03.38 アルファベットではない、複数の中国語の文字が含まれています。

```
#####.####1994#7#####
```

上のメッセージには 71 文字が含まれています。ただし、メッセージ内のほとんどすべての文字は GSM 03.38 アルファベットではないため、2 つのメッセージパートとして送信されます。メッセージパートごとに最大 67 文字を含めることができます。

例 3: GSM 以外の文字を 1 つ含むメッセージ

次のメッセージには、GSM 03.38 アルファベットに属さない文字が 1 つ含まれています。この例で、その文字は閉じる単一引用符 (') であり、通常のアポストロフィ (') とは別の文字です。Microsoft Word などのワープロアプリケーションは、アポストロフィを、終了のシングルクォーテーションマークに自動的に置き換える場合があります。Microsoft Word で SMS メッセージをドラフトし、AWS エンドユーザーメッセージング SMS に貼り付ける場合は、これらの特殊文字を削除してアポストロフィに置き換えます。

John: Your appointment with Dr. Salazar's office is scheduled for next Thursday at 4:30pm. Reply YES to confirm, NO to reschedule.

上のメッセージには 130 文字が含まれています。ただし、GSM 03.38 アルファベットに属さない閉じる単一引用符文字が含まれているため、メッセージは 2 つのメッセージパートとして送信されます。

このメッセージにある終了のシングルクォーテーションマークをアポストロフィ (GSM 03.38 アルファベットの一部) に置き換えると、メッセージは 1 つのメッセージパートとして送信されます。

MMS ファイルの種類、サイズ、文字数の制限

1 つの MMS メディアファイルのサイズは、すべての画像タイプ (gif、jpeg、png) で最大 2 MB、すべてのオーディオおよびビデオメディアファイルタイプでは最大 600 KB です。MMS のテキストメッセージ本文には、任意の文字セットから 1600 文字を含めることができます。SMS とは異なり、MMS メッセージは送信時に複数のパートに分割されません。大きなテキストメッセージを送信する場合、複数のパートに分割されないため、MMS メッセージを送信するスループットが向上する可能性があります。

ファイルタイプ	MIME タイプ	最大ファイルサイズ
グラフィックスインターチェンジフォーマット	image/gif	2 MB
ジョイントフォトグラフィックエクスパートグループ	image/jpeg	2 MB
ポータブルネットワークグラフィックス	image/png	2 MB
タグ付きイメージファイルフォーマット	image/tiff	600 KB
3GPP	audio/3gpp , video/3gp p	600 KB
3GPP2	audio/3gpp2 , video/3gp p2	600 KB
適応マルチレート	audio/amr	600 KB
MPEG-4	audio/mp4 , video/mp4	600 KB
ムービングピクチャーエクスパートグループ	audio/mpeg audio/mpeg では MP3 ファイルのみがサポートされています	600 KB

ファイルタイプ	MIME タイプ	最大ファイルサイズ
Ogg	audio/ogg	600 KB
QuickTime	video/quicktime	600 KB
WebM	video/webm	600 KB
iCalendar	text/calendar	600 KB
vCard	text/vcard , text/x-vcard	600 KB
ポータブルドキュメント形式	application/pdf	600 KB

メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限とは

SMSのメッセージは、message parts と呼ばれる 140 バイトのセクションで配信されます。非常に長いメッセージや、マルチバイト文字を多く含むメッセージは、いくつかのメッセージパートに分割されます。これらのメッセージは通常、受信者のデバイス上で再結合され、複数の短いメッセージではなく、1つの長いメッセージとして表示されます。SMS の文字制限の詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。

このため、スロットリングとも呼ばれる、SMS のスループット制限は Message Parts per Second (MPS)、つまり、1 秒間に送信できるメッセージパートの最大数で測定されます。MPS の上限は、メッセージの送信先の国、およびメッセージの送信に使用する電話番号 (発信元番号) の種類によって異なります。例えば、米国のショートコードを使用して、米国内の受信者にメッセージを送信する場合、100 MPS を送信することができます。ただし、米国の通話料無料の番号を使って米国の受信者に送信する場合は、3 MPS のみの送信にスロットリングされます。

MMS メッセージは 1 つのメッセージパートとして配信され、複数のメッセージパートには分割されません。最大メディアファイルサイズは、gif、jpeg、png では最大 2MB、その他すべてのメディアファイルタイプでは最大 600KB で、メッセージ本文には任意の文字セットから最大 1600 文字を含められます。「[MMS ファイルの種類、サイズ、文字数の制限](#)」を参照してください。メッセージパートが 3 つ以上ある SMS メッセージを送信する場合は、代わりに MMS メッセージを送信することを検討する必要があります。例えば、481 GSM 03.38 文字の SMS メッセージを送信すると、SMS メッセージが 4 つのメッセージパートに分割されます。これらのメッセージパートごとに課金されます。MMS メッセージ本文に 481 GSM 03.38 文字を含めて送信すると、1 つのメッセージ

パートに対してのみ課金されます。また、4 つの SMS メッセージパートではなく 1 つの MMS メッセージパートのみを送信すると、メッセージのスループットが向上します。料金の詳細については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

以下のセクションでは、様々な種類の発信番号と様々な国の MPS について説明します。

ショートコード

以下の表は、専用ショートコードの一般的な MPS の制限を示したものです。

地域別	SMS MPS	MMS MPS
[米国 (US)]	100 MPS	40 MPS
カナダ (CA)	100 MPS	40 MPS
他のすべての国と地域	国または地域によって異なります。	該当なし

ロングコード

以下の表は、専用ロングコードの一般的な MPS の制限を示したものです。

地域別	SMS MPS	MMS MPS
米国 (US) (10DLC)	デフォルト: 10DLC 番号あたり 1 MPS。制限を上げるには個別の MPS 引き上げリクエストが必要です。会社の外部審査を受けた場合やキャンペーンが承認された後に自動的に引き上げられることはありません。最終的な適用料金はブランドスコアとキャンペーンタイプに基づいており、キャリアによって異なります。10DLC キャンペーンの資格と一致するように 10DLC 番号の制限引き上げを送信するには、「 AWS エンドユーザーメッセージング SMS のクォータ 」を参照してください。	1 MPS

地域別	SMS MPS	MMS MPS
カナダ (CA)	1 MPS	1 MPS
他のすべての国と地域	10 MPS	該当なし

通話料無料の番号

通話料無料は現在、米国内でのみ利用可能です。米国通話料無料番号は 3 MPS をサポートしています。通話料無料番号は登録が義務付けられています。通話料無料番号の登録の詳細については、「[米国通話料無料の電話番号の登録フォーム](#)」を参照してください。

地域別	SMS MPS	MMS MPS
[米国 (US)]	3 MPS	3 MPS

Important

スループット要件が 3 MPS を超える場合、10DLC 番号またはショートコードを使用する必要があります。複数の通話料無料を購入してスループットを分散しようとする、携帯端末通信事業者はこの行為を「スノーシューイング」として特定し、ネットワークからのすべてのメッセージをフィルタリングする可能性があります。「スノーシューイング」の詳細については、「[禁止メッセージの内容](#)」を参照してください。

送信者 ID

次の表は、送信者 ID の一般的な MPS 制限値を示しています。

送信者 ID タイプ	SMS MPS	MMS MPS
AWS エンドユーザー メッセージング SMS API または AWS エ ンドユーザーメッ セージング SMS コ ンソールを使用して カスタマー定義	10 MPS	該当な し

共有ルート

次の表は、共有ルートの一般的な MPS 制限値を示しています。

送信者 ID タイプ	SMS MPS	MMS MPS
共有ルート / お客様 専用番号	20 MPS	該当な し

メッセージタイプとメッセージルートの違い

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を介して送信されるメッセージは、プロモーションまたはトランザクションのいずれかになります。プロモーションメッセージタイプは通常、マーケティングまたは販売関連のメッセージで構成されます。国や地域によっては、プロモーションメッセージの送信が禁止されているクワイエットタイムという時間帯があります。トランザクションメッセージタイプは、パスワードのリセットやワンタイムパスワードなど、より時間的に制約のある場合に使用します。

メッセージタイプをオプションのパラメータとして渡すには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API の [SendTextMessage](#) オペレーションを使用します。場合によっては、送信者 ID を発信元として使用したり、番号のプールを共有したりすることもあります。送信先の国のアカウントに関連付けられているトランザクション番号とプロモーション番号の両方がある場合、AWS End User Messaging SMS はデフォルトでトランザクション番号を選択します。配送領収書お

よび配信ダッシュボードには、選択した番号に基づいて、プロモーションまたはトランザクションのどちらかのルートが表示されます。

発信元 ID の選択

専用電話番号は国別で設定します。ある国の専用電話番号としてリクエストした番号は、別の国のアイデンティティとして使用することはできません。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して SMS または MMS メッセージを送信する場合、送信者 ID、ロングコード、10 桁のロングコード (10DLC)、ショートコード、または通話料無料番号を使用して、受信者に自分自身を特定できます。それぞれのタイプのアイデンティティには長所と短所があります。これについては、次のセクションで説明します。送信元 ID は、それぞれに固有のリソースであるため AWS リージョン、間で共有することはできません AWS リージョン。発信元 ID へのクロスアクセス AWS アカウント と AWS リージョン アクセスを許可できます。

例えば、ユースケースで米国とカナダにメッセージを送信する必要がある場合は、両方の国の発信元 ID をプロビジョニングする必要があります。その国にローカル AWS リージョン な で発信元 ID をプロビジョニングする必要はありません。両方の発信元 ID を米国西部 (オレゴン) にプロビジョニングできます。別の例として、ユースケースで米国とインドにメッセージを送信する必要がある場合 AWS リージョン は、レイテンシーを減らすために、メッセージの送信先に地理的に近い発信元 ID を にプロビジョニングできます。詳細については、「[Amazon Pinpoint 耐障害性アーキテクチャガイド](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して、ユースケースに応じて、次のいずれかの発信元 ID をお勧めします。推奨事項は、SMS または音声機能、双方向番号、推定月間メッセージなどの入力基準に基づいています。

トピック

- [送信者 ID](#)
- [ロングコード](#)
- [10 桁のロングコード \(10DLC\)](#)
- [ショートコード](#)
- [通話料無料の番号 \(TFN\)](#)
- [発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項](#)
- [一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)
- [双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)

送信者 ID

送信者 ID は、SMS メッセージの送信者を識別する英字名です。送信者 ID を使用して SMS メッセージを送信し、送信者 ID 認証がサポートされているエリアに受信者がいる場合は、電話番号ではなく、送信者 ID が受信者のデバイスに表示されます。送信者 ID は、電話番号やショートコードよりも、送信者に関する詳細な情報を SMS の受取人に示すことができます。

送信者 ID は、世界の一部の国や地域でサポートされています。一部の地域では、企業として個別のお客様に SMS メッセージを送信する場合は、事前に規制当局または業界団体に登録されている送信者 ID を使用する必要があります。送信者 ID をサポートしている、または必要な国や地域の詳細な一覧は、「[SMS および MMS の国別の機能と制限](#)」を参照してください。

利点

送信者 ID は、メッセージの送信者に関する詳細を受取人に示します。ショートコードやロングコードよりも、送信者 ID を使用した方が簡単にブランドのアイデンティティを確立することができます。送信者 ID の使用には追加料金はかかりません。

欠点

送信者 ID 認証のサポートや要件は、国やリージョンによって異なります。主要な市場 (例: カナダ、中国、米国) の中には、送信者 ID がサポートされていない場合があります。一部のエリアでは、送信者 ID を使用する前に、規制機関の事前承認を取得する必要があります。送信者 ID は、双方向 SMS メッセージングをサポートしていません。

ロングコード

ロングコードは、受取人が居住する国または地域の番号形式を使用する電話番号です。また、ロングコードは、ロング番号または仮想携帯電話番号とも呼ばれます。例えば、米国やカナダでは、ロングコードは、1 桁の国コード、3 桁の市外局番、7 桁の電話番号の 11 桁で構成されます。ロングコードは、米国およびカナダでの MMS をサポートしています。

利点

専用ロングコードは AWS、エンドユーザーメッセージング SMS アカウントでのみ使用するために予約されています。他のユーザーと共有されることはありません。専用のロングコードを使用する場合は、各メッセージを送信する際に使用するロングコードを指定することができます。複数のメッセージを同じ顧客に送信する場合は、各メッセージが同じ電話番号から送信されるように表示されます。そのため、専用のロングコードは、ブランドまたはアイデンティティを確立する上で便利です。

専用ロングコードは双方向 SMS メッセージをサポートしており、顧客からの着信メッセージを受信できます。

欠点

専用のロングコードから、1 日あたり数百通のメッセージを送信すると、携帯端末通信事業者により、お使いの番号が未承諾メッセージを送信する番号として認識される場合があります。ロングコードにフラグが設定されると、メッセージが受取人に配信されない場合があります。

ロングコードのスループットも制限されています。ロングコードが最も一般的に使用されている米国やカナダでは、1 秒間に最大 1 通のメッセージを送信できます。その他の国の最大送信レートは異なります。詳細については、AWS サポートにお問い合わせください。大量の SMS メッセージを送信する予定がある場合、または 1 秒あたり 2 通以上のメッセージを超えるレートで送信する場合は、専用のショートコードを購入する必要があります。

米国では、A2P SMS メッセージにローカルのロングコードを使用することはできません。詳細については、「[10 桁のロングコード \(10DLC\)](#)」を参照してください。

10 桁のロングコード (10DLC)

米国のローカルロングコードを使用して SMS または MMS メッセージを送信する場合は、10DLC をリクエストする必要があります。10DLC は、米国でのみ使用できる 10 桁のロングコードです。

多くの管轄区域では、ロングコードを使用した Application-to-Person (A2P) SMS メッセージの送信に関連する制限があります。A2P SMS または MMS は、アプリケーションに携帯電話番号を入力してモバイルデバイスに送信するメッセージです。A2P メッセージは、マーケティングメッセージ、ワンタイムパスワード、予定のリマインダーなどの一方向の会話です。A2P メッセージを送信する予定の場合は、専用ショートコード (米国またはカナダにいる場合) を購入するか、10DLC をリクエストするか (お客様が米国内の場合のみ)、送信者 ID (送信者 ID がサポートされている国または地域に受信者がいる場合) を使用する必要があります。

10DLC 番号は、米国内のメッセージ送信にのみ使用されます。10DLC 番号を利用するには、企業ブランドと番号に関連付けるキャンペーンを登録する必要があります。承認後、10DLC の電話番号をリクエストできます。申請後、承認されるまでの期間は 7~10 日間です。この番号は他のキャンペーンとの併用はできません。

ショートコード

ショートコードは、通常の電話番号よりも短い数字列です。例えば、米国とカナダでは、標準の電話番号 (ロングコード) は 11 桁、ショートコードは通常 5~7 桁の数字で構成されます。米国またはカ

ナダの受信者に大量の SMS または MMS メッセージを送信する場合は、ショートコードを購入することができます。このショートコードはお客様専用です。ショートコードは、米国およびカナダでの MMS をサポートしています。

利点

覚えやすいショートコードを使用すれば、信頼の構築に役立ちます。ワンタイムパスワードなどの機密情報を送信する必要がある場合は、ショートコードを使用してメッセージを送信することをお勧めします。これにより、顧客は、お客様からのメッセージであることを迅速に判断することができます。

新規顧客獲得キャンペーンを実施している場合は、ショートコードにキーワードを送信するように、見込み顧客を招待することができます (例: 「サッカーのニュースや情報の取得は「FOOTBALL」というメッセージを「10987」へ送信します」)。ショートコードはロングコードよりも覚えやすいため、顧客がデバイスにショートコードを入力する方が簡単です。顧客がマーケティングプログラムに登録する際に発生する問題を軽減することで、キャンペーンの効果を高めることができます。

携帯端末通信事業者は、アクティブにする前に新しいショートコードを承認する必要があるため、ショートコードから送信されたメッセージに未承諾のフラグが付けられる可能性は低くなります。

ショートコードを使用して SMS または MMS メッセージを送信すると、他の種類の送信元アイデンティティを使用する場合よりも、24 時間ごとにさらに多くのメッセージを送信できます。つまり、送信クォータが高くなります。また、1 秒あたりのメッセージのボリュームを大幅に増やすこともできます。つまり、送信レートが高くなります。

欠点

ショートコードを取得するには追加コストがかかるため、実装に時間がかかることがあります。例えば、米国では、ショートコードごとに 1 回限りのセットアップ費用と、ショートコードごとに 1 か月あたりの追加料金が発生します。すべての通信事業者ネットワークで、ショートコードを有効にするには、8〜12 週間かかります。料金の詳細については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

通話料無料の番号 (TFN)

通話料無料番号は通常、登録確認などのトランザクションメッセージングやワンタイムパスワードの送信に使用され、米国内でのみ使用されます。音声、SMS および MMS メッセージに使用できます。平均スループットは 3 メッセージパーツ/秒 (MPS) ですが、このスループットは文字エンコー

ディングの影響を受けます。文字エンコーディングがメッセージパートに与える影響について詳しくは、[SMS および MMS の制限と規制](#) を参照してください。

米国の携帯端末通信事業者では、ライブメッセージを有効にする前に通話料無料番号を登録する必要があります。「[登録](#)」を参照してください。通話料無料番号を使用または登録する場合は、「[のベストプラクティス](#)」セクションのガイドラインに従うことをお勧めします。[禁止メッセージの内容](#)。

発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項

どのタイプの発信元 ID を使用するかを決める際には、考慮すべきガイドラインがいくつかあります。

- 送信者 ID は、一方向のユースケースには最適なオプションです。ただし、すべての国で利用できるわけではありません。
- ショートコードは双方向のユースケースに最適なオプションです。ショートコードを使用するかロングコードを使用するかを選択する必要がある場合は、ショートコードを選択してください。
- 一部の国 (インドやサウジアラビアなど) では、ロングコードは受信メッセージの受信には使用できますが、送信メッセージの送信には使用できません。これらの受信専用ロングコードを使用すると、送信者 ID を使用して送信したメッセージを受信者がオプトアウトできるようになります。
- 一部の国では、共有発信元 ID のプールを管理しています。特定の国の受信者にメッセージを送信しても、送信者にその国に専用の発信元 ID がない場合は、これらの共有 ID のいずれかを使用してメッセージを配信するよう努めます。共有 ID は、米国や中国など一部の国では利用できません。
- モバイル業界は急速に変化しています。多くの国では、商用 SMS メッセージに対する規制が強化される傾向にあります。通信事業者は、ほとんどまたはまったく警告なしに、共有発信元 ID からのメッセージの送信を禁止することを決定する場合があります。その場合は、できる限り事前の警告をして、これらの変更についてお客様に伝えるよう努めます。ただし、通常、通信事業者はこれらの変更について事前に通知することはほとんどありません。これらの理由から、専用発信元 ID は共有発信元 ID よりも常に優先されます。

一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択

一方向メッセージングのユースケースは、送信する SMS メッセージを受信者に送信するのみのユースケースです。このセクションでは、一方向メッセージングのユースケースに適した発信元 ID のタイプを選択する方法について説明します。ユースケースで双方向メッセージング (つまり、送信メッ

ページの送信と受信の両方の機能) が必要な場合は、代わりに [双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#) の質問に答えてください。

一方向メッセージングのユースケースでは、発信元 ID として、ショートコード、ロングコード、通話料無料番号、または英数字の送信者 ID を使用できます。送信元 ID のタイプは、特定のニーズと、受信者がいる国によって異なります。

次の質問に答えて、ニーズに合った適切な発信元 ID タイプを決定してください。複数の国に受信者がいる場合は、受信者がいる国ごとにこれらの質問に答えてください。

1. 米国内の受信者にメッセージを送信する予定ですか？

- [はい] と答えた場合は、[\[質問 2\]](#) に進みます。
- [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 3\]](#) に進みます。

2. ユースケースに最も適したスループットレートは？ スループットレートは、毎秒送信できるメッセージパーツの数です。

- 1 秒あたり 1~3 のメッセージパーツ: 通話料無料番号を使用します。10DLC 番号またはショートコードを使用することもできます。これらの番号タイプには拡大の余地が十分ありますが、通話料無料番号よりもコストがかかり、取得に時間がかかります。

通話料無料番号のリクエストの詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#) に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1 秒あたり 10~75 のメッセージパーツ: 10DLC 番号を使用します。ショートコードを使用することもできます。ショートコードを使用すると拡張の余地は増えますが、コストも高くなります。

10DLC の設定の詳細については、「[米国 10DLC 登録](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#) に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1 秒あたり 100 メッセージパーツ以上: ショートコードを使用します。AWS Support Center Console でリクエストを作成するときは、ショートコードでサポートするスループットレートを指定します。米国のショートコードは、デフォルトで 100 メッセージパーツ/秒をサポートしていますが、追加の月額料金でさらにスループットレートを上げることができます。

ショートコードのリクエストについては、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

3. すべてのメッセージが同じ発信元 ID から送信されることは重要ですか？

- [はい] と答えた場合は、[\[質問 4\]](#)に進みます。
- [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 6\]](#)に進みます。

4. 送信者 ID は、メッセージを送信する予定の国でサポートされていますか？ 送信者 ID をサポートする国のリストについては、「[SMS でサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、[\[質問 5\]](#)に進みます。
- [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 7\]](#)に進みます。

5. メッセージを送信する予定の国では、送信者 ID の事前登録が義務付けられていますか？ Sender ID 登録が必要な国のリストについては、「[SMS でサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、送信先の国の送信者 ID プロセスを完了します。登録プロセスが完了すると、送信者 ID を使用してメッセージを送信できます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ] と答えた場合は、メッセージを送信するときに送信者 ID を指定できます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

6. インドの受信者にメッセージを送信する予定ですか？

- はいと回答した場合は、任意の からの国際 (ILDO) ルートを使用してすぐに送信を開始できます AWS リージョン。ただし、送信するメッセージは国際長距離オペレーター (ILDO) 料金で課金されます。これは、登録された送信者 ID を使用して送信されるメッセージよりも大幅にコストがかかります。コストが重要な場合は、会社とユースケースをインドで登録することを検討します。この登録プロセスを完了すると、より安価な現地料金でメッセージを送信できます。DLT 登録送信者 IDs を使用するローカルルートは、AP-SOUTH-1 アジアパシフィック (ムンバイ) および AP-SOUTH-2 アジアパシフィック (ハイデラバード) リージョンでのみサポートされることに注意してください。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのインドの送信者 ID 登録プロセス](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ] と答えた場合は、発信元 ID を取得しなくても送信を開始できます。メッセージは、他の AWS エンドユーザーメッセージング SMS ユーザーと共有されている送信元 ID を使用して送信されます。送信先の国のモバイルネットワークの機能によって、受信者が送信者からのメッセージを受信したときにどのような ID が表示されるかが決まります。未登録の送信者 ID をサポートする国では、メッセージは汎用の送信者 ID (「NOTICE」など) を使用して送信されます。送信者 ID をサポートしていない国では、メッセージはランダムなロングコードまたはショートコードから送信されます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

7. メッセージを送信する予定の国では、専用のショートコードを利用できますか? 専用のショートコードをサポートしている国のリストについては、「[SMS でサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、ショートコードを使用してください。
- [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 8\]](#)に進みます。

8. メッセージを送信する予定の国では、専用のロングコードを利用できますか? 専用のロングコードをサポートしている国のリストについては、「[SMS でサポートされている国と地域](#)」を参照してください。

- [はい] と答えた場合は、専用のロングコードを使用できます。ただし、その国で他のタイプの専用 ID (送信者 ID やショートコードなど) が使用できる場合は、代わりに、そうした他のタイプの ID を使用してください。他のタイプの発信元 ID も利用できる場合、通信事業者がロングコードを使用して送信されるメッセージをブロックする可能性が高くなります。

専用 SMS ロングコードのリクエストについては、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ] と答えた場合は、送信元 ID を取得しなくても送信を開始できます。メッセージは、他のユーザーと共有される発信元 ID を使用して送信されます。送信先の国のモバイルネットワークの機能によって、受信者が送信者からのメッセージを受信したときにどのような ID が表示されるかが決まります。未登録の送信者 ID をサポートする国では、メッセージは汎用の送信者

ID (「NOTICE」など) を使用して送信されます。送信者 ID をサポートしていない国では、メッセージはランダムなロングコードまたはショートコードから送信されます。

他の国で使用する発信元 ID のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択

双方向メッセージングのユースケースは、顧客への送信 SMS メッセージの送信と顧客からの受信 SMS メッセージの受信の両方を含むユースケースです。このセクションでは、双方向メッセージングのユースケースに適した発信元 ID のタイプの選択について説明します。ユースケースで一方のメッセージング (つまり、送信メッセージのみの送信機能) が必要な場合は、代わりに [一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#) の質問に答えます。

受信 SMS メッセージを受信する予定がある場合は、専用の電話番号が必要です。専用電話番号には、顧客の所在国によって異なるタイプがあります。

次の質問に答えて、ニーズに合った適切な発信元 ID タイプを決定してください。複数の国に受信者がいる場合は、受信者がいる国ごとにこれらの質問に答えてください。

1. メッセージの送信先として予定している国では双方向メッセージングがサポートされていますか？
双方向メッセージングをサポートしている国のリストについては、「[SMS でサポートされている国と地域](#)」を参照してください。
 - [はい] と答えた場合は、[\[質問 2\]](#)に進みます。
 - [いいえ] と答えた場合は、双方向メッセージのユースケースはサポートされていませんが、一方向メッセージは送信できます。一方向メッセージを送信するための発信元 ID を見つけるには、「[一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)」を参照してください。
2. 米国内の受信者にメッセージを送信する予定ですか？
 - [はい] と答えた場合は、[\[質問 3\]](#)に進みます。
 - [いいえ] と答えた場合は、[\[質問 4\]](#)に進みます。
3. 次のうち、要件に最も適したスループットレートはどれですか？スループットレートは、毎秒送信できるメッセージパーツの数です。
 - 1 秒あたり 1~3 のメッセージパーツ: 通話料無料番号を使用します。10DLC 番号またはショートコードを使用することもできます。これらの番号タイプには拡大の余地が十分ありますが、コストも高くなり、入手に時間がかかります。

通話料無料番号のリクエストの詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1 秒あたり 10～75 のメッセージパーツ: 10DLC 番号を使用します。ショートコードはユースケースにも適しており、拡張の余地は増しますが、コストも高くなります。

10DLC の設定の詳細については、「[米国 10DLC 登録](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- 1 秒あたり 100 メッセージパーツ以上: ショートコードを使用します。AWS Support Center Console でリクエストを作成するときは、ショートコードでサポートするスループットレートを指定します。米国のショートコードは、デフォルトで 100 メッセージパーツ/秒をサポートしていますが、追加の月額料金でさらにスループットレートを上げることができます。

ショートコードのリクエストについては、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

4. メッセージを送信する予定の国では、専用のショートコードを利用できますか? ショートコードを使用できる国のリストについては、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

- 「はい」と答えた場合は、専用のショートコードを使用します。ショートコードのリクエストについては、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

- [いいえ]と答えた場合は、専用のロングコードを使用します。専用 SMS ロングコードのリクエストについては、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

Note

宛先国で専用のショートコードと専用のロングコードのどちらも利用できる場合は、専用のショートコードを使用してください。ショートコードも利用できる場合、携帯端末

通信事業者はロングコードから送信されるメッセージをブロックまたは制限する可能性が高くなります。

他の国で使用する発信番号のタイプを決定する場合は、[\[質問 1\]](#)に戻ります。それ以外の場合は、ここでやめてください。

RCS メッセージング

AWS エンドユーザーメッセージングのビジネス向けリッチコミュニケーションサービス (RCS) では、検証済みのブランド付きテキストメッセージを米国およびカナダの受信者に送信できます。RCS は SMS の次の進化であり、個別のチャンネルではありません。RCS メッセージは、受信者が SMS に既に使用しているのと同じネイティブメッセージングアプリに配信されるため、インストールする新しいアプリではなくインプレースアップグレードになります。検証済みのブランドアイデンティティは、信頼を刺激し、会話を奨励し、より良いビジネス成果を促進します。RCS 配信が不可能な場合、AWS エンドユーザーメッセージングは自動的に SMS にフォールバックできます。

トピック

- [RCS とは](#)
- [RCS の開始方法](#)
- [RCS エージェントの管理](#)
- [RCS メッセージのテスト](#)
- [電話プールを使用した RCS から SMS へのフォールバック](#)
- [RCS メッセージの送信](#)
- [インバウンド RCS メッセージの受信](#)
- [各国での RCS の起動](#)
- [RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング](#)
- [RCS の請求と料金モデル](#)

RCS とは

ビジネス向けリッチコミュニケーションサービス (RCS) は、検証済みのブランドアイデンティティで従来の SMS を強化するメッセージングプロトコルです。AWS エンドユーザーメッセージングを使用すると、米国およびカナダの受信者に RCS テキストメッセージを送信し、RCS をサポートしていないデバイスまたはキャリアの自動 SMS フォールバックを使用できます。

RCS メッセージは、受信者が SMS に使用するのと同じメッセージングアプリに表示されますが、検証済みのブランド名、ロゴ、色が含まれます。これにより、RCS は導入する新しいチャンネルではなく、インプレースアップグレードになります。SendTextMessage API を使用しているお客様は、最小限のコード変更またはコード変更なしで RCS の使用を開始でき、エンドユーザーはメッ

セージングフローを変更しません。検証済みのアイデンティティは、信頼を刺激し、会話を促し、既存のメッセージングのユースケースを強化し、会話体験などの新しいユースケースへの扉を開きます。

Important

Google は、RCS メッセージを配信するためのメッセージ配信チェーンの一部です。したがって、AWS エンドユーザーメッセージングでの RCS メッセージングチャネルの使用には、[Google RCS for Business 利用規約](#)も適用されます。これには、Google が RCS メッセージコンテンツを使用する方法に関する情報が含まれます。

トピック

- [RCS の主な利点](#)
- [RCS と SMS の違い](#)
- [SMS フォールバックが重要な理由](#)
- [サポートされている RCS 機能](#)
- [2 レベルの ID モデルについて](#)

RCS の主な利点

AWS エンドユーザーメッセージングを介した RCS メッセージングには、従来の SMS に比べて次のような利点があります。

検証済みブランドアイデンティティ

RCS メッセージには、ブランドロゴ、名前、色が Android デバイスの検証済みバッジとともに表示されます。受信者は、メッセージが組織からのものであることを確認できるため、フィッシングのリスクが軽減され、エンゲージメントが向上します。

配信受信 (DLRs)

RCS は、メッセージが受信者のデバイスにいつ配信されたかを確認するデバイスレベルの配信受信を提供します。配信確認がキャリアネットワークから送信される SMS とは異なり、DLRs はデバイスから直接レポートするため、実際の配信をより確実に行うことができます。これは請求にも関連しています。RCS では、デバイスに配信されたことが確認されたメッセージに対してのみ料金が発生しますが、SMS 料金はメッセージがキャリアによって承諾されたときに発生します。

メッセージングパフォーマンスの向上

RCS 経由で配信されるメッセージは、検証済みのブランドアイデンティティによって受信者の信頼とエンゲージメントが高まるため、SMS と比較してより良いビジネス成果を達成する傾向があります。RCS はまだ SMS ほど広くは利用できませんが、RCS を介して配信されるメッセージのサブセットでは、通常、開封率と変換が高くなります。デバイスまたはキャリアが RCS をサポートしていない受信者の場合、自動 SMS フォールバックにより、メッセージは引き続きそれらに到達します。

自動 SMS フォールバック

AWS RCS エージェントと SMS 電話番号の両方を含む電話プールを介してメッセージを送信すると、RCS 配信が不可能な場合、AWS End User Messaging は自動的に SMS にフォールバックします。これにより、デバイスやキャリアによる RCS のサポートに関係なく、メッセージが受信者に確実に届きます。

RCS と SMS の違い

次の表は、AWS エンドユーザーメッセージングの RCS と SMS メッセージング機能を比較したものです。

RCS と SMS の比較

機能	RCS	SMS
ブランドアイデンティティ	検証済みのブランド名、ロゴ、色、バッジ	電話番号または送信者 ID のみ
配信確認	デバイスレベルの配信受信: 受信者のデバイスが直接レポートし、実際の配信を確認します。確認済みの配信に対してのみ請求されます。	キャリアレベルの確認: キャリアネットワークは受信を確認しますが、メッセージがデバイスに到達したことを保証するものではありません。通信事業者がメッセージを受け入れると課金されます。
メッセージの内容	テキストメッセージ	テキストメッセージ、メディア用 MMS
デバイスサポート	RCS が有効になっている Android デバイス、iOS 18 以降の iPhone	すべてのモバイルデバイス

機能	RCS	SMS
サポートされている国	米国およびカナダ	200 を超える国と地域

SMS フォールバックが重要な理由

すべてのモバイルデバイスとキャリアが RCS をサポートしているわけではありません。たとえば、古い Android デバイス、一部のキャリア、および 18 より前のバージョンの iOS を実行している iPhones、RCS メッセージを受信できません。ほとんどのユースケースでは、デバイスやキャリアに関係なく、すべての受信者に確実に連絡する方法が必要です。

電話プールはこの問題を解決します。プールは、API リクエストと発信元 ID の間に抽象化レイヤーを提供するメッセージング ID のコンテナです。アプリケーションに SMS フォールバック番号選択ロジックを配置する代わりに、RCS エージェントと電話番号をプールに追加し、AWS エンドユーザーメッセージングが残りを処理します。これにより、次の 3 つの利点があります。

- どの番号がどの国で機能するかを心配することなく RCS-to-SMS フォールバックを簡単に行うことができます。ID をプールに追加すると、サービスは適切な ID を自動的に選択します。
- 番号とエージェントの選択ロジックは、アプリケーションコードから外れ、easy-to-manage 設定になります。送信統合を変更せずに ID を追加または削除できます。
- 設定は簡単ですが、プールでは、コンプライアンスに安全なルーティングのための per-use-case プールなど、番号と RCS エージェントと一緒に使用方法を完全に制御することもできます。

SMS フォールバックを使用するには、AWS RCS エージェントと 1 つ以上の SMS 電話番号の両方を含む電話プールを作成します。プールを使用してメッセージを送信すると、AWS End User Messaging は最初に RCS 配信を試み、必要に応じて自動的に SMS にフォールバックします。アプリケーションコードを変更せずに発信元 ID を柔軟に追加または変更できるため、RCS だけでなく、すべてのメッセージングユースケースにプールベースの送信をお勧めします。

Note

AWS RCS エージェントに直接メッセージを送信する場合 (プールを使用せずに)、SMS フォールバックは使用できません。直接送信は RCS-or-nothing しない場合、または AWS エンドユーザーメッセージングの外部でフォールバックロジックを管理する場合にのみ使用します。

サポートされている RCS 機能

AWS エンドユーザーメッセージングでの RCS の初回起動では、米国およびカナダでのテキストのみのメッセージングがサポートされています。SMS に使用するのと同じ SendTextMessage API を使用して、プレーンテキストの RCS メッセージを送受信できます。

AWS エンドユーザーメッセージングの RCS は現在、以下をサポートしています。

- RCS を介したテキストメッセージの送受信
- 検証済みブランドアイデンティティ (ロゴ、名前、色、検証済みバッジ)
- 配信受信 (DLRs)
- プールベースの送信による自動 SMS フォールバック
- 双方向メッセージング (インバウンド RCS テキストメッセージの受信)
- 自動応答のキーワード管理
- RCS メッセージモニタリングの CloudWatch メトリクス
- 米国およびカナダでの国別のローンチ
- キャリアの承認なしでテストする RCS テストエージェント
- コンソールで電話モックアップを行い、デバイスでのブランドの表示をプレビューする
- 米国とカナダの両方の国固有の登録を管理する単一の AWS RCS エージェントリソース
- 国別のカスタマイズにより、国間で登録の詳細を共有
- 設定セット、電話プール、オプトアウトリスト、キーワードを含むすべての AWS エンドユーザーメッセージング機能

Note

RCS テストエージェントは通常、数日または数週間かかる可能性のある SMS 電話番号登録と比較して、数分以内に作成および承認されます。これにより、RCS メッセージングのテストをすばやく開始できます。

2 レベルの ID モデルについて

AWS エンドユーザーメッセージングの RCS は、AWS RCS エージェント (作成して管理するコンテナ) と 1 つ以上の RCS for Business IDs (登録中に作成された国ごとのエージェント ID) の 2 つのレ

ベルの ID モデルを使用します。ライフサイクル状態や比較テーブルなど、これらの ID の関係の詳細については、「」を参照してください[2 レベルの ID モデルについて](#)。

RCS の開始方法

このガイドでは、AWS エンドユーザーメッセージングで最初の RCS エージェントを設定し、最初の RCS メッセージを送受信する方法について説明します。最終的には、RCS テスト環境が機能します。推定完了時間: 15～30 分。

このガイドの内容は次のとおりです。

1. AWS RCS エージェントを作成してテスト登録を送信する
2. テストデバイスを追加してテスターの招待を受け入れる
3. 最初のアウトバウンド RCS メッセージを送信する
4. キーワードを使用してインバウンド (双方向) メッセージングをテストする

2 レベルの ID モデル (AWS RCS エージェントと RCS for Business ID) を含む、AWS エンドユーザーメッセージングでの RCS の動作の背景については、「」を参照してください[RCS とは](#)。IDs

RCS のセットアップとテスト

このセクションでは、AWS RCS エージェントの作成、テストデバイスの登録、最初の RCS メッセージの送信、配信の検証について説明します。これらのステップを完了したら、本番稼働国で RCS の起動に進むことができます。

前提条件

作業を開始する前に、次の項目があることを確認します。

- AWS エンドユーザーメッセージングアクセスを持つ AWS アカウント — AWS エンドユーザーメッセージングを使用するためのアクセス許可を持つ AWS アカウントが必要です。アカウントをお持ちでない場合は、[AWS アカウント設定ガイド](#)を参照してください。
- RCS が有効になっている電話 — デフォルトのメッセージングアプリで RCS メッセージングが有効になっている Android スマートフォン、または iOS 18 以降を実行している iPhone が必要です。この電話は、RCS メッセージを受信するためのテストデバイスとして機能します。
- (オプション) AWS CLI 設定済み — コンソールの代わりに API を使用してテストする場合は、CLI AWS をインストールして設定するか、boto3 for Python などの AWS SDK を使用します。

ステップ 1: AWS RCS エージェントを作成してテスト登録を送信する

最初のステップは、AWS RCS エージェントを作成し、テスト登録を送信することです。テスト登録は、キャリアの承認なしで登録されたテストデバイスにメッセージを送信するために使用できる RCS for Business ID (テストエージェント) を作成します。

エージェントのライフサイクルや API オペレーションなど、AWS RCS エージェント管理の詳細については、「」を参照してください[RCS エージェントの管理](#)。

AWS RCS エージェントの作成 (コンソール)

AWS RCS エージェントを作成してテスト登録を送信するには

1. [AWS エンドユーザーメッセージングコンソール](#)を開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、RCS エージェントを選択します。
3. RCS エージェントの作成を選択します。これにより、AWS RCS エージェントが作成され、すぐに 1 つのワークフローでテスト登録を作成する手順が表示されます。
4. 次の画面では、RCS の概要とセットアッププロセスについて説明します。情報を確認し、次へを選択して続行します。
5. エージェントの詳細ページで、以下を設定します。
 - わかりやすい名前 — AWS RCS エージェントのコンソールのみのラベル。これは参照の内部名 (タグとして保存) であり、受信者の電話に表示される名前ではありません。フレンドリ名は API では使用できません。
 - 削除保護 — (オプション) エージェントを誤って削除しないようにするには、を有効にします。
 - タグ — (オプション) エージェントを整理して識別するタグを追加します。
6. 同じページのブランド情報セクションに、次のように入力します。
 - 表示名 — 受信者が RCS メッセージとともに表示するブランド名。
 - 説明 — ブランドまたはビジネスの簡単な説明。
 - ユースケース — RCS メッセージングの主なユースケース (トランザクション通知、マーケティング、カスタマーサポートなど) を選択します。
7. 同じページのブランドアセットセクションで、以下をアップロードします。
 - ロゴ — 224 × 224 ピクセル、透明性のある PNG、50 KB 未満。
 - バナーイメージ — 1440 × 448 ピクセル、PNG または JPEG、200 KB 未満。

- ブランド色 — 白の背景に対する最小コントラスト比が 4.5:1 の 16 進カラーコード (例: #1A73E8)。

⚠ Important

一部のブランドアセットは、エージェントが登録のために送信された後に変更することはできません。エージェントを作成する前に、最終的なブランドアセットを準備します。最初に実験する場合は、このフローを使用してテストエージェントをすばやく作成し、後で完成したブランドアセットを使用して新しい AWS RCS エージェントを作成できます。

8. Compliance キーワードページで、キーワードと自動応答メッセージを設定します。
9. レビューページで、すべての設定を確認します。
10. 検証と送信を選択して AWS RCS エージェントを作成し、テスト登録を送信します。

i Note

AWS RCS エージェントが正常に作成され、テスト登録が送信されました。通常、テストエージェントは数分以内に承認されます。次に、デバイスへのテストメッセージングを有効にします。

AWS RCS エージェントの作成 (CLI)

AWS CLI を使用して AWS RCS エージェントを作成することもできます。まず、エージェントを作成してから、テスト登録を送信します。

ステップ 1: AWS RCS エージェントを作成する:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-rcs-agent \
  --deletion-protection-enabled
```

ステップ 2: エージェントのテスト登録を送信します。RCS テストの登録タイプで `CreateRegistration` API を使用します。 `DescribeRegistrationFieldDefinitions` API を使用して、送信前に利用可能なすべての登録フォームフィールドをプログラムで取得できます。登録フォームフィールドの一部として、ブランドアセット、説明、連絡先の詳細を入力します。

登録 API の詳細については、「」を参照してください[RCS エージェントの管理](#)。

ステップ 2: テストデバイスを追加する

テスト登録が承認されたら、テストエージェントから RCS メッセージを受信できるように、電話をテストデバイスとして追加します。

Note

テストデバイスを追加すると、テスターの招待はすぐには送信されません。システムはアクティベーションを少なくとも 120 秒間遅延させ、招待が到着するまでに最大 20 分かかることがあります。コンソールには、おおよそのアクティベーション時間が表示されます。デバイスを追加する前に待つ必要はありません。システムは自動的に遅延を処理します。

Console

テストデバイスを追加するには

1. AWS エンドユーザーメッセージングコンソールで、AWS RCS エージェントに移動し、テストタブを選択します。
2. テストデバイスの追加 を選択します。
3. テストデバイスの電話番号を E.164 形式で入力します (例: +12065550100)。
4. [Add] (追加) を選択します。

AWS CLI

API を `--rcs-agent-id` パラメータ `CreateVerifiedDestinationNumber` とともに使用して、AWS RCS エージェントのテストデバイスを登録します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-verified-destination-number \
  --destination-phone-number +12065550100 \
  --rcs-agent-id rcs-a1b2c3d4
```

テストデバイスを追加すると、AWS End User Messaging はテスターの招待を電話番号に送信します。招待は RBM Tester Management という RCS エージェントから送信され、受け入れまたは拒否するための 2 つのボタンが含まれています。テスターにする、拒否する。受信者は「テスターにする」をタップして検証を完了する必要があります。

Note

iOS デバイス (iOS 18 以降の iPhone) では、テスターの招待がメインの受信トレイではなく、メッセージアプリの不明な送信者フォルダに表示される場合があります。招待が表示されない場合は、不明な送信者フォルダを確認してください。

API アプローチやトラブルシューティングなど、テストデバイスの管理の詳細については、「」を参照してください [RCS メッセージのテスト](#)。

ステップ 3: 最初の RCS メッセージを送信する

テストデバイスがテスターの招待を承諾したら、最初の RCS メッセージを送信できます。AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは API を使用できます。

Console

コンソールを使用してテストメッセージを送信するには

1. AWS エンドユーザーメッセージングコンソールで、AWS RCS エージェントに移動し、テストタブを選択します。
2. アウトバウンドテストメッセージを選択します。コンソールには、メッセージの受信者のデバイスでのレンダリング方法のプレビューと、JSON リクエスト本文および CLI コマンドが表示されます。
3. リストから検証済みテストデバイスを選択します。
4. メッセージテキストを入力します。
5. [テキストメッセージを送信] を選択します。

Note

オプションで、メッセージイベントの設定セットを設定できます。設定セットを使用すると、選択したイベント送信先で詳細な配信受信 (DLRs) やその他のメッセージイベントを消費できます。これはテストではオプションですが、本番環境での使用をお勧めします。詳細については、「[RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング](#)」を参照してください。

AWS CLI

`send-text-message` コマンドを使用してテストメッセージを送信します。AWS RCS エージェント ARN を送信元 ID として指定します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 send-text-message \
  --destination-phone-number +12065550100 \
  --origination-identity arn:aws:sms-voice:us-east-1:123456789012:rca-agent/rca-
a1b2c3d4 \
  --message-body "Hello from RCS! This is my first test message."
```

`send-text-message` コマンドは、SMS に使用するコマンドと同じです。AWS RCS エージェント ARN を発信元 ID として指定すると、AWS エンドユーザーメッセージングは RCS を介してメッセージを配信します。

ステップ 4: インバウンド (双方向) メッセージングをテストする

自動応答を使用してキーワードを設定し、そのキーワードに一致するメッセージをテストデバイスから送信することで、インバウンド RCS メッセージングをテストできます。

自動応答キーワードを使用してインバウンドメッセージングをテストするには

1. AWS エンドユーザーメッセージングコンソールで、AWS RCS エージェントに移動し、キーワードを設定します。たとえば、キーワードにRCSINBOUNDTESTING「インバウンドテストが成功しました！」などの自動応答メッセージを設定します。メッセージを受信しました。」
2. テストタブで、インバウンドディープリンクを選択します。
3. デフォルトのメッセージ本文フィールドに、設定したキーワード (などRCSINBOUNDTESTING) を入力します。
4. リンクの生成を選択します。コンソールは、GSMA 標準 URI スキームを使用してインバウンドディープリンク URL sms: を生成します。このディープリンクは、画面に表示される QR コードに埋め込まれます。
5. 検証済みのテストフォンで QR コードをスキャンします。これにより、ネイティブメッセージングアプリが開き、AWS RCS エージェント宛てのメッセージが事前に入力されます。
6. テストデバイスからメッセージを送信します。
7. テストデバイスで自動応答メッセージを受信していることを確認します。

自動応答キーワードをテストする場合、イベント送信先または Amazon SNS トピックを設定する必要はありません。自動応答は、AWS RCS エージェントのキーワード設定に基づいて、AWS エンドユーザーメッセージングによって完全に処理されます。

(キーワード一致だけでなく) 任意のインバウンドメッセージを受信して処理するには、双方向メッセージング用に Amazon SNS トピックを設定する必要があります。詳細については、「[インバウンド RCS メッセージの受信](#)」を参照してください。

達成したこと

このガイドのステップを完了すると、次のことが可能になります。

- ブランドアセットを使用して AWS RCS エージェントを作成し、テスト登録を送信しました
- テストデバイスを登録し、テスターの招待を承諾した
- 最初の RCS メッセージと検証済み配信を送信しました
- 自動応答キーワードを使用してテストされたインバウンドメッセージング

これで、テスト環境の準備が整いました。RCS メッセージングをアプリケーションに統合する方法、または RCS メッセージングの仕組みを微調整する方法は次のとおりです。

- インバウンドメッセージの受信と処理: インバウンド RCS メッセージを受信し、Lambda 関数で処理するように Amazon SNS トピックを設定します。「[インバウンド RCS メッセージの受信](#)」を参照してください。
- 配信イベントの追跡: 選択したイベント送信先で詳細な配信受信 (DLRs) やその他のメッセージイベントを消費するように設定セットを設定します。「[RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング](#)」を参照してください。
- SMS フォールバックを有効にする: RCS 配信が不可能な場合、AWS RCS エージェントと SMS 電話番号を使用して電話プールを作成し、自動的に SMS にフォールバックします。「[電話プールを使用した RCS から SMS へのフォールバック](#)」を参照してください。
- 本番稼働国での の起動: 米国とカナダのすべての受信者に RCS メッセージを送信するための国起動登録を送信します。「[各国での RCS の起動](#)」を参照してください。

RCS セットアップの AI エージェントプロンプト

生成 AI コーディングアシスタントまたは AI エージェントを使用する場合は、次のプロンプトを使用して、AWS RCS エージェントの作成、テスト登録の送信、CLI AWS を使用した最初のテストメッセージの送信に関するヘルプを取得できます。

Note

次のプロンプトをコピーし、AI エージェントまたはコーディングアシスタントに貼り付けます。

```
## RCS Setup Assistant Prompt
```

```
Help me set up RCS messaging in AWS End User Messaging using the AWS CLI.  
The service is `pinpoint-sms-voice-v2`. Walk me through each step with exact  
CLI commands. Ask me for all required details before generating any commands.
```

```
**Important rules for generating commands:**
```

- All commands use the `pinpoint-sms-voice-v2` service.
- Use `create-rcs-agent` exactly as spelled – NOT `create-r-c-s-agent`.
- Use the term "testing" – NOT "sandbox".
- There is NO `describe-messages` API. Do not generate it.
- `create-rcs-agent` does NOT accept brand asset parameters (no display name, no logo, no banner, no color). Brand assets are registration fields only.
- `create-verified-destination-number` uses `--rcs-agent-id`, NOT `--origination-identity`.

```
### Step 1: Create an RCS Agent
```

```
Use `create-rcs-agent`. This creates the agent resource only.  
Optional parameters: `--deletion-protection-enabled`, `--opt-out-list-name`,  
`--tags`.
```

```
The response returns `RcsAgentId` and `RcsAgentArn` – save both.
```

```
### Step 2: Create and submit a testing registration
```

```
This configures brand assets and submits for approval. It requires multiple  
API calls in sequence:
```

- a. `create-registration --registration-type TEST\_RCS\_LAUNCH\_REGISTRATION`
returns `RegistrationId`. Save it.
- b. `create-registration-association --registration-id <id> --resource-id <agent-id>`
links the registration to the agent.
- c. Upload images as attachments (two calls):
`create-registration-attachment --attachment-body fileb://<logo-path>`

```
`create-registration-attachment --attachment-body file://<banner-path>`  
# each returns `RegistrationAttachmentId`. Save both.
```

- d. Set ALL required registration fields using `put-registration-field-value` with `--registration-id`, `--field-path`, and the appropriate value flag (`--text-value`, `--select-choices`, or `--registration-attachment-id`).

Required fields (ALL must be set or registration will be DENIED):

- `agentDetails.brandName` (text, 2-65 chars)
- `agentDetails.serviceName` (text, 1-100 chars)
- `agentDetails.senderDisplayName` (text, 1-40 chars)
- `agentDetails.useCase` (select: OTP, TRANSACTIONAL, PROMOTIONAL, MULTI_USE)
- `agentDetails.agentDescription` (text, 1-100 chars)
- `agentDetails.logoImage` (attachment ID from step c, 224x224 PNG)
- `agentDetails.bannerImage` (attachment ID from step c, 1440x448 PNG/JPEG)
- `agentDetails.accentColor` (text, hex code e.g. #0066CC)
- `agentDetails.privacyPolicyUrl` (text, valid URL)
- `agentDetails.termsAndConditionsUrl` (text, valid URL)
- `agentDetails.averageMonthlyRcsFrequency` (select: 10, 100, 1000+)
- `agentDetails.monthlyRcsVolume` (text, 1-100000)
- At least ONE contact method WITH its label:
 agentDetails.contactWebsite + agentDetails.contactWebsiteLabel, OR
 agentDetails.contactPhoneNumber + agentDetails.contactPhoneLabel, OR
 agentDetails.contactEmailAddress + agentDetails.contactEmailLabel

- e. Verify all fields: `describe-registration-field-values --registration-id <id>`

Any field showing `DeniedReason: MISSING\_REQUIRED\_FIELD` must be set.

- f. Submit: `submit-registration-version --registration-id <id>`

- g. Poll status: `describe-registrations --registration-ids <id>`

Wait for `RegistrationStatus: COMPLETE`.

****Error recovery:**** If registration is DENIED, you must:

1. `create-registration-version --registration-id <id>` (creates new draft)
2. Re-populate ALL fields from scratch (new versions do NOT inherit values)
3. Fix the issue noted in `DeniedReasons`
4. Re-submit

Step 3: Add a test device

****Prerequisite:**** Step 2 must be COMPLETE and the agent's `TestingAgent.Status` must be `ACTIVE` (check with `describe-rcs-agents`). Then wait at least 120

seconds after the agent becomes ACTIVE.

```
Use `create-verified-destination-number --destination-phone-number <E.164>
--rcs-agent-id <agent-id>`.
```

The device status will be `PENDING`. The user must accept the RCS tester invitation on their physical device. Check status with `describe-verified-destination-numbers` – wait for `VERIFIED`.

Step 4: Send a test RCS message

****Prerequisite:**** Step 3 device must be `VERIFIED`.

```
Use `send-text-message --destination-phone-number <E.164>
--origination-identity <agent-arn> --message-body "<text>"
--message-type TRANSACTIONAL`.
```

Returns `MessageId`.

Step 5: Verify delivery

For testing: check the test device – the message appears from the branded RCS agent.

For production monitoring: set up event destinations BEFORE sending messages using `create-event-destination` (SNS, CloudWatch Logs, or Firehose). Event destinations do not retroactively capture events for already-sent messages. CloudWatch metrics in the `AWS/SMSVoice` namespace provide aggregate stats.

****Before generating commands, ask me for:****

- Brand name, service name, and sender display name
- Agent description (what the agent does, what messages users receive)
- Use case type: OTP, TRANSACTIONAL, PROMOTIONAL, or MULTI_USE
- Logo file path (224x224 PNG) and banner file path (1440x448 PNG/JPEG)
- Brand accent color hex code (e.g. #0066CC)
- Privacy policy URL and terms & conditions URL
- One contact method with label: website URL, phone number, or email
- Estimated monthly RCS volume and per-user message frequency
- Test device phone number in E.164 format (e.g. +12065550100)

RCS エージェントの管理

AWS RCS エージェントは、RCS メッセージングのブランドを表す AWS エンドユーザーメッセージングの最上位リソースです。これは、テストエージェントと国起動エージェント (RCS for Business IDs)。キーワードと双方向メッセージング設定は、AWS RCS エージェントで定義されます。ブランドアセットは、各登録 (テストエージェントまたは国起動エージェント) で定義されます。AWS RCS エージェントと RCS for Business IDs「」を参照してください[RCS とは](#)。

AWS RCS エージェントはこのライフサイクルに従います。

1. AWS RCS エージェントを作成します。
2. テストエージェントを追加します (コンソール作成フローに含まれ、CLI 経由のオプション)。
3. 登録されたテストデバイスで RCS メッセージングをテストします。テストにキャリアの承認は必要ありません。
4. 本番稼働用 RCS メッセージを送信する国ごとに国起動登録を送信します。
5. 一部承認済み: 少なくとも 1 つのキャリアがエージェントを承認しました。承認済みキャリアの受信者への送信を開始できます。
6. 完全に承認: 国のすべてのキャリアがエージェントを承認しました。その国へのフルリーチ。

1 つの AWS RCS エージェントは、1 つのテストエージェント (ビジネス ID の RCS) と複数の国起動エージェント (国ごとにビジネス ID の RCS) にマッピングされます。コンソールで AWS RCS エージェントを作成すると、ワークフローによってすぐにテストエージェントを作成するように指示されます。次に、テストエージェントのブランド設定を使用して国起動登録フォームを事前入力し、重複するデータ入力を減らします。

トピック

- [AWS RCS エージェントについて](#)
- [2 レベルの ID モデルについて](#)
- [AWS RCS エージェントの作成](#)
- [AWS RCS エージェントの更新](#)
- [AWS RCS エージェントの表示](#)
- [テストエージェントの確認](#)
- [国の起動ステータスの表示](#)
- [AWS RCS エージェントの削除](#)

AWS RCS エージェントについて

AWS RCS エージェントは、管理する RCS for Business IDs とは異なります。次の表は、違いをまとめたものです。

AWS RCS エージェントと RCS for Business ID の比較

属性	AWS RCS エージェント	RCS for Business ID
管理者	AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは API を通じて	AWS 登録プロセス中のエンドユーザーメッセージング
スコープ	ブランドまたはユースケースごとに 1 つ	国ごとに 1 つの起動と 1 つのテストエージェント
設定	わかりやすい名前、削除保護、オプトアウトリスト、タグ、キーワード、双方向メッセージングの送信先	登録中に定義されたブランドアセットおよびその他の設定
識別子	rcs-a1b2c3d4 形式	RCS インフラストラクチャプロバイダーによって内部的に管理される

エージェント ID と ARN

各 AWS RCS エージェントには、形式の一意の識別子があります rcs-a1b2c3d4 (プレフィックスの rcs-後に 16 進文字列が続きます)。この ID は、UpdateRcsAgentや などの API オペレーションを呼び出すときに使用しますDeleteRcsAgent。

各 AWS RCS エージェントには、次の形式の AWS リソース ARN もあります。

```
arn:aws:sms-voice:region:account-id:rcs-agent/rcs-agent-id
```

AWS RCS エージェントを SendTextMessage API の送信元 ID として指定するとき、またはエージェントを電話プールに追加するときに、ARN を使用できます。

ライフサイクル状態

AWS RCS エージェントは、次のライフサイクル状態に移行します。

作成済み

AWS RCS エージェントリソースは AWS エンドユーザーメッセージングで作成されていますが、登録はまだ送信されていません。この状態でブランドアセットと設定を更新できます。

保留中

登録が送信され、処理を待っています。エージェントはまだメッセージを送信できません。

テスト

テスト登録が承認されました。エージェントにはテストエージェント (RCS for Business ID) があり、登録されたテストデバイスにメッセージを送信できます。国の起動登録は完了していません。

部分的

少なくとも 1 つの国起動登録が完了しましたが、送信されたすべての国起動がアクティブではありません。エージェントは、承認された国のメッセージを送信できますが、エージェントを承認した特定のキャリア (複数可) の受信者にのみメッセージを送信できます。ある国の CountryStatus は、その国の少なくとも 1 つのキャリアがアクティブになるとすぐに PARTIAL に移行します。

アクティブ

送信されたすべての国起動登録は完了し、アクティブです。エージェントは、登録されているすべての国で完全に運用されています。新しい国はまだ承認されていないため、新しい国の起動登録が送信されると、ACTIVE エージェントは PARTIAL ステータスに戻る可能性があることに注意してください。

DELETED

AWS RCS エージェントは削除されました。関連するすべての RCS for Business IDs (テストエージェントと国起動エージェント) は非アクティブ化されます。このアクションを元に戻すことはできません。

2 レベルの ID モデルについて

AWS エンドユーザーメッセージングの RCS は、AWS RCS エージェントと 1 つ以上の RCS for Business IDs 2 つのレベルの ID モデルを使用します。

AWS RCS エージェント

AWS RCS エージェントは、AWS エンドユーザーメッセージングで作成して管理する最上位のリソースです。これは、テストエージェントと国起動エージェントを結合する統合リソースとして機能します。キーワードと双方向メッセージング設定は、AWS RCS エージェントで定義されます。ブランドアセットは登録ごとに定義されます。各 AWS RCS エージェントには、形式の一意の識別子 `rcs-a1b2c3d4` とリソース ARN があります AWS。AWS RCS エージェントを、RCS を起動するすべての国におけるブランドの統一されたアイデンティティと考えてください。

RCS for Business ID

RCS for Business ID は、登録プロセス中に RCS インフラストラクチャプロバイダーで作成される国ごとのエージェント ID です。国ごとに、AWS RCS エージェントの下に個別の RCS for Business ID が作成されます。RCS for Business IDs を直接管理することはありません。AWS エンドユーザーメッセージングは、登録プロセスの一環として作成とライフサイクルを処理します。

1 つの AWS RCS エージェントは、次の RCS for Business IDs を持つことができます。

- 1 つのテストエージェント — テスト登録フェーズ中に作成された RCS for Business ID。テストエージェントは登録されたテストデバイスと連携し、本番環境で を起動する前に RCS 統合を検証できます。テストメッセージは標準料金で課金されます。
- 複数の国起動エージェント — RCS を起動する各国は、個別の RCS for Business ID を作成します。たとえば、米国とカナダの両方で を起動する場合、AWS RCS エージェントには、テストエージェントに加えて 2 つの国起動エージェント (米国 RCS for Business ID とカナダ RCS for Business ID) があります。

次の図は、これらの ID の関係を示しています。

```
AWS RCS Agent (rcs-a1b2c3d4)
### Testing agent (RCS for Business ID)
### US country launch agent (US RCS for Business ID)
### CA country launch agent (Canada RCS for Business ID)
```

キーワードと双方向メッセージングの送信先は AWS RCS エージェントで設定され、関連するすべての RCS for Business IDs に適用されます。ブランドアセットは、各登録 (テストエージェントまた

は国起動エージェント) に固有です。AWS RCS エージェントには、フレンドリ名、削除保護、オプトアウトリストなどのアカウントレベルの設定も保持されます。

AWS RCS エージェントの作成

AWS RCS エージェントは、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは CreateRcsAgent API を使用して作成できます。エージェントを作成するときは、コンソールでわかりやすい名前 (タグとして保存され、API では表示されない、または受信者の電話では表示されないコンソール専用ラベル) を指定し、削除保護やオプトアウトリストの関連付けなどのオプションの設定を行います。ブランドアセットは、AWS RCS エージェント自体ではなく、登録時に定義されます。

ブランドアセットの要件

ブランドアセットは、RCS メッセージとともに受信者に表示されます。ブランドアセットはテスト登録の一部として送信され、コンソールはエージェント作成ワークフローの継続として表示します。AWS RCS エージェントを作成するときは、次のアセットが必要です。

ロゴ

ブランドを表す正方形の画像。ロゴがメッセージとともにメッセージングアプリに表示されます。

- デイメンション: 224 × 224 ピクセル
- 形式: 透明性のある PNG
- 最大ファイルサイズ: 50 KB

バナーイメージ

メッセージングアプリのエージェントのプロファイルの上部に表示されるワイドイメージ。バナーイメージは Android デバイスにのみ表示されます。

- デイメンション: 1440 x 448 ピクセル
- 形式: PNG または JPEG
- 最大ファイルサイズ: 200 KB

ブランドの色

メッセージングアプリのアクセント色として使用される 16 進カラーコード (例: #1A73E8)。アクセシビリティ要件を満たすには、色のコントラスト比が白の背景に対して 4.5:1 以上である必要があります。コントラスト比が正しく設定されていない場合、エージェントは承認されない可能性があります。

⚠ Important

ブランドアセットには、エージェントの作成後の変更に変制があります。一部のブランドアセットは、エージェントが登録用に送信されると変更できません。AWS RCS エージェントを作成する前に、最終的なブランドアセットを準備します。

Console

AWS エンドユーザーメッセージングコンソールは、AWS RCS エージェントの作成と登録のテストを単一のガイド付きワークフローとして表示します。コンソールstep-by-step「」を参照してください[ステップ 1: AWS RCS エージェントを作成してテスト登録を送信する](#)。

AWS CLI

`create-rcs-agent` コマンドを使用して AWS RCS エージェントを作成します。ブランドアセット (表示名、説明、ロゴ、バナー、ブランドカラー) は、このコマンドのパラメータではありません。これらは、テスト登録を作成するときに登録フィールドとして送信されます。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-rcs-agent \  
--deletion-protection-enabled
```

以下のオプションパラメータを使用できます。

- `--deletion-protection-enabled` — 削除保護が無効になるまで、エージェントが削除されないようにします。
- `--opt-out-list-name` — 既存のオプトアウトリストをエージェントに関連付けます。
- `--tags` — AWS RCS エージェントを整理して識別するためのキーと値のペア。

AWS RCS エージェントの更新

`UpdateRcsAgent` API を使用して、既存の AWS RCS エージェントの設定を変更します。次の設定を更新できます。

- 削除保護 — エージェントの削除保護を有効または無効にします。
- オプトアウトリスト — オプトアウトリストとエージェントとの関連付けまたは関連付け解除。
- 双方向メッセージングの送信先 — インバウンドメッセージが配信される Amazon SNS トピックと IAM ロールを設定します。RCS では、双方向メッセージングは常に有効になっています。お客

様は、すべてのインバウンド RCS メッセージに対して標準料金で課金されます。この設定は、受信されたかどうかではなく、インバウンドメッセージが配信される場所を制御します。

Note

API を使用した AWS RCS エージェント設定の変更は、すぐに使用できます。ただし、ブランドアセット (ロゴ、バナー、表示名などの登録フィールド) の更新は RCS インフラストラクチャプロバイダーによってレビューされ、受信者のデバイスに表示されるまでに時間がかかる場合があります。API の変更が適用されたことを確認するには、DescribeRcsAgents API を使用して、AWS エンドユーザーメッセージングで現在のエージェント設定を確認します。

AWS RCS エージェントの表示

AWS RCS エージェントは、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは DescribeRcsAgents API を使用して表示できます。

Console

コンソールで AWS RCS エージェントを表示するには、ナビゲーションペインの設定の下にある RCS エージェントページに移動します。リストページには、現在のライフサイクル状態、エージェント ID、表示名など、アカウント内のすべての AWS RCS エージェントが表示されます。

エージェントを選択すると、ブランドアセット、設定、関連する登録などの詳細が表示されます。

AWS CLI

describe-rcs-agents コマンドを使用して、アカウント内のすべての AWS RCS エージェントを一覧表示します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-rcs-agents
```

特定のエージェントの詳細を取得するには、--rcs-agent-ids パラメータを使用します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-rcs-agents \  
  --rcs-agent-ids rcs-a1b2c3d4
```

テストエージェントの確認

国の起動登録を送信する前に、テストエージェント設定を確認して、ブランドアセット、キーワード、メッセージング設定が正しいことを確認します。テストエージェントは国起動登録のテンプレートとして機能するため、続行する前に問題を解決する必要があります。

テストエージェントを確認するには、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールで AWS RCS エージェントに移動し、登録タブを選択します。テスト登録には、受信者のデバイスに表示されるロゴ、バナーイメージ、ブランドカラー、表示名など、現在のブランド設定が表示されます。

DescribeRegistrationFieldValues API を使用して、テスト登録の現在のフィールド値をプログラムで取得することもできます。

国の起動ステータスの表示

AWS RCS Agent の国起動登録を送信すると、その国の各キャリアの承認ステータスを追跡できます。

Console

コンソールで国起動ステータスを表示するには、AWS RCS エージェントの詳細ページに移動し、国起動ステータスタブを選択します。このタブには、起動登録を送信した各国の各キャリアの承認ステータスが表示されます。

AWS CLI

describe-rcs-agent-country-launch-status コマンドを使用して、キャリアごとの起動ステータスを取得します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-rcs-agent-country-launch-status \
  --rcs-agent-id rcs-a1b2c3d4
```

レスポンスには、起動登録を送信した各国の各キャリアの承認ステータが含まれます。

各キャリアはエージェントを個別に確認および承認します。AWS RCS エージェントは、その国の少なくとも 1 つのキャリアがエージェントを承認するとすぐに、その国でメッセージを送信できます。RCS メッセージの送信を開始する前に、すべてのキャリアが承認するのを待つ必要はありません。追加のキャリアがエージェントを承認すると、その国のリーチが増加します。

 Note

国起動ステータス画面から追加の国起動をリクエストできます。新しい国のローンチごとに個別の登録が作成され、独自のキャリア承認プロセスが実行されます。

AWS RCS エージェントの削除

DeleteRcsAgent API を使用して AWS RCS エージェントを完全に削除します。エージェントを削除すると、関連するすべての RCS for Business IDs (テストエージェントとすべての国起動エージェントを含む) が非アクティブ化されます。

 Warning

AWS RCS エージェントの削除は永続的であり、元に戻すことはできません。エージェントに関連付けられたすべての登録、国の起動、およびテスト設定は失われます。

AWS RCS エージェントを削除する前に、まず関連するすべての登録 (テスト登録と国起動登録の両方) を削除してから、削除保護を無効にする必要があります。削除保護が有効になっている場合、DeleteRcsAgentAPI はエラーを返します。削除保護を無効にするには、削除保護を に設定して UpdateRcsAgent API を使用します false。

AWS RCS エージェントを削除するには

1. 削除保護が有効になっている場合は、削除保護を に設定して UpdateRcsAgent API を呼び出して無効にします false。
2. 削除する AWS RCS エージェントのエージェント ID または ARN を使用して DeleteRcsAgent API を呼び出します。
3. DescribeRcsAgents API を呼び出して、エージェントが削除されたことを確認します。エージェントは結果に表示されなくなるか、ステータスが DELETED になります。

RCS メッセージのテスト

RCS メッセージングを本番環境で起動する前に、テストエージェントを使用して統合をテストできます。テストエージェントは、AWS RCS エージェントのテスト登録を送信するときに作成される

RCS for Business ID です。本番稼働環境と同じ完全な API アクセスを提供しますが、メッセージ配信は登録済みのテストデバイスのみに制限されます。テストにキャリアの承認は必要ありません。

この章では、テストデバイスを管理する方法や一般的な問題のトラブルシューティング方法など、テストエージェント自体に焦点を当てます。最初の AWS RCS エージェントを作成し、テストメッセージを送信するstep-by-stepについては、「」を参照してください[RCS の開始方法](#)。AWS RCS エージェントの作成とテスト登録の送信の詳細については、「」を参照してください[RCS エージェントの管理](#)。

Important

メッセージのテストには、標準の RCS レートで課金されます。テストエージェントは、統合を検証するためのテスト環境を提供しますが、テストデバイスへのメッセージ配信には、本番メッセージと同じ料金が発生します。

トピック

- [テストエージェントとは](#)
- [テストデバイスの追加](#)
- [テスターの招待フロー](#)
- [テストデバイスの表示](#)
- [テストメッセージの送信](#)
- [SMS フォールバックのテスト](#)
- [RCS テストのトラブルシューティング](#)

テストエージェントとは

テストエージェントは、AWS RCS エージェントのテスト登録を送信するときに AWS エンドユーザーメッセージングが作成する RCS for Business ID です。テストエージェントを使用すると、次のことができます。

- キャリアの承認なしで登録済みのテストデバイスに RCS メッセージを送信する
- SendTextMessage API を使用してテストメッセージを送信します。これは、本番環境で使用するのと同じ API です。
- テストワークフローのプール、設定セット、オプトアウトリスト、キーワード、その他の AWS エンドユーザーメッセージング機能を設定する

- 自動応答キーワードを使用してメッセージを送信して双方向メッセージングをテストする
- 承認された SMS 電話番号の有無にかかわらず、SMS フォールバック動作をテストする

テストエージェントに登録したテストデバイスは、その AWS RCS Agent のすべての国で動作します。国ごとにテストデバイスを個別に登録する必要はありません。逆に、テストエージェントは、その国の国起動登録を送信したかどうかにかかわらず、任意の国のテストデバイスにメッセージを送信できます。

テストデバイスの追加

テスト RCS メッセージを送信する前に、1 つ以上のテストデバイスを検証済み送信先番号として登録する必要があります。テストデバイスは、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは `CreateVerifiedDestinationNumber` API を使用して追加できます。

Console

コンソールでは、テストデバイスは AWS RCS エージェント作成ワークフローの一部として追加されます。コンソールの手順についてはstep-by-step「」を参照してください[ステップ 2: テストデバイスを追加する](#)。

AWS CLI

コマンド `create-verified-destination-number` と `--rcs-agent-id` パラメータを使用して、AWS RCS エージェントのテストデバイスを登録します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-verified-destination-number \
  --destination-phone-number +12065550100 \
  --rcs-agent-id rcs-a1b2c3d4
```

Note

`--origination-identity` パラメータは必須ではありません。を指定すると `--rcs-agent-id`、コマンドはそのエージェントに RCS テスト用の電話番号を登録します。を省略 `--rcs-agent-id` して `--origination-identity` 使用すると、コマンドは OTP SMS を送信して SMS 検証を行います。2 つのパラメータは相互に排他的です。

テスターの招待フロー

テストデバイスを追加すると、AWS End User Messaging は RBM Tester Management という RCS エージェントからテスターの招待を送信します。招待には、承諾または拒否するためのボタンが含まれています。120 秒の待機要件や iOS 固有の動作など、テスターの招待フローの詳細については、「」を参照してください[ステップ 2: テストデバイスを追加する](#)。

テストデバイスの表示

AWS RCS エージェントに登録されているテストデバイスは、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは DescribeVerifiedDestinationNumbers API を使用して表示できます。

Console

コンソールで登録済みのテストデバイスを表示するには、AWS RCS エージェントの詳細ページに移動し、テストタブを選択します。タブには、検証ステータスや電話番号など、エージェントに関連付けられているすべての検証済み送信先番号が表示されます。

AWS CLI

describe-verified-destination-numbers コマンドを使用して、AWS RCS エージェントのテストデバイスを一覧表示します。で --filters パラメータを使用して rcs-agent-id、RCS テストデバイスのみを表示します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-verified-destination-numbers \
  --filters Name=rcs-agent-id,Values=rcs-a1b2c3d4
```

テストエージェントに登録したテストデバイスは、その AWS RCS エージェントに対してグローバルに動作します。1 つの AWS リージョンに登録されたテストデバイスは、AWS RCS Agent が利用可能な任意の AWS リージョンから送信されたテストメッセージを受信できます。

テストメッセージの送信

テストデバイスがテスターの招待を承諾したら、そのデバイスに RCS メッセージを送信できます。テストメッセージは、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは SendTextMessage API を使用して送信できます。

Console

コンソールを使用してテストメッセージを送信するには

1. AWS エンドユーザーメッセージングコンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの設定で、RCS エージェントを選択します。
3. テストする AWS RCS エージェントを選択します。
4. テストタブを選択します。
5. テストメッセージの送信セクションで、リストから検証済みのテストデバイスを選択します。
6. メッセージテキストを入力します。
7. [テキストメッセージを送信] を選択します。

AWS CLI

send-text-message コマンドを使用して、検証済みの送信先番号にテストメッセージを送信します。AWS RCS エージェント ARN を送信元 ID として指定します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 send-text-message \
  --destination-phone-number +12065550100 \
  --origination-identity arn:aws:sms-voice:us-east-1:123456789012:rca-agent/rca-
a1b2c3d4 \
  --message-body "Hello from RCS testing!"
```

SMS フォールバックのテスト

SMS フォールバック動作をテストして、RCS 配信が不可能な場合にメッセージが SMS 経由で配信されることを確認できます。承認済みの SMS 番号やend-to-endフローを使用しないテストなど、SMS フォールバックのテストに関する詳細な手順については、「」を参照してください[SMS フォールバックのテスト](#)。

RCS テストのトラブルシューティング

以下のセクションでは、RCS メッセージをテストするときに発生する可能性がある一般的な問題とその解決方法について説明します。

テストデバイスが RCS メッセージを受信していない

テストデバイスが RCS メッセージを受信していない場合は、以下を確認してください。

- テストデバイスがテスターの招待を承諾していることを確認します。rcs-agent-id フィルターで DescribeVerifiedDestinationNumbers API を使用して、デバイスの検証ステータスを確認します。
- テストデバイスで RCS が有効になっていることを確認します。Android では、RCS または Chat 機能のメッセージングアプリ設定を確認します。iPhone では、RCS に iOS 18 以降が必要です。
- テストデバイスにアクティブなデータ接続があることを確認します。RCS メッセージは、SMS チャンネルではなくデータ経由で配信されます。
- E.164 形式で正しい電話番号に送信していることを確認します。

RCS の代わりに SMS として配信されるメッセージ

テストメッセージが RCS ではなく SMS として配信される場合は、以下を確認してください。

- AWS RCS エージェント ARN または AWS RCS エージェントを含むプールを発信元 ID として使用してメッセージを送信していることを確認します。SMS 電話番号のみを指定した場合、メッセージは SMS 経由で送信されます。
- テストデバイスがテスターの招待を受け入れ、正しい AWS RCS エージェントの検証済み送信先番号として登録されていることを確認します。
- 配信イベントをチェックして、メッセージが最初に RCS 経由で試行されて SMS にフォールバックされたかどうか、または SMS 経由で直接送信されたかどうかを判断します。

テスターの招待が受信されない

テストデバイスがテスターの招待を受信しない場合は、以下を確認してください。

- テスターの招待は、テストデバイスを追加してから到着するまでに最大 20 分かかる場合があります。20 分経っても招待が届かない場合は、テストデバイスを削除して再度追加します。
- 電話番号が正しい E.164 形式であり、有効な携帯電話番号であることを確認します。
- テストデバイスにアクティブなデータ接続があり、RCS が有効になっていることを確認します。

iOS: 不明な送信者のテスターの招待

iOS デバイス (iOS 18 以降の iPhone) では、RBM Tester Management からのテスターの招待が Messages アプリの Unknown Senders フォルダにフィルタリングされる場合があります。これは、不明な連絡先からのメッセージのデフォルトの iOS 動作です。

招待を見つけるには:

iOS でテスターの招待を見つけるには

1. iPhone で Messages アプリを開きます。
2. 左上隅のフィルターをタップする (またはメッセージリストから右にスワイプする)。
3. 不明な送信者をタップします。
4. RBM Tester Management メッセージを探し、Make me a tester to accept the invitation をタップします。

電話プールを使用した RCS から SMS へのフォールバック

電話プールは、AWS RCS エージェントや SMS 電話番号などのメッセージング ID のコンテナであり、API リクエストと基盤となる発信元 ID の間に抽象化レイヤーを提供します。プールは、設定の変更、番号タイプの移行、および RCS-to-SMSフォールバックを簡素化します。プールに 1 回の API コールを送信すると、AWS エンドユーザーメッセージングがチャンネル選択を処理します。

この章では、RCS 配信が失敗する方法、SMS フォールバックを可能にする理由、フォールバックロジックと優先順位、請求への影響について説明します。また、pool-per-use-caseベストプラクティスと、プールから AWS RCS エージェントを追加および削除する方法についても説明します。電話プールの一般的な情報については、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS の電話プール](#)。AWS RCS エージェントの管理については、「」を参照してください[RCS エージェントの管理](#)。

トピック

- [RCS 配信が失敗する方法](#)
- [SMS フォールバックを可能にするもの](#)
- [プールを使用する理由](#)
- [Pool-per-use-case モデル](#)
- [アカウントレベルの送信によるコンプライアンスリスク](#)

- [フォールバックロジックと優先順位](#)
- [SMS フォールバックの請求への影響](#)
- [SMS フォールバックのテスト](#)
- [プールでの AWS RCS エージェントの管理](#)

RCS 配信が失敗する方法

RCS 配信は、いくつかの理由で失敗する可能性があります。これらの障害モードを理解することは、フォールバック戦略を計画するのに役立ちます。

- キャリアは RCS をサポートしていません — 受信者のモバイルキャリアがネットワークで RCS メッセージングを有効にしていません。
- デバイスは RCS をサポートしていません — 受信者のデバイスには RCS 機能がありません (古い Android デバイスや 18 より前の iOS を実行している iPhone など)。
- エージェントはキャリアでアクティブではありません — AWS RCS エージェントは受信者のキャリアによってまだ承認されていないか、エージェントがその国の PARTIAL ステータスです。
- デバイスに一時的に到達できない — 受信者のデバイスは RCS をサポートしていますが、一時的にオフラインであるか、データ接続がありません。RCS メッセージには、配信用のデータ接続が必要です。

これらの条件のいずれかが発生し、プールベースまたはアカウントレベルの送信を使用している場合、AWS End User Messaging は、同じプールまたはアカウントの電話番号を使用して SMS 配信に自動的にフォールバックします。

SMS フォールバックを可能にするもの

SMS フォールバックには、AWS RCS エージェントと、同じプール内の少なくとも 1 つの SMS 電話番号の両方が必要です。プールにメッセージを送信すると、AWS End User Messaging は最初に RCS 配信を試みます。RCS 配信が失敗した場合、サービスは同じプールの電話番号を使用して SMS 経由でメッセージを再試行します。AWS RCS エージェントのみを持つプール (電話番号なし) は、SMS フォールバックをサポートしていません。RCS が失敗した場合、メッセージは配信されません。

⚠ Important

SMS フォールバックが機能するには、プールに AWS RCS エージェントと 1 つ以上の SMS 電話番号の両方が含まれている必要があります。単一の ID タイプのみを持つプールは、クロスチャネルフォールバックを提供しません。

プールを使用する理由

RCS だけでなく、すべてのメッセージングユースケースに電話プールを使用することをお勧めします。プールには以下の利点があります。

- 自動 SMS フォールバック — プールに AWS RCS エージェントと SMS 電話番号の両方が含まれている場合、AWS エンドユーザーメッセージングは最初に RCS 配信を試みます。RCS 配信が失敗した場合 (受信者のデバイスやキャリアが RCS をサポートしていない場合など)、サービスは同じプールの電話番号を使用して SMS 経由でメッセージを自動的に再試行します。アプリケーションにフォールバックロジックを実装する必要はありません。
- インテリジェントルーティング — サービスは、送信先、チャネルの可用性、ステイックキー送信履歴に基づいて、プールから最適な送信元 ID を選択します。このルーティングは、SendTextMessage呼び出しごとに透過的行われます。
- 単一 API コール — プール ID を SendTextMessage リクエストの送信元 ID として指定します。このサービスは、追加のロジックなしで RCS または SMS 経由で配信するかどうかを決定します。
- 将来の変更に対する柔軟性 — アプリケーションコードを変更することなく、いつでも電話番号と AWS RCS エージェントをプールに追加または削除できます。たとえば、SMS フォールバックに通話料無料番号を追加したり、送信統合を変更せずに 10DLC 番号をスワップアウトしたりできます。
- コストや欠点なし — プールを作成して送信元 ID を追加しても、追加料金は発生しません。単一の電話番号または単一の AWS RCS エージェントを使用しても、プールを使用すると、アプリケーションを変更せずに後で ID を柔軟に追加できます。

i Note

メッセージングには、常にプールを使用することをお勧めします。単一の送信元 ID であっても、プールの使用にコストや欠点はありません。RCS-to-SMS フォールバックの場合、プールには AWS RCS エージェントと少なくとも 1 つの SMS 電話番号の両方が含まれてい

る必要があります。最初からプールを開始すると、送信コードを変更せずに SMS フォールバック番号または追加の AWS RCS エージェントを後で追加できます。

Pool-per-use-case モデル

ユースケースごとに 1 つのプールを作成することをお勧めします。各プールには、すべての電話番号と、単一のメッセージング目的を果たす AWS RCS エージェントが含まれている必要があります。例えば、次のようになります。

- AWS RCS エージェントとトランザクションメッセージングに登録された 10DLC 番号を含む、OTP コードとアカウント通知のトランザクションプール。
- 同じ AWS RCS エージェント (または別のエージェント) と、マーケティングに登録された通話料無料番号を含むプロモーションメッセージのマーケティングプール。
- AWS RCS エージェントと予約関連のメッセージ専用の電話番号を含む、通知をスケジュールするための予約リマインダープール。

このモデルにより、RCS 配信が失敗し、サービスが SMS にフォールバックすると、フォールバックメッセージが、同じユースケースに登録および承認された電話番号から送信されます。これにより、メッセージングは通信事業者の要件と登録条件に準拠し続けます。

アカウントレベルの送信によるコンプライアンスリスク

アカウントレベルでメッセージを送信する場合 (プールや発信元 ID を指定しない)、AWS End User Messaging はアカウントで使用可能なすべての ID から発信元 ID を選択します。アカウントに異なるユースケース用に複数の電話番号が登録されている場合、サービスはメッセージの内容と一致しない電話番号を選択することがあります。

Important

ユースケースが混在したアカウントレベルの送信では、コンプライアンスリスクが発生します。例えば、アカウントに OTP メッセージに登録されている 10DLC 番号と、予約リマインダーに登録されている通話料無料番号がある場合、SMS にフォールバックする OTP メッセージは、予約リマインダーの通話料無料番号から送信できます。これは、その番号の登録条件に違反し、キャリアのフィルタリングや番号の停止につながる可能性があります。

このリスクを回避するには、ユースケースごとに 1 つのプールでプールベースの送信を使用します。SendTextMessage リクエストでプール ID を指定すると、サービスはそのプールから発信元 ID のみを選択します。プール内のすべての ID が同じユースケースに登録されるため、フォールバックメッセージは常に適切な番号から送信されます。

送信アプローチのコンプライアンス比較

送信アプローチ	SMS フォールバック動作	コンプライアンスリスク
プールベース (推奨)	同じユースケースに登録されている同じプール内の電話番号にフォールバックする	低 — フォールバック番号がメッセージのユースケースと一致する
アカウントレベル	アカウントで使用可能な電話番号にフォールバックします。	高 — 複数のユースケースがアカウントを共有する場合、フォールバック番号がメッセージのユースケースと一致しない場合がある
Direct (AWS RCS エージェント ARN)	SMS フォールバックなし	なし — メッセージは RCS 経由でのみ配信されるか、まったく配信されません

フォールバックロジックと優先順位

AWS End User Messaging は、メッセージの発信元 ID (プールまたはすべてのアカウント ID) を選択すると、次の優先順位で ID を評価します。

1. スティッキー ID — 送信先の電話番号にスティッキー送信ペアが存在し、ID がまだ利用可能な場合、サービスはその ID を使用します。
2. AWS RCS エージェント — スティッキーペアが存在しない場合、サービスは使用可能な AWS RCS エージェントを介した RCS 配信を試みます。
3. SMS ショートコード — RCS が使用できない場合、サービスは SMS ショートコードを選択します。
4. SMS 10DLC — ショートコードがない場合、サービスは 10DLC 番号を選択します。
5. SMS 通話料無料番号 — 10DLC 番号が利用できない場合、サービスは通話料無料番号を選択します。
6. SMS 送信者 ID — 他の ID が利用できない場合、サービスは送信者 ID を選択します。

この優先順位は、使用する送信パターンの範囲内で適用されます。プールベースの送信の場合、サービスは指定されたプール内の ID のみを考慮します。アカウントレベルの送信の場合、サービスはアカウント内のすべての ID を考慮します。

自動 SMS フォールバック

プールまたはアカウントレベルでメッセージを送信すると、RCS 配信が不可能な場合、AWS End User Messaging は自動的に SMS にフォールバックします。フォールバックは非同期です。

AWS End User Messaging が RCS メッセージを正常に送信したが、25 秒以内に配信確認または失敗シグナルを受信しない場合、サービスは SMS にフォールバックします。これにより、RCS インフラストラクチャがメッセージを受け入れても配信が停止するケースが処理されます (たとえば、受信者のデバイスが一時的に到達できない、キャリアが RCS をサポートしていない、デバイスが RCS に対応していないなど)。

Note

直接送信 (発信元 ID として AWS RCS エージェント ARN を指定) は、自動 SMS フォールバックをサポートしていません。SMS フォールバックが必要な場合は、プールベースの送信を使用します。

スティッキー送信

スティッキー送信は、配信の一貫性を向上させるルーティングの最適化です。AWS End User Messaging が特定の発信元 ID を使用して送信先電話番号にメッセージを正常に配信すると、サービスはそのペアリングを 25 時間記憶します。25 時間以内の同じ送信先への後続のメッセージは、プールまたはアカウントで引き続き使用できる場合、同じ送信元 ID を介してルーティングされます。

スティッキー送信は、RCS 配信と SMS 配信の両方に適用されます。たとえば、メッセージが AWS RCS エージェントを介して RCS 経由で配信された場合、25 時間以内に同じ宛先への次のメッセージも同じエージェントを介して RCS 経由で試行されます。前のメッセージが SMS 経由で配信された場合 (RCS フォールバック後)、次のメッセージは同じ電話番号を介して SMS 経由で試行されます。

スティッキー ID が SMS 電話番号であっても、サービスは RCS 配信を定期的に再試行します。これにより、デバイスが RCS サポートを受ける受信者は (キャリアのロールアウトやデバイスのアップグレード後など)、手動で介入することなく RCS メッセージの受信を開始できます。

スティッキー送信の主な特徴:

- 25 時間 TTL — スティッキーペアリングは、最後に正常に配信されてから 25 時間後に期限切れになります。有効期限が切れると、サービスは次のメッセージの発信元 ID 優先度の順序を再評価します。
- 自動 RCS 再試行 — スティッキー ID が SMS 電話番号であっても、サービスは定期的に RCS 配信を試みて、受信者が RCS をサポートするようになったかどうかを確認します。
- 手動フラッシュなし — スティッキー送信ペアリングを手動でフラッシュまたはリセットすることはできません。ペアリングは 25 時間の TTL の後に自動的に期限切れになります。

フォールバック中の配信受信

SMS フォールバックが発生すると、AWS End User Messaging はメッセージを配信した最終チャネルの単一の配信受信を生成します。RCS フォールバック後にメッセージが SMS 経由で配信された場合、配信受信は SMS を配信チャネルとして示します。

通常の状況では、AWS エンドユーザーメッセージングは、SMS フォールバックメッセージが配信される前に RCS メッセージを取り消します。これにより、受信者が同じメッセージを 2 回受信できなくなります。ただし、まれに、RCS メッセージと SMS フォールバックメッセージの両方が配信される場合があります。これは、25 秒のタイムアウトの後、失効が完了する前に RCS メッセージが配信された場合に発生する可能性があります。このようなまれなデュアル配信シナリオでは、両方のチャネルの配信受信を受け取ることがあります。

デュアル配信が請求に与える影響については、「」を参照してください[RCS の請求と料金モデル](#)。

SMS フォールバックの請求への影響

メッセージが RCS から SMS にフォールバックすると、失敗した RCS 試行ではなく、SMS 配信に対して課金されます。RCS メッセージは、受信者のデバイスに正常に配信された場合にのみ請求されます。RCS 配信が失敗し、メッセージが SMS にフォールバックする場合は、そのメッセージの SMS 料金を支払います。

まれにデュアル配信シナリオ (RCS メッセージと SMS フォールバックメッセージの両方が配信される場合) では、両方の配信に対して課金される場合があります。請求の詳細については、「」を参照してください[RCS の請求と料金モデル](#)。

SMS フォールバックのテスト

SMS フォールバック動作をテストして、RCS 配信が不可能な場合にメッセージが SMS 経由で配信されることを確認できます。SMS フォールバックをテストするには、承認済みの SMS 電話番号があるかどうかに応じて、2 つの方法があります。

承認された SMS 番号を使用しないテスト

AWS エンドユーザーメッセージングが、承認された SMS 電話番号なしでフォールバックメカニズムを正しくトリガーしていることを確認できます。承認された番号がない場合でも、SMS 経由で再試行イベントと失敗イベントを確認できます。これにより、フォールバックが機能していることを確認できます。

承認された SMS 番号なしで SMS フォールバックをテストするには

1. モバイルデータと Wi-Fi を無効にするか、飛行機モードを有効にして、テストデバイスをオフラインにします。
2. AWS RCS エージェント ARN を発信元 ID とする SendTextMessage API を使用して、テストデバイスに RCS メッセージを送信します。
3. CloudWatch またはイベント送信先のメッセージイベントを確認します。RCS 配信が不可能であり、サービスが SMS フォールバックを試みたことを示す配信失敗イベントが表示されます。

フォールバックに使用できる SMS 電話番号がないため、SMS 配信も失敗します。ただし、イベントは、AWS エンドユーザーメッセージングがフォールバックメカニズムを正しくトリガーしたことを確認します。

承認された SMS 番号を使用したテスト

end-to-endの SMS フォールバックテストを完了するには、承認された SMS 電話番号と AWS RCS エージェントを同じ電話プールに追加します。これにより、RCS が利用できないときにメッセージが SMS 経由で配信されることを確認できます。

承認された SMS 番号を使用して SMS フォールバックをテストするには

1. AWS RCS エージェントと承認された SMS 電話番号 (10DLC、通話料無料、ショートコード番号など) の両方を含む電話プールを作成します。
2. モバイルデータと Wi-Fi を無効にするか、飛行機モードを有効にして、テストデバイスをオフラインにします。

3. プール ID を発信元 ID とする SendTextMessage API を使用してメッセージを送信します。
4. メッセージが SMS 経由でテストデバイスに配信されていることを確認します。
5. 配信イベントをチェックして、メッセージが RCS フォールバック後に SMS チャンネルを介して配信されたことを確認します。

プールでの AWS RCS エージェントの管理

AWS RCS エージェントを使用してプールを作成する手順、既存のプールにエージェントを追加する手順、プール設定要件を理解する手順、およびプールからエージェントを削除するstep-by-stepについては、「」を参照してください[プールでの AWS RCS エージェントの管理](#)。

RCS メッセージの送信

AWS エンドユーザーメッセージングは、RCS と SMS の両方の配信に同じ SendTextMessage API を使用します。サービスがメッセージをルーティングする方法は、リクエストで指定した送信元 ID によって異なります。電話プール (推奨)、アカウントレベル、または AWS RCS エージェント ARN から直接メッセージを送信できます。

このセクションでは、3 つの送信パターン、配信受信の解釈方法、コード例について説明します。スティッキー送信、送信元 ID の優先順位、自動 SMS フォールバックの詳細については、「」を参照してください[電話プールを使用した RCS から SMS へのフォールバック](#)。AWS RCS エージェントの管理の詳細については、「」を参照してください[RCS エージェントの管理](#)。

トピック

- [送信パターン](#)
- [スティッキー送信、優先順位、SMS フォールバック](#)
- [コードの例](#)
- [RCS メッセージを送信するための AI エージェントプロンプト](#)
- [配信受信処理](#)

送信パターン

AWS エンドユーザーメッセージングは、RCS メッセージを送信するための 3 つのパターンをサポートしています。各パターンは、サービスが発信元 ID を選択する方法と、自動 SMS フォールバックが使用可能かどうかを決定します。

RCS 送信パターン

パターン	仕組み	SMS フォールバック	どのようなときに使うか
プールベース (推奨)	プール ID を発信元 ID として指定します。サービスはプールから最適な ID を選択します。	はい	すべてのユースケース。コンプライアンスセーフなルーティングによる自動チャネル選択と SMS フォールバックを提供します。
アカウントレベル	発信元 ID を省略します。サービスは、アカウントで使用可能なすべての ID から選択します。	はい	単一のユースケースを使用したシンプルなセットアップ。複数のユースケースを持つアカウントにはお勧めしません。
直接送信	AWS RCS エージェント ARN を送信元 ID として指定します。メッセージは RCS 経由でのみ送信されます。	いいえ	RCS-or-nothing ユースケース、または AWS エンドユーザーメッセージングの外部で SMS フォールバックを管理する場合。

プールベースの送信 (推奨)

プールベースの送信は、すべての RCS ユースケースに推奨されるアプローチです。プール ID を `SendTextMessage` リクエストの送信元 ID として指定すると、AWS End User Messaging は送信先、チャネルの可用性、スティッキー送信履歴に基づいてプールから最適な送信元 ID を選択します。

プールに AWS RCS エージェントと SMS 電話番号の両方が含まれている場合、サービスは最初に RCS 配信を試みます。RCS 配信が失敗した場合、サービスは同じプールの電話番号を使用して SMS に自動的にフォールバックします。プール内のすべての ID が同じユースケースに登録されるため、フォールバックメッセージは常に適切な番号から送信されます。

AWS RCS エージェントを使用したプールの作成と設定の詳細については、「」を参照してください [電話プールを使用した RCS から SMS へのフォールバック](#)。

アカウントレベルの送信

SendTextMessage リクエストから発信元 ID を省略すると、AWS End User Messaging はアカウントで使用可能なすべての ID から発信元 ID を選択します。サービスは、送信元 ID の優先順位を使用して、使用する ID を決定します。詳細については、「[フォールバックロジックと優先順位](#)」を参照してください。

Important

アカウントレベルの送信では、アカウントにさまざまなユースケースに登録された電話番号が含まれている場合、コンプライアンスリスクが発生します。RCS 配信が失敗し、サービスが SMS にフォールバックすると、メッセージの内容と一致しない電話番号を選択する場合があります。たとえば、OTP メッセージは、予約リマインダーに登録されている通話料無料番号にフォールバックし、その番号の登録条件に違反する可能性があります。このリスクを回避するには、ユースケースごとに 1 つのプールでプールベースの送信を使用します。詳細については、「[アカウントレベルの送信によるコンプライアンスリスク](#)」を参照してください。

直接送信 (RCS のみ)

AWS RCS エージェント ARN を SendTextMessage リクエストの送信元 ID として指定すると、AWS End User Messaging は RCS 経由でのみメッセージを送信します。自動 SMS フォールバックはありません。RCS 配信が失敗した場合、メッセージは別のチャネルで再試行されません。

次の場合は、直接送信を使用します。

- RCS-or-nothing 配信が必要です。メッセージは RCS 経由でのみ配信する必要があり、SMS 配信よりも配信しないことを好みます。
- SMS フォールバックは AWS、エンドユーザーメッセージングの外部で管理します。アプリケーションはフォールバックロジックを個別に処理します。例えば、RCS 配信の失敗を検出し、別のシステムまたはプロバイダーを介して別の SMS を送信できます。

Note

直接送信は、すべての SMS フォールバックロジックをバイパスします。受信者のデバイスまたはキャリアが RCS をサポートしていない場合、メッセージは配信されません。ほとんどのユースケースでは、追加コストなしで自動 SMS フォールバックを提供するため、プールベースの送信が推奨されます。

スティッキー送信、優先順位、SMS フォールバック

プールまたはアカウントレベルでメッセージを送信すると、AWS End User Messaging はスティッキー送信 (25 時間のルーティング最適化)、発信元 ID の優先順位、自動 SMS フォールバックを使用して、各メッセージに最適なチャネルと ID を選択します。自動フォールバック、フォールバック中の配信受信、請求への影響など、これらのメカニズムの仕組みの詳細については、「」を参照してください [電話プールを使用した RCS から SMS へのフォールバック](#)。

コードの例

次の Python の例は、3 つの各送信パターンを使用して RCS メッセージを送信する方法を示しています。すべての例では、boto3 pinpoint-sms-voice-v2 クライアントと SendTextMessage API を使用します。

プールベースの送信の例

次の例では、電話プールを介してメッセージを送信します。サービスはプールから最適な送信元 ID を選択し、RCS 配信が不可能な場合は自動的に SMS にフォールバックします。

```
import boto3

client = boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2')

response = client.send_text_message(
    DestinationPhoneNumber='+12065550100',
    OriginationIdentity='pool-a1b2c3d4e5f6g7h8i',
    MessageBody='Your appointment is confirmed for tomorrow at 2:00 PM.',
    MessageType='TRANSACTIONAL'
)

print(f"Message ID: {response['MessageId']}")
```


アカウントレベルの送信例

次の例では、発信元 ID を省略して、アカウントレベルでメッセージを送信します。サービスは、優先度の順序を使用して、アカウントで使用可能なすべての ID から ID を選択します。

```
import boto3

client = boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2')

response = client.send_text_message(
    DestinationPhoneNumber='+12065550100',
    MessageBody='Your verification code is 123456.',
    MessageType='TRANSACTIONAL'
)

print(f"Message ID: {response['MessageId']}")
```

Important

アカウントにさまざまなユースケースに登録された電話番号が含まれている場合、アカウントレベルの送信は、メッセージの内容と一致しない番号を通じて SMS フォールバックをルーティングすることがあります。コンプライアンスリスクを回避するために、ユースケースごとに 1 つのプールでプールベースの送信を使用します。

直接送信の例

次の例では、AWS RCS エージェント ARN を介して直接メッセージを送信します。メッセージは RCS 経由でのみ配信され、SMS フォールバックはありません。

```
import boto3

client = boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2')

response = client.send_text_message(
    DestinationPhoneNumber='+12065550100',
```

```
OriginationIdentity='arn:aws:sms-voice:us-east-1:123456789012:rca-agent/rca-
a1b2c3d4',
    MessageBody='Welcome to our RCS channel! Reply HELP for assistance.'
)

print(f"Message ID: {response['MessageId']}")
```

Note

受信者のデバイスまたはキャリアが RCS をサポートしていない場合、メッセージは配信されません。SMS フォールバックは試行されません。このパターンは、RCS-or-nothing 配信しない場合、または AWS エンドユーザーメッセージングの外部で SMS フォールバックを管理する場合にのみ使用します。

RCS メッセージを送信するための AI エージェントプロンプト

生成 AI コーディングアシスタントまたは AI エージェントを使用する場合は、次のプロンプトを使用して CLI または SDK AWS を使用して RCS メッセージを送信するのに役立ちます。

Note

次のプロンプトをコピーし、AI エージェントまたはコーディングアシスタントに貼り付けます。

```
## RCS Messaging Assistant Prompt
```

```
Help me send RCS messages using AWS End User Messaging SMS with the
`pinpoint-sms-voice-v2` service. Show me exact CLI commands and Python/boto3
examples. Ask me for my details before generating any commands.
```

```
**Important rules for generating commands:**
```

- The API is `send-text-message` – the same command used for SMS. There is NO separate RCS send API.
- There is NO `describe-messages` API. Do not generate it.
- The boto3 method is `send\_text\_message` on the `pinpoint-sms-voice-v2` client.
- Use the term "testing" – NOT "sandbox".

****Prerequisites:**** I have an existing RCS agent (created via the setup process) and a verified test device.

Pattern 1: Direct RCS sending (simplest, good for testing)

Send directly through my RCS Agent ARN. RCS-only delivery, no SMS fallback. If the recipient's device doesn't support RCS, the message is not delivered.

```
CLI: `send-text-message --destination-phone-number <E.164>
--origination-identity <agent-arn> --message-body "<text>"
--message-type <TRANSACTIONAL|PROMOTIONAL>`
```

Returns `MessageId`.

Pattern 2: Pool-based sending (recommended for production)

Send through a phone pool containing my RCS agent (and optionally SMS phone numbers for fallback). The service tries RCS first, then falls back to SMS asynchronously if no RCS signal within 25 seconds. This is NOT synchronous fallback – the SMS is sent as a separate attempt after the timeout.

To set up a pool:

- `create-pool --origination-identity <rsc-agent-id> --message-type TRANSACTIONAL` # returns `PoolId`
- Optionally add SMS numbers: `associate-origination-identity --pool-id <id> --origination-identity <phone-number-id>`

```
CLI: `send-text-message --destination-phone-number <E.164>
--origination-identity <pool-id> --message-body "<text>"
--message-type <TRANSACTIONAL|PROMOTIONAL>`
```

Pattern 3: Account-level sending

Send without specifying `--origination-identity`. The service auto-selects the best identity from the account.

```
CLI: `send-text-message --destination-phone-number <E.164>
--message-body "<text>" --message-type <TRANSACTIONAL|PROMOTIONAL>`
```

****Compliance warning:**** If the account has multiple RCS agents, SMS numbers, or different use cases, the service picks an identity automatically – which may not be the intended one. Use pool-based or direct sending for explicit control over which identity is used.

Delivery verification

- For testing: check the test device directly – the message appears from the branded RCS agent.
- For production: configure event destinations BEFORE sending using `create-event-destination` (SNS, CloudWatch Logs, or Firehose). Event destinations do not retroactively capture events for already-sent messages.
- CloudWatch metrics in `AWS/SMSVoice` namespace provide aggregate delivery statistics.

Behavioral notes

- Sticky sending: the service remembers the last successful identity per destination number for 25 hours.
- Pool-based sending is recommended for production because it provides automatic SMS fallback.
- All three patterns use the same `send-text-message` API – the only difference is what you pass (or don't pass) as `--origination-identity`.

****Before generating commands, ask me for:****

- Which sending pattern I want to use (direct, pool-based, or account-level)
- My RCS Agent ARN
- My pool ID (if using pool-based sending)
- Destination phone number in E.164 format
- Message type (TRANSACTIONAL or PROMOTIONAL)
- Message text

配信受信処理

AWS エンドユーザーメッセージングは、Amazon EventBridge および設定セットのイベント送信先を介して RCS メッセージの配信受信を提供します。配信受信は、メッセージの最終ステータスと配信に使用されたチャンネルを示します。配信受信やその他のメッセージイベントをキャプチャするようにイベント送信先を設定する方法については、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS のイベント送信先](#)。

配信ステータス値

RCS メッセージには、次の配信ステータス値が適用されます。

配信済み

メッセージは受信者のデバイスに正常に配信されました。

保留中

メッセージは RCS インフラストラクチャによって受け入れられましたが、配信確認はまだ受信されていません。メッセージは引き続き配信される場合があります。

EXPIRED

メッセージは、許可された時間枠内に配信されませんでした。SMS フォールバックを含む RCS メッセージの場合、このステータスはフォールバックが発生する前の RCS 試行に適用されます。

配信不能

メッセージを配信できませんでした。これは、受信者のデバイスに永続的にアクセスできない場合、または電話番号が無効である場合に発生する可能性があります。

拒否

メッセージは RCS インフラストラクチャまたはキャリアによって拒否されました。これは、コンテンツポリシー違反またはキャリアレベルのフィルタリングが原因で発生する可能性があります。

チャネル属性

配信受信には、メッセージが RCS または SMS を介して配信されたかどうかを示すチャネル属性が含まれます。これは、配信ミックスを理解し、請求の目的で重要です。

- メッセージが RCS 経由で配信されると、配信受信は RCS を配信チャネルとして示し、AWS RCS エージェント ID を含めます。
- メッセージが SMS にフォールバックすると、配信受信は SMS を配信チャネルとして示し、配信に使用された SMS 電話番号 ID を含めます。
- 直接送信 (AWS RCS エージェント ARN) が失敗すると、配信受信は RCS を失敗ステータスの試行済みチャネルとして示します。SMS フォールバック受信は生成されません。

RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング配信パターンの詳細については、「」を参照してください [RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング](#)。配信チャネルが請求に与える影響については、「」を参照してください [RCS の請求と料金モデル](#)。

インバウンド RCS メッセージの受信

AWS エンドユーザーメッセージングは双方向 RCS メッセージングをサポートしているため、顧客からテキストメッセージを受信できます。インバウンド RCS メッセージは、SMS 双方向メッセージングと同じパターンに従います。着信メッセージは、設定した Amazon SNS トピックに配信され、Lambda 関数または他の SNS サブスクライバーを使用して処理されます。

Important

インバウンド RCS メッセージを使用するには、AWS RCS エージェントで双方向メッセージング SNS トピックを設定する必要があります。エージェントを作成すると、双方向メッセージングはデフォルトで無効になります。有効にして SNS トピックを設定すると、インバウンドメッセージがそのトピックに配信されます。お客様は、すべてのインバウンド RCS メッセージに対して標準料金で課金されます。

このセクションでは、双方向 RCS メッセージングの仕組み、AWS RCS エージェントでメッセージングを有効にする方法、インバウンドメッセージペイロード形式、キーワードの管理方法について説明します。AWS RCS エージェントの管理については、「」を参照してください[RCS エージェントの管理](#)。RCS メッセージの送信については、「」を参照してください[RCS メッセージの送信](#)。

トピック

- [双方向 RCS メッセージングの仕組み](#)
- [双方向メッセージングの送信先の設定](#)
- [インバウンドメッセージペイロード形式](#)
- [サポートされているメッセージタイプ](#)
- [RCS のキーワード管理](#)
- [Lambda を使用したインバウンドメッセージの処理](#)
- [インバウンド RCS メッセージングのベストプラクティス](#)

双方向 RCS メッセージングの仕組み

顧客が AWS RCS エージェントにテキストメッセージを送信すると、AWS End User Messaging はメッセージを受信し、指定した Amazon SNS トピックに発行します。そこから、Lambda 関数、Amazon SQS キュー、HTTP/HTTPS エンドポイントなどの任意の SNS サブスクライバーを使用してメッセージを処理できます。

双方向 RCS メッセージングフローは、次のように機能します。

1. 顧客が RCS 対応デバイスから AWS RCS エージェントにテキストメッセージを送信します。
2. AWS エンドユーザーメッセージングはインバウンドメッセージを受信し、設定したキーワードと照合して評価します。メッセージがキーワードと一致する場合、サービスは設定された自動応答 (存在する場合) を送信します。
3. AWS エンドユーザーメッセージングは、AWS RCS エージェントで双方向メッセージング用に設定した Amazon SNS トピックにメッセージペイロードを JSON オブジェクトとして発行します。
4. SNS サブスクライバー (Lambda 関数など) はメッセージペイロードを受け取り、アプリケーションロジックに従って処理します。

AWS エンドユーザーメッセージングの RCS は現在、インバウンドテキストメッセージをサポートしています。顧客が AWS RCS エージェントにメディアメッセージ (イメージやビデオなど) を送信すると、メッセージは IGNORED ステータスでログに記録されます。アプリケーションは SNS トピックを介してメディアメッセージを受信しません。

双方向メッセージングの送信先の設定

アプリケーションでインバウンド RCS メッセージを受信して処理するには、双方向メッセージングを有効にし、AWS RCS エージェントで送信先を設定する必要があります。双方向メッセージングはデフォルトで無効になっています。有効にすると、AWS エンドユーザーメッセージングがインバウンドメッセージを配信する Amazon SNS トピックを指定します。送信先は、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは API を使用して設定できます。

Console

コンソールを使用して双方向メッセージングの送信先を設定するには

1. AWS エンドユーザーメッセージングコンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、RCS エージェントを選択します。
3. 設定する AWS RCS エージェントを選択します。
4. 双方向メッセージングタブを選択します。
5. [設定の編集] を選択します。
6. 「双方向メッセージングを有効にする」をオンに切り替えます。
7. SNS トピックの場合は、既存の Amazon SNS トピックを選択するか、新しいトピックを作成します。これは、インバウンドメッセージが公開されるトピックです。

8. [保存] を選択します。

AWS CLI

API を使用して双方向メッセージングの送信先を設定するには、次のパラメータを指定して UpdateRcsAgent API を呼び出します。

- two-way-enabled — 双方向メッセージングを有効にする true には、 に設定します。
- two-way-channel-arn — インバウンドメッセージが公開される Amazon SNS トピックの ARN。
- two-way-channel-role — SNS トピックにメッセージを発行するアクセス許可を AWS エンドユーザーメッセージングに付与する IAM ロールの ARN。

次の例では、CLI AWS を使用して双方向メッセージングの送信先を設定します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-rcs-agent \
  --rcs-agent-id rcs-a1b2c3d4 \
  --two-way-enabled \
  --two-way-channel-arn arn:aws:sns:us-east-1:123456789012:MyRCSInboundTopic \
  --two-way-channel-role arn:aws:iam::123456789012:role/SMSVoiceSNSPublishRole
```

SNS トピックのアクセス許可

双方向 RCS メッセージング用に設定した Amazon SNS トピックでは、AWS エンドユーザーメッセージングがメッセージを発行できるようにする必要があります。アクセスを許可するには、2 つのオプションがあります。

オプション 1: IAM ロールを使用する

End AWS User Messaging が SNS トピックにメッセージを発行するために引き受けることができる IAM ロールを作成します。ロールには、信頼ポリシーとアクセス許可ポリシーの両方が必要です。

以下に示すのは、IAM ロールの信頼ポリシーです。 *accountId* を AWS アカウントの一意の ID と置き換えます。

```
{
```



```
"Version": "2012-10-17",
"Statement": [
  {
    "Sid": "SMSVoice",
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
    },
    "Action": "sts:AssumeRole",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "accountId"
      }
    }
  }
]
```

以下に示すのは、IAM ロールのアクセス許可ポリシーです。SMSVoiceAllowSNSPublish Sid は Amazon SNS トピックへの発行を許可し、Sid SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics は暗号化された Amazon SNS トピックではオプションです。以下の変更を加えます。

- `partition` を、AWS AWS エンドユーザーメッセージングを使用するパーティションに置き換えます。
- *region* AWS リージョン を、AWS エンドユーザーメッセージングを使用する に置き換えます。
- *accountId* を AWS アカウントの一意の ID と置き換えます。
- *snsTopicName* を、インバウンドメッセージを受信する Amazon SNS トピックの名前に置き換えます。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceAllowSNSPublish",
      "Effect": "Allow",
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "arn:partition:sns:region:accountId:snsTopicName",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:ResourceAccount": "accountId"
        }
      }
    }
  ]
}
```

```

    }
  }
},
{
  "Sid": "SMSSVoiceAllowEncryptedSNSTopics",
  "Effect": "Allow",
  "Action": [
    "kms:Decrypt",
    "kms:GenerateDataKey*"
  ],
  "Resource": "*",
  "Condition": {
    "StringEquals": {
      "kms:EncryptionContext:aws:sns:topicArn":
"arn:partition:sns:region:accountId:snsTopicName",
      "aws:CalledViaLast": "sns.amazonaws.com"
    }
  }
}
]
}

```

オプション 2: SNS トピックポリシーを使用する

または、AWS エンドユーザーメッセージングがメッセージを発行できるようにするポリシーステートメントを SNS トピックに直接追加します。*snsTopicArn* を SNS トピックの ARN に置き換えます。

```

{
  "Effect": "Allow",
  "Principal": {
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": "sns:Publish",
  "Resource": "snsTopicArn"
}

```

インバウンドメッセージペイロード形式

AWS RCS エージェントが受信テキストメッセージを受信すると、AWS End User Messaging は設定された Amazon SNS トピックに JSON ペイロードを発行します。RCS インバウンドメッセージペイロードは、SMS 双方向メッセージングと同じ形式を使用します。

```
{
  "originationNumber": "+14255550182",
  "destinationNumber": "+12125550101",
  "messageKeyword": "JOIN",
  "messageBody": "EXAMPLE",
  "inboundMessageId": "cae173d2-66b9-564c-8309-21f858e9fb84",
  "previousPublishedMessageId": "wJalrXUtnFEMI/K7MDENG/bPxRfiCYEXAMPLEKEY"
}
```

インバウンドメッセージペイロードには、次のフィールドが含まれます。

インバウンド RCS メッセージペイロードフィールド

フィールド	説明
originationNumber	インバウンドメッセージを送信した電話番号 (顧客の電話番号)。
destinationNumber	メッセージを受け取った AWS RCS エージェントの識別子。
messageKeyword	インバウンドメッセージと一致する登録済みキーワード。キーワードはメッセージ本文の先頭に対して評価されます。
messageBody	インバウンドメッセージのテキストコンテンツ。
inboundMessageId	インバウンドメッセージの一意の識別子。
previousPublishedMessageId	インバウンドメッセージが以前のアウトバウンドメッセージへの返信である場合、顧客が応答しているアウトバウンドメッセージの一意の識別子。

サポートされているメッセージタイプ

AWS エンドユーザーメッセージングの RCS は現在、インバウンドテキストメッセージの受信をサポートしています。顧客が AWS RCS エージェントにテキストメッセージを送信すると、メッセージは設定された Amazon SNS トピックに配信され、処理されます。

顧客が AWS RCS エージェントにメディアメッセージ (イメージ、ビデオ、ファイルなど) を送信すると、AWS End User Messaging はメッセージを IGNORED ステータスでログに記録します。メディアメッセージは SNS トピックに配信されず、アプリケーションによって処理されません。送信者にエラーは返されません。

RCS のキーワード管理

キーワードを使用すると、顧客が AWS RCS エージェントに特定の単語やフレーズを送信するときに自動応答を設定できます。インバウンドメッセージが設定されたキーワードと一致すると、AWS End User Messaging は関連する自動応答メッセージを顧客に送信します。

RCS の場合、キーワードは AWS RCS エージェントで設定され、関連するすべての RCS for Business IDs (テストエージェントと国起動エージェント) に適用されます。AWS RCS エージェントごとに最大 30 個のキーワードを設定できます。

AWS RCS エージェントのキーワードを管理するには、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは API を使用します。キーワード管理の一般的な情報については、「」を参照してください [AWS エンドユーザーメッセージング SMS のキーワード](#)。

Note

AWS RCS エージェントで設定されたキーワードは、関連するすべての登録に適用されます。テストエージェントと国起動エージェントに異なるキーワードを個別に設定することはできません。

Lambda を使用したインバウンドメッセージの処理

インバウンド RCS メッセージを処理する一般的なパターンは、双方向メッセージング用に設定された Amazon SNS トピックに Lambda 関数をサブスクライブすることです。Lambda 関数はインバウンドメッセージペイロードを受け取り、顧客の問い合わせへの応答、コマンドの処理、他のシステムへのメッセージのルーティングなどのアプリケーションロジックを実装できます。

次の Python の例は、インバウンド RCS メッセージを処理し、SendTextMessage API を使用してレスポンスを送信する Lambda 関数を示しています。

```
import json
import boto3
```

```
sms_client = boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2')

def lambda_handler(event, context):
    # Parse the SNS message
    for record in event['Records']:
        sns_message = json.loads(record['Sns']['Message'])

        origination_number = sns_message['originationNumber']
        message_body = sns_message['messageBody']
        keyword = sns_message.get('messageKeyword', '')

        print(f"Received message from {origination_number}: {message_body}")

        # Process the message and determine a response
        if keyword.upper() == 'HELP':
            response_text = 'Available commands: HELP, STATUS, STOP'
        elif keyword.upper() == 'STATUS':
            response_text = 'Your account is active. No action needed.'
        else:
            response_text = (
                f'Thanks for your message. '
                f'Reply HELP for available commands.'
            )

        # Send a response back to the customer
        try:
            response = sms_client.send_text_message(
                DestinationPhoneNumber=origination_number,
                OriginationIdentity='pool-a1b2c3d4e5f6g7h8i',
                MessageBody=response_text,
                MessageType='TRANSACTIONAL'
            )
            print(f"Response sent. Message ID: {response['MessageId']}")
        except Exception as e:
            print(f"Failed to send response: {str(e)}")

    return {'statusCode': 200}
```

この例では、Lambda 関数は次のようになります。

1. SNS イベントからのインバウンドメッセージペイロードを解析します。
2. messageKeyword フィールドをチェックして、顧客のインテントを決定します。

3. SendTextMessage API を介してプールベースの送信 (推奨) を使用してレスポンスを送信します。プールはチャンネル選択を自動的に処理します。

Note

インバウンドメッセージにレスポンスを送信するときは、プールベースの送信を使用して、顧客のデバイスが RCS をサポートしなくなった場合に自動 SMS フォールバックを確保します。送信パターンの詳細については、「」を参照してください[RCS メッセージの送信](#)。

インバウンド RCS メッセージングのベストプラクティス

双方向 RCS メッセージングを実装するときは、次のベストプラクティスに従ってください。

- エラー処理の実装 — Lambda 関数または SNS サブスクライバーはエラーを適切に処理する必要があります。関数がメッセージを処理できない場合は、SNS サブスクリプションでデッドレターキュー (DLQ) を設定し、後で再試行するために未処理のメッセージをキャプチャします。
- フォールバックレスポンスの送信 — アプリケーションが処理できないメッセージを受信したら、返信なしで顧客を離れるのではなく、有用なフォールバックレスポンスを送信します。例えば、使用可能なコマンドで応答するか、顧客に代替サポートチャンネルを指示します。
- レスポンスにプールベースの送信を使用する — インバウンドメッセージにレスポンスを送信するときは、プールベースの送信を使用して自動 SMS フォールバックを確保します。これにより、デバイスが RCS をサポートしなくなった場合でも、レスポンスがお客様に届くようになります。
- メッセージ処理のモニタリング — Amazon CloudWatch メトリクスを使用して、インバウンドメッセージボリュームと処理の成功率をモニタリングします。インバウンドメッセージの急激な増加や処理の失敗率が高いなど、異常なパターンのアラームを設定します。RCS メトリクスの詳細については、「」を参照してください[RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング](#)。
- キーワードレスポンスを一貫して処理する — キーワードの自動レスポンスとアプリケーションのプログラムによるレスポンスが競合しないようにします。特定のキーワードにキーワード自動応答を設定しても、Lambda 関数は引き続きメッセージを受信します。自動応答が既に設定されているキーワードに対して重複するレスポンスが送信されないように関数を設計します。

各国での RCS の起動

テストエージェントを使用して RCS メッセージング統合をテストした後、次のステップは 1 つ以上の国で AWS RCS エージェントを起動することです。各国起動では、その国のキャリアごとに承認

された個別の RCS for Business ID が作成されます。AWS エンドユーザーメッセージングは、米国とカナダでの RCS 国別起動をサポートしています。

国起動プロセスは、AWS RCS エージェントを作成し、テスト登録を送信してテストエージェントを取得し、1 つ以上の国起動登録を送信するというパスに従います。各国での起動登録は、その国のキャリアごとに個別の承認プロセスを経て行われます。

Note

AWS エンドユーザーメッセージングコンソールは、AWS RCS エージェントの作成と登録のテストを単一のガイド付きワークフローとして表示します。API ユーザーは AWS RCS エージェントを個別に作成でき、技術的にはテスト登録をスキップできますが、国の起動登録を送信する前にテストを完了することを強くお勧めします。

AWS RCS エージェントと RCS for Business IDs 「」を参照してください[RCS とは](#)。AWS RCS エージェントの作成と管理の詳細については、「」を参照してください[RCS エージェントの管理](#)。

トピック

- [登録のテスト](#)
- [国起動のテンプレートとしてのエージェントのテスト](#)
- [米国での の起動](#)
- [カナダでの の起動](#)
- [ユースケースの選択](#)
- [登録状態管理](#)
- [キャリアごとの起動ステータス](#)
- [キャリアの承認タイムライン](#)
- [登録に関する一般的な問題とトラブルシューティング](#)

登録のテスト

国の起動登録を送信する前に、まず AWS RCS エージェントのテスト登録を完了する必要があります。テスト登録により、本番稼働前に統合を検証するために使用できるテストエージェント (RCS for Business ID) が作成されます。

AWS RCS エージェントを作成し、テスト登録を完了する手順についてはstep-by-step「」を参照してください[RCS の開始方法](#)。テストデバイスの管理とテストメッセージの送信の詳細については、「」を参照してください[RCS メッセージのテスト](#)。

⚠ Important

メッセージのテストには、標準の RCS レートで課金されます。

国起動のテンプレートとしてのエージェントのテスト

⚠ Important

テストエージェントは、すべての国の起動登録のテンプレートとして機能します。テスト登録時に設定したブランド設定は、各国の起動フォームにあらかじめ入力されています。国のローンチを送信する前に、テストエージェントの設定を取得する時間を確保してください。

国の起動登録を送信すると、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールは、テストエージェントからのブランド設定を登録フォームに自動的に入力します。これには、ブランド名、ロゴ、バナーイメージ、ブランドカラー、説明、ウェブサイト URL が含まれます。

国別の起動ごとにフィールドをカスタマイズできます。たとえば、コンシューマー向けのエージェント名、ロゴ、バナーイメージ、または連絡先情報を、ローカルの要件に合わせて調整できます。国は異なるブランドアセットを持つことができます。テストエージェントは出発点を提供しますが、各国での起動は個別にカスタマイズできます。

米国での の起動

米国で AWS RCS エージェントを起動するには、登録タイプを使用して国の起動US_RCS_LAUNCH登録を送信します。米国の起動登録には、テスト登録に提供した情報以外の追加情報が必要です。

米国の登録要件

米国の起動登録には、次の情報が必要です。

- ブランド情報 — テストエージェント設定から自動的に入力されます。ブランド名、説明、ウェブサイト URL、連絡先情報を確認して調整できます。

- ユースケースの選択 — RCS メッセージングのユースケースカテゴリを選択します。使用可能なカテゴリには、OTP (ワンタイムパスワード)、トランザクション、プロモーション、およびマルチユースなどがあります。
- 画面録画 — RCS メッセージングエクスペリエンスを示す画面録画を提供する必要があります。記録には、RCS メッセージの受信と操作に関するエンドユーザーエクスペリエンスが表示されます。これは、米国の起動に固有の要件です。
- プライバシーポリシーと利用規約 — プライバシーポリシーと利用規約ページへの URLs。

Important

画面録画の要件は、米国の起動登録に固有です。RCS メッセージングのユースケースを明確に示す記録を提供する必要があります。有効な画面録画なしで送信された登録は拒否されます。

カナダでの の起動

カナダで AWS RCS エージェントを起動するには、登録タイプを使用して国の起動CA_RCS_LAUNCH登録を送信します。カナダの起動登録には、米国の起動とは異なるフォームフィールド要件があります。

カナダの登録要件

カナダの起動登録には、次の情報が必要です。

- ブランド情報 — テストエージェント設定から自動的に入力されます。カナダ市場のブランド名、説明、ウェブサイト URL、連絡先情報を確認して調整できます。
- ユースケースの選択 — RCS メッセージングのユースケースカテゴリを選択します。使用可能なカテゴリには、OTP (ワンタイムパスワード)、トランザクション、プロモーション、およびマルチユースなどがあります。
- プライバシーポリシーと利用規約 — プライバシーポリシーと利用規約ページへの URLs。

Note

カナダの起動登録では、画面録画は必要ありません。フォームフィールドの要件は、米国の起動登録とは異なります。登録フォームを注意深く確認し、カナダ市場ですべての必須フィールドが入力されていることを確認します。

ユースケースの選択

国の起動登録を送信するときは、RCS メッセージングの使用方法を説明するユースケースカテゴリを選択する必要があります。ユースケースカテゴリは、承認プロセスの一環としてキャリアによってレビューされます。次のユースケースカテゴリを使用できます。

Important

エージェントを起動するには、ユースケースの例を指定する必要があります。エージェントの設定と機能を決定するため、適切なユースケースを選択します。正しく選択しないと、デプロイの遅延や問題が発生する可能性があります。

OTP (ワンタイムパスワード)

アカウント認証または安全なトランザクションの確認に使用されます。

許可されない: 製品の更新、オファー、プロモーション。

トランザクション

顧客の製品やサービスに関連する通知や更新 (アラート、確認、アカウントの更新など) を送信します。

禁止: オファー、プロモーション、割引、アップグレード。

プロモーション

不完全なトランザクションのリマインダーなど、売上を増やすためのオファー、プロモーション、マーケティングメッセージに使用されます。

許可されていません: OTPs、2FA、または緊急のトランザクション通知。

マルチユース

メッセージングにトランザクションメッセージとプロモーションメッセージの両方が含まれている場合に使用されます (たとえば、購入確認を送信してから関連するオファーを送信する場合など)。

許可されていません: OTP/2FA、パスワードのリセット、純粋にトランザクション的または純粋にプロモーション的な使用。

登録状態管理

国の起動登録は、複数ステージの承認プロセスを経て行われます。登録状態と登録バージョン状態の 2 つの状態セットを使用して、登録の進行状況を追跡できます。

登録状態

登録状態は、国起動登録の全体的なステータスを追跡します。

作成済み

登録は作成されていますが、まだ送信されていません。この状態で登録フォームフィールドを編集できます。

SUBMITTED

登録が送信され、レビューを待っています。

の確認

登録はキャリアによってレビューされています。この状態の登録は変更できません。

完了

登録が承認され、国起動エージェント (RCS for Business ID) がアクティブになりました。AWS RCS エージェントはこの国でメッセージを送信できます。

REQUIRES_UPDATES

登録には、承認する前に変更が必要です。提供されたフィードバックを確認し、必須フィールドを更新して、登録を再送信します。

閉じた

登録は終了しました。関連付けられたリソースが削除されました。

DELETED

登録は削除されました。

登録バージョンの状態

各登録には複数のバージョンを含めることができます。バージョンの状態は、登録の特定のバージョンのステータスを追跡します。

ドラフト

バージョンは準備中であり、送信されていません。この状態のフォームフィールドを編集できません。

SUBMITTED

バージョンがレビューのために送信されました。

確認

バージョンは通信事業者によってレビューされています。

APPROVED

バージョンが承認されました。国起動エージェントはこの国でアクティブです。

拒否

バージョンが拒否されました。フィードバックを確認し、必要な変更を加えた新しいバージョンを送信します。

取り消されました

以前に承認されたバージョンが取り消されました。国起動エージェントはアクティブでなくなりました。

アーカイブ済み

バージョンがアーカイブされました。アクティブなバージョンではなくなりましたが、履歴参照用に保持されます。

破棄済み

バージョンは送信前に破棄されています。

キャリアごとの起動ステータス

国のローンチ登録を送信すると、その国の各キャリアは AWS RCS エージェントを個別にレビューして承認します。承認ステータスは、個々のキャリアレベルと国集計レベルの両方で追跡できます。

キャリアの状態

国の各キャリアには、次のいずれかの承認状態があります。

保留中

キャリアがエージェントを確認しています。ユーザーのアクションは必要ありません。

アクティブ

キャリアがエージェントを承認しました。AWS RCS エージェントは、このキャリアのネットワーク上の受信者に RCS メッセージを送信できます。

拒否

キャリアがエージェントを拒否しました。拒否理由を確認し、必要な変更を加えた新しい登録バージョンを送信します。

国の集計状態

国レベルの集計状態は、国内のすべてのキャリアのキャリア承認ステータスをまとめたものです。

保留中

国のすべての通信事業者は、引き続きエージェントを確認しています。エージェントをまだ承認または拒否したキャリアはありません。

部分的

少なくとも 1 つのキャリアがエージェントを承認しましたが、すべてのキャリアがレビューを完了したわけではありません。AWS RCS エージェントは、承認されたキャリアの受信者にメッセージを送信できます。

アクティブ

国のすべてのキャリアがエージェントを承認しました。AWS RCS エージェントはこの国でフルリーチできます。

拒否

国のすべての通信事業者がエージェントを拒否しました。

AWS RCS エージェントは、その国の少なくとも 1 つのキャリアがエージェントを承認するとすぐに、その国でメッセージを送信できます。RCS メッセージの送信を開始する前に、すべてのキャリアが承認するのを待つ必要はありません。受信者がまだエージェントを承認していないキャリアにいる場合、プールベースまたはアカウントレベルの送信を使用している場合、AWS End User Messaging は自動的に SMS にフォールバックします。追加のキャリアがエージェントを承認すると、その国の RCS のリーチが増加します。

AWS RCS エージェントのキャリアごとの起動ステータスを表示するには、DescribeRcsAgentCountryLaunchStatus API を使用するか、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールのエージェントの詳細ページの国起動ステータスタブに移動します。

キャリアの承認タイムライン

RCS 国ローンチのキャリア承認は、ターゲット国の各キャリアによるレビューを含む複数ステップのプロセスです。承認のタイムラインは、キャリアと登録の完全性によって異なります。

米国とカナダの両方で、キャリアの承認プロセスには、国のローンチ登録を送信してから数か月かかることが予想されます。タイムラインには、初回レビュー、必要な更新、キャリアごとのロールアウトが含まれます。

承認プロセスを円滑に進めるには:

- 送信する前に、必要な登録フィールドをすべて正確に入力します。
- 米国のリリースでは、RCS メッセージングのユースケースを示す明確で完全な画面録画を提供します。
- レビュープロセスからの REQUIRES_UPDATES フィードバックにすみやかに応答します。
- プライバシーポリシーとサービス URLs がアクセス可能で、最新であることを確認します。

登録に関する一般的な問題とトラブルシューティング

以下のセクションでは、国の起動登録プロセス中に発生する可能性がある一般的な問題とその解決方法について説明します。

登録には更新が必要です

登録が `REQUIRES_UPDATES` 状態になった場合は、登録の詳細に記載されているフィードバックを確認してください。一般的な理由は次のとおりです。

- 不完全または不正確なブランド情報。
- 画面録画がないか無効です (米国の起動のみ)。
- アクセスできない、または要件を満たさないプライバシーポリシーまたはサービス URLs の条件。
- 意図したメッセージングの目的を明確に説明しないユースケースの説明。

必須フィールドを更新し、登録を再送信します。登録は `SUBMITTED` 状態に戻され、再度確認されます。

キャリアがエージェントを拒否しました

キャリアが AWS RCS エージェントを拒否した場合は、キャリアステータスの詳細に記載されている拒否理由を確認してください。一般的な拒否理由は次のとおりです。

- キャリアの品質基準を満たしていないブランドアセット。
- キャリアのメッセージングポリシーに準拠していないユースケース。
- ビジネスまたはメッセージングの目的に関する情報が不十分です。

拒否フィードバックに対処し、新しい登録バージョンを送信します。あるキャリアによる拒否は、同じ国の他のキャリアの承認ステータスには影響しないことに注意してください。

長期間のレビュー中の登録

米国とカナダのキャリア承認のタイムラインは通常数か月です。登録が予想よりも長くレビュー中である場合:

- 登録に、見逃した可能性のある `REQUIRES_UPDATES` ステータスがないことを確認します。
- `DescribeRcsAgentCountryLaunchStatus` API を使用してキャリアごとのステータスをチェックし、一部のキャリアがすでに承認されているが、他のキャリアがまだ確認中であるかどうかを確認します。
- 異常に長い期間レビュー中の登録についてサポートが必要な場合は、AWS サポートにお問い合わせください。

登録拒否の理由

登録が拒否されると、AWS エンドユーザーメッセージングは、登録が承認されなかった理由を説明する拒否理由を提供します。次の表に、すべての RCS 登録拒否の理由とそれぞれの推奨アクションを示します。

RCS 登録拒否の理由

拒否の理由	説明	推奨されるアクション
REQUIRES_OFFLINE_REVIEW	この登録には、オフラインによる手動レビューが必要です。	AWS サポートセンターでサポートケースを作成します。RCS エージェント支援カテゴリを選択し、登録 ID を含めます。「 登録の問題 サポートに関する詳細情報を取得する 」を参照してください。
CANNOT_UPDATE_REGISTRATION	特定の RCS エージェントフィールドは、既存の登録では変更できません。	修正されたフィールドを使用して新しいテスト登録を作成します。
IMAGE_URL_INACCESSIBLE	提供されたイメージ URL はパブリックにアクセスできません。	認証なしでアクセスできる URL を指定します。登録を更新して再送信します。
IMAGE_FORMAT_INVALID	イメージは JPEG または PNG 形式である必要があります。	正しい形式でイメージをアップロードし、再送信します。
IMAGE_RESOLUTION_INVALID	イメージが必要な解像度を満たしていません。ロゴは 224 x 224 ピクセルで、バナーは 1440 x 448 ピクセルである必要があります。	イメージを必要なディメンションに変更し、再送信します。
IMAGE_SIZE_EXCEEDED	イメージファイルのサイズが許容制限を超えています。ロゴは 50 KB を超えてはならず、バナーは 200 KB を超えてはなりません。	ファイルサイズを減らして再送信します。

拒否の理由	説明	推奨されるアクション
ACCENT_COLOR_CONTRAST_INSUFFICIENT	アクセント色は、白に対して少なくとも 4.5:1 のコントラスト比である必要があります。	コントラスト要件を満たす暗いアクセントカラーを選択し、再送信します。
PRIVACY_POLICY_INACCESSIBLE	指定されたプライバシーポリシー URL にアクセスできないか、無効です。	パブリックにアクセス可能なプライバシーポリシー URL を指定し、再送信します。
TERMS_AND_CONDITIONS_INACCESSIBLE	指定された利用規約 URL にアクセスできないか、無効です。	パブリックにアクセス可能な利用規約 URL を指定し、再送信します。
CONTACT_DETAILS_MISSING	エージェントプロフィールには少なくとも 1 つの問い合わせ方法 (電話、E メール、ウェブサイト) が必要であり、各問い合わせ値には対応するラベルが必要です。	エージェントプロフィールに少なくとも 1 つの問い合わせ方法を追加します。各問い合わせ値に対応するラベルがあることを確認します (電話番号を指定する場合は、電話番号ラベルも指定します)。登録を更新して再送信します。

AWS サポートのサポートを必要とする拒否理由については、サポート[AWS センター](#)でサポートケースを作成します。ケースの説明に AWS RCS エージェント ID と登録 ID を含めます。

RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング

AWS エンドユーザーメッセージングは、AWS/SMSVoice 名前空間の CloudWatch に RCS メッセージングメトリクスを発行します。これらのメトリクスを使用して、RCS メッセージ配信をモニタリングし、RCS から SMS へのフォールバック動作を追跡し、配信パターンが変更されたときに警告するアラームを設定できます。RCS メトリクスは、同じ名前空間内の既存の SMS および MMS メトリクスと一緒に発行されます。

トピック

- [RCS メッセージングメトリクス](#)
- [OriginationIdentityType デイメンションで既存のメトリクスを変更](#)

- [RCS メトリクスディメンション](#)
- [インバウンド RCS メッセージメトリクス](#)
- [RCS のベストプラクティスのモニタリング](#)

RCS メッセージングメトリクス

AWS/SMSVoice 名前空間には、RCS メッセージングに固有の以下のメトリクスが含まれます。これらのメトリクスは、RCS メッセージの送信、配信、SMS フォールバックを追跡します。

RCS メッセージングメトリクス

メトリクス	説明	Unit	有意義な統計
RCS.MessagesSent	送信された RCS メッセージの数。このメトリクスは、AWS エンドユーザーメッセージングが承諾し、RCS 経由で配信しようとしたメッセージをカウントします。Protect またはサービスの制限によってブロックされたメッセージは、このカウントから除外されます。	カウント	• 合計 • サンプル数 • 平均
RCS.MessagesDelivered	受信者のデバイスに正常に配信された RCS メッセージの数。AWS エンドユーザーメッセージングが RCS インフラストラクチャから配信確認を受信すると、メッセージは配信済みとしてカウントされます。	カウント	• 合計 • サンプル数 • 平均
RCS.MessagesFallenBackToSMS	RCS を介して最初に試行されたが、SMS 配信にフォールバックしたメッセージの数。このメトリクスは、受信者が RCS 配信を利用できない頻度を理解し、時間の経過とともにフォールバック	カウント	• 合計 • サンプル数 • 平均

メトリクス	説明	Unit	有意義な統計
	ク率を追跡するために使用できません。		

OriginationIdentityType デイメンションで既存のメトリクスを変更

RCS の追加により、AWS/SMSVoice名前空間内のいくつかの既存のメトリクスが OriginationIdentityType デイメンションをサポートするようになりました。このデイメンションを使用すると、AWS RCS エージェントなど、メッセージの送信に使用される送信元 ID のタイプでメトリクスをフィルタリングできます。

以下の既存のメトリクスに OriginationIdentityType デイメンションが含まれるようになりました。

- **NumberOfTextMessagePartsSent** — 発信元 ID タイプでフィルタリングして、各チャンネルを介して送信されたテキストメッセージパーツの数 (電話番号、送信者 ID、AWS RCS エージェント、またはプール) を確認します。
- **NumberOfTextMessagePartsDelivered** — 送信元 ID タイプでフィルタリングして、チャンネル間で配信レートを比較します。
- **NumberOfMediaMessagePartsSent** — 発信元 ID タイプでフィルタリングして、チャンネル別のメディアメッセージ送信を追跡します。
- **NumberOfMediaMessagePartsDelivered** — 発信元 ID タイプでフィルタリングして、チャンネル間でメディアメッセージの配信を比較します。
- **TextMessagesBlockedByProtect** — 送信元 ID タイプでフィルタリングして、Protect ルールによってメッセージがブロックされているチャンネルを確認します。
- **MediaMessagesBlockedByProtect** — 送信元 ID タイプでフィルタリングして、チャンネル別の保護ブロックを追跡します。

AWS RCS エージェントを介して送信されるメッセージのメトリクスを分離 RCS_AGENT するには、の値を持つ OriginationIdentityType デイメンションを使用します。使用可能なデイメンション値の詳細については、「」を参照してください [RCS メトリクスデイメンション](#)。

RCS メトリクスディメンション

次のディメンションを使用して、RCS メトリクスをフィルタリングおよびグループ化できます。これらのディメンションは、前のセクションで説明した新しい RCS 固有のメトリクスと変更された既存のメトリクスの両方で使用できます。

OriginationIdentityType ディメンション

OriginationIdentityType ディメンションは、メッセージの送信に使用される送信元 ID のタイプによってメトリクスをフィルタリングします。

OriginationIdentityType ディメンション値

値	説明
PHONE_NUMBER	電話番号 (ロングコード、ショートコード、または通話料無料番号) を使用して送信されたメッセージ。
SENDER_ID	送信者 ID を使用して送信されたメッセージ。
RCS_AGENT	AWS RCS エージェントを使用して送信されたメッセージ。
POOL	電話プールを使用して送信されたメッセージ。プール経由で送信すると、AWS End User Messaging は適切な送信元 ID (AWS RCS エージェントまたは電話番号) を自動的に選択します。

MessageType ディメンション

MessageType ディメンションは、メッセージのタイプによってメトリクスをフィルタリングします。

MessageType ディメンション値

値	説明
TEXT	RCS または SMS 経由で送信されるテキストメッセージ。
MEDIA	メディアメッセージ (MMS)。AWS エンドユーザーメッセージングの RCS は現在、テキストメッセージのみをサポートしています。

値	説明
DELIVERY_REPORT	メッセージの配信ステータスを確認する配信レポートメッセージ。

Note

AWS エンドユーザーメッセージングの RCS の現在のリリースでは読み取り受信がサポートされていないため、READ_REPORTメッセージタイプは使用できません。

インバウンド RCS メッセージメトリクス

AWS/SMSVoice 名前空間の既存のNumberOfMessagesReceivedメトリクスにインバウンド RCS メッセージが含まれるようになりました。OriginationIdentityType ディメンションを の値で使用RCS_AGENTして、AWS RCS エージェントを介して受信したインバウンドメッセージをフィルタリングできます。

インバウンド RCS メッセージメトリクスでは、次のディメンションを使用できます。

- OriginationIdentityType — インバウンド RCS メッセージをフィルタリングRCS_AGENTするために使用します。
- IsoCountryCode — インバウンドメッセージ送信者の国コードでフィルタリングします。
- MessageType — RCS 経由で受信したテキストメッセージをフィルタリングTEXTするために使用します。現在のリリースでは、AWS エンドユーザーメッセージングの RCS はインバウンドテキストメッセージのみをサポートしています。

RCS のベストプラクティスのモニタリング

次のベストプラクティスを使用して RCS メッセージングオペレーションをモニタリングし、配信問題を早期に特定します。

RCS と SMS の配信レートを追跡する

RCS.MessagesDelivered と比較してRCS.MessagesFallenBackToSMS、メッセージの何パーセントが RCS 経由で配信されるか、SMS 経由で配信されるかを理解します。フォールバック率が

高い場合は、受信者の多くが RCS をサポートしていないキャリアまたはデバイスを使用していることを示している可能性があります。キーレートを計算するには、次の式を使用します。

$$\text{RCS delivery rate} = 100 * \text{SUM}(\text{RCS.MessagesDelivered}) / \text{SUM}(\text{RCS.MessagesSent})$$
$$\text{SMS fallback rate} = 100 * \text{SUM}(\text{RCS.MessagesFallenBackToSMS}) / \text{SUM}(\text{RCS.MessagesSent})$$

これらのレートを経時的に追跡して、RCS のキャリアとデバイスのサポートが拡大する傾向を特定します。フォールバック率の低下は、より多くの受信者が RCS 経由でメッセージを受信していることを示します。

RCS メトリクスの CloudWatch アラームを設定する

RCS メッセージングパターンが予期せず変化したときに警告する CloudWatch アラームを作成します。次の条件のアラームを設定することを検討してください。

- フォールバック率が高い — がしきい値の割合である `RCS.MessagesFallenBackToSMS` を超えた場合にアラームを設定します `RCS.MessagesSent`。フォールバックが突然増加した場合、AWS RCS エージェントの問題やキャリアの停止を示している可能性があります。
- 配信レートの低下 — `RCS.MessagesDelivered` と の比率が予想配信レートを `RCS.MessagesSent` 下回った場合にアラームを設定します。
- インバウンドメッセージボリューム — 双方向 RCS メッセージングを使用する場合は、アラームを に設定し `NumberOfMessagesReceived` (でフィルタリング `OriginationIdentityType = RCS_AGENT`)、インバウンドメッセージボリュームの予期しない変更を検出します。

RCS の請求と料金モデル

AWS エンドユーザーメッセージングの RCS メッセージングは、メッセージ料金とキャリア料金の 2 AWS つのコストコンポーネントを含む料金モデルを使用します。これらの料金はマークアップなしで渡されます。この章では、RCS メッセージングの料金構造について説明します。現在の料金については、[AWS 「エンドユーザーメッセージングの料金」](#) を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージングは、受信者のデバイスに正常に配信された場合にのみ RCS メッセージに対して課金します。失敗した配信試行に対しては課金されません。RCS メッセージが失敗して SMS にフォールバックした場合、失敗した RCS 試行ではなく、配信された SMS メッセージに対して課金されます。

トピック

- [請求の概要](#)
- [米国の料金モデル](#)
- [カナダの料金モデル](#)
- [登録料金](#)
- [二重配送の請求](#)
- [コンテンツ違反料金](#)
- [請求書の透明性](#)

請求の概要

AWS エンドユーザーメッセージングの RCS 請求には、次のコンポーネントがあります。

- メッセージ料金 — メッセージセグメントに基づく、アウトバウンドおよびインバウンド RCS メッセージのメッセージあたりの料金。
- キャリア料金 — AWS マークアップのないキャリアからのパススルー料金。
- 登録料金 — エージェントのセットアップ、ブランド審査、メンテナンスの 1 回限りの定期的な料金。

各コンポーネントは AWS 請求書に個別の明細項目として表示され、RCS メッセージングコストを確認できます。

米国の料金モデル

米国の RCS メッセージングは、Rich RCS というメッセージタイプを使用します。リッチ RCS メッセージは、SMS と同様に 160 文字のセグメントごとに計測されます。160 文字を超えるメッセージは、複数のセグメントに対して課金されます。

各アウトバウンドまたはインバウンド Rich RCS メッセージには、2 つのコストコンポーネントがあります。

メッセージ転送料金

RCS メッセージの処理と配信 AWS に対して によって請求されるセグメントごとの料金。

キャリア料金 (パススルー)

RCS メッセージ配信のためにキャリアによって請求されるセグメントごとの料金。は、この料金をマークアップなしでお客様に AWS 渡します。通信事業者料金は、メッセージ転送コストとは異なります。

メッセージあたりの合計コストは、メッセージ転送料金と通信事業者料金の合計です。インバウンド RCS メッセージ (エンドユーザーから AWS RCS エージェントに送信されるメッセージ) は、同じ 2 つのコンポーネントの料金構造に従います。

Note

RCS メッセージは、配信されたメッセージに対してのみ課金されます。これは、リクエストされたメッセージに対して課金される SMS とは異なります。

現在のセグメントごとの料金については、[AWS 「エンドユーザーメッセージングの料金」](#)を参照してください。

カナダの料金モデル

カナダの RCS メッセージングでは、次の 2 つのメッセージタイプを使用します。

RCS ベーシック

最大 160 文字のメッセージ。メッセージごとに課金されます。

RCS シングル

160 文字を超えるメッセージ。複数のセグメントとしてではなく、単一のメッセージとして請求されます。これは、SMS に似た 160 文字のセグメントごとに 160 文字を超える Rich RCS メッセージが計測される米国とは異なります。

カナダの各アウトバウンドまたはインバウンド RCS メッセージには、メッセージ転送料金とキャリアパススルー料金の 2 つのコストコンポーネントがあります。

 Note

RCS メッセージは、配信されたメッセージに対してのみ課金されます。これは、リクエストされたメッセージに対して課金される SMS とは異なります。

現在の料金については、[AWS「エンドユーザーメッセージングの料金」](#)を参照してください。

登録料金

AWS RCS エージェントを起動するには、RCS インフラストラクチャプロバイダーに登録する必要があります。登録プロセスには、次のキャリアパススルー料金が適用されます。

1 回限りのエージェントセットアップ料金

AWS RCS エージェントを作成して登録するときに課金される 1 回限りの料金。これには、RCS インフラストラクチャプロバイダーとのエージェントの初期設定と検証が含まれます。

年間ブランド審査料金

ブランドアイデンティティを検証するための年額料金。ブランド審査は、組織が正当であり、ブランド名で RCS メッセージを送信する権限があることを確認します。

エージェント月額メンテナンス料金

RCS インフラストラクチャプロバイダーへのアクティブな AWS RCS エージェント登録を維持するための定期的な月額料金。

これらの登録料金は、キャリアパススルー料金です。現在の登録料金については、[AWS「エンドユーザーメッセージング料金」](#)を参照してください。

 Important

RCS 登録料金は、エンタープライズ割引プログラム (EDP) 割引から除外されます。これらの料金は RCS インフラストラクチャプロバイダーからのパススルー料金であり、AWS ポリウム割引の対象外です。

登録料金は、AWS 請求書に個別の明細項目として表示されます。料金の分類方法の詳細については、AWS コストと使用状況レポートを確認してください。

二重配送の請求

AWS End User Messaging が SMS フォールバックを有効にして RCS メッセージを送信する場合 (プールベースまたはアカウントレベルの送信)、サービスは最初に RCS 配信を試みます。RCS 配信が失敗すると、サービスは SMS にフォールバックします。

通常の場合では、SMS フォールバックメッセージが配信される前に RCS メッセージは取り消されます。この場合、正常に配信された SMS メッセージに対してのみ課金されます。

まれに、RCS メッセージと SMS フォールバックメッセージの両方が受信者に配信される場合があります。これは、失効ウィンドウの後、SMS メッセージが到着する前に RCS メッセージが配信された場合に発生する可能性があります。デュアル配信が発生すると、RCS メッセージと SMS メッセージの両方に対して課金されます。

Note

デュアル配信は一般的ではありません。AWS エンドユーザーメッセージングは、SMS フォールバックを開始する前に RCS メッセージを取り消すように設計されています。配信受信と CloudWatch メトリクスをモニタリングして、配信チャネル属性を追跡します。RCS メトリクスの詳細については、「」を参照してください[RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング](#)。

コンテンツ違反料金

RCS メッセージ送信者は、メッセージングに関する国の法律と規制、および通信事業者ポリシーを遵守する責任があります。通信事業者は、メッセージコンテンツポリシーに違反する RCS メッセージに対して違約金を課す場合があります。これらのペナルティは、通信事業者がメッセージコンテンツポリシーに違反しているとフラグ付けする RCS メッセージを送信する顧客に渡す AWS 可能性のある、通信事業者によって課される料金です。

キャリアは通常、コンテンツ違反を次の階層に分類します。

階層 1 — フィッシング、スミッシング、ソーシャルエンジニアリング

ソーシャルエンジニアリングとは、個人を操作してクレジットカード番号や社会保障番号などの個人情報を明らかにする方法で個人をターゲットにする行為を指します。

階層 2 — 不正なコンテンツ

コンテンツは、すべての 50 州および連邦政府で合法である必要があります。違法なコンテンツには、大麻、マリファナ、CBD、違法な処方、および要請が含まれますが、これらに限定されません。

階層 3 — その他の違反

禁止されているコンテンツに関する連邦、州、または地域の法律、規制、または通信事業者の行動基準に違反するその他のすべての商用メッセージング違反。

コンテンツ違反料金の詳細については、[AWS「エンドユーザーメッセージング料金」](#)を参照してください。

請求書の透明性

RCS 料金は AWS 請求書に個別の明細項目として表示され、次のコストカテゴリを区別できます。

- RCS メッセージ料金 (AWS 料金)
- RCS キャリア料金 (パススルー料金)
- RCS 登録料金 (パススルー料金)
- SMS メッセージ料金 (RCS から SMS にフォールバックしたメッセージの場合)

この分離は、メッセージングコストを理解し、支出を最適化する機会を特定するのに役立ちます。請求情報の詳細については、AWS コストと使用状況レポートを確認してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の電話プール

電話プール (単にプールとも呼ばれます) は、メッセージを送信するために使用できるものと同じ設定を共有する電話番号または送信者 ID の集合です。電話プールを経由してメッセージを送信する場合、適切な発信元 ID を選択してメッセージを送信します。電話プール内の発信元 ID が失敗した場合、その発信元 ID が同じ電話プール内にあると、電話プールは別の発信元 ID にフェイルオーバーされます。

Note

電話プールは、独自の専用電話番号とテンプレートメッセージングの AWS マネージド ID を使用するように通知設定に関連付けることができます。詳細については、「[Notify での専用番号の使用](#)」を参照してください。

プールを作成するときに、指定した発信元 ID を設定できます。この ID には、キーワード、メッセージタイプ、オプトアウトリスト、双方向設定、およびセルフマネージド型オプトアウト設定が含まれます。例えば、プールを使用することにより、送信先電話番号のオプトアウトリストを、特定の国の電話番号に関連付けることができます。それにより、メッセージの受け取りを既にオプトアウトしているユーザーにメッセージが送信されることを防止できます。

プールに追加するすべての電話番号の設定は、プールを作成したときに最初に指定した電話番号の設定と一致する必要があります。例えば、双方向メッセージングが有効になっている電話番号を含むプールを作成する場合、プールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

電話番号と送信者 IDs とともに、プールの送信元 ID として AWS RCS エージェントを追加することもできます。AWS RCS エージェントがプール内にある場合、プールは RCS-to-SMS 自動フォールバックを有効にします。RCS 配信が失敗すると、サービスは同じプール内の別の発信元 ID を使用して SMS 経由でメッセージを自動的に再試行します。プールで RCS フォールバックを設定する方法の詳細については、「」を参照してください [電話プールを使用した RCS から SMS へのフォールバック](#)。

トピック

- [AWS End User Messaging SMS で電話プールを作成する](#)
- [電話番号または送信者 ID を電話プールに追加する](#)
- [AWS End User Messaging SMS ですべての電話プールを表示する](#)

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話プールを削除する](#)
- [AWS End User Messaging SMS でプールのオプトアウトリストを変更する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で共有ルートを更新する](#)
- [AWS End User Messaging SMS での電話プール削除保護の使用](#)
- [電話プールの AWS End User Messaging SMS タグを管理する](#)
- [AWS CLI を使用して共有電話プールを一覧表示する](#)
- [プールでの AWS RCS エージェントの管理](#)

AWS End User Messaging SMS で電話プールを作成する

新しい電話プールを作成すると、最初に追加した電話番号または送信者 ID のすべての設定を継承します。例えば、プールを作成し、最初に追加した電話番号で双方向メッセージングが有効になっている場合、そのプールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

Create a phone pool (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用してプールを作成するには、次の手順に従います。

プールを作成するには (コンソール)

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、[電話プールを作成] を選択します。
4. [プールのセットアップ] セクションで、[プール名] にプールの名前を入力します。
5. 以下のオプションのいずれかを選択してください:
 - [電話番号] – [関連付けに使用できる番号] セクションで、プールに関連付ける電話番号を選択します。
 - [シミュレーター番号] (オプション) – 電話番号がなく、シミュレーターの電話番号をリクエストする場合は、[電話番号] を選択し、[関連付けに使用できる番号] セクションで、次の操作を行います。
 - [シミュレーター番号をリクエスト] を選択します。

- [シミュレーター番号をリクエスト] で、ドロップダウンリストから国を選択します。
 - [番号をリクエスト] を選択します。
 - [関連付けに使用できる番号] で、新しいシミュレーターの電話番号を選択します。
- [送信者 ID] – [関連付けに使用できる送信者 ID] セクションで、プールに関連付ける送信者 ID を選択します。
6. (オプション) [タグ] を展開し、[新しいタグを追加] を選択します。
 - a. 新しい空のキーと値のペアを入力します。
 - b. (オプション) 別のタグを追加するには、[新しいタグを追加] を選択します。
 7. [電話プールを作成] を選択します。

Create a phone pool (AWS CLI)

新しいプールを作成するには、[create-pool](#) コマンドを使用できます。

RequestPhoneNumber API を使用して電話番号を購入するときに、電話番号をプールに追加することもできます。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

AWS CLI を使用してプールを作成するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-pool \  
> --origination-identity originationIdentity \  
> --iso-country-code XX \  
> --message-type TRANSACTIONAL
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *originationIdentity* を、プールに追加する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

 Tip

電話番号の ID と ARN はどちらも、[describe-phone-numbers](#) オペレーションを使用して確認できます。送信者 ID の ID と ARN はどちらも、[describe-sender-ids](#) オペレーションを使用して確認できます。

- **XX** を、*originationIdentity* の国の ISO-3166 alpha-2 識別子に置き換えます。
- プールを使用してマーケティングメッセージやプロモーションメッセージを送信する予定の場合は、**TRANSACTIONAL** を **PROMOTIONAL** に置き換えます。それ以外の場合は、**TRANSACTIONAL** を使用します。

電話番号または送信者 ID を電話プールに追加する

電話番号または送信者 ID を電話プールに追加するには、次の手順に従います。プールに追加するすべての電話番号または送信者 ID の設定は、電話番号プールの設定と一致している必要があります。例えば、プールを作成し、最初に追加した電話番号で双方向メッセージングが有効になっている場合、そのプールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

Add a phone number or sender ID to a pool (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して電話番号または送信者 ID を追加するには、次の手順に従います。

電話番号または送信者 ID の追加 (コンソール)

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、発信元 ID を追加する電話プールを選択します。
4. [関連付けられているプールの発信者] タブで、[発信者を追加する] を選択します。
5. 以下のオプションのいずれかを選択してください:
 - [電話番号] - このオプションを選択した場合は、[関連付けに使用できる番号] セクションで、次の操作を行います。
 - 電話プールに追加する電話番号を選択します。

- [送信者 ID] - このオプションを選択した場合は、[関連付けに使用できる送信者 ID] セクションで、次の操作を行います。
- 送信者 ID を選択して電話プールを追加します。

6. [発信者をプールに追加] を選択します。

Add a phone number or sender ID to a pool (AWS CLI)

電話番号または送信者 ID を既存のプールに追加するには、[associate-origination-identity](#) CLI を使用できます。

プールに追加するすべての電話番号または送信者 ID の設定は、プールを作成したときに最初に指定した電話番号または送信者 ID の設定と一致している必要があります。例えば、双方向メッセージングが有効になっている電話番号を含むプールを作成する場合、プールに追加する他の番号についても、双方向メッセージングが有効になっている必要があります。

AWS CLI を使用して電話番号または送信者 ID をプールに追加するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 associate-origination-identity \  
> --pool-id poolId \  
> --origination-identity originationIdentity \  
> --iso-country-code US
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *poolId* を、送信元 ID を追加するプールの ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *originationIdentity* を、プールに追加する電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *+12065550142* を、プールに追加する送信元 ID に置き換えます。この値には、ショートコード、電話番号、または送信者 ID を使用できます。
- *US* を、発信者 ID の国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コードに置き換えます。

List origination identities (AWS CLI)

特定のプールに追加されたすべての発信元 ID に関する情報を表示するには、[list-pool-origination-identities](#) CLI を使用できます。

AWS CLI を使用してプール内の送信元 ID を一覧表示するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 list-pool-origination-identities \  
> --pool-id pool-78ec067f62f94d57bd3bab991example
```

前述のコマンドで、*poolId* を、プールの一意的 ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

AWS End User Messaging SMS ですべての電話プールを表示する

既存のプールに関する情報を表示するには、[describe-pools](#) CLI を使用できます。

このオペレーションでは、AWS End User Messaging SMS アカウントのすべてのプールの完全なリスト、特定のプールに関する情報、または定義した条件に基づいてフィルタリングされたプールのリストを表示できます。

AWS CLI を使用してすべてのプールのリストを取得するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools
```

特定のプールに関する情報を検索するには、PoolId パラメータを使用します。

AWS CLI を使用して特定のプールに関する情報を取得するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools \  
> --pool-id poolId
```

前述のコマンドで、*poolId* を、プールの一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

フィルタリングされたプールのリストを表示するには、Filters パラメータを使用します。フィルターには次の値を使用できます。

- status – プールの現在のステータス (ACTIVE など)。
- message-type – プールを使用して送信するメッセージのタイプ。想定される値は、TRANSACTIONAL または PROMOTIONAL です。
- two-way-enabled – プール内の番号に対して双方向 SMS メッセージングが有効になっているかどうかを示すブール値。
- self-managed-opt-outs-enabled – プール内の番号に対してセルフマネージド型 SMS オプトアウトが有効になっているかどうかを示すブール値。
- opt-out-list-name – プールに関連付けられているオプトアウトリストの名前。
- shared-routes-enabled – プールに対して共有ルートが有効になっているかどうかを示すブール値。
- deletion-protection-enabled – DeletePhoneNumber オペレーションを使用して電話番号を削除できるかどうかを示すブール値。

例えば、双方向メッセージングをサポートするトランザクションメッセージのプールを一覧表示するには、コマンドラインで次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools \  
> --filters Name=message-type,Values=TRANSACTIONAL \  
> --filters Name=two-way-enabled,Values=true
```

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話プールを削除する

プールを削除する前に、[削除保護] をオフにし、電話プールから発信者の 1 人を除くすべてを削除する必要があります。削除に対する保護を無効にする方法についての詳細は、「[AWS End User Messaging SMS での電話プール削除保護の使用](#)」を参照してください。プールに関連付けられた電話番号と送信者 IDs は AWS、エンドユーザーメッセージング SMS アカウントに残ります。

Delete a phone pool (Console)

プールを削除する前に、削除保護をオフにし、電話プールからすべての発信者を削除する必要があります。AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用してプールを削除するには、次の手順に従います。

プールを削除するには (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、削除するプールを選択します。
4. [削除] を選択します。
5. 「**release**」を入力し、[確認] してプールを削除します。

Delete a phone pool (AWS CLI)

プールを削除する前に、削除保護をオフにし、電話プールからすべての発信者を削除する必要があります。プールを削除するには、[delete-pool](#) API を使用できます。

を使用してプールを削除するには AWS CLI

- プールを削除するには、コマンドラインで次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-pool \  
> --pool-id pool-78ec067f62f94d57bd3bab991example
```

前述のコマンドで、*pool-78ec067f62f94d57bd3bab991example* を、プールの一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。これらの値はどちらも [describe-pools](#) オペレーションを使用して確認できます。

AWS End User Messaging SMS でプールのオプトアウトリストを変更する

オプトアウトリストは、メッセージを送信してはならない送信先電話番号のリストです。SMS メッセージを送信し、送信元番号に STOP というキーワードを含む返信があると、送信先 ID が自動的にオプトアウトリストに追加されます (自己管理型オプトアウトオプションを有効にしている場合を除く)

く)。オプトアウトリストにある送信先番号にメッセージを送信しようとしても、オプトアウトリストがメッセージの送信に使用されたプールに関連付けられている場合、AWS End User Messaging SMS はメッセージの送信を試みません。

デフォルトでは、プールが作成されると、デフォルトオプトアウトリストに割り当てられます。プールは同じオプトアウトリストを共有できます。プールのオプトアウトリストを変更すると、以前にオプトアウトした受信者が新しいリストに含まれず、メッセージを受信し始める可能性があります。オプトアウトリストから送信先電話番号を追加または削除する方法の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS のオプトアウトリストに宛先電話番号を追加する](#)」を参照してください。

Change opt-out list (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを変更するには、次の手順に従います。

オプトアウトリストの変更

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、プールを選択します。
4. [オプトアウトリスト] タブで、[設定を編集] を選択します。
 - [新しいオプトアウトリストを作成する] - 新しい空のオプトアウトリストを作成し、わかりやすい名前を入力します。
 - [既存のオプトアウトリストを選択してください] - 以前に作成したオプトアウトリストをドロップダウンから選択します。
5. (オプション) セルフマネージドオプトアウトを有効にするには、[セルフマネージド型のオプトアウトを有効にする] を選択します。
6. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Change opt-out list (AWS CLI)

[update-pool](#) コマンドを使用して、プールで使用されるオプトアウトリストを変更できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-pool --pool-id poolId --opt-out-list-name OptOutListName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *poolId* をプールの poolID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *OptOutListName* を Amazon リソースネーム (ARN) またはオプトアウトリスト名に置き換えます。

AWS End User Messaging SMS で共有ルートを更新する

一部の国では、AWS End User Messaging SMS が共有発信元 ID のプールを維持しています。共有ルートを有効にすると、AWS End User Messaging SMS は共有 ID のいずれかを使用してメッセージを配信しようと努めます。発信元 ID は、送信者 ID、ロングコード、ショートコードのいずれかで、国によって異なる場合があります。共有ルートが送信元 ID として送信者 ID を使用する場合、送信者 ID は NOTICE などの汎用送信者 ID になります。共有 ID は、米国など一部の国では使用できません。

Note

共有ルートは、ダウンストリームフィルタリングが増加し、利用可能な場合は専用ルートが推奨されます。

共有ルートをオンにする (AWS マネジメントコンソール)

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、共有ルートが有効になっているプールを選択します。
4. [共有ルート] タブで、[設定を編集] ボタンを選択します。
5. [共有ルートを有効にする] を選択し、[変更を保存] します。

AWS End User Messaging SMS での電話プール削除保護の使用

削除保護をオンにすると、削除保護が無効になるまで、プールを削除できません。デフォルトでは、削除保護は無効です。

削除保護を有効にする (コンソール)

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、削除が有効になっている電話プールを選択します。
4. [削除保護] タブで、[設定を編集] を選択します。
5. [削除保護を有効にする] を選択して、[変更を保存] を選択します。

電話プールの AWS End User Messaging SMS タグを管理する

タグはキーと値の組み合わせであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用量を制御できます。名前のキーと値のペアの値を編集してプールの名前を変更するには、以下を参照してください。

Manage tags (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して、プールにタグを追加または編集します。

タグの管理 (コンソール)

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、タグを追加する電話プールを選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
 - タグの追加 – [タグの管理] で、[新しいタグの追加] を選択して新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – [タグの管理] で、キーと値のペアの横にある [削除] を選択します。
 - タグの編集 – [タグの管理] で、[キー] または [値] を選択し、テキストを編集します。

5. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Manage tags (AWS CLI)

AWS CLI を使用して、タグを追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

AWS CLI を使用してタグを削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

AWS CLI を使用して共有電話プールを一覧表示する

[describe-pools](#) CLI または [AWS RAM コンソール](#) を使用して、アカウントと共有されているプールに関する情報を表示できます。共有リソースの詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での共有リソースの使用](#)」を参照してください。

AWS CLI を使用して共有されるプールのリストを取得するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools --owner SHARED
```

上記のコマンドで、**SHARED** を **SELF** に置き換えて、アカウントが所有するプールを一覧表示します。

プールでの AWS RCS エージェントの管理

AWS RCS エージェントは、SMS 電話番号とともに電話プール内の発信元 ID として追加できます。プールに AWS RCS エージェントと SMS の両方の電話番号が含まれている場合、AWS エンドユーザーメッセージングは最初に RCS 配信を試み、RCS 配信が不可能な場合は自動的に SMS にフォールバックします。フォールバックの仕組みの詳細については、「」を参照してください[電話プールを使用した RCS から SMS へのフォールバック](#)。

Note

AWS RCS エージェントをプールに追加するときは、ISO 国コード ZZ として を使用します。この ZZ コードは、RCS エージェントがプールレベルで国固有ではないことを示します。国固有のルーティングは、エージェントの国起動登録を通じて処理されます。プールには、RCS エージェントとともに複数の国の電話番号を含めることができます。ISO 国コードはプールの作成時に提供されますが、プールには保持されません。を呼び出すと DescribePools、ISO 国コードはレスポンスに表示されません。

AWS RCS エージェントを使用したプールの作成

AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは CreatePool API を使用して、AWS RCS エージェントを含む新しいプールを作成できます。

Console

コンソールを使用して AWS RCS エージェントでプールを作成するには

1. AWS エンドユーザーメッセージングコンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、電話プールを選択します。
3. [プールを作成] を選択します。

4. 送信元 ID で、AWS RCS エージェントを選択します。プールは、選択した送信元 ID からその設定を継承します。
5. 必要に応じてプール設定を設定し、プールの作成を選択します。
6. プールを作成したら、SMS 電話番号をプールに追加して SMS フォールバックを有効にします。プール内のすべての発信元 ID には、一致する設定が必要です。詳細については、「[RCS のプール設定要件](#)」を参照してください。

AWS CLI

CreatePool API を使用して、AWS RCS エージェントを最初の送信元 ID としてプールを作成します。プールの作成時に、発信元 ID として AWS RCS エージェント ARN を指定します。

次の例では、CLI AWS を使用してプールを作成します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-pool \  
  --origination-identity arn:aws:sms-voice:region:account-id:rsc-agent/rsc-agent-id \  
  --iso-country-code ZZ \  
  --message-type TRANSACTIONAL
```

プールを作成したら、AssociateOriginationIdentity API を使用してフォールバック用にプールに SMS 電話番号を追加します。

既存のプールへの AWS RCS エージェントの追加

SMS 電話番号を持つプールがすでにある場合は、AWS RCS エージェントをプールに追加して、SMS フォールバックによる RCS メッセージングを有効にできます。AWS RCS エージェントがすでに含まれているプールに SMS 電話番号を追加することもできます。

Important

既存のプールに発信元 ID を追加する前に、プールの設定が追加する ID と一致することを確認します。プール内のすべての送信元 ID には、同じメタデータが必要です。不一致がある場合、オペレーションは失敗します ConflictException。一致する必要があるフィールドと不一致の解決方法の詳細については、「」を参照してください [RCS のプール設定要件](#)。

Console

コンソールを使用して AWS RCS エージェントをプールに追加する前に、プールの詳細ページを調べて現在の設定を確認します。プールのメッセージタイプ、ISO 国コード、およびその他の設定が、追加する AWS RCS エージェントと互換性があることを確認します。

コンソールを使用して既存のプールに AWS RCS エージェントを追加するには

1. AWS エンドユーザーメッセージングコンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、電話プールを選択します。
3. AWS RCS エージェントを追加するプールを選択します。
4. 詳細ページでプールの設定を確認します。メッセージタイプおよびその他の設定が、追加する AWS RCS エージェントと一致することを確認します。
5. 送信元 ID セクションで、送信元 ID の追加を選択します。
6. リストから AWS RCS エージェントを選択し、追加を選択します。

AWS CLI

CLI または API を使用してプールに AWS RCS エージェントを追加する前に、DescribePools API を使用してプールの現在の設定を取得します。プールの設定が、追加する AWS RCS エージェントと一致することを確認します。

次の例では、プールの詳細を取得します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-pools \  
  --pool-ids pool-id
```

設定が一致していることを確認したら、AssociateOriginationIdentity API を使用して AWS RCS エージェントをプールに追加します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 associate-origination-identity \  
  --pool-id pool-id \  
  --origination-identity arn:aws:sms-voice:region:account-id:rcs-agent/rcs-agent-id \  
  --iso-country-code ZZ
```

RCS のプール設定要件

プール内のすべての送信元 ID には、同じメタデータが必要です。発信元 ID をプールに追加すると、AWS End User Messaging は ID の設定をプールの既存の設定と比較します。不一致がある場合、オペレーションは、異なる特定のフィールドに関する詳細 `ConflictException` を含むで失敗します。

プール設定フィールドは、プールの作成時に設定され変更できないイミュータブルフィールドと、作成後に更新できるミュータブルフィールドの 2 つのカテゴリに分類されます。

イミュータブルプール設定フィールドとミュータブルプール設定フィールド

フィールド	ミュータビリティ	注意事項
メッセージタイプ	Immutable	プールの作成時に を設定します。すべての ID が一致している必要があります。
ISO 国コード	Immutable	プールの作成時に を設定します。AWS RCS エージェントの場合、値は ですZZ。プールには、複数の国の電話番号を含めることができます。
削除保護	Mutable	作成後に切り替えることができます。ID 間で一貫性がある必要があります。
オプトアウトリスト	Mutable	作成後に変更できます。ID 間で一貫性がある必要があります。

次の設定フィールドは、プール内のすべての送信元 ID で一致する必要があります。

- **メッセージタイプ** — すべての ID は同じメッセージタイプ (TRANSACTIONAL や PROMOTIONAL など) に設定する必要があります。
- **ISO 国コード** — プールの作成時に を設定します。AWS RCS エージェントの場合は、ISO 国コード ZZ として を使用します。プールには、複数の国の電話番号を含めることができます。
- **削除保護** — 削除保護設定は、ID 間で一貫している必要があります。
- **オプトアウトリスト** — すべての ID を同じオプトアウトリストに関連付けるか、いずれの ID にもオプトアウトリストを含めることはできません。

ConflictException エラーについて

送信元 ID をプールに追加しようとして設定が一致しない場合、AssociateOriginationIdentity または CreatePool API は `ConflictException` を返します。例外メッセージには、ID とプール間で異なるフィールドに関する詳細が含まれます。

例えば、PROMOTIONAL メッセージ用に設定された電話番号を TRANSACTIONAL メッセージ用に設定されたプールに追加しようとする、エラーメッセージはメッセージタイプが一致しないことを示します。

を解決するには `ConflictException`:

1. エラーメッセージを確認して、どのフィールドが異なるかを特定します。
2. フィールドが一致するように送信元 ID またはプール設定を更新します。
3. AssociateOriginationIdentity または CreatePool オペレーションを再試行します。

Note

設定の不一致を解決できない場合は、送信元 ID 用に別のプールを作成することを検討してください。各プールは独自の設定を持つことができ、ユースケースごとに異なるプールを使用できます。

プールからの AWS RCS エージェントの削除

AWS RCS エージェントをプールから削除するには、AWS エンドユーザーメッセージングコンソールまたは DisassociateOriginationIdentity API を使用します。プールから AWS RCS エージェントを削除すると、そのプールを介して送信されたメッセージの RCS 配信が無効になります。エージェントの削除後にプールに送信されるメッセージは、SMS 経由でのみ配信されます (プール内の残りの電話番号を使用)。

Console

コンソールを使用してプールから AWS RCS エージェントを削除するには

1. AWS エンドユーザーメッセージングコンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、電話プールを選択します。

3. 削除する AWS RCS エージェントを含むプールを選択します。
4. 送信元 ID セクションで、AWS RCS エージェントを選択します。
5. 削除を選択し、削除を確定します。

AWS CLI

DisassociateOriginationIdentity API を使用してプールから AWS RCS エージェントを削除します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 disassociate-origination-identity \  
  --pool-id pool-id \  
  --origination-identity arn:aws:sms-voice:region:account-id:rcs-agent/rcs-agent-id \  
  --iso-country-code ZZ
```

AWS RCS エージェントを削除すると、プールを介して送信されたメッセージは SMS 経由でのみ配信されます。RCS 配信を再度有効にするには、AssociateOriginationIdentity API を使用して AWS RCS エージェントをプールに戻します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の電話番号

電話番号は、SMS または MMS メッセージを送信したときに受信者のデバイスに表示されるアイデンティティです。アイデンティティには、ロングコード (通常 10 桁以上の標準電話番号)、10 桁のロングコード (10DLC)、フリーダイヤル番号 (TFN)、ショートコード (4~7 桁の電話番号) など、いくつかのタイプがあります。

電話番号は、それぞれに固有のリソースであるため AWS リージョン、共有することはできません AWS リージョン。電話番号へのクロスアクセス AWS アカウント と AWS リージョン アクセスを許可できます。専用電話番号は国別で設定します。ある国の専用電話番号としてリクエストした番号は、別の国のアイデンティティとして使用することはできません。

例えば、ユースケースで米国とカナダにメッセージを送信する必要がある場合は、両方の国の発信元 ID をプロビジョニングする必要があります。その国にローカル AWS リージョン なで発信元 ID をプロビジョニングする必要はありません。両方の発信元 ID を米国西部 (オレゴン) にプロビジョニングできます。別の例として、ユースケースで米国とインドにメッセージを送信する必要がある場合 AWS リージョン は、レイテンシーを減らすために、メッセージの送信先に地理的に近い発信元 ID をにプロビジョニングできます。詳細については、「[Amazon Pinpoint 耐障害性アーキテクチャガイド](#)」を参照してください。

どのタイプの発信元 ID を使用するかを決める際には、考慮すべきガイドラインがいくつかあります。

- 送信者 ID は、一方向のユースケースには最適なオプションです。ただし、すべての国で利用できるわけではありません。
- ショートコードは双方向のユースケースに最適なオプションです。ショートコードを使用するかロングコードを使用するかを選択する必要がある場合は、ショートコードを選択してください。
- 一部の国 (インドやサウジアラビアなど) では、ロングコードは受信メッセージの受信には使用できますが、送信メッセージの送信には使用できません。これらの受信専用ロングコードを使用すると、送信者 ID を使用して送信したメッセージを受信者がオプトアウトできるようになります。
- 一部の国では、共有ルートのプールを維持しています。特定の国の受信者にメッセージを送信しても、送信者にその国に専用の発信元 ID がない場合は、これらの共有 ID のいずれかを使用してメッセージを配信するよう努めます。共有 ID は、米国や中国など一部の国では利用できません。
- モバイル業界は急速に変化しています。多くの国では、商用 SMS メッセージに対する規制が強化される傾向にあります。通信事業者は、ほとんどまたはまったく警告なしに、共有発信元 ID からのメッセージの送信を禁止することを決定する場合があります。その場合は、できる限り事前の警告をして、これらの変更についてお客様に伝えるよう努めます。ただし、通常、通信事業者はこれ

らの変更について事前に通知することはほとんどありません。これらの理由から、専用発信元 ID は共有発信元 ID よりも常に優先されます。

トピック

- [SMS および MMS の国別の機能と制限](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で音声サポートされている国と地域](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号をリクエストする](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号のステータスと機能を表示する](#)
- [を使用して電話番号の機能を変更する AWS CLI](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号をリリースする](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号のオプトアウトリストを変更する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS での電話番号削除保護の使用](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号のタグを管理する](#)
- [で共有電話番号を一覧表示する AWS CLI](#)

SMS および MMS の国別の機能と制限

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は現在、キューバ、イラン、北朝鮮、シリア、スーダンなど、少数の国に SMS または MMS メッセージを送信できません。SMS メッセージを送信できる国や地域の詳細なリストについては、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」および「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での MMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

ほとんどの国および地域では、SMS を使用して送信できるコンテンツの種類に制限が設けられています。これらの制限はさまざまですが、次のコンテンツの種類は、ほとんどの国やリージョンで制限されています。

- 性的なコンテンツ
- 不適切または不快なコンテンツ
- 暴力的なコンテンツ
- 危険ドラッグおよび薬物に関連するコンテンツ

多くの国や地域で、顧客が制限付きのコンテンツを受け取り、携帯端末通信事業者または規制機関に通報された場合、罰金やペナルティが送信者に課される場合があります。一部の国や地域では、すべ

ての受信メッセージが政府によって遡及的にフィルタリングされ、攻撃的または不適切とみなすコンテンツは削除されます。顧客が所在する国や地域の商用 SMS または MMS メッセージの送信に関する法律や規制に精通しておいてください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で SMS または MMS を使用する場合、各国で追加の機能や制限がある場合もあります。これらの機能および制限については、以下のトピックで説明します。

Note

双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS での MMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して、次の表に示す国、リージョン、および地域に SMS メッセージを送信できます。この表には、送信者 ID と双方向 SMS メッセージングをサポートしている国と地域もリストされています。

どの発信元 ID が最適か判断できない場合は、各発信元タイプのメリットとデメリットについて「[発信元 ID の選択](#)」を参照してください。また、ユースケースに応じて、「[発信元 ID の選択に関する一般的な考慮事項](#)」、「[一方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)」、「[双方向メッセージングのユースケースにおける発信元 ID の選択](#)」を使用して、ユースケースに適した発信元 ID を選択できます。

Note

重要: SMS 配信の電話番号は、各リージョン/国の単一の通信事業者の提携先を通じてプロビジョニングされます。これにより、提携先で問題が発生した場合に、単一障害点が作成され

ます。ビジネスクリティカルなメッセージングの場合は、次のような冗長な通信チャネルを実装することをお勧めします。

- AWS エンドユーザーメッセージングを介した [WhatsApp](#)、[プッシュ通知](#)、[アウトバウンド音声通話](#)。
- Amazon Simple Email Service (SES) を介した [E メール通知](#)。
- 専用番号と送信者 ID の両方をサポートしている国では、他のオプションで問題が発生した場合は、他方のオプションにフォールバックできます。
- End User Messaging Service で[電話プール](#)を使用すると、送信プールから問題のある発信者をすばやく追加または削除でき、メッセージ配信の信頼性の維持に役立ちます。

このマルチチャネルアプローチにより、1 つのチャネルで障害が発生した場合でもメッセージ配信を確保するのに役立ちます。

送信者 ID がサポートされている国とサポートされていない国で SMS メッセージを送信した際に表示される送信者 ID のルールについては、「[送信者 ID 表示名ルール](#)」を参照してください。

双方向 SMS メッセージングを使用してメッセージを受信するには、専用ショートコードまたは専用ロングコードのいずれかを取得する必要があります。

Note

一部の国のロングコードは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールから直接購入できます。コンソールから購入したロングコードは、音声チャンネルとともに使用することを目的としています。ただし、米国 (プエルトリコを含む) またはカナダを拠点とするロングコードを購入した場合、SMS メッセージの送信にも使用できます。

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10

A

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
アフガニスタン	AF	93	いいえ	なし	あり	なし	はい
アルバニア	AL	355	いいえ	なし	あり	なし	有り
アルジェリア	DZ	213	いいえ	なし	あり	なし	はい
アンドラ	AD	376	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
アンゴラ	AO	244	いいえ	なし	あり	なし	はい
アンギラ	AI	1 ~ 264	いいえ	なし	あり	なし	はい
アンティグアバーブーダ	AG	1 ~ 268	いいえ	なし	あり	なし	はい
アルゼンチン	AR	54	はい	なし	なし	なし	はい
アルメニア	AM	374	いいえ	なし	あり	なし	はい
アルバ	AW	297	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
オーストラリア	AU	61	いいえ	はい	登録が必要です 8	はい	はい
オーストラリア	AT	43	はい	はい	はい	はい	はい
アゼルバイジャン	AZ	994	いいえ	なし	あり	なし	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
B							
バハマ諸島	BS	1 ~ 242	いいえ	なし	なし	なし	いいえ
バーレーン	BH	973	いいえ	なし	あり	なし	はい
バングラデシュ	BD	880	いいえ	なし	あり	なし	はい
バルバドス	BB	1 ~ 246	いいえ	なし	あり	なし	はい
ベラルーシ	BY	375	いいえ	いいえ	登録が必要です ^{8}	いいえ	はい
ベルギー	BE	32	はい	あり	なし	はい	はい
ベリーズ	BZ	501	いいえ	なし	あり	なし	はい
バミューダ	BM	1 ~ 441	いいえ	なし	あり	なし	はい
ブータン	BT	975	いいえ	なし	あり	なし	はい
ボリビア	BO	591	いいえ	なし	あり	なし	はい
ボスニアヘルツェゴビナ	BA	387	いいえ	なし	あり	なし	はい
ボツワナ	BW	267	いいえ	なし	あり	なし	はい
ブラジル	BR	55	はい	なし	なし	はい	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
ブルネイ	BN	673	いいえ	なし	あり	なし	はい
ブルガリア	BG	359	はい	なし	はい	はい	はい
ブルキナファソ	BF	226	いいえ	なし	あり	なし	はい
ブルンジ	BI	257	いいえ	なし	あり	なし	はい
C							
カンボジア	KH	855	いいえ	なし	あり	なし	はい
カメルーン	CM	237	はい	なし	はい	はい	はい
カナダ	CA	1	はい	あり	なし	はい	はい
カーボベルデ	CV	238	いいえ	なし	あり	なし	はい
ケイマン諸島	KY	1-345	いいえ	なし	なし	なし	はい
中央アフリカ共和国	CF	236	いいえ	なし	あり	なし	はい
チャド	TD	235	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
チリ	CL	56	はい	あり	なし	はい	はい
中国	CN	86	はい	いいえ	なし 2	はい	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
コロンビア	CO	57	はい	なし	なし	なし	はい
コモロ	KM	269	いいえ	なし	あり	なし	はい
クック諸島	CK	682	いいえ	なし	はい	はい	はい
コスタリカ	CR	506	はい	あり	なし	はい	はい
クロアチア	HR	385	はい	なし	はい	はい	はい
キプロス	CY	357	いいえ	なし	あり	なし	はい
チェコ共和国	CZ	420	いいえ	はい	はい	はい	はい
D							
コンゴ民主共和国	CD	243	いいえ	なし	あり	なし	はい
デンマーク	DK	45	いいえ	はい	はい	はい	はい
ジブチ	DJ	253	いいえ	なし	あり	なし	はい
ドミニカ	DM	1-767	いいえ	なし	あり	なし	はい
ドミニカ共和国	DO	1 ~ 809、1 ~ 829、1 ~ 849	はい	なし	なし	はい	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
E							
エクアドル	EC	593	はい	なし	なし	はい	はい
エジプト	EG	20	はい	いいえ	登録が必要です ^{8}	はい	はい
エルサルバドル	SV	503	いいえ	なし	なし	なし	はい
赤道ギニア	GQ	240	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
エリトリア	ER	291	いいえ	なし	あり	なし	はい
エストニア	EE	372	いいえ	はい	はい	はい	はい
エスワティニ	SZ	268	はい	なし	はい	あり	いいえ
エチオピア	ET	251	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
F							
フェロー諸島	FO	298	いいえ	なし	あり	なし	はい
フィジー	FJ	679	いいえ	なし	あり	なし	はい
フィンランド	FI	358	はい	はい	はい	はい	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
フランス	FR	33	はい	いいえ	はい 11	はい	はい
フランス領ギアナ	GF	594	いいえ	なし	あり	なし	はい
フランス領ポリネシア	PF	689	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
G							
ガボン	GA	241	いいえ	なし	あり	なし	はい
ガンビア	GM	220	いいえ	なし	あり	なし	はい
ジョージア	GE	995	いいえ	なし	あり	なし	はい
ドイツ	DE	49	はい	はい	はい	はい	はい
ガーナ	GH	233	いいえ	はい	はい	はい	はい
ジブラルタル	GI	350	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
ギリシャ	GR	30	いいえ	はい	はい	あり	いいえ
グリーンランド	GL	299	いいえ	なし	あり	なし	はい
グレナダ	GD	1 ~ 473	いいえ	なし	あり	なし	はい
グアドループ	GP	590	いいえ	なし	あり	なし	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
グアム	GU	1 ~ 671	いいえ	あり	なし	はい	はい
グアテマラ	GT	502	いいえ	なし	なし	なし	はい
ガーンジー代官管轄区	GG	44 ~ 1481	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
ギニア	GN	224	いいえ	なし	あり	なし	はい
ギニアビサウ	GW	245	いいえ	なし	はい	該当なし	いいえ
ガイアナ	GY	592	いいえ	なし	あり	なし	はい
H							
ハイチ	HT	509	いいえ	なし	あり	なし	はい
ホンジュラス	HN	504	いいえ	はい	はい	はい	はい
Hong Kong	HK	852	いいえ	はい	はい	はい	はい
ハンガリー	HU	36	いいえ	あり	なし	はい	はい
I							
Iceland	IS	354	いいえ	なし	あり	なし	はい
インド	IN	91	はい	はい 4	要登録 3	はい	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
インドネシア	ID	62	いいえ	いいえ	登録が必要です ^{8}	いいえ	はい
イラク	IQ	964	いいえ	なし	あり	なし	はい
アイルランド	IE	353	いいえ	はい	登録が必要です ^{9}	はい	いいえ
マン島	IM	44 ~ 1624	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
イスラエル	IL	972	いいえ	はい	はい	はい	はい
イタリア	IT	39	はい	はい	はい	はい	はい
コートジボワール	CI	225	いいえ	なし	あり	なし	はい
J							
ジャマイカ	JM	1 ~ 876	いいえ	なし	あり	なし	はい
日本	JP	81	はい	なし	はい	はい	はい
Jersey	JE	44 ~ 1434	いいえ	はい	はい	あり	いいえ
ヨルダン	JO	962	いいえ	いいえ	登録が必要です ^{8}	いいえ	はい
K							

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
カザフスタン	KZ	7	いいえ	いいえ	登録が必要です ⁸	いいえ	はい
ケニア	KE	254	はい	はい	登録が必要です ⁸	はい	はい
コソボ共和国	XK	383	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
クウェート	KW	965	いいえ	はい	登録が必要です ⁸	はい	はい
キルギスタン	KG	996	いいえ	なし	あり	なし	はい
L							
ラオス	LA	856	いいえ	なし	あり	なし	はい
ラトビア	LV	371	いいえ	はい	はい	はい	はい
レバノン	LB	961	いいえ	なし	あり	なし	はい
レソト	LS	266	はい	なし	はい	はい	はい
リベリア	LR	231	いいえ	あり	なし	なし	はい
リビア	LY	218	いいえ	なし	あり	なし	はい
リヒテンシュタイン	LI	423	いいえ	なし	あり	なし	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
リトアニア	LT	370	いいえ	はい	はい	はい	はい
ルクセンブルグ	LU	352	いいえ	はい	はい	はい	はい
M							
マカオ	MO	853	いいえ	なし	あり	なし	はい
マケドニア	MK	389	いいえ	なし	はい	はい	はい
マダガスカル	MG	261	いいえ	なし	あり	なし	はい
マラウイ	MW	265	はい	なし	はい	はい	はい
マレーシア	MY	60	はい	なし	なし	はい	はい
モルジブ	MV	960	いいえ	なし	あり	なし	はい
マリ	ML	223	いいえ	なし	あり	なし	はい
マルタ	MT	356	いいえ	はい	はい	はい	はい
マーシャル諸島共和国	MH	692	いいえ	なし	なし	なし	いいえ
マルチニーク	MQ	596	いいえ	なし	あり	なし	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
モーリタニア	MR	222	いいえ	なし	あり	なし	はい
モーリシャス	MU	230	いいえ	はい	はい	はい	はい
マヨット	YT	262	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
メキシコ	MX	52	はい	なし	はい	はい	はい
ミクロネシア連邦	FM	691	いいえ	なし	なし	なし	いいえ
モルドバ	MD	373	いいえ	なし	あり	なし	はい
モナコ	MC	377	いいえ	なし	なし	なし	はい
モンゴル	MN	976	いいえ	なし	あり	なし	はい
モンテネグロ	ME	382	いいえ	なし	あり	なし	はい
Montserrat	MS	1 ~ 664	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
モロッコ	MA	212	はい	なし	はい	はい	はい
モザンビーク	MZ	258	いいえ	なし	なし	なし	はい
ミャンマー	MM	95	いいえ	はい	はい	はい	はい
いいえ							

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
ナミビア	NA	264	はい	なし	はい	はい	はい
ネパール	NP	977	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
オランダ	NL	31	はい	はい	はい	はい	はい
ニューカレドニア	NC	687	いいえ	なし	あり	なし	はい
ニュージーランド 6	NZ	64	はい	なし	なし	はい	はい
ニカラグア	NI	505	いいえ	なし	なし	なし	はい
ニジェール	NE	227	いいえ	なし	あり	なし	はい
ナイジェリア	NG	234	はい	なし	はい	はい	はい
ニウエ	NU	683	いいえ	なし	あり	なし	はい
ノーフォーク島	NF	672	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
ノルウェー	NO	47	いいえ	はい	はい	はい	はい
O							

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
オマーン	OM	968	いいえ	いいえ	登録が必要です 8	いいえ	はい

P

パキスタン	PK	92	いいえ	はい 4	はい	なし	はい
パレスチナ	PS	970	いいえ	なし	あり	なし	はい
パナマ	PA	507	はい	なし	はい	はい	はい
パラオ	PW	680	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
パプアニューギニア	PG	675	いいえ	なし	あり	なし	はい
パラグアイ	PY	595	いいえ	なし	なし	なし	はい
ペルー	PE	51	はい	なし	なし	はい	はい
フィリピン	PH	63	いいえ	はい 4	登録が必要です 8	いいえ	はい
ポーランド	PL	48	いいえ	はい	はい	はい	はい
ポルトガル	PT	351	はい	はい	はい	はい	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
プエルトリコ	PR	1 ~ 787、1 ~ 939	はい	あり	なし	はい	はい

Q

カタール	QA	974	はい	いいえ	登録が必要です 8	はい	はい

R

コンゴ共和国	CG	242	いいえ	なし	なし	なし	いいえ
レユニオン (フランス)	RE	262	いいえ	なし	あり	なし	はい
ルーマニア	RO	40	はい	はい	はい	はい	はい
ロシア	RU	7	はい	いいえ	登録が必要です 8	はい	いいえ
ルワンダ	RW	250	いいえ	なし	あり	なし	はい

S

セントクリストファーネイビス	KN	1 ~ 869	いいえ	なし	なし	なし	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
セントルシア	LC	1 ~ 758	いいえ	なし	なし	なし	はい
サモア	WS	685	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
サンマリノ	SM	378	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
サントメ・プリンシペ民主共和国	ST	239	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
サウジアラビア	SA	966	いいえ	はい 4	登録が必要です 8	いいえ	いいえ
セネガル	SN	221	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
セルビア	RS	381	はい	なし	はい	はい	はい
セイシェル	SC	248	いいえ	なし	あり	なし	はい
シエラレオネ	SL	232	いいえ	なし	あり	なし	はい
シンガポール	SG	65	はい	はい	はい 5	はい	はい
スロバキア	SK	421	いいえ	はい	はい	はい	はい
スロベニア	SI	386	いいえ	なし	あり	なし	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
ソロモン諸島	SB	677	いいえ	なし	あり	なし	はい
ソマリア	SO	252	いいえ	なし	あり	なし	はい
南アフリカ	ZA	27	はい	あり	なし	はい	はい
韓国	KR	82	いいえ	なし	なし	なし	はい
南スーダン	SS	211	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
スペイン	ES	34	はい	はい	はい	はい	はい
スリランカ	LK	94	はい	はい	登録が必要です 8	はい	はい
スリナム	SR	597	いいえ	なし	あり	なし	はい
スウェーデン	SE	46	はい	はい	はい	はい	はい
スイス	CH	41	いいえ	なし	あり	なし	はい
T							
台湾	TW	886	いいえ	あり	なし	はい	はい
タジキスタン	TJ	992	いいえ	なし	あり	なし	はい
タンザニア	TZ	255	いいえ	はい	はい	あり	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
タイ	TH	66	いいえ	はい	登録が必要です ^{8}	はい	はい
東ティモール	TL	670	いいえ	なし	あり	なし	はい
トーゴ	TG	228	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
トンガ	TO	676	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
トリニダード・トバゴ	TT	1 ~ 868	いいえ	なし	あり	なし	はい
チュニジア	TN	216	いいえ	なし	あり	なし	はい
トルコ	TR	90	いいえ	いいえ	登録が必要です ^{8}	いいえ	はい
トルクメニスタン	TM	993	いいえ	なし	なし	なし	はい
タークスおよびカイコス諸島	TC	1 ~ 649	いいえ	なし	あり	なし	はい
ツバル	TV	688	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
U							
ウガンダ	UG	256	いいえ	なし	あり	なし	はい

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10
ウクライナ	UA	380	いいえ	はい	はい	はい	はい
アラブ首長国連邦 (UAE)	AE	971	はい	はい 4	登録が必要です 8	はい	いいえ
英国	GB	44	はい	はい	登録が必要です 7	はい	いいえ
アメリカ	US	1	はい	あり	なし	はい	はい
ウルグアイ	UY	598	はい	なし	なし	はい	はい
ウズベキスタン	UZ	998	いいえ	なし	あり	なし	はい
V							
バヌアツ	VU	678	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
ベネズエラ	VE	58	いいえ	なし	なし	なし	はい
ベトナム	VN	84	いいえ	いいえ	登録が必要です 8	いいえ	はい
英領バージン諸島	VG	1 ~ 284	いいえ	なし	あり	なし	いいえ
米領バージン諸島	VI	1 ~ 340	いいえ	あり	なし	あり	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードをサポートする	ロングコードをサポートする	送信者 ID をサポートする	双方向 SMS をサポートする	国際送信 10

W

X

Y

イエメン	YE	967	いいえ	なし	あり	なし	いいえ

Z

ザンビア	ZM	260	いいえ	いいえ	登録が必要です 8	いいえ	はい
ジンバブエ	ZW	263	いいえ	なし	あり	なし	いいえ

注意事項

- 送信者は、事前に登録されたアルファベットの送信者 ID を使用する必要があります。送信者 ID をリクエストするには サポート、 を使用します [を使用して送信者 ID をリクエストする方法 サポート](#)。一部の国では、承認を得るために、送信者は特定の要件を満たすか、特定の制限に従う必要があります。このような場合、送信者 ID リクエストを送信した後、追加情報について から連絡 サポート されることがあります。
- 送信者は、送信する予定のメッセージのタイプごとに、事前に登録されたテンプレートを使用する必要があります。送信者がこの要件を満たしていない場合、送信者のメッセージはブロックされます。テンプレートを登録するには、「[中国の SMS テンプレート登録フォーム](#)」を参照してください。一部の国では、承認を得るために、特定の要件を満たすか、特定の制限に従う必要があります。このような場合は、追加情報を求められる サポート 場合があります。

Note

中国にメッセージを送信するには、まず [中国](#) を通じてテンプレートを登録して サポート 承認を受ける必要があります。

3. 送信者は、事前に登録されたアルファベットの送信者 ID を使用する必要があります。追加の登録手順を経る必要があります。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのインドの送信者 ID 登録プロセス](#)」を参照してください。
 4. これらの国のロングコードは、インバウンドメッセージングにのみ対応しています。つまり、これらのロングコードは、受信者へのメッセージ送信には使用できませんが、受信者からのメッセージは受信できます。送信者 ID はメッセージの送信にのみ対応しているため、アルファベットの送信者 ID を使用してメッセージを送信する場合、ロングコードは受信者がオプトアウトするのに便利な方法です。
 5. AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、シンガポール [の情報通信メディア開発局 \(IMDA\) によって作成されたレジストリであるシンガポール SMS 送信者 ID レジストリ \(SSIR\)](#) に登録された送信者 ID を使用して、シンガポールに SMS トラフィックを送信できます。シンガポールの送信者 ID を使用するための要件の詳細については、「[シンガポールの送信者 ID 登録処理](#)」を参照してください。ショートコードやロングコードなどの代替の発信元 ID タイプを使用して、シンガポールで SMS トラフィックを送信することもできます。
- 送信者 ID を登録しない場合、送信者 ID を使用して送信されたすべてのメッセージは、規制当局の規則に従って ID が LIKELY-SCAM に変更されます。規制当局は未登録のトラフィックを独自の裁量でフィルタリングまたはブロックします。
6. 専用のショートコードがない場合でも、AWS End User Messaging SMS はショートコードの共有プールを使用してニュージーランドの受信者にメッセージを送信しようとします。共有番号に関する現地の通信事業者の制限により、このような共有番号での配信性能はベストエフォートベースで決定されます。したがって、AWS End User Messaging SMS では、ニュージーランドに送信されるすべてのトラフィックに対して専用のショートコードを調達することを強くお勧めします。URL を含むメッセージは、専用のショートコードプロセスを通じて許可リストに登録する必要があります。ショートコードの購入については、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。
 - 7.

英国では送信者 ID の登録が必要です。送信者 ID の登録の詳細については、「[英国の送信者 ID 登録](#)」を参照してください。

8. 送信者 ID の登録が必要です。AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して登録を完了する方法の詳細については、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での送信元 ID 登録](#)。
 9. AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、[ComReg SMS 送信者 ID レジストリに登録されている送信者 ID を使用して、アイルランドに SMS](#) トラフィックを送信できます。アイルランドの送信者 ID を使用するための要件の詳細については、「[the section called “アイルランドの送信者 ID 登録”](#)」を参照してください。
- 送信者 ID を登録しない場合、送信者 ID を使用して送信されたすべてのメッセージは、規制当局の規則に従って ID が Likely Scam に変更されます。規制当局は未登録のトラフィックを独自の裁量でフィルタリングまたはブロックします。
10. 通話料無料番号など、国際対応番号から送信されたメッセージはベストエフォートベースで送信され、共有電話番号または送信者 ID から送信 AWS するために のダウンストリームで置き換えることができます。
 11. 2026 年 3 月 1 日現在、フランスは送信者 IDs でダッシュ文字 (-) をサポートしていません。フランス IDs には、英数字 (a~z、A~Z、0~9) のみを使用する必要があります。特殊文字やスペースは使用できません。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS での MMS メッセージングでサポートされている国とリージョン

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して、次の表に示す国、リージョン、および地域に MMS メッセージを送信できます。

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードは MMS をサポート	ロングコードは MMS をサポート	通話料無料は MMS をサポート	送信者 ID は MMS をサポート
カナダ	CA	1	はい	あり	なし	いいえ

国または地域	ISO コード	ダイヤルコード	ショートコードは MMS をサポート	ロングコードは MMS をサポート	通話料無料は MMS をサポート	送信者 ID は MMS をサポート
アメリカ	米国	1	はい	はい	あり	いいえ

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で音声サポートされている国と地域

音声チャンネルを使用して、世界中の受信者に音声メッセージを送信できます。ただし、国や地域によっては、AWS エンドユーザーメッセージング SMS 音声チャンネルを使用した通話など、自動通話を行うためにローカル電話番号を使用する必要があります。複数の国やリージョン AWS の から直接、ロングコードとも呼ばれるローカル電話番号を取得できます。

次の表に、音声チャンネルを使用する国内の電話番号を取得できる国を示します。この表に国またはリージョンが表示されていない場合でも、その国またはリージョンの受信者に音声メッセージを送信できる可能性があります。

[ローカルアドレス必須] 列の値が [はい] の場合は、AWS Support Center Consoleでケースを作成してロングコードをリクエストする必要があります。詳細については、「」を参照してください。Local address required 列の値が No の場合、AWS End User Messaging SMS コンソールから直接ローカル電話番号をリースできます。

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
アルゼンチン	はい
オーストラリア	はい
オーストリア	いいえ
バーレーン	はい
バルバドス	いいえ
ブラジル	いいえ

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
ブルガリア	はい
ブルキナファソ	いいえ
カナダ	いいえ
ケイマン諸島	いいえ
チリ	いいえ
コロンビア	いいえ
カンボジア	はい
クロアチア	はい
キプロス	いいえ
ドミニカ共和国	いいえ
エクアドル	いいえ
エルサルバドル	いいえ
フィンランド	はい
ドイツ	はい
ギリシャ	はい
グレナダ	いいえ
グアテマラ	いいえ
Iceland	はい
インドネシア	いいえ
アイルランド	はい

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
イスラエル	いいえ
イタリア	はい
ジャマイカ	いいえ
カザフスタン	はい
ケニア	いいえ
ラトビア	はい
リトアニア	いいえ
ルクセンブルグ	はい
マリ	はい
メキシコ	はい
モルドバ	はい
ニュージーランド	いいえ
ニカラグア	はい
ペルー	いいえ
フィリピン	いいえ
ポーランド	はい
プエルトリコ	いいえ
ルーマニア	はい
スロバキア	はい
スロベニア	はい

国または地域	ローカルアドレスは必須ですか？
南アフリカ	はい
スイス	はい
台湾	はい
タジキスタン	はい
タイ	はい
トリニダード・トバゴ	いいえ
英国	いいえ
アメリカ	いいえ
ウルグアイ	はい
ベネズエラ	はい
ベトナム	いいえ

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号をリクエストする

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して、ユースケースに応じて、次のいずれかの発信元 ID をお勧めします。推奨事項は、SMS、MMS、音声機能、双方向番号、推定月間メッセージなどの入力基準に基づいています。

Note

国によっては、サポートセンターコンソールで次の電話番号のタイプをリクエストする必要があります。

- ショートコード - [専用ショートコードをリクエストする](#)。
- ロングコード - [専用ロングコードをリクエストする](#)。

 Note

同じ AWS アカウントを使用している場合でも、Amazon Pinpoint または Amazon SNS と電話番号を共有するには、[リソースポリシー] を使用する必要があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは を使用して AWS CLI 、新しい電話番号をリクエストできます。

Request a phone number (Console)

 Important

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して米国の新しい電話番号をリクエストするには、[「米国の電話番号をリクエストする \(コンソール\)」](#) タブの指示に従います。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して電話番号をリクエストするには、次の手順に従います。

電話番号をリクエストする (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択して、[リクエスト発信者] をクリックします。
3. [国を選択] ページでは、[メッセージ送信先の国] をドロップダウンから選択する必要があります。[次へ] を選択します。
4. [メッセージングのユースケース] セクションで、次を入力します。
 - [番号機能] で、使用可能な機能の任意の組み合わせを選択します。

 Important

SMS、MMS、および音声の機能は、電話番号を購入した後に変更することはできません。

- [テキストメッセージ (SMS)] SMS 機能が必要な場合は、これを選択します。
- [テキストメッセージとメディアメッセージ (SMS、MMS)] – SMS や MMS 機能が必要な場合は、これを選択します。

 Note

MMS 機能は、特定の国でのみ使用でき、また、特定の発信タイプでのみサポートされています。[テキストメッセージとメディアメッセージ (SMS、MMS)] は、MMS が [メッセージ送信先の国] でサポートされている場合にのみ表示されます。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での MMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」および「[発信元 ID の選択](#)」を参照してください。

- [テキスト音声変換メッセージ (音声)] – 音声機能が必要な場合は、これを選択します。
 - [1 か月あたりの推定メッセージ量 – オプション] で、毎月送信する SMS メッセージの推定数を選択します。
 - [会社の本社 – オプション] で、次のいずれかを選択します。
 - [ローカル] – 会社の本社が SMS メッセージを受信する顧客と同じ国にある場合は、これを選択します。例えば、本社が米国にあり、メッセージを受信するユーザーも米国にいる場合は、このオプションを選択します。
 - [国外] – 会社の本社が SMS メッセージを受信する顧客と同じ国にない場合は、これを選択します。
 - [双方向のメッセージング] では、双方向メッセージが必要な場合は [はい] を選択します。
5. [次へ] を選択します。
6. [発信者タイプを選択] で、推奨される電話番号タイプまたは利用可能な番号タイプのいずれかを選択します。利用可能なオプションは、前のステップで入力したユースケース情報に基づいています。
- 10DLC を選択し、既にキャンペーンを登録している場合は、[登録済みキャンペーンに関連付ける] からキャンペーンを選択し、10DLC 電話番号を 10DLC キャンペーンに追加できます。
 - 希望する番号タイプがない場合は、[戻る] をクリックして前に戻り、ユースケースを変更できます。また、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージ](#)」

[ジングでサポートされている国とリージョン](#)」を確認して、希望する発信者タイプが送信先の国でサポートされていることを確認します。

- ショートコードまたはロングコードをリクエストする場合は、でケースを開く必要がある場合があります サポート。詳細については、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」および「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

7. リソースポリシーを使用して、電話番号を他の AWS アカウント または AWS サービスと共有します。後で電話番号を共有するには、「[電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有する](#)」を参照してください。[リソースポリシー] の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での共有リソースの使用](#)」を参照してください。

 Note

同じ AWS アカウントを使用している場合でも、Amazon Pinpoint または Amazon SNS と電話番号を共有するには、[リソースポリシー] を使用する必要があります。

- a. [Pinpoint キャンペーンオーケストレーション (Amazon Pinpoint)] を選択して、プールを Amazon Pinpoint と共有します。
 - b. [Simple notification Service (Amazon SNS)] を選択して、プールを Amazon SNS と共有します。
8. [次へ] を選択します。
 9. [確認とリクエスト] で、リクエストを送信する前に検証して編集できます。[リクエスト] を選択します。
 10. リクエストした電話番号タイプによっては、[登録が必須です] ウィンドウが表示される場合があります。電話番号または送信者 ID はこの登録に関連付けられており、登録が承認されるまでメッセージを送信できません。登録要件の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での送信元 ID 登録](#)」を参照してください。
 - a. [登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。
 - b. [登録を開始] をクリックして電話番号の登録を完了するか、[後で登録] を選択します。

 Important

登録が承認されるまでこの電話番号または送信者 ID を使用してメッセージを送信できません。

登録状況を問わず、電話番号の月額リース料は引き続き請求されます。登録要件の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での送信元 ID 登録](#)」を参照してください。

Request a phone number for the United States (Console)

Important

以下の手順に従って、AWS End User Messaging SMS コンソールから米国の新しい電話番号をリクエストします。

10DLC 電話番号をリクエストする前に、10DLC 電話番号に関連付けるには、10DLC 登録済みブランドと 10DLC 登録済みキャンペーンの承認が必要です。10DLC 登録済みブランドと 10DLC 登録済みキャンペーンの登録の詳細については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」および「[10DLC キャンペーン登録フォーム](#)」を参照してください。

メッセージング機能 (SMS、MMS、または音声) は、10DLC 登録済みキャンペーンで指定され、10DLC 電話番号リクエストに適用されます。

米国の電話番号をリクエストする (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択して、[リクエスト発信者] をクリックします。
3. [国を選択] ページで、[メッセージの送信先の国] ドロップダウンから [米国 (US)] を選択する必要があります。[次へ] を選択します。
4. [メッセージングのユースケース] セクションで、次を入力します。
 - [1 か月あたりの推定メッセージ量 – オプション] で、毎月送信する SMS メッセージの推定数を選択します。
 - [会社の本社 – オプション] で、次のいずれかを選択します。
 - [ローカル] – 会社の本社が SMS メッセージを受信する顧客と同じ国にある場合は、これを選択します。例えば、本社が米国にあり、メッセージを受信するユーザーも米国にいる場合は、このオプションを選択します。

- [国外] – 会社の本社が SMS メッセージを受信する顧客と同じ国にない場合は、これを選択します。
 - [双方向のメッセージング] では、双方向メッセージが必要な場合は [はい] を選択します。
5. [次へ] を選択します。
6. [発信者タイプ] で、推奨される電話番号タイプまたは利用可能な番号タイプのいずれかを選択します。利用可能なオプションは、前のステップで入力したユースケース情報に基づいています。
- 10DLC 電話番号の場合は、10DLC 電話番号リクエストに関連付ける登録済みブランドと登録済みキャンペーンを選択する必要があります。
 - [登録済みブランドに関連付ける] を使用してブランドを選択します。
 - [登録済みキャンペーンに関連付ける] を使用してキャンペーンを選択します。
 - ショートコードまたはロングコードをリクエストする場合は、でケースを開く必要があります サポート。詳細については、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」および「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。
7. リソースポリシーを使用して、リソースを他の AWS アカウント または AWS サービスと共有します。後で電話番号を共有するには、「[電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有する](#)」を参照してください。[リソースポリシー] の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での共有リソースの使用](#)」を参照してください。

 Note

同じ AWS アカウントを使用している場合でも、Amazon Pinpoint または Amazon SNS と電話番号を共有するには、[リソースポリシー] を使用する必要があります。

- a. [Pinpoint キャンペーンオーケストレーション (Amazon Pinpoint)] を選択して、プールを Amazon Pinpoint と共有します。
 - b. [Simple notification Service (Amazon SNS)] を選択して、プールを Amazon SNS と共有します。
8. [次へ] を選択します。
9. [確認とリクエスト] で、リクエストを送信する前に検証して編集できます。[リクエスト] を選択します。

10. リクエストした電話番号タイプによっては、[登録が必須です] ウィンドウが表示される場合があります。電話番号または送信者 ID はこの登録に関連付けられており、登録が承認されるまでメッセージを送信できません。登録要件の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での送信元 ID 登録](#)」を参照してください。
 - a. [登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。
 - b. [登録を開始] をクリックして電話番号の登録を完了するか、[後で登録] を選択します。

 Important

登録が承認されるまでこの電話番号または送信者 ID を使用してメッセージを送信できません。

登録状況を問わず、電話番号の月額リース料は引き続き請求されます。登録要件の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での送信元 ID 登録](#)」を参照してください。

Request a phone number (AWS CLI)

[request-phone-number](#) コマンドを使用して、アカウントに新しい電話番号を追加できます。電話番号の可用性とサポートされている機能は、国によって異なります。

 Important

リクエストが完了したら、電話番号または送信者 ID の登録が必要になる場合があります。登録状況を問わず、電話番号の月額リース料は引き続き請求されます。登録要件の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での送信元 ID 登録](#)」を参照してください。

MMS 機能は、一部の国でのみ使用できます。SMS および MMS をサポートしている国の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」および「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での MMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

電話番号をリクエストするには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。


```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 request-phone-number \  
> --iso-country-code XX \  
> --message-type TRANSACTIONAL \  
> --number-capabilities VOICE \  
> --number-type LONG_CODE \  
> --pool-id poolId \  
> --deletion-protection-enabled \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --registration-id C0123EX
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *XX* を、電話番号の国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コード (例: カナダは CA) に置き換えます。
- 電話番号を使用してプロモーションやマーケティング関連のコンテンツを送信する場合は、*TRANSACTIONAL* を *PROMOTIONAL* に置き換えます。それ以外の場合は、*TRANSACTIONAL* を使用します。
- SMS メッセージ送信用の電話番号をリクエストする場合は、*VOICE* を *SMS* に置き換えます。SMS MMS *VOICE* を指定すると、SMS、MMS、音声メッセージ機能を使用して電話番号をリクエストできます。
- *LONG_CODE* を、リクエストする電話番号のタイプに置き換えます。許容値は、*LONG_CODE*、*TOLL_FREE*、*TEN_DLC* または *SIMULATOR* です。

SIMULATOR 電話番号をリクエストする場合は、*message-type* を *TRANSACTIONAL* に設定する必要があります。

- *poolId* を、電話番号を追加するプールの ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。このパラメータはオプションです。電話番号をプールに追加しない場合は、このパラメータを省略します。
- この電話番号の削除保護を有効にする場合は、*--deletion-protection-enabled* パラメータを追加します。デフォルトでは、削除保護は無効です。削除保護が有効になっている場合は、電話番号の設定を更新して、この機能を無効にしない限り、[ReleasePhoneNumber](#) API を使用して電話番号を削除することはできません。
- *optOutListName* を、電話番号に関連付けるオプトアウトリストの名前または ARN に置き換えます。このパラメータはオプションです。電話番号をオプトアウトリストに関連付けたくない場合は、このパラメータを省略します。

- 10DLC キャンペーンで使用する電話番号をリクエストする場合は、**C0123EX** を、使用する 10DLC キャンペーンの ID に置き換えます。

 Note

10DLC 電話番号の使用を予定している場合は、まず会社登録とキャンペーン登録が必要です。現在、これらの登録プロセスを完了する唯一の方法は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用することです。10DLC 登録の詳細については、「[米国 10DLC 登録](#)」を参照してください。

番号が正常にアカウントに追加されると、次のような出力が表示されます。

```
{
  "PhoneNumberArn": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:phone-number/
phone-615790209ea34aea8da9b729fexample",
  "PhoneNumberId": "phone-615790209ea34aea8da9b729fexample",
  "PhoneNumber": "+12045550123",
  "Status": "PENDING",
  "IsoCountryCode": "CA",
  "MessageType": "TRANSACTIONAL",
  "NumberCapabilities": [
    "SMS"
  ],
  "NumberType": "LONG_CODE",
  "MonthlyLeasingPrice": "1.00",
  "TwoWayEnabled": false,
  "SelfManagedOptOutsEnabled": false,
  "OptOutListName": "Default",
  "DeletionProtectionEnabled": false,
  "CreatedTimestamp": 1645568542.0
}
```

 Note

電話番号を初めて購入したとき、Status 属性の値は PENDING になっています。電話番号が使用可能になると、Status の値は ACTIVE に変わります。

指定したパラメータに一致する電話番号が使用可能でない場合、リクエストは失敗し、エラーが返されます。

トピック

- [専用ショートコードをリクエストする](#)
- [専用ロングコードをリクエストする](#)

専用ショートコードをリクエストする

ショートコードは、大量の SMS および MMS メッセージの送信に使用できる数字です。ショートコードは、application-to-person (A2P) メッセージング、2 要素認証 (2FA)、マーケティング用に頻繁に使用されます。通常、ショートコードには、拠点とする国に応じて 5~7 桁の数字が含まれます。

End User Messaging コンソールを使用して、以下の国のショートコードをリクエストできます。以下のリストに含まれていない国でショートコードが必要な場合は、以下のプロセス サポート に従って ケースを開いてショートコードをリクエストできます。

ショートコードの料金の詳細については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

重要な考慮事項

ショートコードをリクエストする前に、以下の情報を検討してください。

- 保護されるべき健康情報 (PHI) を含むメッセージを送信するためにショートコードを使用する予定がある場合、サポートケースの [Case description] の項目にその目的を入力する必要があります。
- AWS エンドユーザーメッセージング SMS は現在、標準のショートコードのみをサポートしています。Free-to-End-User (FTEU) のショートコードはサポートされていません。
- AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS および MMS メッセージングを初めて使用する場合は、SMS および MMS ユースケースの予想される需要を満たす毎月の SMS および MMS 使用しきい値をリクエストする必要があります。デフォルトでは、毎月の利用額しきい値は 1.00 USD です。ショートコードのリクエストが含まれているのと同じサポートケースで、利用額しきい値の増額をリクエストできます。

ショートコードをリクエストする

ショートコードは、ショートコードが拠点とする同じ国での受信者へのメッセージの送信にのみ使用できます。ユースケースで複数の国のショートコードを使用する必要がある場合、受信者が居住する国ごとに個別のショートコードをリクエストする必要があります。

以下の国では、コンソールと API をサポートしています。

- チリ (CL)
- フィンランド (FI)
- ドイツ (DE)
- インド (IN)
- オランダ (NL)
- スペイン (ES)
- 英国 (GB)
- [米国 (US)]

ステップ 1: サポートケースを開く

ショートコードをリクエストする最初のステップは、サポートセンターコンソールでサービス制限引き上げのケースをオープンすることです。

ショートコードをリクエストするには

1. で AWS サポート ケースを作成しますか? <https://support.console.aws.amazon.com/support/home#/case/createissueType=service-limit-increase>。
2. [ケースを作成] ページで、次の操作を行います。
 - [アカウントと請求] を選択します。
 - [サービス] で、[Service Quotas] を選択します。
 - [カテゴリ] で、リクエストに応じて [AWS End User Messaging SMS (Pinpoint)] または [AWS End User Messaging Voice (Pinpoint)] のいずれかを選択します。
 - [重要度] で、[一般的な制限事項] を選択します。
3. Requests セクションで、以下の操作を行います。
 - リージョンで、メッセージを送信する AWS リージョン 予定の を選択します。

 Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[専用 SMS ショートコード] を選択します。
- [クォータ] で、ショートコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード/2 要素認証] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション/マーケティング] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - [トランザクション/通知/OTP/2FA] - すべてのメッセージタイプ。
- [新しいクォータ値] には、ターゲットの国とユースケースについて購入するショートコードの数を入力します。

 Note

異なる国のショートコードをリクエストする場合、または同じ国の別のユースケースについてショートコードをリクエストする場合は、サポートセンターコンソールで個別のケースをオープンします。個別のケースを作成することにより、特定の国やユースケースに関するすべてのコミュニケーションを 1 つの サポート ケースに制限し、誤解が起きる可能性を減らすことができます。

4. [Case description] の [Use case description] では、次の詳細を入力します。
5. [次のステップ: 今すぐ解決するか、お問い合わせください] を選択します。[優先する問い合わせ言語] で、本件に関して連絡を受けるのに、[英語] か [日本語] を選択します。
6. 完了したら、送信 を選択します。

サポート は、受信から 24 時間以内にリクエストを承認します。ショートコードを提供できる場合は、サポート ケースの添付ファイルとしてショートコード登録フォームが提供されます。登録フォームに必要事項を完全に入力します。このフォームの情報は、モバイル通信事業者でショート

コードを設定するために必須です。このフォームの入力方法の詳細については、「AWS Messaging and Targeting Blog」の「[Obtaining a short code for sending text messages to US recipients](#)」を参照してください。このブログ記事では、米国のショートコードを申請するプロセスについて説明していますが、記載されている情報は、他の国でショートコードを申請する場合にも役立ちます。

Note

ショートコードの取得に必要な時間に関するサービスレベルアグリーメントはありません。必要な時間は、ユースケースが通信事業者の要件に準拠しているかどうかによって異なります。

サポートチームがアプリケーションの準拠を確認している間、リクエストにかかる時間が延びる場合があります。提供していただいた推定タイムラインは、確認のためにアプリケーションを通信事業者に送信できる状態であることを確認した後に開始されます。通信事業者は、お客様のユースケースが準拠していないと考えた場合、申請を却下し、却下理由に関する情報を提供します。この場合、この情報がサポート ケースに表示されます。サポート アプリケーションの問題に対処できます。そのためには、通信事業者が申請を再検討できるよう、更新した情報を通信事業者に返送します。

ショートコードの使用に関連する料金は、通信業者にショートコードリクエストを開始した直後から開始されます。ショートコードのプロビジョニングがまだ完了していない場合でも、これらの料金を支払う責任はお客様にあります。迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

ステップ 2: AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールで SMS 設定を更新する

ショートコードがプロビジョニングされたことが通知されたら、次のステップを完了します。

Note

ショートコードリクエストが承認され、ショートコードが AWS アカウントに追加されるまで、このステップを完了することはできません。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。

2. ナビゲーションペインで、[設定] の [電話番号] を選択します。
3. [電話番号] ページで、ショートコードを選択します。
4. [キーワード] で、[HELP] および [STOP] キーワードの応答がリクエストで指定した値と一致することを確認します。

専用ロングコードをリクエストする

ロングコード (長い仮想番号、つまり LVN と呼ばれます) は、拠点とする国に応じて異なる最大 12 文字の標準の電話番号です。ロングコードは通常、低ボリュームの 1 対 1 の通信に使用します。一部の国では、テストメッセージの送信や顧客への少量のメッセージの送信にロングコードを使用できます。米国を含む他の国では、送信者がロングコードを使用して Application-to-Person (A2P) メッセージを送信することは禁止されています。これには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS から送信するメッセージが含まれます。

Note

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングを初めて使用する場合は、SMS と MMS のユースケースの予想される需要を満たす毎月の SMS と MMS の使用しきい値もリクエストする必要があります。デフォルトでは、毎月の利用額しきい値は 1.00 USD です。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS の SMS、MMS、または音声使用クォータの変更をリクエストする](#)」を参照してください。

ロングコードをリクエストする

End User Messaging コンソールを使用して、以下の国のロングコードをリクエストできます。以下のリストに含まれていない国でロングコードが必要な場合は、以下のプロセスに従って、AWS サポート でケースを開いてロングコードをリクエストできます。

以下の国では、コンソールと API をサポートしています。

- オーストラリア (AU)
- オーストリア (AT)
- チリ (CL)
- デンマーク (DK)
- フィンランド (FI)

- 香港 (HK)
- ハンガリー (HU)
- イタリア (IT)
- オランダ (NL)
- ノルウェー (NO)
- ポーランド (PL)
- ポルトガル (PT)
- スペイン (ES)
- スウェーデン (SE)
- 英国 (GB)

 Important

米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモアの受信者にメッセージを送信するには、ショートコード、10DLC 電話番号、または通話料無料番号を使用する必要があります。次のステップを完了して、米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモア用にロングコードをリクエストした場合、リクエストは拒否されます。

AWS サポート センターでケースを開いて専用のロングコードをリクエストするには

1. で AWS サポート ケースを作成しますか? <https://support.console.aws.amazon.com/support/home#/case/createissueType=service-limit-increase>。
2. [ケースを作成] ページで、次の操作を行います。
 - [アカウントと請求] を選択します。
 - [サービス] で、[Service Quotas] を選択します。
 - [カテゴリ] で、リクエストに応じて [AWS End User Messaging SMS (Pinpoint)] または [AWS End User Messaging Voice (Pinpoint)] のいずれかを選択します。
 - [重要度] で、[一般的な制限事項] を選択します。
3. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
 - リージョンで、メッセージを送信する AWS リージョン を選択します。

 Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[専用 SMS ロングコード] を選択します。
 - [クォータ] で、このロングコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [New quota value (新しいクォータ値)] で、購入するロングコードの数を入力します。
4. [Case description] の [Use case description] では、次の詳細を入力します。
 5. (オプション) さらにリクエストを出したい場合は、[Add another request] を選択します。
 6. [次のステップ: 今すぐ解決するか、お問い合わせください] を選択します。[優先する問い合わせ言語] で、本件に関して連絡を受けるのに、[英語] か [日本語] を選択します。
 7. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。追加の情報をご依頼することがあります。承認されると、ロングコードにキーワードとレスポンスメッセージを追加できます。

ロングコードを提供できない場合は、その取得に関連付けられているコストに関する情報を送信します。また、ロングコードのプロビジョニングに必要な時間の見積もりも提供されます。多くの国々では、24 時間以内に専用ロングコードが提供されます。ただし、一部の国と地域では、SMS チャンネルの専用ロングコードの取得に数週間かかる場合があります。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号のステータスと機能を表示する

このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールで電話番号のステータスと機能を確認する方法について説明します。

電話番号のステータス

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. 次の図では、電話番号のステータスの一部を示しています。

○	Origination number ▾	Originator type ▾	Country ▾	Number st... ▾	Capabilities ▾	Pool ▾	Creation d... ▾
○	+1 800 766 6262	Toll free	US	⌚ Pending	SMS, MMS, Voice	-	May 26, 2022 2:...
○	+1 202 456 7890	Long code	US	⚠ Action required	SMS, MMS	View pool details	May 26, 2022 2:...
○	+1 877 766 1234	Toll free	US	✅ Active	SMS	Add to phone p...	May 26, 2022 2:...
○	+1 888 766 1234	Long code	CA	⌚ Pending	SMS, MMS, Voice	-	May 26, 2022 2:...
○	+1 800 766 6262	Short code	US	✅ Active	SMS, Voice	View pool details	May 26, 2022 2:...

- 発信元番号 - お客様のハンドセットに表示される数字の番号。
- 発信元タイプ - 発信元番号のタイプ。ロングコード、ショートコード、またはフリーダイヤルにすることができます。
- 国 - 発信元番号が提供されている国または地域。
- 番号のステータス - 発信元番号のステータス。これは、Pending、Active、または Action required です。
- 機能 - 発信元番号の機能。SMS、MMS、Voice を組み合わせることもできます。
- プール - 発信元番号が関連付けられているプール (存在する場合)。
- 作成日 - 発信元番号がリクエストされた日時。

電話番号を初めて購入する場合、[番号のステータス] は [PENDING] になります。電話番号が利用できるようになると、電話番号の [ステータス] が [ACTIVE] になります。電話番号の登録が必要な場合、電話番号の [番号のステータス] が [ACTIVE] に変わる前に登録手順を完了する必要があります。

を使用して電話番号の機能を変更する AWS CLI

電話番号をリクエストした後、[update-phone-number](#) CLI を使用して、その電話番号の設定の変更や、追加機能の有効化ができます。電話番号に関連付けられているプールやオプトアウトリスト、削除防止設定など、いくつかの電話番号設定を変更できます。

電話番号を更新することで有効化できる追加機能の例として、双方向メッセージングがあります。双方向メッセージングのサポートは、メッセージの送信先の国によって異なります。サポートされている国のリストについては、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number \  
> --phone-number-id phone-d2b0f5dd4fd14ebdb2a3b9128example \  
> --deletion-protection-enabled true \  
> --international-sending-enabled true \  
> --no-international-sending-enabled true \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --self-managed-opt-outs-enabled true \  
> --two-way-enabled true \  
> --two-way-channel-arn arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:MyTopic
```

上記のコマンドで、次の操作を行います。

- *phone-d2b0f5dd4fd14ebdb2a3b9128example* を、更新する電話番号の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。これらの値はどちらも DescribePhoneNumbers オペレーションを使用して確認できます。
- *optOutListName* を、電話番号に関連付けるオプトアウトリストの名前に置き換えます。
- 削除保護機能を無効にしたい場合は、DeletionProtectionEnabled パラメータの値を false に変更します。
- この電話番号の国際メッセージングを有効にするには、international-sending-enabled パラメータを使用します。
- この電話番号の国際メッセージングを無効にするには、no-international-sending-enabled パラメータを使用します。
- セルフマネージド型 SMS オプトアウト機能を無効にする場合は、SelfManagedOptOutsEnabled パラメータの値を false に変更します。
- この電話番号の双方向 SMS メッセージングを無効にする場合は、TwoWayEnabled パラメータの値を false に変更します。
- 電話番号の双方向メッセージング機能を有効にする場合は、Amazon SNS トピックの ARN を指定する必要があります。*arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:MyTopic* を、使用する Amazon SNS トピックの ARN に置き換えます。メッセージを受信すると、指定したトピックに送信されます。

PhoneNumberId パラメータは、このコマンドの唯一の必須パラメータです。対応する設定を変更したくない場合は、他のパラメータを省略できます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号をリリースする

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を通じて以前にリクエストした電話番号が不要になった場合は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS アカウントから解放できます。番号をリリースすると、は翌月の請求でその番号の課金を AWS 停止します。

Important

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アカウントから電話番号を解放することは永続的であり、元に戻すことはできません。専用の電話番号をリリースすると、今後同じ番号を再び取得できなくなる可能性があります。

電話番号をリリースする前に、削除保護を無効にする必要があります。削除に対する保護についての詳細は、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での電話番号削除保護の使用](#)」を参照してください。

Release a phone number (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して AWS エンドユーザーメッセージング SMS アカウントから電話番号を解放するには、次の手順に従います。

電話番号をリリースする (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. リリースする電話番号を選択し、[電話番号をリリース] を選択します。
4. [電話番号をリリース] ウィンドウで「**release**」を入力し、[電話番号をリリース] を選択します。

Release a phone number (AWS CLI)

[release-phone-number](#) CLI を使用して、アカウントから電話番号をリリースできます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 release-phone-number \  
> --phone-number-id phoneNumberId
```

前述のコマンドで、*phoneNumberId* を、電話番号の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号のオプトアウトリストを変更する

オプトアウトリストは、メッセージを送信してはならない送信先電話番号のリストです。SMS または MMS メッセージを送信し、送信元番号に STOP というキーワードを含む返信があると、送信先 ID が自動的にオプトアウトリストに追加されます (自己管理型オプトアウトオプションを有効にしている場合を除く)。オプトアウトリストにある送信先番号にメッセージを送信しようとし、オプトアウトリストがメッセージの送信に使用される電話番号に関連付けられている場合、AWS End User Messaging SMS はメッセージの送信を試みません。

デフォルトでは、電話番号が作成されると、デフォルトオプトアウトリストに割り当てられます。オプトアウトリストから送信先電話番号を追加する方法の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS のオプトアウトリストに宛先電話番号を追加する](#)」を参照してください。

Create or change opt-out list (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを変更するには、次の手順に従います。

オプトアウトリストを作成または変更する

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. [電話番号] ページで、電話番号を選択します。
4. [オプトアウトリスト] タブで [設定を編集] ボタンをクリックします。
5. [オプトアウトリスト] で、次のいずれかを選択します。
 - [新しいオプトアウトリストを作成する] - 新しい空のオプトアウトリストを作成します。[リスト名] には、オプトアウトリストの名前を入力します。

- [既存のオプトアウトリストを選択してください] - 以前に作成したオプトアウトリストをドロップダウンから選択します。

6. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Change an opt-out list (AWS CLI)

[update-phone-number](#) コマンドを使用して、電話番号で使われるオプトアウトリストを変更できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number --phone-number-id PhoneNumberId --opt-out-list-name OptOutListName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *PhoneNumberId* を、電話番号の PhoneNumberId または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *OptOutListName* を Amazon リソースネーム (ARN) またはオプトアウトリスト名に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS での電話番号削除保護の使用

削除保護を有効にすると、削除保護が無効になるまで電話番号をリリースできなくなります。デフォルトで、削除保護は無効になっています。

Enable deletion protection (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して削除保護を変更するには、次の手順に従います。

削除保護を有効にする (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。

3. [電話番号]ページで、削除保護を有効にする電話番号を選択します。
4. [削除保護] タブで、[設定を編集] ボタンをクリックします。
5. [削除保護を有効にする] を選択して、[変更を保存] を選択します。

Disable deletion protection (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して削除保護を変更するには、次の手順に従います。

削除保護を有効にする (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. [電話番号]ページで、削除保護を有効にする電話番号を選択します。
4. [削除保護] タブで、[設定を編集] ボタンをクリックします。
5. [削除保護を有効にする] を解除して、[変更を保存] を選択します。

Enable deletion protection (AWS CLI)

[update-phone-number](#) コマンドを使用して、電話番号の削除保護を有効にできます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number --phonenumbers-id PhoneNumberid --deletion-protection-enabled
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *PhoneNumberid* を、電話番号の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号のタグを管理する

タグはキーと値のペアであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用状況を制御できます。リソースにタグを追加することにより、目的、所有者、環境、その他の条件など、さまざま

な方法でリソースを分類および管理できます。タグを使用すると、既存のリソースを簡単に検索することや、特定のリソースにアクセスできるユーザーを制御することができます。

Manage tags (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグの管理 (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. [電話番号] ページで、タグを追加する電話番号を選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
 - タグの追加 – [タグの管理] で、[新しいタグの追加] を選択して新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – [タグの管理] で、キーと値のペアの横にある [削除] を選択します。
 - タグの編集 – [タグの管理] で、[キー] または [値] を選択し、テキストを編集します。
5. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Manage tags (AWS CLI)

を使用してタグ AWS CLI を追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

を使用してタグ AWS CLI を削除します。


```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

で共有電話番号を一覧表示する AWS CLI

[describe-phone-numbers](#) または [AWS RAM コンソール](#) を使用して、アカウントと共有されている発信元電話番号を表示できます。共有リソースの詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での共有リソースの使用](#)」を参照してください。

を使用してアカウントと共有されているすべての電話番号を一覧表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-phone-numbers --owner SHARED
```

上記のコマンドで、*SHARED* を *SELF* に置き換えて、アカウントが所有する電話番号を一覧表示します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の送信者 IDs

送信者 ID は、SMS メッセージの送信者を識別する英字名です。送信者 ID を使用して SMS メッセージを送信し、送信者 ID 認証がサポートされているエリアに受信者がいる場合は、電話番号ではなく、送信者 ID が受信者のデバイスに表示されます。送信者 ID は、電話番号やショートコードよりも、送信者に関する詳細な情報を SMS の受取人に示すことができます。例えば、架空の会社 Example Corp は送信者 ID EXAMPLECO を使用できます。

送信者 ID は、世界の多くの国や地域でサポートされています。一部の地域では、企業として個別のお客様に SMS メッセージを送信する場合は、事前に規制当局または業界団体に登録されている送信者 ID を使用する必要があります。送信者 ID をサポートしている、または必要な国や地域の詳細な一覧は、「[SMS および MMS の国別の機能と制限](#)」を参照してください。

利点

送信者 ID は、メッセージの送信者に関する詳細を受取人に示します。ショートコードやロングコードよりも、送信者 ID を使用した方が簡単にブランドのアイデンティティを確立することができます。送信者 ID の使用には追加料金はかかりません。

欠点

送信者 ID 認証のサポートや要件は、国やリージョンによって異なります。主要な市場 (例: カナダ、中国、米国) の中には、送信者 ID がサポートされていない場合があります。一部のエリアでは、送信者 ID を使用する前に、規制機関の事前承認を取得する必要があります。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の送信者 ID の国の機能と制限](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で登録された送信者 ID と動的送信者 IDs](#)
- [送信者 ID に関する考慮事項](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の送信者 ID 表示名ルール](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で送信者 ID をリクエストする](#)
- [を使用して送信者 ID をリクエストする方法 サポート](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で送信者 ID を解放する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で送信者 ID のタグを管理する](#)
- [で共有送信者 IDs を一覧表示する AWS CLI](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の送信者 ID の国の機能と制限

送信者 ID をサポートしている国の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」の「サポートする送信者 ID」を参照してください。

送信者 ID がサポートされている国とサポートされていない国で SMS メッセージを送信した際に表示される送信者 ID のルールについては、「[送信者 ID 表示名ルール](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で登録された送信者 ID と動的送信者 IDs

登録済み送信者 ID – 登録済み送信者 ID は、規制機関または業界団体に登録されています。送信者 ID をサポートしている、または必要な国や地域の詳細な一覧は、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

動的な送信者 ID – 動的な送信者 ID は、規制機関や業界団体に登録する必要はありません。登録要件は急に変更される可能性があるため、動的な送信者 ID のオプション登録を完了することをお勧めします。送信者 ID の登録をサポートしている、またはオプションで登録が可能な国や地域の詳細な一覧は、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

送信者 ID に関する考慮事項

送信者 ID を作成するときは、次の点を考慮する必要があります。

- 会社のブランディングや SMS サービス、またはユースケースに合った Sender ID を選択してください。
- 数値のみの送信者 ID はサポートされていません。
- AWS End User Messaging SMS 送信者 ID でサポートされている文字 (一部の国ではこれらが上書きされる場合があります)。
 - ダッシュ (-) 以外の特殊文字は使用不可
 - スペースは使用できません
 - 有効な文字: a~z、A~Z、0~9

- 3 文字以上
- 最大 11 文字
- 一部の国では、上記の一般的なルールを超える追加の文字制限があります。たとえば、フランスは送信者 IDs でダッシュ文字 (-) をサポートしていません。国固有の要件については、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)。
- 送信先の国に登録が必要な場合は、送信 AWS リージョン 元の各 の登録を送信する必要があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の送信者 ID 表示名ルール

次の表は、送信者 ID がサポートされている国で SMS メッセージを送信するときに表示される送信者 ID と、送信者 ID がサポートされていない国または地域で送信するときに表示される ID について説明しています。

受信者の場所	SMS メッセージでの指定内容	メッセージの送信元
送信者 ID の登録が必要な国や地域の場合	登録されている送信者 ID を指定します。	送信者 ID。
	送信者 ID を指定しない、または未登録の送信者 ID を指定した場合	AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、送信者 ID 通知を使用してメッセージの配信を試みます。送信先の国や地域の通信事業者の条件により、受信できない場合があります。
送信者 ID をサポートしているが、送信者 ID の登録が必要ない国や地域の場合	送信者 ID を指定する	送信者 ID。
	送信者 ID は指定されていませんが、アカウントには送信先の国の SMS チャンネル専用の電話番号が含まれています	専用電話番号。

受信者の場所	SMS メッセージでの指定内容	メッセージの送信元
	送信者 ID は指定されておらず、アカウントには送信先の国の SMS チャンネル専用の電話番号が含まれていません	- 送信者 ID がサポートされていない国および地域のランダムなロングコード。 - 送信者 ID をサポートしている国や地域のNOTICE。
送信者 ID がサポートされていない国や地域の場合	送信者 ID を指定する	送信先の国によって異なります。一部の国では、ランダムなロングコードを使用してメッセージが送信されます。他の国では、メッセージは共有ショートコードを使用して送信されます。米国では、専用の電話番号を使用してのみメッセージを送信できます。専用の米国の電話番号がない場合、メッセージは届きません。
	送信者 ID を指定しない	差異 — 上記をご参照ください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で送信者 ID をリクエストする

送信者 ID をリクエストする前に、利用可能かどうかを確認してください。詳細は「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

送信者 ID がサポートされている国とサポートされていない国で SMS メッセージを送信した際に表示される送信者 ID のルールについては、「[送信者 ID 表示名ルール](#)」を参照してください。

Note

一部の国では、送信者 ID の登録が必要となるか、サポートケースを開いて送信者 ID をリクエストする必要があります。

- インドの送信者 ID 登録 – インドで使用する送信者 ID を登録します。登録手続きの詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのインドの送信者 ID 登録プロセス](#)」を参照してください。
- [シンガポールの送信者 ID 登録] – シンガポールで使用する送信者 ID を登録します。登録手続きの詳細については、「[シンガポールの送信者 ID 登録フォーム](#)」を参照してください。
- サポートから送信者 ID をリクエストする送信者は、事前に登録されたアルファベットの送信者 ID を使用する必要があります。送信者 ID をリクエストするには サポート、 を使用します [を使用して送信者 ID をリクエストする方法 サポート](#)。一部の国では、承認を得るために、送信者は特定の要件を満たすか、特定の制限に従う必要があります。このような場合、送信者 ID リクエストを送信した後、サポート から追加情報を求められることがあります。送信者 ID のリクエストにサポートチケットが必要な国のリストについては、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」の「サポートする送信者 ID」列を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して送信者 ID をリクエストするには、次の手順に従います。

送信者 ID をリクエストする

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[送信者 ID] を選択して、[リクエスト発信者] をクリックします。
3. [国を選択] ページでは、メッセージ送信先の国をドロップダウンから選択する必要があります。

[次へ] を選択して、ユースケースの定義を続行し、提案された電話番号または送信者 ID のタイプを選択します。

4. [メッセージングのユースケース] セクションで、次を入力します。

- [番号機能] で、要件に応じて [SMS]、[音声]、またはその両方を選択します。

- [テキストメッセージ (SMS)] - SMS 機能が必要な場合は、これを選択します。
 - [テキスト音声変換メッセージ (音声)] - SMS 機能が必要な場合は選択します。
5. [推定月間 SMS ボリリューム - オプション] で、毎月送信する SMS メッセージ数を選択します。
 6. [会社の本社 - オプション] で、次のいずれかを選択します。
 - [ローカル] - 会社の本社が SMS メッセージを受信する顧客と同じ国にある場合は、これを選択します。例えば、本社が米国にあり、メッセージを受信するユーザーも米国にいる場合は、このオプションを選択します。
 - [国外] - 会社の本社が SMS メッセージを受信する顧客と同じ国にない場合は、これを選択します。
 7. [双方向のメッセージング] では、双方向メッセージが必要な場合は [はい] を選択します。
 8. [次へ] を選択します。
 9. [発信者タイプ] で、送信者 ID を選択します。

送信者 ID が利用できない場合は、[戻る] を選択して戻り、ユースケースを変更します。また、[「AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン」](#)を確認して、送信先の国で送信者 ID がサポートされていることを確認します。

[送信者 ID] フィールドに送信者 ID を入力します。送信者 ID は、アルファベット (A~Z)、数字 (0~9)、またはハイフン (-) を含む 1~11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID は文字から始まる必要があります。

10. リソースポリシーを使用して、送信者 ID を他の AWS アカウント または AWS サービスと共有します。後で送信者 ID を共有するには、[「電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有する」](#)を参照してください。[リソースポリシー] の詳細については、[「AWS エンドユーザーメッセージング SMS での共有リソースの使用」](#)を参照してください。

 Note

同じ AWS アカウントを使用している場合でも、Amazon Pinpoint または Amazon SNS と送信者 ID を共有するには、[リソースポリシー] を使用する必要があります。

- a. [Pinpoint キャンペーンオーケストレーション (Amazon Pinpoint)] を選択して、プールを Amazon Pinpoint と共有します。

- b. [Simple notification Service (Amazon SNS)] を選択して、プールを Amazon SNS と共有します。
11. [次へ] を選択します。
 12. [確認とリクエスト] で、リクエストを送信する前に検証して編集できます。[リクエスト] を選択します。
 13. リクエストした番号タイプによっては、[登録が必須です] ウィンドウが表示される場合があります。登録要件の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での送信元 ID 登録](#)」を参照してください。
 - a. [登録フォーム名] に名前を入力します。
 - b. [登録を完了する] をクリックして送信者 ID の登録を完了するか、[後で登録] を選択します。

 Important

登録状況を問わず、月額リース料は引き続き請求されます。

を使用して送信者 ID をリクエストする方法 サポート

送信者 IDs が必要な国を受信者に送信する場合は、AWS サポートセンターで新しいケースを作成して送信者 ID をリクエストできます。

 Important

Amazon Pinpoint または Amazon SNS が発信元 ID を使用できるようにするには、発信元 ID に [リソースポリシー] を追加する必要があります。リソースポリシーは、登録が承認され、発信元 ID が AWS アカウントに追加された後に追加する必要があります。リソースポリシーの例と追加方法については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での共有リソースの使用](#)」を参照してください。

⚠ Important

- インドで送信者 ID の登録が必要な場合は、サポートセンターでケースを開く前に、[AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのインドの送信者 ID 登録プロセス](#) で手続きを行ってください。
- シンガポールで送信者 ID の登録が必要な場合は、「[シンガポールの送信者 ID 登録処理](#)」の手続きを完了してください。

送信者 ID をリクエストするには

1. で AWS サポート ケースを作成しますか? <https://support.console.aws.amazon.com/support/home#/case/create?issueType=service-limit-increase>。
2. [ケースを作成] ページで、次の操作を行います。
 - [アカウントと請求] を選択します。
 - [サービス] で、[Service Quotas] を選択します。
 - [カテゴリ] で、リクエストに応じて [AWS End User Messaging SMS (Pinpoint)] または [AWS End User Messaging Voice (Pinpoint)] のいずれかを選択します。
 - [重要度] で、[一般的な制限事項] を選択します。
3. [Requests] で、以下のセクションに入力します。
 - リージョンで、メッセージを送信する AWS リージョン を選択します。

i Note

[Requests] セクションには、リージョンが必要です。また、[Case details] フィールドに入力した場合でも、ここでも入力する必要があります。

- [リソースタイプ] で、[Sender ID Registration] を選択します。
 - [クォータ]では、[プロモーション/マーケティング] または [トランザクション/通知/OTP/2FA] のいずれかを選択します。
 - [新しいクォータ値] には、1 を入力します。
4. [ケースの説明] の [ユースケースの説明] で、次の情報を入力します。

- 登録する送信者 ID。
 - SMS メッセージに使用する予定のテンプレート。
 - 各受信者に 1 か月あたりに送信する予定のメッセージの数。
 - 顧客がお客様からのメッセージの受信をオプトインする方法に関する情報。
 - 会社または組織の名前。
 - 会社または組織に関連付けられている住所。
 - 会社または組織の拠点を置く国。
 - 会社または組織の電話番号。
 - 会社または組織のウェブサイトの URL。
5. (オプション) さらにリクエストを送信したい場合は、[Add another request] を選択します。
 6. [次のステップ: 今すぐ解決するか、お問い合わせください] を選択します。[優先する問い合わせ言語] で、本件に関して連絡を受けるのに、[英語] か [日本語] を選択します。
 7. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。追加の情報をご依頼することがあります。

送信者 ID を提供できる場合は、送信者 ID のプロビジョニングに必要な時間の見積もりを送信します。ほとんどの国で、2 ~ 4 週間以内に送信者 ID を提供することができます。ただし、一部の国では、送信者 ID の取得に数週間かかる場合があります。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で送信者 ID を解放する

送信者 ID が不要になった場合は、アカウントから削除することができます。送信者 ID を削除すると、翌月の請求書での請求が停止されます。

送信者 ID をリリースする

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で [送信者 ID] を選択します。

3. リリースする送信者 ID を選択し、[削除] を選択します。
4. [送信者 ID をリリース] ダイアログで「**release**」と入力し、[送信者 ID をリリース] を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で送信者 ID のタグを管理する

タグはキーと値のペアであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用状況を制御できます。リソースにタグを追加することにより、目的、所有者、環境、その他の条件など、さまざまな方法でリソースを分類および管理できます。タグを使用すると、既存のリソースを簡単に検索することや、特定のリソースにアクセスできるユーザーを制御することができます。

Manage tags (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグの管理 (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で [送信者 ID] を選択します。
3. [送信者 ID] ページで、タグを追加する送信者 ID を選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
5.
 - タグの追加 – [タグの管理] で、[新しいタグの追加] を選択して新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – [タグの管理] で、キーと値のペアの横にある [削除] を選択します。
 - タグの編集 – [タグの管理] で、[キー] または [値] を選択し、テキストを編集します。
6. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Manage tags (AWS CLI)

を使用してタグ AWS CLI を追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
--resource-arn resource-arn \  
--tag-key key --tag-value value
```

```
--tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

を使用してタグ AWS CLI を削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

で共有送信者 IDs を一覧表示する AWS CLI

[describe-sender-ids](#) または [AWS RAM コンソール](#) を使用して、アカウントと共有 ID を表示できます。共有リソースの詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での共有リソースの使用](#)」を参照してください。

を使用してアカウントと共有されているすべての送信者 IDs を一覧表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-sender-ids --owner SHARED
```

上記のコマンドで、*SHARED* を *SELF* に置き換えて、アカウントが所有する送信者 ID を一覧表示します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS での送信元 ID 登録

一部の国では、会社の ID を登録して、電話番号や送信者 ID を購入したり、その国の受信者に送信されたメッセージを確認したりできるようにする必要があります。登録が必要な国の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

Note

登録は、アドバンスド階層ブランド検証の通知にも使用されます。詳細については、「[階層の通知](#)」を参照してください。

Important

Amazon Pinpoint または Amazon SNS が発信元 ID を使用できるようにするには、発信元 ID に [リソースポリシー] を追加する必要があります。リソースポリシーは、登録が承認され、発信元 ID が AWS アカウントに追加された後に追加する必要があります。リソースポリシーの例と追加方法については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での共有リソースの使用](#)」を参照してください。

Tip

今後登録が必要になる可能性があるため、オプションであっても、すべての登録を完了することをお勧めします。

以下の登録フォームは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールから入力して送信できます。

- [オーストラリアの送信者 ID 登録] – オーストラリアで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[オーストラリアの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [ベラルーシの送信者 ID 登録] – ベラルーシで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[ベラルーシの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。

- [エジプトの送信者 ID 登録] – エジプトで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[エジプトの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- フィンランドの送信者 ID 登録 – フィンランドで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[フィンランドの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- インドの送信者 ID 登録 – インドで使用する送信者 ID を登録します。登録手続きの詳細については、「[インドの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [インドネシアの送信者 ID 登録] – インドネシアで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[インドネシアの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [ヨルダンの送信者 ID 登録] – ヨルダンで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[ヨルダンの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [カザフスタンの送信者 ID 登録] – カザフスタンで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[カザフスタンの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [ケニアの送信者 ID 登録] – ケニアで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[ケニアの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [クウェートの送信者 ID 登録] – クウェートで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[クウェートの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [フィリピンの送信者 ID 登録] – フィリピンで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[フィリピンの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [カタールの送信者 ID 登録] – カタールで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[カタールの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [ロシアの送信者 ID 登録] – ロシアで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[ロシアの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [サウジアラビアの送信者 ID 登録] – サウジアラビアで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[サウジアラビアの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [シンガポールの送信者 ID 登録] – シンガポールで使用する送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[シンガポールの送信者 ID 登録フォーム](#)」を参照してください。
- [スリランカの送信者 ID 登録] – スリランカで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[スリランカの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [タイの送信者 ID 登録] – タイで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[タイの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [トルコの送信者 ID 登録] – トルコで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[トルコの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。

- [アラブ首長国連邦の送信者 ID 登録] – アラブ首長国連邦で送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[アラブ首長国連邦の送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [英国の送信者 ID 登録] – 英国で送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[英国の送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [米国の通話料無料番号] – (米国、および米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモアのみ) 888、877、866、855、844、または 833 で始まる通話料無料 (TFN) 番号。通話料無料の番号のスループットは 3 メッセージパーツ / 秒に制限されています。通話料無料では、SMS、MMS および音声メッセージの両方に対応しています。米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモア以外の受信者へのメッセージ送信には使用できません。登録完了の詳細については、「[米国通話料無料の電話番号の登録フォーム](#)」を参照してください。
- [米国ショートコード] – (米国および米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモアのみ)。共通ショートコード (ショートコード) は、5 桁または 6 桁の数字で、参加しているすべての米国のワイヤレスプロバイダーのコンシューマーとの間でテキストメッセージを送信できます。ショートコードプログラムは、コンシューマーと通信するための便利で効率的で革新的な手段を提供します。米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモア以外の受信者へのメッセージ送信には使用できません。要件と登録の完了の詳細については、「[米国のショートコード登録](#)」を参照してください。
- [米国 10DLC ブランド登録] – 会社またはブランドを登録して、10DLC の電話番号とキャンペーンを使用できるようにします。登録完了の詳細については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」を参照してください。
- 米国 10DLC ブランド審査 – 10DLC の電話番号または 10DLC キャンペーンを申請する前に、企業またはブランドの登録が必要です。会社登録は一度だけです。会社登録は、キャンペーンレジストリという業界団体で管理されています。登録完了の詳細については、「[10DLC ブランド審査フォーム](#)」を参照してください。
- [米国 10DLC キャンペーン登録] – 10DLC キャンペーンは、使用する前に登録する必要があります。登録完了の詳細については、「[10DLC キャンペーン登録フォーム](#)」を参照してください。
- [ベトナムの送信者 ID 登録] – ベトナムで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[ベトナムの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。
- [ザンビアの送信者 ID 登録] – ザンビアで送信者 ID を登録します。登録完了の詳細については、「[ザンビアの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。

次の登録では、サポートセンターコンソールでサポートケースを開く必要があります。

- 中国 SMS テンプレートの登録 – 中国で使用する SMS テンプレートを登録します。登録手続きの詳細については、「[中国の SMS テンプレート登録フォーム](#)」を参照してください。

トピック

- [推定登録時間](#)
- [登録の管理](#)
- [登録に関する Gen-AI フィードバック \(プレビュー\)](#)
- [登録フォーム](#)
- [専用番号登録フォーム](#)

推定登録時間

登録処理時間は、登録のタイプと登録する国または地域によって異なります。このトピックでは、メッセージングキャンペーンの計画に役立つ推定時間枠について説明します。

登録時間に影響する要因

登録の処理にかかる時間には、いくつかの要因が影響します。

- 登録タイプ (10DLC、通話料無料、ショートコード、送信者 ID)
- 国またはリージョンの要件
- 送信された情報の完全性と正確性
- サードパーティーのキャリアレビュープロセス
- ピーク送信期間

国とタイプ別の推定登録時間

次の表は、さまざまな国と発信元 ID タイプの推定登録処理時間を示しています。

Country	ISO コード	発信元 ID タイプ	登録リンク	推定登録時間
アラブ首長国連邦	AE	送信者 ID	アラブ首長国連邦の送信者 ID 登録	25 日間

Country	ISO コード	発信元 ID タイプ	登録リンク	推定登録時間
オーストリア	AT	ロングコード	オーストリア	15 日間
オーストラリア	AU	送信者 ID	オーストラリアの送信者 ID 登録	15 日間
オーストラリア	AU	ロングコード	オーストラリア	15 日間
ベラルーシ	BY	送信者 ID	ベラルーシの送信者 ID 登録	45 日間
チリ	CL	ロングコード	チリ	21 日間
チリ	CL	ショートコード	チリ	30 日間
中国	CN	テンプレート	中国の SMS テンプレート 登録フォーム	15 日間
ドイツ	DE	ショートコード	ドイツ	12 週間
デンマーク	DK	ロングコード	デンマーク	15 日間
エジプト	EG	送信者 ID	エジプトの送信者 ID 登録	21 日間
スペイン	ES	ロングコード	スペイン	15 日間
スペイン	ES	ショートコード	スペイン	12 週間
フィンランド	FI	ロングコード	フィンランド	15 日間
フィンランド	FI	ショートコード	フィンランド	35 日間
フィンランド	FI	送信者 ID	フィンランドの送信者 ID 登録	25 日間
英国	GB	ロングコード	英国	10 日
英国	GB	ショートコード	英国	12 週間

Country	ISO コード	発信元 ID タイプ	登録リンク	推定登録時間
英国	GB	送信者 ID	英国の送信者 ID 登録	3 日
Hong Kong	HK	ロングコード	香港	21 日間
ハンガリー	hu	ロングコード	ハンガリー	7 日間
インドネシア	ID	送信者 ID	インドネシアの送信者 ID 登録	50 日間
インド	IN	ショートコード	インド	25 日間
インド	IN	送信者 ID	インドの送信者 ID 登録	1 日
イタリア	IT	ロングコード	イタリア	10 日
ヨルダン	JD	送信者 ID	ヨルダンの送信者 ID 登録	15 日間
ケニア	KE	送信者 ID	ケニアの送信者 ID 登録	30 日間
クウェート	KW	送信者 ID	クウェートの送信者 ID 登録	45 日間
カザフスタン	KZ	送信者 ID	カザフスタンの送信者 ID 登録	25 日間
スリランカ	LK	送信者 ID	スリランカの送信者 ID 登録	40 日間
オランダ	NL	ロングコード	オランダ	7 日間
オランダ	NL	ショートコード	オランダ	10 週間
ノルウェー	いいえ	ロングコード	ノルウェー	10 日
フィリピン	PH	送信者 ID	フィリピンの送信者 ID 登録	50 日間
ポーランド	PL	ロングコード	ポーランド	10 日

Country	ISO コード	発信元 ID タイプ	登録リンク	推定登録時間
ポルトガル	PT	ロングコード	ポルトガル	7 日間
ポルトガル	PT	ショートコード	ポルトガル	45 日間
カタール	QA	送信者 ID	カタールの送信者 ID 登録	35 日間
ロシア	RU	送信者 ID	ロシアの送信者 ID 登録	35 日間
サウジアラビア	SA	送信者 ID	サウジアラビアの送信者 ID 登録	45 日間
スウェーデン	SE	ロングコード	スウェーデン	10 日
シンガポール	SG	送信者 ID	シンガポールの送信者 ID 登録フォーム	21 日間
タイ	TH	送信者 ID	タイの送信者 ID 登録	30 日間
トルコ	TR	送信者 ID	トルコの送信者 ID 登録	21 日間
アメリカ	米国	10DLC	米国 10DLC 登録	「 米国 10DLC 登録 」を参照してください。
アメリカ	米国	ショートコード	米国のショートコード要件	12 週間
アメリカ	米国	通話料無料	通話料無料番号の登録を編集する	15 日間
ベトナム	VN	送信者 ID	ベトナムの送信者 ID 登録	30 日間
ザンビア	ZM	送信者 ID	ザンビアの送信者 ID 登録	21 日間

登録の管理

以下のセクションでは、登録を管理する方法について説明します。

トピック

- [AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して新しい登録を作成する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS AWS CLI で を使用して登録を作成する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で登録のステータスを確認する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で登録の名前を変更する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で登録を編集する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で登録の最新バージョンを破棄する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で登録を削除する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で登録関連リソースを表示する](#)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して新しい登録を作成する

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して、AWS End User Messaging SMS アカウントの登録を管理できます。電話番号または送信者 ID のリクエストの一部として登録が既に作成されている場合は、新しい登録を作成する必要はありません。登録に関連付けられたリソースは、[関連付けられたリソース] タブで表示できます。詳細については、「[AWS End User Messaging SMS で登録関連リソースを表示する](#)」を参照してください。

Important

一部の登録には、複数のステップがあり、正確な順序で完了する必要があります。

- 米国 10DLC 番号を登録するには、まず [米国 10DLC ブランド登録] を登録して完了し、次にオプションの [米国 10DLC ブランド審査] を申請して 1 秒あたりのメッセージ数 (MPS) を増やし、次に [米国 10DLC キャンペーン登録] を登録する必要があります。複数の AWS リージョンと 1 つのアカウントから 10DLC SMS メッセージを送信する必要がある場合は、必要な AWS リージョン ごとにすべての 10DLC リソースを再登録する必要があります。プロセスの詳細については、「[米国 10DLC 登録](#)」を参照してください。
- [シンガポールの送信者 ID 登録] を登録するには、まずシンガポールの一意的エンティティ番号 (UEN) を取得し、シンガポールの送信者 ID 登録を作成して送信する必要があります。登録が承認されたら、送信者 ID をシンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) に登録します。プロセスの詳細については、「[シンガポールの送信者 ID 登録処理](#)」を参照してください。

- [インドの送信者 ID] 登録を登録するには、まず会社とユースケースを TRAI に登録し、サポート でケースを作成して送信して、メッセージを送信するには、受け取ったエンティティ ID とテンプレート ID の値を指定する必要があります。プロセスの詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのインドの送信者 ID 登録プロセス](#)」を参照してください。

新規登録を作成する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

3. [登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。
4. [登録タイプ] で、ドロップダウンリストから登録フォームを選択します。各 [登録タイプ] には、登録フォームが送信される規制機関に応じて異なるフォームがあります。
5. (オプション) タグ を次の場所に展開します。
 - タグの追加 – [タグの管理] で、[新しいタグの追加] を選択して新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – [タグの管理] で、キーと値のペアの横にある [削除] を選択します。
 - タグの編集 – [タグの管理] で、[キー] または [値] を選択し、テキストを編集します。
6. [作成] を選択します。
7. これで登録が作成されました。必要な情報をすべて入力して送信する必要があります。
 - 米国の通話料無料番号の登録 – [米国通話料無料の電話番号の登録フォーム](#)。
 - [米国 10DLC ブランド審査] – 10DLC ブランドは審査のために提出されており、追加のフォームを入力する必要はありません。「[10DLC ブランド審査フォーム](#)」を参照してください。
 - [米国 10DLC ブランド登録] – [10DLC ブランド登録フォーム](#)。
 - [US-10DLC キャンペーン登録] – [10DLC キャンペーン登録フォーム](#)。
 - [シンガポールの送信者 ID 登録] – [シンガポールの送信者 ID 登録フォーム](#)。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS AWS CLI で を使用して登録を作成する

次のセクションでは、AWS CLIを使用して登録を作成、入力、送信する方法の例を示します。Python またはシェルスクリプトを使用して通話料無料の電話番号登録を作成して送信する方法の例については、「[Automate AWS End User Messaging US toll-free Number Registrations](#)」を参照してください。登録は国によって異なります。単一ページのフォームの場合もあれば、10DLC など、特定の順序で複数のフォームを送信する必要がある場合もあります。注文の詳細と、承認書 (LOA) などの関連ドキュメントをアップロードする必要がある場合は、[個々の登録](#)を確認してください。

背景

一部の国では、発信元 ID を購入し、その国の受信者に送信するメッセージを審査するために、自社の企業情報を登録する必要があります。

- 提供された登録情報は、第三者によって確認される場合があります。第三者は国によって異なりますが、審査を実行する政府機関またはモバイルキャリアである可能性があります。
- 第三者企業が登録を確認するのにかかる時間は、登録タイプによって異なります。

前提条件

開始するには、以下が必要です。

- をインストールして設定します AWS CLI。 [AWS Command Line Interface 「ユーザーガイド」の「AWS CLI の設定」](#) を参照してください。
- ターゲットリージョンで AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用する [アクセス許可](#) AWS アカウント を持つ。
- 登録の AssociationBehavior は、登録情報を発信元 ID に関連付けたり、発信元 ID から関連解除したりする際の順序を指定します。詳細は「[SupportedAssociation](#)」を参照してください。
 - ASSOCIATE_BEFORE_SUBMIT 登録を送信するときは、発信元 ID を指定する必要があります。
 - ASSOCIATE_ON_APPROVAL これはすべての送信者 ID 登録に適用されます。送信者 ID は、登録が承認されると自動的にプロビジョニングされます。
 - ASSOCIATE_AFTER_COMPLETE これは、最初に登録を完了し、後で 1 つ以上の電話番号を関連付ける必要がある電話番号の登録に適用されます。

⚠ Important

登録ステータスに関係なく、発信元 ID を購入したら、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

登録を送信すると、第三者によって審査され、返送されるまで、登録を変更したり、リソースと登録の関連付けを解除したりすることはできません。

以下は、登録用の追加のリソースです。

- [準拠した SMS オプトインプロセスを構築する方法](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージングで SMS を送信するための 10DLC 登録のベストプラクティス](#)

登録を作成する (create-registration AWS CLI コマンド)

[create-registration](#) コマンドを使用して、新しい空の登録を作成します。RegistrationType パラメータによって、作成する登録のタイプが決まります。作成する登録タイプの値がわからない場合は、[describe-registration-type-definitions](#) コマンドを使用して、すべての登録タイプのリストを取得します。

次の例は、通話料無料番号の登録フォームを作成する方法を示しています。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-registration --registration-type  
US_TOLL_FREE_REGISTRATION --tags "Key=Name,Value=MyTFNRegistration"
```

正常に完了したら、他のコマンドに必要な RegistrationId の値を保存します。

i Note

登録にフレンドリ名を追加するには、[キー] を「Name」に設定し、[値] をフレンドリ名に設定してタグを追加する必要があります。

請求目的でリソースにタグを追加することもできます。「[請求用のリソースのタグ付け](#)」を参照してください。

以下は、describe-registration-type-definitions コマンドの部分的出力の例です。AssociationBehavior が ASSOCIATE_BEFORE_SUBMIT に設定されているため、登

録を承認の用に送信する前に、通話料無料番号を購入して登録と関連付ける必要があります。AssociationBehavior と DisassociationBehavior の詳細については、「[SupportedAssociation](#)」を参照してください。

```
{
  "RegistrationTypeDefinitions": [
    {
      "RegistrationType": "US_TOLL_FREE_REGISTRATION",
      "SupportedAssociations": [
        {
          "ResourceType": "TOLL_FREE",
          "IsoCountryCode": "US",
          "AssociationBehavior": "ASSOCIATE_BEFORE_SUBMIT",
          "DisassociationBehavior": "DISASSOCIATE_ALL_CLOSES_REGISTRATION"
        }
      ],
      "DisplayHints": {
        "Title": "US toll-free number registration"
      }
    },
    ...
  ]
}
```

フィールド定義を取得する (describe-registration-field-definitions AWS CLI コマンド)

次に、各フィールドの定義を取得して、フィールドの最大文字数など、要件を把握する必要があります。

各登録はセクションに分割され、各セクションには 1 つ以上のフィールドがあります。[describe-registration-field-definitions](#) コマンドを使用して、登録のすべてのセクション定義とフィールド定義を取得します。値を設定できるようにするには、後で各フィールドの FieldPath が必要になります。また、FieldRequirement は、フィールドが必須か任意かを判断するために使用されます。

次の例は、通話料無料登録フォームのフィールド定義を取得する方法を示しています。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-registration-field-definitions --registration-type
US_TOLL_FREE_REGISTRATION
```

以下は、コマンドからの出力例です。

```
{
  "RegistrationFieldDefinitions": [
```



```

    {
      "SectionPath": "companyInfo",
      "FieldPath": "companyInfo.companyName",
      "FieldType": "TEXT",
      "FieldRequirement": "REQUIRED",
      "TextValidation": {
        "MinLength": 1,
        "MaxLength": 100,
        "Pattern": "^(?=\\s*\\S)[\\s\\S]+$"
      },
      "DisplayHints": {
        "Title": "Company name",
        "ShortDescription": "Legal name which your company is registered
under.",
        "ExampleTextValue": "Example Corp"
      }
    },
    ...

```

添付ファイルの作成 (create-registration-attachment AWS CLI コマンド)

登録によっては、承認書 (LOA)、オプトインワークフロー、または別のタイプの必須ドキュメントを完了してアタッチする必要がある場合があります。[個々の登録](#)で詳細を確認し、フォームをダウンロードします。

[create-registration-attachment](#) コマンドを使用して、登録アタッチメントを作成します。ファイルを Amazon S3 バケットにアップロードし、URL を使用するか、コマンドの一部としてドキュメントをアタッチできます。AttachmentUrl または AttachmentBody のいずれかを使用します。両方が指定されている場合、例外が返されます。最大ファイルサイズは 500 KB で、有効なファイル拡張子は PDF、JPEG、PNG です。

次の例は、登録アタッチメントを作成し、AttachmentUrl パラメータを使用する方法を示しています。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-registration-attachment --attachment-url s3://
BucketName/FileName
```

正常に完了すると、他のコマンドに必要な RegistrationAttachmentID が返されます。

バケットの作成やファイルのアップロードなどの Amazon S3 コマンドの詳細については、「[Use high-level \(s3\) commands with the AWS CLI](#)」を参照してください。

フィールド定義値を設定する (put-registration-field-value AWS CLI コマンド)

次に、「フィールド定義を取得する」ステップで返されるすべての必須フィールドの値を追加する必要があります。これには、作成したアタッチメントが含まれます。ユースケースに該当する任意フィールドもすべて入力することをお勧めします。フィールドは、FieldRequirement 値に応じて必須またはオプションです。[put-registration-field-value](#) コマンドを使用して、フィールド値を設定します。

- 次の例は、会社名またはテキスト値の値を追加する方法を示しています。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-registration-field-value --registration-id RegID --  
field-path companyInfo.companyName --text-value AnyCompany
```

前述のコマンドで、以下を置き換えます。

- *RegID* を、「登録を作成する」ステップで返された登録 ID に置き換えます。
- *AnyCompany* を会社名に置き換えます。
- 次の例は、選択フィールドの値を追加する方法を示しています。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-registration-field-value --registration-id RegID --  
field-path messagingUseCase.monthlyMessageVolume --text-choices SelectValue
```

前述のコマンドで、以下を置き換えます。

- *RegID* を、「登録を作成する」ステップで返された登録 ID に置き換えます。
- *SelectValue* を、フィールドのオプション値の 1 つに置き換えます。

[describe-registration-field-definitions](#) コマンドを使用して、1 つのフィールドのみのオプションを取得します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-registration-field-definitions --registration-  
type US_TOLL_FREE_REGISTRATION --field-paths messagingUseCase.monthlyMessageVolume
```

```
{  
  "RegistrationFieldDefinitions": [  
    {  
      "SectionPath": "messagingUseCase",  
      "FieldPath": "messagingUseCase.monthlyMessageVolume",  
      "FieldType": "SELECT",  
      "FieldRequirement": "REQUIRED",
```

```

        "SelectValidation": {
            "MinChoices": 1,
            "MaxChoices": 1,
            "Options": [
                "10",
                "100",
                "1,000",
                "10,000",
                "100,000",
                "250,000",
                "500,000",
                "750,000",
                "1,000,000",
                "5,000,000",
                "10,000,000+"
            ]
        },
        "DisplayHints": {
            "Title": "Monthly SMS volume",
            "ShortDescription": "Estimated number of SMS messages which will be
sent from this toll-free number each month."
        }
    ],
    "RegistrationType": "US_TOLL_FREE_REGISTRATION"
}

```

- 次のコード例は、アタッチメントを追加する方法を示しています。

```

$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-registration-field-value --registration-
id RegID --field-path messagingUseCase.optInImage --registration-attachment-
id RegistrationAttachmentID

```

前述のコマンドで、以下を置き換えます。

- *RegID* を、「登録を作成する」ステップで返された登録 ID に置き換えます。
- *RegistrationAttachmentID* を、アタッチメントの作成ステップから返されたアタッチメント ID に置き換えます。

発信元 ID をリクエストする (request-phone-number AWS CLI コマンド)

Note

登録ステータスに関係なく、発信元 ID を購入したら、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

登録の AssociationBehavior が ASSOCIATE_AFTER_COMPLETE の場合、登録が送信および承認されるまで、発信元 ID を購入または関連付ける必要はありません。

次に、後で登録に関連付けられる発信元 ID をリクエストする必要があります。この例では、[request-phone-number](#) コマンドを使用して、AWS CLIを通じて通話料無料の電話番号をリクエストする方法を示します。[request-sender-id](#) を使用して送信者 ID をリクエストします。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 request-phone-number --iso-country-code US --message-type TRANSACTIONAL --number-capabilities SMS --number-type TOLL_FREE
```

正常に完了すると、電話番号を登録に関連付けるために必要な電話番号の一意の識別子が返されます。

リソースを登録に関連付ける (create-registration-association AWS CLI コマンド)

Note

登録の AssociationBehavior が ASSOCIATE_AFTER_COMPLETE の場合、登録が送信および承認されるまで、発信元 ID を購入または関連付ける必要はありません。

発信元 ID を登録に関連付けるには、[create-registration-association](#) AWS CLI コマンドを使用します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-registration-association --registration-id RegID --resource-id PhoneNumberID
```

前述のコマンドで、以下を置き換えます。

- *RegID* を、「登録を作成する」ステップで返された登録 ID に置き換えます。
- *PhoneNumberID* を、発信元 ID のリクエストステップから返された電話番号 ID に置き換えます。

Note

このコマンドは、該当するリソースを登録に関連付けるために使用します。例えば、10DLC キャンペーン登録を 10DLC ブランド登録に関連付けるために使用できます。

登録を送信する (submit-registration-version AWS CLI コマンド)

登録を送信すると、登録を変更できなくなります。登録を確認して、送信する前にすべてのデータが正しいことを確認してください。

Important

登録を送信すると、第三者によって審査され、返送されるまで、登録を変更したり、リソースと登録の関連付けを解除したりすることはできません。

を使用して登録を送信するには、[submit-registration-version](#) コマンド AWS CLI を使用します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 submit-registration-version --registration-id RegID
```

前述のコマンドで、以下を置き換えます。

- *RegID* を、「登録を作成する」ステップで返された登録 ID に置き換えます。

登録ステータスを確認する (describe-registrations AWS CLI コマンド)

登録が送信されたら、[describe-registrations](#) コマンドまたは[コンソール](#)を使用してステータスを確認できます。

登録の AssociationBehavior が ASSOCIATE_AFTER_COMPLETE の場合、登録のステータスが COMPLETE に設定されると、発信元 ID を購入して登録に関連付けることができます。

登録のステータスが REQUIRES_UPDATES に変更されると、[フラグ付きフィールドを見つけて編集](#)し、登録を再送信できます。登録拒否の理由のリストについては、「[登録に関する Gen-AI フィードバック](#)」を参照してください。登録拒否 サポート について からサポートが必要な場合は、[チケットを開く](#)ことができます。

AWS End User Messaging SMS で登録のステータスを確認する

登録は、次のいずれかのステータスになります。

- AUTHENTICATION_REQUIRED – 登録には 2 要素認証を完了する必要があります。
- CLOSED – 通話料無料番号が削除済みであり、さらに番号の登録も削除する必要があります。
- COMPLETE – 登録は承認済みであり、リソースの使用を開始できます。
- CREATED — 登録は作成されましたが、送信されていません。
- DELETED – 登録は削除されました。
- REVIEWING — 登録が受領され、審査中です。この状態にある間は、登録または登録に関連付けられたリソースを変更することはできません。
- REQUIRES_UPDATES — 登録を修正して再送信する必要があります。詳細については「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で登録を編集する](#)」を参照してください。更新が必要なフィールドには、警告アイコンと問題の簡単な説明が表示されます。
- SUBMITTED — 登録が送信され、審査を待っています。

登録のステータスを確認する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[登録] を選択します。
3. [登録] テーブルで、各登録の登録ステータスを確認できます。

AWS End User Messaging SMS で登録の名前を変更する

登録の管理に役立てるには、わかりやすい名前を付ける必要があります。登録の名前はいつでも追加または編集でき、再送信する必要はありません。[キー] が **Name** に設定され、[値] が使用する名前に設定されているタグを追加する必要があります。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[登録] を選択します。
3. [登録] ページで、タグを追加する登録を選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。[タグを管理] で、[新しいタグを追加] を選択します。

5. [キー] には「Name」を入力し、[値] には登録のわかりやすい名前を入力します。
6. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で登録を編集する

登録を送信した後で、登録に問題がある場合は、[登録ステータス] が [更新が必要] と表示されます。この状態では、登録フォームは編集可能です。更新が必要なフィールドには、警告アイコンと問題の簡単な説明が表示されます。

登録を編集するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[登録] を選択します。
3. [登録] テーブルで、編集する [登録 ID] を選択します。
4. [Update Registration] (登録の更新) を選択してフォームを編集し、警告アイコンのあるフィールドを修正します。

Note

登録が拒否され、更新が必要な場合、バナーには登録が拒否された理由と更新する必要があるフィールドが一覧表示されます。登録拒否の詳細については、「[通話料無料番号 登録拒否の理由](#)」および「[登録に関する Gen-AI フィードバック \(プレビュー\)](#)」を参照してください。

5. 完了したら、[Submit registration] (登録の送信) を選択します。

Important

すべてのフィールドを再チェックして、正しいことを確認します。

AWS End User Messaging SMS で登録の最新バージョンを破棄する

登録の最新バージョンを破棄し、必要な更新を行うことができます。送信した登録でエラーが発生した場合は、登録が拒否されるのを待ってエラーを修正するのではなく、この機能を使用してエラーを

修正し、再送信できます。登録は、そのステータスが Submitted の場合にのみ破棄できます。これにより、登録の最新バージョンが完全に削除されます。

登録を破棄するには

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[登録] を選択します。
3. [登録] テーブルで、必要な [登録 ID] を選択します。
4. [バージョンを破棄] を選択し、ウィンドウで「**discard**」と入力します。
5. [バージョンを破棄] を選択します。

AWS End User Messaging SMS で登録を削除する

不要になった場合は、登録を削除できます。これにより、登録は完全に削除されます。

登録を削除するには

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[登録] を選択します。
3. [登録] テーブルで、必要な [登録 ID] を選択します。
4. [登録を削除] を選択し、ウィンドウで「**delete**」と入力します。
5. [登録を削除] を選択します。

10DLC キャンペーン登録を削除する

10DLC キャンペーン登録を削除する前に、10DLC キャンペーン登録に関連付けられているすべての電話番号を削除する必要があります。

Important

10DLC キャンペーンから電話番号を削除すると、その電話番号へのアクセスはできなくなります。また、一度、削除した 10DLC キャンペーンは元に戻せません。

10DLC キャンペーン登録を削除するには

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[登録] を選択します。
3. [登録] テーブルで、10DLC キャンペーンの [登録 ID] を選択します。
4. [関連付けられたリソース] タブを選択します。
5. 電話番号のリリースの詳細については、「[電話番号をリリースする](#)」を参照してください。

電話番号をリリースするには

- a. 電話番号を選択し、電話番号の詳細ページで [電話番号をリリース] を選択します。
 - b. [電話番号をリリース] ウィンドウで「**release**」を入力し、[電話番号をリリース] を選択します。
6. すべての電話番号がリリースされたら、[登録を削除] を選択し、ウィンドウで「**delete**」と入力します。

10DLC ブランド登録を削除する

10DLC ブランド登録を削除するには、10DLC ブランド登録に関連付けられた 10DLC キャンペーンをすべて削除する必要があります。10DLC キャンペーン登録を削除するには、10DLC キャンペーン登録に関連付けられているすべての電話番号をリリースする必要があります。

10DLC ブランド登録を削除するには

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[登録] を選択します。
3. [登録] テーブルで、10DLC ブランドの [登録 ID] を選択します。
4. [関連付けられたリソース] タブを選択します。
5. 10DLC キャンペーン登録ごとに、以下の指示に従って [すべての電話番号をリリースし、10DLC キャンペーン登録を削除](#) します。
6. 10DLC キャンペーンの登録がすべて削除されたら、[登録を削除] を選択し、ウィンドウで「**delete**」と入力します。

AWS End User Messaging SMS で登録関連リソースを表示する

登録には、登録タイプに応じて 1 つから多数のリソースを関連付けることができます。登録に関連付けられたリソースは、登録の [関連付けられたリソース] タブで表示できます。

登録リソースを関連付ける

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、テーブルから登録を選択します。
3. [関連付けられたリソース] タブを選択します。リソースに関する詳細情報を表示するリソースを選択します。

登録に関する Gen-AI フィードバック (プレビュー)

Note

登録レビューワーは、生成 AI を使用した登録提出の品質に関する早期フィードバックを提供するように設計されています。time-to-time、不正確なフィードバックが発生する可能性があります。登録する電話番号または送信者 ID のコンプライアンスバーが登録で満たされていることを確認する責任は引き続きお客様にあります。フィードバックに同意しない場合は、フィードバックを実装せずにダウンストリームレビューに登録を送信できます。

登録レビューワーは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS のパブリックプレビューで使用できる Gen-AI 機能です。登録レビューワーは、キャリアレビューのために送信する前に、電話番号または送信者 ID 登録に関する Gen-AI フィードバックを提供します。レビューアーは、一般的な拒否理由または形式要件について登録を確認し、time-to-approval フィードバックを提供します。フィードバックのために登録を送信すると、追加の更新が必要ない場合はキャリアレビューに移行するか、登録フォームに関するフィードバックとともに「更新が必要」に移行します。登録レビューワーは、フォーム自体の概要と、拒否理由や考えられる提案を含む説明的なフィードバックを含むフィールドレベルのフィードバックの 2 つのレベルのフィードバックを提供します。

登録レビューワーの改善

AWS エンドユーザーメッセージングは、登録レビューワー機能を改善するために、登録とフィードバックの特定の情報を使用する場合があります。エンドユーザーメッセージングは、この情報を使用

して、メッセージサンプルのフォーマット方法やユースケースの説明に関するより良いフィードバックを提供するなど、登録に関するより良いフィードバックを提供する場合があります。登録情報と登録フィードバックを使用して End User Messaging からオプトアウトして登録レビュー機能を改善する場合は、登録レビュー機能を使用せずに登録を送信できます。

登録レビュー機能のデータ処理

登録レビュー機能では、登録情報とフィードバックは、エンドユーザーメッセージング用に選択した AWS リージョンとは異なる AWS リージョンで処理する必要がある場合があります。例えば、登録フィードバックのリクエストに対応する場合、この機能は Amazon Bedrock モデルを使用して登録情報と登録フィードバックを処理します。モデルは、エンドユーザーメッセージング用に選択した AWS リージョン以外のリージョンからのこのようなリクエストを処理する場合があります。登録情報とフィードバックは、このクロスリージョン処理の目的で Amazon の安全なネットワーク経由で送信される間、暗号化されます。このクロスリージョン処理では、登録情報と登録フィードバックの保存場所は変更されず、これらの項目はエンドユーザーメッセージング用に選択した AWS リージョンに保存されます。

Important

登録レビュー機能は、AWS のサービスの使用を管理する AWS との契約と、AWS サービス条件のセクション 1 および 2 によって管理されるパブリックプレビュー機能です。この機能は現在無料で提供されていますが、機能の料金は変更される可能性があります。AWS エンドユーザーメッセージング SMS の標準料金は、エンドユーザーメッセージングで SMS を送信する場合でも適用されます。

Gen-AI フィードバックの使用

Using Gen-AI feedback (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して登録に関するフィードバックを受け取るには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。
3. [登録タイプ] で、ドロップダウンリストから登録フォームを選択します。各 [登録タイプ] には、登録フォームが送信される規制機関に応じて異なるフォームがあります。

4. (オプション) タグ を次の場所に展開します。
 - タグの追加 – [タグの管理] で、[新しいタグの追加] を選択して新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – [タグの管理] で、キーと値のペアの横にある [削除] を選択します。
 - タグの編集 – [タグの管理] で、[キー] または [値] を選択し、テキストを編集します。
5. [作成] を選択します。
6. 登録を作成したら、適切なフィールドに入力します。特定の登録フォームの詳細については、こちらを参照してください。
7. レビューと送信ページで、AI フィードバックの受信を選択します。
8. 登録が成功し、フィードバックを必要としない場合、キャリアレビューのために自動的に送信されます。
9. 登録にフィードバックが必要な場合は、AI フィードバックページにフィードバックの概要が表示されます。更新を選択すると、フィードバックに応答し、フラグが付けられたフォームフィールドセクションを更新できます。
10. 更新が完了したら、AI レビューのために送信または再送信できます。

Using Gen-AI feedback (AWS CLI)

AWS CLI を使用して登録に関するフィードバックを受け取るには、次のコマンドを使用します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 --region us-east-1 submit-registration-version \
  --registration-id <registration-XXXXXXXX> \
  --aws-review
```

前述の例で、以下を実行します。

- **<registration-XXXXXXXX>** を実際の登録 ID に置き換えます。
- **--aws-review** フラグは、キャリアの送信前に AI フィードバックレビューを有効にします。
- を使用して適切なリージョンを指定します **--region**。

トピック

- [拒否の理由を理解する](#)
- [登録の問題 サポート に関する詳細情報を取得する](#)

拒否の理由を理解する

登録が拒否された場合は、次の表を使用して、登録が拒否された理由と、登録を修正するために何ができるかを判断します。登録が拒否された理由を特定したら、その問題に対処するように既存の登録を変更し、再送信できます。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で登録を編集する](#)」を参照してください。

ブランド登録が拒否された場合は、以下の表を参考に、拒否された理由と、修正する方法を確認してください。既存の登録を変更して問題に対処し、再送信できます。登録の編集の詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

ブランド拒否の理由

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
ブランドの住所がないか、無効です。	ブランドの住所を確認できません。住所が正しいことを確認し、フォームを再送信します。
ブランドサポートの E メールアドレスがないか、無効です。	ブランドの E メールアドレスがないか、無効です。E メールアドレスを更新し、フォームを再送信します。
ブランドサポート E メールはパブリック E メールドメインです。	ブランドの E メールドメインは、Gmail などのパブリック E メールプロバイダーからのものです。E メールドメインは、ブランドのビジネスに関連付ける必要があります。
複数の異なるブランドでの同じ雇用主識別番号 (EIN) の繰り返しの使用。	同じ EIN が複数のブランドに使用されます。EIN ごとに最小数のブランドのみを登録し、ブランド登録が更新されるまで再送信しない
ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトが、モバイルオペレーターによって禁止されているリード生成または関連会社マーケティングを参照しています。	ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトが、メッセージコンテンツに、モバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされるリード生成または関連会社マーケティングが含まれていることを示しています。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトが、モバイルオペレーターによって禁止されているギャンブルを参照しています。	ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトには、メッセージコンテンツにモバイル通信事業者によって制限または禁止されているとみなされるギャンブルが含まれていることを示しています。
ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトは、モバイルオペレーターによって禁止されている高リスクの金融サービスを参照しています。	ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトには、メッセージコンテンツにモバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされる高リスクの金融サービスが含まれていることを示します。
ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトは、モバイルオペレーターによって禁止されている違法薬物を参照しています。	ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトには、メッセージコンテンツにモバイル通信事業者によって制限または禁止されているとみなされる違法薬物が含まれていることを示しています。
ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトは、モバイルオペレーターによって禁止されているサードパーティーのジョブボードを参照しています。	ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトには、メッセージコンテンツに、モバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされるサードパーティーのジョブボードが含まれていることを示しています。
モバイル通信事業者によって禁止されている SHAFT のコンテンツに関連付けられたブランド、または参照しているウェブサイト。	関連付けられたブランドまたはウェブサイトには、メッセージコンテンツにモバイル通信事業者によって制限または禁止とみなされる SHAFT (性的、憎悪、アルコール、銃器、タバコ/パイプ) が含まれていることを示しています。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトは、モバイルオペレーターによって禁止されている宝くじを参照しています。	ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトには、メッセージコンテンツにモバイル通信事業者によって制限または禁止されているとみなされる宝くじが含まれていることを示しています。
ブランドサポートの電話番号がないか、無効です。	ブランドのサポート電話番号がないか、無効です。電話番号を更新し、フォームを再送信します。

キャンペーンまたはユースケースが拒否された場合は、以下の表を参考に、拒否された理由と、修正する方法を確認してください。既存の登録を変更して問題に対処し、再送信できます。登録の編集の詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

キャンペーン拒否の理由

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
キャンペーンは既知のスパムまたはフィッシングブランドに関連付けられているように見え、許可されていません。	キャンペーン用に提供された電話番号、ビジネス、トラフィック、またはマーケティングにスパムまたはフィッシングというフラグが付けられています。または、キャンペーンに関連付けられたプライバシーポリシーまたは利用規約は、SMS オプトインの同意または電話番号がサードパーティーまたは関連会社と共有されていることを示している可能性があります。
ブランドウェブサイトが欠落しているか、アクセスできないか、オンラインプレゼンスを検証できませんでした。	指定された URL が正しくありません。ウェブサイトがまだ公開されていない場合は、キャンペーンの説明にその旨を記載します。URL が正しいことを確認し、再送信します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
ブランドが、キャンペーンのユースケースと一致しないチャリティーコンテンツを参照しています。	ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトが、キャンペーンの登録済みユースケースに示されていないコンテンツを参照しています。ユースケースの不一致: チャリティー。
ブランドが、キャンペーンのユースケースに一致しない政治的なコンテンツを参照しています。	ウェブサイトに関連付けられたブランドまたはウェブサイトが、キャンペーンの登録済みユースケースに示されていないコンテンツを参照しています。ユースケースの不一致: 政治。
審査対象ブランドが審査スコアの最小要件を満たしていません。	ブランドの審査スコアが、キャンペーンの承認に不十分な値である可能性があります。
キャンペーンの説明がサンプルメッセージまたはユースケースと一致しません。	キャンペーンの説明がメッセージングのユースケース、メッセージサンプル、またはその両方と一致しません。キャンペーンの説明、メッセージングのユースケース、メッセージサンプルが一致するように更新し、再送信します。
キャンペーンの説明がサンプルメッセージ、またはユースケース、チャリティーと一致しません。	キャンペーンの説明で説明されているユースケースは、ブランドが寄付金を要求しているが、ユースケースが [チャリティー] に設定されていないか、サンプルメッセージの内容がユースケースと一致していないことを示しています。キャンペーンの説明、ユースケース、メッセージサンプルを一致させるように更新し、再送信します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
キャンペーンの説明がサンプルメッセージまたはユースケース、政治と一致しません。	キャンペーンの説明で説明されている「ユースケース」は、ブランドが寄付を要求していることを示していますが、ユースケースが [政治] に設定されていないか、サンプルメッセージの内容がユースケースと一致しません。キャンペーンの説明、ユースケース、メッセージサンプルを一致させるように更新し、再送信します。
複数のキャンペーンで同じまたは類似のユースケースが繰り返されています。	キャンペーンに重複したコンテンツがあり、許可されていないスノーシューイングの慣行を示しています。ユースケースに 1 つのキャンペーンのみが登録されていることを確認してください。
ユースケースは、モバイルオペレーター、アフィリエイトマーケティングによって制限または禁止されているとみなされます。	キャンペーンのユースケースが、メッセージコンテンツにモバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされる 1 つ以上のもの、リード生成または関連会社マーケティングが含まれていることを示しています。
ユースケースは、モバイルオペレーター、ギャンブルによって制限または禁止されているとみなされます。	キャンペーンのユースケースが、メッセージコンテンツにモバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされる 1 つ以上のもの、ギャンブルが含まれていることを示しています。
ユースケースは、モバイルオペレーター、高リスク金融サービスによって制限または禁止されているとみなされます。	キャンペーンのユースケースが、メッセージコンテンツにモバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされる 1 つ以上のもの、短期ローンや暗号通貨などの高リスクの金融サービスが含まれていることを示しています。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明

ユースケースは、モバイルオペレーター、違法薬物によって制限または禁止されているとみなされます。

ユースケースは、モバイルオペレーター、サードパーティーのジョブボードによって制限または禁止されているとみなされます。

ユースケースまたはメッセージサンプルは、テスト用またはサブスクライバー向けではないようです。10DLC は本番環境のユースケースでのみ許可されます。

ユースケースは、モバイル通信事業者によって制限または禁止されます。禁止されているコンテンツ: SHAFT。

ユースケースは、モバイル通信事業者によって制限または禁止されます。禁止されているコンテンツ: 年齢制限のない SHAFT。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明

キャンペーンのユースケースは、メッセージコンテンツにモバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされる 1 つ以上のもの、大麻などの連邦政府の違法薬物が含まれていることを示しています。

キャンペーンのユースケースは、メッセージコンテンツにモバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされる 1 つ以上のもの、サードパーティーのジョブボードが含まれていることを示しています。

キャンペーンのユースケースの説明は、マシンツーマシンコンテンツが共有されていることを示します。これは、サブスクライバー向け以外のメッセージプログラムに制限されています。キャンペーンを正しいユースケースで再度登録し、再送信します。

キャンペーンのユースケースは、メッセージコンテンツにモバイル通信事業者によって制限または禁止されている 1 つ以上のもの、SHAFT (性的、憎悪、アルコール、銃器、タバコ/パイプ) が含まれていることを示しています。

キャンペーンのユースケースは、メッセージコンテンツに年齢確認機能がない場合、モバイル通信事業者によって制限または禁止されている 1 つ以上の SHAFT (性的、憎悪、アルコール、銃器、タバコ/パイプ) が含まれていることを示しています。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
ユースケースは、モバイルオペレーター、宝くじによって制限または禁止されているとみなされます。	キャンペーンのユースケースは、メッセージコンテンツにモバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされる 1 つ以上のもの、宝くじまたは宝くじ関連メッセージングが含まれていることを示します。
キャンペーンの説明で参照されているブランドが、登録済みブランド名または商号 (DBA) 名と一致しません。	送信者を明確にするために、キャンペーンの説明の会社名が登録済みブランド名または DBA 名と一致するか、ほぼ同じである必要があります。キャンペーンの説明を更新して再送信します。
キャンペーンの説明は、メッセージプログラムがエンドユーザーに提供するサービスを十分に説明していません。	メッセージプログラムの目的がキャンペーンの説明から明確である必要があります。説明に詳細を追加して再送信します。
キャンペーンは直接貸付手配のように見えますが、適切なコンテンツ属性が選択されていません。	キャンペーンの説明から、キャンペーンの目的は直接融資と思われるが、直接融資またはローンの手配が選択されていません。キャンペーンの説明を更新するか、直接融資またはローンの手配を選択して再送信します。

ヘルプメッセージが拒否された場合は、以下の表を参考に、拒否された理由と、修正する方法を確認してください。既存の登録を変更して問題に対処し、再送信できます。登録の編集の詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

ヘルプメッセージの拒否理由

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
ヘルプメッセージまたはヘルプメッセージで指定されたサポート連絡先 E メールアドレスに、登録済みまたは DBA のブランド名が含まれていないか、一致していません。	ヘルプメッセージサンプル内の会社名と E メールドメインは、送信者を明確にするために、登録されているブランド名または DBA 名と一致するか、ほぼ同じである必要があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
ヘルプメッセージに E メール、電話番号、またはサポートウェブサイトのサポート連絡先が含まれていません	ヘルプメッセージには、E メールアドレス、電話番号、サポートウェブサイトへのリンクなど、さらにサポートを受ける方法をエンドユーザーに知らせるための顧客からの問い合わせケア情報が含まれている必要があります。ヘルプメッセージを更新してこれらを含め、再送信します。

オプトインメッセージが拒否された場合は、次の表を使用して拒否された理由と修正方法を確認してください。準拠しているオプトインを作成する方法に関する全体的なガイダンスについては、「[How to Build a Compliant SMS Opt-In Process](#)」を参照してください。既存の登録を変更して問題に対処し、再送信できます。登録の編集の詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

オプトインメッセージ拒否の理由

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
オプトインメッセージに登録済みブランド名または商号 (DBA) 名が含まれていない	オプトインメッセージサンプル内の会社名は、送信者を明確にするために、登録されているブランド名または DBA 名と一致するか、ほぼ同じである必要があります。オプトインメッセージサンプルで会社名を更新し、再送信します。
オプトインメッセージが指定されていません	定期的なメッセージプログラムは、エンドユーザーに HELP および STOP の手順、メッセージの頻度、「メッセージとデータ料金が適用される場合があります」の開示を含むオプトインメッセージを送信する必要があります。オプトインメッセージを更新して再送信します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明

オプトインメッセージに、1 つ以上の定期的なメッセージプログラムのメッセージ頻度の開示、または「メッセージとデータレートが適用される場合があります」の開示が含まれていません。

オプトインメッセージに、HELP または STOP の手順は含まれていません。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明

[オプトインメッセージ](#)には、1 か月あたりのメッセージ数などのメッセージの頻度を含める必要があります。メッセージの頻度は、メッセージが繰り返し発生する場合や、「メッセージとデータレートの開示」などで異なります。オプトインメッセージを更新して再送信します。

[オプトインメッセージ](#)には、「キャンセルするには STOP を返信する」など、メッセージプログラムをオプトアウトする方法の手順が含まれている必要があります。オプトインメッセージを更新して再送信します。

オプトインワークフローが拒否された場合は、次の表を使用して拒否された理由と修正方法を確認してください。準拠しているオプトインを作成する方法に関する全体的なガイダンスについては、「[How to Build a Compliant SMS Opt-In Process](#)」を参照してください。既存の登録を変更して問題に対処し、再送信できます。登録の編集の詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

オプトインワークフロー拒否の理由

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明

オプトインワークフローで十分な同意が得られない

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明

[オプトインメッセージ](#)は、メッセージプログラムに対して適切なタイプの同意が得られたことを示す必要があります。コールトゥアクションでは、プロモーションメッセージコンテンツを送信する前に、エンドユーザーから明示的な書面による同意が取得されたことを示す必要があります。詳細については、「[許可を取得する](#)」を参照してください。オプトインワークフローを更新して再送信します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
オプトインワークフローが登録済みブランド名または商号 (DBA) 名と一致しません。	オプトインメッセージサンプルの会社名には、登録されたブランド名または DBA 名が含まれている必要があります。オプトインメッセージサンプルに会社名を追加し、再送信します。
オプトインワークフロー URL またはイメージが見つからないか、アクセスできず、検証できませんでした。	オプトインワークフローまたはキャンペーンの説明にオプトインワークフロー URL またはイメージが指定されていないか、指定された URL にアクセスできません。ライブオプトイン URL またはホストされたオプトインイメージ (スクリーンショットまたはモックアップ) への URL を使用して、準拠しているオプトインプロセスを提供し、エンドユーザーがメッセージングに同意してから再送信するすべての可能な方法を提供します。
オプトインワークフローは、ユースケースがモバイルオペレーターによって制限または禁止されていること、ギャンブルを示しています。	オプトインワークフローは、メッセージコンテンツがモバイルオペレーターによって許可されていないギャンブルに関連していることを示します。
オプトインワークフローは、ユースケースがモバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされること、高リスク金融サービスを示しています。	オプトインワークフローは、メッセージコンテンツが短期ローンや暗号通貨などの高リスクの金融サービスに関連していることを示します。これは、モバイルオペレーターによって許可されていません。
オプトインワークフローは、ユースケースがモバイルオペレーターによって制限または禁止されているとみなされること、違法薬物を示しています。	オプトインワークフローは、メッセージコンテンツが、モバイルオペレーターが許可されていない大麻などの連邦政府の違法薬物に関連していることを示しています。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
オプトインワークフローは、ユースケースがモバイル通信事業者によって制限または禁止されているとみなされる、以下に該当することを示しています。SHAFT (性的、憎悪、アルコール、銃器、タバコ/パイプ)。	オプトインワークフローは、メッセージコンテンツに、モバイル通信事業者によって制限または禁止されているとみなされる SHAFT (性的、憎悪、アルコール、銃器、タバコ/パイプ) という性的に露骨な、または憎悪的なコンテンツが含まれていることを示します。
オプトインワークフローが準拠していないか、必要な「メッセージとデータレートが適用される可能性があります」の開示がありません。	オプトインワークフローが準拠していないか、オプトインに「メッセージとデータレートが適用される場合があります」の開示が含まれていません。オプトインワークフローは、米国の通信事業者の義務に従って、メッセージとデータレートの開示をエンドユーザーに通知する必要があります。
オプトインワークフローに、HELP または STOP の手順は含まれていません。	オプトインワークフローには、「ヘルプを受けるには HELP を返信する」、「キャンセルするには STOP を返信する」、または利用規約の HELP 指示など、メッセージプログラムに関してエンドユーザーがブランドからさらにサポートを受ける方法に関する指示を含める必要があります。
オプトインワークフローが準拠していないか、必要なメッセージ頻度の開示がありません。	オプトインワークフローが準拠していないか、メッセージ頻度の開示が含まれていません。オプトインワークフローは、定期的なメッセージプログラムのためにエンドユーザーにメッセージを送信する頻度を示す必要があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
オプトインワークフローが準拠していないか、データがサードパーティーと共有されないというステートメントや、プライバシーポリシーの開示へのリンクがありません。	オプトインワークフローが準拠していないか、オプトインに、モバイルオプトインデータがサードパーティーと共有されないというプライバシーポリシーまたはステートメントへのリンクが含まれません。オプトインワークフローには、メッセージプログラムのプライバシーポリシーへのリンクを含めるか、モバイルオプトインデータが共有されないことを示す文言を含める必要があります。オプトインワークフローを更新して再送信します。
オプトインワークフローが準拠していないか、必須の利用規約の文言がありません。	オプトインワークフローは準拠しておらず、メッセージプログラムの完全な利用規約の文言または完全な利用規約のリンクが含まれていません。

オプトアウトメッセージが拒否された場合は、次の表を使用して拒否された理由と修正方法を確認してください。準拠しているオプトインを作成する方法に関する全体的なガイダンスについては、「[How to Build a Compliant SMS Opt-In Process](#)」を参照してください。既存の登録を変更して問題に対処し、再送信できます。登録の編集の詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

オプトアウトメッセージ拒否の理由

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
オプトアウトメッセージに登録済みブランド名または商号 (DBA) 名が含まれていません。	オプトアウトメッセージの会社名は、送信者を明確にするために、登録されたブランド名または DBA 名と一致するか、ほぼ同じである必要があります。オプトアウトメッセージを更新して再送信します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
オプトアウトメッセージは、それ以上メッセージが送信されないことを示すものではありません。	オプトアウトメッセージは、それ以上のメッセージは送信されないことを示す必要があります。オプトアウトメッセージを更新して再送信します。

プライバシーポリシーが拒否された場合は、以下の表を参考に、拒否された理由と、修正する方法を確認してください。準拠しているオプトインを作成する方法に関する全体的なガイダンスについては、「[How to Build a Compliant SMS Opt-In Process](#)」を参照してください。既存の登録を変更して問題に対処し、再送信できます。登録の編集の詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

プライバシーポリシー拒否の理由

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
プライバシーポリシーのリンクがないか、アクセスできません。	プライバシーポリシー URL を確認できないか、指定された URL にアクセスできません。URL を更新して再送信します。
プライバシーポリシーは、サードパーティーとのモバイルオプトインデータ共有を参照しているか、モバイルオプトインデータがサードパーティーまたは関連会社と共有されないことを明記していません。	プライバシーポリシーでは、モバイルオプトインデータがサードパーティーと共有されないことを示す必要があります。プライバシーポリシーを更新して再送信します。

サンプルメッセージが拒否された場合は、以下の表を参考に、拒否された理由と、修正する方法を確認してください。準拠しているオプトインを作成する方法に関する全体的なガイダンスについては、「[How to Build a Compliant SMS Opt-In Process](#)」を参照してください。既存の登録を変更して問題に対処し、再送信できます。登録の編集の詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

メッセージ拒否の理由の例

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
サンプルメッセージ (複数可) に登録済みブランド名または商号 (DBA) 名が含まれていません。	サンプルメッセージの会社名は、送信者を明確にするために、登録されたブランド名または DBA 名と一致するか、ほぼ同じである必要があります。サンプルメッセージを更新して再送信します。
サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツがギャンブルに関連しており、米国の通信事業者では許可されていないことを示しています。	サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツがギャンブルに関連しており、米国の通信事業者では許可されていないことを示しています。
サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツがローンや暗号通貨などの高リスクの金融サービスに関連しており、米国の通信事業者によって許可されていないことを示しています。	サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツがローンや暗号通貨などの高リスクの金融サービスに関連しており、米国の通信事業者によって許可されていないことを示しています。
サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツが大麻などの連邦政府の違法薬物に関連しており、米国の通信事業者では許可されていないことを示しています。	サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツが大麻などの連邦政府の違法薬物に関連しており、米国の通信事業者では許可されていないことを示しています。
サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツがサードパーティーのジョブボードに関連しており、米国の通信事業者によって許可されていないことを示しています。	サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツがサードパーティーのジョブボードに関連しており、米国の通信事業者によって許可されていないことを示しています。
サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツが SHAFT (性的、憎悪、アルコール、銃器、タバコ/パイプ) に関連しており、米国の通信事業者によって許可されていないことを示しています。	サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツが SHAFT (性的、憎悪、アルコール、銃器、タバコ/パイプ) に関連しており、米国の通信事業者によって許可されていないことを示しています。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツがスイープに関連しており、米国の通信事業者によって許可されていないことを示します。	サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツがスイープに関連しており、米国の通信事業者によって許可されていないことを示します。
埋め込み電話番号の使用が選択されていますが、メッセージサンプルには存在しません。	埋め込み電話番号の使用が選択されていますが、メッセージサンプルには存在しません。埋め込み電話番号をメッセージサンプルに追加するか、埋め込み電話番号の選択を解除してから再送信します。
サンプルメッセージ (複数可) には、汎用短縮 URL など制限されたコンテンツが含まれています。	bit.ly または tinyURL などのパブリック URL 短縮子が含まれているサンプルメッセージを 10DLC メッセージコンテンツで送信することは許可されません。
サンプルメッセージ (複数可) ユースケースが宣言されたユースケース (複数可) と一致しません。	サンプルメッセージに示されているユースケースは、登録されたユースケースと一致する必要があります。サンプルメッセージを更新するか、キャンペーンを正しいユースケースで再登録して再送信します。
サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージコンテンツが寄付金を要求しているが、選択されたユースケースはチャリティーではないことを示しています。	サンプルメッセージで、メッセージプログラムを通じて寄付金を募っていることが示されている場合、キャンペーンのユースケースはチャリティーである必要があります。サンプルメッセージを更新するか、キャンペーンを正しいユースケースで再登録して再送信します。
サンプルメッセージ (複数可) は、メッセージの内容が政治であることを示しますが、選択したユースケースは政治ではありません。	サンプルメッセージが、メッセージプログラムを通じて政治的メッセージを送信していることを示している場合、キャンペーンのユースケースは政治である必要があります。サンプルメッセージを更新するか、キャンペーンを正しいユースケースで再登録して再送信します。

利用規約が拒否された場合は、次の表を使用して拒否された理由と修正方法を確認してください。準拠しているオプトインを作成する方法に関する全体的なガイダンスについては、「[How to Build a Compliant SMS Opt-In Process](#)」を参照してください。既存の登録を変更して問題に対処し、再送信できます。登録の編集の詳細については、「[登録を編集する](#)」を参照してください。

利用規約拒否の理由

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
利用規約に登録済みブランド名または商号 (DBA) 名が含まれていません。	利用規約の会社名は、登録されたブランド名または DBA 名と一致するか、ほぼ同じである必要があります。キャンペーンの説明を更新して再送信します。
利用規約リンクがないかアクセスできないため、確認できません。	指定された利用規約 URL がないか、アクセスできません。準拠している URL を指定して再送信します。
利用規約が非準拠です。	利用規約には、米国の通信事業者が義務付ける以下の 1 つ以上のものが含まれていません。米国の通信事業者は、遅延または未配信のメッセージに対して責任を負わないというステートメント、1 か月あたりのメッセージ数などの定期的なメッセージプログラムのメッセージ頻度の開示、エンドユーザーがキャンペーンからのメッセージの受信をオプトアウトする方法に関する情報、カスタマーケアの連絡先情報、またはエンドユーザーがブランドからさらにサポートを受ける方法に関する情報。
利用規約に通信事業者の責任に関するステートメントが含まれていません。	利用規約に米国の通信事業者が遅延または未配信のメッセージに対して責任を負わないというステートメントが含まれていません。
利用規約にカスタマーケアの連絡先情報が含まれていません。	利用規約に米国の通信事業者が義務付けている、カスタマーサービスの連絡先情報、またはエンドユーザーがブランドからさらにサポート

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
	を受ける方法に関する情報が 1 つ以上含まれていません。
利用規約に必要なメッセージ頻度の開示が含まれていません。	利用規約に米国の通信事業者が義務付ける、1 か月あたりのメッセージ数など、定期的なメッセージプログラムのメッセージ頻度の開示に関する情報が 1 つ以上含まれていません。
利用規約にオプトアウトの文言が含まれていません。	利用規約にエンドユーザーがキャンペーンからのメッセージの受信をオプトアウトする方法に関する情報が含まれていません。
利用規約にプライバシーポリシーへのリンクが含まれていません。	利用規約には、プライバシーポリシーへのリンクが含まれている必要があります。利用規約を更新して再送信します。
利用規約にキャンペーンのユースケースの説明が含まれていません。	利用規約には、メッセージプログラムの目的の説明が含まれている必要があります。利用規約を更新して再送信します。
利用規約に宣言されたユースケースに関連するプログラムの説明や規約が含まれていません。	利用規約プログラムの説明が、キャンペーンのユースケースと関係ありません。利用規約を更新してから再送信します。

登録の問題 サポート に関する詳細情報を 取得する

サードパーティーのダウストリームレビュー担当者は、登録に問題を見つけ、関連するエラーメッセージと共に登録を拒否する場合があります。登録エラーメッセージと解決策の詳細については、「[登録に関する Gen-AI フィードバック \(プレビュー\)](#)」を参照してください。また、「[Amazon Pinpoint で SMS を送信するための 10DLC 登録のベストプラクティス](#)」および「[Amazon Pinpoint で準拠した SMS オプトインプロセスを構築する方法](#)」ブログ記事で、SMS ユースケースを正常に登録する方法の詳細を確認する必要があります。

SMS ユースケースの承認にまだ問題がある場合は、に連絡して サポート、ユースケースが拒否された理由を理解するために追加のサポートを依頼できます。これにはダウンストリームエンゲージメントが必要であり、拒否理由をよりよく理解するには時間がかかることに注意してください。

 Note

米国を拠点としておらず、10DLC ブランド登録に失敗した場合は、次の操作を行う必要があります。

1. これは 10DLC ブランドの手動レビューであるため、[10DLC ブランド審査フォーム](#) に適用します。
2. 審査に失敗した場合は、以下の指示に従ってサポートチケットを送信します。

拒否された 10DLC ブランドまたはキャンペーンに関する情報提供のリクエストの送信

1. <https://support.console.aws.amazon.com/support/home#/case/create?issueType=service-limit-increase> で AWS サポート ケースを作成します。
2. [ケースを作成] ページで、次の操作を行います。
 - [アカウントと請求] を選択します。
 - [サービス] で、[Service Quotas] を選択します。
 - [カテゴリ] で、リクエストに応じて [AWS End User Messaging SMS (Pinpoint)] または [AWS End User Messaging Voice (Pinpoint)] のいずれかを選択します。
 - [重要度] で、[一般的な制限事項] を選択します。
3. Requests セクションで、以下の操作を行います。
 - リージョンで、キャンペーンを登録 AWS リージョン しようとした を選択します。
 - [リソースタイプ] で、照会する登録のタイプを [10DLC または TFN 登録]、[10DLC 登録]、[登録]、[送信者 ID 登録]、または [テンプレート登録] から選択します。
 - [クォータ] で、[Company or 10DLC Campaign Registration Rejection]、[一般的なお問い合わせ]、または [Registration Rejection Query] を選択します。
4. [ユースケースの説明] で、拒否された登録 ID を入力します。
5. [次のステップ: 今すぐ解決するか、お問い合わせください] を選択します。[優先する問い合わせ言語] で、本件に関して連絡を受けるのに、[英語] か [日本語] を選択します。
6. お問い合わせ方法には、サポート チームとのコミュニケーション方法を選択します。

7. [Submit] を選択してください。

サポート チームは、お客様の サポート ケースで 10DLC キャンペーン登録が拒否された理由に関する情報を提供します。

登録フォーム

次の登録は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールから入力して送信できます。

トピック

- [AWS End User Messaging SMS でのオーストラリアの送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのベラルーシの送信者 ID 登録](#)
- [中国の SMS テンプレート登録フォーム](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのエジプトの送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのフィンランドの送信者 ID 登録](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのインドの送信者 ID 登録プロセス](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのインドネシアの送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのアイルランドの送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのヨルダンの送信者 ID 登録](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのカザフスタンの送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのケニアの送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのクウェートの送信者 ID 登録](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのフィリピンの送信者 ID 登録](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのカタール送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのロシアの送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのサウジアラビアの送信者 ID 登録](#)
- [シンガポールの送信者 ID 登録処理](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのスリランカの送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのタイの送信者 ID 登録](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのトルコの送信者 ID 登録](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのアラブ首長国連邦の送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS での英国の送信者 ID 登録プロセス](#)

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのベトナムの送信者 ID 登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS でのザンビアの送信者 ID 登録](#)

AWS End User Messaging SMS でのオーストラリアの送信者 ID 登録

オーストラリアで送信者 ID を登録するには、次の手順に従います。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
 - [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
 - [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [オーストラリア固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。
 - [認可書] については、[認可書](#) をダウンロードして入力し、アタッチします。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

- [会社登録ドキュメント] については、会社がオーストラリアに拠点を置いていない場合は、会社の登録ドキュメントのコピーを提出する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。
- [会社識別番号] には、オーストラリアに本社を置く場合は ABN/ACN/ARBN/ICN、海外に拠点を置く場合は EIN/VAT など、会社の識別番号を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Promotions and Marketing] (プロモーションおよびマーケティング) — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。

- [メッセージサンプル 2 – オプション] および [メッセージサンプル 3 – オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS でのベラルーシの送信者 ID 登録

次の手順に従って、ベラルーシの送信者 ID を登録します。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
 - [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
 - [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [ベラルーシ固有の情報] セクションに、次のように入力します。

- [トランザクションコンテンツの確認] では、ベラルーシの送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

中国の SMS テンプレート登録フォーム

SMS テンプレートの登録には、サポートセンターコンソールでのサポートケースをオープンする必要があります。

Note

送信の許可を受けるためにアカウント用の SMS テンプレートを登録する必要があるのは、中国のみです。

SMS テンプレートの登録

1. <https://support.console.aws.amazon.com/support/home#/case/create?issueType=service-limit-increase> で AWS サポート ケースを作成します。
2. [サービス] セクションで、次の操作を行います。
 - [制限タイプ] で、[AWS End User Messaging SMS (Pinpoint)] を選択します。
 - [SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリへのリンクを提供] - オプションで、利用者が SMS メッセージの受信をオプトインするウェブサイトまたはアプリケーションを指定します。
 - [送信する予定のメッセージのタイプは何ですか] - オプションで、送信者 ID を使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。

- [メッセージの送信元の AWS リージョン] - オプションで、メッセージの送信元の AWS リージョン を選択します。
- [メッセージの送信先となる国] - オプションで、メッセージを送信する先の国または地域を入力します。

 Note

送信の許可を受けるためにアカウント用のテンプレート登録が必要であるのは、中国のみです。

- [メッセージの受け取りをオプトインする方法] - オプションで、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - [お客様にメッセージを送信するために使用するメッセージテンプレートを指定してください] - オプションで、使用するテンプレートを指定します。
3. Requests セクションで、以下の操作を行います。
- [リージョン] で、API リクエストを行う予定の AWS リージョン を選択します。
 - [リソースタイプ] で、[テンプレートの登録] を選択します。
 - [クォータ] で、以下のいずれかを選択します。
 - [ワンタイムパスワード/2 要素認証] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション/マーケティング] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - [トランザクション/通知/OTP/2FA] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - [新しいクォータ値] には、1 を入力します。
4. [ケースの説明] の [ユースケースの説明] で、ユースケースとオプトインワークフローについて説明します。
- 使用する予定の SMS メッセージテンプレート。
 - 各受信者に 1 か月あたりに送信する予定のメッセージの数。

- 顧客がお客様からのメッセージの受信をオプトインする方法に関する情報。
 - 会社または組織の名前。
 - 会社または組織に関連付けられている住所。
 - 会社または組織の拠点を置く国。
 - 会社または組織の電話番号。
 - 会社または組織のウェブサイトの URL。
5. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
 6. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。国別の登録フォームをお送りしますので、記入していただき、ダウンストリーム処理のために返送してください。

Important

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

AWS End User Messaging SMS でのエジプトの送信者 ID 登録

次の手順に従って、エジプトの送信者 ID を登録します。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
- [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [エジプト固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。

- [認可書] については、[認可書](#) をダウンロードして入力し、アタッチします。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [会社登録ドキュメント] については、会社がエジプトに拠点を置く場合は、会社登録ドキュメントのコピーを提出する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [Tax Card ドキュメント] の場合、会社がエジプトに拠点を置く場合は、Tax Card ドキュメントのコピーを提供する必要があります。
- [トランザクションコンテンツの確認] で [はい] を選択して、送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] – これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] – 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。

- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。

11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS でのフィンランドの送信者 ID 登録

送信者 ID をフィンランドに登録するには、次の手順に従ってください。フィンランドの規制 (Traficom Order 28 L/2025 M) で義務付けられているように、フィンランドの携帯電話番号に SMS メッセージを送信するために使用されるすべての送信者 IDs は、ローカルオペレーターに事前登録する必要があります。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

 Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。

[次へ] を選択します。

4. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- 会社名には、正式に登録された会社名を入力します。
- 会社識別番号 – オプションで、可能であれば、納税者番号または事業者登録番号 (フィンランドのビジネス ID や VAT 番号など) を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

5. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - ワンタイムパスワード – ワンタイムパスワードまたは検証コードをユーザーに送信する場合に使用します。
 - アカウントまたはセキュリティアラート – アカウント通知またはセキュリティアラートの送信に使用します。
 - [購入または配信通知] – これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] – 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。

- [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
- [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
- プロモーションとマーケティング — プロモーションまたはマーケティングメッセージを送信するために使用します。
- [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。

[次へ] を選択します。

6. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [メッセージサンプル 1] に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

7. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
8. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのインドの送信者 ID 登録プロセス

インドの受信者に SMS メッセージを送信するには、国際ルートとローカルルートの 2 つの方法があります。

インドの国際ルートとローカルルートについて

国際ルート (ILDO)

デフォルトでは、インドの受信者にメッセージを送信すると、AWS End User Messaging SMS は国際長距離オペレーター (ILDO) ルートを使用してそれらのメッセージを送信します。受信者が ILDO 接続経由で送信されたメッセージを表示すると、(専用のショートコードを購入しない限り) ランダムに共有されたショートコードから送信されたように見えます。インドへの国際 SMS は、アルファベットの送信者 IDs。

国際ルートには制限 AWS リージョン はありません。共有ショートコードか専用ショートコードにかかわらず、AWS エンドユーザーメッセージング SMS AWS リージョン が利用可能な任意の から、国際ルート経由でインドにメッセージを送信できます。

ローカルルート (DLT 登録送信者 IDs)

インドに登録されている企業は、専用のアルファベットの送信者 IDs を使用してメッセージを送信することもできます。送信者 ID を使用する場合は、ILDO ルートではなくローカルルート経由でメッセージを送信する必要があります。ローカルルートでは、このページで説明されている DLT 登録プロセスを完了する必要があります。

Important

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は AP-SOUTH-1 アジアパシフィック (ムンバイ) および AP-SOUTH-2 アジアパシフィック (ハイデラバード) AWS リージョン経由のローカルインドルートのみをサポートします。この制限は、DLT に登録された送信者 IDs を使用するローカルルートに適用されます。どの からでも使用できる国際ルートやショートコードには適用されません AWS リージョン。

コスト比較

Note

国際 (ILDO) ルートを使用してメッセージを送信する場合の料金は、ローカルルートを通じてメッセージを送信する場合の料金よりも大幅に高くなります。両方のルートタイプの現在の料金については、[AWS 「エンドユーザーメッセージング料金」](#) ページを参照してください。

ローカルルートを使用してメッセージを送信するには、まず I 分散型台帳 (DLT) ポータルを介してユースケースとメッセージテンプレートをインド電気通信規制庁 (TRAI) に登録する必要があります。DLT ポータルからユースケースを登録すると、エンティティ ID とテンプレート ID が発行さ

れ、AWS End User Messaging SMS でメッセージを送信する際に指定する必要があります。これらの登録要件は、インドの消費者が受信する未承諾メッセージの数を減らし、潜在的に有害なメッセージから消費者を保護するために設定されています。

登録処理を完了するには、以下の情報を指定する必要があります。

- 組織の Permanent Account Number (PAN)。
- 組織の Tax Deduction Account Number (TAN)。
- 組織の Goods and Services Tax Identification Number (GSTIN)。
- 組織の Corporate Identity Number (CIN)。
- 組織を VilPower に登録する権限を与える承認書。Vilpower ウェブサイトには、ニーズに合わせてダウンロードして変更できるテンプレートがあります。

インドに SMS メッセージを送信するには、以下の手順で行います

1. [TRAJ に会社とユースケースを登録し、必要なテレマーケティングチェーンを作成する](#)
2. [AWS エンドユーザーメッセージング SMS での India 送信者 ID 登録](#)
3. [インドへのメッセージ送信時のエンティティ ID とテンプレート ID の値を指定する](#)

トピック

- [TRAJ に会社とユースケースを登録し、必要なテレマーケティングチェーンを作成する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS での India 送信者 ID 登録](#)
- [インドへのメッセージ送信時のエンティティ ID とテンプレート ID の値を指定する](#)
- [メッセージ送信時のテンプレートマッチングの問題について](#)

TRAJ に会社とユースケースを登録し、必要なテレマーケティングチェーンを作成する

最初に、TRAJ に会社およびユースケースを登録する必要があります。すべての DLT 登録ポータルサイトで、同じ登録情報を提供する必要があります。これらのポータルサイトから受け取るエンティティ ID およびテンプレート ID の値は、互換性があります。

Note

会社の登録には料金が発生する場合があります。

テレマーケティングチェーン登録プロセス

1. DLT プロバイダーでプリンシパルエンティティ (PE) アカウントにログインまたは作成します。

例: <https://www.vilpower.in/>

Note

アカウントを作成する場合は、エンティティタイプとして [企業] を選択します。

2. 以下の表のテレマーケティング担当者ごとに、DLT プラットフォームにテレマーケティング担当者のチェーン (TM) を作成する必要があります。複数のプロバイダーを使用するため、SMS が確実に配信されるように複数のチェーンを作成する必要があります。

テレマーケティング担当者

テレマーケティング担当者名	テレマーケティング担当者 ID (TM ID)
ルート台帳テクノロジープライベート制限	1002786139254391
Karix Mobile Pvt Ltd	110200001000
Sinch Cloud Communication Services India Private Limited	1102502720000073897
Infobip India Private Limited	110200001152

Note

2025 年 2 月 6 日現在、ACL MOBILE PRIVATE LIMITED Telemarketer ID は不要になり、Sinch Cloud Communication Services India Private Limited Telemarketer を通じて管理されています。

TM のチェーンを作成するには:

- a. DLT プラットフォームの [チェーン] セクションに移動します。一部の DLT プロバイダーは、この SMS ワークフローを呼び出します。
- b. 新しいチェーンを作成するオプションを選択します。

- c. 上記の表からエンティティ名または関連するテレマーケティング担当者 ID (TM ID) リストを検索します。

 Important

DLT ポータルの [チェーン] タブに TM が見つからない場合、DLT プロバイダーが最初に TM を追加する必要がある場合があります。これを行うには、[TM] タブに移動し、上の表に記載されている各 TM を追加します。

- d. テレマーケティング担当者 (TM) の承認チェーンを送信すると、TM はリクエストを確認して承認します。該当する場合、TM はチェーン内の他の TM と協力して作業を行い、全員が含まれるようにし、最終的に Telemarketer-Delivery Function (DF) が TM チェーン全体を承認します。
- e. TM によって承認されると、リクエストは PE として返されます。DLT プラットフォームに再度ログインし、PE から TM チェーンを承認する必要があります。その時点でチェーンは完了します。

India DLT プロセスを初めて使用する場合は、送信者 ID (ヘッダー)、コンテンツテンプレート、メッセージの同意を登録するための要件も満たしていることを確認してください。各 DLT プロバイダーには、それぞれ少しずつ違いがあります。プロバイダーのサポートが必要な場合は、それぞれの DLT サポートチームにお問い合わせください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS での India 送信者 ID 登録

TRAI に会社登録およびユースケース登録を行った後、サポートでケースを作成する必要があります。サポート チームは、ケースで指定した情報を使用して、エンティティ ID とテンプレート ID を関連付けます AWS アカウント。

 Note

インドでは、トランザクション送信者 ID の長さを 3~6 文字にすることができます。プロモーション送信者 ID は 6 文字にする必要があります。すべての送信者 ID の承認は TRAI によって所有されます。

[トランザクションメッセージ](#)の送信者 ID を登録するには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用するか、[プロモーションメッセージ](#)の送信者 ID を登録して AWS サポート ケースを作成します。

インドのトランザクションメッセージ送信者 ID 登録

インドでトランザクションメッセージの送信者 ID を登録するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。インドの送信者 ID は 3~6 文字のアルファベットである必要があります。
 - [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [インド固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。
 - [チェーン ID: プリンシパルエンティティ ID (PEID)] には、インド電気通信規制局 (TRAI) の登録プロセスを完了した後に受け取った PEID を入力します。
 - [チェーン ID: ROUTE LEDGER TECHNOLOGIES PRIVATE LIMITED] には、テレマーケティング担当者のチェーンを作成した後、DLT プラットフォームに表示される承認済みのチェーン ID を入力します。
 - [チェーン ID: Karix Mobile Pvt Ltd] には、テレマーケティング担当者のチェーンを作成した後、DLT プラットフォームに表示される承認済みのチェーン ID を入力します。

- [チェーン ID: Sinch Cloud Communication Services India Private Limited] には、テレマーケティング担当者のチェーンを作成した後、DLT プラットフォームに表示される承認済みのチェーン ID を入力します。
- [チェーン ID: Infobip India Private Limited] には、テレマーケティング担当者のチェーンを作成した後、DLT プラットフォームに表示される承認済みチェーン ID を入力します。
- [必須の送信パラメータの確認] で [はい] を選択して、インドにメッセージを送信するときに [\[エンティティ ID とテンプレート ID の値\]](#) を指定することを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] – これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] – 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [メッセージサンプル 1] に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

インドのプロモーションメッセージ送信者 ID 登録

インドでプロモーションメッセージの送信者 ID を登録するには、次の手順に従います。

プロモーションメッセージの送信者 ID を登録する

1. で AWS サポート ケースを作成しますか? <https://support.console.aws.amazon.com/support/home#/case/createissue?service-limit-increase>。
2. [ケースを作成] セクションで、以下の操作を行います。
 - [制限タイプ] で、[AWS End User Messaging SMS (Pinpoint)] を選択します。
 - [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages] で、利用者が SMS メッセージの受信をオプトインするウェブサイトまたはアプリケーションを指定します。
 - [送信する予定のメッセージの種類] で、[プロモーション] を選択します。
 - [ワンタイムパスワード] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
 - メッセージを送信する予定の国については、メッセージを送信 AWS リージョン する元の を選択します。
3. Requests セクションで、以下の操作を行います。
 - リージョンで、API リクエストを行う AWS リージョン 予定の を選択します。
 - [リソースタイプ] で、[テンプレートの登録] を選択します。
 - [制限] で、以下のいずれかを選択します。

- [ワンタイムパスワード] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。
4. [ケースの説明] の [ユースケースの説明] で、ユースケースとオプトインワークフローについて説明します。
 5. [連絡先オプション] の [優先される問い合わせ言語] で、このケースに関する連絡を [英語] で受け取るか [日本語] で受け取るかを選択します。
 6. 完了したら、[送信] を選択します。

リクエストの受信後、24 時間以内に最初の応答を提供します。国別の登録フォームをお送りしますので、記入していただき、ダウンストリーム処理のために返送してください。

Important

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

インドへのメッセージ送信時のエンティティ ID とテンプレート ID の値を指定する

ローカルルートを使用してメッセージを正常に配信するには、送信者 ID の登録作業を完了した後に受け取ったエンティティ ID とテンプレート ID の値を指定する必要があります。また、正しいエンティティタイプを選択し、メッセージが登録したテンプレート例と一致していることを確認する必要があります。

実行する手順は、SMS メッセージの送信方法によって異なります。[SendTextMessage](#) API を使用してメッセージを送信する場合、API への呼び出しにこれらの属性を含めます。キャンペーンまたはジャーニーを利用してメッセージを送信する場合、キャンペーンまたはジャーニーの設定時に正しい値を指定できます。このセクションでは、両方のシナリオについて説明します。

SendTextMessage API を使用してインドのローカルルートでメッセージを送信する

1. SendTextMessages API で、次のパラメーターの値を指定します。

- [EntityId] - 送信者 ID の登録完了後に取得したエンティティ ID または PE (Principal Entity) ID です。
- [TemplateId] - 送信者 ID の登録が完了した後に受け取ったテンプレート ID。

Important

指定したテンプレート ID がメッセージテンプレートと完全に一致している必要があります。登録時に指定したテンプレートと一致しない場合、携帯端末通信事業者が受信を拒否することがあります。

2. MessageType パラメータには、メッセージに適したルートタイプを指定します。次のいずれかの値を指定できます。

- [Promotional] - プロモーションメッセージにこのメッセージタイプを指定します。プロモーションの送信者 ID は数字のみです。
- [Transactional] - トランザクションメッセージに対してこのメッセージタイプを指定します。トランザクションの送信者 ID は文字のみで、大文字と小文字が区別されます。

Note

プロモーション (数値) 送信者 ID とトランザクション (アルファベット) 送信者 ID の両方を同じ AWS アカウントに登録できます。

その他のコンテンツガイドラインについては、Vilpower のウェブサイト (<https://www.vilpower.in>) を参照してください。

3. メッセージにコンテンツを追加する際には、DLT に登録されたテンプレートのコンテンツと完全に一致するように、コンテンツを十分に検討する必要があります。通信事業者は、メッセージコンテンツに追加の返ってくる文字、スペース、句読点、または文の大文字と小文字が一致しない場合、SMS メッセージをブロックします。テンプレートマッチングに関連する問題の詳細については、「[メッセージ送信時のテンプレートマッチングの問題について](#)」を参照してください。

メッセージ送信時のテンプレートマッチングの問題について

インドの通信事業者は、登録時に提出したテンプレートと一致しない場合、メッセージを拒否します。メッセージの配信に問題が発生した場合、以下の一般的な問題がないかを確認する必要があります。

- [Message content doesn't match registered template] - 送信するすべてのメッセージは、登録したテンプレートに対応している必要があります。指定したテンプレート ID に関連付けられたテンプレートと完全に一致しないメッセージを送信すると、携帯端末通信事業者はメッセージを拒否します。
- [The value of a variable is too long] - 変数の値に 30 文字以上含まれる場合、携帯端末通信事業者はメッセージを拒否します。
- [Case mismatch] - 通信事業者は、お客様が登録したテンプレートとお客様のメッセージを比較します。この比較処理では、大文字と小文字が区別されます。
- [Slightly different characters] - 登録したテンプレートの文字と似ていても、実際には異なる文字が使われている場合、メッセージが拒否されることがあります。例えば、Microsoft Word からテキストをコピーする場合、テキストにはストレートクォート文字 (") ではなく、カーリークォート文字 (“ ”) が含まれていることがあります。メッセージが登録済みのテンプレートと正確に一致していることを確認する必要があります。

AWS End User Messaging SMS でのインドネシアの送信者 ID 登録

以下の手順に従って、インドネシアの送信者 ID を登録します。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
- [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [インドネシア固有の情報] セクションに、次のように入力します。

- [認可書: XL Axiata] では、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このフォームには、ビジネスにインドネシアの現地住所があるかどうかに応じて、2 つのバージョンがあります。このドキュメントは任命状とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [認可書: Telkomsel] の場合、会社がインドネシアに拠点を置く場合は、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、記入、アタッチする必要があります。このドキュメントは任命状とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [認可書: IOH] の場合、会社がインドネシアに拠点を置く場合は、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、記入、アタッチする必要があります。このドキュメントは任命状とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [認可書: Smartfren] の場合、会社がインドネシアに拠点を置く場合は、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、記入、アタッチする必要があります。このドキュメントは任命状とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [規制機関のライセンス] の場合、会社の事業分野が資金融資にある場合は、Otoritas Jasa Keuangan (OJK) から運用ライセンスを提供する必要があります。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。

- [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
- [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。

11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS でのアイルランドの送信者 ID 登録

以下の手順に従って、アイルランドの送信者 ID を登録します。

⚠ Important

AWS End User Messaging SMS でアイルランドの送信者 ID 登録を開始する前に、<https://senderid.comreg.ie/sender-id-sign-up> のアイルランド通信規則委員会 (ComReg) 送信者 ID 登録ポータルで最初に登録を完了する必要があります。

ComReg 送信者 ID 登録を完了するときは、必ず以下を完了してください。

- ComReg のセクション 2 で、[サードパーティーの割り当て] と [Amazon Web Services] を選択します。
- ComReg のセクション 3 [OPA の選択] で、以下をすべて選択します。
 - [Sinch Sweden AB]
 - [Telesign Corporation]
 - [Twilio Inc]
 - [Vonage]

サードパーティーとして [Amazon Web Services] を選択しなかった場合、またはすべての OPA を選択しなかった場合、アイルランドへの SMS 配信に影響する可能性があります。ComReg が送信者 ID 登録を承認したら、以下の AWS 登録プロセスに進むことができます。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

i Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
- [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [アイルランド固有の情報] セクションに、次のように入力します。

- [送信者 ID 所有者 (SIDO) 番号 ID] には、登録時に ComReg から受け取った SIDO 番号を入力します。ComReg レジストリポータルで SIDO 番号を見つけるには、ログインし、ホームページの右上隅にあるアカウントアイコンを選択します。
- [会社登録ドキュメント] については、会社の登録ドキュメントをアップロードします。これは、設立証明書 (COI)、トレードライセンス、または同等の国際的なドキュメントにすることができます。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。
- ビジネス分野
- [会社のカスタマーケアの E メールアドレス]
- [会社のカスタマーケアの電話番号]

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- 名
- 姓
- 連絡先 E メールアドレス
- 連絡先電話番号

[次へ] を選択します。

8. [メッセージングユースケース] で、

- [ユースケースカテゴリ] を指定し、次のいずれかのユースケースタイプを選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [アカウントまたはセキュリティアラート]
 - [購入または配信通知] – これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] – 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - プロモーションおよびマーケティング。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。

- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、以下を指定します。

- 少なくとも 1 つのメッセージサンプル (必須)
- 最大 2 つの追加メッセージサンプル (オプション)

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS でのヨルダンの送信者 ID 登録

次の手順に従って、ヨルダンの送信者 ID を登録します。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

 Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
- [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [ヨルダン固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。

- [会社登録ドキュメント] は、会社の拠点がヨルダンにあるか、国外にあるかにかかわらず、会社の登録ドキュメントのコピーを提出します。
- [トランザクションコンテンツの確認] では、ヨルダンの送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択し、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信に使用されること、入力したユースケースの説明がこの送信者 ID にから送信されるすべてのメッセージの説明になっていることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。

- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。

- [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリウム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのカザフスタンの送信者 ID 登録

次の手順に従って、カザフスタンの送信者 ID を登録します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

 Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
 - [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
 - [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. カザフスタン固有の情報セクションで、次のように入力します。

 Note

このセクションのフィールドは、会社がかザフスタンに拠点を置いている (会社の住所の国が KZ) 場合にのみ必須です。会社が海外の場合は、このセクションをスキップできます。

- カザフスタンでのオペレーションの確認では、会社がかザフスタンに拠点を置く場合は、会社がかザフスタンで事業を行っていることを確認する必要があります。これは、.kz ドメイン

からの会社ウェブサイトのスクリーンショット、またはローカル登録証明書のコピーです。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

- ブランドが存在する国の数で、会社がかザフスタンに拠点を置く場合は、ブランドが存在する国の数を指定します。
- ブランド本社の場合、会社がかザフスタンに拠点を置く場合は、ブランドの本社の場所 (都市と国) を指定します。
- 設立日には、会社がかザフスタンに拠点を置く場合は、会社またはブランドが設立された日付を入力します。
- 発信国の場合、会社がかザフスタンに拠点を置く場合は、ブランドまたは会社を最初に設立した国を入力します。
- かザフスタンでの勤務期間について、会社がかザフスタンに拠点を置く場合は、かザフスタン市場で事業を行っていた期間を指定します。
- 設立メンバーの場合、会社がかザフスタンに拠点を置く場合は、会社の設立メンバーの名前を入力します。
- 金融部門ライセンスの場合 – オプションで、会社が金融部門で事業を行っている場合は、金融部門ライセンスを提供することをお勧めします。これは、ライセンス番号でも、ライセンスドキュメントのスクリーンショットでもかまいません。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- サーバー IP アドレスで、会社がかザフスタンにローカルである場合は、メッセージの送信に使用されるサーバーの IP アドレスを指定します。これは、会社のサーバー IP アドレス (IPv4 または IPv6) である必要があります。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。

- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [メッセージサンプル 1] に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 – オプション] および [メッセージサンプル 3 – オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS でのケニアの送信者 ID 登録

次の手順に従って、ケニアの送信者 ID を登録します。

Important

ケニアでの送信者 ID 登録のサポートは、国際企業のみを対象としています。現在、ケニアの現地企業による送信者 ID の登録はサポートしていません。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。

2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
- [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [ケニア固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。

- [会社登録ドキュメント] については、会社の登録ドキュメントのコピーを提供します。例えば、会社の法人証明書 (COI) などです。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [トランザクションコンテンツの確認] では、ケニアの送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。

- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [国コード] には、所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。ケニアでの送信者 ID 登録のサポートは、国際企業のみを対象としています。現在、ケニアの現地企業による送信者 ID の登録はサポートしていません。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。

- [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
- [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。

11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS でのクウェートの送信者 ID 登録

次の手順に従って、クウェートの送信者 ID を登録します。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

 Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
 - [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
 - [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [クウェート固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。
 - [認可書: 全般] では、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは任命状とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
 - [認可書: Ooredoo] では、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは任命状とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
 - [認可書: Zain] では、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは任命状とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

- [会社登録ドキュメント] については、会社がクウェートに拠点を置いている場合は、会社の登録ドキュメントのコピーを提出する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [トランザクションコンテンツの確認] では、クウェートの送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのフィリピンの送信者 ID 登録

次の手順に従って、フィリピンの送信者 ID を登録します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
 - [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。

[次へ] を選択します。

4. [フィリピン固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。

- [認可書: Globe] では、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは任命状とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [認可書: スマート] では、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは任命状とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [認可書: BFSI] の場合、会社の事業分野が銀行、金融サービス、または保険 (BFSI) にある場合は、リンクされた[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、完了、アタッチする必要があります。このドキュメントは任命状とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [会社登録ドキュメント] については、会社の事業分野が銀行、金融サービス、または保険 (BFSI) にある場合、設立証書とも呼ばれる会社の登録ドキュメントのコピーを提出する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [営業許可] の場合、ビジネス分野が BFSI にある場合は、営業許可のコピーを提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [規制機関のライセンス] の場合、会社の事業分野が BFSI である場合は、銀行業務用の BSP ライセンスなど、業界固有の規制ライセンスを提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [送信者 ID 接続の証明] では、会社の事業分野が BFSI であり、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。
- [トランザクションコンテンツの確認] では、フィリピンの送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] – これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] – 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。

- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリウム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [メッセージサンプル 1] に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのカタール送信者 ID 登録

次の手順に従って、カタールの送信者 ID を登録します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
- [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [カタール固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。

- [認可書: Vodafone] では、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは NOC (異議申立てなし証明書) と呼ばれ、手書き署名または Adobe や DocuSign を利用したデジタル署名が必要であり、顧客企業のレターヘッドに印刷する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [認可書: Ooredoo] では、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは NOC (異議申立てなし証明書) と呼ばれ、手書き署名または Adobe や DocuSign を利用したデジタル署名が必要であり、顧客企業のレターヘッドに印刷する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

- [トランザクションコンテンツの確認] では、カタールの送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。
- ローカルトレードライセンスの場合、会社がカタール国内または現地である場合、カタールで事業を運営することを許可するカタール当局によって発行された有効なトレードライセンスドキュメントをアップロードする必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- 会社登録ドキュメントについては、オプションで会社の商用登録ドキュメントをアップロードできます。これは、登録レビュープロセス中にキャリアによってリクエストされる場合があります。事前に提供すると、遅延を回避できます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。

- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [メッセージサンプル 1] に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS でのロシアの送信者 ID 登録

次の手順に従って、ロシアの送信者 ID を登録します。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
 - [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。

- [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [ロシア固有の情報] セクションに、次のように入力します。

- [会社登録ドキュメント] は、会社の拠点がロシアにあるか、国外にあるかにかかわらず、会社の登録ドキュメントのコピーを提出する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [トランザクションコンテンツの確認] では、ロシアの送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。

11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS でのサウジアラビアの送信者 ID 登録

次の手順に従って、サウジアラビアの送信者 ID を登録します。

Important

サウジアラビアでの送信者 ID 登録のサポートは、国際企業のみを対象としています。現在、サウジアラビアの現地企業による送信者 ID の登録はサポートしていません。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。

[次へ] を選択します。

4. [サウジアラビア固有の情報] セクションに、次のように入力します。

- [認可書: Vodafone] では、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは、NOC (異議申立てなし証明書) とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [送信者 ID 接続の証明] では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。
- [トランザクションコンテンツの確認] では、サウジアラビアの送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。

- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [国コード] には、所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。サウジアラビアでの送信者 ID 登録のサポートは、国際企業のみを対象としています。現在、サウジアラビアの現地企業による送信者 ID の登録はサポートしていません。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 – オプション] および [メッセージサンプル 3 – オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。

11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

シンガポールの送信者 ID 登録処理

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のお客様は、シンガポール SMS 送信者 ID レジストリ (SSIR) を通じて登録された送信者 ID を使用して、シンガポールで SMS トラフィックを送信できます。SSIR は、シンガポールの情報通信メディア開発庁 (IMDA) が所有するシンガポールネットワークインフォメーションセンター (SGNIC) を通じて 2022 年 3 月に開始され、シンガポール内の携帯電話に SMS を送信する際に、組織は送信者 ID を登録できるようになりました。登録済みのシンガポール送信者 ID を使用するには、一意のエンティティ番号 (UEN) を取得し、AWS エンドユーザーメッセージング SMS にリクエストを送信して、送信者 ID の使用をアカウントで許可リストに登録し、最後に SSIR を通じて登録プロセスを完了する必要があります。

送信者 ID を登録しない場合、送信者 ID を使用して送信されたすべてのメッセージは、規制当局の規則に従って ID が LIKELY-SCAM に変更されます。規制当局は未登録のトラフィックを独自の裁量でフィルタリングまたはブロックします。

Important

シンガポールの登録は次の順序で完了する必要があります。

1. [シンガポール個別企業登録番号 \(UEN\) の登録](#)
2. [AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して新しい登録を作成する](#) の [登録タイプ] をシンガポールの送信者 ID 登録に設定し、登録フォームに入力します。
3. [シンガポールネットワーク情報センター \(SGNIC\) での送信者 ID の登録](#)

トピック

- [シンガポール個別企業登録番号 \(UEN\) の登録](#)
- [シンガポールの送信者 ID 登録フォーム](#)
- [シンガポールネットワーク情報センター \(SGNIC\) での送信者 ID の登録](#)
- [シンガポールの送信者 ID 登録に関するよくある質問](#)

シンガポール個別企業登録番号 (UEN) の登録

SSIR への登録を開始するには、まずシンガポール個別企業登録番号 (UEN) を取得する必要があります。UEN は、会計企業規制庁 (ACRA) に事業を登録したときに受け取る一意の企業登録番号です。詳細については、「[Who Must Register with ACRA?](#)」(ACRA に登録する必要があるのは誰ですか?) を参照してください。処理にかかる時間は、ACRA がリクエストをどの程度容易に検証できるかによって異なります。

シンガポールの送信者 ID 登録フォーム

Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録用の [名前] フィールドが表示されるようになりました。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録の [名前] は、登録の詳細ページのタグを使用して更新できるオプションのフレンドリ名フィールドです。[名前] タグの追加方法の詳細については、「[AWS End User Messaging SMS で登録の名前を変更する](#)」を参照してください。

AWS End User Messaging SMS をご利用のお客様は、シンガポール SMS 送信者 ID レジストリ (SSIR) を通じて登録された送信者 ID を使用して、シンガポールで SMS トラフィックを送信できます。SSIR は、シンガポールの情報通信メディア開発庁 (IMDA) が所有するシンガポールネットワークインフォメーションセンター (SGNIC) を通じて 2022 年 3 月に開始され、シンガポール内の携帯

電話に SMS を送信する際に、組織は送信者 ID を登録できるようになりました。登録されたシンガポールの送信者 ID を使用するには、個別企業登録番号 (UEN) の取得後、送信者 ID を使用するためにアカウントを許可リストに登録するように AWS End User Messaging SMS にリクエストして、最後に SSIR 経由で登録プロセスを完了します。

 Note

送信者 ID をリクエストして登録する前に、シンガポールの個別企業登録番号 (UEN) を取得する必要があります。詳細については、「[シンガポール個別企業登録番号 \(UEN\) の登録](#)」を参照してください。

シンガポールの送信者 ID 登録の完了

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、完了するシンガポールの送信者 ID 登録を選択します。
3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [税 ID] には、シンガポールの個別企業登録番号を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。
 - [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
 - [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
 - [City] (市) に、本社の市を入力します。
 - [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
 - [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
 - [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。
 - [次へ] を選択します。
4. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [First Name] (名) に、連絡先となる担当者の名を入力します。
 - [Last Name] (姓) に、連絡先となる担当者の姓を入力します。
 - [Support Email] (サポート E メール) に、連絡先となる担当者の E メールアドレスを入力します。

- [Support Phone Number] (サポート電話番号) に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

5. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [別のブランド/組織の代理として登録しますか?] については、[はい] の場合、[True] を選択します。メッセージを送信するエンドユーザーでない場合、ユーザーは他のブランド/エンティティの「代表者」と見なされます。
- [Letter of authorization image] (認可書の画像) (オプション) については、[Registering on behalf of another brand/entity?] (別のブランド/組織の代理として登録しますか?) のボックスをオフにした場合、完全な認可書 (LOA) の画像をアップロードします。サポートされるファイルタイプは PNG で、ファイルの最大サイズは 400 KB です。LOA のテンプレートを[ダウンロード](#)しておくくと便利です。
- [送信者 ID 接続 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。

[次へ] を選択します。

6. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [月間 SMS ボリ्यूーム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [Two-factor authentication] (2 要素認証) — これを使用して 2 要素認証コードを送信します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [Notifications] (通知) — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。

- [Promotions and Marketing] (プロモーションおよびマーケティング) — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
 - [ユースケースの詳細] を完了して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
7. [次へ] を選択します。
 8. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。
 - [メッセージサンプル 1] に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
 - [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。
 9. [次へ] を選択します。
 10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
 11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

 Note

登録が送信されたら、シンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) に送信 ID を登録する必要があります。登録方法の詳細については、「[シンガポールネットワーク情報センター \(SGNIC\) での送信者 ID の登録](#)」を参照してください。SGNIC からシグナルを受信した時点で、登録は完了とみなされます。

シンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) での送信者 ID の登録

送信者 ID をシンガポールネットワークインフォメーションセンター (SGNIC) に登録するには、2 つのステップを以下の順番で完了させる必要があります。

シンガポールネットワーク情報センター (SGNIC) に送信者 ID を登録する

1. まず、AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して、アカウントのシンガポール (SG) 送信者 ID を登録する必要があります。この手順が完了したら、次のステップに進むことができます。

2. [SGNIC SMS 送信者 ID 登録](#)のプロセスを使用して送信者 ID を登録するには、SGNIC と連携します。
 - プロセスを完了する際、AMCS SG Private Limited (Amazon Media Communications Services) を参加アグリゲータとして選択します。

 Warning

これらの手順を順不同で実行すると、サービスに送信者 ID がブロックされる場合や送信者 ID がモバイルデバイス上で保持されない場合があります。

 Note

送信者 ID を使用するために必要なそれぞれの AWS アカウント から送信者 ID 登録を送信する必要があります。

シンガポールの送信者 ID 登録に関するよくある質問

AWS End User Messaging SMS を使用したシンガポールの送信者 ID 番号登録プロセスに関するよくある質問。

現在、私はシンガポールの送信者 ID を持っていますか

シンガポールの送信者 ID を所有しているかどうかを確認するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で [送信者 ID] を選択します。
3. [送信者 ID] ページで、2 文字の国コード **SG** で検索して、シンガポールの送信者 ID があるかどうかを確認できます。

登録にはどのくらい時間がかかりますか？

審査には通常 1~3 週間かかりますが、政府機関に情報を確認するまでに最長で 5 週間以上かかることもあります。

個別企業登録番号 (UEN) とは何ですか？ どうすれば取得できますか？

UEN は、会計企業規制庁 (ACRA) が発行するシンガポールのビジネス ID です。シンガポールの地元の会社や企業は、ACRA を通じて申請することで UEN を取得できます。登録と標準の法人設立手続きを通過すると、発行されます。[Bizfile](#) 経由で ACRA により UEN を申請できます。

自分は、シンガポールの送信者 ID を登録する必要がありますか？

はい。まだシンガポールの送信者 ID を登録していない場合、送信者 ID を使用して送信されたメッセージの ID は LIKELY-SCAM に変更される可能性があります。

シンガポールの送信者 ID を AWS エンドユーザーメッセージング SMS に登録するにはどうすればよいですか？

「[AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して新しい登録を作成する](#)」の指示に従って送信者 ID を登録してください。

自分のシンガポールの送信者 ID の登録ステータスはどうなっていて、そのステータスは何を意味しますか？

「[AWS End User Messaging SMS で登録のステータスを確認する](#)」の指示に従って登録とステータスを確認します。

どのような情報を提供すればよいですか？

会社の住所、担当者の連絡先、ユースケースを指定する必要があります。必要な情報は、「[AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して新しい登録を作成する](#)」で確認できます。

シンガポールの送信者 ID の登録が却下された場合はどうなりますか？

登録が拒否されると、そのステータスが [更新が必要] に変更されます。「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で登録を編集する](#)」の指示に従って更新することができます。

どのようなアクセス許可が必要ですか？

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールにアクセスするために使用する IAM ユーザー/ロールは、アクセス "[sms-voice:*](#)" 許可で有効にする必要があります。

シンガポールの送信者 ID の形式や許可された特殊文字に制限はありますか？

はい。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。

AWS End User Messaging SMS でのスリランカの送信者 ID 登録

次の手順に従って、スリランカの送信者 ID を登録します。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
 - [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
 - [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [スリランカ固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。
 - [承認書 (LOA)] では、[承認書](#)をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは NOC (異議申立てなし証明書) とも呼ばれ、手書き署名または Adobe や DocuSign を利用したデジタル署名が必要であり、顧客企業のレターヘッドに印刷する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

- [単一のユースケースを承認]では、トランザクションとプロモーションのコンテンツは、それぞれ別々のスリランカの送信者 ID を使用して送信する必要があります。[はい] を選択し、入力したユースケースの説明がこの送信者 ID にから送信されるすべてのメッセージの説明になっていることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。

- [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
- [アカウントまたはセキュリティアラート] — ソフトウェアとハードウェアのいずれかであることを問わず、システムのセキュリティが何らかの形で侵害されており、エンドユーザーが実行する必要があるアクションがあることを示す通知。
- [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
- [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
- [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
- [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
- [プロモーションとマーケティング] — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
- [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

Note

ブランド/会社またはサービス名は、メッセージコンテンツと提供されたサンプルメッセージに含める必要があります。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 – オプション] および [メッセージサンプル 3 – オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS でのタイの送信者 ID 登録

以下の手順に従って、タイの送信者 ID を登録します。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
- [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [タイ固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。

- [承認書 (LOA)] では、[承認書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。LOA は、会社の正式な署名者による署名と、当該ブランドの社印、さらに会社のレターヘッドでの作成が必要です。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。

- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [アカウントまたはセキュリティアラート] — ソフトウェアとハードウェアのいずれかであることを問わず、システムのセキュリティが何らかの形で侵害されており、エンドユーザーが実行する必要があるアクションがあることを示す通知。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [プロモーションとマーケティング] — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。

- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのトルコの送信者 ID 登録

2026 年 4 月 1 日発効の URL コンテンツ制限

2026 年 4 月 1 日以降、URLs を含むトルコの携帯電話への SMS メッセージは、登録された送信者 ID なしで送信されるとブロックされます。トルコに登録された送信者 ID がない場合は、以下のプロセスを使用して送信者 ID を登録し、メッセージが引き続き配信されるようになります。

登録された送信者 ID がある場合でも、短縮 URL または汎用 URLs (bit.ly や tinyurl.com など) を含むメッセージはブロックされます。メッセージ内のすべての URLs 会社独自のブランドドメインを使用していることを確認します。

次の手順に従って、トルコの送信者 ID を登録します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

 Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
 - [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
 - [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [トルコ固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。
 - [承認書] では、[承認書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは、NOC (異議申立てなし証明書) と呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
 - 認可書 (ベンダー) の場合、[ベンダー固有の認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

- 会社登録ドキュメントについては、会社の拠点がトルコにあるか、国外にあるかにかかわらず、会社の登録ドキュメントのコピーを提出する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- トランザクションコンテンツの承認において、トルコの送信者 ID ではプロモーションコンテンツの送信は認められていません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] – これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] – 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [メッセージサンプル 1] に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのアラブ首長国連邦の送信者 ID 登録

以下の手順に従って、アラブ首長国連邦の送信者 ID を登録します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
 - [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。

[次へ] を選択します。

4. [アラブ首長国連邦固有の情報] セクションに、次のように入力します。

Note

アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

- [会社登録ドキュメント] は、会社の拠点がアラブ首長国連邦にあるか、国外にあるかにかかわらず、会社の登録ドキュメントのコピーを提出する必要があります。このドキュメントは、法人設立証明書 (COI) または商業ライセンスとも呼ばれます。米国、英国、またはインドで登録されている企業の場合は、設立証明書を提出してください。ドキュメントが英語またはアラビア語でない場合は、認定翻訳が必要です。
- 送信者 ID の証明接続の場合、会社名とこの送信者 ID の間の接続が明確でない場合は、商標証明書などの知的財産権の証拠をブランドに提供する必要があります。ドキュメントは英語またはアラビア語で、発行機関の署名やスタンプが含まれている必要があります。アプリケーションまたはウェブ参照は受け入れられません。
- 認可書: Etisalat (ローカル) の場合、会社のアラブ首長国連邦に拠点を置く場合は、[認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは反対なし証明書 (NOC) とも呼ばれ、会社の署名権限者によって署名され、会社のレターヘッドがエンドブランドから押されている必要があります。
- 認可状: du (Local) の場合、会社のアラブ首長国連邦に拠点を置く場合は、[認可状 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは NOC とも呼ばれ、会社の権限を持つ署名者が署名し、会社のレターヘッドをエンドブランドからスタンプする必要があります。
- du Sender ID 登録フォームの場合、会社のアラブ首長国連邦に拠点を置く場合は、[du Sender ID 登録フォーム](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。これは、認可書に加えて du ネットワークで必要な別の形式です。
- [会社の UAE 設立カード] は、会社のアラブ首長国連邦に拠点を置く場合、会社の UAE 設立カードのコピーを提出する必要があります。
- [署名権限者 UAE ID] は、会社のアラブ首長国連邦に拠点を置く場合、認可書を作成した権限のある署名者の有効なアラブ首長国連邦 ID を入力する必要があります。(UAE ID と UAE パスポートの両方が必要です)。
- [署名権限者 UAE パスポート] は、会社のアラブ首長国連邦に拠点を置く場合、認可書を作成した権限のある署名者の有効なアラブ首長国連邦のパスポートを提出する必要があります。(UAE ID と UAE パスポートの両方が必要です)。

- [署名権限者の委任状] は、会社がアラブ首長国連邦に拠点を置いており、通信委任状を作成した権限のある署名者の名前が会社登録証明書に記載されていない場合、委任状を提出する必要があります。
- Letter of authorization: International (Etisalat) の場合、貴社の所在地がアラブ首長国連邦でない場合は、[Etisalat Network Letter of Authorization \(LOA\)](#) をダウンロード、完了、アタッチする必要があります。国際登録には、Etisalat と du の両方のネットワーク LOAs が必要です。
- 認可状: 国際 (du) の場合、会社がアラブ首長国連邦に拠点を置いていない場合は、[du network letter of authorization \(LOA\)](#) をダウンロード、完了、アタッチする必要があります。国際登録には、Etisalat と du の両方のネットワーク LOAs が必要です。
- [アラブ首長国連邦保健・予防省の認可] は、会社がアラブ首長国連邦に拠点を置き、病院である場合、アラブ首長国連邦保健・予防省の認可書を提出する必要があります。
- [トランザクションコンテンツの確認] では、アラブ首長国連邦の送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] – これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] – 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [メッセージサンプル 1] に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 – オプション] および [メッセージサンプル 3 – オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。

11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS での英国の送信者 ID 登録プロセス

Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録用の [名前] フィールドが表示されるようになりました。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録の [名前] は、登録の詳細ページのタグを使用して更新できるオプションのフレンドリ名フィールドです。[名前] タグの追加方法の詳細については、「[AWS End User Messaging SMS で登録の名前を変更する](#)」を参照してください。

英国の Mobile Ecosystem Forum (MEF) SMS 送信者 ID 保護登録制度は、詐欺的な SMS メッセージの特定とブロックを促進し、消費者だけでなく正当な企業や組織を保護するために設立されました。この登録制度により、組織は英国の顧客に SMS を送信する際に使用する送信者 ID を登録でき、詐欺師によるブランドなりすましの防止が可能になります。

送信者 ID を MEF で保護している場合は、AWS End User Messaging SMS を通じて送信者 ID を登録する必要があります。

Important

送信者 ID が MEF で保護されている場合は、完成版の承認書 (LOA) が必要です。提供される情報は、最終的な会社のものである必要があります。会社に代わって登録する場合は、AWS の承認が必要であり、LOA に会社情報を含めたり参照したりしないでください。

MEF 送信者 ID を登録する

1. [LOA](#) のテンプレートをダウンロードします。
2. 申請する送信者 ID を明確に記載し、ウェブサイトやメッセージテンプレートなどのその他の詳細も漏れなく正しく記入します。送信者 ID の大文字と小文字は、MEF に登録されているものと一致する必要があります。

強調表示されたすべてのフィールドに入力します。

3. LOA の日付は過去 30 日以内である必要があります。
4. LOA を PDF で作成し、[UK 登録](#) の [送信者 ID 情報] セクションの入力を完了する際にアップロードします。ファイルの最大サイズは 400 KB です。

MEF 以外の送信者 ID を登録する

- [英国の送信者 ID 登録フォーム](#)に記入し、[承認書イメージ] – オプションフィールドを省略します。

トピック

- [英国の送信者 ID 登録フォーム](#)

英国の送信者 ID 登録フォーム

送信者 ID を英国に登録するには、次のフォームに入力します。送信者 ID が保護されている場合は、完成した[承認書 \(LOA\)](#) も必要です。

英国の送信者 ID 登録を完了する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、完了する英国の送信者 ID 登録を選択します。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [納税者番号または事業者登録番号] には、事業者番号を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。
- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。
- [次へ] を選択します。

4. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [First Name] (名) に、連絡先となる担当者の名を入力します。
- [Last Name] (姓) に、連絡先となる担当者の姓を入力します。
- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

5. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [承認書イメージ] – オプションの場合: 提供される情報は、最終会社の情報である必要があります。会社に代わって登録する場合は、AWS の承認が必要であり、LOA に会社情報を含めたり参照したりしないでください。
- [LOA](#) のテンプレートをダウンロードします。
- 申請する送信者 ID を明確に記載し、ウェブサイトやメッセージテンプレートなどのその他の詳細も漏れなく正しく記入します。送信者 ID の大文字と小文字は、MEF に登録されているものと一致する必要があります。

強調表示されたすべてのフィールドに入力します。

英国の送信者 ID 登録

- LOA の日付は過去 30 日以内である必要があります。

- LOA を PDF で作成し、[UK 登録] の [送信者 ID 情報] セクションの入力を完了する際にアップロードします。ファイルの最大サイズは 400 KB です。
- [送信者 ID 接続 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。

[次へ] を選択します。

6. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [月間 SMS ボリウム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [Two-factor authentication] (2 要素認証) — これを使用して 2 要素認証コードを送信します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [Notifications] (通知) — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Promotions and Marketing] (プロモーションおよびマーケティング) — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの詳細] を完了して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。

7. [次へ] を選択します。

8. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

9. [次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのベトナムの送信者 ID 登録

次の手順に従って、ベトナムの送信者 ID を登録します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。
 - [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
 - [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。

[次へ] を選択します。

4. [ベトナム固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。
 - 認可書の場合: Local の場合、会社がベトナムに拠点を置く場合は、BM02 フォームとも呼ばれる [認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは、会社のレターヘッドに付いており、すべてのページで会社の印が押され、署名されている必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

- 認可書: 国際 の場合、会社がベトナムに拠点を置いていない場合は、BM04 フォームとも呼ばれる [認可書 \(LOA\)](#) をダウンロード、入力、アタッチする必要があります。このドキュメントは、会社のレターヘッドに付いており、すべてのページで会社の印が押され、署名されている必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [会社登録ドキュメント] は、会社の拠点がベトナムにあるか、国外にあるかにかかわらず、会社の登録ドキュメントのコピーを提出する必要があります。このドキュメントはビジネスライセンスとも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- 金融部門ビジネスライセンス (SSC) の場合、企業が金融部門で事業を行っている場合は、標準ビジネスライセンスと BM02/BM04 フォームに加えて、州証券委員会 (SSC) によって発行されたビジネスライセンスを提出する必要があります。これは、すべての金融セクター登録に対するベトナムの事業者の必須要件です。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [送信者 ID 接続の証明] は、登録する送信者 ID に知的財産権の証拠を提出する必要があります。提出するドキュメントは、会社名とこの送信者 ID 間の接続を証明する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [トランザクションコンテンツの確認] では、ベトナムの送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。

- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。
 - [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。
例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. すべてのメッセージに、ブランド/サービス名を含める必要があります。会社がベトナムでローカルに事業を行っている場合、提供されるすべてのメッセージサンプルは英語とベトナム語のバージョンが必要であり、またビジネスウェブサイトへの URL が含まれている必要があります。メッセージサンプルはテンプレート形式で提供する必要があります、送信する内容と完全に一致している必要があります。テンプレートに変数がある場合は、正しく定義します。変数がテキスト/数値のみか英数字か、特殊文字や URL があるかを定義します。変数の長さも定義してください。

[メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [メッセージサンプル 1] には、この送信者 ID から送信される SMS メッセージのサンプルを少なくとも 1 つ入力します。
- [メッセージサンプル 2 – オプション] および [メッセージサンプル 3 – オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS でのザンビアの送信者 ID 登録

次の手順に従って、ザンビアの送信者 ID を登録します。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。

 Note

発信元 ID をリクエストするときに登録を既に作成している場合は、その登録フォームを使用する必要があります。

[登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

[次へ] を選択します。

3. [送信者 ID 情報] に、以下を入力します。

- [送信者 ID] には、リクエストする送信者 ID を入力します。送信者 ID は 3～11 文字の英数字である必要があります。送信者 ID フォーマットルールの詳細については、「[送信者 ID に関する考慮事項](#)」を参照してください。
- [送信者 ID の説明 — 任意] で、リクエストされた送信者 ID と会社名間の接続に関する詳細を追加できます。
- [送信者 ID 接続の証明] – オプション では、会社名とこの送信者 ID 間の接続が明確でない場合は、ブランドにお客様の知的財産権の証拠を提供する必要があります。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。

[次へ] を選択します。

4. [ザンビア固有の情報] セクションに、以下の情報を入力します。

- [会社登録ドキュメント] は、会社の登録ドキュメントのコピーを提出する必要があります。このドキュメントは、法人設立証明書 (COI) とも呼ばれます。アップロードできる有効なファイルタイプは PDF、PNG、JPEG で、最大ファイルサイズは 500KB です。
- [トランザクションコンテンツの確認] では、ザンビアの送信者 ID に対してプロモーションコンテンツは許可されません。[はい] を選択して、この送信者 ID がトランザクションメッセージの送信にのみ使用されることを確認します。

[次へ] を選択します。

5. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に EIN や VAT などの納税者番号を入力します。

- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。

[次へ] を選択します。

6. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
- [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
- [City] (市) に、本社の市を入力します。
- [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
- [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
- [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

7. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先メールアドレス] に、連絡先となる担当者のメールアドレスを入力します。
- [連絡先電話番号] に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [購入または配信通知] — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [公共サービスの発表] — 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。

- [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの説明] に入力して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- [月間 SMS ボリウム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [オプトインワークフローの説明] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の説明を入力します。説明は 40～500 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

[オプトインワークフローの説明] には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報

[次へ] を選択します。

9. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [Message Sample 1] (メッセージサンプル 1) に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 — オプション] および [メッセージサンプル 3 — オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

[次へ] を選択します。

10. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。

11. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

専用番号登録フォーム

Dedicated SMS Number Registration Forms セクションでは、専用 SMS コードを に登録するための step-by-step ガイダンスを提供します AWS。SMS メッセージングに専用番号を使用する前に、ユースケースとリージョンに適した登録フォームを送信する必要があります。

このフォームは、以下の国で専用の SMS 番号 (ショートコードとロングコードの両方) を登録するために必要です。

Forms

- [AWS End User Messaging SMS にオーストラリアの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にオーストリアの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にチリの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にデンマークの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にフィンランドの専用番号を登録する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのドイツのショートコード登録](#)
- [AWS End User Messaging SMS に香港の専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にハンガリーの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にインドの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にイタリアの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にオランダの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にノルウェーの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にポーランドの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にポルトガルの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にスペインの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS にスウェーデンの専用番号を登録する](#)
- [AWS End User Messaging SMS に英国の専用番号を登録する](#)
- [米国 10DLC 登録](#)
- [通話料無料番号の登録プロセス](#)
- [米国のショートコード登録](#)

AWS End User Messaging SMS にオーストラリアの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

オーストラリアで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。
 - [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
 - [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
 - [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
 - [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
 - [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
 - [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。

- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にオーストラリアの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

オーストラリアで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。
 - [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
 - [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
 - [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
 - [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
 - [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
 - [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。

- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にチリの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ショートコードの番号を登録するには、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

チリで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

 Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。
 - [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
 - [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
 - [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
 - [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
 - [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
 - [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にデンマークの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

デンマークで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。
4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。
 - [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
 - [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
 - [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
 - [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
 - [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
 - [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。

7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にフィンランドの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ショートコードの番号を登録するには、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

フィンランドで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
- [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。

- [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
- [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
- [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
- [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのドイツのショートコード登録

ドイツでショートコードを登録するには、次の手順に従ってください。

ドイツのショートコード登録フォームに記入する

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの登録で、完了する登録を選択します。
3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - 会社名には、会社の正式名称を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - DBA (Doing Business As) 名に、会社の正式名称と異なる場合は、DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。
 - [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
 - [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
 - 市町村には、所在地のある市町村名を入力します。
 - [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
 - [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
 - [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. 「サービス情報とユースケース」セクションに、次のように入力します。

承認を行うには、モバイル通信事業者は、ショートコードの使用方法和エンドユーザーとのやり取り方法を知っている必要があります。

- サービス名に、SMS サービスまたは機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- ユースケースの説明には、このショートコードで SMS メッセージを送信するためのユースケースの説明を入力します。
- 毎月のアウトバウンド SMS ボリュームには、毎月このショートコードから送信される SMS メッセージの推定数を入力します。
- 毎月のインバウンド SMS ボリュームには、このショートコードによって毎月受信される SMS メッセージの推定数を入力します。
- 月間の推定問い合わせ数には、1 か月以内に問い合わせると予想される一意のユーザーの推定数を入力します。
- ピークボリューム時間には、メッセージの最大量が予想される曜日と時間を指定します (例: 月曜日 ~ 金曜日 08:00 ~ 09:00)。
- [プログラムは一方方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- エンドユーザーの入力が必須の場合は、エンドユーザーがサービスを使用するために必要なアクションを記述します。初期アクティベーションと継続的なインタラクション要件の両方を含めます。
- サービス応答ロジックでは、サービスがさまざまなユーザー入力にどのように応答するかを説明します。考えられるすべてのレスポンスシナリオとメッセージテンプレートを含めます。
- エラー処理プロセスでは、サービスが誤った入力、スペルミスのあるコマンド、またはユーザーからの無効なレスポンスにどのように応答するかについて詳しく説明します。エラーメッセージの例と復旧手順を含めます。
- 広告チャネルでは、サービスがエンドユーザーにアドバタイズされるすべてのメディアチャネルを選択します。オプションには、ウェブサイト、テレビ、ラジオ、印刷メディア、ソーシャルメディアなどがあります。
- カスタマーサービスの電話番号には、ユーザーがカスタマーサービスに連絡するために呼び出すことができる電話番号を入力します。

- カスタマーサービスの E メールアドレスには、ユーザーがカスタマーサービスに連絡するために使用できる E メールアドレスを入力します。
- カスタマーサービス時間には、カスタマーサービスが利用可能な日時を指定します (例: 月曜日 ~ 金曜日 08:00 ~ 17:00)。
- オプトインメソッドには、ユーザーがオプトインする方法を入力します。
- その他のオプトイン方法の場合は、その他を選択した場合は説明してください。
- オプトインメソッドのユーザーエクスペリエンスフロー 1 では、SMS サービスにサインアップするときにエンドユーザーエクスペリエンスをstep-by-stepで説明します。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS に香港の専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

香港で専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。
 - [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
 - [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
 - [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
 - [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
 - [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
 - [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。

- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にハンガリーの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ショートコードの番号を登録するには、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ハンガリーで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

 Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。
 - [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
 - [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
 - [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
 - [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
 - [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
 - [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にインドの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ショートコードの番号を登録するには、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

インドで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。
4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。
 - [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
 - [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
 - [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
 - [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
 - [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
 - [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。

7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にイタリアの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

イタリアで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
- [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
- [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
- [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
- [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。

- [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にオランダの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ショートコードの番号を登録するには、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

オランダで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。
 - [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。

- [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
- [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
- [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
- [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
- [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。

- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にノルウェーの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ノルウェーで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
- [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
- [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
- [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
- [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
- [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にポーランドの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ポーランドで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
- [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
- [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
- [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
- [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
- [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。

- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にポルトガルの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ショートコードの番号を登録するには、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ポルトガルで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。

- [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
- [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
- [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
- [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
- [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
- [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。

- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にスペインの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ショートコードの番号を登録するには、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

スペインで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

 Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
- [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
- [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
- [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
- [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
- [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。

- [プログラムは一方方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS にスウェーデンの専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

スウェーデンで専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。

2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [会社名] に会社の名前を入力します。
- [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
- [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
- [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
- [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
- [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
- [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
- [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
- [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。

- [毎月の SMS ボリリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS End User Messaging SMS に英国の専用番号を登録する

専用番号の登録は、発信元 ID を作成する最初のステップです。

ロングコードの電話番号をリクエストするには、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ショートコードの番号を登録するには、「[専用ショートコードをリクエストする](#)」を参照してください。

英国で専用番号を登録するには、次の手順に従います。

共通専用番号登録フォームに入力する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

[次へ] を選択します。

4. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。
 - [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
 - [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
 - [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
 - [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
 - [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
 - [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

5. [サービス情報とユースケース] セクションには、次のように入力します。

承認を得るために、携帯電話通信事業者は専用番号の使用計画とエンドユーザーとのやり取りの方法を把握する必要があります。

- [サービス名] に SMS サービスや機能の名前を入力します。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。

- [ユースケースの説明] に、このロングコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [毎月の SMS ボリューム] に、このロングコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。
- [プログラムは一方向または双方向のどちらですか?] には、この番号の送信メッセージのみが必要か、双方向のメッセージ (送信と受信の両方) が必要かを選択します。
- [オプトイン方法] には、ユーザーによってオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] には、[その他] を選択した場合は説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、SMS サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて、順を追って説明しています。
- [オプトインモックアップ 3] では、コールトゥアクションまたはオプトインの場所を示すモックアップを添付します。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

米国 10DLC 登録

Important

次の表は、ビジネスが米国にあるか、国外にあるかに基づいて、10DLC 登録ステップごとに予想される時間を示しています。

10DLC の登録手順	米国を拠点とする企業	国際拠点の企業
ブランド/会社を登録する	1~2 営業日	最大 3 週間
審査を申請する	1~2 営業日	最大 3 週間
キャンペーンの登録	最大 4 週間	最大 4 週間
DLC 番号をリクエストする	最大 10 日間	最大 10 日間

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して米国または米国領プエルトリコ、米国領バージン諸島、グアム、米国領サモアの受信者にメッセージを送信する場合は、10DLC の電話番号を使用してこれらのメッセージを配信できます。10DLC は、「10-digit long code」の略称です。10DLC の電話番号は、1 人の発信者が 1 つのユースケースで使用するために登録されます。この登録プロセスにより、通信事業者はメッセージの送信に使用される各電話番号の承認されたユースケースを把握することができます。その結果、10DLC 電話番号では、高いスループットと配信率を実現することができます。

10DLC の電話番号から送信したメッセージは、受信者の端末に 10 桁の電話番号として表示されます。10DLC の電話番号を使用して、トランザクションおよびプロモーションの両方のメッセージを送信することができます。既にショートコードや通話料無料を使ってメッセージを送信している場合は、10DLC を設定する必要はありません。

10DLC を設定するには、まず企業やブランドを登録します。その後、10DLC 会社の外部審査を受けて、適格なスループットが最も高いことを確認する必要があります。次に、ユースケースを説明する 10DLC キャンペーンを作成します。この情報は、10DLC の登録情報を収集する業界団体のキャンペーンレジストリと共有されます。

Note

キャンペーンレジストリによるお客様の情報の利用方法については、登録情報を収集する業界団体の[キャンペーンレジストリのウェブサイト](#)内の FAQ をご覧ください。

会社と 10DLC キャンペーンが承認された後、電話番号を購入し、10DLC キャンペーンに関連付けることができます。電話番号と 10DLC キャンペーンに関連付けには、約 14 日かかります。複数の

電話番号を 1 つのキャンペーンに関連付けることはできますが、複数の 10DLC キャンペーンで同じ電話番号を使用することはできません。作成する 10DLC キャンペーンごとに、少なくとも 1 つの固有の電話番号を用意する必要があります。10DLC 電話番号のスループットは、ご提供いただいた企業およびキャンペーン登録情報に基づいています。キャンペーンに関連付けられた各 10DLC 番号は、1 秒あたり 1 つのメッセージパート (MPS) をサポートします。関連付けられた 10DLC 番号に適用されたキャンペーンから適格なスループットを取得するには、SMS 送信レートを引き上げるリクエストを送信する必要があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アカウントに既存の未登録のロングコードがある場合は、10DLC 番号への変換をリクエストできます。既存のロングコードを変換するには、登録プロセスを完了し、AWS サポートセンターでケースを作成します。状況によっては、未登録のロングコードを 10DLC 電話番号に変換することができない場合があります。この場合、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して新しい番号をリクエストし、10DLC キャンペーンに関連付ける必要があります。既存のロングコードに 10DLC を使用する場合は、[ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける](#) を参照してください。

トピック

- [10DLC の容量](#)
- [10DLC の登録プロセス](#)
- [10DLC ブランド登録フォーム](#)
- [AWS End User Messaging SMS で 10DLC ブランド E メール認証を再送信する](#)
- [10DLC ブランド審査フォーム](#)
- [10DLC キャンペーン登録フォーム](#)
- [ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける](#)
- [10DLC 登録と月額料金](#)
- [10DLC クロスアカウントアクセス](#)

10DLC の容量

Note

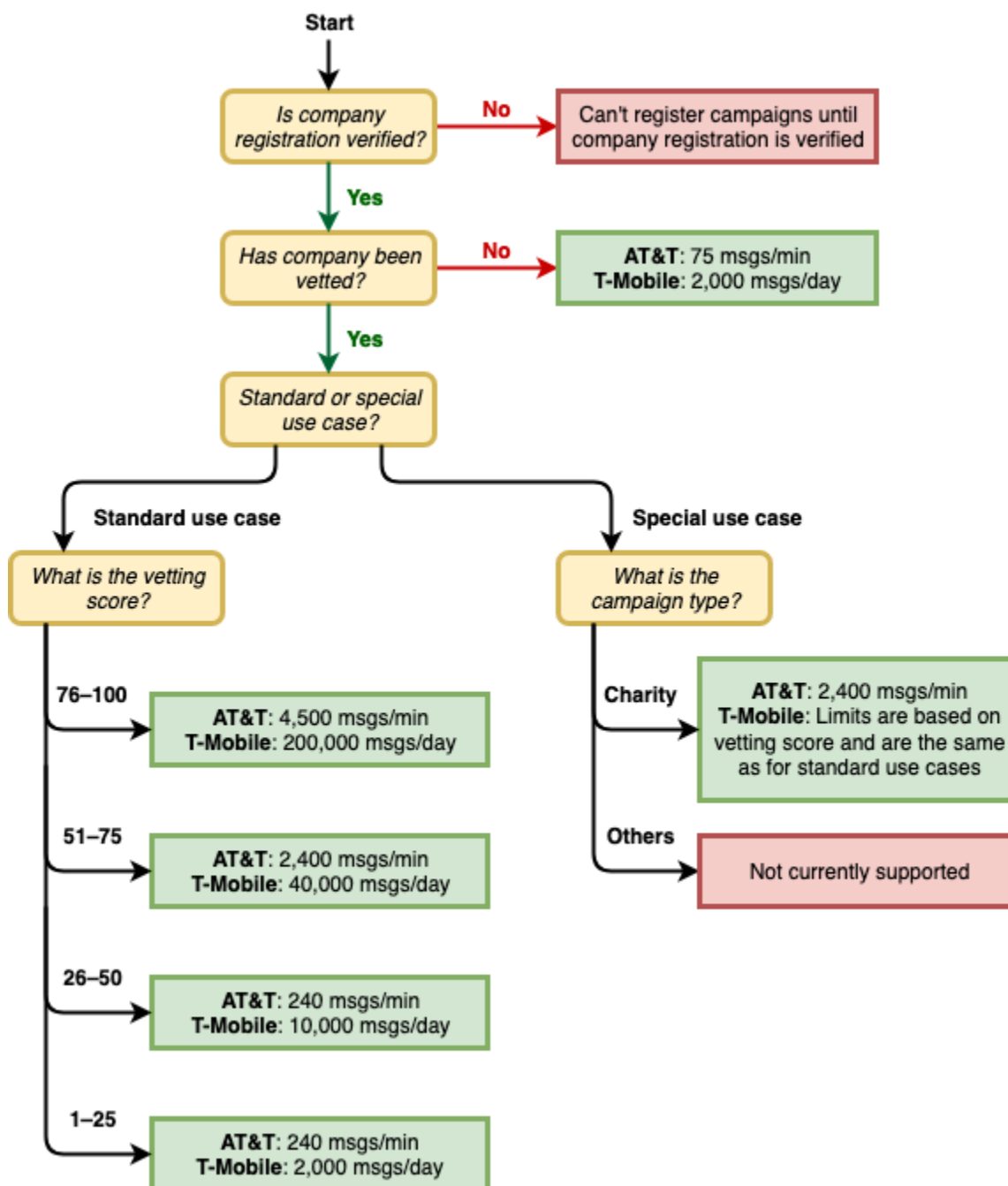
重要: ブランド登録と外部ブランド審査だけでは、承認された 10DLC キャンペーンに関連付けられた番号ごとにデフォルトの 1 MPS 制限が自動的に引き上げられるわけではありません。関連付けられた 10DLC 番号に適用されたキャンペーンから適格なスループットを取得するには、SMS 送信レートを引き上げるリクエストを送信する必要があります。

10DLC 電話番号の容量は、受信者の通信事業者によって異なります。AT&T では、キャンペーンごとに毎分送信できるメッセージパーツの数に上限があります。T-Mobile では、各社ごとに 1 日に送信可能なメッセージ数の上限が定められており、1 分間に送信可能なメッセージパーツの数は制限されていない。Verizon はスループット制限を公表していませんが、10DLC にはスパム、迷惑メッセージ、罵詈雑言などを除去するためのフィルタリングシステムを使用しており、実際のメッセージのスループットはそれほど重視されていません。

未審査の企業に関連する新規 10DLC キャンペーンでは、AT&T を利用する受信者には 1 分間に 75 通、T-Mobile を利用する受信者には 1 日 2,000 通のメッセージを送信することができます。会社の上限は、10DLC のすべてのキャンペーンで共有されます。例えば、1 社 2 キャンペーンを登録した場合、T-Mobile のお客様への 1 日 2,000 通のメッセージの割り当ては、それらのキャンペーンで共有されます。同様に、同じ会社を複数の AWS アカウントに登録すると、毎日の割り当てはそれらのアカウント間で共有されます。

スループットニーズがこの制限を超える場合は、会社登録の審査を依頼することができます。会社登録を審査する際、サードパーティーである審査機関が企業情報を分析します。審査機関は、10DLC キャンペーンの機能を決定する審査スコアを提供します。審査サービスには一回限りがあります。詳細については、「[10DLC ブランド審査フォーム](#)」を参照してください。

実際のスループットレートは、貴社の審査の有無、キャンペーンの種類、審査スコアなど、さまざまな要因によって変化します。以下のフローチャートは、さまざまな状況下でのスループットレートを示しています。



10DLC のスループットレートは、米国の通信事業者がキャンペーンレジストリと協力して決定しています。AWS エンドユーザーメッセージング SMS やその他の SMS 送信サービスのいずれも、これらのレートを超えて 10DLC スループットを向上させることはできません。米国のすべての通信事業者において高いスループットレート、高い到達率が必要な場合は、ショートコードの利用をお勧めします。

10DLC の登録プロセス

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールで 10DLC を直接設定できます。10DLC を設定するには、以下のステップをすべて完了する必要があります。

1. ブランド/会社を登録する

10DLC を設定する最初のステップは、企業やブランドの登録です。会社の登録については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」を参照してください。お客様の会社の登録には 1 回限りの登録料がかかります。手数料は登録ページに表示されます。

2. (オプション、ただし推奨) 審査申請

会社登録が成功すれば、少量で複合用途な 10DLC キャンペーンを開始することができます。これらのキャンペーンは、AT&T を利用している受信者には 1 分間に 75 通、T-Mobile を利用している受信者には登録企業が 1 日 2,000 通を送信することができます。ユースケースでこの値を超えるスループットレートが必要な場合は、会社登録の審査を申請することができます。会社登録を審査することで、企業やキャンペーンのスループットレートを高めることができますが、その効果を保証するものではありません。審査の詳細については、「[10DLC ブランド審査フォーム](#)」を参照してください。

3. キャンペーンの登録

キャンペーンレジストリが指定した会社情報を検証できる場合は、10DLC キャンペーンを作成できます。10DLC キャンペーンには、ユースケースに関する情報が含まれています。10DLC キャンペーンは、1 社につき 1 回までとなります。AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、承認のためにこのキャンペーン情報をキャンペーンレジストリに送信します。ほとんどの場合、10DLC のキャンペーンは即座に承認されます。場合によっては、キャンペーンレジストリは追加の情報を要求することがあります。10DLC キャンペーンが承認された場合、または改訂が必要な場合、応答を受け取るまでに最大 4 週間かかることがあります。

10DLC のキャンペーンを登録するたびに、月額使用料がかかります。月額使用料は、お客様のユースケースによって異なります。キャンペーンの定期的な手数料は、登録ページに表示されます。

4. DLC 番号をリクエストする

10DLC キャンペーンが承認されたら、電話番号をリクエストし、その番号を承認済みキャンペーンに関連付けることができます。各電話番号は、1 つの 10DLC キャンペーンにのみ関連付けることができます。10DLC 電話番号のリクエストの詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号をリクエストする](#)」および「[ロングコードを 10DLC キャンペーンに](#)

[関連付ける](#)」を参照してください。電話番号のリースには月額定期料金がかかります。手数料は購入ページに表示されています。

 Note

ステータスに関係なく、10DLC 番号の月額リース料金が請求されます。例えば、10DLC 番号が [保留中] の状態でも、月額料金が発生します。料金の詳細については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

10DLC ブランド登録フォーム

 Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録用の [名前] フィールドが表示されるようになりました。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録の [名前] は、登録の詳細ページのタグを使用して更新できるオプションのフレンドリ名フィールドです。[名前] タグの追加方法の詳細については、「[AWS End User Messaging SMS で登録の名前を変更する](#)」を参照してください。

10DLC の電話番号を申請する前に、企業やブランドの登録が必要です。ブランド登録は、キャンペーンレジストリという業界団体で管理されています。会社を利用する AWS アカウントと AWS リージョン ごとに会社を登録する必要があります。

 Note

キャンペーンレジストリは、ブランド登録に 2 要素認証 (2FA) を実装しました。組織の法的形態が PUBLIC_PROFIT である場合は、E メール認証を完了できるブランドで働く人の E メールアドレスを提供する必要があります。E メールディストリビューションリストは許可されていません。E メールドメインはビジネスのドメインと一致する必要があります。E メール認証は noreply@auth.campaignregistry.com から送信されます。この E メールアドレスを迷惑メールリストの許可ルールに追加することをお勧めします。

10DLC ブランド登録を作成したら、フォームに記入し、承認のために送信する必要があります。

10DLC ブランド登録が成功し、よりスループットの高いキャンペーンを登録する場合は、10DLC ブランド登録の審査が必要です。10 DLC ブランドの審査の詳細については、「[10DLC ブランド審査フォーム](#)」を参照してください。

 Note

予想される登録時間の詳細については、「[米国 10DLC 登録](#)」を参照してください。

10DLC ブランド登録を完了する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、完了する 10DLC ブランド登録を選択します。
3. [ブランド登録情報] セクションで、次を入力します。

- 法人名には、会社が登記されている名称を入力します。入力する名前は、提供する Tax ID に関連付けられた会社名と完全に一致する必要があります。

 Important

会社名は必ず正確に入力してください。情報に誤りがあったり、不完全な場合、登録が遅れたり、拒否されることがあります。

- [税登録国] には、会社が登録されている国の 2 文字の ISO 国コードを入力します。ISO 国コードの一覧については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。
- [納税者番号または事業者登録番号] には、会社の事業者番号を入力します。ID は、会社が登録されている国によって異なります。
 - IRS 雇用者識別番号 (EIN) を持つ米国または米国以外の事業体を登録する場合は、9 桁の EIN を入力してください。法的な会社名、EIN、および住所はすべて、IRS に登録されている会社情報と一致する必要があります。
 - カナダ法人を登録する場合は、連邦法人番号または州法人番号を入力してください。CRA から提供されたビジネス番号 (BN) は入力しないでください。法的な会社名、法人番号、および住所は、すべてカナダ法人に登録されている会社情報と一致している必要があります。
 - 別の国に拠点を置く企業を登録する場合は、その国の主要な納税者番号を入力してください。多くの国では、VAT 番号の数字部分です。

- [組織の法的形態] については、お客様の会社にもっとも適した選択肢をお選びください。

 Note

米国政府そして非営利団体オプションは、米国に拠点を置く組織の登録にのみ使用できます。組織が米国以外の国に拠点を置いている場合、組織の実際の法的形態にかかわらず、非公開営利目的 組織として登録する必要があります。

- [銘柄記号 - オプション] で会社の銘柄記号を入力します。

[証券取引所 - オプション] で、会社ガリストされている証券取引所を選択します。

 Note

前のステップで [公共営利団体] を選択した場合は、その会社の銘柄記号と上場している証券取引所を入力します。

- [事業所住所 - 住所/番地] には、会社の実際の住所を入力します。
 - [事業所住所 - 市町村] には、所在地のある市町村名を入力します。
 - [事業所住所 - 都道府県] には、所在地のある都道府県名を入力します。
 - [事業所住所 - 郵便番号] には、所在地の郵便番号を入力します。
 - [事業所住所 - 国] には、2 桁の ISO 国コードを入力します。
 - [ブランド検証 E メール] には、E メール認証を完了できる、ブランドで働くユーザーの E メールを入力します。E メールディストリビューションリストは許可されていません。E メールドメインはビジネスのドメインと一致している必要があります。
4. [次へ] を選択します。
5. [追加の会社および連絡先情報] セクションで、次を入力します。
- ビジネスの別名 (DBA) またはブランド名については、お客様の他のビジネス名称を入力してください。
 - [Vertical] には、登録する会社にもっとも適したカテゴリーを選択してください。
 - 会社のウェブサイトには、会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。アドレスの先頭に「http://」または「https://」を含めます。
 - [Support Email] (サポート E メール) に、連絡先となる担当者の E メールアドレスを入力します。

- [Support Phone Number] (サポート電話番号) に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。電話番号は「+」で始まる必要があり、スペース、ハイフン、かっこを含めることはできません。例えば、+1 (206) 555-0142 は正しい形式ではなく、+12065550142 が正しい形式です。

[次へ] を選択します。

6. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
7. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

 Important

[組織の法的形式] が PUBLIC_PROFIT の場合、ブランド登録を送信すると、認証 E メールが [ブランド検証 E メール] で指定された E メールアドレスに送信されます。ブランド認証が完了するまで、登録を承認することはできません。認証 E メールは 7 日間有効です。その後は、[新しい認証 E メールをリクエスト](#)する必要があります。

 Note

登録が承認されたら、オプションの [米国 10DLC ブランド審査] または [10DLC キャンペーン登録フォーム](#) に登録する必要があります。10DLC の登録の詳細については、「[米国 10DLC 登録](#)」を参照してください。

AWS End User Messaging SMS で 10DLC ブランド E メール認証を再送信する

E メール認証は noreply@auth.campaignregistry.com から送信されます。この E メールアドレスを迷惑メールリストの許可ルールに追加することをお勧めします。

E メール認証のリンクは 7 日間有効です。10DLC ブランド登録を申請してから 30 日未満の場合は、以下の指示に従ってください。30 日以上経過している場合は、[登録を破棄](#)して再送信する必要があります。

認証 E メールを再送信する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[登録] を選択します。
3. 2FA E メールを再送信する必要がある 10DLC ブランド登録を選択します。
4. バナーで [Eメールの再送信] を選択します。

10DLC ブランド審査フォーム

会社の登録が成功し、よりスループットの高い 10DLC キャンペーンを登録する場合は、会社登録の審査が必要です。

登録時の審査では、サードパーティーが登録された企業情報を分析し、審査スコアを返します。高い審査スコアは、10DLC 企業やそれに関連するキャンペーンのスループットレートの向上につながります。ただし、審査はスループットを上げることを保証するものではありません。

審査スコアは遡及して適用されません。つまり、すでに 10DLC キャンペーンを作成し、後で会社登録の審査を行った場合、審査スコアは既存のキャンペーンには自動的に適用されません。このため、10DLC のキャンペーンを行う際には、事前に企業やブランドを吟味する必要があります。

Note

企業やブランドの審査には、40 ドル (返金不可) の手数料がかかります。

Note

予想される登録時間の詳細については、「[米国 10DLC 登録](#)」を参照してください。

会社登録を査定するには

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、[登録を作成] を選択します。
3. [登録フォーム名] には判別しやすい名前を入力します。

4. [登録タイプ] で、[米国 10DLC ブランドの審査] を選択します。
5. [利用可能な 10DLC ブランド] については、審査する 10DLC ブランドを選択します。
6. [Create] (作成) を選択します。

10DLC キャンペーン登録フォーム

Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録用の [名前] フィールドが表示されるようになりました。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録の [名前] は、登録の詳細ページのタグを使用して更新できるオプションのフレンドリ名フィールドです。[名前] タグの追加方法の詳細については、「[AWS End User Messaging SMS で登録の名前を変更する](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のベンダーは、10DLC (10 桁のロングコード) キャンペーンで手動レビュープロセスを実行し、米国の通信事業者から寄せられた SMS スパムの懸念に対処します。10DLC キャンペーンに数字を関連付けると、レビューがトリガーされます。レビューの処理には少なくとも 4~6 週間かかります。

10DLC キャンペーンを登録する際には、ユースケースの説明と、使用する予定のメッセージテンプレートを提供します。10DLC のキャンペーンを作成および登録する前に、まず法人登記が必要です。会社の登録については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」を参照してください。

Note

予想される登録時間の詳細については、「[米国 10DLC 登録](#)」を参照してください。10DLC キャンペーン登録の詳細については、「[登録に関する Gen-AI フィードバック \(レビュー\)](#)」を参照してください。

このセクションでは、10DLC キャンペーンに関する追加の詳細を提供します。

10DLC キャンペーンの登録

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。

2. ナビゲーションペインの [登録] で、完了する 10DLC キャンペーン登録を選択します。
3. [10DLC キャンペーン登録情報] ページで、次の操作を行います。
 - a. [キャンペーンの説明] には、10DLC キャンペーンの名前とキャンペーンの目的の説明を入力します。
 - b. [業種] で、会社にもっともよく当てはまるオプションを選択します。
 - c. [会社の利用規約] で、次のいずれかを選択します。
 - i. [URL を入力] – [利用規約] を含むパブリックにアクセス可能な URL を入力します。
 - ii. [ファイルをアップロード] し、[ファイルを選択] – [利用規約] を含むファイルを選択します。ファイルのサイズは最大 500 KB で、有効なファイル形式は PNG、JPEG、PDF です。
 - d. [プライバシーポリシー] では、次のいずれかを選択します。
 - i. [URL を入力] – [プライバシーポリシー] を含むパブリックにアクセス可能な URL を入力します。
 - ii. [ファイルをアップロード] し、[ファイルを選択] – [プライバシーポリシー] を含むファイルを選択します。ファイルのサイズは最大 500 KB で、有効なファイル形式は PNG、JPEG、PDF です。
 - e. [キャンペーンオプトインワークフロー] で、ユーザーが SMS と MMS メッセージの受信に同意する方法についての説明を入力します。説明は 40 ~ 2048 文字で、先頭または末尾にスペースを含めることはできません。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。オプトイン方法が複数ある場合は、列挙する必要があります。

[オプトインワークフロー]には次の情報が含まれている必要があります。

- プログラムまたは製品の説明
- エンドユーザーに送信される最初のメッセージで表現されている組織とサービスの特定
- エンドユーザーが SMS サービスにオプトインする方法と、関連する料金や請求に関する明確で詳細な情報
- 利用規約 (一般公開されている必要があります) へのリンクを含みます。
- プライバシーポリシー (パブリックにアクセス可能である必要があります) へのリンクを含みます。

Note

会社の利用規約またはプライバシーポリシードキュメントへのパブリックアクセス可能なリンクがない場合は、[会社の利用規約] または [プライバシーポリシー] の添付ファイルフィールドにドキュメントとしてそれらのコピーを提供できます。

- オプトイン/コールトゥアクションがサービスへのログインを必要とするのか、まだ公開されていないのか、口頭でのオプトインなのか、それともチラシや紙のフォームなどの印刷物で行うのかの説明。
- アクションの呼び出し/オプトインの場所に、次の情報が含まれている必要があります。
 - 包括的な利用規約は、アクションの呼び出しの下に全文が表示されるか、アクションの呼び出しの近くのリンクからアクセス可能にすることができます。
 - プログラム (ブランド) 名
 - メッセージの頻度の開示
 - 製品の説明
 - カスタマーケアの連絡先情報
 - オプトアウト情報
 - 「メッセージ料金とデータ料金が適用される場合があります」の開示
- f. キャンペーンのオプトインスクリーンショットについては、キャンペーンのオプトインワークフローフィールドで説明されているように、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法を示すファイルをアップロードします。サポートされているファイルタイプは PNG、JPEG、および PDF で、最大ファイルサイズは 500 KB です。キャンペーンのオプトインワークフローフィールドにオプトイン場所またはcall-to-actionへのパブリックアクセス可能な URL を指定しない限り、スクリーンショットまたはモックアップが必要です。オプトインプロセスでログインが必要な場合、まだ公開されていない場合、が口頭でのオプトインである場合、または印刷されたフォームやチラシで発生する場合は、完全なオプトインプロセスを示すスクリーンショットまたはモックアップを提供する必要があります。準拠したオプトインワークフローの追加情報と例については、「[許可を取得する](#)」を参照してください。

⚠ Important

オプトインのモックアップまたはスクリーンショットの例:

- [ウェブサイトのオプトイン] – クライアントが番号を追加してメッセージの受信に同意するウェブフォームのモックアップまたはスクリーンショット。
- [ウェブサイトへの投稿 (サポート)] – 番号を公表する場所とであり、お客様が入力すべき番号を見つける場所。
- [キーワードまたは QR コードのオプトイン] – お客様がこれらのメッセージに対してオプトインするためのキーワードまたは QR コードを見つける場所。
- [2FA/OTP]: オプトインのモックアップまたはスクリーンショット (該当する場合)。口頭の場合は、口頭でのオプトインスクリプトのモックアップまたはスクリーンショットを指定します。
- [情報]: 口頭での同意ワークフローのモックアップまたはスクリーンショットを提供し、メッセージングの内容を指定します。

- g. [オプトインキーワード – オプション] には、オプトインへの同意のためにお客様が送信するキーワードを入力します。
- h. [オプトイン確認メッセージ] には、お客様が 10DLC の電話番号にオプトインキーワードを送信した際に受け取るメッセージを入力します。
- i. [ヘルプメッセージ] には、お客様が 10DLC の電話番号にキーワード「HELP」を送信した際に受け取るメッセージを入力してください。メッセージは 20 文字以上にする必要があります。
- j. [ストップメッセージ] には、お客様が 10DLC の電話番号にキーワード「STOP」を送信した際に受け取るメッセージを入力してください。メッセージは 20 文字以上にする必要があります。

i Tip

「HELP」というキーワードを添えてメッセージに返信することで、お客様が受信したメッセージの詳細を知ることができます。「STOP」に返信することで、お客様はメッセージの受信を拒否することもできます。この両方のキーワードに対するレスポンスを、米国の携帯電話通信事業者に提供する必要があります。以下は、米国の携帯電話通信事業者の要件に準拠している HELP レスポンスの例です。

ExampleCorp Account Alerts: For help call 1-888-555-0142 or go to example.com. Msg&data rates may apply. Text STOP to cancel.
準拠している STOP レスポンスの例を以下に示します。

You are unsubscribed from ExampleCorp Account Alerts. No more messages will be sent. Reply HELP for help or call 1-888-555-0142.

これらのキーワードに対するレスポンスは 160 文字以下である必要があります。

4. [次へ] を選択します。
5. [メッセージング機能] セクションで、次の操作を行います。
 - a. 選択した機能は、電話番号リクエストを作成するときに 10DLC 電話番号に適用されます。

[番号機能] で、以下を選択します。

- 10DLC キャンペーンについてテキストメッセージを有効にするには、[SMS] を選択します。
- 10DLC キャンペーンについてテキストメッセージとマルチメディアメッセージを有効にするには、[SMS と MMS] を選択します。
- 10DLC キャンペーンについてテキストメッセージと音声メッセージを有効にするには、[SMS と 音声] を選択します。

 Note

音声メッセージを有効にすることを選択すると、登録内容を確認する時間が長くなります。

- 10DLC キャンペーンについてテキストメッセージとマルチメディアメッセージを有効にするには、[SMS と MMS と VOICE] を選択します。
- b. [メッセージタイプ – オプション] セクションで、[トランザクション] または [プロモーション] のメッセージタイプを選択します。
 - [トランザクション] – アラートやワンタイムパスワードなど、時間的制約のあるコンテンツをユースケースとして使用する場合は、このオプションを選択します。
 - [プロモーション] – ユースケースがマーケティング関連のコンテンツに関するものである場合は、このオプションを選択します。

6. [次へ] を選択します。

7. [メッセージングユースケース] セクションで、以下の操作を行います。

- a. [Use case] で、あらかじめ設定されたユースケースのリストから、キャンペーンに最も近いユースケースを選択します。
 - [アカウント通知] – アカウントに関連する、またはアカウントについての、アカウント所有者向け標準通知。
 - [チャリティー] – 支援を必要とする人々に援助を提供し、資金を集めることを目的とした、非宗教の登録 [501\(c\)\(3\) チャリティー](#) からのコミュニケーション。
 - [カスタマーケア] – アカウント管理やカスタマーサポートを含む、すべての顧客とのやり取り。
 - [配信の通知] – 製品またはサービスの配信状況に関する情報。
 - [不正アラートメッセージング] – アカウントに対する不正行為の可能性に関するメッセージ。
 - [高等教育] – 大学に代わって作成されたキャンペーン。また、「消費者に無料提供」のメッセージングモデルに当てはまらない学区や教育機関も含まれます。
 - [低ボリューム] – スループットの低い、ユースケースの任意の組み合わせ。例としては、テストアカウント、デモアカウントなどがあります。
 - [マーケティング] – マーケティングコンテンツやプロモーションコンテンツを含む、あらゆるコミュニケーション。
 - [混合] – 特定の消費者サービス業界専用の混合メッセージング。
 - [公共サービスの発表] – 重要な問題について聴衆の意識を高めることを目的とした情報メッセージ。
 - [ポーリングと投票] – 非政治的な分野のアンケートや投票のリクエスト。
 - [セキュリティアラート] – ソフトウェアとハードウェアのいずれかであるかを問わず、システムのセキュリティが何らかの形で侵害されており、エンドユーザーが実行する必要があるアクションがあることを示す通知。
 - [2 要素認証] – 任意の認証、検証、またはワンタイムパスコード。
- b. [サブユースケース – オプション] で、最大 5 つのサブユースケースを選択します。
- c. 加入者のオプトイン - 受信者は、このキャンペーンに関するメッセージの受信をオプトインできます。
- d. 加入者のオプトアウト - 受信者は、このキャンペーンに関するメッセージの受信をオプトアウトできます。

- e. 加入者のヘルプ - ユーザーは HELP キーワードを送信した後、メッセージの送信者に連絡できます。
 - f. ダイレクトレンディングまたはローンアレンジメント - キャンペーンには、直接融資やその他の融資の手配に関する情報が含まれます。
 - g. [埋め込みリンク] - 10DLC キャンペーンに埋め込みリンクが含まれている場合は、[はい] を選択します。TinyUrl や Bit.ly などの一般的な URL 短縮ツールからのリンクは許可されません。ただし、カスタムドメインを提供する URL 短縮サービスを利用することは可能です。
 - h. [埋め込みリンクサンプル - オプション] - 送信する埋め込みリンクの例。TinyUrl や Bit.ly などの一般的な URL 短縮ツールからのリンクは許可されません。ただし、カスタムドメインを提供する URL 短縮サービスを利用することは可能です。
 - i. 電話番号の埋め込み - キャンペーンには、カスタマーサポート番号ではない電話番号が埋め込まれます。
 - j. 年齢制限のあるコンテンツ - 10DLC キャンペーンには、通信事業者および Cellular Telecommunications and Internet Association (CTIA) のガイドラインで定義されている年齢制限付きコンテンツが含まれます。
8. [次へ] を選択します。
9. [メッセージングのサンプル] セクションで、次の操作を行います。
- [サンプルメッセージ] を少なくとも 1 つ入力します。これは、お客様に送信する予定のサンプルテキストメッセージです。各サンプルメッセージは 20 文字以上にする必要があります。この 10DLC キャンペーンで、複数のメッセージテンプレートを使用する予定がある場合は、それらも含めてください。
-  **Important**

サンプルメッセージにプレースホルダーのテキストを使用しないでください。入力するサンプルメッセージは、実際に送信する予定のメッセージをできるだけ正確に反映し、[禁止メッセージの内容](#) を含めないでください。
10. [次へ] を選択します。
11. [MMS ファイルのサンプル] セクションで、以下を行います。
- (オプション) MMS サンプルファイルは、MMS メッセージを送信する場合にのみ必要です。[MMS ファイルサンプル] では、少なくとも 1 つのサンプルイメージをアップロードします。1 つの MMS メディアファイルのサイズは、GIF、JPEG、PNG の場合は最大 500

KB、その他すべてのメディアファイルタイプでは最大 600 KB です。「[MMS ファイルの種類、サイズ、文字数の制限](#)」を参照してください。

 Important

サンプル MMS イメージでプレースホルダーテキストを使用しないでください。
入力するサンプル MMS メッセージファイルは、実際に送信する予定の MMS のイメージをできるだけ正確に反映し、[禁止メッセージの内容](#) を含めないでください。

12. [次へ] を選択します。
13. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
14. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

 Note

10DLC キャンペーンの登録が承認されたら、新しい 10DLC 電話番号をリクエストするか、既存の 10DLC 電話番号を使用して 10DLC キャンペーンに関連付けることができます。10DLC の登録の詳細については、「[専用ロングコードをリクエストする](#)」を参照してください。

ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける

10DLC キャンペーンが承認されたら、新しいロングコードをプロビジョニングしたか、既存のロングコードがある場合、そのロングコードを承認された 10DLC キャンペーンに関連付けることができます。10DLC キャンペーンに関連付けるロングコードは、そのキャンペーンでのみ使用でき、他の 10DLC キャンペーンでは使用できません。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、ロングコードに関連付ける 10DLC キャンペーン (US_TEN_DLC_CAMPAIGN_REGISTRATION) を選択します。
3. [関連付けられたリソース] タブで、[リソースを追加] を選択します。
4. [サポートされている関連付け] で、ドロップダウンリストから [TEN_DLC] を選択します。
5. [利用可能なリソース] で、追加する 10DLC 電話番号を選択します。
6. [リソースの関連づけ] を選択します。

10DLC キャンペーンには、複数のロングコードを関連付けることができます。

10DLC 登録と月額料金

会社登録や10DLC キャンペーンなど、10DLC の使用に関連する登録料と月額料金があります。これらは、他の月額料金や AWS 料金とは異なります。10DLC の料金の詳細については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

10DLC クロスアカウントアクセス

10DLC の各電話番号は、各 AWS リージョンで 1 つのアカウントと関連付けられています。同じ 10DLC の電話番号を使って、複数のアカウントやリージョンでメッセージを送信したい場合、2 つの方法があります。

1. 各 AWS アカウントで同じ会社、同じキャンペーンを登録することができます。これらの登録は、別途管理され、課金されます。同じ会社を複数の AWS アカウントに登録する場合、1 日あたり T-Mobile の顧客に送信できるメッセージ数は、それらの各アカウントで共有されます。
2. 10DLC 登録プロセスを 1 つで完了し AWS アカウント、AWS Identity and Access Management (IAM) を使用して 10DLC 番号を介して送信するアクセス許可を他のアカウントに付与できます。

Note

このオプションは、10DLC の電話番号への真のクロスアカウントおよびアクセスを可能にします。ただし、セカンダリアカウントから送信されたメッセージは、プライマリアカウントから送信されたものとして扱われることに注意してください。クォータおよび請求は、セカンダリアカウントではなく、プライマリアカウントに対してカウントされます。

IAM ポリシーによるクロスアカウントアクセスのセットアップ

IAM ロールを使用して、他のアカウントをメインアカウントに関連付けることができます。そして、プライマリアカウントの 10DLC 番号へのアクセス権をセカンダリアカウントに付与することで、プライマリアカウントからのアクセス権をセカンダリアカウントに委譲することができます。

プライマリアカウントの 10DLC 番号にアクセスを許可する場合

1. まだの方は、プライマリアカウントで 10DLC の登録作業を完了させてください。このプロセスには、3つのステップがあります。

- 会社を登録します。詳細については、「[10DLC ブランド登録フォーム](#)」を参照してください。
 - 10DLC キャンペーン (ユースケース) を登録します。詳細については、「[10DLC キャンペーン登録フォーム](#)」を参照してください。
 - 電話番号を 10DLC キャンペーンに関連付けます。詳細については、「[ロングコードを 10DLC キャンペーンに関連付ける](#)」を参照してください。
2. 10DLC 電話番号の SendTextMessage API オペレーションを別のアカウントで呼び出せるようにする IAM ロールをプライマリアカウントに作成します。IAM ロールの作成の詳細については、IAM ユーザーガイドの[IAM ロールを作成する](#) を参照してください。
 3. 10DLC 番号を使用する必要がある他のアカウントで IAM ロールを使用して、プライマリアカウントからアクセス許可を付与し、テストします。例えば、アクセス許可を本番稼働用アカウントから開発用アカウントへアクセス許可を付与します。アクセス許可の委任とテストの詳細については、IAM ユーザーガイドの「[IAM ロール AWS アカウント を使用した 全体のアクセスの委任](#)」を参照してください。
 4. 新しいロールを使用して、セカンダリアカウントから 10DLC 番号を使用してメッセージを送信します。ロールを使用する方法の詳細については、IAM ユーザーガイドの[IAM ロールの使用](#)を参照してください。

通話料無料番号の登録プロセス

Important

登録は、送信してから処理されるまでに最大 15 営業日かかる場合があります。

AWS End User Messaging SMS を使用して米国または米国領プエルトリコ、米国領バーجين諸島、グアム、米国領サモアの受信者にメッセージを送信する場合は、通話料無料の電話番号 (TFN) を使用してこれらのメッセージを配信できます。TFN をリクエストしたら、TFN の登録を完了して送信します。各 TFN には特定のユースケースが必要です。例えば、ワンタイムパスワードに使用する TFN を登録した場合、この TFN はワンタイムパスワードの送信にのみ使用できます。指定したユースケース以外に TFN を使用すると、却下される可能性があります。

通話料無料番号を登録する

1. まず、通話料無料番号をリクエストする必要があります。[登録が必要です] のウィンドウで通話料無料番号をリクエストするときは、登録にわかりやすい名前を入力します。
2. 登録プロセスを開始するには、[登録を開始] を選択するか、[後で登録] を選択して後で [フォームを完成](#) させます。

トピック

- [通話料無料番号の禁止されたユースケース](#)
- [米国通話料無料の電話番号の登録フォーム](#)
- [通話料無料番号登録拒否の理由](#)
- [通話料無料番号に関するよくある質問](#)

通話料無料番号の禁止されたユースケース

一部のユースケースでは、AWS はメッセージを送信したり TFNs を登録したりする機能が制限されています。ユースケースの中には、完全にブロックされるユースケース (例: 規制薬物やフィッシングに関連するユースケース) もあれば、高度なフィルタリングが適用されるユースケース (例: 高リスクの金融メッセージ) もあります。 [禁止メッセージの内容](#) に定義された制限付きコンテンツのユースケースに関連する TFN は登録できない場合があります。

米国通話料無料の電話番号の登録フォーム

Note

コンソールエクスペリエンスが更新され、登録用の [名前] フィールドが表示されるようになりました。このフィールドは「-」に設定されています。これは、サービスの中断を防ぎ、セキュリティ体制を維持できるように、サービス値を手動でバックフィルしないためです。登録の [名前] は、登録の詳細ページのタグを使用して更新できるオプションのフレンドリ名フィールドです。[名前] タグの追加方法の詳細については、「[AWS End User Messaging SMS で登録の名前を変更する](#)」を参照してください。

通話料無料番号登録を作成したら、フォームに入力し、承認のために送信する必要があります。

通話料無料番号の登録を完了する

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、通話料無料番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社のウェブサイト] に、会社のウェブサイトの URL を入力します。
 - [Address 1] (住所 1) に、本社の住所を入力します。
 - [Address 2] (住所 2) (オプション) に、必要に応じて本社の部屋番号を入力します。
 - [City] (市) に、本社の市を入力します。
 - [都道府県] に、本社の都道府県を入力します。
 - [郵便番号] に本社の郵便番号を入力します。
 - [Country] (国) には、2 桁の ISO 国コードを入力します。
 - ビジネスタ입では、所有権と目的別に組織の分類を選択します。オプションには以下が含まれます。
 - プライベート利益 – 非公開営利企業
 - パブリックプロフィット — 営利目的の株式公開会社
 - 非営利 – 非営利組織
 - 個人事業主 – 従業員がいない個人事業主
 - 政府機関 – 政府機関

Note

個人事業主を選択しない限り、会社識別番号、識別番号タイプ、識別番号の国という 3 つの会社識別番号フィールドが必要です。

- 会社識別番号には、通信事業者とのビジネスアイデンティティの検証に使用される会社の正式な納税者番号または登録番号 (EIN や VAT など) を入力します。例えば、12-3456789。
- 識別番号タイプで、指定した識別番号のタイプを選択します。これにより、通信事業者は適切な政府機関とビジネス認証情報を検証できます。オプションには、EIN、CBN、CRN、PROVINCIAL_NUMBER、VAT、ARN、ABN、BLN、SIREN、SIRET、NZBN、IdNr、CIF、NIF、CNPJ、UID、NEQ、および OTHER があります。
- 識別番号の国には、識別番号が発行された国の 2 文字の ISO 国コード (、CA、 などGB) を入力します。これは、識別番号を発行した機関の国と一致する必要があります。
- [次へ] を選択します。

4. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [First Name] (名) に、連絡先となる担当者の名を入力します。
- [Last Name] (姓) に、連絡先となる担当者の姓を入力します。
- [Support Email] (サポート E メール) に、連絡先となる担当者の E メールアドレスを入力します。
- [Support Phone Number] (サポート電話番号) に、連絡先となる担当者の電話番号を入力します。電話番号は「+」で始まる必要があり、スペース、ハイフン、かっこを含めることはできません。例えば、+1 (206) 555-0142 は正しい形式ではなく、+12065550142 が正しい形式です。

[次へ] を選択します。

5. [Messaging Use Case] (メッセージングユースケース) で、以下の操作を行います。

- [月間 SMS ボリューム] で、毎月送信する SMS メッセージの数を選択します。
- [ユースケースカテゴリ] で、ユースケースタイプのいずれかを以下から選択します。
 - [Two-factor authentication] (2 要素認証) — これを使用して 2 要素認証コードを送信します。
 - [One-time passwords] (ワンタイムパスワード) — これを使用してユーザーにワンタイムパスワードを送信します。
 - [Notifications] (通知) — これはユーザーに重要な通知を送信する場合にのみ使用します。
 - [Polling and surveys] (ポーリングおよびアンケート) — これを使用してユーザーの好みを調査します。
 - [Info on demand] (オンデマンド情報) — ユーザーから送信されたリクエストに応じてユーザーにメッセージを送信します。

- [Promotions and Marketing] (プロモーションおよびマーケティング) — これはユーザーにマーケティングメッセージを送信する場合にのみ使用します。
- ワンタイムパスコード – 認証用のワンタイムパスコードを送信するために使用します。
- 非政治的なポーリングと調査 – これを使用して、ユーザーの好みをポーリングします。
- 配信通知 – 配信ステータスの更新を送信するために使用します。
- 教育 – 教育コンテンツと通知に使用します。
- パブリックアナウンス — パブリックサービスのアナウンスの送信に使用します。
- カスタマーケア – カスタマーサポートコミュニケーションに使用します。
- 非営利 – 非営利組織のコミュニケーションに使用します。
- アカウント通知 – アカウント関連の通知の送信に使用します。
- イベント通知 – イベント関連の更新を送信するために使用します。
- 金融取引 – 金融取引の通知に使用します。
- 予約のリマインダー – 予約のリマインダーを送信するために使用します。
- 医療 – 医療関連のコミュニケーションに使用します。
- 予約確認 – 予約と予約確認の送信に使用します。
- [Other] (その他) — ユースケースが他のどのカテゴリにも該当しない場合に、これを使用します。このオプションの [ユースケースの詳細] は必ず入力してください。
- [ユースケースの詳細] を完了して、選択した [ユースケースカテゴリ] に追加のコンテキストを指定します。
- オプトインカテゴリでは、次のいずれかのオプションを選択します。
 - 言語
 - デジタルフォーム
 - 紙のフォーム
 - [テキスト]
 - QR コード
- [オプトインワークフローの説明] で、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法についての説明を入力します。例えば、ウェブサイト上のオンラインフォームへの入力です。

Note

利用規約およびプライバシーポリシードキュメントへのパブリックアクセス可能なリンクがない場合は、登録フォームや [Amazon S3 の署名付き URL](#) などの別の方法に添付することもできます。

- [オプトインワークフローの画像] に、ユーザーがメッセージの受信に同意する方法の画像をアップロードします。サポートされるファイルタイプは PNG で、ファイルの最大サイズは 400 KB です。準拠したオプトインワークフローの追加情報と例については、「[許可を取得する](#)」を参照してください。

Important

オプトインのモックアップまたはスクリーンショットの例:

- [ウェブサイトのオプトイン] – クライアントが番号を追加してメッセージの受信に同意するウェブフォームのモックアップまたはスクリーンショット。
- [ウェブサイトへの投稿 (サポート)] – 番号を公表する場所とであり、お客様が入力すべき番号を見つける場所。
- [キーワードまたは QR コードのオプトイン] – お客様がこれらのメッセージに対してオプトインするためのキーワードまたは QR コードを見つける場所。
- [2FA/OTP]: オプトインのモックアップまたはスクリーンショット (該当する場合)。口頭の場合は、口頭でのオプトインスクリプトのモックアップまたはスクリーンショットを指定します。
- [情報]: 口頭での同意ワークフローのモックアップまたはスクリーンショットを提供し、メッセージングの内容を指定します。

6. [次へ] を選択します。

7. [メッセージサンプル] で、次の操作を行います。

- [メッセージサンプル 1] に、エンドユーザーに送信する SMS メッセージ本文のサンプルメッセージを入力します。
- [メッセージサンプル 2 – オプション] および [メッセージサンプル 3 – オプション] には、送信される SMS メッセージ本文の追加のサンプルメッセージを必要に応じて入力します。

8. [次へ] を選択します。

9. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
10. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

通話料無料番号登録拒否の理由

通話料無料番号登録が拒否された場合は、次の表を使用して拒否された理由と、通話料無料番号登録の修正方法を確認してください。登録が拒否された理由を特定したら、その問題に対処するように既存の登録を変更し、再送信できます。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で登録を編集する](#)」を参照してください。

拒否の理由

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
準拠オプトインがありません	オプトインプロセスまたはスクリーンショットがありません。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットには、受信者が SMS メッセージの受信に明示的な同意を提供する方法が明確に示されている必要があります。 一般的な拒否理由: SMS オプトインの同意に関する明示的な表現がない、入力された会社名とオプトインスクリーンショットが一致しない、テキストメッセージの受信をサービスへのサインアップに必須としてはいけなく、SMS オプトインの同意を利用規約に含めることはできない。詳細については、「 許可を取得する 」を参照してください。
無効なビジネス関連性	連絡先情報と会社/アプリケーション情報に明確な関連性がありません。SMS メッセージは、第三者に代わって送信することはできません。検証するには、連絡先と会社/アプリケーション情報の間の関連性についての説明を再送信してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
無効な会社情報	指定した会社情報は検証できません。検証するには、会社のウェブサイトが有効で、会社名と住所と一致していることを確認してください。
無効な複数の数値	単一の通話料無料番号は、単一のビジネスにのみ関連付けることができます。会社ごとに新しい登録リクエストを独自の電話番号で再送信するか、複数の企業間の関連性について説明してください。
全体的に無効	提供された情報は無効です。会社のウェブサイト、ユースケース、オプトイン、メッセージサンプルがすべて有効な入力であり、登録内の他の入力と一致していることを確認してください。
無効な URL	指定した会社の URL にアクセスできません。検証するには、提供された会社ウェブサイトが有効でアクティブであることを確認してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
非準拠オプトイン	指定したオプトインプロセスまたはスクリーンショットが不十分であるか、準拠していません。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットには、受信者が SMS メッセージの受信に明示的な同意を提供する方法が明確に示されている必要があります。一般的な拒否理由: SMS オプトインの同意に関する明示的な表現がない、入力された会社名とオプトインスクリーンショットが一致しない、テキストメッセージの受信をサービスへのサインアップに必須としてはいけな、SMS オプトインの同意を利用規約に含めることはできない。詳細については、「許可を取得する」を参照してください。
非準拠オプトインの同意	指定したオプトインプロセスまたはスクリーンショットに、明示的な同意が表示されていません。明示的な同意とは、ユーザーが特定のメッセージを受け取るかどうかを自ら選んで行動することを指します。準拠したオプトインプロセスまたはスクリーンショットには、受信者が SMS メッセージの受信に明示的な同意を提供する方法が明確に示されている必要があります。一般的な拒否理由: SMS オプトインの同意に関する明示的な表現がない、入力された会社名とオプトインスクリーンショットが一致しない、テキストメッセージの受信をサービスへのサインアップに必須としてはいけな、SMS オプトインの同意を利用規約に含めることはできない。詳細については、「許可を取得する」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の簡単な説明	AWS エンドユーザーメッセージング SMS 拒否の長い説明
非準拠オプトイン第三者	提供されたオプトインプロセスまたはスクリーンショットは、不十分であるか、オプトイン情報が第三者と共有されているため、準拠していません。準拠したオプトインプロセスでは、受信者が SMS メッセージの受信に明示的に同意する方法が明確に示されており、第三者とは共有されません。オプトイン情報の共有に関する記載を削除するか、「オプトイン情報は第三者と共有されない」と明記した上で、再送信してください。詳細については、「 許可を取得する 」を参照してください。
非準拠のユースケース	ユースケース、提供されたメッセージサンプル、またはその両方が、米国通信規制に基づく制限対象コンテンツとみなされています。制限付きコンテンツとみなされる項目の完全なリストについては、以下のドキュメントを参照してください。コンテンツが誤って制限対象とみなされていると思う場合は、サンプルメッセージとユースケースを更新して、登録情報を再送信してください。詳細については、「 許可を取得する 」を参照してください。

通話料無料番号に関するよくある質問

通話料無料番号の登録プロセスに関するよくある質問。

現在、通話料無料番号を所有しているかどうかは、どのようにして確認できますか？

通話料無料番号を所有しているかどうかを確認するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。

2. ナビゲーションペインで、[SMS and voice] (SMS と音声) の [Phone numbers] (電話番号) を選択します。
3. 通話料無料番号は、[タイプ] に [無料通話] として表示されます。

通話料無料番号は登録する必要がありますか？

はい。通話料無料番号を現在所有している場合、それを使用するには登録する必要があります。

通話料無料番号を購入するにはどうすればいいですか？

「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号をリクエストする](#)」の指示に従って、通話料無料番号を購入してください。

通話料無料番号を登録するにはどうすればいいですか？

既に TFN を調達し、登録フォームを作成している場合は、「[米国通話料無料の電話番号の登録フォーム](#)」の手順に従ってフォームに入力します。登録を作成する必要がある場合は、「[AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して新しい登録を作成する](#)」の手順に従って通話料無料番号を登録します。

通話料無料番号の登録ステータスはどうなっていますか？そのステータスはどういう意味ですか？

「[AWS End User Messaging SMS で登録のステータスを確認する](#)」の指示に従って登録とステータスを確認します。

どのような情報を提供すればよいですか？

会社の住所、担当者の連絡先、ユースケースを指定する必要があります。必要な情報は、「[米国通話料無料の電話番号の登録フォーム](#)」で確認できます。

登録が却下された場合はどうなりますか？

登録が拒否されると、そのステータスが [更新が必要] に変更されます。「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で登録を編集する](#)」の指示に従って更新することができます。

どのようなアクセス許可が必要ですか？

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールにアクセスするために使用する IAM アクセス許可は、アクセス "*sms-voice:**" 許可で有効にする必要があります。

米国のショートコード登録

SMS キャンペーンに米国ショートコードを使用する前に、米国ショートコードレジストリによるブランド審査を含む登録プロセスを完了する必要があります。開始する前に、[料金ページ](#)を確認して、米国のショートコード登録に関連するコストを確認してください。以下のトピックでは、送信の準備方法、審査要件、登録フォームの入力方法について説明します。

トピック

- [米国のショートコード送信の準備](#)
- [ブランド審査の要件](#)
- [米国ショートコード登録フォーム](#)

米国のショートコード送信の準備

ショートコード登録を送信する前に、次の業界ガイドラインを確認して、SMS キャンペーンが通信事業者の要件に準拠していることを確認してください。

- [CTIA ショートコードモニタリングハンドブック](#) – ショートコードプログラムのコンプライアンスとモニタリングに関する包括的なガイドライン。
- [CTIA メッセージングの原則とベストプラクティス](#) – 業界全体のメッセージング標準と推奨事項。
- [T-Mobile Code of Conduct](#) – キャリア固有の要件とベストプラクティス。

必要なドキュメント

ショートコード登録を開始する前に、次のドキュメントを準備します。

- SMS 利用規約 – SMS キャンペーンの特定の利用規約ドキュメントを作成します。このドキュメントは一般公開されている必要があります。承認のためにキャンペーンを送信するときにこれらの条件をオンラインで公開する必要はありませんが、ドラフトバージョンを指定し、これらの条件が最終的に投稿される URL を指定する必要があります。プライバシーポリシーにこれらの利用規約がまだ含まれていない場合は、別のドキュメントとして送信してください。通信事業者の要件をカバーするテンプレートについては、AWS「エンドユーザーメッセージング [SMS ベストプラクティスガイド](#)」の「[SMS および MMS 固有の利用規約](#)」セクションを参照してください。
- Call-to-action/Opt-in Mockup – ビジュアルモックアップまたは (口頭によるサインアップの場合) スクリプトのいずれかを含めます。このスクリプトには、ユーザーがプログラムに参加して同意を取得する方法を正確に示します。これは、潜在的なサブスクライバーにプログラムを提示する方法を

示すはずです。参加に同意する前に、特定の必須の免責事項をユーザーに提示する必要があります。

- 禁止されているコンテンツの確認 – SMS キャンペーンが禁止されたカテゴリに含まれていないことを確認します。通信事業者は、制限されたコンテンツタイプを含むアプリケーションを受け入れたりレビューしたりしません。AWS「エンドユーザーメッセージング SMS ベストプラクティスガイド」の「[禁止されているメッセージコンテンツ](#)のリスト」を確認してください。

Call-to-actionとオプトインの要件

SMS プログラムが準拠していることを確認するために、オプトイン時にエンドユーザーに提示する必要がある最低限の項目は次のとおりです。

- プログラム (ブランド) 名 – 会社名またはブランド名を明確に特定します。
- メッセージ頻度の開示 – メッセージの受信が予想される頻度をユーザーに通知します。例：「メッセージの頻度は異なります」または「ログインごとに 1 つのメッセージ」。
- カスタマーケアの連絡先情報 – ユーザーがサポートを受ける方法を提供します。例：「テキスト HELP または 1-800-111-2222 を呼び出してサポート」
- オプトアウト情報 – ユーザーがメッセージの受信を停止する方法を説明します。例：「Text STOP to opt-out of future messages」
- 「メッセージとデータ料金が適用される場合があります」の開示 – この標準的な通信事業者の開示を含めます。
- 利用規約へのリンク – パブリックにアクセス可能な利用規約ページへのリンクを提供します。
- プライバシーポリシーへのリンク – パブリックにアクセス可能なプライバシーポリシーページへのリンクを提供します。

準拠オプトインプロセスの構築の詳細については、「[How to Build a Compliant SMS Opt-In Process](#)」ブログ記事を参照してください。

ブランド審査の要件

CTIA (Cellular Telecommunications Industry Association) と米国ショートコードレジストリでは、すべてのブランドが新しいショートコードをリースするときに審査プロセスを完了し、その後は毎年審査プロセスを完了する必要があります。この審査プロセスは、消費者保護を強化し、SMS メッセージングの透明性を向上させるように設計されています。

審査プロセスでは、エンティティごとに次の情報を検証します。

- 会社名と法人タイプ
- 連邦雇用主識別番号 (FEIN/EIN)
- 企業登録
- コンプライアンス履歴
- 法的履歴

ブランドがショートコードリリースの審査に成功したら、追加のコードをリリースするときに審査プロセス全体を繰り返す必要はありません。ただし、ショートコードリリースを維持するには、毎年の再審査が必要です。

審査プロセスの仕組み

AWS は、ショートコード登録プロセス中に必要なブランド情報 (および該当する場合はコンテンツプロバイダー情報) を収集します。この情報は米国ショートコードレジストリに送信され、審査エージェントがブランド所有者に連絡して審査プロセスを完了し、ショートコード調達を承認できるようにします。

審査プロセスには以下のステップが含まれます。

1. 初期検証 – 審査エージェントは、正式名称と連邦雇用主識別番号 (FEIN) が一致していること、ブランドの連絡先 E メールが有効であり、会社の公開 URL に関連付けられていることを確認し、認証プロセスをトリガーします。
2. E メール検証 – 検証 PIN は、 からブランドの連絡先 E メールアドレスに送信されます `verify@usshortcodes.com`。ブランド連絡先は、Eメールの検証リンクをクリックし、PIN を入力してプロセスを完了する必要があります。
3. 完了 — 検証が完了すると、ブランドが承認され、ショートコードをプロビジョニングできます。

Important

検証 PIN は 7 日間有効です。PIN の有効期限が切れる 48 時間前にリマインダーが送信されます。PIN の有効期限が切れると、2 番目と最後の PIN が送信されます。アクションを実行しない場合は、AWS サポートケースを作成して、審査 Eメールの再送信をリクエストする必要があります。

検証に失敗する一般的な理由は次のとおりです。

- 送信された情報が、IRS が提供するブランドの Form SS-4 ドキュメントと一致しません
- ブランドは、検証システムでまだ更新されていない新しいエンティティです
- ブランド連絡先 E メールは、企業ドメインの代わりに無料の E メールサービス (Gmail や Yahoo など) を使用します。

検証の失敗を申し立てる必要がある場合は、CP-575 通知 (IRS が発行した公式 EIN 確認レター) のコピーを提供して、AWS サポートケースを通じてさらに確認することができます。

連絡先情報の要件

ショートコード登録プロセスでは、通信の検証に使用される連絡先情報を提供する必要があります。登録フォームでは、次のフィールドが収集されます。

- 連絡先名 – 会社の連絡先の名前。ISV (独立系ソフトウェアベンダー) の場合は、エンドユーザーの情報を入力します。
- 連絡先 E メールアドレス – 会社の連絡先の E メールアドレス。ISV の場合は、エンドユーザーの情報を入力します。この E メールには検証 PIN が送信されます。
- 連絡先電話番号 – 会社の連絡先の電話番号。ISV の場合は、エンドユーザーの情報を入力します。
- コンテンツプロバイダー名 (ISV のみ) – オプション。コンテンツプロバイダーの連絡先の名前。
- コンテンツプロバイダーの E メールアドレス (ISV のみ) – オプション。コンテンツプロバイダーの連絡先の E メールアドレス。
- コンテンツプロバイダーの電話番号 (ISV のみ) – オプション。コンテンツプロバイダーの連絡先の電話番号。

Tip

会社のウェブサイトドメインに一致する会社の E メールアドレスを使用します。無料の E メールサービス (Gmail、Yahoo、Outlook.com など) は許可されておらず、検証が失敗します。

審査を成功させるためのヒント

審査プロセスをスムーズに行うには、以下のヒントに従ってください。

- 検証 E メールを安全な送信者リストに追加する – 検証 E メールは から送信されます `verify@usshortcodes.com`。このアドレスを E メールセーフ送信者リストに追加して、検証 PIN を確実に受け取るようにします。
- 会社の E メールドメインを使用する – ブランド連絡先 E メールは、会社のウェブサイト URL と一致する必要があります。無料の E メールサービスは許可されていません。
- FEIN の精度を確認する — 連邦雇用主識別番号 (FEIN) と法人名は、IRS フォーム SS-4 または CP-575 のドキュメントと完全に一致する必要があります。
- 検証をすぐに完了する – 検証 PIN は 7 日後に期限切れになります。遅延を避けるため、E メールを受信したらすぐに検証を完了してください。
- 連絡先情報を最新の状態に保つ – ビジネス連絡先の詳細が変更された場合は、AWS でサポートケースを開き、年次再審査期間前に情報を更新します。

Eメールのリンクから検証を完了する際に問題が発生した場合は、以下を試してください。

- VPN をオフにまたは一時停止する
- 別のブラウザを試す
- URL をコピーしてブラウザに直接貼り付ける

年次再審査要件

米国のショートコードレジストリでは、毎年ブランドの再審査が必要です。ショートコードがアカウントにプロビジョニングされてから `verify@usshortcodes.com` 約 1 年後に確認 E メールが届きます。

年次再審査プロセスは、最初の PIN 検証と似ています。

1. 審査機関が、登録されているブランドの連絡先に E メールを送信する
2. E メールには検証リンクと PIN が含まれています
3. Eメールの検証は 7 日以内に完了する必要があります

Important

年次再審査を完了しないと、ショートコードサービスが停止される可能性があります。Eメールの検証リクエストをモニタリングし、迅速に完了します。

初回登録または前回の再審査以降にビジネス連絡先の詳細が変更された場合は、でサポートケースを開いて、年間再審査期間前にキャリアの連絡先情報 AWS を更新する必要があります。これにより、検証 E メールが正しい受信者に送信されます。

米国ショートコード登録フォーム

SMS キャンペーンのショートコードを作成して使用するには、登録フォームに記入して送信し、承認を得る必要があります。

ショートコード登録を完了する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [登録] で、入力する登録番号を選択します。

Note

通話料無料番号のリクエストの際、既に登録を作成している場合は、その登録フォームを使用できます。

3. [米国ショートコード登録] セクションでは、次のドキュメントを準備してください。
 - SMS 利用規約: 特定の利用規約。これは公開ドキュメントまたはドラフトバージョンのいずれかです。
 - コールトゥアクション/オプトインモックアップ: ビジュアルモックアップまたはユーザーがプログラムに参加する正確な方法を示すスクリプトのいずれか。
 - キャンペーンが禁止されたメッセージコントロールとユースケースに含まれていないことを確認し、キャンペーンが禁止されたカテゴリに属していないことを確認します。詳細については、「[the section called “禁止メッセージの内容”](#)」を参照してください。

[Next] (次へ) を選択します。

4. [会社情報] セクションで、次の内容を入力します。
 - [会社名] に会社の名前を入力します。
 - [会社識別番号] に会社の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
 - [商号 (DBA)] には、会社の正式名称と異なる場合は DBA またはブランド名を入力します。
 - 会社のウェブサイトには、会社のウェブサイトの URL をフルパスで入力します。

- [法人タイプ] には、組織の法的形式を入力します。
- [銘柄記号] には、会社の株式市場シンボルを入力します。上場企業の場合は、この情報を入力する必要があります。
- [証券取引所] には、上場している証券取引所を入力します。上場企業の場合は、この情報を入力する必要があります。
- [会社概要] には、会社が顧客に提供する製品/サービスの簡単な説明を入力します。
- [ISV または別の会社に代わってこのショートコードを管理する会社 (「End-company」) ですか?] では、別の会社に代わってこのサービスを管理する場合 (例えば、ISV の場合) は、[はい] を選択します。追加情報を表示するには、[情報] ボタンをクリックします。
- [コンテンツプロバイダー企業名 (ISV のみ)] には、コンテンツプロバイダー企業の正式名称を入力します。
- [コンテンツプロバイダー企業識別番号 (ISV のみ)] には、コンテンツプロバイダー企業の法的識別番号 (EIN や VAT など) を入力します。
- [コンテンツプロバイダー企業のウェブサイト (ISV のみ)] には、コンテンツプロバイダー企業のウェブサイトの完全な URL を入力します。
- [コンテンツプロバイダーの法人タイプ (ISV のみ)] には、コンテンツプロバイダーの法的形式を入力します。
- [コンテンツプロバイダーの銘柄記号 (ISV のみ、該当する場合)] には、ISV 銘柄記号を入力します。上場企業の場合は、この情報を入力する必要があります。
- [コンテンツプロバイダーの証券取引所 (ISV のみ、該当する場合)] には、ISV 企業が上場している証券取引所を入力します。上場企業の場合は、この情報を入力する必要があります。

[次へ] を選択します。

5. [会社所在地] セクションで、次の内容を入力します。

- [住所 1] に、会社の所在地のうち、町名および番地を入力します。
- [住所 2] には、該当する場合、建物名と部屋番号を入力します。
- [市町村] に所在地の市町村名を入力します。
- [都道府県] に所在地の都道府県名を入力します。
- [郵便番号] に所在地の郵便番号を入力します。
- [国コード] に所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。
- [コンテンツプロバイダーアドレス 1 (ISV のみ)] には、コンテンツプロバイダー企業に関連付けられている住所を入力します。

- [コンテンツプロバイダーアドレス 2 (ISV のみ)] には、該当する場合は、建物名と部屋番号を入力します。
- [コンテンツプロバイダーの市区町村 (ISV のみ)] には、所在地のある市区町村名を入力します。
- [コンテンツプロバイダーの州/都道府県 (ISV のみ)] には、所在地のある都道府県名を入力します。
- [コンテンツプロバイダーの郵便番号 (ISV のみ)] には、所在地の郵便番号を入力します。
- [コンテンツプロバイダーの国コード (ISV のみ)] には、所在地の 2 桁の ISO 国コードを入力します。

[次へ] を選択します。

6. [連絡先情報] セクションで、次の内容を入力します。

- [連絡先名] には、会社の連絡先の名前を入力します。ISV の場合は、エンドユーザーの情報を入力します。
- [連絡先メールアドレス] には、会社の連絡先のメールアドレスを入力します。ISV の場合は、エンドユーザーの情報を入力します。
- [連絡先の電話番号] で、会社の連絡先の電話番号を入力します。ISV の場合は、エンドユーザーの情報を入力します。
- [コンテンツプロバイダー名 (ISV のみ)] には、コンテンツプロバイダーの連絡先の名前を入力します。
- [コンテンツプロバイダーのメールアドレス (ISV のみ)] には、コンテンツプロバイダーの連絡先のメールアドレスを入力します。
- [コンテンツプロバイダーの電話番号 (ISV のみ)] には、コンテンツプロバイダーの連絡先の電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

7. [カスタマーケア連絡先情報] セクションで、次の情報を入力します。

- [カスタマーケアの URL] には、会社のカスタマーサポートページの完全な URL を入力します。
- [カスタマーケアの E メールアドレス] には、会社のカスタマーサポートの E メールアドレスを入力します。
- [カスタマーケアの電話番号] には、会社のカスタマーサポートの電話番号を入力します。

[次へ] を選択します。

8. [ショートコード情報] セクションで、次を入力します。

- [ショートコードオプション] では、ランダムまたはバニティショートコードを使用するか、希望するバニティショートコードが使用できない場合はランダムコードを使用するかを指定します。
- [バニティショートコード番号設定 1] で、バニティショートコードをリクエストする場合は、リクエストされたショートコードを指定してください。最大 3 つのショートコードを優先順に指定します。
- [バニティショートコード番号設定 2] で、バニティショートコードをリクエストする場合は、リクエストされたショートコードを指定してください。最大 3 つのショートコードを優先順に指定します。
- [バニティショートコード番号設定 3] で、バニティショートコードをリクエストする場合は、リクエストされたショートコードを指定してください。最大 3 つのショートコードを優先順に指定します。

[次へ] を選択します。

9. [メッセージングのユースケース] セクションで、次を入力します。

- [サービス名] には、会社名またはブランド名を含むサービス名を入力し、送信するメッセージのタイプを定義する短い記述子を含められます。
- [ユースケースカテゴリ] には、ユースケースに最も近いカテゴリを選択します。
- [ユースケースの説明] には、このショートコードを使用して SMS メッセージを送信するユースケースの説明を入力します。
- [スweepステークスやコンテスト] には、このショートコードがスweepステークス関連の連絡の送信に使用されるかどうかを入力します。
- [スweepステークスやコンテストのルール of 完全な URL] には、スweepステークスやコンテストのルール of URL を入力します。[はい] の場合は、スweepステークス of ルールへの URL を指定する必要があります。
- [スweepステークスやコンテスト of ドキュメント] で、スweepステークスまたはコンテスト of ルール of 完全な URL が利用できない場合は、スweepステークスまたはコンテスト of ルールを詳述したドキュメントを入力します。

- [デットコレクション] で、このショートコードがデットコレクションに使用されるかどうかを入力します。
- [HIPAA 対応ユースケース] で、ユースケースが HIPAA 対応かどうかを入力します。
- [ユーザーあたりの月間平均 SMS 頻度] には、ユーザーがこのショートコードから受信すると予想される SMS メッセージの推定数を入力します。
- [月間 SMS ボリューム] には、このショートコードから送信される毎月の SMS メッセージの推定数を入力します。

[次へ] を選択します。

10. [メッセージサンプル] セクションで、次の操作を行います。

- [メッセージサンプル 1] に、サンプルを入力します。このショートコードから送信される SMS メッセージには、少なくとも 1 つのサンプルが必要です。
- [メッセージサンプル 2] には、必要に応じて別のサンプルを入力します。
- [メッセージサンプル 3] には、必要に応じて別のサンプルを入力します。
- [メッセージサンプル 4] には、必要に応じて別のサンプルを入力します。
- [メッセージサンプル 5] には、必要に応じて別のサンプルを入力します。
- [メッセージサンプル 6] には、必要に応じて別のサンプルを入力します。
- [メッセージサンプル 7] には、必要に応じて別のサンプルを入力します。
- [メッセージサンプル 8] には、必要に応じて別のサンプルを入力します。
- [メッセージサンプル 9] には、必要に応じて別のサンプルを入力します。
- [メッセージサンプル 10] には、必要に応じて別のサンプルを入力します。

[次へ] を選択します。

11. [MMS ファイルのサンプル] セクションに、次のように入力します。

- [MMS] で、MMS 対応のショートコードが必要かどうかを選択します。
- [MMS メッセージサンプル 1] では、MMS メッセージングコンテンツのサンプルを指定します。これは、[はい] を選択した場合に必要です。
- [MMS メッセージサンプル 2] では、必要に応じて MMS メッセージングコンテンツのサンプルを指定します。
- [MMS メッセージサンプル 3] では、必要に応じて MMS メッセージングコンテンツのサンプルを指定します。

[次へ] を選択します。

12. [利用規約とプライバシーポリシー情報] セクションで、次のように入力します。

- [利用規約 URL] には、会社の利用規約ページの完全な URL を入力します。
- [利用規約ファイル] には、公開されていない場合は利用規約の全文を入力します。
- [プライバシーポリシー URL] には、会社のプライバシーポリシーページの完全な URL を入力します。
- [プライバシーポリシーファイル] には、公開されていない場合はプライバシーポリシーの全文を入力します。

[次へ] を選択します。

13. [オプトインワークフロー/コールトゥアクション] セクションで、次の操作を行います。

- [オプトイン方法] には、ユーザーがオプトインする方法を入力します。
- [オプトイン方法 (その他)] では、[その他] を選択した場合はその方法の説明を入力します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 1] では、サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて順を追って説明し、表示される正確な文言を併せて記載します。
- [オプトインモックアップ 1] では、コールトゥアクションまたはオプトインを示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 2] では、サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて順を追って説明し、表示される正確な文言を併せて記載します。
- [オプトインモックアップ 2] では、コールトゥアクションまたはオプトインを示すモックアップを添付します。
- [オプトイン方法のユーザーエクスペリエンスフロー 3] では、サービスにサインアップする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて順を追って説明し、表示される正確な文言を併せて記載します。
- [オプトインモックアップ 3] では、ダブルオプトインエクスペリエンスを使用しているかどうかを選択します。
- [ダブルオプトインプロセス] では、サービスにダブルオプトインする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて順を追って説明し、表示される正確な文言を併せて記載します。

- [ダブルオプトインユーザーエクスペリエンスフロー] では、サービスにダブルオプトインする際のエンドユーザーのエクスペリエンスについて順を追って説明します。

[次へ] を選択します。

14. [コンプライアンスキーワードと自動応答] セクションで、次のように入力します。

- [HELP レスポンス] では、ユーザーが HELP キーワードを使用してインバウンドメッセージを送信したときのエンドユーザーエクスペリエンスを記載します。
- [STOP レスポンス] では、ユーザーが STOP を送信したときのエンドユーザーエクスペリエンスを記載します。
- [オプトインキーワード] には、ショートコードに送信された際に送信者がメッセージの受信を許可されるプライマリキーワードを指定します。
- [オプトイン確認メッセージ] には、受信者がサービスにオプトインしたことを確認するメッセージを入力します。

[次へ] を選択します。

15. [確認して送信] ページで、送信しようとしている情報が正しいことを確認します。更新するには、セクションの横にある [編集] を選択します。
16. [Submit registration] (登録の送信) を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS での双方向 SMS メッセージング

AWS エンドユーザーメッセージング SMS には、双方向 SMS のサポートが含まれています。双方向 SMS を設定すると、お客様からの着信メッセージを受信することができます。また、双方向メッセージングを Lambda や Amazon Lex などの他の AWS サービスと一緒に使用して、インタラクティブなテキストメッセージエクスペリエンスを作成することもできます。

顧客が貴社の電話番号にメッセージを送信すると、メッセージ本文が Amazon SNS トピックまたは Amazon Connect に送信され処理されます。

双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[SMS および MMS の国別の機能と制限](#)」を参照してください。

送信者 ID は、双方向 SMS メッセージングをサポートしていません。

Note

双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[SMS および MMS の国別の機能と制限](#)」を参照してください。

双方向 MMS はサポートされていませんが、電話番号は発信された MMS メッセージに応答して受信 SMS メッセージを受け取れます。

Amazon Connect for 双方向 SMS は、「Amazon Amazon Connect 管理者ガイド」の AWS リージョン「[チャットメッセージング: SMS サブタイプ](#)」に記載されているで利用できます。

トピック

- [AWS End User Messaging SMS で電話番号の双方向 SMS メッセージングを設定する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で電話プールの双方向 SMS メッセージングを設定する](#)
- [Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#)
- [Amazon SNS トピックのトピックポリシー](#)
- [Amazon Connect の IAM ポリシー](#)
- [Amazon SNS トピックの双方向 SMS メッセージペイロードの例](#)

AWS End User Messaging SMS で電話番号の双方向 SMS メッセージングを設定する

AWS End User Messaging SMS には、双方向 SMS のサポートが含まれています。双方向 SMS を設定すると、お客様からの着信メッセージを受信することができます。また、Lambda や Amazon Lex などの他の AWS のサービス と併用することにより、双方向のテキストメッセージングエクスペリエンスを実現できます。

顧客が貴社の電話番号にメッセージを送信すると、メッセージ本文が Amazon SNS トピックまたは Amazon Connect インスタンスに送信され処理されます。

Note

- 双方向 SMS は、特定の国や地域でのみ使用できます。国または地域でサポートされている双方向 SMS の詳細については、「[SMS および MMS の国別の機能と制限](#)」を参照してください。
- 双方向 SMS 用 Amazon Connect は、「Amazon Connect 管理者ガイド」の「[チャットメッセージ: SMS サブタイプ](#)」の一覧にある AWS リージョン で利用できます。
- 双方向 MMS はサポートされていませんが、電話番号は発信された MMS メッセージに回答して受信 SMS メッセージを受け取れます。

Two-way SMS messaging (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して双方向 SMS を有効にするには、次の手順に従います。

双方向 SMS を有効にする

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. [電話番号] ページで、電話番号を選択します。
4. [双方向 SMS] タブで [設定を編集] ボタンをクリックします。
5. [設定を編集] ページで [双方向メッセージを有効にする] を選択します。
6. [送信先タイプ] で、[Amazon SNS] または [Amazon Connect] を選択します。

- Amazon SNS では、[新しい Amazon SNS トピック] または [既存の Amazon SNS トピック] のいずれかを、[双方向チャネルの役割] では、[既存の IAM ロールを選択する] または [Amazon SNS トピックポリシーを使用] のいずれかを選択します。
 - 新しい Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、AWS End User Messaging SMS はアカウント内にトピックを作成します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「[Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド](#)」の「[Amazon SNS を設定する](#)」を参照してください。
 - 既存の Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、[受信メッセージの送信先] ドロップダウンで既存の Amazon SNS トピックを選択する必要があります。
 - [双方向チャネルの役割] では、次のいずれかを選択します。
 - 既存の IAM ロールを選択 – Amazon SNS トピックに適用する既存の IAM ポリシーを選択します。Amazon SNS ポリシーの例は、[Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#) を参照してください。
 - Amazon SNS トピックポリシーを使用 – Amazon SNS トピックでは、AWS End User Messaging SMS へのアクセスを許可する適切な Amazon SNS トピックポリシーが必要です。Amazon SNS ポリシーの例は、[Amazon SNS トピックのトピックポリシー](#) を参照してください。
 - [双方向チャネルの役割] の Amazon Connect では、[既存の IAM ロールを選択する] を選択します。
 - [既存の IAM ロール] ドロップダウンで、メッセージの送信先として既存の IAM ロールを選択します。IAM ポリシーの例は [Amazon Connect の IAM ポリシー](#) を参照してください。
7. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。
 8. (オプション) [送信先タイプ] に Amazon Connect を選択した場合は、[Amazon Connect に電話番号をインポート] ウィンドウで次の操作を行います。
 - a. [受信メッセージの送信先] ドロップダウンで、受信メッセージを受信する Amazon Connect インスタンスを選択します。
 - b. [電話番号をインポート] をクリックします。

Two-way SMS messaging (AWS CLI)

[update-phone-number](#) コマンドを使用して、双方向 SMS を有効にできます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-phone-number \  
> --phone-number-id PhoneNumber \  
> --two-way-enabled True \  
> --two-way-channel-arn TwoWayARN \  
> --two-way-channel-role TwoChannelWayRole
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *PhoneNumber* を、電話番号の PhoneNumberID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- 受信 SMS メッセージを受け取るには、*TwoWayARN* を Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。Amazon SNS ポリシーの例は、[Amazon SNS トピックのトピックポリシー](#) を参照してください。Amazon Connect をインバウンド送信先として設定するには、*TwoWayARN* を `connect.region.amazonaws.com` に設定します。*region* を Amazon Connect インスタンスがホストされている AWS リージョン に置き換えます。
- *TwoChannelWayRole* を、使用する IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。SNS アクセス許可ポリシーの例については [Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#) を参照し、Amazon Connect ポリシーの例については [Amazon Connect の IAM ポリシー](#) を参照してください。このパラメータは、IAM アクセス許可ポリシーを使用する場合にのみ必要です。

AWS End User Messaging SMS で電話プールの双方向 SMS メッセージングを設定する

AWS End User Messaging SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、電話プールの双方向 SMS を有効にします。

Two-way SMS messaging (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して双方向 SMS を有効にするには、次の手順に従います。

双方向 SMS を有効にする

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。

3. [電話プール] ページで、電話プールを選択します。
4. [双方向 SMS] タブで [設定を編集] を選択します。
5. [設定を編集] ページで [双方向メッセージを有効にする] を選択します。
6. [送信先タイプ] で、[Amazon SNS] または [Amazon Connect] を選択します。
 - Amazon SNS では、[新しい Amazon SNS トピック] または [既存の Amazon SNS トピック] のいずれかを、[双方向チャネルの役割] では、[既存の IAM ロールを選択する] または [Amazon SNS トピックポリシーを使用] のいずれかを選択します。
 - 新しい Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、AWS End User Messaging SMS はアカウント内にトピックを作成します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「Amazon SNS デベロッパーガイド」の「[Amazon SNS を設定する](#)」を参照してください。
 - 既存の Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、[受信メッセージの送信先] ドロップダウンで既存の Amazon SNS トピックを選択する必要があります。
 - [双方向チャネルの役割] では、次のいずれかを選択します。
 - 既存の IAM ロールを選択 – Amazon SNS トピックに適用する既存の IAM ポリシーを選択します。Amazon SNS ポリシーの例は、[Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#) を参照してください。
 - Amazon SNS トピックポリシーを使用 – Amazon SNS トピックでは、AWS End User Messaging SMS へのアクセスを許可する適切な Amazon SNS トピックポリシーが必要です。Amazon SNS ポリシーの例は、[Amazon SNS トピックのトピックポリシー](#) を参照してください。
 - [双方向チャネルの役割] の Amazon Connect では、[既存の IAM ロールを選択する] を選択します。
 - [既存の IAM ロール] ドロップダウンで、メッセージの送信先として既存の IAM ロールを選択します。IAM ポリシーの例は [Amazon Connect の IAM ポリシー](#) を参照してください。
7. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Two-way SMS messaging (AWS CLI)

[update-pool](#) コマンドを使用して、双方向 SMS を有効にできます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-pool \  
> --pool-id poolid \  
> --two-way-channel-arn TwoWayARN \  
> --two-way-channel-role TwoChannelWayRole
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *poolid* を、電話番号の PhonePoolID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- 受信 SMS メッセージを受け取るには、*TwoWayARN* を Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。Amazon SNS ポリシーの例は、[Amazon SNS トピックのトピックポリシー](#) を参照してください。Amazon Connect をインバウンド送信先として設定するには、*TwoWayARN* を `connect.region.amazonaws.com` に設定します。*region* を Amazon Connect インスタンスがホストされている AWS リージョン に置き換えます。
- *TwoChannelWayRole* を、使用する IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。SNS アクセス許可ポリシーの例については [Amazon SNS トピックの IAM ポリシー](#) を参照し、Amazon Connect ポリシーの例については [Amazon Connect の IAM ポリシー](#) を参照してください。このパラメータは、IAM アクセス許可ポリシーを使用する場合にのみ必要です。

Amazon SNS トピックの IAM ポリシー

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で既存の IAM ロールを使用する場合、または新しいロールを作成する場合は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS が引き受けることができるように、そのロールに次のポリシーをアタッチします。ロールの信頼関係を変更する方法については、「[IAM ユーザーガイド](#)」の「[ロールの修正](#)」を参照してください。

以下に示すのは、IAM ロールの信頼ポリシーです。以下の IAM ポリシーで、次の変更を行います。

- *accountId* を AWS アカウントの一意の ID と置き換えます。

JSON

```
{  
  "Version": "2012-10-17",  
  "Statement": [  
    {
```

```

    "Sid": "SMSVoice",
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
    },
    "Action": "sts:AssumeRole",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "accountId"
      }
    }
  }
]
}

```

以下に示すのは、IAM ロールのアクセス許可ポリシーです。SMSVoiceAllowSNSPublish Sid は Amazon SNS トピックへの発行を許可するアクセス許可ポリシーであり、SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics Sid は暗号化された Amazon SNS トピックのオプションです。

以下の IAM アクセス許可ポリシーで、次の変更を行います。

- `partition` を、AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用する AWS パーティションに置き換えます。
- *region* AWS リージョン を、AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用する に置き換えます。
- *accountId* を AWS アカウントの一意的 ID と置き換えます。
- *snsTopicArn* を、メッセージを受信する Amazon SNS トピックに置き換えます。

JSON

```

{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceAllowSNSPublish",
      "Effect": "Allow",
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:snsTopicArn",

```



```

        "Condition": {
            "StringEquals": {
                "aws:ResourceAccount": "111122223333"
            }
        },
        {
            "Sid": "SMSVoiceAllowEncryptedSNSTopics",
            "Effect": "Allow",
            "Action": [
                "kms:Decrypt",
                "kms:GenerateDataKey*"
            ],
            "Resource": "*",
            "Condition": {
                "StringEquals": {
                    "kms:EncryptionContext:aws:sns:topicArn": "arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:snsTopicArn",
                    "aws:CalledViaLast": "sns.amazonaws.com"
                }
            }
        }
    ]
}

```

Amazon SNS トピックのトピックポリシー

Amazon SNS トピックでは、AWS End User Messaging SMS へのアクセスが **TwoChannelWayRole** パラメータで指定されていない場合、それらのアクセスを許可する適切なトピックポリシーが必要です。

```

{
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
    },
    "Action": "sns:Publish",
    "Resource": "snsTopicArn"
}

```

上の例に、以下の変更を加えます。

- **snsTopicArn** を、メッセージを送受信する Amazon SNS トピックに置き換えます。

 Note

Amazon SNS FIFO トピックはサポートされていません。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS データは暗号化されますが、セキュリティを強化するためにキーを使用して AWS KMS 暗号化された Amazon SNS トピックを使用できます。このようなセキュリティの強化は、プライベートなデータや機密性の高いデータを扱うアプリケーションに有効です。

暗号化された Amazon SNS トピックを双方向メッセージングで使用するには、いくつかの追加設定手順を実行する必要があります。

次のステートメント例では、「オプション」、「推奨」、SourceAccount および SourceArn 「条件」を使用して、混乱した代理問題を回避し、AWS エンドユーザーメッセージング SMS 所有者アカウントのみがアクセスできます。混乱した代理問題の詳細については、「[IAM ユーザーガイド](#)」の「[混乱した代理問題](#)」を参照してください。

まず、使用する鍵は対称である必要があります。暗号化された Amazon SNS トピックは非対称 AWS KMS キーをサポートしていません。

次に、AWS エンドユーザーメッセージング SMS がキーを使用できるように、キーポリシーを変更する必要があります。既存のキーポリシーに以下の権限を追加します。

```
{
  "Effect": "Allow",
  "Principal": {
    "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
  },
  "Action": [
    "kms:GenerateDataKey*",
    "kms:Decrypt"
  ],
  "Resource": "*",
  "Condition": {
    "StringEquals": {
      "aws:SourceAccount": "accountId"
    }
  },
}
```

```
"ArnLike": {
  "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:region:accountId:*"
}
}
```

キーポリシーの編集の詳細については、『AWS Key Management Service デベロッパーガイド』の「[Changing a key policy](#)」を参照してください。

AWS KMS キーを使用した Amazon SNS トピックの暗号化の詳細については、「Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド」の「[AWS サービスからのイベントソースと暗号化されたトピック間の互換性](#)を有効にする」を参照してください。

Amazon Connect の IAM ポリシー

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で既存の IAM ロールを使用する場合、または新しいロールを作成する場合は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS が引き受けることができるように、そのロールに次のポリシーをアタッチします。既存のロールの信頼関係を変更する方法については、「[IAM ユーザーガイド](#)」の「[ロールの修正](#)」を参照してください。

IAM ポリシーを新しく作成するには、次の操作を行います。

1. 「IAM ユーザーガイド」の「[JSON エディタを使用したポリシーの作成](#)」の指示に従って、新しいアクセス許可ポリシーを作成します。
 - ステップ 4 では、以下で定義されているアクセス許可ポリシーを使用します。
2. 「IAM ユーザーガイド」の「[カスタム信頼ポリシーを使用したロールの作成](#)」の指示に従って、新しい信頼ポリシーを作成します。
 - a. ステップ 4 では、以下で定義されている信頼ポリシーを使用します。
 - b. ステップ 11 で、前のステップで作成したアクセス許可ポリシーを追加します。

以下は、Amazon Connect への発行を許可する IAM ロールのアクセス許可ポリシーです。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
```

```
"Statement": [  
  {  
    "Effect": "Allow",  
    "Action": [  
      "connect:SendChatIntegrationEvent"  
    ],  
    "Resource": [  
      "*"   
    ]  
  }  
]
```

IAM ロールの信頼ポリシーを次に示します。次の変更を加えます。

- *accountId* を AWS アカウントの一意の ID と置き換えます。

JSON

```
{  
  "Version": "2012-10-17",  
  "Statement": [  
    {  
      "Sid": "SMSVoice",  
      "Effect": "Allow",  
      "Principal": {  
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"  
      },  
      "Action": "sts:AssumeRole",  
      "Condition": {  
        "StringEquals": {  
          "aws:SourceAccount": "accountId"  
        }  
      }  
    }  
  ]  
}
```

Amazon SNS トピックの双方向 SMS メッセージペイロードの例

番号が SMS メッセージを受信すると、AWS End User Messaging SMS は指定した Amazon SNS トピックに JSON ペイロードを送信します。次の例にあるように、JSON ペイロードにはメッセージと関連するデータが含まれています。

```
{
  "originationNumber":"+14255550182",
  "destinationNumber":"+12125550101",
  "messageKeyword":"JOIN",
  "messageBody":"EXAMPLE",
  "inboundMessageId":"cae173d2-66b9-564c-8309-21f858e9fb84",
  "previousPublishedMessageId":"wJalrXUtnFEMI/K7MDENG/bPxRfiCYEXAMPLEKEY"
}
```

着信メッセージペイロードには、次の情報が含まれています。

プロパティ	説明
originationNumber	受信メッセージを送信した電話番号（つまり、お客様の電話番号）。
destinationNumber	お客様がメッセージを送信した電話番号（専用の電話番号）。
messageKeyword	専用電話番号に関連付けられている登録済みのキーワード。
messageBody	お客様から送信されたメッセージ。
inboundMessageId	受信メッセージの一意の識別子。
previousPublishedMessageId	お客様が応答しているメッセージの一意の識別子。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のキーワード

キーワードとは、顧客がレスポンスを引き出すためにユーザーの電話番号に送信できる特定の語句です。例えば、情報メッセージや、追加のメッセージを受け取るためのオプトイン、スペシャルオファー、その他のプロモーションメッセージやトランザクションメッセージなどです。番号がキーワードで始まるメッセージを受信すると、AWS End User Messaging SMS はカスタマイズ可能なメッセージで応答します。

ショートコードの場合、コンソールには、ショートコードをリクエストしたときに最初に定義したキーワードとレスポンスが表示されます サポート。は、ショートコードをプロビジョニングするときにキーワードとレスポンスをワイヤレスキャリア サポート に登録します。

ロングコードの場合、コンソールにはデフォルトのキーワードとレスポンスが表示されます。

[重要]

キーワードと応答メッセージは、通信事業者と携帯電話業界グループによって設定されたガイドラインに従う必要があります。従っていない場合は、監査の後、そのようなグループがショートコードまたはロングコードに対してアクションを実行する可能性があります。このアクションには、番号を拒否リストに追加したり、メッセージをブロックしたりすることが含まれます。

キーワードの長さは 1~30 文字で、先頭や末尾にスペースを含めることはできません。キーワードでは大文字/小文字を区別します。

AWS RCS エージェントの場合、キーワードは AWS RCS エージェントで設定され、関連するすべての RCS for Business IDs (テストエージェントと国起動エージェント) に適用されます。エンドユーザーがキーワードを含むメッセージを AWS RCS エージェントに送信すると、AWS エンドユーザーメッセージング SMS は設定されたキーワードレスポンスで応答します。インバウンド RCS メッセージの受信とキーワード処理の詳細については、「」を参照してください [インバウンド RCS メッセージの受信](#)。

米国の通信事業者では、次のキーワードをサポートするショートコードが必要です。さらに、は、これらのキーワードをサポートするためにすべてのロングコードとショートコード AWS を想定しています。

HELP

カスタマーサポートを受ける場合に使用されます。応答メッセージには、次の例にあるように、カスタマーサポートのお問い合わせ先情報を含める必要があります。

「アカウントについてのお問い合わせは、(206) 555-0199 までお電話ください。」

STOP

番号からのメッセージの受信をオプトアウトする場合に使用されます。STOP に加えて、対象者は CANCEL または OPTOUT などのサポートされているオプトアウトキーワードを使用できます。サポートされているオプトアウトキーワードについては、「[必須オプトアウトキーワード](#)」を参照してください。番号がオプトアウトキーワードを含む SMS メッセージを受信すると、AWS End User Messaging SMS は、アカウントからオプトアウトした個人への SMS メッセージの送信を停止します。

応答メッセージは、次の例に示すように、オプトアウトしたユーザーへのメッセージ送信が中止されたことを確認する必要があります。

「オプトアウトされたため、今後はメッセージを受信しません。」

トピック

- [必須オプトアウトキーワード](#)
- [キーワードアクション](#)
- [AWS End User Messaging SMS の電話番号にキーワードを追加する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で電話番号に使用されるキーワードを表示する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で電話番号に使用されるキーワードを編集する](#)
- [AWS End User Messaging SMS の電話番号からキーワードを削除する](#)
- [AWS End User Messaging SMS の電話プールにキーワードを追加する](#)
- [AWS End User Messaging SMS の電話プールで使用されるキーワードを表示する](#)
- [電話プール内のキーワードを編集する](#)
- [AWS End User Messaging SMS の電話プールからプールを削除する](#)

必須オプトアウトキーワード

現地の法律および規制により義務付けられている場合 (米国およびカナダなど)、SMS および MMS の受取人は、デバイスを利用して以下のいずれかのメッセージに返信することによって、オプトアウトできます。

Note

電話番号と電話プールにカスタムキーワードを追加してオプトアウトできます。

- 停止
- CANCEL
- END
- OPT-OUT
- OPTOUT
- QUIT
- REMOVE
- STOP
- TD
- UNSUBSCRIBE

オプトアウトするには、受信者は AWS End User Messaging SMS がメッセージの配信に使用したのと同じ電話番号に返信する必要があります。オプトアウトすると、受信者は AWS アカウントから SMS または MMS メッセージを受信しなくなります。

Note

米国の通話料無料の番号の場合、オプトアウトは通信事業者レベルで管理されます。米国の通話料無料の番号でサポートされるオプトアウトキーワードは、STOP のみです。オプトアウトキーワードを追加したり、受信者がオプトアウトしたときに受け取る応答メッセージを変更したりすることはできません。ユーザーは、UNSTOP または START をキーワードとして使用し、通話料無料の番号に新しいメッセージを送信することにより再サブスクライブできます。

ユーザーが再サブスクライブできるようにするには、通話料無料番号にキーワード UNSTOP、START、またはその両方を追加し、キーワードアクションを Opt-in に設定します。

キーワードアクション

キーワードには、3つのアクションのいずれかを関連付けることができます。顧客がキーワードで応答すると、そのユーザーをオプトアウトリストに追加または削除するか、ユーザーに対してメッセージで応答します。

- Opt-out – 受信者はオプトアウトリストに追加され、今後のメッセージは受信されません。
- Opt-in – 受信者は今後のメッセージの受信を希望しています。
- Automatic response - テキストキーワードメッセージを送信する受信者にメッセージが送信されます。

AWS End User Messaging SMS の電話番号にキーワードを追加する

電話番号のキーワード応答をカスタマイズするには、AWS End User Messaging SMS コンソールまたは AWS CLI を使用します。

Add a keyword (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して、電話番号にキーワードを追加します。

キーワードを追加する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインで、[設定] の [電話番号] を選択します。
3. [電話番号] ページで、キーワードを追加する電話番号を選択します。
4. [キーワード] タブで [キーワードを追加] ボタンを選択します。
5. [カスタムキーワード] ペインで、以下を追加します。
 - キーワード - 追加する新しいキーワード。

- 応答メッセージ — 受信者に送り返すメッセージ。
- キーワードアクション — キーワードの受信時に実行するアクション。

6. [キーワードを追加] を選択します。

Add or edit a keyword (AWS CLI)

新しいキーワードを作成または編集するには、[put-keyword](#) コマンドを使用できます。このキーワードが既に存在している場合は上書きされます。

キーワードを作成するには、AWS CLI で次のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword \  
> --keyword-message KeywordMessage \  
> --keyword-action KeywordAction
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *OriginationIdentity* を、キーワードを追加する電話番号の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *Keyword* を新しいキーワードに置き換えます。
- *KeywordMessage* を、キーワードへの応答時に使用するメッセージに置き換えます。
- *KeywordAction* を、キーワードの受信時に実行するアクション (AUTOMATIC_RESPONSE、OPT_OUT、OPT_IN) に置き換えます。

AWS End User Messaging SMS で電話番号に使用されるキーワードを表示する

発信元 ID に関連付けられているキーワードに関する情報を表示するには、[describe-keywords](#) コマンドを使用できます。

コマンドラインで AWS CLI を使用してキーワードを一覧表示するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-keywords \  

```

```
> --origination-identity OriginationIdentity
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

OriginationIdentity を、キーワードを一覧表示する対象の電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

AWS End User Messaging SMS で電話番号に使用されるキーワードを編集する

電話番号のキーワード応答を編集するには、AWS End User Messaging SMS コンソールまたは AWS CLI を使用します。

Edit a keyword (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用してキーワードを編集します。

キーワードを編集するには

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインで、[設定] の [電話番号] を選択します。
3. [電話番号] ページで、キーワードが含まれる電話番号を選択します。
4. [キーワード] タブで、編集するキーワードを選択し、[キーワードを編集] を選択します。
5. [カスタムキーワード] ペインで、以下のいずれかを変更します。
 - キーワード – 変更するキーワード。
 - 応答メッセージ – 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション – キーワードの受信時に実行するアクション。
6. [キーワードを保存] を選択します。

Add or edit a keyword (AWS CLI)

新しいキーワードを作成または編集するには、[put-keyword](#) コマンドを使用できます。このキーワードが既に存在している場合は上書きされます。

キーワードを作成するには、AWS CLI で次のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword \  
> --keyword-message KeywordMessage \  
> --keyword-action KeywordAction
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *OriginationIdentity* を、キーワードを追加する電話番号の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *Keyword* を新しいキーワードに置き換えます。
- *KeywordMessage* を、キーワードへの応答時に使用するメッセージに置き換えます。
- *KeywordAction* を、キーワードの受信時に実行するアクション (AUTOMATIC_RESPONSE、OPT_OUT、OPT_IN) に置き換えます。

AWS End User Messaging SMS の電話番号からキーワードを削除する

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して、電話番号からキーワードを削除します。

Note

必要なオプトアウトキーワードは削除できません。

キーワードを削除するには

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. [電話番号] ページで、キーワードが含まれる電話番号を選択します。
4. [キーワード] タブで、削除するキーワードを選択し、[キーワードを削除] を選択します。

AWS End User Messaging SMS の電話プールにキーワードを追加する

AWS End User Messaging SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、電話プールのキーワード応答をカスタマイズします。

Add a keyword (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して、プールにキーワードを追加します。

キーワードを追加する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、キーワードを追加するプールを選択します。
4. [キーワード] タブで [キーワードを追加] を選択します。
5. [カスタムキーワード] ペインで、以下を行います。
 - キーワード - 追加する新しいキーワード。
 - 応答メッセージ — 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション — キーワードの受信時に実行するアクション。
6. [キーワードを追加] を選択します。

Add or edit a keyword (AWS CLI)

新しいキーワードを作成または編集するには、[put-keyword](#) コマンドを使用できます。このキーワードが既に存在している場合は上書きされます。

キーワードを作成するには、AWS CLI で次のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword \  
> --keyword-message KeywordMessage \  
> --keyword-action KeywordAction
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *OriginationIdentity* を、キーワードを追加するプールの一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *Keyword* を新しいキーワードに置き換えます。
- *KeywordMessage* を、キーワードへの応答時に使用するメッセージに置き換えます。
- *KeywordAction* を、キーワードの受信時に実行するアクション (AUTOMATIC_RESPONSE、OPT_OUT、OPT_IN) に置き換えます。

AWS End User Messaging SMS の電話プールで使用されるキーワードを表示する

AWS End User Messaging SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、電話プールのキーワード応答を表示します。

View keywords (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して、プールのキーワードを表示します。

キーワードを追加する

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、プールを選択します。
4. [キーワード] タブでは、キーワード、応答メッセージ、アクションを表示できます。

List keywords (AWS CLI)

発信元 ID に関連付けられているキーワードに関する情報を表示するには、[describe-keywords](#) コマンドを使用できます。

コマンドラインで AWS CLI を使用してキーワードを一覧表示するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-keywords \  
> --origination-identity OriginationIdentity
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

OriginationIdentity を、キーワードを一覧表示する対象の電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

電話プール内のキーワードを編集する

電話プールのキーワード応答を編集するには、AWS End User Messaging SMS コンソールまたは AWS CLI を使用します。

Edit a keyword (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して、プール内のキーワードを編集します。

キーワードを編集するには

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、キーワードが含まれるプールを選択します。
4. [キーワード] タブで、編集するキーワードを選択し、[キーワードを編集] を選択します。
5. [カスタムキーワード] ペインで、以下のいずれかを変更します。
 - キーワード – 編集するキーワード。
 - 応答メッセージ – 受信者に送り返すメッセージ。
 - キーワードアクション – キーワードの受信時に実行するアクション。
6. [キーワードを保存] を選択します。

Add or edit a keyword (AWS CLI)

新しいキーワードを作成または編集するには、[put-keyword](#) コマンドを使用できます。このキーワードが既に存在している場合は上書きされます。

キーワードを作成するには、AWS CLI で次のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword \  
> --keyword-message KeywordMessage \  

```

```
> --keyword-action KeywordAction
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *OriginationIdentity* を、キーワードを追加するプールの一意的 ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *Keyword* を新しいキーワードに置き換えます。
- *KeywordMessage* を、キーワードへの応答時に使用するメッセージに置き換えます。
- *KeywordAction* を、キーワードの受信時に実行するアクション (AUTOMATIC_RESPONSE、OPT_OUT、OPT_IN) に置き換えます。

AWS End User Messaging SMS の電話プールからプールを削除する

AWS End User Messaging SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、電話プールからキーワードを削除します。

Delete a keyword (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して、プール内のキーワードを削除します。

Note

必要なオプトアウトキーワードは削除できません。

キーワードを削除するには

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、キーワードが含まれるプールを選択します。
4. [キーワード] タブで、キーワードを選択し、[キーワードを削除] を選択します。

Delete a keyword (AWS CLI)

キーワードを削除するには、[delete-keyword](#) CLI を使用できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-keyword \  
> --origination-identity OriginationIdentity \  
> --keyword Keyword
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *OriginationIdentity* を、キーワードの削除対象の電話番号または送信者 ID の一意の ID または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *Keyword* を、削除するキーワードに置き換えます。

AWS End User Messaging SMS の設定セット

設定セットは、メッセージを送信するときに適用される一連のルールです。例えば、設定セットではメッセージに関連するイベントの送信先を指定できます。SMS イベント (配信イベントや失敗イベントなど) が発生すると、メッセージの送信時に指定した設定セットに関連付けられた送信先にルーティングされます。メッセージを送信するときに設定セットを使用しなければならないわけではありませんが、使用することをお勧めします。イベント送信先を含む設定セットを指定しない場合、API はイベントレコードを発行しません。これらのイベントレコードは、送信したメッセージの数、各メッセージについて支払った金額、およびメッセージが受取人によって受信されたかどうかを判断するのに役立ちます。

設定セットを作成したら、メッセージの送受信イベントをモニタリングしやすくするための [イベント送信先](#) と、ビジネスを行う送信先にのみメッセージを送信する許可ルールを作成するための [保護設定](#) を追加する必要があります。

トピック

- [AWS End User Messaging SMS で設定セットを作成する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で設定セットを編集する](#)
- [AWS End User Messaging SMS のすべての設定セットを表示する](#)
- [AWS End User Messaging SMS の設定セットを削除する](#)
- [AWS End User Messaging SMS の設定セットのタグを管理する](#)
- [AWS End User Messaging SMS で設定セットの保護設定の関連付けを編集する](#)

AWS End User Messaging SMS で設定セットを作成する

AWS End User Messaging SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、設定セットを作成します。設定セットを作成したら、[\[イベント送信先\]](#) を追加して、[\[設定を保護\]](#) する必要があります。

Creating a configuration set (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して設定セットを作成するには、次の手順に従います。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。

2. ナビゲーションペインの [設定] で [設定セット] を選択し、[設定セットを作成] を選択します。
3. [設定セット名] に、設定セットを表す名前を入力します。
4. [設定セットを作成] を選択します。

Creating a configuration set (AWS CLI)

[create-configuration-set](#) コマンドを使用して、新しい設定セットを作成できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-configuration-set \  
> --configuration-set-name configurationSet
```

前述のコマンドで、*configurationSet* を、作成する設定セットの名前で置き換えます。

AWS End User Messaging SMS で設定セットを編集する

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して設定セットを編集するには、次の手順に従います。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[設定セット] を選択します。
3. [設定セット] ページで、編集する設定セットを選択します。
4. [設定を実行] タブを選択し、[設定を編集] を選択します。
5. [設定] で、次の手順を実行します。
 - [メッセージタイプ] で、次のいずれかを選択します。
 - [Promotional] - マーケティングのメッセージや、ビジネスやサービスを宣伝するメッセージを送信する場合は、このオプションを選択します。
 - [Transactional] - パスワードのリセットやトランザクションのアラートなど、時間的制約のあるメッセージを送信する場合に選択します。
 - [デフォルトの送信者 ID] - 設定セットのデフォルトの送信者 ID を選択します。
 - [メッセージフィードバック] - 設定セットの [メッセージフィードバック](#) を有効にする場合に選択します。
6. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

AWS End User Messaging SMS のすべての設定セットを表示する

AWS CLI を使用して設定セットを表示します。

List configuration sets (AWS CLI)

[describe-configuration-sets](#) コマンドを使用して、AWS End User Messaging SMS アカountの設定セットに関する情報を表示できます。

AWS CLI を使用してアカウントの設定セットを一覧表示するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-configuration-sets
```

Describe a configuration set (AWS CLI)

[describe-configuration-sets](#) コマンドを使用して、AWS End User Messaging SMS アカountの設定セットに関する情報を表示できます。

AWS CLI を使用して、特定の設定についての情報を表示するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-configuration-sets \  
> --configuration-set-names configurationSet
```

前述のコマンドで、*configurationSet* を、詳細を表示する設定セットの名前で置き換えます。また、複数の設定セットを指定するには、設定セットの名前をスペースで区切ります。

AWS End User Messaging SMS の設定セットを削除する

AWS End User Messaging SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、設定セットを削除します。

Deleting a configuration set (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して設定セットを削除するには、次の手順に従います。

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[設定セット] を選択します。
3. 削除する [設定セット] を選択し、[削除] を選択します。

Deleting a configuration set (AWS CLI)

[delete-configuration-set](#) コマンドを使用して、設定セットを削除できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-configuration-set \  
> --configuration-set-name configurationSet
```

前述のコマンドで、*configurationSet* を、削除する設定セットの名前で置き換えます。

AWS End User Messaging SMS の設定セットのタグを管理する

タグはキーと値の組み合わせであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用量を制御できます。リソースにタグを追加することにより、目的、所有者、環境、その他の条件など、さまざまな方法でリソースを分類および管理できます。タグを使用すると、既存のリソースを簡単に検索することや、特定のリソースにアクセスできるユーザーを制御することができます。

Manage tags (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグを追加する (コンソール)

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[設定セット] を選択します。
3. [設定セット] ページで、タグを追加する設定セットを選択します。

4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
5.
 - タグの追加 – [タグの管理] で、[新しいタグの追加] を選択して新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – [タグの管理] で、キーと値のペアの横にある [削除] を選択します。
 - タグの編集 – [タグの管理] で、[キー] または [値] を選択し、テキストを編集します。
6. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Manage tags (AWS CLI)

AWS CLI を使用して、タグを追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

AWS CLI を使用してタグを削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

AWS End User Messaging SMS で設定セットの保護設定の関連付けを編集する

設定セットの関連する保護設定を変更するには、AWS End User Messaging SMS コンソール、AWS End User Messaging SMS および音声 v2 API の AssociateProtectConfiguration アクション、または AWS CLI の `aws sms-voice associate-protect-configuration` コマンドを使用できます。このセクションでは、AWS End User Messaging SMS コンソールと AWS CLI を使用して設定セットの保護設定を変更する方法について説明します。

保護設定の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定を使用する](#)」を参照してください。

Edit a configuration set's protect configuration association (Console)

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[設定セット] を選択します。
3. [設定セット] ページで、設定セットを選択します。
4. [設定セットの詳細] ページで、[設定を保護] タブを選択し、[設定を編集] を選択します。
5. [保護設定] の [保護設定の管理] で、設定セットに関連付ける保護設定を選択します。これにより、現在の保護設定の関連付けを置き換えます。設定セットと保護設定の関連付けを解除するには、[関連付けなし] を選択します。
6. [変更を保存] を選択します。

Edit a configuration set's protect configuration association (AWS CLI)

AWS CLI で設定セットの保護設定の関連付けを変更するには、「保護設定の関連付けを編集」(AWS CLI) タブの「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の関連付けを変更する](#)」の手順に従ってください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のイベント送信先

イベント送信先とは、SMS イベントと音声イベントが送信される場所 (CloudWatch グループ、Amazon Data Firehose ストリーム、Amazon SNS トピックなど) です。イベント送信先を使用するには、まず送信先を作成し、次にその送信先を [AWS End User Messaging SMS の設定セット](#) に関連付けます。最大 5 つのイベント送信先を 1 つの設定セットに関連付けることができます。メッセージを送信するとき、API コールに設定セットへの参照が含まれます。

通信事業者が生成したイベントまたは配信確認 (DLR) は、受信されるまでに最大 72 時間かかることがあるため、送信メッセージの配信に遅延があるかどうかを判断するには使用しないでください。72 時間後、AWS エンドユーザーメッセージング SMS がキャリアから最終イベントを受信していない場合、そのメッセージに何が起こったかわからない messageStatus ため、サービスは自動的に UNKNOWN を返します。

前提条件

イベント送信先に関連付けるには、事前に設定セットを作成しておく必要があります。「[AWS End User Messaging SMS の設定セット](#)」を参照してください。

トピック

- [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS イベントデータの例](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon CloudWatch イベント送信先を設定する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon Data Firehose イベント送信先を設定する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon SNS イベント送信先を設定する](#)

SMS、MMS、音声のイベントタイプ

イベント送信先を使用する最も簡単な方法は、すべての SMS イベント、MMS イベント、音声イベントを 1 つの送信先に送信することです。ただし、特定のタイプのイベントがそれぞれ異なる宛先に送信されるようにイベント送信先を設定できます。例えば、配信関連のすべてのイベントを Firehose に送信して保存し、すべての失敗イベントを Amazon SNS トピックに送信して発生時に通知を受け取ることができます。SMS イベントと音声イベントを別々の場所に送信することもできます。

次のタイプのイベントを送信するようにイベント送信先を設定できます。

SMS、MMS、音声イベント

- ALL – すべての SMS、MMS、音声イベントを、指定された宛先に送信します。

SMS イベント

- TEXT_ALL – すべての SMS イベントを、指定された宛先に送信します。
- TEXT_DELIVERED (配信済み) – すべての SMS 配信イベントを、指定された宛先に送信します。送信先の国によっては、TEXT_DELIVERED イベントと TEXT_SUCCESSFUL イベントを同じ意味で使用する場合があります。
- TEXT_SUCCESSFUL (成功) - 成功イベントは、メッセージが受信者の通信事業者によって受け入れられたときに発生します。送信先の国によっては、TEXT_DELIVERED イベントと TEXT_SUCCESSFUL イベントを同じ意味で使用する場合があります。
- TEXT_QUEUED (キューに追加済み) - キューイベントは、メッセージが配信待ちになっているが、まだ配信されていないときに発生します。
- TEXT_PENDING (保留中) - 保留イベントは、メッセージが配信処理中であるが、まだ配信が完了していない (または配信に失敗した) ときに発生します。
- TEXT_BLOCKED (ブロック) - ブロックイベントは、受信者のデバイスまたは通信事業者が受信者へのメッセージをブロックしているときに発生します。
- TEXT_TTL_EXPIRED (TTL 伝送期限切れ) - TTL 伝送期限切れイベントは、メッセージの配信に必要な時間が、メッセージ送信時に指定した TTL 値を超えたときに発生します。
- TEXT_CARRIER_UNREACHABLE (キャリア到達不能) - キャリア到達不能イベントは、メッセージ受信者のキャリアネットワークで一時的なエラーが発生したときに発生します。
- TEXT_INVALID (SMS 無効) - 無効イベントは、送信先電話番号が有効でない場合に発生します。
- TEXT_INVALID_MESSAGE (無効メッセージ) - 無効メッセージイベントは、SMS メッセージの本文が無効なため配信できないときに発生します。
- TEXT_CARRIER_BLOCKED (キャリアブロック) - キャリアブロックイベントは、受信者の通信事業者がメッセージの配信をブロックしたときに発生します。これは通常、悪意あるメッセージ (例: メッセージにフィッシング詐欺関連の情報が含まれている場合)、または攻撃的メッセージ (例: メッセージが未承諾または禁止されているコンテンツであると疑われる場合) であると通信事業者が判断したときに発生します。

- **TEXT_UNREACHABLE (到達不能)** – 到達不能イベントは、受信者のデバイスが使用できないときに発生します。これは、デバイスがモバイルネットワークに接続されていないか、電源がオフになっているときに発生することがあります。
- **TEXT_SPAM (スパム)** – スパムイベントは、受信者の通信事業者がメッセージに未承諾の商用コンテンツが含まれていると判断し、メッセージの配信をブロックした場合に発生します。
- **TEXT_UNKNOWN (不明)** – 不明イベントは、他のどのイベントタイプにも当てはまらない理由でメッセージが配信されなかった場合に発生します。不明エラーには、一時的なものと永続的なものがあります。
- **TEXT_PROTECT_BLOCKED (保護によるブロック)** – 保護設定によってブロックされたメッセージ。

音声イベント

- **VOICE_ALL** – すべての音声イベントを、指定された宛先に送信します。
- **VOICE_COMPLETED (完了)** – 完了イベントは、音声メッセージが受信者に対して再生されたときに発生します。この状態は、メッセージが必ずしも受信者に配信されたことを意味するわけではありません。例えば、メッセージがボイスメールシステムに配信されたことを示す場合があります。
- **VOICE_ANSWERED (応答)** – 応答イベントは、受信者が電話に応答したときに発生します。
- **VOICE_INITIATED (開始)** – 音声メッセージが開始されるたびに、指定された宛先にイベントを送信します。
- **VOICE_TTL_EXPIRED (TTL 伝送期限切れ)** – TTL 伝送期限切れイベントは、メッセージの配信に必要な時間が、メッセージ送信時に指定した TTL 値を超えたときに発生します。
- **VOICE_BUSY (ビジー)** – ビジーイベントは、受信者の電話回線がビジー状態のときに発生します。
- **VOICE_NO_ANSWER (応答なし)** – 応答なしイベントは、電話をかけたが受信者 (またはボイスメールシステム) が応答しなかったときに発生します。
- **VOICE_RINGING (呼び出し)** – 呼び出しイベントは、電話をかけた後、受信者が応答する前に発生します。
- **VOICE_FAILED (失敗)** – 失敗イベントは、メッセージが配信されなかったときに発生します。

MMS イベント

- **MEDIA_ALL** – すべての MMS イベントを、指定された宛先に送信します。

- MEDIA_PENDING (保留中) - 保留イベントは、メッセージが配信処理中であるが、まだ配信が完了していない (または配信に失敗した) ときに発生します。
- MEDIA_QUEUED (キューに追加済み) - キューイベントは、メッセージが配信待ちになっているが、まだ配信されていないときに発生します。
- MEDIA_SUCCESSFUL (成功) - 成功イベントは、メッセージが受信者の通信事業者によって受け入れられたときに発生します。
- MEDIA_DELIVERED (配信済み) - すべての MMS 配信イベントを、指定された宛先に送信します。
- MEDIA_INVALID (MMS 無効) - 無効イベントは、送信先電話番号が有効でない場合に発生します。
- MEDIA_INVALID_MESSAGE (無効メッセージ) - 無効メッセージイベントは、MMS メッセージの本文が無効なため配信できないときに発生します。
- MEDIA_UNREACHABLE (到達不能) - 到達不能イベントは、受信者のデバイスが使用できないときに発生します。これは、デバイスがモバイルネットワークに接続されていないか、電源がオフになっているときに発生することがあります。
- MEDIA_CARRIER_UNREACHABLE (キャリア到達不能) - キャリア到達不能イベントは、メッセージ受信者のキャリアネットワークで一時的なエラーが発生したときに発生します。
- MEDIA_BLOCKED (ブロック) - ブロックイベントは、受信者のデバイスまたは通信事業者が受信者へのメッセージをブロックしているときに発生します。
- MEDIA_CARRIER_BLOCKED (キャリアブロック) - キャリアブロックイベントは、受信者の通信事業者がメッセージの配信をブロックしたときに発生します。これは通常、悪意あるメッセージ (例: メッセージにフィッシング詐欺関連の情報が含まれている場合)、または攻撃のメッセージ (例: メッセージが未承諾または禁止されているコンテンツであると疑われる場合) であると通信事業者が判断したときに発生します。
- MEDIA_SPAM (スパム) - スパムイベントは、受信者の通信事業者がメッセージに未承諾の商用コンテンツが含まれていると判断し、メッセージの配信をブロックした場合に発生します。
- MEDIA_UNKNOWN (不明) - 不明イベントは、他のどのイベントタイプにも当てはまらない理由でメッセージが配信されなかった場合に発生します。不明エラーには、一時的なものと永続的なものがあります。
- MEDIA_TTL_EXPIRED (TTL 伝送期限切れ) - TTL 伝送期限切れイベントは、メッセージの配信に必要な時間が、メッセージ送信時に指定した TTL 値を超えたときに発生します。
- MEDIA_FILE_TYPE_UNSUPPORTED (ファイルタイプ未サポート) - ファイルタイプ未サポートイベントは、メディアファイルがサポートされていない形式の場合に発生します。サポートされているファイルタイプのリストについては、[MMS ファイルの種類、サイズ、文字数の制限](#) を参照してください。

- `MEDIA_FILE_SIZE_EXCEEDED` (ファイルサイズ) – ファイルサイズ超過イベントは、メディアファイルが 600 KB を超えた場合に発生します。
- `MEDIA_FILE_INACCESSIBLE` (ファイルにアクセスできない) – ファイルにアクセスできないイベントは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS にファイルへのアクセス許可がない場合に発生します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS イベントデータの例

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、SMS、MMS、および音声メッセージ配信のイベントデータをストリーミングできます。通信事業者が生成したイベントは、受信されるまでに最大 72 時間かかることがあるため、送信メッセージの配信に遅延があるかどうかを判断するのには使用しないでください。72 時間後、AWS エンドユーザーメッセージング SMS がキャリアから最終イベントを受信していない場合、そのメッセージに何が起きたかわからない `UNKNOWNmessageStatus` ため、サービスは自動的に を返します。

例

- [SMS サンプルログ](#)
- [SMS Protect のサンプルログ](#)
- [音声イベントログの例](#)
- [MMS サンプルログ](#)

SMS サンプルログ

SMS イベントの JSON オブジェクトには以下の例に示されているデータが含まれています。

```
{
  "eventType": "TEXT_SUCCESSFUL",
  "eventVersion": "1.0",
  "eventTimestamp": 1686975103470,
  "isFinal": true,
  "originationPhoneNumber": "+12065550152",
  "destinationPhoneNumber": "+14255550156",
  "isInternationalSend": false,
  "mcc": "310",
  "mnc": "800",
  "messageId": "862a8790-60c0-4430-9b2b-658bdexample",
```

```
{
  "messageRequestTimestamp": 1686975103170,
  "messageEncoding": "GSM",
  "messageType": "PROMOTIONAL",
  "messageStatus": "SUCCESSFUL",
  "messageStatusDescription": "Message has been accepted by phone carrier",
  "context": {
    "account": "bar"
  },
  "totalMessageParts": 1,
  "totalMessagePrice": 0.09582,
  "totalCarrierFee": 0.0
}
```

属性	説明
eventType	イベントのタイプ。値は「 SMS、MMS、音声のイベントタイプ 」に記載されています。
eventVersion	イベントの JSON スキーマのバージョン。
eventTimestamp	イベントが報告された時刻。Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
isFinal	これがメッセージの最終ステータスである場合は True となります。中間メッセージステータスがあるため、最終的なメッセージステータスが受信されるまでに最大 72 時間かかる場合があります。
originationPhoneNumber	メッセージの送信元の電話番号。
destinationPhoneNumber	メッセージを送信しようとした電話番号。
isInternationalSend	この電話番号で国際メッセージングが有効になっている場合は True となります。
isoCountryCode	受信者の電話番号に関連付けられている国 (ISO 3166-1 alpha-2 形式で表示)。

属性	説明
mcc	モバイル国コードは、電話番号が属する国を識別します。このフィールドはオプションであり、存在しない場合があります。
mnc	モバイルネットワークコードは、モバイルネットワークオペレーターを識別します。このフィールドはオプションであり、存在しない場合があります。
messageId	AWS End User Messaging SMS がメッセージを受け入れるときに生成する一意の ID。
messageRequestTimestamp	SMS メッセージリクエストが送信された時刻で、Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
messageEncoding	メッセージのエンコード。指定できる値は GSM と Unicode です。メッセージのエンコードの詳細については、「 SMS 文字制限 」を参照してください。
messageType	メッセージのタイプ。指定できる値は、Promotional および Transactional です。

属性	説明
messageStatus	メッセージのステータス。可能な値は以下のとおりです。 • SUCCESSFUL – メッセージが電話キャリアによって受け入れられました。 • DELIVERED – メッセージは受信者のデバイスで受け入れられました。 • PENDING – メッセージはまだ受信者のデバイスに配信されていません。 • INVALID – 送信先の電話番号が無効です。 • UNREACHABLE – 受信者のデバイスが現在到達できないか、利用できません。例えば、デバイスの電源がオフになっているか、ネットワークから切断されている可能性があります。後でメッセージの送信を再試行できます。 • UNKNOWN – メッセージの配信を妨げるエラーが発生しました。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • BLOCKED – 受信者のデバイスが発信者電話番号からの SMS メッセージをブロックしています。 • CARRIER_UNREACHABLE – 受信者のモバイルネットワークの問題により、メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • SPAM – 受信者のモバイルキャリアがメッセージのコンテンツをスパムとして識別し、メッセージの配信をブロックしました。 • INVALID_MESSAGE – SMS メッセージの本文が無効であるため、配信できません。

属性	説明
	• CARRIER_BLOCKED – 受信者のキャリアがこのメッセージの配信をブロックしています。これは、多くの場合、キャリアがメッセージの内容を未承諾または悪意のあるものとして識別した場合に発生します。 • TTL_EXPIRED – 特定の期間内に SMS メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • ACCEPTED – SMS メッセージが受け入れられました。 • FAILED – SMS メッセージが受信者のデバイスに配信されませんでした。 • SENT – メッセージは送信されましたが、受信者のデバイスには配信されていません。 • UNROUTABLE – アカウント設定が正しくないため、ルーティングできません。 • QUEUED – メッセージは配信のためにキューに入れられました。 • PROTECT_BLOCKED – SMS メッセージが SMS 保護ルールによってブロックされました。
messageStatusDescription	メッセージステータスの説明。
context	カスタム属性を指定でき、メッセージを送信するとログに記録されます。

属性	説明
totalMessageParts	メッセージを送信するために AWS エンドユーザーメッセージング SMS が作成したメッセージパートの数。 通常、SMS メッセージには GSM-7 文字 160 文字または非 GSM 文字 67 文字のみを含めることができますが、これらの制限は国によって異なる場合があります。これらの制限を超えるメッセージを送信すると、AWS End User Messaging SMS は自動的にメッセージを小さな部分に分割します。送信したメッセージパートの数に基づいて請求されます。メッセージパーツの詳細については、「メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限とは」を参照してください。
totalMessagePrice	メッセージの送信に課金された金額。この価格は、米ドルセントの 1000 分の 1 で示されます。例えば、この属性の値が 645 の場合、メッセージの送信に 0.645¢ が課金されます ($645 / 1000 = 0.645¢ = \\$0.00645$)。
totalCarrierFee	メッセージに対する通信事業者料金の総額。

SMS Protect のサンプルログ

[SMS Protect](#) を使用した場合の SMS イベントの JSON オブジェクトには、以下の例に示されているデータが含まれています。

```
{
  "eventType": "TEXT_PROTECT_BLOCKED",
  "eventVersion": "1.0",
  "eventTimestamp": 1686975103470,
  "isFinal": true,
  "originationPhoneNumber": "+12065550152",
  "destinationPhoneNumber": "+14255550156",
```



```
{
  "isoCountryCode": "US",
  "mcc": "310",
  "mnc": "800",
  "messageId": "862a8790-60c0-4430-9b2b-658bdexample",
  "messageRequestTimestamp": 1686975103170,
  "messageEncoding": "GSM",
  "messageType": "PROMOTIONAL",
  "messageStatus": "PROTECT_BLOCKED",
  "messageStatusDescription": "Message blocked by protect configuration",
  "context": {
    "account": "bar"
  },
  "totalMessageParts": 1,
  "totalMessagePrice": 0,
  "totalCarrierFee": 0,
  "protectConfiguration": {
    "protectConfigurationId": "protect-d77777777777771bbd5d59f4d903479",
    "protectStatus": "FILTER"
  },
  "protectConfigurationAssessment": {
    "protectRecommendation": "BLOCK"
    "protectInsights": {
      "blockReason": "AIT_SUSPECTED"
    }
  }
}
```

属性	説明
eventType	イベントのタイプ。値は「 SMS、MMS、音声のイベントタイプ 」に記載されています。
eventVersion	イベントの JSON スキーマのバージョン。
eventTimestamp	イベントが報告された時刻。Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
isFinal	これがメッセージの最終ステータスである場合は True となります。中間メッセージステータスがあるため、最終的なメッセージステータス

属性	説明
	が受信されるまでに最大 72 時間かかる場合があります。
originationPhoneNumber	メッセージの送信元の電話番号。
destinationPhoneNumber	メッセージを送信しようとした電話番号。
isoCountryCode	受信者の電話番号に関連付けられている国 (ISO 3166-1 alpha-2 形式で表示)。
mcc	モバイル国コードは、電話番号が属する国を識別します。このフィールドはオプションであり、存在しない場合があります。
mnc	モバイルネットワークコードは、モバイルネットワークオペレーターを識別します。このフィールドはオプションであり、存在しない場合があります。
messageId	AWS End User Messaging SMS がメッセージを受け入れるときに生成する一意の ID。
messageRequestTimestamp	SMS メッセージリクエストが送信された時刻で、Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
messageEncoding	メッセージのエンコード。指定できる値は GSM と Unicode です。メッセージのエンコードの詳細については、「 SMS 文字制限 」を参照してください。
messageType	メッセージのタイプ。指定できる値は、Promotional および Transactional です。

属性	説明
messageStatus	メッセージのステータス。可能な値は以下のとおりです。 • SUCCESSFUL – メッセージが電話キャリアによって受け入れられました。 • DELIVERED – メッセージは受信者のデバイスで受け入れられました。 • PENDING – メッセージはまだ受信者のデバイスに配信されていません。 • INVALID – 送信先の電話番号が無効です。 • UNREACHABLE – 受信者のデバイスが現在到達できないか、利用できません。例えば、デバイスの電源がオフになっているか、ネットワークから切断されている可能性があります。後でメッセージの送信を再試行できます。 • UNKNOWN – メッセージの配信を妨げるエラーが発生しました。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • BLOCKED – 受信者のデバイスが発信者電話番号からの SMS メッセージをブロックしています。 • CARRIER_UNREACHABLE – 受信者のモバイルネットワークの問題により、メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • SPAM – 受信者のモバイルキャリアがメッセージのコンテンツをスパムとして識別し、メッセージの配信をブロックしました。 • INVALID_MESSAGE – SMS メッセージの本文が無効であるため、配信できません。

属性	説明
	• CARRIER_BLOCKED – 受信者のキャリアがこのメッセージの配信をブロックしています。これは、多くの場合、キャリアがメッセージの内容を未承諾または悪意のあるものとして識別した場合に発生します。 • TTL_EXPIRED – 特定の期間内に SMS メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • ACCEPTED – SMS メッセージが受け入れられました。 • FAILED – SMS メッセージが受信者のデバイスに配信されませんでした。 • SENT – メッセージは送信されましたが、受信者のデバイスには配信されていません。 • UNROUTABLE – アカウント設定が正しくないため、ルーティングできません。 • QUEUED – メッセージは配信のためにキューに入れられました。 • PROTECT_BLOCKED – SMS メッセージが SMS 保護ルールによってブロックされました。
messageStatusDescription	メッセージステータスの説明。
context	カスタム属性を指定でき、メッセージを送信するとログに記録されます。

属性	説明
totalMessageParts	メッセージを送信するために AWS エンドユーザーメッセージング SMS が作成したメッセージパートの数。 通常、SMS メッセージには GSM-7 文字 160 文字または非 GSM 文字 67 文字のみを含めることができますが、これらの制限は国によって異なる場合があります。これらの制限を超えるメッセージを送信すると、AWS End User Messaging SMS は自動的にメッセージを小さな部分に分割します。送信したメッセージパートの数に基づいて請求されます。メッセージパーツの詳細については、「メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限とは」を参照してください。
totalMessagePrice	メッセージの送信に課金された金額。この価格は、米ドルセントの 1000 分の 1 で示されます。例えば、この属性の値が 645 の場合、メッセージの送信に 0.645¢ が課金されます ($645 / 1000 = 0.645¢ = \\$0.00645$)。
totalCarrierFee	メッセージに対する通信事業者料金の総額。
protectConfiguration	メッセージの送信時に使用された保護設定の ID と、その時点での送信先の国のステータス。SMS Protect の詳細については、「SMS Protect」を参照してください。
protectConfigurationAssessment	SMS Protect がメッセージの送信を許可またはブロックすべきと判断するかどうかの評価と、可能な場合はブロックの理由。

音声イベントログの例

音声イベントの JSON オブジェクトには以下の例に示されているデータが含まれています。

```
{
  "eventType": "VOICE_COMPLETED",
  "eventVersion": "1.0",
  "eventTimestamp": 1697835373500,
  "isFinal": true,
  "originationPhoneNumber": "+12065550153",
  "destinationPhoneNumber": "+14255550159",
  "isoCountryCode": "US",
  "messageId": "567f6c11-6e8b-4352-9749-a42a0example",
  "messageRequestTimestamp": 1697835372720,
  "messageStatus": "COMPLETED",
  "callDurationInSeconds": 60,
  "totalDurationInMinutes": 1,
  "totalMessagePrice": 0.013,
  "context": {
    "account": "bar"
  }
}
```

属性	説明
eventType	イベントのタイプ。値は「 SMS、MMS、音声のイベントタイプ 」に記載されています。
eventVersion	イベントの JSON スキーマのバージョン。
eventTimestamp	イベントが報告された時刻。Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
isFinal	これがメッセージの最終ステータスである場合は True となります。中間メッセージのステータスがあります。
originationPhoneNumber	メッセージの送信元の電話番号。
destinationPhoneNumber	メッセージを送信しようとした電話番号。

属性	説明
isoCountryCode	受信者の電話番号に関連付けられている国 (ISO 3166-1 alpha-2 形式で表示)。
messageId	AWS End User Messaging SMS がメッセージを受け入れるときに生成する一意の ID。
messageRequestTimestamp	SMS メッセージリクエストが送信された時刻で、Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。

属性	説明
messageStatus	メッセージのステータス。可能な値は以下のとおりです。 • INITIATED – 音声メッセージのダイヤルを開始する準備ができています。 • RINGING - 呼び出しイベントは、電話をかけた後、受信者が応答する前に発生します。 • COMPLETED – 音声メッセージの完了イベントをすべて、指定された宛先に送信します。完了イベントは、音声メッセージが受信者に対して再生されたときに発生します。この状態は、メッセージが必ずしも受信者に配信されたことを意味するわけではありません。例えば、メッセージがボイスメールシステムに配信されたことを示す場合があります。 • ANSWERED – 応答イベントは、受信者が電話に応答したときに発生します。 • COMPLETED – 通話に応答し、終了しました。 • BUSY – ビジーイベントは、受信者の電話回線がビジー状態のときに発生します。 • NO_ANSWER – 応答なしイベントは、電話をかけたが受信者 (またはボイスメールシステム) が応答しなかったときに発生します。 • FAILED – 失敗イベントは、メッセージが配信されなかったときに発生します。 • TTL_EXPIRED – TTL 伝送期限切れイベントは、メッセージの配信に必要な時間が、メッセージ送信時に指定した TTL 値を超えたときに発生します。 • SPAM – 通話はスパムとしてマークされ、ブロックされました。

属性	説明
	PROTECT_BLOCKED – SMS メッセージが SMS 保護ルールによってブロックされました。
callDurationInSeconds	通話の長さ (秒単位)。
totalDurationInMinutes	通話時間 (分単位)。
totalMessagePrice	音声メッセージの送信に課金された金額。この価格は、米ドルセントの 1000 分の 1 で示されます。
context	カスタム属性を指定でき、メッセージを送信するとログに記録されます。

MMS サンプルログ

MMS イベントの JSON オブジェクトには以下の例に示されているデータが含まれています。

```
{
  "contentType": "MMS",
  "eventType": "MEDIA_DELIVERED",
  "eventVersion": "1.0",
  "eventTimestamp": 1635197695208,
  "isFinal": true,
  "originationPhoneNumber": "+12065550153",
  "destinationPhoneNumber": "+14255550159",
  "isoCountryCode": "US",
  "messageId": "b4a3196d-5b61-4884-a0d9-745acf1f6235example",
  "messageRequestTimestamp": 1635197693241,
  "messageType": "TRANSACTIONAL",
  "messageStatus": "DELIVERED",
  "messageStatusDescription": "Message has been accepted by phone",
  "context": {"foo": "bar"},
  "totalMessageParts": 1,
  "totalMessagePrice": 0.0195,
  "totalCarrierFee": 0.00266
}
```

属性	説明
eventType	イベントのタイプ。値は「 SMS、MMS、音声のイベントタイプ 」に記載されています。
eventVersion	イベントの JSON スキーマのバージョン。
eventTimestamp	イベントが報告された時刻。Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
isFinal	これがメッセージの最終ステータスである場合は True となります。中間メッセージステータスがあるため、最終的なメッセージステータスが受信されるまでに最大 72 時間かかる場合があります。
originationPhoneNumber	メッセージの送信元の電話番号。
destinationPhoneNumber	メッセージを送信しようとした電話番号。
isoCountryCode	受信者の電話番号に関連付けられている国 (ISO 3166-1 alpha-2 形式で表示)。
messageId	AWS End User Messaging SMS がメッセージを受け入れるときに生成する一意の ID。
messageRequestTimestamp	SMS メッセージリクエストが送信された時刻で、Unix 時間 (ミリ秒単位) として表示されます。
messageType	メッセージのタイプ。指定できる値は、Promotional および Transactional です。
messageStatus	メッセージのステータス。可能な値は以下のとおりです。 SUCCESSFUL – メッセージが電話キャリアによって受け入れられました。

属性	説明
	• DELIVERED – メッセージは受信者のデバイスで受け入れられました。 • PENDING – メッセージはまだ受信者のデバイスに配信されていません。 • INVALID – 送信先の電話番号が無効です。 • UNREACHABLE – 受信者のデバイスが現在到達できないか、利用できません。例えば、デバイスの電源がオフになっているか、ネットワークから切断されている可能性があります。後でメッセージの送信を再試行できます。 • UNKNOWN – メッセージの配信を妨げるエラーが発生しました。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • BLOCKED – 受信者のデバイスが発信者電話番号からの SMS/MMS メッセージをブロックしています。 • CARRIER_UNREACHABLE – 受信者のモバイルネットワークの問題により、メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • SPAM – 受信者のモバイルキャリアがメッセージのコンテンツをスパムとして識別し、メッセージの配信をブロックしました。 • INVALID_MESSAGE – SMS/MMS メッセージの本文が無効であるため、配信できません。 • CARRIER_BLOCKED – 受信者のキャリアがこのメッセージの配信をブロックしています。これは、多くの場合、キャリアがメッ

属性	説明
	セージの内容を未承諾または悪意のあるものとして識別した場合に発生します。 • TTL_EXPIRED – 特定の期間内に SMS メッセージを配信できませんでした。このエラーは通常一時的なものであるため、後でもう一度メッセージを送信できます。 • ACCEPTED – SMS メッセージが受け入れられました。 • FAILED – SMS メッセージが受信者のデバイスに配信されませんでした。 • SENT – メッセージは送信されましたが、受信者のデバイスには配信されていません。 • UNROUTABLE – アカウント設定が正しくないため、ルーティングできません。 • QUEUED – メッセージは配信のためにキューに入れられました
messageStatusDescription	メッセージステータスの説明。
context	カスタム属性を指定でき、メッセージを送信するとログに記録されます。
totalMessageParts	メッセージを送信するために AWS エンドユーザーメッセージング SMS が作成したメッセージパートの数。メッセージパーツの詳細については、「 メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限とは 」を参照してください。
totalMessagePrice	メッセージの送信に課金された金額。この価格は、米ドルセントの 1000 分の 1 で示されます。例えば、この属性の値が 645 の場合、メッセージの送信に 0.645¢ が課金されます (645 / 1000 = 0.645¢ = \$0.00645)。

属性	説明
totalCarrierFee	メッセージに対する通信事業者料金の総額。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon CloudWatch イベント送信先を設定する

Amazon CloudWatch Logs は、ログファイルのモニタリング、保存、アクセスに使用できる AWS サービスです。CloudWatch イベント送信先を作成すると、AWS End User Messaging SMS は、イベント送信先で指定したタイプのイベントを CloudWatch グループに送信します。CloudWatch の詳細については、「[Amazon CloudWatch Logs ユーザーガイド](#)」を参照してください。

前提条件

1. CloudWatch イベント送信先を作成するには、まず CloudWatch グループを作成する必要があります。ロググループ作成の詳細については、『Amazon CloudWatch Logs ユーザーガイド』の「[ロググループとログストリームの操作](#)」を参照してください。

Important

イベント送信先を作成するには、CloudWatch グループの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

2. End AWS User Messaging SMS がロググループに書き込むことを許可する [IAM ロール](#) を作成する必要があります。

Important

イベント送信先を作成するには、IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

3. また、イベント送信先を関連付ける設定セットを設定します。「[AWS End User Messaging SMS で設定セットを作成する](#)」を参照してください。

Amazon CloudWatch の IAM ポリシー

次の例を使用して、CloudWatch グループにイベントを送信するためのポリシーを作成します。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "logs:CreateLogStream",
        "logs:DescribeLogStreams",
        "logs:PutLogEvents"
      ],
      "Resource": [
        "arn:aws:logs:us-east-1:111122223333:log-group:log-group-name:*"
      ]
    }
  ]
}
```

IAM ポリシーの詳細については、『IAM ユーザーガイド』の「[IAM でのポリシーとアクセス管理](#)」を参照してください。

次のステートメント例では、オプションだが推奨される `SourceAccount` および `SourceArn` 条件を使用して、AWS エンドユーザーメッセージング SMS 所有者アカウントのみが設定セットにアクセスできることを確認します。この例では、*accountId* を AWS アカウント ID に置き換え、*region* を AWS リージョンの名前に置き換え、*ConfigSetName* を設定セットの名前に置き換えます。

ポリシーを作成したら、新しい IAM ロールを作成して、そのポリシーをアタッチします。ロールを作成したら、次の信頼ポリシーも追加します。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": {
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
    },
  },
}
```

```
    "Action": "sts:AssumeRole",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "111122223333"
      },
      "ArnLike": {
        "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:configuration-set/ConfigSetName"
      }
    }
  }
}
```

IAM ロールの作成の詳細については、IAM ユーザーガイドの「[IAM ロールの作成](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon CloudWatch イベント送信先を作成する

IAM ロールと CloudWatch グループを作成後、イベント送信先を作成できます。

Create event destination (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用してイベント送信先を作成するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[設定セット] を選択します。
3. [設定セット] ページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. [設定セットの詳細] ページで、[送信先イベントを追加] を選択します。
5. [イベントの詳細] セクションで、[イベント送信先名] にわかりやすい名前を入力します。
6. [送信先タイプ] のドロップダウンから Amazon CloudWatch を選択します。
7. [IAM ロール ARN] に、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール ARN の詳細については、「[Amazon CloudWatch の IAM ポリシー](#)」を参照してください。
8. [ロググループ ARN] に、イベントを配信する Amazon CloudWatch ロググループの ARN を入力します。

9. [イベント発行] を有効にします。

10. [イベントタイプ] で、以下を選択します。

- すべての SMS イベント (推奨) – このオプションを選択すると、[イベントタイプ](#) に記載されているすべての SMS イベントが Amazon CloudWatch に送信されます。
- カスタム SMS イベント – CloudWatch に送信する特定の SMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、[SMS イベント選択を編集] を選択します。[SMS イベント選択を編集] で、Amazon CloudWatch に送信するイベントのみをチェックします。[選択を保存] を選択します。
- すべての音声イベント (推奨) – このオプションを選択すると、[イベントタイプ](#) に記載されているすべての音声イベントが Amazon CloudWatch に送信されます。
- カスタム音声イベント – CloudWatch に送信する特定の音声イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、[音声イベント選択を編集] を選択します。[音声イベント選択を編集] で、Amazon CloudWatch に送信するイベントのみをチェックします。[選択を保存] を選択します。
- すべての MMS イベント (推奨) – このオプションを選択すると、[イベントタイプ](#) に記載されているすべての MMS イベントが Amazon CloudWatch に送信されます。
- カスタム MMS イベント – CloudWatch に送信する特定の MMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、[MMS イベント選択を編集] を選択します。[MMS イベント選択を編集] で、Amazon CloudWatch に送信するイベントのみをチェックします。[選択を保存] を選択します。

11. [イベントの作成] を選択します。

Create event destination (AWS CLI)

[create-event-destination](#) コマンドを使用してイベント送信先を作成できます。

コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
> --cloud-watch-logs-destination  
  IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/CWLSMSRole,LogGroupArn=arn:aws:logs:us-east-1:111122223333:log-group:MyCWLLogGroup
```


上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- `eventDestinationName` を、イベント送信先を説明する名前に置き換えます。
- `configurationSet` を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。
- `eventTypes` を、[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプの 1 つまたは複数に置き換えます。
- `IamRoleArn` の値を、[Amazon CloudWatch の IAM ポリシー](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- `LogGroupArn` の値を、イベントの送信先にする CloudWatch グループの ARN に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon CloudWatch イベント送信先を編集する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、CloudWatch イベント送信先を編集します。

Update event destination (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用してイベント送信先を更新するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[設定セット] を選択します。
3. [設定セット] ページで、編集する設定セットを選択します。
4. [イベント設定] タブで、Amazon CloudWatch イベント送信先を選択し、[編集] を選択します。
5. [IAM ロール ARN] に、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール ARN の詳細については、「[Amazon CloudWatch の IAM ポリシー](#)」を参照してください。
6. [ロググループ ARN] に、イベントを配信する Amazon CloudWatch ロググループの ARN を入力します。
7. [イベントタイプ] で、以下を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) – このオプションを選択すると、[イベントタイプ](#) に記載されているすべての SMS イベントが Amazon CloudWatch に送信されます。

- カスタム SMS イベント – このオプションを選択すると、CloudWatch に送信する特定の SMS イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、[SMS イベント選択を編集] を選択します。[SMS イベント選択を編集] で、Amazon CloudWatch に送信するイベントのみをチェックします。[選択を保存] を選択します。
- すべての音声イベント (推奨) – このオプションを選択すると、[イベントタイプ](#) に記載されているすべての音声イベントが Amazon CloudWatch に送信されます。
- カスタム音声イベント – このオプションを選択すると、CloudWatch に送信する特定の音声イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、[音声イベント選択を編集] を選択します。[音声イベント選択を編集] で、Amazon CloudWatch に送信するイベントのみをチェックします。[選択を保存] を選択します。
- すべての MMS イベント (推奨) – このオプションを選択すると、[イベントタイプ](#) に記載されているすべての MMS イベントが Amazon CloudWatch に送信されます。
- カスタム MMS イベント – このオプションを選択すると、CloudWatch に送信する特定の MMS イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、[MMS イベント選択を編集] を選択します。[MMS イベント選択を編集] で、Amazon CloudWatch に送信するイベントのみをチェックします。[選択を保存] を選択します。

8. [イベントを編集] を選択します。

Update event destination AWS CLI)

[update-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を更新できます。

CloudWatch イベント送信先を更新する手順は、イベント送信先を作成するプロセスと同様です。コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event types eventTypes \  
> --cloud-watch-logs-destination  
  IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/CWLSMSRole,LogGroupArn=arn:aws:logs:us-  
east-1:111122223333:log-group:MyCWLLogGroup
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *eventDestinationName* を、変更するイベント送信先の名前に置き換えます。

- `configurationSet` を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。イベント送信先に、異なる設定セットに関連付けることができます。
- `eventTypes` を、[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- `IamRoleArn` の値を、[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- `LogGroupArn` の値を、イベントの送信先にする CloudWatch グループの ARN に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon CloudWatch イベント送信先を削除する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、CloudWatch イベント送信先を削除します。

Delete an CloudWatch event destination (Console)

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

コンソールで CloudWatch イベント送信先を削除するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[設定セット] を選択します。
3. [設定セット] ページで、イベント送信先を削除する設定セットを選択します。
4. [すべての送信先] セクションで、イベントの送信先を選択し、[削除] を選択します。

Delete an CloudWatch event destination (AWS CLI)

イベント送信先を削除するには、[delete-event-destination](#) コマンドを使用できます。

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

で CloudWatch イベント送信先を削除するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSetName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *eventDestinationName* を、削除するイベント送信先の Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *configurationSetName* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前または ARN に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon Data Firehose イベント送信先を設定する

Amazon Data Firehose は、複数のタイプの送信先にリアルタイムのストリーミングデータを提供する、フルマネージドサービスです。Amazon Data Firehose は Kinesis ストリーミングデータプラットフォームの一部です。Amazon Data Firehose の詳細については、「[Amazon Data Firehose デベロッパーガイド](#)」を参照してください。

このセクションの一部の例では、AWS Command Line Interfaceが既にインストールされ、設定されていることを前提としています。の設定の詳細については AWS CLI、[AWS Command Line Interface「ユーザーガイド」](#)を参照してください。

前提条件

1. Amazon Data Firehose イベント送信先を作成するには、まず Amazon Data Firehose 配信ストリームを作成する必要があります。ストリーム作成の詳細については、「Amazon Data Firehose デベロッパーガイド」の「[Amazon Data Firehose 配信ストリームの作成](#)」を参照してください。

⚠ Important

イベント送信先を作成するには、Amazon Data Firehose 配信ストリームの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

2. End AWS User Messaging SMS が配信ストリームに書き込むことを許可する IAM ロールを作成する必要があります。「」を参照してください[Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#)。

⚠ Important

イベント送信先を作成するには、IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) が必要です。

3. また、イベント送信先を関連付ける設定セットを設定します。「[AWS End User Messaging SMS で設定セットを作成する](#)」を参照してください。

トピック

- [Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon Data Firehose イベント送信先を作成する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon Data Firehose イベント送信先を編集する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon Data Firehose イベント送信先を削除する](#)

Amazon Data Firehose の IAM ポリシー

次の例を使用して、Amazon Data Firehose ストリームにイベントを送信するためのポリシーを作成します。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": "firehose:PutRecord",
```

```

    "Resource": "arn:aws:firehose:us-
east-1:111122223333:deliverystream/DeliveryStreamName"
  }
]
}

```

IAM ポリシーの詳細については、『IAM ユーザーガイド』の「[IAM でのポリシーとアクセス管理](#)」を参照してください。

次のステートメント例では、オプションだが推奨される SourceAccount および SourceArn 条件を使用して、AWS エンドユーザーメッセージング SMS 所有者アカウントのみが設定セットにアクセスできることを確認します。この例では、*accountId* を AWS アカウント ID に置き換え、*region* を AWS リージョンの名前に置き換え、*ConfigSetName* を設定セットの名前に置き換えます。

ポリシーを作成したら、新しい IAM ロールを作成して、そのポリシーをアタッチします。ロールを作成したら、次の信頼ポリシーも追加します。

JSON

```

{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": {
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
    },
    "Action": "sts:AssumeRole",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "111122223333"
      },
      "ArnLike": {
        "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:us-
east-1:111122223333:configuration-set/ConfigSetName"
      }
    }
  }
}

```

IAM ロールの作成の詳細については、IAM ユーザーガイドの「[IAM ロールの作成](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon Data Firehose イベント送信先を作成する

Amazon Data Firehose イベント送信先を作成する前に、まず Amazon Data Firehose ストリームを作成する必要があります。ロググループの作成の詳細については、「[Amazon Data Firehose デベロッパーガイド](#)」の「[Amazon Data Firehose 配信ストリームの作成](#)」を参照してください。

End User Messaging SMS and Voice AWS v2 API がストリームにデータを送信できるようにする IAM ロールを作成する必要があります。次のセクションには、このロールの要件に関する情報が記載されています。

イベント送信先を関連付ける設定セットも準備しておきます。「[AWS End User Messaging SMS の設定セット](#)」を参照してください。

Create Amazon Data Firehose event destination (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して Amazon Data Firehose イベント送信先を作成するには、次の手順に従います。

1. 「<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>」で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットの詳細ページで、送信先イベントの追加を選択します。
5. イベントの詳細セクションで、イベント送信先名のわかりやすい名前を入力します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon Data Firehose を選択します。
7. IAM ロール arn には、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール ARN の詳細については、「」を参照してください [Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#)。
8. 配信ストリーム arn には、イベントを配信する Amazon Data Firehose ロググループの ARN を入力します。
9. イベント発行を有効にします。
10. イベントタイプで、以下を選択します。

- すべての SMS イベント (推奨) – にリストされているすべての SMS イベント [イベントタイプ](#) を Amazon Data Firehose に送信するには、このオプションを選択します。
- カスタム SMS イベント – Amazon Data Firehose に送信する特定の SMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、SMS イベント選択の編集を選択します。SMS イベント選択の編集で、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。
- すべての音声イベント (推奨) – にリストされているすべての音声イベント [イベントタイプ](#) を Amazon Data Firehose に送信するには、このオプションを選択します。
- カスタム音声イベント – Amazon Data Firehose に送信する特定の音声イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集を選択します。音声イベント選択の編集で、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。
- すべての MMS イベント (推奨) – にリストされているすべての MMS イベント [イベントタイプ](#) を Amazon Data Firehose に送信するには、このオプションを選択します。
- カスタム MMS イベント – Amazon Data Firehose に送信する特定の MMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、MMS イベント選択の編集を選択します。MMS イベント選択の編集では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。

11. [イベントの作成] を選択します。

Create Amazon Data Firehose event destination (AWS CLI)

IAM ロールと Amazon Data Firehose 配信ストリームを作成したら、イベント送信先を作成できます。

[create-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を作成できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
> --kinesis-firehose-destination  
  IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/  
  AKFSMSRole,DeliveryStreamArn=arn:aws:firehose:us-  
  east-1:111122223333:deliverystream/MyDeliveryStream
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- `eventDestinationName` を、イベント送信先を説明する名前に置き換えます。
- `configurationSet` を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。
- `eventTypes` を、 にリストされている 1 つ以上のイベントタイプに置き換えます [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)。
- `IamRoleArn` の値を、 [Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- の値を、 イベントを送信する Amazon Data Firehose ストリームの ARN `DeliveryStreamArn` に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon Data Firehose イベント送信先を編集する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、Amazon Data Firehose イベント送信先を編集します。

Update Amazon Data Firehose event destination (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して Amazon Data Firehose イベント送信先を更新するには、次の手順に従います。

1. 「<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>」.com で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットページで、編集する設定セットを選択します。
5. 設定セットの詳細ページで、Amazon Data Firehose イベントの送信先を選択し、編集します。
6. IAM ロール `arn` には、IAM ロールの ARN を入力します。IAM ロール ARN の詳細については、「」を参照してください [Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#)。
7. 配信ストリーム `arn` には、イベントを配信する Amazon Data Firehose ロググループの ARN を入力します。
8. イベントタイプで、以下を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) – にリストされているすべての SMS イベント [イベントタイプ](#) を Amazon Data Firehose に送信するには、このオプションを選択します。

- カスタム SMS イベント – このオプションを選択すると、CloudWatch に送信する特定の SMS イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、SMS イベント選択の編集を選択します。SMS イベント選択の編集では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。
- すべての音声イベント (推奨) – にリストされているすべての音声イベント [イベントタイプ](#) を Amazon Data Firehose に送信するには、このオプションを選択します。
- カスタム音声イベント – このオプションを選択すると、Amazon Data Firehose に送信する特定の音声イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集を選択します。音声イベント選択の編集では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。
- すべての MMS イベント (推奨) – にリストされているすべての MMS イベント [イベントタイプ](#) を Amazon Data Firehose に送信するには、このオプションを選択します。
- カスタム MMS イベント – このオプションを選択すると、CloudWatch に送信する特定の MMS イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、MMS イベント選択の編集を選択します。MMS イベント選択の編集では、Amazon Data Firehose に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。

9. イベントの編集 を選択します。

Update Amazon Data Firehose event destination (AWS CLI)

[update-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を更新できます。

Amazon Data Firehose イベント送信先を更新する手順は、イベント送信先を作成するプロセスと似ています。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
> --kinesis-firehose-destination  
  IamRoleArn=arn:aws:iam::111122223333:role/  
  AKFSMSRole,DeliveryStreamArn=arn:aws:firehose:us-  
  east-1:111122223333:deliverystream/MyDeliveryStream
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *eventDestinationName* を、変更するイベント送信先の名前に置き換えます。

- `configurationSet` を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。イベント送信先に、異なる設定セットに関連付けることができます。
- `eventTypes` を、[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- `IamRoleArn` の値を、[Amazon Data Firehose の IAM ポリシー](#) で説明されているポリシーを持つ IAM ロールの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- の値を、イベントを送信する Amazon Data Firehose ストリームの ARN `DeliveryStreamArn` に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon Data Firehose イベント送信先を削除する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、Amazon Data Firehose イベント送信先を削除します。

Delete an Amazon Data Firehose event destination (Console)

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

コンソールで Amazon Data Firehose イベント送信先を削除するには

1. 「<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>」で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を削除する設定セットを選択します。
4. すべての送信先セクションで、イベントの送信先を選択し、削除を選択します。

Delete an Amazon Data Firehose event destination (AWS CLI)

[delete-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を削除できます。

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

で Amazon Data Firehose イベント送信先を削除するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSetName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *eventDestinationName* を、削除するイベント送信先の Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *configurationSetName* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前または ARN に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon SNS イベント送信先を設定する

Amazon Simple Notification Service (Amazon SNS) は、アプリケーション、エンドユーザー、およびデバイスで通知を瞬時に送受信できるようにするウェブサービスです。Amazon SNS の詳細については、『[Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド](#)』を参照してください。

このセクションの一部の例では、AWS Command Line Interfaceが既にインストールされ、設定されていることを前提としています。の設定の詳細については AWS CLI、[AWS Command Line Interface「ユーザーガイド」](#)を参照してください。

トピック

- [Amazon SNS アクセスポリシー](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon SNS イベント送信先を作成する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon SNS イベント送信先を編集する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon SNS イベント送信先を削除する](#)

Amazon SNS アクセスポリシー

Amazon SNS トピックへのアクセスは、Amazon SNS トピックにアタッチされたリソースポリシーによって制御されます。これは、アクセスポリシーとも呼ばれます。Amazon SNS アクセ

スポリシーの詳細については、「Amazon SNS デベロッパーガイド」の「[Identity and Access Management](#)」を参照してください。

 Note

Amazon SNS トピックでサーバー側の暗号化が有効になってい AWS Key Management Service の場合は、関連する[対称暗号化カスタマーマネージドキー](#)にもポリシーを追加します。

次のステートメントを使用してアクセスポリシーを更新し、AWS エンドユーザーメッセージング SMS が Amazon SNS トピックに発行できるようにします。

- **111122223333** を AWS アカウントの一意の ID に置き換えます。
- **TopicName** を Amazon SNS の名前に置き換えます。
- **Region** AWS リージョン を、Amazon SNS トピックと設定セットを含む に置き換えます。
- **ConfigSetName** を設定セットの名前に置き換えます。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:TopicName",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "accountId"
        },
        "ArnLike": {
          "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:configuration-set/ConfigSetName"
        }
      }
    }
  ]
}
```

```
    }  
  ]  
}
```

暗号化された Amazon SNS トピックのアクセスポリシー

Amazon SNS トピックでサーバー側の暗号化が有効になっている場合は AWS Key Management Service、関連する対称暗号化カスタマーマネージドキーに次のポリシーを追加します。Amazon SNS の マネージドキーは変更できないため、カスタマー AWS マネージドキーにポリシーを追加する必要があります。

JSON

```
{  
  "Version": "2012-10-17",  
  "Id": "example-ID",  
  "Statement": [  
    {  
      "Sid": "example-statement-ID",  
      "Effect": "Allow",  
      "Principal": {  
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"  
      },  
      "Action": [  
        "kms:GenerateDataKey",  
        "kms:Decrypt"  
      ],  
      "Resource": "*"   
    }  
  ]  
}
```

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon SNS イベント送信先を作成する

Amazon SNS イベント送信先を作成するには、まず Amazon SNS トピックを作成する必要があります。Amazon SNS トピックの作成の詳細については、「Amazon Simple Notification Service [デベロッパーガイド](#)」の「[トピックの作成](#)」を参照してください。

また、イベント送信先を関連付ける設定セットを既に設定している必要があります。「[AWS End User Messaging SMS の設定セット](#)」を参照してください。

Create an Amazon SNS event destination (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して Amazon SNS イベント送信先を作成するには、次の手順に従います。

1. 「<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>.com で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットの詳細ページで、送信先イベントの追加を選択します。
5. イベントの詳細 セクションに名前を入力します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon SNS を選択します。
 - a. 新しい Amazon SNS トピック – AWS エンドユーザーメッセージング SMS でアカウントにトピックを作成する場合は、このオプションを選択します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「Amazon [Simple Notification Service デベロッパーガイド](#)」の「[Amazon SNS の設定](#)」を参照してください。
 - b. 既存の Amazon SNS トピック – Topic arn ドロップダウンに既存の Amazon SNS トピックがある場合は、このオプションを選択します。
7. イベントタイプで、以下を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) – にリストされているすべての SMS イベント [イベントタイプ](#) を Amazon SNS に送信するには、このオプションを選択します。
 - カスタム SMS イベント – Amazon SNS に送信する特定の SMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イ

イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。

- すべての音声イベント (推奨) – にリストされているすべての音声イベント [イベントタイプ](#) を Amazon SNS に送信するには、このオプションを選択します。
- カスタム音声イベント – Amazon SNS に送信する特定の音声イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集を選択します。音声イベント選択の編集で、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。
- すべての MMS イベント (推奨) – にリストされているすべての MMS イベント [イベントタイプ](#) を Amazon SNS に送信するには、このオプションを選択します。
- カスタム MMS イベント – Amazon SNS に送信する特定の MMS イベントを選択します。イベントのリストを編集するには、MMS イベント選択の編集を選択します。MMS イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。

8. [イベントの作成] を選択します。

Create an Amazon SNS event destination (AWS CLI)

[create-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を作成できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event-types eventTypes \  
> --sns-destination TopicArn=arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:snsTopic
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *eventDestinationName* を、イベント送信先のわかりやすい名前に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。
- *eventTypes* を、[SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#) に列挙されているイベントタイプのいずれかに置き換えます。
- TopicArn の値を、イベントの送信先にする Amazon SNS トピックの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon SNS イベント送信先を編集する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、Amazon SNS イベント送信先を編集します。

Update an Amazon SNS event destination (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して AWS End User Messaging SMS イベント送信先を更新するには、次の手順に従います。

1. 「<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>.com で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を追加する設定セットを選択します。
4. 設定セットページで、編集する設定セットを選択します。
5. 設定セットの詳細ページで、Amazon SNS イベントの送信先を選択し、編集します。
6. 送信先タイプのドロップダウンから Amazon SNS を選択します。
 - a. 新しい Amazon SNS トピック – このオプションを選択すると、AWS End User Messaging SMS はアカウントにトピックを作成します。トピックは、必要なすべてのパーミッションがあれば、自動的に作成されます。Amazon SNS トピックの詳細については、「Amazon [Simple Notification Service デベロッパーガイド](#)」の「[Amazon SNS の設定](#)」を参照してください。
 - b. 既存の Amazon SNS トピック – Topic arn ドロップダウンに既存の Amazon SNS トピックがある場合は、このオプションを選択します。
7. イベントタイプで、以下を選択します。
 - すべての SMS イベント (推奨) – にリストされているすべての SMS イベント [イベントタイプ](#) を Amazon SNS に送信するには、このオプションを選択します。
 - カスタム SMS イベント – このオプションを選択すると、Amazon SNS に送信する特定の SMS イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、「SMS イベント選択の編集」を選択します。SMS イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。
 - すべての音声イベント (推奨) – にリストされているすべての音声イベントを Amazon SNS に送信する [イベントタイプ](#) には、このオプションを選択します。

- カスタム音声イベント – このオプションを選択すると、Amazon SNS に送信する特定の音声イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、音声イベント選択の編集を選択します。音声イベント選択の編集で、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。
- すべての MMS イベント (推奨) – にリストされているすべての MMS イベント [イベントタイプ](#) を Amazon SNS に送信するには、このオプションを選択します。
- カスタム MMS イベント – このオプションを選択すると、Amazon SNS に送信する特定の MMS イベントが選択されます。イベントのリストを編集するには、MMS イベント選択の編集を選択します。MMS イベント選択の編集では、Amazon SNS に送信するイベントのみをチェックします。選択を保存を選択します。

8. イベントの編集 を選択します。

Update an Amazon SNS event destination (AWS CLI)

[update-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を更新できます。

Amazon SNS イベント送信先を更新する手順は、イベント送信先を作成するプロセスと同様です。

で Amazon SNS イベント送信先を更新するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 update-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSet \  
> --matching-event types eventTypes \  
> --sns-destination TopicArn=arn:aws:sns:us-east-1:111122223333:snsTopic
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *eventDestinationName* を、変更するイベント送信先の名前に置き換えます。
- *configurationSet* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前に置き換えます。イベント送信先に、異なる設定セットに関連付けることができます。
- *eventTypes* を、 にリストされている 1 つ以上のイベントタイプに置き換えます [SMS、MMS、音声のイベントタイプ](#)。

- TopicArn の値を、イベントの送信先にする Amazon SNS トピックの Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon SNS イベント送信先を削除する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、Amazon SNS トピックを削除します。

Delete an Amazon SNS event destination (Console)

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

コンソールで Amazon SNS イベント送信先を削除するには

1. 「<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>.com で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの「設定」で、「設定セット」を選択します。
3. 設定セットページで、イベント送信先を削除する設定セットを選択します。
4. すべての送信先セクションで、イベントの送信先を選択し、削除を選択します。

Delete an Amazon SNS event destination (AWS CLI)

[delete-event-destination](#) コマンドを使用して、イベント送信先を削除できます。

イベント送信先を削除するプロセスは、削除するイベント送信先のタイプにかかわらず、同じです。

で Amazon SNS イベント送信先を削除するには AWS CLI

- コマンドラインから、以下のコマンドを実行します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-event-destination \  
> --event-destination-name eventDestinationName \  
> --configuration-set-name configurationSetName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *eventDestinationName* を、削除するイベント送信先の Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *configurationSetName* を、イベント送信先に関連付ける設定セットの名前または ARN に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のオプトアウトリスト

オプトアウトリストは、メッセージを送信してはならない送信先電話番号のリストです。SMS メッセージを送信する際、送信元電話番号への返信に STOP というキーワードがあった場合、送信先アイデンティティが自動的にオプトアウトリストに追加されます (セルフマネージド型のオプトアウトオプションを有効にしていない場合)。オプトアウトリストにある送信先番号にメッセージを送信しようとし、オプトアウトリストがメッセージの送信に使用される電話番号に関連付けられている場合、AWS End User Messaging SMS はメッセージの送信を試みません。

電話番号がオプトアウトリストに含まれている場合、その電話番号へのメッセージの送信は、[オーバーライドが許可](#)されていても送信されません。メッセージの受信を再開するには、オプトアウトリストから電話番号を削除する必要があります。

デフォルトでは、オプトアウトは によって AWS 自動的に管理されます。お客様は、セルフマネージドオプトアウトを有効にすることで、自動オプトアウト処理を無効にすることができます。アカウントには、オプトアウトが管理されている番号と AWS、オプトアウトを自分で管理している番号の両方を含めることができます。

トピック

- [必須の AWS エンドユーザーメッセージング SMS オプトアウトリストキーワード](#)
- [セルフマネージド型のオプトアウト](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話プールまたは電話番号のセルフマネージドオプトアウトを設定する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でオプトアウトリストを作成する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でオプトアウトリストに関連付けられているすべての発信元 ID を表示する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でオプトアウトリストの詳細を表示する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS のオプトアウトリストに宛先電話番号を追加する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で送信先電話番号のオプトアウトリストを検索する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS のオプトアウトリストから送信先電話番号を削除する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でオプトアウトリストを削除する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でオプトアウトリストのタグを管理する](#)
- [で共有オプトアウトリストを一覧表示する AWS CLI](#)

必須の AWS エンドユーザーメッセージング SMS オプトアウトリストキーワード

現地の法律および規制により義務付けられている場合 (米国およびカナダなど)、SMS および MMS の受取人は、デバイスを利用して以下のいずれかのメッセージに返信することによって、オプトアウトできます。

- 停止
- CANCEL
- END
- OPT-OUT
- OPTOUT
- QUIT
- REMOVE
- STOP
- TD
- UNSUBSCRIBE

オプトアウトするには、受信者は AWS End User Messaging SMS がメッセージの配信に使用したのと同じロングコードまたはショートコードに返信する必要があります。オプトアウトすると、受信者は AWS アカウントから SMS または MMS メッセージを受信しなくなります。

Note

米国の通話料無料の番号の場合、オプトアウトは通信事業者レベルで管理されます。米国の通話料無料の番号でサポートされるオプトアウトキーワードは、STOP のみです。オプトアウトキーワードを追加したり、受信者がオプトアウトしたときに受け取る応答メッセージを変更したりすることはできません。

セルフマネージド型のオプトアウト

デフォルトでは、顧客が HELP または STOP で始まるメッセージを専用番号の 1 つに送信すると、AWS End User Messaging SMS は自動的にカスタマイズ可能なメッセージで返信します。着信

STOP メッセージの場合、AWS End User Messaging SMS は、今後の SMS メッセージの受信をオプトアウトします。AWS End User Messaging SMS 以外のサービスを使用して HELP および STOP を管理する場合には、自己管理型のオプトアウトを有効にすることができます。

この機能を有効にすると、顧客が送信する受信メッセージを AWS エンドユーザーメッセージング SMS が処理する方法に 3 つの変更があります。最初に、着信した HELP と STOP メッセージに対する自動応答の送信を停止します。次に、AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、お客様が STOP メッセージを送信するときに、将来の SMS および MMS メッセージの受信を自動的にオプトアウトすることを停止します。最後に、自動的に送信者に応答するのではなく、双方向 SMS メッセージを受信するために使用する Amazon SNS トピックに着信する HELP と STOP のメッセージをルーティングします。

この機能を有効にすると、HELP と STOP のリクエストに応答する責任が生じます。また、オプトアウトリクエストを追跡し、従う責任も生じます。

Important

多くの国、リージョン、管轄区域では、不要な SMS メッセージの送信に多額の罰金を科しています。この機能を有効にする場合、オプトアウトリクエストをキャプチャして管理するためのシステムとプロセスが用意されていることを確認してください。

Note

プールまたは電話番号に対して自己管理型のオプトアウトを有効にするには、最初にその番号に対して SMS メッセージングを有効にする必要があります。双方向 SMS で Amazon Connect を使用する場合、セルフマネージド型のオプトアウトはサポートされていません。双方向 SMS メッセージングで Amazon Connect を使用方法の詳細については、「Amazon Connect 管理者ガイド」の「[SMS メッセージングをセットアップする](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話プールまたは電話番号のセルフマネージドオプトアウトを設定する

この機能を有効にすると、HELP と STOP のリクエストに応答する責任が生じます。また、オプトアウトリクエストを追跡し、従う責任も生じます。

Turn on self managed opt-outs for a phone pool (Console)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話プール] を選択します。
3. [電話プール] ページで、プールを選択します。
4. [オプトアウトリスト] タブで、[設定を編集] を選択します。
5. [オプトアウト管理] ページで、[セルフマネージド型のオプトアウトを有効にする] を選択し、[変更を保存] を選択します。

Turn on self managed opt-outs for a phone number (Console)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[電話番号] を選択します。
3. [番号] ページで、電話番号を選択します。
4. [オプトアウトリスト] タブで [設定を編集] ボタンをクリックします。
5. [オプトアウト管理] ページで、[セルフマネージド型のオプトアウトを有効にする] を選択し、[変更を保存] を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でオプトアウトリストを作成する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、オプトアウトリストを作成します。

Create opt-out list (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを作成するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[オプトアウトリスト] を選択します。
3. [オプトアウトリスト] ページで、オプトアウトリストを選択し、[編集] を選択します。

4. [リストの詳細] ページで、[リスト名] を入力します。
5. [リストを作成] を選択します。

Create opt-out list (AWS CLI)

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-opt-out-list \  
> --opt-out-list-name optOutListName
```

前述の例で、*optOutListName* を、オプトアウトリストのわかりやすい識別名に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でオプトアウトリストに関連付けられているすべての発信元 ID を表示する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して、オプトアウトリストにリンクされているすべての発信元 ID を表示できます。次のステップに従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[オプトアウトリスト] を選択します。
3. [オプトアウトリスト] ページで、オプトアウトリストを選択します。
4. [リンクされた発信元番号] を選択して、すべての発信元 ID を表示します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でオプトアウトリストの詳細を表示する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、オプトアウトリストを管理します。

View opt-out list (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを表示するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[オプトアウトリスト] を選択します。
3. [オプトアウトリスト] ページで、オプトアウトリストを選択し、[オプトアウトリストの詳細] 表示します。

Describe opt-out lists (AWS CLI)

[describe-opt-out-lists](#) コマンドを使用して、AWS End User Messaging SMS アカウントのオプトアウトリストに関する情報を表示できます。

を使用してすべてのオプトアウトリストに関する情報を表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-opt-out-lists
```

また、特定のオプトアウトリストに関する情報を表示するには、OptOutListNames パラメータを使用できます。

を使用して特定のオプトアウトリストに関する情報を表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-opt-out-lists \  
> --opt-out-list-names optOutListName
```

上記のコマンドで、*optOutListName* を、詳細情報を調べるオプトアウトリストの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。また、複数のオプトアウトリストを指定するには、各リスト名をスペースで区切ります。

は、アカウント内のすべてのオプトアウトリストに関する次の情報 AWS CLI を返します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のオプトアウトリストに宛先電話番号を追加する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは を使用して、送信先の電話番号をオプトアウトリスト AWS CLI に追加します。オプトアウトリストに電話番号を追加した場合、その電話番号はオプトアウトリストにリンクされた発信元 ID から送信されたメッセージを受信しなくなります。

Add a destination number (Console)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[オプトアウトリスト] を選択します。
3. [オプトアウトリスト] ページで、オプトアウトリストを選択します。
4. [オプトアウト番号] タブで、[番号を追加] を選択します。
5. [オプトアウト番号を追加] ページで、[送信先番号] にオプトアウトリストに追加する電話番号を入力します。電話番号は +12065550150 のような E.164 形式である必要があります。
6. [番号を追加] を選択する

Add a destination number (AWS CLI)

オプトアウトリストに電話番号を追加するには、[put-opted-out-number](#) コマンドを使用できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-opted-out-number \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --opted-out-number +12065550123
```

上の例に、以下の変更を加えます。

- *optOutListName* を、送信先 ID を追加するオプトアウトリストの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *+12065550123* を、オプトアウトリストに追加する電話番号に置き換えます。電話番号は E.164 形式である必要があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で送信先電話番号のオプトアウトリストを検索する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを検索し、送信先番号が含まれているかどうかを確認します。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[オプトアウトリスト] を選択します。
3. [オプトアウトリスト] ページで、オプトアウトリストを選択します。
4. [オプトアウト番号] タブで、検索フィールドに電話番号を入力します。電話番号は **+12065550149** のような E.164 形式である必要があります。
5. [検索] を選択してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のオプトアウトリストから送信先電話番号を削除する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは を使用して AWS CLI 、オプトアウトリストから送信先の電話番号を削除します。電話番号を削除した場合、その電話番号はオプトアウトリストにリンクされた発信元 ID から送信されたメッセージを受信します。

Remove a destination number (Console)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[オプトアウトリスト] を選択します。
3. [オプトアウトリスト] ページで、オプトアウトリストを選択します。
4. [オプトアウト番号] タブで、削除する電話番号と入力し、[検索] を選択します。
5. 電話番号が見つかった場合は、[番号を削除] を使用して、電話番号をオプトアウトリストから削除できます。
6. [オプトアウト番号を削除] ウィンドウで「**release**」と入力し、[番号を削除] を選択します。

Remove a destination number (AWS CLI)

オプトアウトリストから電話番号を削除するには、[delete-opted-out-number](#) コマンドを使用できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-opted-out-number \  
> --opt-out-list-name optOutListName \  
> --opted-out-number +12065550123
```

上の例に、以下の変更を加えます。

- *optOutListName* を、送信先 ID を追加するオプトアウトリストの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *+12065550123* を、オプトアウトリストに追加する電話番号に置き換えます。電話番号は E.164 形式である必要があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でオプトアウトリストを削除する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは AWS CLI を使用して、オプトアウトリストを削除します。

Delete opt-out list (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用してオプトアウトリストを削除するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[オプトアウトリスト] を選択します。
3. [オプトアウトリスト] ページで、オプトアウトリストを選択し、[削除] を選択します。

Delete opt-out list (AWS CLI)

[delete-opt-out-list](#) コマンドを使用してオプトアウトリストを削除できます。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-opt-out-list \  
> --opt-out-list-name optOutListName
```

前述の例で、*optOutListName* を、オプトアウトリストのわかりやすい識別名に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でオプトアウトリストのタグを管理する

タグはキーと値のペアであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用状況を制御できます。リソースにタグを追加することにより、目的、所有者、環境、その他の条件など、さまざまな方法でリソースを分類および管理できます。タグを使用すると、既存のリソースを簡単に検索することや、特定のリソースにアクセスできるユーザーを制御することができます。

Manage tags (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して、プールにタグを追加または編集します。

タグの管理 (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[オプトアウトリスト] を選択します。
3. [オプトアウトリスト] ページで、タグを追加するオプトアウトリストを選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
 - タグの追加 – [タグの管理] で、[新しいタグの追加] を選択して新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – [タグの管理] で、キーと値のペアの横にある [削除] を選択します。
 - タグの編集 – [タグの管理] で、[キー] または [値] を選択し、テキストを編集します。
5. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Manage tags (AWS CLI)

を使用してタグ AWS CLI を追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

を使用してタグ AWS CLI を削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

で共有オプトアウトリストを一覧表示する AWS CLI

[describe-opt-out-lists](#) を使用して、アカウントと共有されているオプトアウトリストを表示できます。共有リソースの詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での共有リソースの使用](#)」を参照してください。

を使用してアカウントと共有されているすべてのオプトアウトリストを一覧表示するには AWS CLI

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-opt-out-lists --owner SHARED
```

上記のコマンドで、*SHARED* を *SELF* に置き換えて、アカウントが所有するオプトアウトリストを一覧表示します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのメッセージフィードバック

メッセージフィードバックを使用して、SMS および MMS メッセージ配信と [配信確認 \(DLR\)](#) をモニタリングします。通信事業者によって生成された DLR が返されるまでに最大 72 時間かかる場合があります。DLR を記録するには、[イベント送信先](#)を設定する必要があります。メッセージフィードバックを使用すると、DLR が返されるのを待つ必要がなくなり、メッセージを受信済みとして設定し、メッセージメトリクスを更新できます。顧客からのシグナルを使用して、メッセージを受信されたかどうかを判断し、メッセージフィードバックのステータスレコードを配信済みとして設定できます。メッセージフィードバックは、ワークフローの完了、リンクのクリック、OTP の検証など、ユーザーのアクションが予想されるあらゆる用途に使用できます。

メッセージフィードバックのステータスレコードが 1 時間を経過しても受信済みとして設定されない場合、失敗として設定されますが、CloudWatch メトリクスは更新されません。また、CloudWatch メトリクスが更新されるように、メッセージフィードバックレコードを失敗に設定することをお勧めします。その後、CloudWatch を使用して、送信済みのメッセージ、配信済みのメッセージ、フィードバック待ちメッセージの数をモニタリングできます。

例えば、リンクを含むメッセージを送信し、リンクがクリックイベントをモニタリングします。顧客がリンクをクリックしてイベントを生成すると、顧客がメッセージを受信したことがわかります。

例えば、メッセージフィードバックを使用して、OTP が使用されているかどうかをモニタリングすることにより、次のようなワンタイムパスワード (OTP) 変換率をモニタリングできます。

- 顧客が OTP をリクエストした。
- 顧客に OTP を生成し、メッセージフィードバックを有効にして SMS として送信した。
- メッセージを受信したシグナルである OTP を顧客が使用した場合、そのメッセージを受信済みとしてフィードバックを提供した。

メッセージを受信したまたは受信しなかった場合にメッセージフィードバックステータスレコードを更新すると、CloudWatch メッセージメトリクスも更新されます。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのメッセージフィードバックの処理方法](#)
- [設定セット AWS End User Messaging SMS のメッセージフィードバックを有効にする](#)

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でメッセージフィードバックを含むメッセージを送信する](#)
- [AWS End User Messaging SMS でメッセージフィードバックステータスレコードを変更する](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのメッセージフィードバックの処理方法

メッセージフィードバックは、[SendTextMessage](#)、[SendMediaMessage](#) の API パラメータを通じて、または設定セットの一部として設定できます。API パラメータは、設定セットの実行よりも優先されます。例えば、API パラメータが False に設定され、設定セットが True に設定されている場合、API パラメータのメッセージフィードバックは無効になります。

設定セット AWS End User Messaging SMS のメッセージフィードバックを有効にする

設定セットでメッセージフィードバック設定が有効になっている場合、その設定セットを使用して送信されたメッセージは、API コールでメッセージフィードバックが無効になっていない限り、メッセージフィードバックが有効になります。AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して設定セットのメッセージフィードバックを有効にするには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、[設定セット] を選択します。
3. [設定セット] ページで、設定セットを選択します。
4. [設定を実行] タブを選択し、[設定を編集] を選択します。
5. [メッセージフィードバック] で、[有効になっていません] を選択してメッセージフィードバックを有効にします。
6. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でメッセージフィードバックを含むメッセージを送信する

[SendTextMessage](#) または [SendMediaMessage](#) でメッセージを送信する際にメッセージフィードバックを有効にするには、MessageFeedbackEnabled パラメータを True に設定します。メッ

セージフィードバックを使用する場合は、メッセージフィードバックステータスレコードを設定して、[\[メッセージフィードバックメトリクス\]](#)を更新する必要があります。

以下は、`--message-feedback-enabled` パラメータを使用することによりメッセージフィードバックを有効化して SMS を送信する部分的な例です。

API でメッセージフィードバックを有効化して SMS メッセージを送信する

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 --region 'us-east-1' send-text-message --destination-phone-number +12065550150 --origination-identity +14255550120 --message-body 'text body' --message-feedback-enabled
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *us-east-1* を、発信元 ID が保存され AWS リージョン ている に置き換えます。
- *+12065550150* を送信先電話番号に置き換えます。
- *+14255550120* を発信元 ID に置き換えます。発信元 ID は ACTIVE で、送信先電話番号に送信できる必要があります。
- *text body* をテキストメッセージに置き換えます。
- メッセージフィードバックを有効にするには、`--message-feedback-enabled` を有効にした状態にしておいてください。

以下は、設定セットでメッセージフィードバックを有効化して SMS を送信する部分的な例です。また、設定セットを使用すると、設定セットで指定されたイベントログ記録を利用できます。

設定セットを使用したメッセージフィードバックを含む SMS メッセージを送信する例

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 --region 'us-east-1' send-text-message --destination-phone-number +12065550150 --origination-identity +14255550120 --message-body 'text body' --configuration-set-name ConfigSetName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *us-east-1* を、発信元 ID が保存され AWS リージョン ている に置き換えます。

- **+12065550150** を送信先電話番号に置き換えます。
- **+14255550120** を発信元 ID に置き換えます。発信元 ID は ACTIVE で、送信先電話番号に送信できる必要があります。
- **text body** をテキストメッセージに置き換えます。
- ConfigSetName を設定セットの名前に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS が コマンドを受け入れると、 `MessageId` を受け取ります。これは、コマンドが正常に受信されただけで、送信先デバイスがメッセージを受信したわけではありません。

```
{  
  "MessageId": "string"  
}
```

顧客が [メッセージを受信した](#) という内容を更新するには、`MessageId` を保存する必要があります。

AWS End User Messaging SMS でメッセージフィードバックステータスレコードを変更する

顧客がメッセージを受信したというシグナルを受け取ったら、[PutMessageFeedback](#) または [put-message-feedback](#) を使用して、メッセージのフィードバックを提供する必要があります。メッセージフィードバックのステータスレコードが 1 時間経過しても更新されない場合、自動的に FAILED に設定されますが、CloudWatch メトリクスはレコードを RECEIVED または FAILED に設定するまで更新されません。顧客からシグナルが届かない場合は、メッセージフィードバックのステータスレコードを FAILED に設定するタイマーを用意することをお勧めします。

コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 --region 'us-east-1' put-message-feedback --message-feedback-status Status --message-id a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLE11111
```

- **us-east-1** を、発信元 ID が保存され AWS リージョン ている に置き換えます。
- **Status** を RECEIVED または FAILED に置き換えます。
- **a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLE11111** をメッセージ ID に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS での不正保護

Protect は、顧客がいるすべての国への SMS メッセージ配信を管理し、AIT (人為的なトラフィックの増加) と戦うのに役立つ一連の機能です。SMS AIT (または SMS ポンピング) は、ボットがウェブアプリケーションやモバイルアプリケーション、特にログインやサインアッププロセスなどの即時 SMS 送信をトリガーするワークフローをターゲットにするとときに発生します。Protect では、アカウントレベル、国、ユースケース (トランザクションアラートと認証など) でルールを設定できます。これらのルールは、End User Messaging がリスクを評価し、メッセージを配信する方法を指示します。SMS Protect では、設定を次のように設定できます。

- 保護設定を作成する – これらは、ブロックの決定が行われるルールのコンテナです。保護を最適化するために、ユースケースごとに個別の設定を作成します。アカウントレベルまたは特定のユースケースにルールを設定します。保護設定を適用するには、SendTextMessage、SendMediaMessage、または SendVoiceMessage API リクエストに ProtectConfigurationId パラメータを追加するか、メッセージを送信する SMS 設定セットに関連付けて、API コールを行うときにそれらを参照します。
- 国ルールの設定 – 各[保護設定](#)内で、国固有のルールを定義します。以下から選択します。
 - 許可 (サービスデフォルト) – すべてのメッセージの送信を許可します。
 - ブロック – 指定された国へのすべてのメッセージを防止します。
 - モニタリング – AIT リスク (追加コストが適用されます) を通知しながらメッセージを許可します。
 - フィルター – メッセージを許可しますが、リスクモデルによって識別されたメッセージはブロックします (追加コストが適用されます)。
- 電話番号例外の管理 – [電話番号ルールオーバーライド](#)を使用して、ブロックされた番号を保護するための許可例外を作成するか、許可されていない特定の番号をブロックします。
- メッセージフィードバックを実装する – [メッセージフィードバック API](#) を使用してカスタマーエンゲージメントを追跡します。例えば、追跡可能なリンクを使用してメッセージの受信を確認、またはワンタイムパスワード (OTP) の使用をモニタリングします。
- モニタリングとアラートを有効にする – 保護[メトリクスとダッシュボード](#)、イベント送信先、CloudWatch を活用して、メッセージ AIT のリスクと配信を監督します。

⚠ Important

- 「モニタリング」モードまたは「フィルター」モードを使用するメッセージは、AIT リスク評価に対して追加料金が発生します。詳細については、[料金](#)を参照してください。
- 保護のフィルターモードとモニタリングモードは、データのパターンに基づいて AIT リスク予測を生成する統計モデルを使用します。常にこれらのモデルの改善に取り組んでいますが、あらゆるモデルと同様に予測の精度は保証されません (例えば、正当な SMS メッセージに AIT リスクとしてフラグが付けられる可能性があります)。
- フィルターモードとモニタリングモードには、AIT の影響を軽減する効果がありますが、AIT からの完全な保護を保証するものではありません。ウェブおよびモバイルアプリケーションには、多方面からの AIT 保護のために追加の安全対策の使用を推奨します。

i Note

Notify を使用すると、サービスによって保護設定が自動的に作成および管理され、通知設定が有効になっている国に基づいて国レベルの制限が適用されます。Notify 用に別の保護設定を作成する必要はありません。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング通知とは](#)」を参照してください。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定を使用する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の国ルールモード](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護メトリクスを表示する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の電話番号オーバーライドルール](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定を使用する

保護設定を使用して、AWS エンドユーザーメッセージング SMS がメッセージを送信できる送信先国を制御します。メッセージの送信を許可する国を制御することにより、メッセージ料金が低い国や事業を展開していない国への送信を回避できます。各保護設定には、SMS、MMS、音声の個々の許可国ルールとブロック国ルールが含まれています。メッセージングのユースケースごとに個別の保護設定を作成して、検出精度を向上させます。マーケティング通知などのユースケースをログイン/サ

インアップから分離すると、より正確なリスク評価が可能になります。さらに、あるユースケースが AIT に直面しても、他のユースケースはメッセージのフィルタリングなしでメッセージを配信し続けます。

保護設定は、アカウントのデフォルト、設定セット、または `SendMediaMessage`、`SendTextMessage`、または `SendVoiceMessage` コマンドの `ProtectConfigurationId` パラメータで使用できます。アカウントのデフォルトとして設定すると、保護設定は Amazon SNS、Amazon Cognito、`SendMessages` を介して送信されるメッセージにも影響します。

送信リクエストの有効な保護設定を選択するプロセスは次のとおりです。

1. `ProtectConfigurationId` – API リクエストパラメータで保護設定が指定されている場合は、その設定が使用されます。
2. `ConfigurationSetName` – API リクエストパラメータで保護設定が指定されていないが、設定セットが指定されていて、それに関連する保護設定がある場合は、その設定セットに関連付けられた保護設定が使用されます。
3. `Account default` – 保護設定が指定されていないか、1 または 2 から選択できる場合は、アカウントのデフォルトの保護設定が使用されます。

 Note

Amazon SNS や Amazon Pinpoint などの他の AWS サービスで保護設定を使用してメッセージを送信するには、保護設定をアカウントのデフォルトとして設定する必要があります。

4. なし – 保護設定は、`SendTextMessage` API リクエストで指定された場合にのみ使用されます。

保護設定は複数の設定セットに関連付けることができますが、設定セットを関連付けることができるのは 1 つの保護設定のみです。アカウントのデフォルトの保護設定は、いつでも 1 つだけです。

次の `SendMediaMessage` の例では、コマンドで指定された設定セットと保護設定の両方があります。`ProtectConfigurationId` パラメータで指定された保護設定は、設定セットに保護設定が関連付けられているかどうか、またはアカウントのデフォルト保護設定があるかどうかに関係なく使用されません。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 --region 'us-east-1' send-media-message --destination-phone-number +12065550150 --origination-identity +14255550120 --message-body 'text body' --
```



```
media-urls 's3://s3-bucket/media_file.jpg' --configuration-set-name ConfigSetName --  
protect-configuration-id ProtectConfigId
```

ユースケースに応じて、次のことをお勧めします。

- すべての SMS、MMS、音声に 1 セットの国ルールのみが必要な場合は、保護設定を作成し、アカウントアカウントのデフォルトとして関連付ける必要があります。
 1. [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定を作成する](#) の手順に従って保護設定を作成し、関連付けをアカウントのデフォルトとして設定します。
 2. 「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の国ルールを変更する](#)」の指示に従って、SMS、MMS、音声について、国ルールの許可、ブロック、モニタリング、フィルタリングを編集します。
 3. アカウントのデフォルトの保護設定は、ConfigurationSetName または ProtectConfigurationId を使用してオーバーライドされない限り、送信するメッセージに使用されるようになります。
- ユースケースでより詳細なコントロールとイベントログ記録が必要な場合は、保護設定を設定セットに関連付けることができます。
 1. 設定セットをまだ作成していない場合は、「[AWS End User Messaging SMS で設定セットを作成する](#)」の指示に従ってください。また、SMS、MMS、音声イベントをログに記録するようにイベント送信先を設定することをお勧めします。
 2. 「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定を作成する](#)」の指示に従って保護設定を作成し、関連付けを設定セットとして設定し、1 つ以上の設定セットを選択します。
 3. 「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の国ルールを変更する](#)」の指示に従って、SMS、MMS、音声について、国ルールの許可、ブロック、モニタリング、フィルタリングを編集します。
 4. 保護設定を使用するには、SendMessage、SendTextMessage、または SendVoiceMessage コマンドで ConfigurationSetName を渡す必要があります。
- ユースケースでより詳細なコントロールが必要な場合は、ProtectConfigurationId API パラメータで保護設定を作成し、保護設定を使用できます。
 1. [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定を作成する](#) の手順に従って保護設定を作成し、関連付けを関連付けなしとして設定します。
 2. 「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の国ルールを変更する](#)」の指示に従って、SMS、MMS、音声について、国ルールの許可、ブロック、モニタリング、フィルタリングを編集します。

3. 保護設定を使用するには、SendMediaMessage、SendTextMessage、または SendVoiceMessage コマンドで ProtectConfigurationId を渡す必要があります。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定を作成する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の国ルールを変更する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の関連付けを変更する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定を削除する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で削除保護を設定する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の名前を変更する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定のタグを管理する](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定を作成する

新しい保護設定を作成するには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API の CreateProtectConfiguration アクション、または の `aws sms-voice create-protect-configuration` コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールとを使用して保護設定を作成する方法を示します AWS CLI。

デフォルトでは、に最大 25 個の保護設定を含めることができます AWS アカウント。

保護設定を作成するときは、ビジネスニーズに基づいて国を許可、フィルター、またはブロックするルールを作成できます。国ルールの編集の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の国ルールを変更する](#)」を参照してください。

Note

保護設定の名前はタグキーと値のペアとして保存されます。「名前」タグを指定しない場合、保護設定の名前は – と表示されます。

Create a protect configuration (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して保護設定を作成するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択し、[設定を作成] を選択します。
3. [Protect 設定名] には、保護設定のわかりやすい名前を入力します。
4. ビジネスニーズに基づいてメッセージ送信をブロック、フィルター、または許可するように国ルールを設定します。国、リージョン、ルールに基づいて国のリストをソートおよびフィルター処理できます。
5. [関連付けタイプ] の [保護設定の関連付け] で、以下を選択します。
 - [アカウントのデフォルト] – アカウントのデフォルトとして保護設定を使用します。[アカウントのデフォルト] の保護設定が既にある場合は、置き換えられます。
 - [設定セット] – 保護設定を既存の設定セットに関連付けます。[関連付けに使用できる設定セット] で、保護設定を関連付ける設定セットを 1 つ以上選択します。これにより、既存の保護設定の関連付けが置き換えられます。
 - [関連付けなし] – 保護設定は、アカウントのデフォルトまたは設定セットに関連付けられていません。
6. [設定を作成] を選択します。

これで保護設定が作成されました。MMS と音声の国ルールリストを編集する必要があります。国ルールの編集の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の国ルールを変更する](#)」を参照してください。

Create a protect configuration (AWS CLI)

create-protect-configuration コマンドを使用して、新しい保護設定を作成できます。

保護設定を作成するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 create-protect-configuration --tags  
Key=Name,Value=ProtectConfigName
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ProtectConfigName* を保護設定のわかりやすい名前に置き換えます。

これで保護設定が作成されました。SMS、MMS、音声の国ルールリストを編集する必要があります。国ルールの編集の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の国ルールを変更する](#)」を参照してください。必要に応じて、保護設定をアカウントのデフォルト保護設定または設定セットに関連付けることができます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の国ルールを変更する

各送信先の国のメッセージを許可、ブロック、モニタリング、またはフィルタする設定国のルールを保護します。保護設定の国ルールを更新するには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールまたは `aws sms-voice update-protect-configuration-country-rule-set` コマンドを使用します AWS CLI。このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールとを使用して保護設定の国ルールを更新する方法を示します AWS CLI。

Note

MMS 国ルールリストは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API または を介してのみ変更できます AWS CLI。

Edit a protect configuration (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して保護設定を編集するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択します。
3. [保護設定] ページで、保護設定を選択し、[編集] を選択します。
4. [保護設定の詳細] テーブルで、[SMS ルール] または [音声ルール] タブを選択します。
5. [SMS/音声の国ルール] タブで、ルールを変更する国を確認し、[許可]、[ブロック]、[モニタリング]、または [フィルタ] を選択します。国ルールモードの詳細については、「[国ルールモード](#)」を参照してください。国、リージョン、ルールに基づいて国のリストをソートおよびフィルタ処理できます。
6. [ステータス変更の確認] ウィンドウで変更を確認し、[確認] を選択して適用します。

新しい国ルールセットが保護設定に適用されるようになりました。

Edit a protect configuration (AWS CLI)

update-protect-configuration-country-set コマンドを使用して、保護設定の国ルールを変更できます。一度に最大 300 の国ルールを変更できます。

保護設定を編集するには

- コマンドラインで 2 つの国ルールを編集するには、次のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-protect-configuration-country-rule-set
--protect-configuration-id ProtectConfigId --number-capability Capability
--country-rule-set-updates '{"CountryISO1":{"ProtectStatus": "Rule1"},
"CountryISO2": {"ProtectStatus": "Rule2"}}'
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ProtectConfigId* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。
- *Capability* を SMS、MMS、または VOICE に置き換えます。
- *CountryISO1* を 2 文字の ISO 国コードに置き換えます。ISO 国コードの一覧については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。
- *Rule1* を ALLOW または BLOCK に置き換えます。
- *CountryISO2* を 2 文字の ISO 国コードに置き換えます。ISO 国コードの一覧については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。
- *Rule2* を ALLOW または BLOCK に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の関連付けを変更する

保護設定に含まれる国ルールを使用するには、保護設定をアカウントのデフォルトまたは設定セットとして関連付けるか、メッセージ送信で直接使用する必要があります。メッセージ送信のユースケースが 1 つしかない場合は、アカウントのデフォルトを使用するのが最も簡単なオプションです。ユースケースが複数ある場合は、設定セットを使用して、AWS End User Messaging SMS がどの国に送信するかを制御できます。また、最も制御しやすいように、保護設定をメッセージ送信に直接関連付けることができます。保護設定の関連付けを変更するには、AWS エンドユーザー

メッセージング SMS コンソール、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API の `AssociateProtectConfiguration` または `SetAccountDefaultProtectConfiguration` アクション、または `aws sms-voice associate-protect-configuration` または `aws sms-voice set-account-default-protect-configuration` コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールとを使用して保護設定の関連付けを変更する方法を示します AWS CLI。

送信リクエストの有効な保護設定を選択するプロセスは次のとおりです。

1. `ProtectConfigurationId` – API リクエストパラメータで保護設定が指定されている場合は、その設定が使用されます。
2. `ConfigurationSetName` – API リクエストパラメータで保護設定が指定されていないが、設定セットが指定されていて、それに関連する保護設定がある場合は、その設定セットに関連付けられた保護設定が使用されます。
3. `Account default` – 保護設定が指定されていないか、1 または 2 から選択できる場合は、アカウントのデフォルトの保護設定が使用されます。
4. なし – 保護設定は、`SendTextMessage` API リクエストで指定された場合にのみ使用されます。

保護設定は複数の設定セットに関連付けることができますが、設定セットを関連付けることができるのは 1 つの保護設定のみです。アカウントのデフォルトの保護設定は 1 つのみ存在できます。

Edit a protect configuration association (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して保護設定を編集するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択します。
3. [保護設定] ページで、保護設定を選択します。
4. [Associations (関連付け)] タブを選択します。
5. [設定の編集] を選択します。
6. [設定の編集] ページで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [アカウントのデフォルト] – アカウントのデフォルトの保護設定として保護設定を使用します。これにより、現在のアカウントのデフォルトの保護設定が置き換えられます。
 - [設定セット] – 保護設定を 1 つ以上の設定セットに関連付けます。

- [関連付けに使用できる設定セット] で、保護設定の関連付けがまだない 1 つ以上の設定セットを確認します。
- [関連付けなし] – 保護設定は、アカウントのデフォルトまたは設定セットに関連付けられていません。

7. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Edit a protect configuration association (AWS CLI)

associate-protect-configuration コマンドを使用して、保護設定を設定セットに関連付けることができます。アカウントのデフォルト保護設定を変更するには、set-account-default-protect-configuration コマンドを使用します。

コマンドラインで設定セットの関連付けを保護設定に変更するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 associate-protect-configuration --configuration-set-name ConfigurationSetName --protect-configuration-id ProtectConfigurationID
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ConfigurationSetName* を設定セットの名前に置き換えます。
- *ProtectConfigurationID* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。

コマンドラインでアカウントのデフォルト保護設定を変更するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 set-account-default-protect-configuration --protect-configuration-id ProtectConfigurationID
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ProtectConfigurationID* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。

Disassociate a protect configuration (AWS CLI)

disassociate-protect-configuration コマンドを使用して、保護設定と設定セットの関連付けを解除できます。アカウントのデフォルト保護設定を削除するには、delete-account-default-protect-configuration コマンドを使用します。

コマンドラインで設定セットと保護設定の関連付けを削除するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 disassociate-protect-configuration --configuration-set-name ConfigurationSetName --protect-configuration-id ProtectConfigurationID
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ConfigurationSetName* を設定セットの名前に置き換えます。
- *ProtectConfigurationID* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。

コマンドラインでアカウントのデフォルト保護設定を削除するには、次のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-account-default-protect-configuration
```

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定を削除する

保護設定を削除するには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API の DeleteProtectConfiguration アクション、またはの `aws sms-voice delete-protect-configuration` コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールと を使用して保護設定を削除する方法を示します AWS CLI。

Important

保護設定を削除する前に、削除保護を無効にする必要があります。
保護設定を削除する前に、設定セットまたはアカウントのデフォルト保護設定との関連付けを解除する必要があります。

Delete a protect configuration (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して保護設定を削除するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。

2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択します。
3. 削除する保護設定を選択し、[削除] を選択します。
4. [保護設定を削除] に「**confirm**」と入力し、[削除] を選択します。

 Note

保護設定がまだ設定セットに関連付けられている場合、またはアカウントのデフォルトとして関連付けられている場合は、[関連付けを削除] を選択し、「**confirm**」と入力して、[削除] を選択します。

これで、保護設定がアカウントから削除されました。

Delete a protect configuration (AWS CLI)

delete-protect-configuration コマンドを使用して、保護設定を削除できます。

保護設定を削除するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-protect-configuration --protect-configuration-id ProtectConfigId
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ProtectConfigId* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で削除保護を設定する

保護設定の削除保護を有効にすると、削除保護が無効になり、保護設定が設定セットまたはアカウントのデフォルト保護設定に関連付けられなくなるまで、保護設定を削除できなくなります。デフォルトでは、削除保護は無効です。

保護設定の削除保護を有効にするには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API の DeleteProtectConfiguration アクション、またはの `aws sms-voice delete-protect-configuration` コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールとを使用して保護設定を削除する方法を示します AWS CLI。

Enable deletion protection (Console)

削除保護の有効化

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択します。
3. [保護設定] ページで、削除保護が有効になっている保護設定を選択します。
4. [削除保護] タブで、[設定を編集] を選択します。
5. [削除保護の有効化] をチェックし、[変更を保存] します。

Enable or disable deletion protection (AWS CLI)

update-protect-configuration コマンドを使用して、削除保護を有効にできます。

削除保護の有効化

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
$ update-protect-configuration --protect-configuration-id ProtectConfigurationId
--deletion-protection-enabled Status
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ProtectConfigId* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。
- *Status* を true に置き換えて削除保護を有効にし、false に置き換えて無効にします。

Disable deletion protection (Console)

削除保護の無効化

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択します。
3. [保護設定] ページで、削除保護が無効になっている保護設定を選択します。
4. [削除保護] タブで、[設定を編集] を選択します。
5. [削除保護の有効化] をオフにして、[変更を保存] します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定の名前を変更する

保護設定を管理するには、わかりやすい名前を付ける必要があります。保護設定の名前はいつでも追加または編集できます。[キー] が **Name** に設定され、[値] が使用する名前に設定されているタグを追加する必要があります。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択します。
3. [保護設定] ページで、タグを追加する保護設定を選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。[タグを管理] で、[新しいタグを追加] を選択します。
5. [キー] には「**Name**」、[値] にはフレンドリ名を入力します。
6. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護設定のタグを管理する

タグはキーと値のペアであり、オプションで AWS リソースに適用してアクセスや使用状況を制御できます。リソースにタグを追加することにより、目的、所有者、環境、その他の条件など、さまざまな方法でリソースを分類および管理できます。タグを使用すると、既存のリソースを簡単に検索することや、特定のリソースにアクセスできるユーザーを制御することができます。

保護設定のタグを管理するには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS エンドユーザーメッセージング SMS TagResource および音声 v2 API の および UntagResource アクション、または の `aws sms-voice tag-resource` および `aws sms-voice untag-resource` コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールと を使用して、保護設定のタグ付けとタグ解除を行う方法について説明します AWS CLI。

Manage tags (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して、タグを追加、編集、または削除します。

タグの管理 (コンソール)

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。

2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択します。
3. [保護設定] ページで、タグを追加する保護設定を選択します。
4. [Tags (タグ)] タブで、[Manage tags (タグ管理)] を選択します。
 - タグの追加 – [タグの管理] で、[新しいタグの追加] を選択して新しい空のキーと値のペアを作成します。
 - タグの削除 – [タグの管理] で、キーと値のペアの横にある [削除] を選択します。
 - タグの編集 – [タグの管理] で、[キー] または [値] を選択し、テキストを編集します。
5. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Manage tags (AWS CLI)

を使用してタグ AWS CLI を追加または編集します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 tag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tags tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを追加する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、リソースに追加するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、それぞれのキーに追加するタグの値に置き換えます。

を使用してタグ AWS CLI を削除します。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 untag-resource \  
  --resource-arn resource-arn \  
  --tag-keys tags={key1=value1,key2=value2}
```

前述の例で、以下を実行します。

- *resource-arn* を、タグを削除する Amazon リソースネーム (ARN) に置き換えます。
- *key1* と *key2* を、削除するタグのキーに置き換えます。
- *value1* と *value2* を、削除するタグの値に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の国ルールモード

人為的なトラフィックの増加 (AIT) は、ボットまたは脅威アクターによって SMS メッセージの送信をトリガーするウェブまたはモバイルアプリケーションを標的にした場合に発生します。これにより、予期しない、または許容されない SMS メッセージの料金が発生します。ウェブまたはモバイルアプリケーションに対する SMS AIT 攻撃の影響を軽減するには、国ルールを設定してブロック (特定の国に対するすべてのメッセージを拒否) またはフィルタリング (End User Messaging AIT 検出モデルを使用して疑わしい AIT メッセージリクエストをフィルタリング) を設定します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の国ルールモードとは

北米などの個々の国や地理的リージョンに対し、異なる国モードを適用できます。国ルールモードでは、特定の電話番号を [\[電話番号オーバーライドルール\]](#) で上書きできます。

国ルールモード

モード名	説明
ブロック	送信先の国へのメッセージの送信をブロックします。
許可	送信先の国へのメッセージの送信を許可します。
モニタリング	送信先の国へのメッセージの送信を許可しますが、SMS 保護ブロックの推奨事項をメトリクスとイベントに含めます。
フィルター	送信先の国へのメッセージの送信を許可しますが、End User Messaging によって AIT とみなすメッセージをブロックします。

Important

- 「モニタリング」モードまたは「フィルター」モードを使用するメッセージは、AIT リスク評価に対して追加料金が発生します。詳細については、[料金](#)を参照してください。
- 保護のフィルターモードとモニタリングモードは、データのパターンに基づいて AIT リスク予測を生成する統計モデルを使用します。常にこれらのモデルの改善に取り組んでいます。

すが、あらゆるモデルと同様に予測の精度は保証されません (例えば、正当な SMS メッセージに AIT リスクとしてフラグが付けられる可能性があります)。

- フィルターモードとモニタリングモードには、AIT の影響を軽減する効果がありますが、AIT からの完全な保護を保証するものではありません。ウェブおよびモバイルアプリケーションには、多方面からの AIT 保護のために追加の安全対策の使用を推奨します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で国モードを設定する

それぞれの保護設定は、国ルールモードを国または地域ごとに適用できます。国ルールモードでは、その国へのメッセージについて [許可]、[ブロック]、[モニタリング]、または [フィルター] を行うことができます。電話番号オーバーライドを使用して、特定の電話番号の許可と拒否の例外を作成します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して保護設定の国ルールを編集するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択します。
3. [保護設定] ページで、保護設定を選択し、[編集] を選択します。
4. [保護設定の詳細] テーブルで、[SMS ルール] または [音声ルール] タブを選択します。
5. [SMS/音声の国ルール] タブで、ルールを変更する国を確認し、[許可]、[ブロック]、[モニタリング]、または [フィルター] を選択します。国、リージョン、ルールに基づいて国のリストをソートおよびフィルター処理できます。
6. [ステータス変更の確認] ウィンドウで変更を確認し、[確認] を選択して適用します。

新しい国ルールセットが保護設定に適用されるようになりました。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護メトリクスを表示する

保護設定の [モニタリング] タブには、保護設定のメッセージ配信メトリクスの概要が表示されます。AWS End User Messaging SMS コンソールでアカウントのすべてのメトリクスを表示するには、左側のナビゲーションで Dashboard を選択します。

また、CloudWatch を使用すると、アラームの表示や作成が可能です。CloudWatch のメトリクスの詳細については、「[ダッシュボードメトリクス](#)」および「[CloudWatch アラームの作成](#)」を参照してください。

保護メトリクスを表示する方法

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択します。
3. [保護設定] ページで、保護設定を選択し、[モニタリング] タブを選択します。
4. グラフには、SMS トラフィック全体の実際のメッセージブロックと推奨ブロックが表示されます。数、割合、国別にデータを確認します。Recommended-to-block データは、モニタリングルールまたはフィルタールールが有効になっている国にのみ表示されます。日付と時刻のコントロールを使用して、日付範囲とタイムゾーンを変更します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で保護メトリクスを処理する方法

保護メトリクスセクションには、ブロックされたメッセージと送信先の国に関する情報が表示されます。これらのグラフとメトリクスを利用して、メッセージ配信の理解を深めることができます。

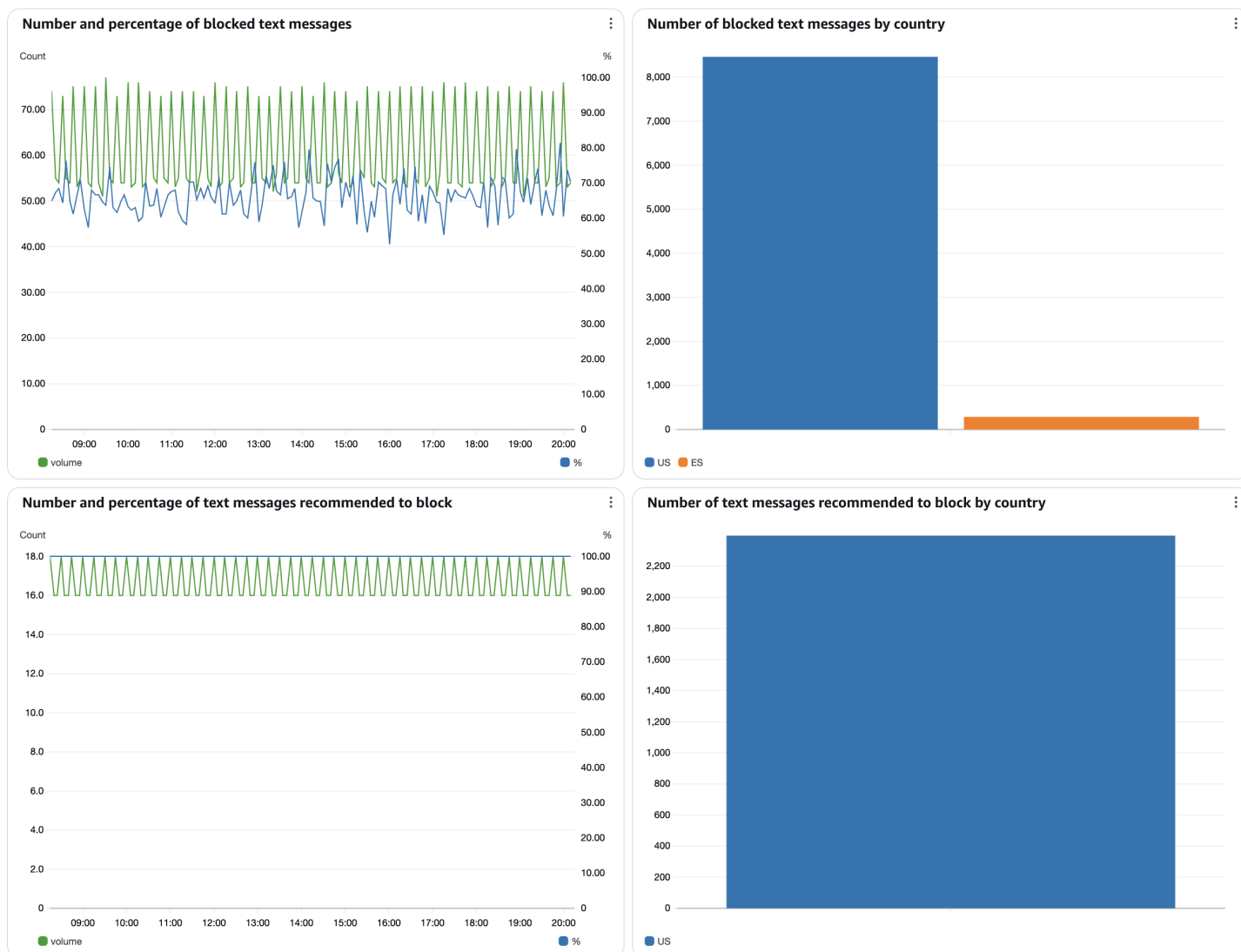
電話番号のオーバーライドルールは、ブロックされたメッセージのメトリクスに影響します。ある国へのすべてのメッセージをブロックし、電話番号のオーバーライドルールを追加した場合、オーバーライドルールを使用する電話番号に送信されたメッセージはブロックされず、グラフは変更されません。例えば、ブロックされている国に 100 通のメッセージを送信した場合、1 通のメッセージが上書きされた電話番号宛ての場合、ブロックされたメッセージグラフには、その国宛てでブロックされた 99 通のメッセージが表示されます。

特定のメトリクスの表示内容

[モニタリング] タブで、End User Messaging は、国ルール設定 (許可、ブロック、モニタリング、またはフィルタ) と電話番号ルールの上書きが、SMS 送信全体および特定の国をどのように制御しているかを理解するのに役立つ複数のグラフを提供します。含まれるグラフは次のとおりです。

- ブロックされたメッセージの数と割合 – 選択した期間にブロックされた SMS および MMS メッセージの数と割合が表示されます。これには、「block」または「filter」モードに設定されている国ルールによってブロックされたメッセージや、電話番号上書きルールによってブロックされたメッセージが含まれます。

- ブロックされたメッセージの数 (国別) – 選択した期間にブロックされた SMS および MMS メッセージの数を、送信先の国別に表示します。
- ブロックに推奨されるメッセージの数と割合 – AIT リスク検出モデルによってリスクがあると特定された SMS メッセージと MMS メッセージの数と割合を示します。これには、「モニタリング」モードと「フィルター」モードの両方のメッセージが含まれます。モニタリングモードでは、これらのメッセージは配信されますが、フラグが付けられます。フィルターモードでは、これらのメッセージはブロックされます。
- 国別にブロックすることが推奨されるメッセージの数 – AIT 検出モデルによってリスクがあると特定された SMS メッセージと MMS メッセージの数を、送信先の国別に分類して表示します。



異なる国のルールを使用する場合、SMS トラフィックは次の方法でメトリクスに表示されます。

- 許可するように設定された国の場合 – メッセージはブロックなしで自由にこれらの国に流れる必要があります。メトリクスにブロックされたメッセージが表示された場合は、上書きルールを使用して特定の電話番号がブロックされたことを示します。
- ブロックに設定する国の場合 – これらの国へのすべてのメッセージは、メトリクスにブロックとして表示されます。メッセージ配信が成功した場合、電話番号の許可上書きルールが特定の番号に対して設定されていることを意味します。
- モニタリング対象国の場合 – ブロックする必要があるメッセージのレコメンデーションが表示されますが、特定の電話番号ブロックルールを設定しない限り、実際のブロックは発生しません。メトリクスに表示されるブロックされたメッセージは、モニタリングモードよりも優先される電話番号上書きルールのみからのものです。
- フィルタリングする国の場合 – ブロックされたメッセージと recommended-to-block メトリクスが一致している必要があります。これらの番号が異なる場合は、電話番号上書きルールがアクティブであることを示します。上書きを許可すると、ブロックされたメッセージの数が減少し、ブロック上書きはレコメンデーションを超えてブロックされたメッセージを増やします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の電話番号オーバーライドルール

電話番号のオーバーライドルールを使用して、国モードをオーバーライドし、重要な電話番号を常に許可または常にブロックすることができます。例えば、従業員にのみメッセージを送信できるようにするアプリケーションがある場合、すべての国への送信をブロックし、従業員電話番号ごとに電話番号オーバーライドルールを追加できます。

さらに、カスタマーデータプラットフォーム (CDP)、コンタクトセンター、またはその他の内部ツールと統合して、顧客価値やサポートリクエストに基づいてオーバーライドを動的に適用できます。例えば、CDP で特定された価値の高い顧客は SMS メッセージの許可リストを受け取ったり、カスタマーサポートエージェントが SMS メッセージを受信しないことに苦情を訴えている顧客のオーバーライドを開始したりできます。電話番号のオーバーライドは、永続的または有効期限で設定できます。

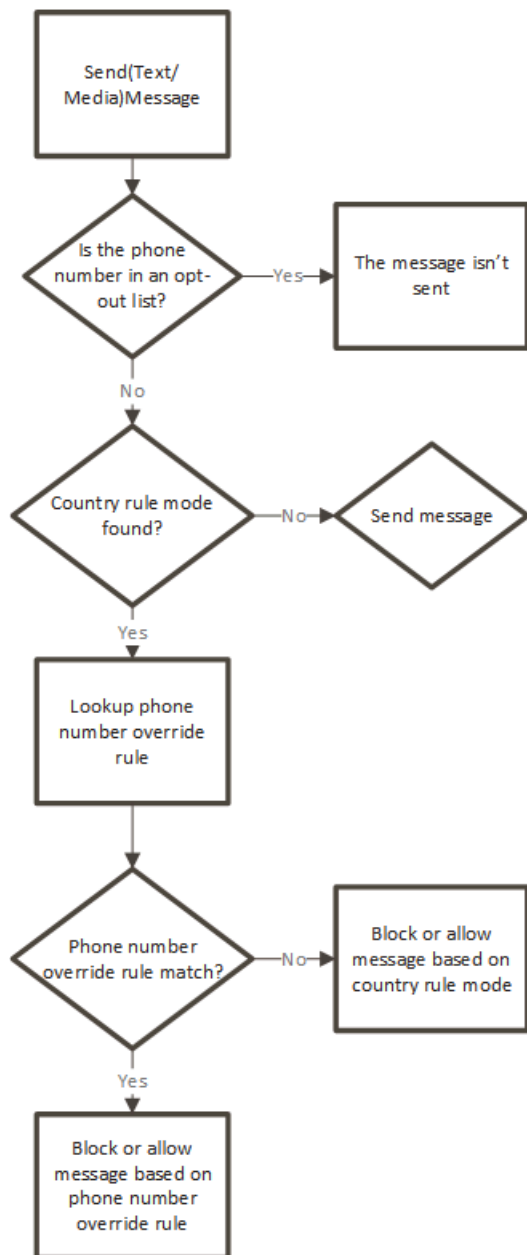
トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS での電話番号オーバーライドルールの処理方法](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号オーバーライドルールを作成する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号オーバーライドルールをクエリする](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号オーバーライドルールを編集する](#)

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号オーバーライドルールを削除する](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS での電話番号オーバーライドルールの処理方法

電話番号がオプトアウトリストに含まれている場合、許可するオーバーライドがあるかどうかにかかわらず、メッセージは送信されません。電話番号のオーバーライドは常に国ルールモードよりも優先されます。例えば、国ルールモードがブロックされ、電話番号オーバーライドルールが常に許可されている場合、電話番号への送信が許可されます。国ルールモードが許可されていて、電話番号オーバーライドルールが常にブロックされている場合、電話番号への送信は許可されません。



AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号オーバーライドルールを作成する

新しい電話番号オーバーライドルールを作成するには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API の [PutProtectConfigurationRuleSetNumberOverride](#) アクション、または の [put-protect-configuration-rule-set-number-override](#) コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールと を使用して電話番号オーバーライドルールを作成する方法を示します AWS CLI。

Create a phone number rule override (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して電話番号オーバーライドルールを作成するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択し、保護設定を選択して新しい電話番号オーバーライドルールを追加します。
3. [ルールオーバーライド] タブを選択し、[ルールオーバーライド] セクションで [オーバーライドを追加] を選択します。
4. [ルールオーバーライドの詳細] セクションで、次の操作を行います。
 - a. [送信先の電話番号] に、ルールを作成する電話番号を入力します。電話番号は「+」で始まる必要があり、スペース、ハイフン、かっこを含めることはできません。例えば、+1 (206) 555-0142 は正しい形式ではなく、+12065550142 が正しい形式です。
 - b. [オーバーライドタイプ] で、[常に許可] または [常にブロック] のいずれかを選択します。
 - c. [有効期限 – オプション] で、ルールが期限切れになる日付を選択するか、ルールが期限切れにならないように空白のままにします。
5. [ルールオーバーライドを追加] を選択します。

Create a phone number rule override (AWS CLI)

[put-protect-configuration-rule-set-number-override](#) AWS CLI コマンドを使用して、新しい電話番号ルールオーバーライドを作成できます。

Note

--expiration-timestamp が指定されていないため、このルールは期限切れになります。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-protect-configuration-rule-set-number-override  
--protect-configuration-id ProtectConfigurationID --destination-phone-  
number +12065550150 --action ACTION
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ProtectConfigurationID* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。
- *+12065550150* をルールを作成する電話番号に置き換えます。
- *ACTION* を *ALLOW* に置き換えて電話番号へのメッセージの送信を許可するか、*BLOCK* して電話番号へのメッセージの送信を許可しません。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号オーバーライドルールをクエリする

電話番号オーバーライドルールをクエリするには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API の [ListProtectConfigurationRuleSetNumberOverrides](#) アクション、またはの [list-protect-configuration-rule-set-number-overrides](#) コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールとを使用して電話番号オーバーライドルールをクエリする方法について説明します AWS CLI。

List phone number rule override (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して電話番号オーバーライドルールをクエリするには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択し、保護設定を選択します。
3. [ルールオーバーライド] タブを選択します。
4. [クエリルールオーバーライド] で、3 つの利用可能なフィールド [送信先の電話番号]、[オーバーライドタイプ]、[日付] をすべて組み合わせて、ルールを検索できます。
 - a. [送信先電話番号] の場合:
 - すべての電話番号 – 電話番号をフィルターで除外しないでください。
 - 番号検索 – フィルタリングするプレフィックスまたは完全な電話番号を入力します。
 - 国別 – フィルタリングする国を選択します。
 - b. [オーバーライドタイプ] の場合:
 - 常に許可 – 許可ルールのみを返します。

- 常にブロック — ブロックルールのみを返します。

c. [日付] の場合

- すべての日付 — 日付を除外しません。
- 最近追加 — 過去 24 時間に作成された電話番号オーバーライドルールを返します。
- 有効期限日より前 — 指定した日付より前に有効期限が切れた電話番号オーバーライドルールを返します。
- 有効期限 — 指定した日付に有効期限が切れる電話番号オーバーライドルールを返します。
- 有効期限日 — 指定した日付より後に期限切れになる電話番号オーバーライドルールを返します。

5. [クエリ] を選択します。

クエリに一致する電話番号オーバーライドルールは、[クエリ結果] セクションで返されます。セクションからルールを選択して、編集または削除できます。

List phone number rule override (AWS CLI)

[list-protect-configuration-rule-set-number-overrides](#) AWS CLI コマンドを使用して、保護設定内のすべての電話番号ルールオーバーライドを一覧表示できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 list-protect-configuration-rule-set-number-overrides --  
protect-configuration-id ProtectConfigurationID
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ProtectConfigurationID* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号オーバーライドルールを編集する

電話番号オーバーライドルールを編集するには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API の [PutProtectConfigurationRuleSetNumberOverride](#) アクション、または の [put-protect-configuration-rule-set-number-override](#) コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールと を使用して電話番号オーバーライドルールを作成する方

法を示します AWS CLI。一度に複数の電話番号オーバーライドルールを選択して、一括編集を行うことができます。

Edit a phone number rule override (Console)

AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して電話番号オーバーライドルールを編集するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択し、保護設定を選択します。
3. [ルールオーバーライド] タブを選択し、[ルールオーバーライド] セクションで変更する電話番号オーバーライドルールを選択します。[クエリ電話番号オーバーライドルール](#) を使用して、編集する特定のルールを検索できます。[編集] を選択します。
4. [送信先電話番号] セクションでは、すべての電話番号オーバーライドルールの詳細を表示できます。

[アクション] 列の [削除] を選択すると、電話番号のオーバーライドルールを編集対象から外すことができます。

5. [オーバーライドタイプ] で、[常に許可] または [常にブロック] のいずれかを選択します。
6. [有効期限 – オプション] で、ルールが期限切れになる日付を選択するか、ルールが期限切れにならないように空白のままにします。
7. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Edit a phone number rule override (AWS CLI)

[put-protect-configuration-rule-set-number-override](#) AWS CLI コマンドを使用して、新しい電話番号ルールの上書きを編集できます。

Note

--expiration-timestamp が指定されていないため、このルールは期限切れになります。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 put-protect-configuration-rule-set-number-override  
--protect-configuration-id ProtectConfigurationID --destination-phone-  
number +12065550150 --action ACTION
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ProtectConfigurationID* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。
- *+12065550150* をルールを作成する電話番号に置き換えます。
- *ACTION* を *ALLOW* に置き換えて電話番号へのメッセージの送信を許可するか、*BLOCK* して電話番号へのメッセージの送信を許可しません。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号オーバーライドルールを削除する

電話番号オーバーライドルールを削除するには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API の [DeleteProtectConfigurationRuleSetNumberOverride](#) アクション、または の [delete-protect-configuration-rule-set-number-override](#) コマンドを使用できます AWS CLI。このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールと を使用して電話番号オーバーライドルールを削除する方法を示します AWS CLI。

Delete a phone number rule override (Console)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して電話番号オーバーライドルールを削除するには、次の手順に従います。

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [保護] で、[保護設定] を選択し、保護設定を選択します。
3. [ルールオーバーライド] タブを選択し、[ルールオーバーライド] セクションで削除する電話番号オーバーライドルールを選択します。 [クエリ電話番号オーバーライドルール](#) を使用して、編集する特定のルールを検索できます。[削除] を選択します。
4. [ルールオーバーライドを削除] ウィンドウで、「**confirm**」と入力し、[削除] を選択します。

Delete a phone number rule override (AWS CLI)

delete [delete-protect-configuration-rule-set-number-override](#) AWS CLI コマンドを使用して、電話番号ルールのオーバーライドを削除できます。

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-protect-configuration-rule-set-number-override --protect-configuration-id ProtectConfigurationID --destination-phone-number +12065550150
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *ProtectConfigurationID* を保護設定の一意の識別子に置き換えます。
- *+12065550150* をルールを削除する電話番号に置き換えます。

AWS End User Messaging SMS のダッシュボードメトリクス

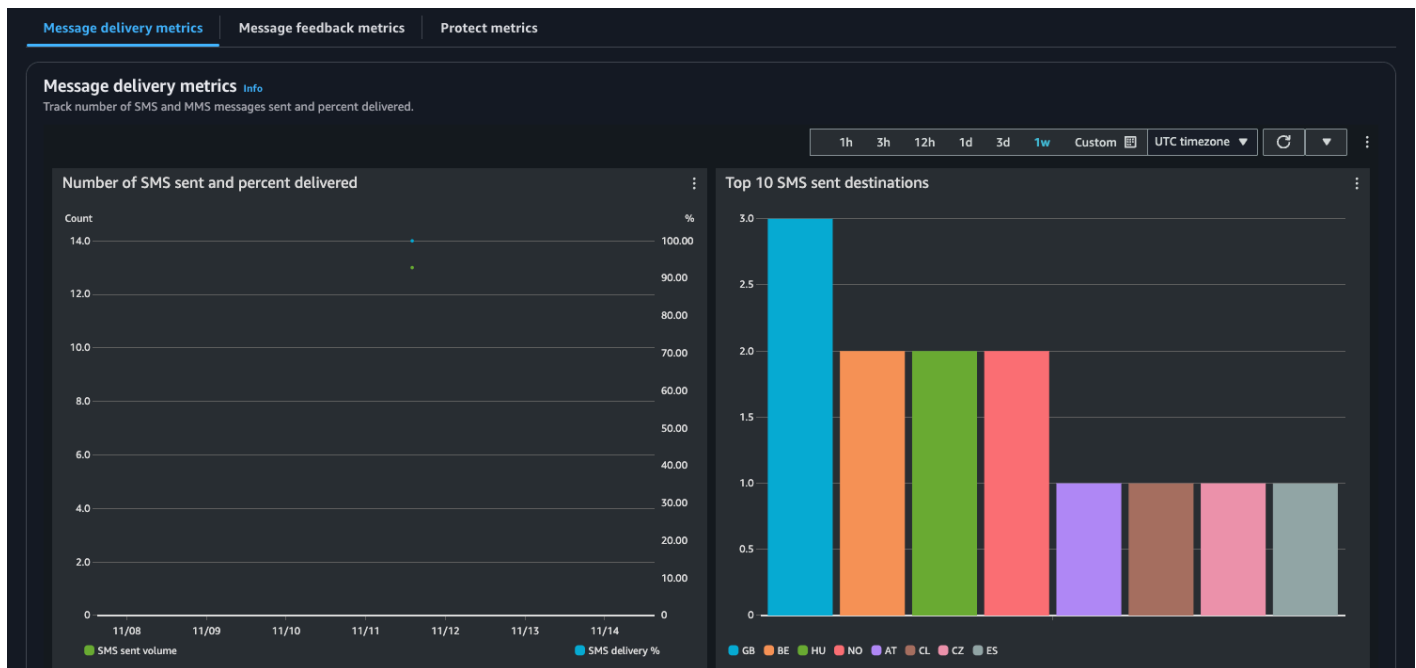
[ダッシュボード] ページには、メッセージ送信、メッセージフィードバック、Protect によって評価されたメッセージの概要を示す、グラフとメトリクスが複数含まれています。すべての CloudWatch メトリクスのリストについては、[CloudWatch メトリクス](#) を参照してください。アラームを設定する手順については、[CloudWatch アラームの作成](#) を参照してください。

アカウント概要メトリクス: 過去 30 日間のアクティビティです。

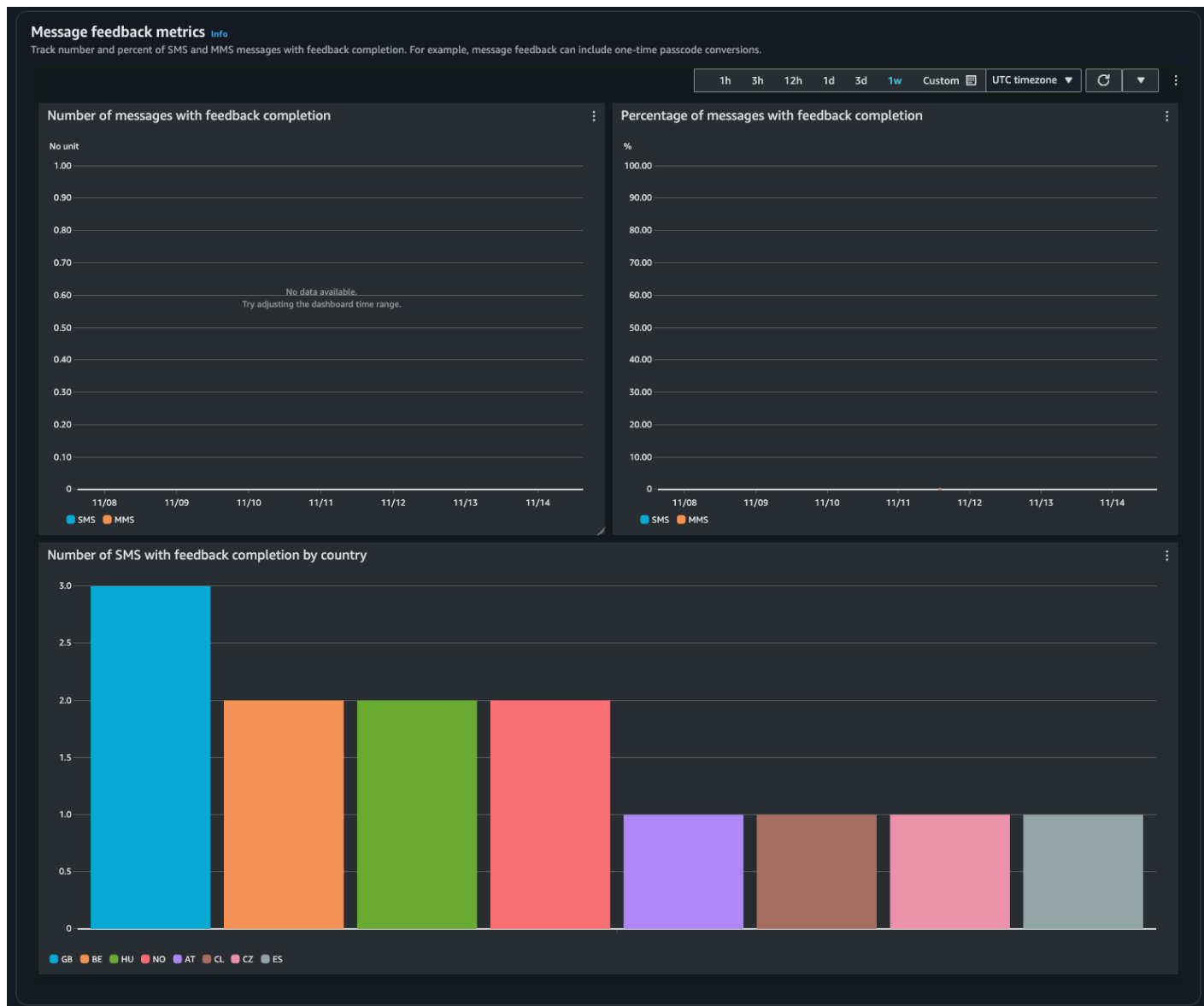
- 送信済みメッセージパート – 送信されたが、配信受信 (DLR) がまだキャリアから受信されていない[メッセージパート](#)の総数。
- 配信済みメッセージパート – 送信され[正常に DLR](#)を受信したメッセージパーツの総数。
- 受信済みフィードバック – [メッセージフィードバック](#)を受信したメッセージの総数。
- 保護付きで送信されたメッセージ – [保護設定](#)を使用して送信されたメッセージの総数。

メトリクスタブ

- メッセージ配信メトリクス – 送信済みのメッセージ数と送信先国上位 10 か国のメトリクス。
 - 送信された SMS メッセージの数と配信された割合 – 送信された SMS メッセージの数と配信されたメッセージの割合。
 - SMS 送信先上位 10 – 上位 10 か国に送信された SMS メッセージの数。
 - 送信された MMS の数と配信された割合 – 送信された MMS メッセージの数と配信されたメッセージの割合。
 - MMS 送信先上位 10 – 上位 10 か国に送信された MMS メッセージの数。



- メッセージフィードバックメトリクス – [メッセージフィードバック](#)を使用して送信されたメッセージのメトリクス。
- フィードバック完了付きメッセージの数 – [メッセージのフィードバックレコード](#)が RECEIVED に設定された SMS および MMS メッセージの数。
- フィードバック完了付きメッセージの割合 – メッセージのフィードバックレコードが RECEIVED に設定された SMS および MMS メッセージの割合。
- 国別のフィードバック完了付き SMS の数 – 国ごとの受信したメッセージフィードバック数。



- 保護メトリクス – ブロックされたメッセージに対する各保護設定のメトリクス。[詳細を表示] を選択して、保護設定のグラフを表示します。

メトリクスには、AWS End User Messaging SMS コンソール、CloudWatch コンソール、AWS CLI または CloudWatch API を使用してアクセスできます。AWS End User Messaging SMS メトリクスの CloudWatch アラームを設定することもできます。

AWS End User Messaging SMS Console

1. AWS End User Messaging SMS コンソール (<https://console.aws.amazon.com/sms-voice/>) を開きます。

2. ナビゲーションペインで、[ダッシュボード] を選択します。
3. [メッセージ配信]、[メッセージ変換]、[保護] のいずれかのタブを選択してメトリクスを表示します。

グラフの詳細については、情報アイコンにカーソルを合わせるか、[Amazon CloudWatch による AWS エンドユーザーメッセージング SMS のモニタリング](#) を参照してください。

- a. 時間範囲を変更するには、[時間範囲] ドロップダウンを使用して目的の時間範囲を選択します。
- b. グラフを選択すると、追加の統計情報が表示されます。
- c. [CloudWatch モニタリングの詳細] ダイアログボックスで、合計、平均、サンプル数などの統計を選択できます。サポートされている統計のリストについては、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS の CloudWatch メトリクス](#)」を参照してください。
- d. 追加の CloudWatch 機能にアクセスするには、[すべての CloudWatch メトリクスを表示] を選択し、[\[CloudWatch コンソール\]](#) タブの指示に従います。

CloudWatch Console

1. CloudWatch コンソールの <https://console.aws.amazon.com/cloudwatch/> を開いてください。
2. ナビゲーションペインで [Metrics (メトリクス)] を選択してください。
3. [すべてのメトリクス] タブで、AWS/SMSVoice 名前空間を選択します。
4. 使用可能なメトリクスディメンションのいずれかを選択します。
5. 次の基準でメトリクスの並べ替えやフィルタリングができるようになりました。
 - a. 列見出しでメトリクスを並べ替える
 - b. 隣にあるチェックボックスを選択してグラフを作成する
 - c. メトリクスをフィルタリングするには、メトリクス名を選択し、[検索に追加] を選択します。

詳細およびその他のオプションについては、「Amazon CloudWatch ユーザーガイドの [メトリクスをグラフ化](#) として [Amazon CloudWatch ダッシュボードの使用](#)」を参照してください。

AWS CLI

AWS CLI を使用して AWS End User Messaging SMS メトリクスにアクセスするには、`get-metric-statistics` コマンドを実行します。詳細については、Amazon CloudWatch ユーザーガイドの「[メトリクスの統計の取得](#)」を参照してください。

CloudWatch API

CloudWatch API を使用して AWS End User Messaging SMS メトリクスにアクセスするには、`GetMetricStatistics` アクションを使用します。詳細については、Amazon CloudWatch ユーザーガイドの「[メトリクスの統計の取得](#)」を参照してください。

AWS End User Messaging SMS を使用して SMS または音声メッセージを送信する例

AWS End User Messaging SMS API を使用して、アプリから直接メッセージを送信できます。トランザクションメッセージは、特定の受信者に送信するメッセージです。

このセクションには、[SMS メッセージ](#)と[音声メッセージ](#)の送信の両方のコード例が記載されています。

Important

共有リソースを使用するには、完全な Amazon リソースネーム (ARN) を使用する必要があります。

このセクションのトピック:

- [AWS End User Messaging SMS を使用した SMS メッセージの送信](#)
- [AWS End User Messaging SMS を使用した音声メッセージの送信](#)

AWS End User Messaging SMS を使用した SMS メッセージの送信

共有リソースを使用している場合は、リソースの完全な Amazon リソースネーム (ARN) を使用する必要があります。AWS SDK for Python (Boto3) で SMS メッセージを送信するには、次のコード例を使用できます。

```
import boto3
from botocore.exceptions import ClientError

def send_sms_message(sms_voice_v2_client, configuration_set, context_keys,
                    country_parameters, destination_number, dry_run, keyword,
                    max_price, message_body, message_type, origination_number,
                    ttl):
    try:
        response = sms_voice_v2_client.send_text_message(
            ConfigurationSetName=configuration_set,
```

```
        Context=context_keys,
        DestinationCountryParameters=country_parameters,
        DestinationPhoneNumber=destination_number,
        DryRun=dry_run,
        Keyword=keyword,
        MaxPrice=max_price,
        MessageBody=message_body,
        MessageType=message_type,
        OriginationIdentity=origination_number,
        TimeToLive=ttl
    )

except ClientError as e:
    print(e.response)
else:
    return response['MessageId']

def main():
    configuration_set = "MyConfigurationSet"
    context_keys = {"key1": "value1"}
    country_parameters = {
        "IN_TEMPLATE_ID": "TEMPLATE01234",
        "IN_ENTITY_ID": "ENTITY98765"
    }
    destination_number = "+14255550168"
    dry_run = False
    keyword = "MyKeyword"
    max_price = "2.00"
    message_body = ("This is a test message sent from AWS End User Messaging SMS "
                    "using the AWS SDK for Python (Boto3). ")
    message_type = "TRANSACTIONAL"
    origination_number = "+12065550183"
    ttl = 120

    print(
        f"Sending text message to {destination_number}.")

    message_id = send_sms_message(
        boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2'), configuration_set, context_keys,
        country_parameters, destination_number, dry_run, keyword, max_price,
        message_body, message_type, origination_number, ttl)

    print(f"Message sent!\nMessage ID: {message_id}")
```

```
if __name__ == '__main__':  
    main()
```

前述のコード例では、`main()` 関数で次の変更を加えています。

- `configuration_set` の値を、このメッセージの送信に使用する設定セットの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に変更します。
- `context_keys` の値を、このメッセージの送信時に使用するキーと値に変更します。これらのキーは、このメッセージに関連付けられたイベントレコードに表示されます。
- インドの顧客にメッセージを送信するために登録済みの送信者 ID を使用する場合は、送信者 ID の登録時に受け取った登録エンティティ ID およびテンプレート ID と一致するように `country_parameters` の値を変更します。

Important

インドの顧客にメッセージを送信するために登録済み送信者 ID を使用しない場合は、このパラメータを完全に省略します。省略する場合は、`send_sms_message` 関数の対応する行も削除する必要があります。

- `destination_number` の値を、メッセージの送信先の電話番号に変更します。
- メッセージを送信せずに、この操作を実行する場合は、`dry_run` の値を `True` に変更します。
- `max_price` の値を、このメッセージの各メッセージパートを送信するために使う最大金額 (USD) に変更します。1 つのメッセージパートに最大 140 バイトの情報を含めることができます。詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。
- `message_body` の値を、送信するメッセージを含むように変更します。メッセージの最大長は、メッセージに含まれる文字によって異なります。SMS の文字エンコーディングの詳細については、「[SMS 文字制限](#)」を参照してください。
- `message_type` の値を、適切なメッセージカテゴリを表すように変更します。有効な値は、`TRANSACTIONAL` (重要である、または時間的制約のあるメッセージの場合) と `PROMOTIONAL` (重要でない、または時間的制約のないメッセージの場合) です。
- `origination_number` の値を、メッセージの送信に使用する電話番号に変更します。電話番号は E.164 形式である必要があります。
- `ttl` の値を、AWS End User Messaging SMS がメッセージの配信を試みる時間 (秒数) に変更します。TTL 値は最大 259200 秒 (72 時間) に設定できます。

AWS End User Messaging SMS を使用した音声メッセージの送信

AWS SDK for Python (Boto3) で音声メッセージを送信するには、次のコード例を使用できます。

```
import boto3
from botocore.exceptions import ClientError

def send_voice_message(sms_voice_v2_client, configuration_set, context_keys,
                      destination_number, dry_run, max_price, message_body,
                      message_type, origination_number, ttl, voice_id):
    try:
        response = sms_voice_v2_client.send_voice_message(
            ConfigurationSetName=configuration_set,
            Context=context_keys,
            DestinationPhoneNumber=destination_number,
            DryRun=dry_run,
            MaxPricePerMinute=max_price,
            MessageBody=message_body,
            MessageBodyTextType=message_type,
            OriginationIdentity=origination_number,
            TimeToLive=ttl,
            VoiceId=voice_id
        )

    except ClientError as e:
        print(e.response)
    else:
        return response['MessageId']

def main():
    configuration_set = "MyConfigurationSet"
    context_keys = {"key1": "value1"}
    destination_number = "+12065550123"
    dry_run = False
    max_price = "2.00"
    message_body = (
        "<speak>"
        "This is a test message sent from <emphasis>AWS End User Messaging SMS</"
        "emphasis>"
        "using the <break strength='weak' /> AWS SDK for Python (Boto3). "
        "<amazon:effect phonation='soft'>Thank you for listening."
```



```
        "</amazon:effect>"
        "</speak>")
message_type = "SSML"
origination_number = "+18445550142"
ttl = 120
voice_id = "MATTHEW"

print(
    f"Sending voice message with AWS End User Messaging SMS from
{origination_number} to {destination_number}.")

message_id = send_voice_message(
    boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2'), configuration_set, context_keys,
    destination_number, dry_run, max_price, message_body, message_type,
    origination_number, ttl, voice_id)

print(f"Message sent!\nMessage ID: {message_id}")

if __name__ == '__main__':
    main()
```

前述のコード例では、main() 関数で次の変更を加えています。

- configuration_set の値を、このメッセージの送信に使用する設定セットの名前または Amazon リソースネーム (ARN) に変更します。
- context_keys の値を、このメッセージの送信時に使用するキーと値に変更します。これらのキーは、このメッセージに関連付けられたイベントレコードに表示されます。
- destination_number の値を、メッセージの送信先の電話番号に変更します。
- max_price の値を、このメッセージの送信に使う 1 分あたりの最大金額に変更します。
- message_body の値を、送信するメッセージを含むように変更します。メッセージの長さは最大 6,000 文字です。
- SSML 形式のスクリプトではなくプレーンテキスト形式のスクリプトを使用する場合は、message_type の値を TEXT に変更します。
- origination_number の値を、メッセージの送信に使用する電話番号に変更します。電話番号は E.164 形式である必要があります。
- メッセージを送信せずに、この操作を実行する場合は、dry_run の値を True に変更します。
- ttl の値を、AWS End User Messaging SMS がメッセージの配信を試みる時間 (秒数) に変更します。TTL 値は最大 259200 秒 (72 時間) に設定できます。

- MATTHEW を、メッセージの送信に使用する Amazon Polly 音声の名前に置き換えます。サポートされている音声の完全なリストについては、「SMS and Voice, version 2 API Reference」の「[SendVoiceMessage](#)」を参照してください。音声を指定しない場合、メッセージは「MATTHEW」音声を使用して送信されます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して MMS メッセージを送信する例

共有リソースを使用している場合は、リソースの完全な Amazon リソースネーム (ARN) を使用する必要があります。AWS CLI または AWS End User Messaging SMS および音声 v2 API を使用して、顧客に MMS メッセージを送信できます。

[send-media-message](#) AWS CLI コマンドを使用して MMS メッセージを送信します。の設定の詳細については AWS CLI、[AWS Command Line Interface ユーザーガイド](#)の「[AWS CLI の設定](#)」を参照してください。

Important

MMS 機能は、一部の国でのみ使用できます。SMS および MMS をサポートしている国の詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」および「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS での MMS メッセージングでサポートされている国とリージョン](#)」を参照してください。

発信元 ID が MMS 対応かどうかを確認するには、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で電話番号のステータスと機能を表示する](#)」を参照してください。

共有リソースを使用するには、完全な Amazon リソースネーム (ARN) を使用する必要があります。

前提条件

開始するには、以下の前提条件を満たす必要があります。

- [MMS メッセージの送信をサポートする](#) 発信元 ID が必要です。
- MMS 対応の送信元 ID AWS リージョン と同じ にある Amazon S3 バケットにメディアファイルをアップロードする必要があります。「」を参照してください[MMS ファイル用 Amazon S3 バケットのセットアップ](#)。

サポートファイルのタイプとサイズのリストは、「

[1 つの MMS メディアファイルのサイズは、すべての画像タイプ \(gif、jpeg、png\) で最大 2 MB、すべてのオーディオおよびビデオメディアファイルタイプでは最大 600 KB です。MMS の](#)

テキストメッセージ本文には、任意の文字セットから 1600 文字を含めることができます。SMS とは異なり、MMS メッセージは送信時に複数のパートに分割されません。大きなテキストメッセージを送信する場合、複数のパートに分割されないため、MMS メッセージを送信するスループットが向上する可能性があります。

グラフィックスインターチェンジフォーマット	image/gif	2 MB
ジョイントフォトグラフィックエクスパートグループ	image/jpeg	2 MB
ポータブルネットワークグラフィックス	image/png	2 MB
タグ付きイメージファイルフォーマット	image/tiff	600 KB
3GPP	audio/3gpp , video/3gp	600 KB
3GPP2	audio/3gpp2 , video/3gpp2	600 KB
適応マルチレート	audio/amr	600 KB
MPEG-4	audio/mp4 , video/mp4	600 KB
ムービングピクチャーエクスパートグループ	audio/mpeg	600 KB
	audio/mpeg では MP3 ファイルのみがサポートされています	
Ogg	audio/ogg	600 KB
QuickTime	video/quicktime	600 KB
WebM	video/webm	600 KB

iCalendar	text/calendar	600 KB
vCard	text/vcard , text/x-vcard	600 KB
ポータブルドキュメント形式	application/pdf	600 KB
ファイルタイプ	MIME タイプ	最大ファイルサイズ

」を参照してください。

- 各 MMS ファイルの S3 URI。
- send-media-message を呼び出すために使用される ID には、メディアファイルを含む Amazon S3 バケットへの読み取りアクセスが必要です。読み取りアクセスの設定の詳細は、[Amazon S3 ユーザーガイド](#)の「[Amazon S3 のアイデンティティベースのポリシー例](#)」を参照してください。

を使用して MMS を送信する AWS CLI

[send-media-message](#) に必要なパラメータは destination-phone-number と origination-identity のみです。media-urls パラメータを省略することにより、テキストのみのメッセージを送信できます。message-body パラメータを省略することにより、メディアファイルのみのメッセージを送信することもできます。

MMS メッセージを送信するには

- コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 --region 'us-east-1' send-media-message --destination-phone-number +12065550150 --origination-identity +14255550120 --message-body 'text body' --media-urls 's3://s3-bucket/media_file.jpg'
```

上のコマンドに、以下の変更を加えます。

- *us-east-1* を、発信元 ID が保存され AWS リージョン ている に置き換えます。
- *+12065550150* を送信先電話番号に置き換えます。
- *+14255550120* を発信元 ID に置き換えます。発信元 ID は ACTIVE で、送信先電話番号に送信できる必要があります。

- `text body` をテキストメッセージに置き換えます。
- `s3://s3-bucket/media_file.jpg` を MMS ファイルの S3 URI に置き換えます。サポートされているメディアファイル形式は、「[MMS ファイルの種類、サイズ、文字数の制限](#)」に記載されています。S3 バケットの作成とオブジェクトの管理の詳細については、[MMS ファイル用 Amazon S3 バケットのセットアップ](#) または [Amazon S3 ユーザーガイド](#) の「[バケットの作成](#)」および「[オブジェクトのアップロード](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS が コマンドを受け入れると、 を受け取ります MessageID。これは、コマンドが正常に受信されただけで、送信先デバイスがメッセージを受信したわけではありません。エラーコードのリストは、「[SendMediaMessage エラー](#)」を参照してください。

```
{
  "MessageId": "string"
}
```

MMS ファイル用 Amazon S3 バケットのセットアップ

MMS ファイルは Amazon S3 バケットに保存する必要があります。Amazon S3 バケットは、MMS 対応の送信元 ID AWS リージョンと同じ AWS アカウント および する必要があります。ここでは、Amazon S3 バケットの作成方法、ファイルのアップロード方法、および URI をファイルに構築する方法を説明しています。Amazon S3 コマンドの詳細は、「[AWS CLI で高レベル \(s3\) コマンドを使用する](#)」を参照してください。の設定の詳細については AWS CLI、[AWS Command Line Interface ユーザーガイド](#) の「[AWS CLI の設定](#)」を参照してください。

Amazon S3 バケットを作成するには、[create-bucket](#) AWS CLI コマンドを使用します。コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws s3api create-bucket --region 'us-east-1' --bucket BucketName
```

上記のコマンドでは:

- `us-east-1` を、MMS 対応の送信元 ID が存在する に置き換え AWS リージョン ます。
- `BucketName` を新しいバケット名に置き換えます。

Amazon S3 バケットにファイルをコピーするには、[cp](#) AWS CLI コマンドを使用します。コマンドラインで以下のコマンドを入力します。

```
aws s3 cp SourceFilePathAndName s3://BucketName/FileName
```

上記のコマンドでは:

- *SourceFilePathAndName* をコピーするファイルパスと名前に置き換えます。
- *BucketName* をバケット名に置き換えます。
- *FileName* をファイルに使用する名前に置き換えます。

送信時に使用する URI は次のとおりです。

```
s3://BucketName/FileName
```

AWS エンドユーザーメッセージング通知とは

AWS エンドユーザーメッセージング通知は、AWSマネージド ID と事前承認されたテンプレートを
使用して SMS および音声メッセージを送信できるテンプレートメッセージング機能です。Notify を
使用すると、電話番号のプロビジョニング、送信者 IDs の管理、キャリア登録プロセスのナビゲー
ションを行うことなく、コード検証メッセージを数分で送信できます。

Note

Notify は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS の機能であり、`pinpoint-sms-voice-v2` API 名前空間を使用します。AWS エンドユーザーメッセージング SMS の一般
的な情報については、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS と
は](#)。

主な利点

Notify は、電話番号のプロビジョニングやキャリア登録の待機時間なしで、インスタントメッセージ
アクセスを提供します。 は、ユーザーに代わって電話番号プール、送信者 IDs、キャリア統合 AWS
を管理します。事前承認されたコード検証テンプレートには、多言語サポートが組み込まれていま
す。必須の SMS Protect 統合は、人為的に拡張されたトラフィック (AIT) と SMS ポンプ攻撃をフィル
タリングします。設定 ID、送信先番号、テンプレート変数を使用して、単一の API コールでメッ
セージを送信できます。

Notify の仕組み

Notify を使用してメッセージを送信するには、(1) ブランドの表示名、ユースケース、チャンネルを
使用して Notify 設定を作成します。 はアカウント AWS を自動的に検証し、不正保護を設定し、
テンプレートを割り当て、階層に適した制限を設定します。(2) を使用して事前承認されたテンプ
レートを参照 `DescribeNotifyTemplates` し、階層、チャンネル、言語のテンプレートを検索しま
す。(3) 設定 ID、送信先電話番号、テンプレート変数 `SendNotifyVoiceMessage` を使用して、
`SendNotifyTextMessage` または を使用してメッセージを送信します。 は適切な ID AWS を選択
し、テンプレートを解決して、メッセージを配信します。(4) 設定したイベント送信先を通じて、配
信の受信とステータスの更新を受け取ります。(5) オプションで `PutMessageFeedback` を呼び出し
て、エンドユーザーが検証コードを正常に受信して使用したかどうかを報告します。

Note

Notify でメッセージを送信する前に、モバイルキャリアの条件、プライバシー、オプトインの前提条件を満たしていることを確認してください。詳細については、「[モバイルキャリアの前提条件を通知する](#)」を参照してください。

通知と標準 SMS 送信

OTP または検証コードを送信する必要がある、ID、ルーティング、コンプライアンス AWS を管理する場合は、Notify を使用します。カスタムメッセージ本文 SendTextMessage、マーケティングまたはプロモーションメッセージ、MMS メッセージング、または各メッセージを送信する発信元 ID の完全な制御が必要な場合は、標準の AWS エンドユーザーメッセージング SMS 送信 (、SendVoiceMessage) を使用します。

通知と標準 SMS 送信

機能	標準 SMS	通知
電話番号のプロビジョニング	必須	不要
番号登録	顧客の責任	AWS マネージド
最初のメッセージまでの時間	日数から数週間	分
メッセージテンプレート	カスタマー マネージド	事前承認、AWS 管理
不正防止	オプションです。	必須
ID 管理	カスタマー マネージド	AWS マネージド
ルーティングロジック	カスタマー マネージド	AWS 管理

主要なコンセプト

通知設定は、表示名、ユースケース、有効なチャネル、有効な国、階層など、ブランドアイデンティティとメッセージング設定を表す主要なリソースです。Notify には 2 つのサービス階層があります。基本階層は保守的な制限で即時アクセスを提供し、アドバンスド階層はブランド検証後により高い制限とプレミアム ID をロック解除します。テンプレートは、多言語サポートと型付き変数置換によるコード検証用に事前に承認されたメッセージテンプレートです。Notify は SMS チャネルと VOICE

チャンネルをサポートします。AWSが管理する ID は、複数のリージョン AWS にわたって が管理する電話番号の共有プールであり、Notify は送信先の国とチャンネルに基づいて自動的に選択します。各通知設定には、国レベルの制限と人為的に拡張されたトラフィックフィルタリングを適用するサービス管理の Protect 設定があり、お客様が管理 AWS し、変更することはできません。

Notify へのアクセス

Notify は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS CLI、または AWS SDKs から使用できます。コンソールへのアクセスの詳細については、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS へのアクセス](#)。

料金

通知料金には、メッセージごとの通知サービス料金と、送信先の国に基づく標準の SMS または音声転送料金が含まれます。料金の詳細については、[AWS 「エンドユーザーメッセージングの料金」](#)を参照してください。

リージョン別の可用性

通知は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS AWS リージョン と同じで使用できます。サポートされているリージョンのリストについては「[リージョン別の可用性](#)」を参照してください。

トピック

- [Notify の開始方法](#)
- [通知設定の管理](#)
- [Notify テンプレートの使用](#)
- [階層の通知](#)
- [Notify を使用したメッセージの送信](#)
- [Notify での専用番号の使用](#)
- [サポートされている国を通知する](#)
- [支出制限を通知する](#)
- [通知クォータと制限](#)
- [モバイルキャリアの前提条件を通知する](#)

Notify の開始方法

このチュートリアルでは、Notify 設定を作成し、最初の OTP メッセージを送信する手順を説明します。このチュートリアルは約 5 分で完了できます。

前提条件

- AWS アカウント。
- AWS エンドユーザーメッセージング SMS オペレーションの IAM アクセス許可。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS の ID とアクセスの管理](#)」を参照してください。

次の IAM ポリシーは、メッセージを送信してテンプレートを参照するアクセス許可を付与します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "sms-voice:SendNotifyTextMessage",
        "sms-voice:SendNotifyVoiceMessage",
        "sms-voice:DescribeNotifyTemplates",
        "sms-voice:DescribeNotifyConfigurations",
        "sms-voice:ListNotifyCountries",
        "sms-voice:PutMessageFeedback"
      ],
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

次のポリシーは、完全な通知管理アクセス許可を付与します。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "sms-voice:CreateNotifyConfiguration",
```

```

        "sms-voice:UpdateNotifyConfiguration",
        "sms-voice:DeleteNotifyConfiguration",
        "sms-voice:DescribeNotifyConfigurations",
        "sms-voice:DescribeNotifyTemplates",
        "sms-voice:ListNotifyCountries",
        "sms-voice:SendNotifyTextMessage",
        "sms-voice:SendNotifyVoiceMessage",
        "sms-voice:SetNotifyMessageSpendLimitOverride",
        "sms-voice:DeleteNotifyMessageSpendLimitOverride",
        "sms-voice:PutMessageFeedback"
    ],
    "Resource": "*"
}
]
}
```

アクセス許可を特定の通知設定に制限するには、リソースレベルのアクション (SendNotifyTextMessage、SendNotifyVoiceMessage、UpdateNotifyConfiguration、など) DescribeNotifyConfigurations CreateNotifyConfiguration の設定 ARN を使用します DeleteNotifyConfiguration。リソースレベルのアクセス許可 (DescribeNotifyTemplates、ListNotifyCountries、SetNotifyMessageSpendLimitOverride など PutMessageFeedback) をサポートしないアクションには DeleteNotifyMessageSpendLimitOverride、が必要です "Resource": "*"。

ステップ 1: 通知設定を作成する

Console

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの「通知」で、「通知設定」を選択します。
3. Create Notify 設定を選択します。
4. 表示名に、ブランド名を入力します (例: AcmeCorp)。
5. ユースケースでは、コード検証が自動的に選択されます。
6. チャンネルで、SMS、VOICE、またはその両方を選択します。
7. (オプション) 詳細設定を展開して、国、デフォルトのテンプレート、関連付けられたプールを選択するか、削除保護を有効にします。
8. Create Notify 設定を選択します。

設定は、システムがアカウントを検証している間、保留中のステータスで作成されます。検証されると、ステータスはアクティブに変わり、メッセージの送信を開始できます。

 Note

設定の作成には、自動アカウント検証とブランド名チェックが含まれます。ほとんどの設定は数秒以内にアクティブ化されます。ブランド名に検証が必要な場合、ステータスは検証が必要です。

AWS CLI

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-notify-configuration \  
  --display-name "AcmeCorp" \  
  --use-case CODE_VERIFICATION \  
  --enabled-channels SMS
```

設定ステータス:

保留中

設定は検証中です。

アクティブ

メッセージを送信する準備ができました。

REQUIRES_VERIFICATION

ブランド名には、アクティベーション前に検証が必要です。

拒否

設定が拒否されました。詳細については、RejectionReason「」を参照してください。

ステップ 2: 使用可能なテンプレートを参照する

送信する前に、階層とチャネルで利用できるテンプレートを確認してください。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-notify-templates \  
  --display-name "AcmeCorp" \  
  --use-case CODE_VERIFICATION \  
  --enabled-channels SMS
```

```
--filters '[{"Name":"channels","Values":["SMS"]},{ "Name":"tier-access","Values":["BASIC"]}']'
```

ステップ 3: テストメッセージを送信する

Console

1. 設定の通知リストで、設定を選択します。
2. [テスト] タブを選択します。
3. テンプレートテーブルからテンプレートを選択します。
4. 送信先の電話番号には、E.164 形式で電話番号を入力します (例: +12065550100)。
5. テンプレート変数を入力します (たとえば、コード変数123456に を入力します)。
6. [送信] を選択します。

AWS CLI

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 send-notify-text-message \
  --notify-configuration-id "nc-1234567890abcdef0" \
  --destination-phone-number "+12065550100" \
  --template-id "notify-code-verification-english-001" \
  --template-variables '{"code":"123456"}'
```

Python (boto3)

```
import boto3

client = boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2')

response = client.send_notify_text_message(
    NotifyConfigurationId='nc-1234567890abcdef0',
    DestinationPhoneNumber='+12065550100',
    TemplateId='notify-code-verification-english-001',
    TemplateVariables={
        'code': '123456'
    }
)

print(f"Message ID: {response['MessageId']}")
print(f"Resolved body: {response['ResolvedMessageBody']}")
```

ステップ 4: 利用可能な国を確認する

を使用して ListNotifyCountries、階層とチャネルで利用可能な国を確認します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 list-notify-countries \  
  --channels SMS \  
  --tier BASIC
```

次の手順

- [通知設定の管理](#) – すべての設定オプションについて説明します。
- [Notify テンプレートの使用](#) – 使用可能なテンプレートを参照して理解します。
- [階層の通知](#) – 階層と Advanced にアップグレードする方法について説明します。
- [支出制限を通知する](#) – 通知の使用制限を管理します。

通知設定の管理

Notify 設定は、Notify の中央リソースです。表示名、ユースケース、有効なチャネル、有効な国、デフォルトのテンプレートや関連する電話プールなどのオプション設定を定義します。

設定プロパティ

Display name (表示名)

ブランドを識別する名前。英数字、アンダースコア、ハイフン、スペースを使用できます。最大 15 文字。表示名を送信すると、冒涇、URLs、その他の許可されていないコンテンツが自動的に確認されます。「[表示名の確認](#)」を参照してください。

ユースケース

メッセージングのユースケース。現在、CODE_VERIFICATION がサポートされています。

有効なチャネル

送信に使用できるチャネル: SMS、VOICE、またはその両方。

有効な国

メッセージを送信できる国。利用可能な国は、階層によって異なります。「[サポートされている国を通知する](#)」を参照してください。

デフォルトのテンプレート

(オプション) テンプレート ID を指定せずにメッセージを送信するときに使用されるテンプレート。

関連付けられたプール

(オプション) 独自の発信元 ID を含む電話プール。「[Notify での専用番号の使用](#)」を参照してください。

Tier

BASIC (デフォルト) または ADVANCED。「[アドバンスド階層へのアップグレード](#)」を参照してください。

ステータス

現在のステータス: PENDING、ACTIVE、REJECTED、または REQUIRES_VERIFICATION。ステータスが の場合にのみメッセージを送信できますACTIVE。

削除保護

有効にすると、削除保護が無効になるまで設定を削除できません。

タグ

設定を整理および追跡するためのキーと値のペア。設定ごとに最大 50 タグ。

表示名の確認

Notify 設定を作成すると、表示名で冒涇、URLs、その他の許可されていないコンテンツが自動的にレビューされます。このレビューでは、AWS AI サービスである [Amazon Bedrock](#) を使用して、送信された表示名を評価します。

表示名が拒否された場合、設定ステータスは に設定REJECTEDされ、RejectionReasonフィールドに詳細が表示されます。拒否が誤って行われたと思われる場合は、[AWS サポートセンター](#)でサポートケースを作成して、決定を申し立てることができます。

別の組織が所有する表示名の使用

別の組織に代わってメッセージを送信し、そのブランド名を表示名として使用する場合は、ブランド所有者からの認可書 (LOA) を指定する必要があります。[ブランド検証 LOA テンプレート](#)をダウン

ロードし、ブランド所有者が完了して署名し、サポートケースまたは登録にアタッチします。LOA の日付は過去 30 日以内である必要があります。

AI 支援レビューのオプトアウト

AI アシストレビューで表示名を評価しない場合は、AWS サポートセンターでサポートケースを作成し、代わりに通知設定を手動で作成するようにリクエストできます。

通知設定の作成

Console

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの「通知」で、「通知設定」を選択します。
3. Create Notify 設定を選択します。
4. 表示名に、ブランドの名前を入力します。
5. ユースケースで、CODE_VERIFICATION を選択します。
6. 有効にするチャネル (SMS、VOICE、またはその両方) を選択します。
7. (オプション) 詳細設定を展開して、国、デフォルトのテンプレート、関連付けられたプールを選択するか、削除保護を有効にします。
8. (オプション) タグを展開してタグを追加します。
9. Create Notify 設定を選択します。

AWS CLI

create-notify-configuration コマンドを使用します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-notify-configuration \
  --display-name "MyBrand" \
  --use-case CODE_VERIFICATION \
  --enabled-channels SMS VOICE \
  --enabled-countries US CA GB \
  --tags Key=Environment,Value=Production
```

通知設定の表示

Console

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの「通知」で、「通知設定」を選択します。
3. プロパティフィルターを使用して、表示名、ステータス、階層、またはその他のプロパティでフィルタリングします。
4. 詳細を表示するには、設定の表示名を選択します。

AWS CLI

すべての設定を一覧表示します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-notify-configurations
```

特定の設定を記述します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-notify-configurations \
  --notify-configuration-ids nc-1234567890abcdef0
```

ステータスでフィルタリング:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-notify-configurations \
  --filters Name=status,Values=ACTIVE
```

Notify 設定の更新

有効なチャネル、有効な国、デフォルトのテンプレート、関連付けられたプール、削除保護設定を更新できます。

Console

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. 更新する通知設定に移動します。

3. 編集を選択してチャンネルを更新するか、個々のタブ (国、テンプレート、専用番号の使用、削除保護) を使用して特定の設定を更新します。
4. 変更を行ってから、[保存] を選択します。

AWS CLI

有効な国を更新する:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-notify-configuration \  
  --notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
  --enabled-countries US CA GB DE FR
```

デフォルトのテンプレートを設定します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-notify-configuration \  
  --notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
  --default-template-id notify-code-verification-english-001
```

デフォルトのテンプレートをクリアします。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-notify-configuration \  
  --notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
  --default-template-id UNSET_DEFAULT_TEMPLATE
```

プールを関連付ける:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-notify-configuration \  
  --notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
  --pool-id pool-1234567890abcdef0
```

プールの関連付けを解除します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-notify-configuration \  
  --notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
  --pool-id UNSET_DEFAULT_POOL_FOR_NOTIFY
```

削除保護を有効にします。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-notify-configuration \  
  --delete-protection-enabled
```

```
--notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
--deletion-protection-enabled
```

通知設定の削除

Note

削除保護が有効になっている場合は、設定を削除する前に無効にする必要があります。

Console

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. 設定の通知に移動します。
3. 削除する設定を選択します。
4. [削除] を選択します。
5. delete 確認フィールドに入力し、削除を選択します。

AWS CLI

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-notify-configuration \  
--notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0
```

Notify テンプレートの使用

通知テンプレートは、OTP および検証メッセージを送信するための事前承認済みの AWS マネージドメッセージテンプレートです。テンプレートは、サポートされている国全体で事前に検証されています。使用可能なテンプレートから選択できますが、作成または変更することはできません。

テンプレートプロパティ

[テンプレート ID]

テンプレートの一意的識別子。

テンプレートのタイプ

ユースケースカテゴリ。現在、CODE_VERIFICATION が利用可能です。

チャンネル

テンプレートがサポートするチャネル: SMS、VOICE、またはその両方。

言語コード

テンプレートコンテンツの言語 (、 、 など enesfr)。

サポートされている国

このテンプレートを使用できる国。

階層アクセス

このテンプレートを使用できる階層 (BASIC、ADVANCED、またはその両方)。

[変数]

送信時に値を指定するテンプレートコンテンツのプレースホルダー。各変数には、名前、型、制約があります。のソースを持つ変数は、ユーザーが指定CUSTOMERする必要があります。のソースを持つ変数は自動的にSYSTEM入力されます。

コンテンツ

{{variable}} プレースホルダーを含むメッセージ本文。

テンプレートの表示

Console

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. Notify 設定に移動し、Templates タブを選択します。
3. すべてのテンプレートセクションには、使用可能なすべてのテンプレートが表示されます。プロパティフィルターを使用して、サポートされている国、言語コード、またはその他のプロパティでフィルタリングします。

AWS CLI

すべてのテンプレートを一覧表示します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-notify-templates
```

テンプレートタイプでフィルタリング:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-notify-templates \  
  --filters Name=template-type,Values=CODE_VERIFICATION
```

チャンネルでフィルタリングする:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-notify-templates \  
  --filters Name=channels,Values=SMS
```

国によるフィルタリング:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-notify-templates \  
  --filters Name=supported-countries,Values=US
```

言語によるフィルタリング:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-notify-templates \  
  --filters Name=language-code,Values=en
```

テンプレート変数

テンプレート変数は、メッセージコンテンツのプレースホルダーであり、メッセージを送信するときに指定した値に置き換えられます。各変数には次のメタデータがあります。

- **Type** – 論理データ型: `STRING`、`INTEGER`、または `BOOLEAN`。タイプに関係なく、すべての値は API で文字列として渡されます。たとえば、整数値を `42` として渡すのではなく、`"42"` として渡します。ブール値を `true` として渡すのではなく、`"true"` として渡します。
- **必須** – 変数を指定する必要があるかどうか。デフォルト値のない必須変数は、省略するとエラーが発生します。
- **ソース** – `CUSTOMER` (値を指定) または `SYSTEM` (自動入力)。
- **制約** – 最大長、最小値/最大値、正規表現パターンなどの検証ルール。

デフォルトテンプレートの設定

Notify 設定でデフォルトのテンプレートを設定できます。テンプレート ID を指定せずにメッセージを送信すると、デフォルトのテンプレートが使用されます。デフォルトのテンプレートが設定されておらず、送信リクエストにテンプレート ID が指定されていない場合、リクエストは失敗します。

デフォルトのテンプレートを設定または変更するには、「」を参照してください[通知設定の管理](#)。

階層の通知

Notify は、機能と制限が異なる 2 つのサービス層を提供します。すべての新しい設定は、基本階層で開始されます。階層アップグレードの検証が完了したら、アドバンスド階層にアップグレードできます。

基本層

基本階層は、使用開始と少量のユースケース用に設計された保守的な制限で、Notify への即時アクセスを提供します。

基本的な階層機能

機能	基本層
アクセス	設定の作成直後
日次メッセージの制限	200 メッセージ
トランザクション/秒 (TPS)	1 TPS
サポートされている国	事前に承認された 30 の低リスク国
ID タイプ	ロングコード、通話料無料、送信者 IDs
SMS 保護	必須 (無効にすることはできません)
国設定	修正済み (事前承認リストのみ)
デフォルトの支出制限	「 支出制限を通知する 」を参照してください。
顧客所有の ID サポート	はい (オプションのプールの関連付け)

アドバンスト階層

アドバンスト階層は、階層アップグレードの検証後に、より高い制限、プレミアム ID、および設定可能な国ルールをロック解除します。

高度な階層機能

機能	アドバンスト階層
アクセス	階層アップグレードの検証後
日次メッセージの制限	無制限
トランザクション/秒 (TPS)	25
サポートされている国	サポートされているすべての国
ID タイプ	ショートコード、ロングコード、通話料無料、送信者 IDs
SMS 保護	必須
国設定	設定可能な許可/ブロックルール
デフォルトの支出制限	「 支出制限を通知する 」を参照してください。
顧客所有の ID サポート	はい (オプションのプールの関連付け)

アドバンスト階層へのアップグレード

Basic 階層から Advanced 階層にアップグレードするには、正当なエンドユーザー同意メカニズムが整っていることを証明して、階層のアップグレードの検証を完了する必要があります。

提供する必要があるもの

オプトイン方法

エンドユーザーから同意を収集する方法を選択します。

- 口頭 – 電話による同意の収集 (カスタマーサービスへの電話や IVR の確認など)。

- デジタルフォーム – デジタルインタラクションを通じて収集された同意 (ウェブサインアップフォーム、モバイルアプリアカウントの作成、チェックアウトチェックボックス、利用規約の承諾など)。

オプトインの証明

同意収集プロセスの証拠を提供します。

- 口頭によるオプトインの場合: 同意が得られた場所を示すスクリプトまたは IVR フローを呼び出します。
- デジタルオプトインの場合: ユーザーが同意するフォームまたはページのスクリーンショットまたは URL。

ビジネスドキュメント

ビジネスとユースケースに関する情報を提供します。

Important

オプトインプロセスには、利用規約とプライバシーポリシーページへのリンクが含まれている必要があります。必要な言語と例については、「」を参照してください [モバイルキャリアの前提条件を通知する](#)。

オプトインの例

言語オプトイン (IVR またはカスタマーサービスコール)

「本人確認のため、1 回限りの検証コードを携帯電話に送信します。電話番号を指定することで、この自動テキストメッセージを受信することに同意したものとみなされます。メッセージ料金とデータ料金が適用される場合があります。メッセージの頻度はさまざまです。ヘルプが必要な場合は HELP を、キャンセルする場合は STOP を返信してください。この検証コードを受け取ることに同意しますか？」

デジタルフォームオプトイン (ウェブまたはモバイルアプリ)

「電話番号を入力して「コードの送信」をクリックすると、指定された番号で [ブランド] から自動 1 回限りの検証コードを受け取ることに同意します。メッセージ料金とデータ料金が適用される場合があります。メッセージの頻度はさまざまです。ヘルプが必要な場合は HELP、キャンセルの場合は STOP と返信してください。利用規約 | プライバシーポリシー”

Note

これらの例は、情報メッセージングの CTIA メッセージング原則とベストプラクティスに従います。OTP 検証コードは、ユーザーがリクエストを開始するため、情報 (プロモーションではない) と見なされます。STOP/HELP の開示は、単一のトランザクションメッセージでは技術的にはオプションですが、特に米国のショートコードを使用する場合は、通信事業者のコンプライアンスのためにそれらを含むことをお勧めします。

アップグレードをリクエストする方法

Console

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、設定の通知を選択します。
3. 設定を選択し、階層アップグレードタブを選択します。
4. 詳細にアップグレードを選択します。
5. オプトイン方法と証明を使用して、ブランド検証フォームに入力します。
6. リクエストを送信します。

AWS CLI

階層アップグレードプロセスでは、既存の登録システムを使用します。

1. ブランド検証登録を作成します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 create-registration \  
  --registration-type MANAGED_ROUTES_BRAND_VERIFICATION
```

2. を使用して登録フィールドに入力します `put-registration-field-value`。
3. 登録を送信します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 submit-registration-version \  
  --registration-id reg-1234567890abcdef0
```

承認されると、Notify 設定階層が自動的にアップグレードされます。

レビュープロセス

アップグレードリクエストは、自動処理と人間によるレビューを組み合わせでレビューされます。レビューは、オプトインメカニズムが本物であること、エンドユーザーがメッセージの受信に明確に同意していること、ユースケースがコード検証メッセージングと一致していることを確認します。

ほとんどのリクエストは 3~5 営業日以内に処理されます。

アップグレードレビューの結果

結果	説明
APPROVED	設定がアドバンスド階層にアップグレードされます。
必要な詳細情報	追加のドキュメントが必要です。必要なものの詳細が表示されます。
拒否	リクエストが検証要件を満たしていません。更新された情報を使用して再送信できます。

アップグレードステータスの追跡

Notify 設定の TierUpgradeStatus フィールドには、現在のステータスが表示されます。

TierUpgradeStatus 値

ステータス	説明
BASIC	アップグレードはリクエストされていません。設定は基本階層にあります。
PENDING_UPGRADE	アップグレードリクエストが送信され、レビュー中です。
ADVANCED	アップグレードが承認されました。設定は Advanced 階層にあります。
REJECTED	アップグレードリクエストが拒否されました。修正された情報を使用して新しい登録を送信できます。

コンプライアンス上の責任

階層にかかわらず、以下の責任はお客様にあります。

- 同意の取得 – メッセージを送信する前に、受信者から適切な同意を取得します。コード検証の場合、これは通常、ユーザーが OTP をトリガーするアクションを開始したことを意味します (ログイン、アカウントの作成、パスワードのリセットなど)。
- 適用法の遵守 – 米国の電話消費者保護法 (TCPA)、欧州の GDPR、その他の適用可能な規制など、ユースケースと送信先の国の法的要件に従います。
- キャリアポリシーに従う – メッセージングに適用されるキャリアポリシーに準拠します。AWS は、キャリアポリシーの変更を通知するために合理的な努力をします。

詳細については、「[モバイルキャリアの前提条件を通知する](#)」を参照してください。

Notify を使用したメッセージの送信

Notify には、メッセージを送信するための 2 つの APIs。

- SendNotifyTextMessage – 事前承認されたテンプレートを使用して SMS メッセージを送信します。
- SendNotifyVoiceMessage – text-to-speech を使用してテンプレートコンテンツを読み取る音声通話を送信します。

SMS メッセージの送信

Console

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. 通知設定に移動し、テストタブを選択します。
3. チャネルで、テキストを選択します。
4. テンプレートテーブルからテンプレートを選択します。
5. E.164 形式で送信先の電話番号を入力します。
6. テンプレート変数を入力します。
7. [送信] を選択します。

AWS CLI

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 send-notify-text-message \  
  --notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
  --destination-phone-number +12065550100 \  
  --template-id notify-code-verification-english-001 \  
  --template-variables '{"code":"123456"}'
```

Python (boto3)

```
import boto3  
  
client = boto3.client('pinpoint-sms-voice-v2')  
  
response = client.send_notify_text_message(  
    NotifyConfigurationId='nc-1234567890abcdef0',  
    DestinationPhoneNumber='+12065550100',  
    TemplateId='notify-code-verification-english-001',  
    TemplateVariables={  
        'code': '123456'  
    }  
)  
  
print(f"Message sent. MessageId: {response['MessageId']}")  
print(f"Resolved body: {response.get('ResolvedMessageBody')}")
```

音声メッセージの送信

音声メッセージでは、Notify 設定でVOICEチャンネルを有効にする必要があります。

Tip

音声メッセージの場合、text-to-speechエンジンが 1 つの数字ではなく各数字を個別に読み取るように、数字をピリオドまたはスペース (など"1. 2. 3. 4. 5. 6.") で区切ります。

Console

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。

2. 通知設定に移動し、テストタブを選択します。
3. チャネルで、Voice を選択します。
4. テンプレートテーブルから音声テンプレートを選択します。
5. 送信先の電話番号を入力し、テンプレート変数を入力します。
6. [送信] を選択します。

AWS CLI

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 send-notify-voice-message \  
  --notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
  --destination-phone-number +12065550100 \  
  --template-id notify-code-verification-english-001 \  
  --template-variables '{"code":"123456"}' \  
  --voice-id JOANNA
```

DryRun モードの使用

DryRun を に設定trueして、メッセージを実際に配信せずに送信リクエストを検証します。DryRun モードは、テンプレート変数の検証、国の制限、および使用制限をチェックしますが、メッセージを送信したり、使用制限から差し引いたりすることはありません。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 send-notify-text-message \  
  --notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
  --destination-phone-number +12065550100 \  
  --template-id notify-code-verification-english-001 \  
  --template-variables '{"code":"123456"}' \  
  --dry-run
```

リクエストパラメータの送信

SendNotifyTextMessage と の両方が、次のパラメータSendNotifyVoiceMessageを受け入れます。

NotifyConfigurationId (必須)

Notify 設定の ID または ARN。

DestinationPhoneNumber (必須)

E.164 形式の受信者の電話番号。

TemplateVariables (必須)

変数名の値へのマップ。整数変数またはブール変数であっても、すべての値は文字列です。

TemplateId

使用するテンプレート。省略すると、設定のデフォルトテンプレートが使用されます。

ConfigurationSetName

イベントルーティングの設定セット。

Context

イベントレコードに含まれるキーと値のペア。

DryRun

送信せずにリクエストを検証します。

TimeToLive

メッセージが有効である時間、秒単位。デフォルトは 72 時間です。

MessageFeedbackEnabled

PutMessageFeedback API を介したメッセージフィードバックの追跡を有効にします。

VoicId (音声のみ)

使用する Amazon Polly 音声 (例: JOANNA、MATTHEW)。

メッセージルーティングの仕組み

AWS は、送信先の国に基づいて、各メッセージに最適な送信元 ID を自動的に選択します。電話プールを通知設定に関連付けると、プール内の顧客所有の ID が最初に試行されます。適切な顧客所有の ID がない場合は、AWS管理された ID がフォールバックとして使用されます。

メッセージフィードバック

メッセージの送信MessageFeedbackEnabled時に を有効にすると、エンドユーザーがコードを正常に受信して使用したかどうかを報告できます。

```
client.put_message_feedback(
```

```
MessageId='msg-1234567890abcdef',  
MessageFeedbackStatus='RECEIVED' # or 'FAILED'  
)
```

配信イベント

通知は、設定されたイベント送信先 (CloudWatch、Amazon Data Firehose、または Amazon SNS) に配信イベントを送信します。イベント送信先の設定については、「」を参照してください[AWS End User Messaging SMS の設定セット](#)。

配信イベントタイプ

[Event] (イベント)	説明
PENDING	メッセージは配信のためにキューに入れられます。
DELIVERED	メッセージが受信者のデバイスに配信されました。
FAILED	メッセージ配信に失敗しました。詳細については、失敗の理由を確認してください。
BLOCKED	メッセージは Protect 設定ルールによってブロックされました。

エラー処理

ValidationException

設定でテンプレート変数がないか無効、電話番号形式が無効、または送信先の国が有効になっていません。

ResourceNotFoundException

通知設定またはテンプレートが見つかりませんでした。

ServiceQuotaExceededException

日次メッセージ制限 (基本階層) または月額使用制限に達しました。

ConflictException

通知設定が ACTIVE ステータスではありません。

重要な注意事項

- 双方向メッセージング – AWS マネージド型発信元 ID を使用する場合、双方向メッセージングはサポートされていません。双方向メッセージングが必要な場合は、独自の電話プールを関連付けます。「[Notify での専用番号の使用](#)」を参照してください。
- オプトアウト動作 – AWS マネージド ID を持つ OTP ユースケースの場合、STOP キーワードレスポンスは情報提供のみを目的としています。各 OTP リクエストは暗黙的なオプトインであるため、永続的なオプトアウトリストは維持されません。独自の電話プールを関連付ける場合、プールのオプトアウトリストが優先されます。

トラブルシューティング

配信されないメッセージ

メッセージが配信されていない場合は、以下を確認します。

1. 送信先の電話番号が E.164 形式であることを確認します (+と国コードで始まります)。
2. 送信先の国が EnabledCountries リストに含まれていることを確認します。
3. 設定ステータスが であることを確認します ACTIVE。
4. 支出制限を超えていないことを確認します。

BLOCKED ステータス

メッセージは Protect 設定によってブロックされました。一般的な理由には、有効な国リストにならない送信先国や、潜在的な AIT (人工的に拡張されたトラフィック) としてフラグ付けされているメッセージなどがあります。

検証エラー

必要なすべての が指定され TemplateVariables ていることを確認します。変数値が宣言された型と一致することを確認します (整数は有効な数値など)。テンプレート ID が存在し、アクティブであることを確認します。

Notify での専用番号の使用

デフォルトでは、Notify は AWS マネージド型の発信元 ID を使用してメッセージを送信します。オプションで、既存の電話プールを通知設定に関連付けて、AWS マネージド ID とともに独自の専用電話番号を使用できます。

Note

一部の国 AWS では、はマネージド発信元 ID を提供しません。このような場合は、独自の電話プールを顧客所有の番号に関連付けて、それらの国にメッセージを送信する必要があります。ListNotifyCountries API またはコンソールの国タブを使用して、顧客所有の ID が必要な国を確認します。

ハイブリッドルーティングの仕組み

電話プールを通知設定に関連付けると、システムはメッセージごとに次のルーティングロジックを使用します。

1. 関連するプールで、送信先国をサポートする顧客所有の発信元 ID を確認します。
2. 一致する ID が見つかった場合は、それを使用してメッセージを送信します。
3. 一致する ID が見つからない場合 (またはプールが関連付けられていない場合)、 が AWS 管理する ID にフォールバックします。

プールを関連付ける利点

- 特定の国では、独自の専用ショートコードまたは通話料無料番号を使用します。
- プール上の既存のオプトアウトリストは尊重されます。

プールの関連付けの管理

Console

プールを関連付ける

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。

2. Notify 設定に移動し、Use Dedicated Numbers タブを選択します。
3. プールの関連付けを選択します。
4. テーブルからプールを選択し、プールの関連付けを選択します。

プールの関連付けを解除する

1. 専用番号の使用 タブで、プールの関連付けを解除を選択します。
2. confirm 確認フィールドに入力し、プールの関連付けを解除を選択します。

AWS CLI

プールを関連付ける:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-notify-configuration \  
  --notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
  --pool-id pool-1234567890abcdef0
```

プールの関連付けを解除します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 update-notify-configuration \  
  --notify-configuration-id nc-1234567890abcdef0 \  
  --pool-id UNSET_DEFAULT_POOL_FOR_NOTIFY
```

Note

プールは同じに存在する必要があります AWS アカウント。プールの関連付けはいつでも変更または削除できます。

サポートされている国を通知する

通知メッセージングに使用できる国は、通知設定の階層によって異なります。

- 基本階層 – 信頼性と品質のために最適化された厳選された一連の国。
- アドバンスド階層 – 追加の国を含む拡張リスト。一部のアドバンスド階層の国では、独自の電話プールを顧客所有の発信元 ID に関連付ける必要がある場合があります。

国の可用性は、時間の経過とともに変化する可能性があります。ListNotifyCountries API または コンソールを使用して、サポートされている国の現在のリストを確認します。

基本的な階層の国

基本階層は、事前に承認された 30 の国をサポートしています。最新のリストには ListNotifyCountries API を使用します。

基本階層がサポートされている国

Country	ISO コード
アメリカ領サモア	AS
オーストラリア	AU
ベルギー	BE
ブラジル	BR
カナダ	CA
コロンビア	CO
デンマーク	DK
フィンランド	FI
フランス	FR
ドイツ	DE
グアム	GU
Hong Kong	HK
インド	IN
アイルランド	IE
イタリア	IT

Country	ISO コード
日本	JP
メキシコ	MX
オランダ	NL
ニュージーランド	NZ
北マリアナ諸島	MP
ポルトガル	PT
プエルトリコ	PR
シンガポール	SG
韓国	KR
スペイン	ES
スウェーデン	SE
スイス	CH
英国	GB
アメリカ	米国
米領バージン諸島	VI

アドバンスド階層の国

アドバンスド階層は AWS、エンドユーザーメッセージング SMS で利用可能なすべての国をサポートします。完全なリストを表示するには `--tier ADVANCED`、で `ListNotifyCountries` API を使用します。

サポートされている国の確認

Console

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. 通知設定に移動し、国タブを選択します。
3. この表は、リージョン別にグループ化された国を示しています。Advanced 階層を必要とする国は、インジケータでマークされます。プロパティフィルターを使用して、国名またはリージョンで検索します。

AWS CLI

サポートされているすべての国を一覧表示します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 list-notify-countries
```

チャネルでフィルタリングする:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 list-notify-countries \
  --channels SMS
```

階層でフィルタリング:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 list-notify-countries \
  --tier BASIC
```

ユースケースでフィルタリングする:

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 list-notify-countries \
  --use-cases CODE_VERIFICATION
```

国情報フィールド

ListNotifyCountries レスポンスには、国ごとに次の情報が含まれます。

IsoCountryCode

2 文字の ISO 3166-1 alpha-2 国コード。

CountryName

国の名前。

SupportedChannels

この国で利用可能なチャネル (SMS、VOICE)。

SupportedUseCases

この国で利用可能なユースケース。

SupportedTiers

がこの国に送信できる階層 (BASIC、ADVANCED、またはその両方)。

CustomerOwnedIdentityRequired

この国に送信するには、独自の電話プールを顧客所有の発信元 ID に関連付ける必要があるかどうか。の場合は true、「」を参照してください[Notify での専用番号の使用](#)。

設定で国を有効にする

Notify 設定で有効になっている国を更新するには、「」を参照してください[通知設定の管理](#)。

Note

設定が基本階層にある場合、アドバンスド階層を必要とする国は表示されますが、選択できません。これらの国にアクセスするには、アドバンスド階層にアップグレードします。

支出制限を通知する

Notify には、SMS、MMS、音声の使用制限とは別に、独自の専用月額使用制限があります。Notify 経由でメッセージを送信しても、SMS または音声の使用制限にはカウントされません。

アカウント制限は、通知メッセージを送信するために毎月使用できる最大金額を米ドルで表したものです。Service Quotas コンソールから引き上げをリクエストできます。

適用制限は、1 USD からアカウント制限までのオプションの支出上限です。強制制限に達したら、`SendNotifyTextMessage`と `SendNotifyVoiceMessage`を返します `ServiceQuotaExceededException`。

Notify の使用制限には、メッセージングチャネル料金と送信された各メッセージの Notify サービス料金の合計コストが反映されます。

Notify の使用制限の管理

Console

支出制限を表示する

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. 通知設定に移動し、支出制限タブを選択します。
3. タブには、最大支出制限、強制支出制限、当月の支出、残高が表示されます。

強制された制限を編集する

1. 使用制限タブで、設定の編集を選択します。
2. 適用された支出制限を更新して新しい値を入力するか、デフォルトを最大に設定してオーバーライドを削除します。
3. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

AWS CLI

適用された支出制限を設定します。

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 set-notify-message-spend-limit-override \  
  --monthly-limit 100
```

強制された制限を削除します (アカウント制限に戻す):

```
aws pinpoint-sms-voice-v2 delete-notify-message-spend-limit-override
```

すべての使用制限を表示する (通知は SMS と音声とともに表示されます)。


```
aws pinpoint-sms-voice-v2 describe-spend-limits
```

アカウント制限の引き上げをリクエストする

通知アカウントの支出制限をデフォルト以上に引き上げるには、Service Quotas コンソールを使用するか、サポートケースを作成します。詳細については、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS のクォータ](#)」を参照してください。

通知クォータと制限

このセクションでは、Notify のデフォルトのクォータ、レート制限、およびサポートされている国について説明します。

アカウントレベルのクォータ

アカウントレベルのクォータ

クォータ	デフォルトの値	引き上げ可能
アカウントごとの通知設定	25	はい
1 日あたり 1 つの送信先電話番号へのメッセージ (アカウント全体)	10	いいえ

設定レベルの制限

階層別の設定レベルの制限

制限	基本層	アドバンスド階層
1 日あたりのメッセージ数	200	無制限
設定あたりの TPS	1	25
サポートされている国	30 件の事前承認	サポートされているすべて*

Note

特定の送信先電話番号の場合、通知設定ごとに 1 日あたり 10 メッセージ、アカウントごとに 1 日あたり 10 メッセージに制限されます。

* 一部の国では、顧客所有の発信元 ID が必要です。ListNotifyCountries API を使用して、顧客所有の ID が必要な国を確認します。詳細については、「[サポートされている国を通知する](#)」を参照してください。

API レート制限

API レート制限

API オペレーション:	デフォルト RPS
CreateNotifyConfiguration	1
UpdateNotifyConfiguration	1
DeleteNotifyConfiguration	1
DescribeNotifyConfigurations	1
DescribeNotifyTemplates	1
ListNotifyCountries	1
SendNotifyTextMessage	1 (ベーシック) / 25 (アドバンスト)
SendNotifyVoiceMessage	1 (ベーシック) / 25 (アドバンスト)
SetNotifyMessageSpendLimitOverride	1
DeleteNotifyMessageSpendLimitOverride	1

クォータの引き上げをリクエストする

Notify クォータの引き上げをリクエストするには:

1. [Service Quotas コンソール](#)を開きます。
2. AWS エンドユーザーメッセージング SMS に移動します。
3. 引き上げたいクォータを選択します。
4. [Request quota increase] (クォータの引き上げのリクエスト) を選択します。

または、サポート[AWS センターでサポート](#)ケースを作成することもできます。

モバイルキャリアの前提条件を通知する

AWS エンドユーザーメッセージング通知を使用する場合、お客様は、顧客が所在する各国またはリージョンで適用されるメッセージング法とモバイル通信事業者の要件を遵守する責任があります。コンプライアンス義務を評価するには、弁護士に相談してください。これらの要件に従わない場合、キャリア監査が行われ、通知へのアクセスが削除される可能性があります。このページでは、Notify を使用するためのモバイルキャリアの必須前提条件を指定します。これには、メッセージングに適用される利用規約、プライバシーポリシー、オプトインフローの詳細を顧客に提示する必要がある最低限必要な言語が含まれます。

Important

以下に説明する必要な言語を含む独自の利用規約とプライバシーポリシーページを公開する必要があります。また、Notify を介してメッセージを送信する前に、オプトインフローを実装する必要があります。これらの要件は、ベーシック階層とアドバンスド階層の両方に適用されます。

必要な利用規約

モバイルキャリアでは、顧客が特定のメッセージング利用規約を利用できるようにする必要があります。利用規約ページには、少なくとも以下の情報が含まれている必要があります。括弧で囲まれたプレースホルダーを独自の値に置き換えます。

```
Subscribers will opt-in via [YOUR_WEBSITE_URL] to receive verification
```

messages from [YOUR_COMPANY_NAME], powered by AWS Notify. Message frequency may vary per user.

Text "HELP" for help. Text "STOP" to cancel.

Message and data rates may apply for any messages sent to you from us and to us from you. Carriers are not liable for delayed or undelivered messages.

If you have any questions about your text plan or data plan, contact your wireless provider.

For all questions about the services provided, you can send an email to [YOUR_SUPPORT_EMAIL] or call [YOUR_SUPPORT_PHONE_NUMBER].

If you have questions regarding privacy, please read our privacy policy at [YOUR_PRIVACY_POLICY_URL].

Important

このコンテンツは、パブリックにアクセス可能な URL でホストし、オプトインフローからリンクする必要があります。

必要なプライバシーポリシー

また、モバイルキャリアでは、顧客がプライバシーポリシーを利用できるようにする必要があります。プライバシーポリシーページには、少なくとも次のステートメントを含める必要があります。

- マーケティングまたはプロモーションの目的で、携帯電話番号がサードパーティーまたは関連会社と共有されることはありません。
- テキストメッセージ発信者のオプトインデータと同意は、第三者と共有されません。
- メッセージは AWS Notify. AWS does を通じて配信されます。マーケティングまたはプロモーションの目的で、エンドユーザーの電話番号をサードパーティーと共有することはありません。

⚠ Important

このコンテンツは、パブリックにアクセス可能な URL でホストする必要があります。利用規約ページはプライバシーポリシーにリンクし、プライバシーポリシーは利用規約にリンクする必要があります。

通知の使用には、第 29 条 (Amazon Pinpoint および AWS エンドユーザーメッセージング) を含む [AWS サービス条件](#) も適用されます。

必要なオプトインフロー

Notify を通じてメッセージを送信する前に、モバイル通信事業者はエンドユーザーから明示的な同意を得るオプトインフローを実装する必要があります。オプトインフローは、次の要件を満たしている必要があります。

- エンドユーザーは、メッセージの受信に積極的に同意する必要があります (チェックボックスの選択、ボタンの選択、口頭による確認など)。
- オプトインでは、ユーザーが検証メッセージを受信することを明記する必要があります。
- オプトインには、「メッセージとデータ料金が適用される場合があります。メッセージの頻度はさまざまです。ヘルプについては、HELP に返信してください。キャンセルするには STOP と返信してください。」
- オプトインには、利用規約とプライバシーポリシーへのリンクが含まれている必要があります。
- 同意の記録を保持する必要があります。

デジタルオプトインの例 (ウェブまたはモバイルアプリ)

以下は、デジタルオプトインの例です。括弧で囲まれたプレースホルダーを独自の値に置き換えます。

```
# By entering my phone number and clicking "Send Code," I consent to
receive an automated one-time verification code from [YOUR_BRAND] at
the number provided. Messages are powered by AWS Notify. Message and
data rates may apply. Message frequency varies. Reply HELP for help,
STOP to cancel.
Terms and conditions: [YOUR_TERMS_URL]
Privacy policy: [YOUR_PRIVACY_POLICY_URL]
```

言語オプトインの例 (IVR またはカスタマーサービスコール)

以下は、言語オプトインスクリプトの例です。

```
"To verify your identity, we'll send a one-time verification code to your mobile phone, powered by AWS Notify. By providing your phone number, you consent to receive this automated text message. Message and data rates may apply. Message frequency varies. Reply HELP for help or STOP to cancel. Do you consent to receive this verification code?"
```

Note

これらの例は、情報メッセージングの CTIA メッセージング原則とベストプラクティスに従います。OTP 検証コードは、ユーザーがリクエストを開始するため、情報 (プロモーションではない) と見なされます。STOP/HELP の開示は、Notify を介して送信されるすべてのメッセージに必要です。

カスタマーサポートの要件

利用規約では、独自のカスタマーサポートの連絡先情報 (E メールアドレスや電話番号) を指定する必要があります。このサポート連絡先は、ログインを必要とせずにアクセス可能である必要があります。通信事業者および規制ガイドラインでは、エンドユーザーが受信したメッセージに関する質問に対してサポートを受けることができることを義務付けています。

モバイルキャリアの前提条件チェックリストを通知する

Notify を使用してメッセージを送信する前に、以下が完了していることを確認してください。

- パブリック URL で必要な言語の利用規約ページを公開しました。
- パブリック URL で必要なステートメントを含むプライバシーポリシーページを公開しました。
- 明示的な同意を取得し、必要なすべての開示を含むオプトインフローを実装しました。
- オプトインフローに利用規約とプライバシーポリシーへのリンクが含まれています。
- ログインを必要としないカスタマーサポートの連絡先 (E メールや電話) を提供しました。
- 条件とプライバシーポリシーのページを相互にクロスリンクしました。

キャリアルックアップサービスを使用する

AWS エンドユーザーメッセージング SMS には、電話番号が有効かどうかなど、電話番号に関する情報を取得するために使用できるキャリア検索サービスが含まれています。キャリアルックアップサービスは、電話番号について次の情報を返します。

- E164 形式の電話番号 (元の入力からサニタイズ)。
- 電話番号のタイプ (無効、固定電話、モバイルなど)。
- 電話番号の国またはリージョンの名前。
- 電話番号の国または地域の数値ダイヤルコード。
- 電話番号の ISO 3166-1 alpha-2 形式の 2 文字の国またはリージョンコード。
- 携帯電話の場合は、モバイル国コード (MCC)。
- 携帯電話の場合は、モバイルネットワークコード (MNC)。
- 電話番号が現在登録されているキャリアまたはサービスプロバイダー。一部の国やリージョンでは、この値は電話番号が最初に登録されたキャリアまたはサービスプロバイダーである場合があります。

キャリア検索サービスの使用には追加料金がかかります。詳細については、[AWS「エンドユーザーメッセージング SMS の料金」](#)を参照してください。

キャリア検索のユースケース

キャリア検索サービスを使用して、次のようないくつかのユースケースを有効にできます。

- ウェブフォームで提供される電話番号の検索 – ウェブベースのフォームを使用して顧客の連絡先情報を収集する場合、フォームを送信する前に顧客が提供した電話番号を検索できます。ウェブサイトのバックエンドを使用して、AWS エンドユーザーメッセージング SMS API を使用して番号を検索および検証します。API レスポンスは、電話番号が正しくフォーマットされている場合など、番号が有効かどうかを示します。お客様が指定した電話番号が無効であると判断した場合、ウェブフォームで有効な電話番号の入力をお客様に求めることができます。
- 既存の問い合わせデータベースのクリーンアップ – 顧客の電話番号のデータベースがある場合は、各電話番号を検索し、キャリアの検索結果を使用してデータベースを更新できます。例えば、SMS メッセージを受信できない電話番号を持つエンドポイントを見つけた場合は、そのエンドポイントの ChannelType プロパティを SMS から VOICE に変更できます。

- [Choosing the right channel before you send a message] - SMS メッセージを送信しようとしているが送信先番号が無効であると判断した場合は、別のチャネルを介して受信者にメッセージを送信できます。例えば、エンドポイントが、SMS メッセージを受信できない場合は、代わりに音声メッセージを送信できます。

サポートされている電話番号形式

電話番号は E164 形式である必要があります。プラス記号 (+) の後に国のダイヤルコードと電話番号 (例: +12065551234) が続きます。キャリアルックアップサービスは、さまざまなフォーマット文字を受け入れ、処理中に自動的に削除します。電話番号入力には、次の書式設定文字を含めることができます。

- 括弧: +1 (555) 123-4567
- ブラケット: +1 [555] 123-4567
- スペース: +1 555 123 4567
- ハイフン: +1-555-123-4567
- 期間: +1.555.123.4567
- カンマ: +1,555,123,4567
- 混合フォーマット: +1 (555)-123.4567

すべてのフォーマット文字は処理中に自動的に削除され、サービスはレスポンスの E164PhoneNumber フィールドに標準の E164 形式 (など+15551234567) の電話番号を返します。

でのキャリア検索サービスの使用 AWS CLI

次の例は、でキャリアルックアップサービスを使用する方法を示しています AWS CLI。このサービスは、さまざまなフォーマット文字 (括弧、括弧、スペース、ハイフン、ピリオド、カンマ) を持つ電話番号を受け入れ、処理のために E164 形式に自動的に変換します。詳細については、AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS API リファレンス」の [CarrierLookup](#) または AWS CLI 「コマンドリファレンス」の [「キャリアルックアップ」](#) を参照してください。

キャリアルックアップサービスを使用するには (CLI)

- コマンドラインで、以下のコマンドを入力します。さまざまな電話番号形式を使用できます。サービスは、括弧、括弧、スペース、ハイフン、ピリオド、カンマなどの特殊文字を使用できません。


```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 carrier-lookup --phone-number "+1 (555) 555-5333"
```

または、E164 形式の場合:

```
$ aws pinpoint-sms-voice-v2 carrier-lookup --phone-number +15555555333
```

キャリアルックアップレスポンス

キャリアルックアップサービスが提供する情報は、指定した電話番号で利用可能なデータによって若干異なります。このセクションでは、キャリアルックアップサービスが返すレスポンスの例を示します。

Note

キャリアルックアップサービスによって提供されるデータは、世界中の通信プロバイダーやその他のエンティティによって提供される情報に基づいています。一部の国のプロバイダーは、他の国のプロバイダーほど頻繁にこの情報を更新しない場合があります。たとえば、携帯電話番号を検証するリクエストを発行し、指定した番号が 1 つの携帯電話キャリアから別の携帯電話キャリアに移植された場合、キャリア検索サービスからのレスポンスには、現在のキャリアではなく元のキャリアの名前が含まれることがあります。

有効な携帯電話番号

次のレスポンスは、有効な携帯電話番号に対して `CarrierLookup` 返す情報の例です。

```
{
  "E164PhoneNumber": "+15555555333",
  "DialingCountryCode": "1",
  "IsoCountryCode": "US",
  "Country": "United States",
  "MCC": "310",
  "MNC": "260",
  "Carrier": "ExampleCorp Mobile",
  "PhoneNumberType": "MOBILE"
}
```

有効な固定電話番号

次のレスポンスは、有効な固定電話番号に対して がCarrierLookup返す情報の例です。

```
{
  "E164PhoneNumber": "+15555555333",
  "DialingCountryCode": "1",
  "IsoCountryCode": "CA",
  "Country": "Canada",
  "Carrier": "ExampleCorp Landline",
  "PhoneNumberType": "LANDLINE"
}
```

無効な電話番号

リクエストに無効な電話番号が含まれている場合、キャリアルックアップサービスは、次の例のような情報を返します。

```
{
  "E164PhoneNumber": "+15555555333444666",
  "PhoneNumberType": "INVALID"
}}
```

このレスポンスの PhoneNumberType プロパティは、この電話番号が INVALID であること、および電話番号に関連付けられた携帯電話会社または場所に関する情報が含まれていないことを示しています。PhoneNumberType が INVALID である電話番号に SMS または音声メッセージを送信することは避けてください。これらの番号は実際の受信者に属しているとは考えられないためです。

その他の電話番号

携帯電話、固定電話、無効に分類されていない電話番号は、PhoneNumberTypeの値で返されますOTHER。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS での共有リソースの使用

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は AWS Resource Access Manager (AWS RAM) と統合してリソース共有を有効にします。AWS RAM は、一部の AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースを他の AWS アカウントと共有したり、を介して共有したりできるサービスです AWS Organizations。では AWS RAM、リソース共有を作成して、所有しているリソースを共有します。リソース共有は、共有するリソースと、それらを共有するコンシューマーを指定します。コンシューマーには以下が含まれます。

- の組織 AWS アカウント 内外に固有 AWS Organizations
- の組織内の組織単位 AWS Organizations
- の組織全体 AWS Organizations
- Amazon Pinpoint や Amazon SNS などのその他の AWS サービス

詳細については AWS RAM、[AWS RAM 「ユーザーガイド」](#) を参照してください。

このトピックでは、所有しているリソースの共有方法と、共有されているリソースの使用方法を説明します。

内容

- [電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有するための前提条件](#)
- [電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有する](#)
- [共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID の共有を解除する](#)
- [共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を特定する](#)
- [共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID の責任とアクセス許可](#)
- [請求と使用量測定](#)
- [インスタンスクォータ](#)
- [送信者 ID または電話番号を Amazon Pinpoint と共有するポリシーの例](#)
- [送信者 ID を Amazon Pinpoint および Amazon SNS と共有するポリシーの例](#)
- [Amazon Pinpoint および Amazon SNS と電話番号を共有するポリシーの例](#)

電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有するための前提条件

- 電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有するには、その ID を AWS アカウントで所有する必要があります。つまり、自分のアカウントにそのリソースが割り当てられているか、プロビジョニングされている必要があります。共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有することはできません。
- 組織または AWS Organizations内の組織単位と電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有する場合は、AWS Organizationsとの共有を有効にする必要があります。詳細については、「AWS RAM ユーザーガイド」の「[Enable Sharing with AWS Organizations](#)」を参照してください。

電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有する

所有しているリソースを他のと共有する場合 AWS アカウント、それらのリソースが以下を実行できるようにします。

- オプトアウトリスト – このリソースにアクセスできるコンシューマーは、電話番号のステータスの確認、電話番号の削除、オプトアウトリストへの電話番号の追加を行うことができます。
- PhoneNumber – このリソースにアクセスできるコンシューマーは、電話番号を使用してメッセージを送信できます。
- プール – このリソースにアクセスできるコンシューマーは、プールを表示できます。プールに含まれるリソースは、他の AWS アカウント がアクセスできるように共有する必要があります。プールには、共有リソースと非共有リソースを組み合わせることができます。
- 送信者 ID – このリソースにアクセスできるコンシューマーは、送信者 ID を使用してメッセージを送信できます。

電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有するには、それらをリソース共有に追加する必要があります。リソース共有とは、AWS アカウント間で自身のリソースを共有するための AWS RAM リソースです。リソース共有では、共有対象のリソースと、共有先のコンシューマーを指定します。AWS End User Messaging SMS コンソールを使用して電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有する場合は、既存のリソース共有に追加します。電話番

号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を新しいリソース共有に追加するには、まず [AWS RAM コンソール](#) を使用してリソース共有を作成する必要があります。

の組織に属 AWS Organizations していて、組織内での共有が有効になっている場合、組織内のコンシューマーには、共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID へのアクセス権が自動的に付与されます。これに該当しない場合、コンシューマーはリソースへの参加の招待を受け取り、その招待を受け入れた後で、共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID に対するアクセス許可が付与されます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS RAM コンソール、または を使用して、所有している電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有できます AWS CLI。

Note

共有リソースは、AWS CLI または [AWS End User Messaging SMS and Voice v2 API](#) を介してのみ使用できます。共有リソースを使用するには、完全な Amazon リソースネーム (ARN) を使用する必要があります。

アカウントと共有されているリソースを表示するには、AWS CLI または [AWS RAM コンソール](#) を使用する必要があります。

リソースを共有するには、[AWS RAM コンソール](#) を使用することをお勧めします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して、所有している電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で、リソースタイプを選択し、次にリソースを選択します。
3. [リソースポリシー] タブで、[編集] を選択します。
4. JSON リソースベースのポリシーを編集して、共有アクセス許可を変更できます。
5. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

AWS RAM コンソールを使用して、所有している電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有するには

「AWS RAM ユーザーガイド」の「[リソース共有の作成](#)」を参照してください。

を使用して所有している電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を共有するには AWS CLI

[create-resource-share](#) コマンドを使用します。

共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID の共有を解除する

リソース所有者がコンシューマーとの電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID の共有を停止すると、リソースはコンシューマーのコンソールに表示されなくなります。

所有している共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID の共有を解除するには、それらをリソース共有から削除する必要があります。これを行うには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソール、AWS RAM コンソール、または を使用します AWS CLI。

AWS RAM コンソールを使用して、所有している共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID の共有を解除するには

「AWS RAM ユーザーガイド」の「[リソース共有の更新](#)」を参照してください。

を使用して、所有している共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID の共有を解除するには AWS CLI

[disassociate-resource-share](#) コマンドを使用します。

共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を特定する

所有者とコンシューマーは、AWS CLIを使用して共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を特定できます。

Note

電話番号、プール、オプトアウトリスト、送信者 IDs は通常、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールの共有リソースとして識別できません。

を使用して共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を識別するには AWS CLI

Owner パラメータを SHARED に設定して、[describe-opt-out-lists](#)、[describe-phone-numbers](#)、[describe-pools](#)、または [describe-sender-ids](#) コマンドを使用します。コマンドを使用すると、共有されている電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を返します。

共有電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID の責任とアクセス許可

所有者のアクセス許可

所有者は、電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を更新、表示、共有、共有停止、および使用できます。

コンシューマーのアクセス許可

コンシューマーは、電話番号、プール、オプトアウトリスト、または送信者 ID を使用および表示できます。

請求と使用量測定

リソースの所有者は、リソースの料金を請求されます。コンシューマーは、共有されたリソースに対しては課金されませんが、リソースを使用してメッセージを送信すると課金されます。リソースの共有に関連する追加コストは発生しません。

コンシューマーは、[send-text-message](#)、[send-media-message](#)または [send-voice-message](#) でメッセージを送信すると請求され、これはコンシューマーの支出制限にカウントされます。料金と支出制限の詳細については、「[AWS End User Messaging の料金](#)」および「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で SMS、MMS、または音声の使用制限を設定する](#)」を参照してください。

インスタンスクォータ

リソースを共有しても、所有者またはコンシューマーのアカウントのリソースの制限には影響しません。リソースの制限の計算には、所有者のアカウントのみが使用されます。

送信者 ID または電話番号を Amazon Pinpoint と共有するポリシーの例

[AWS IAM コンソール](#)を使用してリソース共有を作成および管理することをお勧めします。

次の例では、Amazon Pinpoint によって、指定された電話番号に SMS または音声メッセージを送信できるようにします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して所有している電話番号を共有するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で [電話番号] を選択し、電話番号を選択します。
3. [リソースポリシー] タブで、[編集] を選択します。
4. JSON リソースベースのポリシーを編集して、共有アクセス許可を変更できます。

以下の JSON で、次の変更を行い、JSON を [リソースポリシー] に貼り付けます。

- **Partition** を、電話番号がある AWS パーティションに置き換えます。
- Region AWS リージョン を電話番号に置き換えます。
- **Account** を、電話番号を所有するアカウント番号に置き換えます。
- **Phone-id** を、電話番号の識別子に置き換えます。

5. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

次の例では、Amazon Pinpoint によって、指定された送信者 ID を使用して SMS メッセージを送信できるようにします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して所有している送信者 ID を共有するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で [送信者 ID] を選択し、送信者 ID を選択します。
3. [リソースポリシー] タブで、[編集] を選択します。
4. JSON リソースベースのポリシーを編集して、共有アクセス許可を変更できます。

以下の JSON で、次の変更を行い、JSON を [リソースポリシー] に貼り付けます。

- **Partition** を、送信者 ID がある AWS パーティションに置き換えます。
- Region AWS リージョン を送信者 ID に置き換えます。

- *Account* を、送信者 ID を所有するアカウント番号に置き換えます。
- *SenderId* を、送信者 ID の識別子に置き換えます。
- *Countrycode* を、送信者 ID の国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コードに置き換えます。

5. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

送信者 ID を Amazon Pinpoint および Amazon SNS と共有するポリシーの例

[AWS RAM コンソール](#)を使用してリソース共有を作成および管理することをお勧めします。

次の例では、Amazon Pinpoint および Amazon SNS によって、指定された送信者 ID を使用して SMS メッセージを送信できるようにします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して所有している送信者 ID を共有するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で [送信者 ID] を選択し、送信者 ID を選択します。
3. [リソースポリシー] タブで、[編集] を選択します。
4. JSON リソースベースのポリシーを編集して、共有アクセス許可を変更できます。

以下の JSON で、次の変更を行い、JSON を [リソースポリシー] に貼り付けます。

- *Partition* を、電話番号がある AWS パーティションに置き換えます。
- Region AWS リージョン を電話番号に置き換えます。
- *OwnersAccountID* を、送信者 ID を所有する AWS アカウント番号に置き換えます。
- *SenderId* を、送信者 ID の識別子に置き換えます。
- *ISO* を、送信者 ID の国を表す 2 文字の ISO-3166 alpha-2 コードに置き換えます。
- *ConsumersAccountID* を、アクセスを許可する AWS アカウント番号に置き換えます。

JSON

```
{
```

```

"Version": "2012-10-17",
"Statement": [
  {
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "Service": "pinpoint.amazonaws.com"
    },
    "Action": [
      "sms-voice:SendTextMessage",
      "sms-voice:SendVoiceMessage"
    ],
    "Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:sender-
id/SenderID/ISO",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "111122223333"
      }
    }
  },
  {
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "Service": "sns.amazonaws.com"
    },
    "Action": "sms-voice:SendTextMessage",
    "Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:sender-
id/SenderID/ISO",
    "Condition": {
      "StringEquals": {
        "aws:SourceAccount": "111122223333"
      }
    }
  },
  {
    "Effect": "Allow",
    "Principal": {
      "AWS": "arn:aws:iam::111122223333:root"
    },
    "Action": "sms-voice:SendTextMessage",
    "Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:sender-
id/SenderID/ISO"
  }
]

```

```
}
```

5. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

Amazon Pinpoint および Amazon SNS と電話番号を共有するポリシーの例

[AWS RAM コンソール](#)を使用してリソース共有を作成および管理することをお勧めします。

次の例では、Amazon Pinpoint および Amazon SNS によって、指定された電話番号を使用して SMS メッセージを送信できるようにします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用して所有している電話番号を共有するには

1. <https://console.aws.amazon.com/sms-voice/> で AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインの [設定] で [電話番号] を選択し、電話番号を選択します。
3. [リソースポリシー] タブで、[編集] を選択します。
4. JSON リソースベースのポリシーを編集して、共有アクセス許可を変更できます。

以下の JSON で、次の変更を行い、JSON を [リソースポリシー] に貼り付けます。

- *Partition* を、電話番号がある AWS パーティションに置き換えます。
- Region AWS リージョン を電話番号に置き換えます。
- *OwnersAccountID* を、電話番号を所有する AWS アカウント番号に置き換えます。
- *PhoneNumberID* を、電話番号の識別子に置き換えます。
- *ConsumersAccountID* を、アクセスを許可する AWS アカウント番号に置き換えます。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Effect": "Allow",
```

```

        "Principal": {
            "Service": "pinpoint.amazonaws.com"
        },
        "Action": [
            "sms-voice:SendTextMessage",
            "sms-voice:SendVoiceMessage"
        ],
        "Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:phone-
number/PhoneNumberID",
        "Condition": {
            "StringEquals": {
                "aws:SourceAccount": "111122223333"
            }
        }
    },
    {
        "Effect": "Allow",
        "Principal": {
            "Service": "sns.amazonaws.com"
        },
        "Action": "sms-voice:SendTextMessage",
        "Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:phone-
number/PhoneNumberID",
        "Condition": {
            "StringEquals": {
                "aws:SourceAccount": "111122223333"
            }
        }
    },
    {
        "Effect": "Allow",
        "Principal": {
            "AWS": "arn:aws:iam::111122223333:root"
        },
        "Action": "sms-voice:SendTextMessage",
        "Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:phone-
number/PhoneNumberID"
    }
]
}

```

5. [Save changes] (変更の保存) をクリックします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の SMS 請求と使用状況レポートについて

AWS エンドユーザーメッセージング SMS チャンネルは、次の形式の 5 つのフィールドを含む使用タイプを生成します: *Region*

code-MessagingType-ISO-RouteType-OriginationID-MessageCount/Fee。例えば、アジアパシフィック (東京) リージョンから日本の電話番号に送信される SMS メッセージは、APN1-OutboundSMS-JP-Standard-Senderid-MessageCount と表示されます。

RCS メッセージングには、メッセージごとの料金とキャリアパススルー料金、エージェントのセットアップとメンテナンスの登録料金を含む個別の料金モデルがあります。RCS の料金の詳細については、「」を参照してください[RCS の請求と料金モデル](#)。

次の表は、使用タイプのフィールドに設定できる値と説明を示しています。SMS メッセージごと、MMS メッセージごと、または発信元 ID の料金の詳細は、「[AWS End User Messaging の料金](#)」を参照してください。

フィールド	オプション	説明
<i>Region code</i>	- APN1 – アジアパシフィック (東京) リージョン - APN2 – アジアパシフィック (ソウル) リージョン - APS1 – アジアパシフィック (シンガポール) リージョン - APS2 – アジアパシフィック (シドニー) リージョン - APS3 – アジアパシフィック (ムンバイ) リージョン - CAN1 – カナダ (中部) リージョン - EUC1 – 欧州 (フランクフルト) リージョン - EU – 欧州 (アイルランド) リージョン	SMS メッセージが送信された場所を示す AWS リージョンプレフィックス。

フィールド	オプション	説明
	- EUW2 – 欧州 (ロンドン) リージョン - UGW1 – AWS GovCloud (米国西部) - USE1 (またはプレフィックスなし) – 米国東部 (バージニア北部) - USE2 – 米国東部 (オハイオ) リージョン - USW2 – 米国西部 (オレゴン) リージョン	
<i>MessagingType</i>	OutboundSMS	このフィールドには、送信されるメッセージタイプが一覧表示されます。アウトバウンド SMS の場合、OutboundSMS が読み込まれます。
<i>ISO</i>	AWS End User Messaging SMS でサポートされている ISO 国コードのリスト AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS メッセージングでサポートされている国とリージョン については、「」を参照してください。	メッセージの送信先の 2 桁の ISO 国コード。
<i>RouteType</i>	スタンダード	メッセージが送信されたルートタイプ。現在、すべてのメッセージは標準ルートタイプを介して送信されています。

フィールド	オプション	説明
<i>OriginationID</i>	TollFree、10DLC、Shortcode、Longcode、SenderId、Sharecode	このフィールドには、メッセージの送信に使用された発信元 ID を指定します。サポートされている発信元 ID の詳細については、「 発信元 ID の選択 」を参照してください。
<i>MessageCount/Fee</i>	MessageCount、MessageFees、CarrierFeeCount、CarrierFees	このフィールドには、送信されたメッセージの数、またはそれらのメッセージの送信に関連するコストが表示されます。 • MessageCount – AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して送信されたメッセージの数 • CarrierFeeCount – AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して送信されたメッセージのうち、キャリア料金がかかったメッセージの数 • MessageFees – AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して送信されたメッセージの送信コスト • CarrierFees – AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用してメッセージを送信するためのキャリア料金のコスト

アウトバウンド SMS の AWS エンドユーザーメッセージング SMS を介して送信されるメッセージは、ISO 国と発信元 ID の組み合わせごとに 2~4 種類の使用タイプを生成します。以下の例を参照して、使用タイプが請求書にどのように表示されるかをよく理解してください。

例 1: 英国へのメッセージの送信

USE1 のショートコードを使用して英国 (ISO コード GB) に 10 件のメッセージを送信したとします。この場合、請求書には次の 2 つの使用タイプが表示されることが想定されます。

1. USE1-OutboundSMS-GB-Standard-Shortcode-MessageCount
2. USE1-OutboundSMS-GB-Standard-Shortcode-MessageFee

例 2: 米国へのメッセージの送信

CAN1 の 10DLC 番号を使用して、米国 (ISO コード US) に 10 件のメッセージを送信したとします。その場合、請求書には次の 4 つの使用タイプが表示されることが想定されます。

1. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-MessageCount
2. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-MessageFee
3. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-CarrierFeeCount
4. CAN1-OutboundSMS-US-Standard-10DLC-CarrierFees

請求用の AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースにタグを付ける

タグを使用して AWS 請求書を整理し、独自のコスト構造を反映することができます。これを行うには、サインアップしてタグキー値を含む AWS アカウント 請求書を取得します。その後で、タグキーの値により課金情報を整理して、リソースを合わせたコストを確認できます。

例えば、複数のリソースに特定のキャンペーン名のタグを付け、請求情報を整理することにより、複数のサービスを利用しているキャンペーンの合計コストを確認できます。詳細は、AWS 請求ユーザーガイドの「[コスト配分とタグ付け](#)」を参照してください。

サポート を介した SMS、MMS、および音声メッセージングのサポートをリクエストする

AWS End User Messaging SMS の一部の SMS オプションは、[AWS サポート Center](#) でケースを作成することによって設定できます。以下のいずれかをリクエストするためにケースを開きます。

- 毎月の SMS、MMS、音声利用額しきい値の増加

デフォルトでは、毎月の利用額しきい値は 1.00 USD です。利用額しきい値により、AWS End User Messaging SMS で送信できるメッセージのボリュームが決まります。SMS、MMS、音声ユースケースで予想される毎月のメッセージボリュームを満たす利用額しきい値をリクエストします。利用額しきい値を変更するには、「[利用額しきい値を変更する](#)」を参照してください。

- サンドボックスから本番環境への移行

新しい AWS End User Messaging SMS アカウントは、SMS または音声サンドボックスに配置されます。サンドボックスは、AWS のお客様および受信者の双方を詐欺や不正使用から保護します。また、サンドボックスは、テスト、開発、QA アカウントに安全な環境を提供します。アカウントをサンドボックスから本番環境に移動するには、「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS SMS/MMS サンドボックス](#)」および「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS Voice サンドボックス](#)」を参照してください。

AWS サポートセンターでケースを作成するときは、送信するリクエストのタイプに必要なすべての情報を含めてください。そうでない場合、サポート は手続きを進める前に、この情報を得るためにお客様に連絡します。詳細なケースを送信することにより、リクエストが迅速に処理されます。特定の種類の SMS リクエストに必要な詳細については、このセクションのトピックを参照してください。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の SMS、MMS、または音声使用クォータの変更をリクエストする](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の SMS、MMS、または音声使用クォータの変更をリクエストする

使用量のクォータにより、毎月 AWS エンドユーザーメッセージング SMS 経由で SMS、MMS、または音声メッセージを送信できる金額が決まります。AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、SMS、MMS、または音声メッセージを送信すると、当月の使用量クォータを超えるコストが発生すると判断した場合、SMS、MMS、または音声メッセージの発行を数分以内に停止します。

Important

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は分散システムであるため、使用クォータを超過してから数分以内に SMS、MMS、または音声メッセージの送信を停止します。この間に SMS、MMS、音声メッセージを送信し続けると、クォータを超えるコストが発生する可能性があります。

サンドボックスのすべての新しいアカウントに対して 1 か月あたり最大で 1.00 USD で使用クォータを設定します。このクォータは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS のメッセージ送信機能をテストできるようにすることを目的としています。また、このクォータにより、本番環境のワークロードで AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用する準備が整う前に大量のメッセージを送信するリスクも軽減され、悪意のあるユーザーが AWS エンドユーザーメッセージング SMS を悪用するのを防ぐために必要です。

AWS サポートセンターでクォータ引き上げケースを開くことで、アカウントの SMS、MMS、または音声使用クォータの引き上げをリクエストできます。リージョンによって上限が異なります。このため、引き上げが必要な AWS リージョンを指定する必要があります。

利用額しきい値を変更する

AWS Service Quotas を使用して、月額使用クォータの上限の引き上げをリクエストできます。

使用制限の増加をリクエストするには

1. にサインイン AWS マネジメントコンソール し、<https://console.aws.amazon.com/servicequotas/> で Service Quotas コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[AWS のサービス] を選択します。
3. リストから [AWS End User Messaging] を選択するか、検索ボックスで [AWS End User Messaging] を検索します。

4. 該当する使用クォータを選択する

- TextMessageMonthlySpend
- VoiceMessageMonthlySpend
- MediaMessageMonthlySpend

次に、[アカウントレベルでの引き上げをリクエスト] をクリックします。

5. クォータ値を引き上げる場合、新しい値を入力します。新しい値は現在値よりも大きい値である必要があります。
6. [リクエスト] を選択します。
7. 保留中または最近解決されたリクエストをコンソールに表示するには、サービスの詳細ページから [リクエスト履歴] タブに移動するか、ナビゲーションペインから [ダッシュボード] を選択します。保留中のリクエストの場合は、リクエストのステータスを選択してリクエストの受信をオープンします。リクエストの初期ステータスは [Pending] (保留中) です。ステータスが [リクエストされたクォータ] に変わると、サポートケース番号が表示されます。リクエストのチケットを開くには、ケース番号を選択します。

AWS サポートチームは、24 時間以内にリクエストに最初の応答を提供します。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。可能であれば、24 時間以内にリクエストを承認します。ただし、お客様から追加情報を取得する必要がある場合は、お客様のリクエストの解決に時間がかかる場合があります。

お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のセキュリティ

のクラウドセキュリティが最優先事項 AWS です。お客様は AWS、セキュリティを最も重視する組織の要件を満たすように構築されたデータセンターとネットワークアーキテクチャを活用できます。

セキュリティは、AWS お客様とお客様の間の責任共有です。[責任共有モデル](#)ではこれをクラウドのセキュリティおよびクラウド内のセキュリティと説明しています。

- クラウドのセキュリティ – AWS は、で AWS サービスを実行するインフラストラクチャを保護する責任を担います AWS クラウド。は、お客様が安全に使用できるサービス AWS も提供します。サードパーティーの監査者は、[AWS コンプライアンスプログラム](#)コンプライアンスプログラムの一環として、当社のセキュリティの有効性を定期的にテストおよび検証。AWS エンドユーザーメッセージング SMS に適用されるコンプライアンスプログラムの詳細については、「[コンプライアンスプログラムAWS による対象範囲内のサービスコンプライアンスプログラム](#)」を参照してください。
- クラウド内のセキュリティ — お客様の責任は、使用する AWS サービスによって決まります。また、ユーザーは、データの機密性、会社の要件、適用される法律や規制など、その他の要因についても責任を負います。

このドキュメントは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用する際に責任共有モデルを適用する方法を理解するのに役立ちます。以下のトピックでは、セキュリティおよびコンプライアンスの目的を達成するように AWS エンドユーザーメッセージング SMS を設定する方法について説明します。また、AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースのモニタリングや保護に役立つ他の AWS サービスの使用方法についても説明します。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのデータ保護](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の ID とアクセスの管理](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS のコンプライアンス検証](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の耐障害性](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS のインフラストラクチャセキュリティ](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS の設定と脆弱性の分析](#)
- [サービス間での不分別な代理処理の防止](#)
- [セキュリティのベストプラクティス](#)
- [SMS プロトコルのセキュリティに関する考慮事項](#)

- [SMS プロトコルセキュリティのベストプラクティス](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのデータ保護

責任 AWS [共有モデル](#)、AWS エンドユーザーメッセージング SMS でのデータ保護に適用されます。このモデルで説明されているように、AWS はすべての を実行するグローバルインフラストラクチャを保護する責任があります AWS クラウド。ユーザーは、このインフラストラクチャでホストされるコンテンツに対する管理を維持する責任があります。また、使用する「AWS のサービス」のセキュリティ設定と管理タスクもユーザーの責任となります。データプライバシーの詳細については、[データプライバシーに関するよくある質問](#)を参照してください。欧州でのデータ保護の詳細については、AWS セキュリティブログに投稿された「[AWS 責任共有モデルおよび GDPR](#)」のブログ記事を参照してください。

データ保護の目的で、認証情報を保護し AWS アカウント、AWS IAM アイデンティティセンターまたは AWS Identity and Access Management (IAM) を使用して個々のユーザーを設定することをお勧めします。この方法により、それぞれのジョブを遂行するために必要な権限のみが各ユーザーに付与されます。また、次の方法でデータを保護することもお勧めします:

- 各アカウントで多要素認証 (MFA) を使用します。
- SSL/TLS を使用して AWS リソースと通信します。TLS 1.2 は必須ですが、TLS 1.3 を推奨します。
- で API とユーザーアクティビティのログ記録を設定します AWS CloudTrail。CloudTrail 証跡を使用して AWS アクティビティをキャプチャする方法については、「AWS CloudTrail ユーザーガイド」の[CloudTrail 証跡の使用](#)を参照してください。
- AWS 暗号化ソリューションと、内のすべてのデフォルトのセキュリティコントロールを使用します AWS のサービス。
- Amazon Macie などの高度な管理されたセキュリティサービスを使用します。これらは、Amazon S3 に保存されている機密データの検出と保護を支援します。
- コマンドラインインターフェイスまたは API AWS を介して にアクセスするときに FIPS 140-3 検証済み暗号化モジュールが必要な場合は、FIPS エンドポイントを使用します。利用可能な FIPS エンドポイントの詳細については、「[連邦情報処理規格 \(FIPS\) 140-3](#)」を参照してください。

お客様の E メールアドレスなどの極秘または機密情報を、タグ、または [名前] フィールドなどの自由形式のテキストフィールドに含めないことを強くお勧めします。これは、コンソール、API、または SDK を使用して AWS エンドユーザーメッセージング SMS AWS CLI または他の AWS のサービスを使用する場合も同様です。AWS SDKs タグ、または名前に使用される自由記述のテキスト

フィールドに入力したデータは、請求または診断ログに使用される場合があります。外部サーバーに URL を提供する場合、そのサーバーへのリクエストを検証できるように、認証情報を URL に含めないことを強くお勧めします。

データ暗号化

AWS エンドユーザーメッセージング SMS データは、転送中および AWS 境界内で保管中に暗号化されます。AWS エンドユーザーメッセージング SMS にデータを送信すると、受信時にデータが暗号化され、保存されます。AWS エンドユーザーメッセージング SMS からデータを取得すると、現在のセキュリティプロトコルを使用してデータが送信されます。AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して外部モバイルデバイスに SMS メッセージを送信する場合、データは SMS プロトコルを介して AWS 境界外に転送され、SMS の技術的な制限が適用されます。

保管中の暗号化

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、AWS 境界内に保存するすべてのデータを暗号化します。これには、設定データ、登録データ、および AWS エンドユーザーメッセージング SMS に追加するデータが含まれます。データを暗号化するために、AWS End User Messaging SMS は、サービスがユーザーに代わって所有および維持する internal AWS Key Management Service (AWS KMS) キーを使用します。これらのキーは定期的に更新されます。AWS KMSの詳細については、『[AWS Key Management Service デベロッパーガイド](#)』を参照してください。

転送中の暗号化

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、HTTPS と Transport Layer Security (TLS) 1.2 を使用してクライアントやアプリケーションと通信します。他の AWS サービスと通信するために、AWS End User Messaging SMS は HTTPS および TLS 1.2 を使用します。さらに、コンソール、AWS SDK、またはを使用して AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースを作成および管理する場合 AWS Command Line Interface、すべての通信は HTTPS および TLS 1.2 を使用して保護されます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して SMS メッセージを外部モバイルデバイスに送信すると、データは SMS プロトコルを介して AWS 境界外に転送されます。SMS プロトコルには、エンドツーエンド暗号化の欠如など、一部の固有の制限があり、これらはお客様のユースケースに関連している可能性があります。SMS の制限とセキュリティのベストプラクティスの詳細については、「[SMS プロトコルのセキュリティに関する考慮事項](#)」および「[SMS プロトコルセキュリティのベストプラクティス](#)」を参照してください。

エンドユーザーメッセージングの SMS メッセージ処理

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、顧客が選択した AWS リージョン内で SMS メッセージを処理して保存します。ただし、SMS メッセージ配信の最終段階は、AWS 制御の及ばない国際モバイルネットワークで動作します。SMS メッセージ配信で一般的なように、AWS が使用する SMS サービスプロバイダーは、ダウンストリームサービスプロバイダーを利用して SMS メッセージをグローバルにルーティングする場合があります。これらのダウンストリームサービスプロバイダーは、SMS メッセージのエンドユーザー受信者が同じリージョンにある場合でも、顧客が選択した AWS リージョンとは異なるリージョンのエンドポイントまたはネットワークを介して SMS メッセージをルーティングすることがあります。

キー管理

AWS エンドユーザーメッセージング SMS データを暗号化するために、AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、サービスがユーザーに代わって所有および維持する内部 AWS KMS キーを使用します。これらのキーは定期的に更新されます。独自のキー AWS KMS や他のキーをプロビジョニングして使用して、AWS エンドユーザーメッセージング SMS に保存するデータを暗号化することはできません。

ネットワーク間トラフィックのプライバシー

インターネットネットワークトラフィックのプライバシーとは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS とオンプレミスのクライアントとアプリケーション間、および AWS エンドユーザーメッセージング SMS と同じ 内の他の AWS リソース間の接続とトラフィックを保護することです AWS リージョン。以下の機能とプラクティスは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS のインターネットネットワークトラフィックのプライバシーを保護するのに役立ちます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS とオンプレミスクライアントおよびアプリケーション間のトラフィック

End AWS User Messaging SMS とオンプレミスネットワーク上のクライアントおよびアプリケーションとの間にプライベート接続を確立するには、を使用できます Direct Connect。これにより、標準の光ファイバーイーサネットケーブルを使用して、ネットワークを AWS Direct Connect 口ーションにリンクできます。ケーブルの一端はユーザーのルーターに接続します。もう 1 つのエンドは Direct Connect ルーターに接続されています。詳細については、「Direct Connectユーザーガイド」の「[What is Direct Connect ?](#)」(とは?)を参照してください。

公開された APIs を介して AWS エンドユーザーメッセージング SMS へのアクセスを保護するために、API コールの AWS エンドユーザーメッセージング SMS 要件に準拠することをお勧めします。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS では、クライアントが Transport Layer Security (TLS) 1.2 以降を使用する必要があります。また、クライアントは、Ephemeral Diffie-Hellman (DHE) や Elliptic Curve Diffie-Hellman Ephemeral (ECDHE) などの Perfect Forward Secrecy (PFS) を使用した暗号スイートもサポートしている必要があります。モードは、Java 7 以降など、最近のほとんどのシステムでサポートされています。

さらに、リクエストは、AWS アカウントの AWS Identity and Access Management (IAM) プリンシパルに関連付けられているアクセスキー ID とシークレットアクセスキーを使用して署名する必要があります。または、[AWS Security Token Service](#) (AWS STS) を使用して一時的なセキュリティ認証情報を生成し、リクエストに署名することもできます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS と他の AWS リソース間のトラフィック

AWS エンドユーザーメッセージング SMS と同じ AWS リージョン内の他の AWS リソース間の通信を保護するために、AWS エンドユーザーメッセージング SMS はデフォルトで HTTPS と TLS 1.2 を使用します。

AWS 境界外の SMS トラフィックについて

では AWS、データ保護を真剣に受け止めています。当社では、クラウド環境内に保存および処理するデータを保護するため、さまざまなセキュリティ対策を実施しています。ただし、データが AWS の境界を離れて外部の関係者によって処理や送信が行われると、保護レベルが変わってくる場合があることを理解することが重要です。

SMS プロトコルは暗号化をサポートしていません。SMS メッセージを送信するには AWS、SMS メッセージを AWS 境界外に送信する必要があり、SMS メッセージが end-to-end で暗号化されることはありません。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 用のインターフェイス VPC エンドポイントの作成

インターフェイス VPC エンドポイントを作成することで、AWS エンドユーザーメッセージング SMS の仮想プライベートクラウド (VPC) とエンドポイントの間にプライベート接続を確立できます。

インターフェイスエンドポイントは、インターネットゲートウェイ [AWS PrivateLink](#)、NAT デバイス、VPN 接続、または なしで AWS End User Messaging SMS APIs にプライベートにアクセスできるテクノロジーである [Direct Connect](#) を利用しています。VPC 内のインスタンスは、と統合されている AWS エンドユーザーメッセージング SMS APIs と通信するためにパブリック IP アドレスを必要としません AWS PrivateLink。

詳細については、「[AWS PrivateLink ガイド](#)」を参照してください。

インターフェイス VPC エンドポイントの作成

Amazon VPC コンソールまたは AWS Command Line Interface (AWS CLI) を使用して、インターフェイスエンドポイントを作成できます。詳細については、「AWS PrivateLink ガイド」の「[インターフェイスエンドポイントの作成](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、次のサービス名をサポートしています。

- `com.amazonaws.region.sms-voice`

インターフェイスエンドポイントのプライベート DNS を有効にすると、などのデフォルトの DNS 名を使用して AWS リージョン、AWS エンドユーザーメッセージング SMS に API リクエストを行うことができます `com.amazonaws.us-east-1.sms-voice`。詳細については、「AWS PrivateLink ガイド」の「[DNS ホスト名](#)」を参照してください。

VPC エンドポイントポリシーの作成

VPC エンドポイントには、アクセスを制御するエンドポイントポリシーをアタッチできます。このポリシーでは、以下の情報を指定します。

- アクションを実行できるプリンシパル。
- 実行可能なアクション。
- アクションを実行できるリソース。

詳細については、「AWS PrivateLink ガイド」の「[Control access to services using endpoint policies \(エンドポイントポリシーを使用してサービスへのアクセスをコントロールする\)](#)」を参照してください。

例: VPC エンドポイントポリシー

次の VPC エンドポイントポリシーは、すべてのリソースのすべてのプリンシパルに対して、リストされている AWS エンドユーザーメッセージング SMS アクションへのアクセスを許可します。

```
{
  "Statement": [
    {
      "Principal": "*",
      "Action": [
```

```
    "sms-voice:*"  
  ],  
  "Effect": "Allow",  
  "Resource": "*"   
}  
]  
}
```

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の ID とアクセスの管理

AWS Identity and Access Management (IAM) は、管理者が AWS リソースへのアクセスを安全に制御 AWS のサービス するのに役立つ です。IAM 管理者は、誰を認証 (サインイン) し、誰に AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースの使用を許可する (アクセス許可を付与する) かを制御します。IAM は、追加料金なしで AWS のサービス 使用できる です。

トピック

- [オーディエンス](#)
- [アイデンティティを使用した認証](#)
- [ポリシーを使用したアクセスの管理](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS と IAM の連携方法](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)
- [AWS AWS エンドユーザーメッセージング SMS の マネージドポリシー](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS のサービスにリンクされたロールの使用](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS アイデンティティとアクセスのトラブルシューティング](#)
- [AWS IAM ポリシーのエンドユーザーメッセージング SMS アクション](#)

オーディエンス

AWS Identity and Access Management (IAM) の使用方法は、ロールによって異なります。

- サービスユーザー - 機能にアクセスできない場合は、管理者にアクセス許可をリクエストします (「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS アイデンティティとアクセスのトラブルシューティング](#)」を参照)。
- サービス管理者 - ユーザーアクセスを決定し、アクセス許可リクエストを送信します (「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS と IAM の連携方法](#)」を参照)

- IAM 管理者 - アクセスを管理するためのポリシーを作成します (「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)」を参照)

アイデンティティを使用した認証

認証とは、ID 認証情報 AWS を使用して にサインインする方法です。、IAM ユーザー AWS アカウントのルートユーザー、または IAM ロールを引き受けることで認証される必要があります。

AWS IAM アイデンティティセンター (IAM Identity Center)、シングルサインオン認証、Google/Facebook 認証情報などの ID ソースからの認証情報を使用して、フェデレーテッド ID としてサインインできます。サインインの詳細については、「AWS サインイン ユーザーガイド」の「[AWS アカウントにサインインする方法](#)」を参照してください。

プログラムによるアクセスの場合、は SDK と CLI AWS を提供してリクエストを暗号化して署名します。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[API リクエストに対するAWS 署名バージョン 4](#)」を参照してください。

AWS アカウント ルートユーザー

を作成するときは AWS アカウント、すべての AWS のサービス および リソースへの完全なアクセス権を持つ AWS アカウント ルートユーザーと呼ばれる 1 つのサインインアイデンティティから始めます。日常的なタスクには、ルートユーザーを使用しないことを強くお勧めします。ルートユーザー認証情報を必要とするタスクについては、「IAM ユーザーガイド」の「[ルートユーザー認証情報が必要なタスク](#)」を参照してください。

フェデレーテッドアイデンティティ

ベストプラクティスとして、人間のユーザーが一時的な認証情報 AWS のサービス を使用して にアクセスするには、ID プロバイダーとのフェデレーションを使用する必要があります。

フェデレーテッド ID は、エンタープライズディレクトリ、ウェブ ID プロバイダー、または ID Directory Service ソースの認証情報 AWS のサービス を使用して にアクセスするユーザーです。フェデレーテッドアイデンティティは、一時的な認証情報を提供するロールを引き受けます。

アクセスを一元管理する場合は、AWS IAM アイデンティティセンターをお勧めします。詳細については、「AWS IAM アイデンティティセンター ユーザーガイド」の「[IAM アイデンティティセンターとは](#)」を参照してください。

IAM ユーザーとグループ

[IAM ユーザー](#)は、特定の個人やアプリケーションに対する特定のアクセス許可を持つアイデンティティです。長期認証情報を持つ IAM ユーザーの代わりに一時的な認証情報を使用することをお勧めします。詳細については、IAM ユーザーガイドの「[ID プロバイダーとのフェデレーションを使用してアクセスする必要がある AWS](#)」を参照してください。

[IAM グループ](#)は、IAM ユーザーの集合を指定し、大量のユーザーに対するアクセス許可の管理を容易にします。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ユーザーに関するユースケース](#)」を参照してください。

IAM ロール

[IAM ロール](#)は、特定のアクセス許可を持つアイデンティティであり、一時的な認証情報を提供します。[ユーザーから IAM ロール \(コンソール\) に切り替えるか、または API オペレーションを呼び出すことで、ロールを引き受けることができます。](#) AWS CLI AWS 詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[ロールを引き受けるための各種方法](#)」を参照してください。

IAM ロールは、フェデレーションユーザーアクセス、一時的な IAM ユーザーのアクセス許可、クロスアカウントアクセス、クロスサービスアクセス、および Amazon EC2 で実行するアプリケーションに役立ちます。詳細については、IAM ユーザーガイドの「[IAM でのクロスアカウントリソースアクセス](#)」を参照してください。

ポリシーを使用したアクセスの管理

でアクセスを制御する AWS には、ポリシーを作成し、ID AWS またはリソースにアタッチします。ポリシーは、アイデンティティまたはリソースに関連付けられたときにアクセス許可を定義します。は、プリンシパルがリクエストを行うときにこれらのポリシー AWS を評価します。ほとんどのポリシーは JSON ドキュメント AWS として保存されます。JSON ポリシードキュメントの詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[JSON ポリシー概要](#)」を参照してください。

管理者は、ポリシーを使用して、どのプリンシパルがどのリソースに対して、どのような条件でアクションを実行できるかを定義することで、誰が何にアクセスできるかを指定します。

デフォルトでは、ユーザーやロールにアクセス許可はありません。IAM 管理者は IAM ポリシーを作成してロールに追加し、このロールをユーザーが引き受けられるようにします。IAM ポリシーは、オペレーションの実行方法を問わず、アクセス許可を定義します。

アイデンティティベースのポリシー

アイデンティティベースのポリシーは、アイデンティティ (ユーザー、グループ、またはロール) にアタッチできる JSON アクセス許可ポリシードキュメントです。これらのポリシーは、アイデンティティがどのリソースに対してどのような条件下でどのようなアクションを実行できるかを制御します。アイデンティティベースポリシーの作成方法については、IAM ユーザーガイドの [カスタマー管理ポリシーでカスタム IAM アクセス許可を定義する](#) を参照してください。

アイデンティティベースのポリシーは、インラインポリシー (単一の ID に直接埋め込む) または管理ポリシー (複数の ID にアタッチされたスタンドアロンポリシー) にすることができます。管理ポリシーとインラインポリシーのいずれかを選択する方法については、「IAM ユーザーガイド」の「[管理ポリシーとインラインポリシーのいずれかを選択する](#)」を参照してください。

リソースベースのポリシー

リソースベースのポリシーは、リソースに添付する JSON ポリシードキュメントです。例としては、IAM ロール信頼ポリシーや Amazon S3 バケットポリシーなどがあります。リソースベースのポリシーをサポートするサービスでは、サービス管理者はポリシーを使用して特定のリソースへのアクセスを制御できます。リソースベースのポリシーでは、[プリンシパルを指定する](#)必要があります。

リソースベースのポリシーは、そのサービス内にあるインラインポリシーです。リソースベースのポリシーでは、IAM の AWS マネージドポリシーを使用できません。

その他のポリシータイプ

AWS は、より一般的なポリシータイプによって付与されるアクセス許可の上限を設定できる追加のポリシータイプをサポートしています。

- アクセス許可の境界 – アイデンティティベースのポリシーで IAM エンティティに付与することのできるアクセス許可の数の上限を設定します。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM エンティティのアクセス許可境界](#)」を参照してください。
- サービスコントロールポリシー (SCP) - AWS Organizations内の組織または組織単位の最大のアクセス許可を指定します。詳細については、「AWS Organizations ユーザーガイド」の「[サービスコントロールポリシー](#)」を参照してください。
- リソースコントロールポリシー (RCP) – は、アカウント内のリソースで利用できる最大数のアクセス許可を定義します。詳細については、「AWS Organizations ユーザーガイド」の「[リソースコントロールポリシー \(RCP\)](#)」を参照してください。

- セッションポリシー – ロールまたはフェデレーションユーザーの一時セッションを作成する際にパラメータとして渡される高度なポリシーです。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[セッションポリシー](#)」を参照してください。

複数のポリシータイプ

1 つのリクエストに複数のタイプのポリシーが適用されると、結果として作成されるアクセス許可を理解するのがさらに難しくなります。が複数のポリシータイプが関与する場合にリクエストを許可するかどうか AWS を決定する方法については、「IAM ユーザーガイド」の「[ポリシー評価ロジック](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS と IAM の連携方法

IAM を使用して AWS エンドユーザーメッセージング SMS へのアクセスを管理する前に、AWS エンドユーザーメッセージング SMS で使用できる IAM 機能を確認してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS で使用できる IAM 機能

IAM 機能	AWS エンドユーザーメッセージング SMS サポート
アイデンティティベースのポリシー	あり
リソースベースのポリシー	なし
ポリシーアクション	あり
ポリシーリソース	あり
ポリシー条件キー	あり
ACL	なし
ABAC (ポリシー内のタグ)	部分的
一時認証情報	あり
転送アクセスセッション (FAS)	いいえ
サービスロール	あり

IAM 機能	AWS エンドユーザーメッセージング SMS サポート
サービスリンクロール	はい

AWS エンドユーザーメッセージング SMS およびその他の AWS のサービスがほとんどの IAM 機能と連携する方法の概要については、IAM ユーザーガイドの[AWS「IAM と連携する のサービス」](#)を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のアイデンティティベースのポリシー

アイデンティティベースのポリシーのサポート: あり

アイデンティティベースポリシーは、IAM ユーザー、ユーザーグループ、ロールなど、アイデンティティにアタッチできる JSON 許可ポリシードキュメントです。これらのポリシーは、ユーザーとロールが実行できるアクション、リソース、および条件をコントロールします。アイデンティティベースポリシーの作成方法については、「IAM ユーザーガイド」の「[カスタマー管理ポリシーでカスタム IAM アクセス許可を定義する](#)」を参照してください。

IAM アイデンティティベースのポリシーでは、許可または拒否するアクションとリソース、およびアクションを許可または拒否する条件を指定できます。JSON ポリシーで使用できるすべての要素について学ぶには、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM JSON ポリシーの要素のリファレンス](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のアイデンティティベースのポリシーの例

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 内のリソースベースのポリシー

リソースベースのポリシーのサポート: なし

リソースベースのポリシーは、リソースに添付する JSON ポリシードキュメントです。リソースベースのポリシーには例として、IAM ロールの信頼ポリシー や Amazon S3 バケットポリシー があげられます。リソースベースのポリシーをサポートするサービスでは、サービス管理者はポリシーを使用して特定のリソースへのアクセスをコントロールできます。ポリシーがアタッチされているリソースの場合、指定されたプリンシパルがそのリソースに対して実行できるアクションと条件は、ポ

リシーによって定義されます。リソーススペースのポリシーで、[プリンシパルを指定する](#)必要があります。プリンシパルには、アカウント、ユーザー、ロール、フェデレーティッドユーザー、または を含めることができます AWS のサービス。

クロスアカウントアクセスを有効にするには、全体のアカウント、または別のアカウントの IAM エンティティを、リソーススペースのポリシーのプリンシパルとして指定します。詳細については、IAM ユーザーガイドの [IAM でのクロスアカウントリソースアクセス](#) を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のポリシーアクション

ポリシーアクションのサポート: あり

管理者は JSON AWS ポリシーを使用して、誰が何にアクセスできるかを指定できます。つまり、どのプリンシパルがどのリソースに対してどのような条件下でアクションを実行できるかということです。

JSON ポリシーの Action 要素にはポリシー内のアクセスを許可または拒否するために使用できるアクションが記述されます。このアクションは関連付けられたオペレーションを実行するためのアクセス許可を付与するポリシーで使用されます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アクションのリストを確認するには、「サービス認可リファレンス」の[AWS「エンドユーザーメッセージング SMS で定義されるアクション」](#)を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のポリシーアクションは、アクションの前に次のプレフィックスを使用します。

sms-voice

単一のステートメントで複数のアクションを指定するには、アクションをカンマで区切ります。

```
"Action": [
    "sms-voice:action1",
    "sms-voice:action2"
]
```

ワイルドカード (*) を使用して複数アクションを指定できます。例えば、Describe という単語で始まるすべてのアクションを指定するには次のアクションを含めます。


```
"Action": "sms-voice:Describe*"
```

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アクションのリストを確認するには、IAM ユーザーガイドの[AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS で定義されるアクション」](#)を参照してください。

ただしベストプラクティスとして、最小特権 の原則に準拠したポリシーを作成してください。つまり、特定のアクションを実行するために必要なアクセス許可のみが含まれたポリシーを作成します。

IAM ポリシーで利用できる AWS エンドユーザーメッセージング SMS アクションのリストについては、「」を参照してください[AWS IAM ポリシーのエンドユーザーメッセージング SMS アクション](#)。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のポリシーリソース

ポリシーリソースのサポート: あり

管理者は JSON AWS ポリシーを使用して、誰が何にアクセスできるかを指定できます。つまり、どのプリンシパルがどのリソースに対してどのような条件下でアクションを実行できるかということです。

Resource JSON ポリシー要素はアクションが適用されるオブジェクトを指定します。ベストプラクティスとして、[Amazon リソースネーム \(ARN\)](#) を使用してリソースを指定します。リソースレベルのアクセス許可をサポートしないアクションの場合は、ステートメントがすべてのリソースに適用されることを示すために、ワイルドカード (*) を使用します。

```
"Resource": "*"
```

AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースタイプとその ARNs[AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS で定義されるリソース」](#)を参照してください。各リソースの ARN を指定できるアクションについては、[AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS で定義されるアクション」](#)を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

リソースを作成するための特定のアクションなど、一部の AWS エンドユーザーメッセージング SMS アクションは、特定のリソースで実行できません。このような場合は、ワイルドカード (*) を使用する必要があります。

```
"Resource": "*"
```

IAM ポリシーでは、次のタイプの SMS および音声リソースに対しても ARN を指定できます。

- 設定セット
- オプトアウトリスト
- 電話番号
- プール
- 登録
- 登録アタッチメント
- 送信者 ID
- 検証済み送信先電話番号

例えば、電話番号 ID が phone-12345678901234567890123456789012 の電話番号についてポリシーステートメントを作成するには、次の ARN を使用します。

```
"Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:123456789012:phone-number/  
phone-12345678901234567890123456789012"
```

特定のアカウントに属するすべての電話番号を指定するには、電話番号 ID の代わりにワイルドカード (*) を使用します。

```
"Resource": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:123456789012:phone-number/*"
```

一部の AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声アクションは、支出制限などのアカウントレベルの設定を管理するためのアクションなど、特定のリソースでは実行されません。このような場合は、ワイルドカード (*) を使用する必要があります。

```
"Resource": "*"
```

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のポリシー条件キー

サービス固有のポリシー条件キーのサポート: あり

管理者は JSON AWS ポリシーを使用して、誰が何にアクセスできるかを指定できます。つまり、どのプリンシパルがどのリソースに対してどのような条件下でアクションを実行できるかということです。

Condition 要素は、定義された基準に基づいてステートメントが実行される時期を指定します。イコールや未満などの[条件演算子](#)を使用して条件式を作成して、ポリシーの条件とリクエスト内の値を一致させることができます。すべての AWS グローバル条件キーを確認するには、IAM ユーザーガイドの[AWS 「グローバル条件コンテキストキー」](#)を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS 条件キーのリストを確認するには、「サービス認可リファレンス」の[AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS の条件キー」](#)を参照してください。条件キーを使用できるアクションとリソースについては、[AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS で定義されるアクション」](#)を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アイデンティティベースのポリシーの例を表示するには、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、独自の条件キーのセットを定義し、いくつかのグローバル条件キーもサポートしています。すべての AWS グローバル条件キーのリストを確認するには、IAM ユーザーガイドの[AWS 「グローバル条件コンテキストキー」](#)を参照してください。AWS エンドユーザーメッセージング SMS 条件キーのリストを確認するには、IAM ユーザーガイドの[AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS の条件キー」](#)を参照してください。条件キーを使用できるアクションとリソースについては、IAM ユーザーガイドの[AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS で定義されるアクション」](#)を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS ACLs

ACL のサポート: なし

アクセスコントロールリスト (ACL) は、どのプリンシパル (アカウントメンバー、ユーザー、またはロール) がリソースにアクセスするためのアクセス許可を持つかを制御します。ACL はリソースベースのポリシーに似ていますが、JSON ポリシードキュメント形式は使用しません。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した ABAC

ABAC (ポリシー内のタグ) のサポート: 一部

属性ベースのアクセスコントロール (ABAC) は、タグと呼ばれる属性に基づいてアクセス許可を定義する認可戦略です。IAM エンティティと AWS リソースにタグをアタッチし、プリンシパルのタグ

ガリソースのタグと一致するときにオペレーションを許可するように ABAC ポリシーを設計できます。

タグに基づいてアクセスを管理するには、`aws:ResourceTag/key-name`、`aws:RequestTag/key-name`、または `aws:TagKeys` の条件キーを使用して、ポリシーの [条件要素](#) でタグ情報を提供します。

サービスがすべてのリソースタイプに対して 3 つの条件キーすべてをサポートする場合、そのサービスの値はありです。サービスが一部のリソースタイプに対してのみ 3 つの条件キーのすべてをサポートする場合、値は「部分的」になります。

ABAC の詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[ABAC 認可でアクセス許可を定義する](#)」を参照してください。ABAC をセットアップする手順を説明するチュートリアルについては、「IAM ユーザーガイド」の「[属性ベースのアクセスコントロール \(ABAC\) を使用する](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS での一時的な認証情報の使用

一時的な認証情報のサポート: あり

一時的な認証情報は、AWS リソースへの短期的なアクセスを提供し、フェデレーションまたはスイッチロールの使用時に自動的に作成されます。長期的なアクセスキーを使用する代わりに、一時的な認証情報を動的に生成 AWS することをお勧めします。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM の一時的な認証情報](#)」および「[AWS のサービスと IAM との連携](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の転送アクセスセッション

転送アクセスセッション (FAS) のサポート: なし

転送アクセスセッション (FAS) は、 を呼び出すプリンシパルのアクセス許可と AWS のサービス、ダウストリームサービス AWS のサービス へのリクエストをリクエストする を使用します。FAS リクエストを行う際のポリシーの詳細については、「[転送アクセスセッション](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のサービスロール

サービスロールのサポート: あり

サービスロールとは、サービスがユーザーに代わってアクションを実行するために引き受ける [IAM ロール](#) です。IAM 管理者は、IAM 内からサービスロールを作成、変更、削除できます。詳細につい

では、IAM ユーザーガイドの [AWS のサービスに許可を委任するロールを作成する](#) を参照してください。

⚠ Warning

サービスロールのアクセス許可を変更すると、AWS エンドユーザーメッセージング SMS 機能が破損する可能性があります。AWS エンドユーザーメッセージング SMS が指示する場合にのみ、サービスロールを編集します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のサービスにリンクされたロール

サービスリンクロールのサポート: あり

サービスにリンクされたロールは、にリンクされたサービスロールの一種です AWS のサービス。サービスは、ユーザーに代わってアクションを実行するロールを引き受けることができます。サービスにリンクされたロールは に表示され AWS アカウント、サービスによって所有されます。IAM 管理者は、サービスにリンクされたロールのアクセス許可を表示できますが、編集することはできません。

サービスにリンクされたロールの作成または管理の詳細については、「[IAM と提携するAWS のサービス](#)」を参照してください。表の「サービスリンクロール」列に Yes と記載されたサービスを見つけます。サービスにリンクされたロールに関するドキュメントをサービスで表示するには、[はい] リンクを選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のアイデンティティベースのポリシーの例

デフォルトでは、ユーザーとロールには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースを作成または変更するアクセス許可はありません。IAM 管理者は、リソースで必要なアクションを実行するための権限をユーザーに付与する IAM ポリシーを作成できます。

これらのサンプルの JSON ポリシードキュメントを使用して IAM アイデンティティベースのポリシーを作成する方法については、「IAM ユーザーガイド」の「[IAM ポリシーを作成する \(コンソール\)](#)」を参照してください。

各リソースタイプの ARN の形式など、AWS エンドユーザーメッセージング SMS で定義されるアクションとリソースタイプの詳細については、「サービス認可リファレンス」の[AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS のアクション、リソース、および条件キー」](#)を参照してください。ARNs

トピック

- [ポリシーに関するベストプラクティス](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールの使用](#)
- [自分の権限の表示をユーザーに許可する](#)
- [例: AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API アクションへのアクセスを提供する](#)
- [Kinesis にイベントをストリーミングするための IAM ロール](#)

ポリシーに関するベストプラクティス

ID ベースのポリシーは、アカウント内で AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースを作成、アクセス、または削除できるかどうかを決定します。これらのアクションでは、AWS アカウントに費用が発生する場合があります。アイデンティティベースポリシーを作成したり編集したりする際には、以下のガイドラインと推奨事項に従ってください:

- AWS 管理ポリシーを開始し、最小特権のアクセス許可に移行する – ユーザーとワークロードにアクセス許可の付与を開始するには、多くの一般的なユースケースにアクセス許可を付与する AWS 管理ポリシーを使用します。これらはで使用できます AWS アカウント。ユースケースに固有の AWS カスタマー管理ポリシーを定義することで、アクセス許可をさらに減らすことをお勧めします。詳細については、IAM ユーザーガイドの [AWS マネージドポリシー](#) または [ジョブ機能の AWS マネージドポリシー](#) を参照してください。
- 最小特権を適用する – IAM ポリシーでアクセス許可を設定する場合は、タスクの実行に必要な許可のみを付与します。これを行うには、特定の条件下で特定のリソースに対して実行できるアクションを定義します。これは、最小特権アクセス許可とも呼ばれています。IAM を使用して許可を適用する方法の詳細については、IAM ユーザーガイドの [IAM でのポリシーとアクセス許可](#) を参照してください。
- IAM ポリシーで条件を使用してアクセスをさらに制限する – ポリシーに条件を追加して、アクションやリソースへのアクセスを制限できます。たとえば、ポリシー条件を記述して、すべてのリクエストを SSL を使用して送信するように指定できます。条件を使用して、サービスアクションがなどの特定のを通じて使用されている場合に AWS のサービス、サービスアクションへのアクセスを許可することもできます CloudFormation。詳細については、IAM ユーザーガイドの [IAM JSON ポリシー要素:条件](#) を参照してください。
- IAM アクセスアナライザーを使用して IAM ポリシーを検証し、安全で機能的な権限を確保する – IAM アクセスアナライザーは、新規および既存のポリシーを検証して、ポリシーが IAM ポリシー言語 (JSON) および IAM のベストプラクティスに準拠するようにします。IAM アクセスアナライ

ザーは 100 を超えるポリシーチェックと実用的な推奨事項を提供し、安全で機能的なポリシーの作成をサポートします。詳細については、IAM ユーザーガイドの [IAM Access Analyzer でポリシーを検証する](#) を参照してください。

- 多要素認証 (MFA) を要求する – で IAM ユーザーまたはルートユーザーを必要とするシナリオがある場合は AWS アカウント、MFA をオンにしてセキュリティを強化します。API オペレーションが呼び出されるときに MFA を必須にするには、ポリシーに MFA 条件を追加します。詳細については、IAM ユーザーガイドの [MFA を使用した安全な API アクセス](#) を参照してください。

IAM でのベストプラクティスの詳細については、IAM ユーザーガイドの [IAM でのセキュリティのベストプラクティス](#) を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールの使用

AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールにアクセスするには、最小限のアクセス許可のセットが必要です。これらのアクセス許可により、の AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースの詳細を一覧表示および表示できます AWS アカウント。最小限必要な許可よりも制限が厳しいアイデンティティベースのポリシーを作成すると、そのポリシーを持つエンティティ (ユーザーまたはロール) に対してコンソールが意図したとおりに機能しません。

AWS CLI または AWS API のみを呼び出すユーザーには、最小限のコンソールアクセス許可を付与する必要はありません。代わりに、実行しようとしている API オペレーションに一致するアクションのみへのアクセスが許可されます。

ユーザーとロールが引き続き AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールを使用できるようにするには、エンティティに AWS エンドユーザーメッセージング SMS *ConsoleAccess* または *ReadOnly* AWS 管理ポリシーもアタッチします。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[ユーザーへのアクセス許可の追加](#)」を参照してください。

自分の権限の表示をユーザーに許可する

この例では、ユーザーアイデンティティにアタッチされたインラインおよびマネージドポリシーの表示を IAM ユーザーに許可するポリシーの作成方法を示します。このポリシーには、コンソールで、または AWS CLI または AWS API を使用してプログラムでこのアクションを実行するアクセス許可が含まれています。

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
```

```

        "Sid": "ViewOwnUserInfo",
        "Effect": "Allow",
        "Action": [
            "iam:GetUserPolicy",
            "iam:ListGroupsForUser",
            "iam:ListAttachedUserPolicies",
            "iam:ListUserPolicies",
            "iam:GetUser"
        ],
        "Resource": ["arn:aws:iam::*:user/${aws:username}"]
    },
    {
        "Sid": "NavigateInConsole",
        "Effect": "Allow",
        "Action": [
            "iam:GetGroupPolicy",
            "iam:GetPolicyVersion",
            "iam:GetPolicy",
            "iam:ListAttachedGroupPolicies",
            "iam:ListGroupPolicies",
            "iam:ListPolicyVersions",
            "iam:ListPolicies",
            "iam:ListUsers"
        ],
        "Resource": "*"
    }
]
}

```

例: AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API アクションへのアクセスを提供する

このセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API から利用可能な機能へのアクセスを許可するポリシーの例を示します。これは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS で SMS チャネルと音声チャネルを使用および管理するための高度なオプションを提供する補足 API です。この API の詳細については、「[AWS End User Messaging SMS および音声 v2 API リファレンス](#)」を参照してください。

読み取り専用アクセス

次のポリシー例では、AWS アカウント内のすべての AWS End User Messaging SMS および Voice v2 API アクションとリソースへの読み取り専用アクセスを許可します。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "SMSVoiceReadOnly",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "sms-voice:List*",
        "sms-voice:DescribeAccountAttributes",
        "sms-voice:DescribeAccountLimits",
        "sms-voice:DescribeConfigurationSets",
        "sms-voice:DescribeKeywords",
        "sms-voice:DescribeOptedOutNumbers",
        "sms-voice:DescribeOptOutLists",
        "sms-voice:DescribePhoneNumbers",
        "sms-voice:DescribePools",
        "sms-voice:DescribeRegistrationAttachments",
        "sms-voice:DescribeRegistrationFieldDefinitions",
        "sms-voice:DescribeRegistrations",
        "sms-voice:DescribeRegistrationSectionDefinitions",
        "sms-voice:DescribeRegistrationTypeDefinitions",
        "sms-voice:DescribeRegistrationVersions",
        "sms-voice:DescribeSenderId",
        "sms-voice:DescribeSpendLimits",
        "sms-voice:DescribeVerifiedDestinationNumbers"
      ],
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

管理者アクセス権

次のポリシー例では、AWS アカウント内のすべての AWS End User Messaging SMS および Voice v2 API アクションとリソースへのフルアクセスを許可します。

JSON

```
{
```

```
"Version": "2012-10-17",
"Statement": [
  {
    "Sid": "SMSVoiceFullAccess",
    "Effect": "Allow",
    "Action": [
      "sms-voice:*"
    ],
    "Resource": "*"
  }
]
```

Kinesis にイベントをストリーミングするための IAM ロール

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、アプリの使用状況データまたはイベントデータを、AWS アカウント内の Amazon Kinesis データストリームまたは Amazon Data Firehose 配信ストリームに自動的に送信できます。AWS エンドユーザーメッセージング SMS がイベントデータのストリーミングを開始する前に、必要なアクセス許可を AWS エンドユーザーメッセージング SMS に委任する必要があります。

コンソールを使用してイベントストリーミングを設定すると、AWS End User Messaging SMS は必要なアクセス許可を持つ AWS Identity and Access Management (IAM) ロールを自動的に作成します。

手動でロールを作成する場合は、次のポリシーをロールにアタッチします。

- End AWS User Messaging SMS がストリームにイベントデータを送信できるようにするアクセス許可ポリシー。
- AWS エンドユーザーメッセージング SMS がロールを引き受けることを許可する信頼ポリシー。

ロールを作成したら、ストリームにイベントを自動的に送信するように AWS エンドユーザーメッセージング SMS を設定できます。詳細については、このガイドの「[AWS エンドユーザーメッセージング SMS で Amazon Data Firehose イベント送信先を設定する](#)」を参照してください。

AWS AWS エンドユーザーメッセージング SMS の マネージドポリシー

AWS 管理ポリシーは、によって作成および管理されるスタンドアロンポリシーです AWS。AWS 管理ポリシーは、ユーザー、グループ、ロールにアクセス許可の割り当てを開始できるように、多くの一般的なユースケースにアクセス許可を付与するように設計されています。

AWS 管理ポリシーは、すべての AWS お客様が使用できるため、特定のユースケースに対して最小特権のアクセス許可を付与しない場合があることに注意してください。ユースケースに固有の [カスタム管理ポリシー](#) を定義して、アクセス許可を絞り込むことをお勧めします。

AWS 管理ポリシーで定義されているアクセス許可は変更できません。が AWS マネージドポリシーで定義されたアクセス許可 AWS を更新すると、ポリシーがアタッチされているすべてのプリンシパル ID (ユーザー、グループ、ロール) に影響します。AWS は、新しい が起動されるか、新しい API オペレーション AWS のサービス が既存のサービスで使えるようになったときに、AWS マネージドポリシーを更新する可能性が最も高くなります。

詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[AWS マネージドポリシー](#)」を参照してください。

AWS マネージドポリシー: SMSVoiceServiceRolePolicy

このポリシーは、ユーザーに代わってサービスがアクションを実行することを許可する、サービスリンクロールにアタッチされます。ユーザー、グループおよびロールにこのポリシーはアタッチできません。

このポリシーにより、SMSVoice は AWS/SMSVoice CloudWatch 名前空間にメトリクスデータを配置できます。

このポリシーの詳細については、「[SMSVoiceServiceRolePolicy](#)」を参照してください。

AWS AWS マネージドポリシーへのエンドユーザーメッセージング SMS 更新

このサービスがこれらの変更の追跡を開始してからの AWS エンドユーザーメッセージング SMS の AWS マネージドポリシーの更新に関する詳細を表示します。このページの変更に関する自動アラートについては、AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS ドキュメント履歴」ページの RSS フィードにサブスクライブしてください。

変更	説明	日付
AWS エンドユーザーメッセージング SMS が変更の追跡を開始しました	AWS エンドユーザーメッセージング SMS は AWS 、管理ポリシーの変更の追跡を開始しました。	2024 年 11 月 15 日
SMSVoiceServiceRolePolicy - 新しいポリシー	このポリシーにより、SMSVoice は AWS/SMSVoice CloudWatch 名前空間にメトリクスデータを配置できます。 AWSServiceRoleForSMSVoice サービスリンクロールにこのポリシーを使用します。	2024 年 11 月 15 日

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のサービスにリンクされたロールの使用

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は AWS Identity and Access Management (IAM) [サービスにリンクされたロール](#)を使用します。サービスにリンクされたロールは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS に直接リンクされた一意のタイプの IAM ロールです。サービスにリンクされたロールは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS によって事前定義されており、サービスがユーザーに代わって他の AWS サービスを呼び出すために必要なすべてのアクセス許可が含まれています。

サービスにリンクされたロールを使用すると、必要なアクセス許可を手動で追加する必要がなくなるため、AWS エンドユーザーメッセージング SMS の設定が簡単になります。AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、サービスにリンクされたロールのアクセス許可を定義し、特に定義されている場合を除き、AWS エンドユーザーメッセージング SMS のみがそのロールを引き受けることができます。定義される許可は信頼ポリシーと許可ポリシーに含まれており、その許可ポリシーを他の IAM エンティティにアタッチすることはできません。

サービスリンクロールを削除するには、最初に関連リソースを削除する必要があります。これにより、AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースへのアクセス許可が誤って削除されるのを防ぐことができます。

サービスにリンクされたロールをサポートする他のサービスの詳細については、[AWS「IAM と連携するサービス」](#)を参照し、「サービスにリンクされたロール」列で「はい」があるサービスを探します。サービスリンクロールに関するドキュメントをサービスで表示するには、リンクで [はい] を選択します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のサービスにリンクされたロールのアクセス許可

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、AWSServiceRoleForSMSVoice という名前のサービスにリンクされたロールを使用します – SMSVoice がユーザーに代わって CloudWatch にメトリクスを発行できるようにします。

AWSServiceRoleForSMSVoice サービスリンクロールは、ロールの引き受けに以下のサービスを信頼します。

- sms-voice.amazonaws.com

SMSVoiceServiceRolePolicy という名前のロールアクセス許可ポリシーにより、AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、指定されたリソースに対して次のアクションを実行できます。

- アクション: cloudwatch:PutMetricData。対象リソース: any metric in the AWS/SMSVoice namespace

ユーザー、グループ、またはロールにサービスリンクロールの作成、編集、または削除を許可するには、アクセス許可を設定する必要があります。詳細についてはIAM ユーザーガイドの「[サービスにリンクされた役割のアクセス許可](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のサービスにリンクされたロールの作成

サービスリンクロールを手動で作成する必要はありません。

、CreateConfigurationSet、、、CreateOptOutListCreatePoolCreateProtectConfigurationまたは AWS マネジメントコンソール AWS CLI AWS API RequestSenderIdのいずれかのアクションを使用すると、AWS End User Messaging CreateRegistrationCreateRegistrationAttachment CreateVerifiedDestinationNumberSMS によってサービスにリンクされたロールが作成されます。

このサービスリンクロールを削除した後で再度作成する必要が生じた場合は同じ方法でアカウントにロールを再作成できます

す。CreateConfigurationSet、CreateOptOutList、CreatePool、CreateProtectConfigurati
または RequestSenderId のアクションを使用すると、AWS End User Messaging SMS はサービ
スリンクロールを作成します。

IAM コンソールを使用して、AWSEndUserMessagingSMS - メトリクス ユースケースにより、サー
ビスリンクロールを作成することもできます。AWS CLI または AWS API で、サービス名を使用
して sms-voice.amazonaws.com サービスにリンクされたロールを作成します。詳細について
は、IAM ユーザーガイドの「[サービスリンクロールの作成](#)」を参照してください。このサービスリ
ンクロールを削除しても、同じ方法でロールを再作成できます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のサービスにリンクされたロールの編集

AWS エンドユーザーメッセージング SMS では、AWSServiceRoleForSMSVoice サービスにリンク
されたロールを編集することはできません。サービスリンクロールの作成後は、さまざまなエンティ
ティがロールを参照する可能性があるため、ロール名を変更することはできません。ただし、IAM
を使用してロールの説明を編集することはできます。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の
「[サービスリンクロールの編集](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のサービスにリンクされたロールの削除

サービスリンクロールを必要とする機能やサービスが不要になった場合は、ロールを削除することをお勧めします。そうすることで、積極的にモニタリングまたは保守されていない未使用のエンティティを排除できます。ただし、手動で削除する前に、サービスリンクロールのリソースをクリーンアップする必要があります。

Note

リソースを削除しようとしたときに AWS エンドユーザーメッセージング SMS サービスが
ロールを使用している場合、削除が失敗する可能性があります。失敗した場合は数分待って
から操作を再試行してください。

AWSServiceRoleForSMSVoice で使用される AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースを
削除するには AWSServiceRoleForSMSVoice

1. 設定セット、登録、設定の保護、送信者 IDs、プール、ロングコードがなく、過去 30 日間に
AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用していないことを確認します。
2. iam DeleteServiceLinkedRole API を呼び出してロールを削除します。詳細については、「[サー
ビスリンクロールの削除](#)」を参照してください。

サービスリンクロールを IAM で手動削除するには

IAM コンソール、AWS CLI、または AWS API を使用して、AWSServiceRoleForSMSVoice サービスにリンクされたロールを削除します。詳細については、「IAM ユーザーガイド」の「[サービスにリンクされたロールの削除](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS サービスにリンクされたロールでサポートされているリージョン

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、サービスが利用可能なすべてのリージョンでサービスにリンクされたロールの使用をサポートしています。詳細については、「[AWS End User Messaging エンドポイントとクォータ](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アイデンティティとアクセスのトラブルシューティング

以下の情報は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS および IAM を使用する際に発生する可能性がある一般的な問題の診断と修正に役立ちます。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でアクションを実行する権限がない](#)
- [iam:PassRole を実行する権限がありません](#)
- [自分の 以外のユーザーに AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソース AWS アカウント へのアクセスを許可したい](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でアクションを実行する権限がない

アクションを実行する権限がないというエラーが表示された場合は、そのアクションを実行できるようにポリシーを更新する必要があります。

次のエラー例は、mateojackson IAM ユーザーがコンソールを使用して、ある *my-example-widget* リソースに関する詳細情報を表示しようとしたことを想定して、その際に必要な `sms-voice:GetWidget` アクセス許可を持っていない場合に発生するものです。

```
User: arn:aws:iam::123456789012:user/mateojackson is not authorized to perform: sms-voice:GetWidget on resource: my-example-widget
```


この場合、`sms-voice:GetWidget` アクションを使用して `my-example-widget` リソースへのアクセスを許可するように、`mateojackson` ユーザーのポリシーを更新する必要があります。

サポートが必要な場合は、AWS 管理者にお問い合わせください。サインイン認証情報を提供した担当者が管理者です。

iam:PassRole を実行する権限がありません

`iam:PassRole` アクションを実行する権限がないというエラーが表示された場合は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS にロールを渡すことができるようにポリシーを更新する必要があります。

一部の AWS のサービスでは、新しいサービスロールまたはサービスにリンクされたロールを作成する代わりに、既存のロールをそのサービスに渡すことができます。そのためには、サービスにロールを渡すアクセス許可が必要です。

次の例は、`marymajor` という IAM ユーザーがコンソールを使用して AWS End User Messaging SMS でアクションを実行しようとした場合に発生するエラーを示しています。ただし、このアクションをサービスが実行するには、サービスロールから付与されたアクセス許可が必要です。Mary には、ロールをサービスに渡すアクセス許可がありません。

```
User: arn:aws:iam::123456789012:user/marymajor is not authorized to perform:
iam:PassRole
```

この場合、Mary のポリシーを更新してメアリーに `iam:PassRole` アクションの実行を許可する必要があります。

サポートが必要な場合は、AWS 管理者にお問い合わせください。サインイン資格情報を提供した担当者が管理者です。

自分の 以外のユーザーに AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソース AWS アカウント へのアクセスを許可したい

他のアカウントのユーザーや組織外の人、リソースにアクセスするために使用できるロールを作成できます。ロールの引き受けを委託するユーザーを指定できます。リソースベースのポリシーまたはアクセスコントロールリスト (ACL) をサポートするサービスの場合、それらのポリシーを使用して、リソースへのアクセスを付与できます。

詳細については、以下を参照してください:

- AWS エンドユーザーメッセージング SMS がこれらの機能をサポートしているかどうかを確認するには、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS と IAM の連携方法](#)。
- 所有 AWS アカウント している のリソースへのアクセスを提供する方法については、IAM ユーザーガイドの「[所有 AWS アカウント している別の の IAM ユーザーへのアクセスを提供する](#)」を参照してください。
- リソースへのアクセスをサードパーティーに提供する方法については AWS アカウント、IAM ユーザーガイドの「[サードパーティーが所有する へのアクセスを提供する AWS アカウント](#)」を参照してください。
- ID フェデレーションを介してアクセスを提供する方法については、IAM ユーザーガイドの [外部で認証されたユーザー \(ID フェデレーション\) へのアクセスの許可](#) を参照してください。
- クロスアカウントアクセスにおけるロールとリソースベースのポリシーの使用法の違いについては、IAM ユーザーガイドの [IAM でのクロスアカウントのリソースへのアクセス](#) を参照してください。

AWS IAM ポリシーのエンドユーザーメッセージング SMS アクション

AWS アカウントの AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースへのアクセスを管理するには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS アクションを AWS Identity and Access Management (IAM) ポリシーに追加します。ポリシーでアクションを使用することで、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールでユーザーが実行できる操作を制御できます。また、AWS SDKs、AWS Command Line Interface (AWS CLI)、または AWS エンドユーザーメッセージング SMS APIs を直接使用して、ユーザーがプログラムで実行できる操作を制御できます。

このトピックでは、アカウントの AWS IAM ポリシーに追加できる AWS エンドユーザーメッセージング SMS アクションを示します。ポリシーでアクションを使用して AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースへのアクセスを管理する方法を示す例については、「」を参照してください[AWS エンドユーザーメッセージング SMS のアイデンティティベースのポリシーの例](#)。

トピック

- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API アクション](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API アクション

このセクションでは、AWS End User Messaging SMS および音声 v2 API から使用できる機能のアクションを示します。AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 v2 API は、SMS および音声チャネルを使用および管理するための高度なオプションを提供する API です。バージョン 2

で利用できるアクションの完全な一覧については、「[AWS End User Messaging SMS および音声 API バージョン 2 API リファレンス](#)」を参照してください。

sms-voice:AssociateOriginationIdentity

指定された発信元 ID をプールに関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountyCode`

sms-voice:AssociateProtectConfiguration

指定された保護設定を設定セットに関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:CreateConfigurationSet

新しい設定セットを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:CreateEventDestination

設定セット内に新しいイベント送信先を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:CreateOptOutList

新しいオプトアウトリストを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:CreatePool

新しいプールを作成し、指定された発信元 ID をプールに関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountyCode`

sms-voice:CreateProtectConfiguration

保護設定を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:CreateRegistration

登録を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:CreateRegistrationAssociation

登録を発信元 ID に関連付けます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:CreateRegistrationAttachment

登録のアタッチメントを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration-attachment/registrationAttachmentId`

sms-voice:CreateRegistrationVersion

登録の新しいバージョンを作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:CreateVerifiedDestinationNumber

検証済みの新しい送信先電話番号を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

sms-voice:DeleteAccountDefaultProtectConfiguration

アカウントのデフォルトの保護設定の関連付けを解除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DeleteConfigurationSet

既存の設定セットを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteDefaultMessageType

設定セット内の既存のデフォルトメッセージタイプを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteDefaultSenderId

設定セット内の既存のデフォルト送信者 ID を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteEventDestination

既存のイベント送信先を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DeleteKeyword

発信元電話番号またはプールから既存のキーワードを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:DeleteMediaMessageSpendLimitOverride

MMS メッセージ送信に関するアカウントレベルの月間使用限度のオーバーライドを削除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DeleteOptedOutNumber

指定されたオプトアウトリストから既存のオプトアウト済みの送信先電話番号を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DeleteOptOutList

既存のオプトアウトリストを削除します。オプトアウトリスト内のオプトアウト済み電話番号はすべて削除されます。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DeletePool

既存のプールを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:DeleteProtectConfiguration

保護設定を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:DeleteRegistration

登録の新しいバージョンを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DeleteRegistrationAttachment

登録のアタッチメントを削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration-attachment/registrationAttachmentId`

sms-voice:DeleteRegistrationFieldValue

登録フィールドから値を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

aws:voice:DeleteTextMessageSpendLimitOverride

テキストメッセージ送信に関するアカウントレベルの月間使用限度のオーバーライドを削除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

aws:voice:DeleteVerifiedDestinationNumber

検証済みの送信先電話番号を削除します。

- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:verified-destination-number/*verifiedDestinationNumberId*

aws:voice:DeleteVoiceMessageSpendLimitOverride

音声メッセージ送信に関するアカウントレベルの月間使用限度のオーバーライドを削除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

aws:voice:DescribeAccountAttributes

AWS アカウントの属性を記述します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

aws:voice:DescribeAccountLimits

アカウントの現在の AWS エンドユーザーメッセージング SMS および音声 V2 リソースクォータについて説明します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

aws:voice:DescribeConfigurationSets

指定された設定セットまたはアカウントのすべての設定セットを記述します。

- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:configuration-set/*configurationSetName*

aws:voice:DescribeKeywords

発信元電話番号またはプールの指定されたキーワードまたはすべてのキーワードを記述します。

- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:pool/*poolId*
- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:phone-number/*phoneNumberId*

sms-voice:DescribeOptedOutNumbers

指定されたオプトアウト済み送信先番号またはオプトアウトリスト内のすべてのオプトアウト済み宛先番号を記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DescribeOptOutLists

指定されたオプトアウトリストまたはアカウントのすべてのオプトアウトリストを記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:DescribePhoneNumbers

指定された発信元電話番号、またはアカウントのすべての電話番号を記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:DescribePools

指定されたプール、または AWS アカウントに関連付けられているすべてのプールを取得します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:DescribeProtectConfiguration

指定された保護設定を取得します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:DescribeRegistrationAttachments

すべての登録のアタッチメントを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration-attachment/registrationAttachmentId`

sms-voice:DescribeRegistrationFieldDefinitions

登録のフィールド定義を一覧表示します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeRegistrationFieldValues

登録のフィールド値を一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DescribeRegistrations

アカウントの登録を一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DescribeRegistrationSectionDefinitions

登録のセクション定義を一覧表示します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeRegistrationTypeDefinitions

登録のタイプ定義を一覧表示します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeRegistrationVersions

登録のバージョンを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:DescribeSenderId

指定された SenderId または AWS アカウントに関連付けられたすべての SenderId を記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:DescribeSpendLimits

音声およびテキストメッセージの送信に関する現在の AWS エンドユーザーメッセージング SMS の月額使用制限について説明します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:DescribeVerifiedDestinationNumbers

アカウントで検証済みの送信先電話番号を一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

sms-voice:DisassociateOriginationIdentity

指定された発信元 ID を既存のプールから削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:DisassociateProtectConfiguration

設定セットから保護設定の関連付けを解除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:DiscardRegistrationVersion

登録の最新バージョンを破棄します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:GetProtectConfigurationCountryRuleSet

保護設定の国ルールセットを取得する許可を付与します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:ListPoolOriginationIdentities

プール内の発信元電話番号を表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:ListRegistrationAssociations

登録に関連付けられているすべてのリソースを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:ListTagsForResource

リソースに関連付けられたタグを一覧表示します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:ProtectConfiguration

保護設定は、メッセージを送信できる送信先の国を制御します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:PutKeyword

発信元電話番号またはプールにキーワードを追加または更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:PutOptedOutNumber

送信先電話番号をオプトアウトリストに追加します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:opt-out-list/optOutListName`

sms-voice:PutRegistrationFieldValue

登録のフィールド値を更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:registration/registrationId`

sms-voice:ReleasePhoneNumber

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アカウントから発信元の電話番号を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:ReleaseSenderId

AWS エンドユーザーメッセージング SMS アカウントから送信者 ID を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:RequestPhoneNumber

アカウントへの発信元電話番号の追加をリクエストします。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:RequestSenderId

送信者 ID をリクエストします。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendDestinationNumberVerificationCode

SMS または音声メッセージ (確認コードを含む) を送信先電話番号に送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendMediaMessage

MMS メッセージを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendTextMessage

SMS メッセージを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:SendVoiceMessage

音声メッセージを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`
- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:SetAccountDefaultProtectConfiguration

アカウントの保護設定を設定します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:SetDefaultMessageType

SMS メッセージのデフォルトのメッセージタイプを設定します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:SetDefaultSenderId

音声メッセージのデフォルトの送信者 ID 値を設定します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:SetMediaMessageSpendLimitOverride

MMS メッセージの月間使用限度を設定します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:SetTextMessageSpendLimitOverride

SMS メッセージの月間使用限度を設定します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:SetVoiceMessageSpendLimitOverride

音声メッセージの月間使用限度を設定します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:SubmitRegistrationVersion

登録の最新バージョンを送信します。

- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:registration/*registrationId*

sms-voice:TagResource

リソースにタグを追加します。

- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:configuration-set/*configurationSetName*
- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:opt-out-list/*optOutListName*
- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:phone-number/*phoneNumberId*
- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:pool/*poolId*
- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:sender-id/*senderId/isoCountryCode*

sms-voice:UntagResource

リソースからタグを削除します。

- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:configuration-set/*configurationSetName*
- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:opt-out-list/*optOutListName*
- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:phone-number/*phoneNumberId*
- リソース ARN – arn:aws:sms-voice:*region*:*accountId*:pool/*poolId*

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:UpdateEventDestination

既存のイベント送信先を更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:configuration-set/configurationSetName`

sms-voice:UpdatePhoneNumber

発信元電話番号の設定セットを更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:phone-number/phoneNumberId`

sms-voice:UpdateProtectConfiguration

保護設定を更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:UpdateProtectConfigurationCountryRuleSet

保護設定の国ルールセットを更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:protect-configuration/ProtectConfigurationId`

sms-voice:UpdatePool

既存の電話番号プールを更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:pool/poolId`

sms-voice:UpdateSenderId

送信者 ID を更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:sender-id/senderId/isoCountryCode`

sms-voice:VerifyDestinationNumber

送信先電話番号を検証します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:verified-destination-number/verifiedDestinationNumberId`

sms-voice:CreateNotifyConfiguration

新しい通知設定を作成します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:notify-configuration/notifyConfigurationId`

sms-voice:UpdateNotifyConfiguration

既存の通知設定を更新します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:notify-configuration/notifyConfigurationId`

sms-voice>DeleteNotifyConfiguration

既存の通知設定を削除します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:notify-configuration/notifyConfigurationId`

sms-voice:DescribeNotifyConfigurations

指定された通知設定、またはアカウント内のすべての設定を記述します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:notify-configuration/notifyConfigurationId`

sms-voice:DescribeNotifyTemplates

使用可能な Notify テンプレートについて説明します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:ListNotifyCountries

Notify が利用可能な国を一覧表示します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice:SendNotifyTextMessage

Notify 設定を使用して、テンプレート化された SMS メッセージを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:notify-configuration/notifyConfigurationId`

sms-voice:SendNotifyVoiceMessage

Notify 設定を使用して、テンプレート化された音声メッセージを送信します。

- リソース ARN – `arn:aws:sms-voice:region:accountId:notify-configuration/notifyConfigurationId`

sms-voice:SetNotifyMessageSpendLimitOverride

通知メッセージを送信するためのアカウントレベルの月額使用制限の上書きを設定します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

sms-voice>DeleteNotifyMessageSpendLimitOverride

通知メッセージを送信するためのアカウントレベルの月額使用制限の上書きを削除します。

- リソース ARN - 使用できません。* を使用します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のコンプライアンス検証

AWS のサービスが特定のコンプライアンスプログラムの範囲内にあるかどうかを確認するには、「コンプライアンス [AWS のサービス プログラムによる対象範囲内](#)」の「コンプライアンス」を参照し、関心のあるコンプライアンスプログラムを選択します。一般的な情報については、[AWS 「コンプライアンスプログラム」](#)を参照してください。

を使用して、サードパーティーの監査レポートをダウンロードできます AWS Artifact。詳細については、「[Downloading Reports in AWS Artifact](#)」を参照してください。

を使用する際のお客様のコンプライアンス責任 AWS のサービスは、お客様のデータの機密性、貴社のコンプライアンス目的、適用される法律および規制によって決まります。を使用する際のコンプライアンス責任の詳細については AWS のサービス、[AWS 「セキュリティドキュメント」](#)を参照してください。

SMS のセキュリティ保証プログラムに関する考慮事項

AWS エンドユーザーメッセージング機能は、[コンプライアンスリソース](#)のセキュリティ保証プログラムリストの対象となります。これにより、SMS を使用して準拠ソリューションを構築できます。お客様が準拠したソリューションを構築するには、自社のセキュリティチームにご相談ください。

SMS メッセージ内の機密データを取り扱う際は、関連する規制と業界標準を遵守することが重要です。AWS はクラウド環境内で堅牢なセキュリティ対策を提供しますが、データを保護する責任はお客様であるお客様と共有されます。この責任共有モデルにより、データが AWS 境界を離れても、特定のニーズに合わせたソリューションを柔軟に構築できます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は保管中および転送中のすべてのデータを暗号化しますが、SMS などの最終チャネルは暗号化されない可能性があるため、お客様は要件に沿った方法でチャネルを設定する必要があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の耐障害性

AWS グローバルインフラストラクチャは、AWS リージョン およびアベイラビリティゾーンを中心に構築されています。は、低レイテンシー、高スループット、高度に冗長なネットワークで接続された、物理的に分離および分離された複数のアベイラビリティゾーン AWS リージョン を提供します。アベイラビリティゾーンでは、ゾーン間で中断することなく自動的にフェールオーバーするアプリケーションとデータベースを設計および運用することができます。アベイラビリティゾーンは、従来の単一または複数のデータセンターインフラストラクチャよりも可用性、フォールトトレランス、および拡張性が優れています。

AWS リージョン およびアベイラビリティゾーンの詳細については、[AWS 「グローバルインフラストラクチャ」](#) を参照してください。

AWS グローバルインフラストラクチャに加えて、AWS End User Messaging SMS には、データの耐障害性とバックアップのニーズをサポートするのに役立つ機能がいくつか用意されています。

SMS ルーティングの耐障害性

AWS は、お客様の SMS メッセージの耐障害性と配信性能の向上に取り組んでいます。複数のルートを維持し、ルートの信頼性、メッセージの配信可能性、メッセージコストに基づいて SMS ルーティングを調整します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のインフラストラクチャセキュリティ

マネージドサービスである AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、ホワイトペーパー「[Amazon Web Services: セキュリティプロセスの概要](#)」に記載されている AWS グローバルネットワークセキュリティ手順で保護されています。

AWS 公開された API コールを使用して、ネットワーク経由で AWS エンドユーザーメッセージング SMS にアクセスします。クライアントで Transport Layer Security (TLS) 1.0 以降がサポートされている必要があります。TLS 1.2 をお勧めします。また、DHE (Ephemeral Diffie-Hellman) や ECDHE (Elliptic Curve Ephemeral Diffie-Hellman) などの Perfect Forward Secrecy (PFS) を使用した暗号ス

イートもクライアントでサポートされている必要があります。これらのモードは Java 7 以降など、ほとんどの最新システムでサポートされています。

また、リクエストにはアクセスキー ID と、IAM プリンシパルに関連付けられているシークレットアクセスキーを使用して署名する必要があります。または、[AWS Security Token Service](#) (AWS STS) を使用して、一時的なセキュリティ認証情報を生成し、リクエストに署名することもできます。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の設定と脆弱性の分析

マネージドサービスである AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、AWS グローバルネットワークセキュリティで保護されています。AWS セキュリティサービスと [ガインフラストラクチャ AWS を保護する方法](#)については、[AWS 「クラウドセキュリティ」](#)を参照してください。インフラストラクチャセキュリティのベストプラクティスを使用して環境を AWS 設計するには、「Security Pillar AWS Well-Architected Framework」の「[Infrastructure Protection](#)」を参照してください。

AWS 公開された API コールを使用して、ネットワーク経由で AWS エンドユーザーメッセージング SMS にアクセスします。クライアントは次をサポートする必要があります。

- Transport Layer Security (TLS)。TLS 1.2 が必須で、TLS 1.3 をお勧めします。
- DHE (楕円ディフィー・ヘルマン鍵共有) や ECDHE (楕円曲線ディフィー・ヘルマン鍵共有) などの完全前方秘匿性 (PFS) による暗号スイート。これらのモードは Java 7 以降など、ほとんどの最新システムでサポートされています。

サービス間での不分別な代理処理の防止

混乱した代理問題は、アクションを実行するためのアクセス許可を持たないエンティティが、より特権のあるエンティティにアクションの実行を強制できてしまう場合に生じる、セキュリティ上の問題です。では AWS、サービス間のなりすましにより、混乱した代理問題が発生する可能性があります。サービス間でのなりすましは、1 つのサービス (呼び出し元サービス) が、別のサービス (呼び出し対象サービス) を呼び出すときに発生する可能性があります。呼び出し元サービスは、本来ならアクセスすることが許可されるべきではない方法でその許可を使用して、別のお客様のリソースに対する処理を実行するように操作される場合があります。これを防ぐため、AWS では、アカウントのリソースへのアクセス権が付与されたサービスプリンシパルで、すべてのサービスのデータを保護するために役立つツールを提供しています。

リソースポリシーで [aws:SourceArn](#) および [aws:SourceAccount](#) グローバル条件コンテキストキーを使用して、AWS End User Messaging SMS がリソースに別のサービスに付与するアクセス許

可を制限することをお勧めします。クロスサービスアクセスにリソースを 1 つだけ関連付けたい場合は、`aws:SourceArn` を使用します。そのアカウント内のリソースをクロスサービスの使用に関連付けることを許可する場合は、`aws:SourceAccount` を使用します。

混乱した代理問題から保護するための最も効果的な方法は、リソースの完全な ARN を指定して、`aws:SourceArn` グローバル条件コンテキストキーを使用することです。リソースの完全な ARN が不明な場合や、複数のリソースを指定する場合には、グローバルコンテキスト条件キー `aws:SourceArn` で、ARN の未知部分を示すためにワイルドカード文字 (*) を使用します。例えば、`arn:aws:servicename:*:123456789012:*`。

`aws:SourceArn` の値に Amazon S3 バケット ARN などのアカウント ID が含まれていない場合は、両方のグローバル条件コンテキストキーを使用して、アクセス許可を制限する必要があります。

`aws:SourceArn` の値は、電話番号の ARN である必要があります。

次の例は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS で `aws:SourceArn` および `aws:SourceAccount` グローバル条件コンテキストキーを使用して、混乱した代理問題を防ぐ方法を示しています。

JSON

```
{
  "Version": "2012-10-17",
  "Statement": [
    {
      "Sid": "ConfusedDeputyPreventionExamplePolicy",
      "Effect": "Allow",
      "Principal": {
        "Service": "sms-voice.amazonaws.com"
      },
      "Action": "sns:Publish",
      "Resource": "*",
      "Condition": {
        "StringEquals": {
          "aws:SourceAccount": "111122223333"
        },
        "ArnLike": {
          "aws:SourceArn": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:phone-number/PhoneNumberID"
        }
      }
    }
  ]
}
```

}

セキュリティのベストプラクティス

AWS エンドユーザーメッセージング SMS には、独自のセキュリティポリシーを開発および実装する際に考慮すべき多くのセキュリティ機能が用意されています。以下のベストプラクティスは一般的なガイドラインであり、完全なセキュリティソリューションを説明するものではありません。これらのベストプラクティスはお客様の環境に適切ではないか、十分ではない場合があるため、これらは指示ではなく、有用な考慮事項と見なしてください。

- 自分を含め、AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースを管理するユーザーごとに個別のユーザーを作成します。AWS ルート認証情報を使用して AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースを管理しないでください。
- それぞれの職務の実行に最低限必要になる一連のアクセス許可を各ユーザーに付与します。
- IAM グループを使用して、複数のユーザーのアクセス許可を効果的に管理します。
- IAM 認証情報のローテーションを定期的に行います。

SMS プロトコルのセキュリティに関する考慮事項

SMS プロトコルそのものに内在する制限を理解することが重要です。セキュアメッセージングアプリケーションとは異なり、SMS はエンドツーエンドの暗号化、メッセージ失効、固有の送信者認証、チェックサムによるエラー検出を提供しておらず、場合によっては SMS をプレーンテキストでデバイスに保存することがあります。また、受信者のメッセージの表示方法に影響を与える可能性のあるメッセージサイズなどの実用上の制限があります。「[SMS および MMS の制限と規制](#)」を参照してください。

SMS プロトコルセキュリティのベストプラクティス

SMS プロトコルの制限を考慮し、ユースケースと独自のセキュリティ評価に応じて検討する必要がある業界のベストプラクティスをいくつか紹介します。

- ワンタイムパスワード (OTP) の有効期限 (TTL) を選択します。
- AWS エンドユーザーメッセージング SMS Protect 設定を使用して、ビジネスを行っていない国への SMS メッセージの送信をブロックします。
- 機密情報については、顧客に安全なポータルをご案内ください。

- フィッシングやソーシャルエンジニアリングの発生を避けるため、URL 短縮子は慎重に使用してください。
- メッセージの内容は簡潔にして、必要な情報のみを含めます。

SMS および MMS メッセージの作成と送信のベストプラクティスの詳細については、「[SMS および MMS のベストプラクティス](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のモニタリング

モニタリングは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS およびその他の AWS ソリューションの信頼性、可用性、パフォーマンスを維持する上で重要な部分です。には、AWS エンドユーザーメッセージング SMS をモニタリングし、問題が発生したときに報告し、必要に応じて自動アクションを実行するための以下のモニタリングツール AWS が用意されています。

- Amazon CloudWatch は、AWS リソースと で実行しているアプリケーションを AWS リアルタイムでモニタリングします。メトリクスの収集と追跡、カスタマイズしたダッシュボードの作成、および指定したメトリクスが指定したしきい値に達したときに通知またはアクションを実行するアラームの設定を行うことができます。例えば、CloudWatch で Amazon EC2 インスタンスの CPU 使用率などのメトリクスを追跡し、必要に応じて新しいインスタンスを自動的に起動できます。詳細については、「[Amazon CloudWatch ユーザーガイド](#)」を参照してください。
- Amazon CloudWatch Logs では、Amazon EC2 インスタンス、CloudTrail、その他ソースから得たログファイルのモニタリング、保存、およびアクセスが可能です。CloudWatch は、ログファイル内の情報をモニタリングし、特定のしきい値に達したときに通知します。高い耐久性を備えたストレージにログデータをアーカイブすることもできます。詳細については、「[Amazon CloudWatch Logs ユーザーガイド](#)」を参照してください。
- AWS CloudTrail は、AWS アカウントによって、またはアカウントに代わって行われた API コールおよび関連イベントをキャプチャし、指定した Amazon S3 バケットにログファイルを配信します。呼び出し元のユーザーとアカウント AWS、呼び出し元の送信元 IP アドレス、呼び出しの発生日時を特定できます。詳細については、「[AWS CloudTrail ユーザーガイド](#)」を参照してください。
- AWS Health ダッシュボードでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS 環境のステータスを確認およびモニタリングできます。AWS エンドユーザーメッセージング SMS サービス全体のステータスを確認するには、AWS サービスヘルスダッシュボードを使用します。AWS 環境に影響を与える可能性のあるイベントや問題に関する履歴データをより具体的に確認、モニタリング、表示するには、AWS Personal Health Dashboard を使用します。これらのダッシュボードの詳細については、『[AWS Health ユーザーガイド](#)』を参照してください。
- AWS Trusted Advisor は AWS 環境を検査し、セキュリティギャップに対処し、システムの可用性とパフォーマンスを向上させ、コストを削減する機会に関する推奨事項を提供します。すべての AWS お客様は、一連のコア Trusted Advisor チェックにアクセスできます。ビジネスまたはエンタープライズサポートプランをご利用のお客様は、追加の Trusted Advisor チェックにアクセスできます。

これらのチェックの多くは、AWS アカウント全体の一部として AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースのセキュリティ体制を評価するのに役立ちます。例えば、Trusted Advisor チェックのコアセットには、次のものが含まれます。

- サポートされている各の AWS アカウントのログ記録設定 AWS リージョン。
- Amazon Simple Storage Service (Amazon S3) バケットのアクセス許可。これには、セグメントを構築するために AWS エンドユーザーメッセージング SMS にインポートするファイルが含まれる場合があります。
- AWS Identity and Access Management ユーザー、グループ、ロールを使用して、AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースへのアクセスを制御します。
- AWS 環境と AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースのセキュリティを損なう可能性のある IAM 設定とポリシー設定。

詳細については、サポート ユーザーガイドの [AWS Trusted Advisor](#) を参照してください。

トピック

- [Amazon CloudWatch による AWS エンドユーザーメッセージング SMS のモニタリング](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS メトリクスの CloudWatch アラームを作成する](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS、MMS、音声使用アクティビティのモニタリング](#)
- [を使用した AWS エンドユーザーメッセージング SMS API コールのログ記録 AWS CloudTrail](#)
- [EventBridge によるモニタリング](#)

Amazon CloudWatch による AWS エンドユーザーメッセージング SMS のモニタリング

CloudWatch を使用して AWS CloudWatch は raw データを収集し、読み取り可能なほぼリアルタイムのメトリクスに加工します。これらの統計は 15 か月間保持されるため、履歴情報にアクセスし、ウェブアプリケーションまたはサービスの動作をよりの確に把握できます。また、特定のしきい値を監視するアラームを設定し、これらのしきい値に達したときに通知を送信したりアクションを実行したりできます。詳細については、「[Amazon CloudWatch ユーザーガイド](#)」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は AWS Identity and Access Management (IAM) [サービスにリンクされたロール](#)を使用します。サービスにリンクされたロールは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS に直接リンクされた一意のタイプの IAM ロールです。サービスにリンクされ

たロールは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS によって事前定義されており、サービスがユーザーに代わって他の AWS サービスを呼び出すために必要なすべてのアクセス許可が含まれています。CloudWatch メトリクスを収集するには、[サービスリンクロール](#)を作成する必要があります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の CloudWatch メトリクス

以下のセクションでは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS のメトリクスとディメンションを一覧表示します。

Important

CloudWatch メトリクスを収集するには、[サービスリンクロール](#)を作成する必要があります。

Note

一部のメトリクスでは、サービスの分散性により、結果が近似値になる場合があります。ほとんどの場合、カウントはキュー内の実際に処理されたメッセージ数に近い数値になります。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS の場

合、TextMessageMonthlySpend、MediaMessageMonthlySpend、VoiceMessageMonthlySpend を監視し、しきい値以上、しきい値以上の場合にアラームをトリガーできます。AWS エンドユーザーメッセージング SMS の名前空間は `AWS/SMSVoice`。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は `RCS.MessagesSent`、`RCS.MessagesDelivered`などの RCS 固有のメトリクスを `AWS/SMSVoice` 名前空間に発行します `RCS.MessagesFallenBackToSMS`。既存のメトリクスに、`PHONE_NUMBER`、`SENDER_ID`、などの値を持つ `OriginationIdentityType` ディメンションが含まれるようになります。また `RCS_AGENTPOOL`。RCS メトリクスとディメンションの完全なリストについては、「」を参照してください [RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング](#)。

トピック

- [メッセージ使用量メトリクス](#)
- [メッセージ配信のメトリクス](#)

- [メッセージフィードバックメトリクス](#)
- [AWS エンドユーザーメッセージング SMS でメトリクスを保護する](#)
- [ディメンション](#)

メッセージ使用量メトリクス

メッセージ使用量メトリクス

メトリクス	説明	Unit	有意義な統計
TextMessageMonthlySpend	今月の SMS メッセージの送信に使用した金額 (USD) です。	USD	最大値
VoiceMessageMonthlySpend	今月の音声メッセージの送信に使用した金額 (USD) です。	USD	最大値
MediaMessageMonthlySpend	今月の MMS メッセージの送信に使用した金額 (USD) です。	USD	最大値

メッセージ配信のメトリクス

AWS/SMSVoice 名前空間には、次のメッセージ配信のメトリクスが含まれます。

メッセージ配信のメトリクス

メトリクス	説明	Unit	有意義な統計
NumberOfTextMessagePartsSent	送信されたテキストのメッセージパーツの数。保護によってブロックされたメッセージや、メッセージの使用制限などのサービス制限は除外されています	カウント	• 合計 • サンプル数 • Max • 分 • 平均 • Percentile

メトリクス	説明	Unit	有意義な統計
NumberOfMediaMessagePartsSent	送信されたメディアのメッセージパーツの数。保護によってブロックされたメッセージや、メッセージの使用制限などのサービス制限は除外されています	カウント	- 合計 - サンプル数 - Max - 分 - 平均 - Percentile
NumberOfTextMessagePartsDelivered	受信者に配信されたテキストのメッセージパーツの数。	カウント	- 合計 - サンプル数 - Max - 分 - 平均 - Percentile
NumberOfMediaMessagePartsDelivered	受信者に配信されたメディアのメッセージパーツの数。	カウント	- 合計 - サンプル数 - Max - 分 - 平均 - Percentile

メッセージフィードバックメトリクス

AWS/SMSVoice 名前空間には、次のメッセージフィードバックメトリクスが含まれます。

メッセージフィードバックメトリクス

メトリクス	説明	Unit	有意義な統計
NumberOfTextMessagesExpectingFeedback	フィードバックが追跡されているテキスト	カウント	- 合計 - サンプル数

メトリクス	説明	Unit	有意義な統計
	トメッセージの合計数。 MessageFeedbackEnabled が有効な SendTextMessage リクエストごとに、NumberOfTextMessagesExpectingFeedback の値は 1 になります。		• 平均
NumberOfMediaMessagesExpectingFeedback	フィードバックが追跡されているメディアメッセージの合計数。 MessageFeedbackEnabled が有効な SendMediaMessage リクエストごとに、NumberOfMediaMessagesExpectingFeedback の値は 1 になります。	カウント	• 合計 • サンプル数 • 平均

メトリクス	説明	Unit	有意義な統計
NumberOfTextMessagesWithFeedback	フィードバックが追跡され、かつフィードバックレスポンスが受信されたテキストメッセージの合計数。 フィードバックを受け取るメッセージごとに、NumberOfTextMessagesWithFeedback の値は 1 です。フィードバックを含むメッセージの割合は、$100 * \frac{\text{SUM(NumberOfTextMessagesWithFeedback)}}{\text{SUM(NumberOfTextMessagesExpectingFeedback)}}$ によって決定できます。	カウント	• 合計 • サンプル数 • 平均

メトリクス	説明	Unit	有意義な統計
NumberOfMediaMessagesWithFeedback	フィードバックが追跡され、フィードバックレスポンスが受信されたメディアメッセージの合計数。 フィードバックを受け取るメッセージごとに、NumberOfMediaMessagesWithFeedback の値は 1 です。フィードバックを含むメッセージの割合は、$100 * \frac{\text{SUM}(\text{NumberOfMediaMessagesWithFeedback})}{\text{SUM}(\text{NumberOfMediaMessagesExpectingFeedback})}$ によって決定できます。	カウント	- 合計 - サンプル数 - 平均

AWS エンドユーザーメッセージング SMS でメトリクスを保護する

AWS/SMSVoice 名前空間には、次の保護メトリクスが含まれます。

メトリクス名	説明	Unit	有意義な統計
TextMessagesBlockedByProtect	国モードのブロックルールによってブ	カウント	- 合計 - 平均 - サンプル数

メトリクス名	説明	Unit	有意義な統計
	ックされたテキストメッセージの数。 TextMessagesBlockedByProtect の値は、メッセージが保護によってブロックされている場合は 1、ブロックされていない場合は 0 です。 保護によってブロックされた SMS メッセージの割合は、100 * AVG(TextMessagesBlockedByProtect) によって決定できます。		

メトリクス名	説明	Unit	有意義な統計
MediaMessagesBlockedByProtect	国モードのブロックルールによってブロックされたメディアメッセージの数。 MediaMessagesBlockedByProtect の値は、メッセージが保護によってブロックされている場合は 1、ブロックされていない場合は 0 です。 保護によってブロックされた MMS メッセージの割合は、$100 * \text{AVG}(\text{MediaMessagesBlockedByProtect})$ によって決定できます。	カウント	- 合計 - 平均 - サンプル数

ディメンション

以下のディメンションを使用して、前の表に示したメトリクスを絞り込むことができます。これらのディメンションにより、SMS および音声メッセージの特定の属性に基づいてメトリクスをフィルタリングおよびグループ化できます。

ディメンション	説明
なし	フィルタリングしない
IsoCountryCode	このディメンションは、リクエストしたデータを ISO 国コードでフィルタリングします。

ディメンション	説明
MessageFeedbackStatus	このディメンションは、リクエストしたデータを RECEIVED または FAILED のメッセージフィードバックステータスでフィルタリングします。
ProtectConfigurationId	このディメンションは、保護設定によってリクエストしたデータをフィルタリングします。
[IsoCountryCode、MessageFeedbackStatus]	このディメンションは、リクエストしたデータを ISO 国コードとメッセージフィードバックステータスでフィルタリングします。
[ProtectConfigurationId、IsoCountryCode]	このディメンションは、保護設定と ISO 国コードによってリクエストしたデータをフィルタリングします。
OriginationIdentityType	このディメンションは、リクエストしたデータを発信元 ID タイプでフィルタリングします。値には、PHONE_NUMBER 、SENDER_ID 、RCS_AGENT 、および が含まれます。P00L。詳細については、「 RCS CloudWatch メトリクスとモニタリング 」を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS メトリクスの CloudWatch アラームを作成する

CloudWatch を使用すると、AWS エンドユーザーメッセージング SMS メトリクスのメトリクスしきい値に基づいてトリガーするアラームを作成できます。例えば、NumberOfTextMessagePartsSent メトリクスのアラームを作成できます。1 時間に 1000 個を超えるテキストメッセージパーツが送信された場合は、E メール通知を送信できます。詳細については、「Amazon CloudWatch ユーザーガイド」の「[Amazon CloudWatch アラームの使用](#)」を参照してください。

1 時間に 1000 個のテキストメッセージパーツが送信された場合に E メールを送信するアラームを作成するには

1. CloudWatch コンソールの <https://console.aws.amazon.com/cloudwatch/> を開いてください。
 2. ナビゲーションペインで、[アラーム] を選択し、[アラームを作成] を選択します。
 3. [メトリクスを選択] セクションで [メトリクスの参照] を選択し、AWS/SMSVoice 名前空間を選択します。
 4. AWS/SMSVoice メトリクスでは、アラームを設定するメトリクスを選択し、[次へ]を選択します。使用可能なメトリクスのリストについては、[CloudWatch によるモニタリング](#) を参照してください。
 5. 送信されたテキストのメッセージパーツの数のアラームを設定するには:
 - a. [メッセージ配信メトリクス] を選択します
 - b. [NumberOfTextMessagePartsSent] メトリクスを選択します
 6. [メトリクスと条件の指定] ページで、次の手順を実行します。
 - a. 統計を Sum に設定します
 - b. 期間を 1 時間に設定します
 - c. [条件] で、[静的] を選択します。
 - d. 「Whenever NumberOfTextMessagePartsSent is...」を「Greater than」に設定します。
 - e. しきい値に 1000 を入力します。
 7. [アクションを設定する] セクションで、次の手順を実行します。
 - a. [アラーム状態トリガー] で、[アラーム状態] を選択します。
 - b. 通知対象として、既存の Amazon SNS トピックを選択するか、新しいトピックを作成します。
 - c. 新しいトピックを作成する場合は、カンマで区切って E メールアドレスを入力します。
-  **Note**

新しい Amazon SNS トピックを作成する場合、E メールアドレスを検証しなければ、そのアドレスで通知を受け取ることができません。
8. [名前と説明を追加] セクションで、次の手順を実行します。
 - a. アラームの名前 (例: 大量のテキストメッセージ) を入力します。

- b. 必要に応じて説明を追加することもできます。
9. [プレビューと作成] セクションでアラーム設定をプレビューして、[アラームを作成] をクリックします。

これでアラームが作成され、指定された条件に基づいてトリガーされます。

次のような他の AWS エンドユーザーメッセージング SMS メトリクスに同様のアラームを作成できます。

- NumberOfMediaMessagePartsSent
- NumberOfTextMessagePartsDelivered
- TextMessagesBlockedByProtect

特定のユースケースに応じて、メトリクス、しきい値、およびその他の設定を調整します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用した SMS、MMS、音声使用アクティビティのモニタリング

このトピックでは、Amazon CloudWatch での SMS、MMS、および音声の使用量のメトリクスの表示について説明します。また、1 か月の SMS、MMS、または音声の使用量が一定量を超えると、通知を送信する CloudWatch アラームをセットアップする方法についても説明します。

使用した金額を含め、AWS エンドユーザーメッセージング SMS の使用に対する月額料金のみを表示する場合は、AWS Billing and Cost Management コンソールを使用する必要があります。Billing and Cost Management コンソールには、当月の請求額の見積もりと前月の最終請求額が表示されます。詳細については、「AWS Billing ユーザーガイド」の「[月額料金の表示](#)」を参照してください。

Important

CloudWatch メトリクスを収集するには、[サービスリンクロール](#)を作成する必要があります。

CloudWatch を使用して SMS、MMS、および音声の月別使用量を表示する

CloudWatch コンソールのメトリクスセクションを使用して、現在の月の SMS、MMS、および音声メッセージの使用量に応じた金額を迅速に判断できます。CloudWatch では、15 か月間メトリクスが保持されるため、リアルタイムのデータを表示して、過去の傾向を分析することができます。

CloudWatch メトリクスの詳細については、『Amazon CloudWatch ユーザーガイド』の「[Using Amazon CloudWatch metrics](#)」を参照してください。

CloudWatch で SMS、MMS、および音声の使用量のメトリクスを表示するには

1. CloudWatch コンソールの <https://console.aws.amazon.com/cloudwatch/> を開いてください。
2. ナビゲーションペインで [Metrics (メトリクス)] を選択してください。
3. [すべてのメトリクス] タブで、[SMSVoice] を選択します。
4. [アカウントメトリクス] を選択します。
5. TextMessageMonthlySpend、MediaMessageMonthlySpend、および VoiceMessageMonthlySpend のオプションから選択します。選択した内容に基づいて、グラフが更新され、AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して当月に費やされた金額が表示されます。

Note

TextMessageMonthlySpend、MediaMessageMonthlySpend、および VoiceMessageMonthlySpend メトリクスは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS を使用して少なくとも 1 つのメッセージを送信するまで表示されません。

CloudWatch を使用して SMS、MMS、または音声の使用量を通知するアラームを作成する

SMS、MMS、および音声の月別使用量メトリクスを表示できるほか、SMS、MMS、または音声の使用量が一定量を超えると通知する CloudWatch アラームを作成することもできます。これらの通知が送信されるように CloudWatch をセットアップするには、通知を Amazon SNS トピックに送信します。

CloudWatch アラームの詳細については、『Amazon CloudWatch ユーザーガイド』の「[Using Amazon CloudWatch alarms](#)」を参照してください。

CloudWatch を使用して SMS または音声の使用量を通知するアラームを作成する

1. まだ行っていない場合は、Amazon SNS トピックを作成し、エンドポイントをそのトピックにサブスクライブします。トピックにサブスクライブするエンドポイントは、使用量の通知を受け取る場所に設定します。例えば、E メールで使用量の通知を受け取る場合は、Amazon SNS トピックに E メールアドレスをサブスクライブします。テキストメッセージで使用量の通知を受け取る場合は、そのトピックに SMS エンドポイントをサブスクライブします。

SNS トピックの作成とサブスクライブについては、『Amazon Simple Notification Service デベロッパーガイド』の「[Getting started with Amazon SNS](#)」を参照してください。

2. CloudWatch コンソールの <https://console.aws.amazon.com/cloudwatch/> を開いてください。

3.

Important

請求アラームを作成する前に、AWS リージョン を米国東部 (バージニア北部) に設定する必要があります。請求メトリクスデータはこれに保存 AWS リージョン され、世界中の料金を表します。また、自分のアカウントまたは管理/支払者アカウント (一括請求を使用している場合) で、請求アラートを有効にする必要があります。詳細については、「[請求アラートを有効にする](#)」を参照してください。

ナビゲーションペインの [アラーム] で [請求] を選択します。

4. [請求アラーム] の横にある [アラームの作成] を選択します。
5. [メトリクスの選択] を選択します。
6. [メトリクス] タブで、[SMSVoice]、[アカウントメトリクス] を順に選択します。
7. TextMessageMonthlySpend、MediaMessageMonthlySpend、または VoiceMessageMonthlySpend のいずれかのオプションから選択します。

Note

TextMessageMonthlySpend、MediaMessageMonthlySpend、VoiceMessageMonthlySpend メトリクスは、AWS エンドユーザーメッセージング SMS を介して少なくとも 1 つのメッセージを送信するまで表示されません。

8. [グラフ化したメトリクス] タブを選択し、以下の手順を実行します。

- [Statistic] で、モニタリングする統計値または定義済みのパーセンタイルを選択するか、カスタムのパーセンタイル (例えば、p99 または p45) を指定します。

- [期間] で、アラームの評価期間を選択します。アラームを評価する場合、各期間は 1 つのデータポイントに集約されます。
9. [メトリクスの選択] を選択します。[Specify metric and conditions (メトリクスと条件の指定)] ページに、アラームのメトリクスと統計に関するグラフや他の情報が表示されます。
 10. [条件] で以下の手順を実行します。
 - [Threshold type] で [静的] を選択します。
 - [Whenever (TextMessageMonthlySpend、MediaMessageMonthlySpend、または VoiceMessageMonthlySpend) is] で、アラームをトリガーするためにメトリクスを、しきい値より大きい値とするか、しきい値以上の値とするか、またはしきい値と等しくするかを指定します。次に、[than] にしきい値を入力します。これは、アラームをトリガーする金額 (米国ドル) です。
 11. [Additional configuration] で、以下の手順を実行します。
 - [Datapoints to alarm] に、アラームをトリガーするために使用量がしきい値を超える必要がある評価期間数 (データポイント) を入力します。
 - [Missing data treatment] では、[Treat missing data as ignore (maintain the alarm state)] を選択します。
 12. [次へ] を選択します。
 13. [通知] で、以下の手順を実行します。
 - [Whenever this alarm state is] で、[in Alarm] を選択します。
 - [Select an SNS topic] で、アラーム通知を送信する Amazon SNS トピックを選択します。
 14. [Next] を選択します。
 15. 名前を入力し、必要に応じてアラームの説明を入力して [Next] を選択します。
 16. [Preview and create] で、アラーム設定が正しいことを確認し、[アラームの作成] を選択します。

を使用した AWS エンドユーザーメッセージング SMS API コールのログ記録 AWS CloudTrail

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、ユーザー[AWS CloudTrail](#)、ロール、または [IAM ユーザー](#)によって実行されたアクションを記録するサービスであると統合されています AWS のサービス。CloudTrail は、AWS エンドユーザーメッセージング SMS のすべての API コールをイベントとしてキャプチャ

します。キャプチャされた呼び出しには、AWS エンドユーザーメッセージング SMS コンソールからの呼び出しと AWS、エンドユーザーメッセージング SMS API オペレーションへのコード呼び出しが含まれます。CloudTrail で収集された情報を使用して、AWS エンドユーザーメッセージング SMS に対するリクエスト、リクエスト元の IP アドレス、リクエスト日時などの詳細を確認できます。

各イベントまたはログエントリには、誰がリクエストを生成したかという情報が含まれます。アイデンティティ情報は、以下を判別するのに役立ちます。

- ルートユーザーまたはユーザー認証情報のどちらを使用してリクエストが送信されたか。
- リクエストが IAM Identity Center ユーザーに代わって行われたかどうか。
- リクエストがロールまたはフェデレーションユーザーのテンポラリなセキュリティ認証情報を使用して行われたかどうか。
- リクエストが、別の AWS のサービスによって送信されたかどうか。

CloudTrail は、アカウントを作成する AWS アカウント と アクティブになり、CloudTrail イベント履歴に自動的にアクセスできます。CloudTrail の [イベント履歴] では、AWS リージョンで過去 90 日間に記録された管理イベントの表示、検索、およびダウンロードが可能で、変更不可能な記録を確認できます。詳細については、「AWS CloudTrail ユーザーガイド」の「[CloudTrail イベント履歴の使用](#)」を参照してください。[イベント履歴] の閲覧には CloudTrail の料金はかかりません。

AWS アカウント 過去 90 日間のイベントの継続的な記録については、証跡または [CloudTrail Lake](#) イベントデータストアを作成します。

CloudTrail 証跡

証跡により、CloudTrail はログファイルを Amazon S3 バケットに配信できます。を使用して作成されたすべての証跡 AWS マネジメントコンソール はマルチリージョンです。AWS CLIを使用する際は、単一リージョンまたは複数リージョンの証跡を作成できます。アカウント AWS リージョン 内のすべての でアクティビティをキャプチャするため、マルチリージョン証跡を作成することをお勧めします。単一リージョンの証跡を作成する場合、証跡の AWS リージョンに記録されたイベントのみを表示できます。証跡の詳細については、「AWS CloudTrail ユーザーガイド」の「[AWS アカウントの証跡の作成](#)」および「[組織の証跡の作成](#)」を参照してください。

証跡を作成すると、進行中の管理イベントのコピーを 1 つ無料で CloudTrail から Amazon S3 バケットに配信できますが、Amazon S3 ストレージには料金がかかります。CloudTrail の料金の詳細については、「[AWS CloudTrail の料金](#)」を参照してください。Amazon S3 の料金に関する詳細については、「[Amazon S3 の料金](#)」を参照してください。

CloudTrail Lake イベントデータストア

[CloudTrail Lake] を使用すると、イベントに対して SQL ベースのクエリを実行できます。CloudTrail Lake は、行ベースの JSON 形式の既存のイベントを [Apache ORC](#) 形式に変換します。ORC は、データを高速に取得するために最適化された単票ストレージ形式です。イベントは、イベントデータストアに集約されます。イベントデータストアは、[高度なイベントセレクト](#)を適用することによって選択する条件に基づいた、イベントのイミュータブルなコレクションです。どのイベントが存続し、クエリに使用できるかは、イベントデータストアに適用するセレクトが制御します。CloudTrail Lake の詳細については、AWS CloudTrail ユーザーガイドの[AWS CloudTrail 「Lake の使用」](#)を参照してください。

CloudTrail Lake のイベントデータストアとクエリにはコストがかかります。イベントデータストアを作成する際に、イベントデータストアに使用する[料金オプション](#)を選択します。料金オプションによって、イベントの取り込みと保存にかかる料金、および、そのイベントデータストアのデフォルトと最長の保持期間が決まります。CloudTrail の料金の詳細については、「[AWS CloudTrail の料金](#)」を参照してください。

AWS CloudTrail でのエンドユーザーメッセージング SMS データイベント

[データイベント](#)では、リソース上またはリソース内で実行されるリソースオペレーション (Amazon S3 オブジェクトの読み取りまたは書き込みなど) についての情報が得られます。これらのイベントは、データプレーンオペレーションとも呼ばれます。データイベントは、多くの場合、高ボリュームのアクティビティです。デフォルトでは、CloudTrail はデータイベントをログ記録しません。CloudTrail [イベント履歴] にはデータイベントは記録されません。

追加の変更がイベントデータに適用されます。CloudTrail の料金の詳細については、「[AWS CloudTrail の料金](#)」を参照してください。

CloudTrail コンソール、または CloudTrail CloudTrail API オペレーションを使用して AWS CLI、AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースタイプのデータイベントを記録できます。データイベントをログに記録する方法の詳細については、「AWS CloudTrail ユーザーガイド」の「[AWS マネジメントコンソールを使用したデータイベントのログ記録](#)」および「[AWS Command Line Interfaceを使用したデータイベントのログ記録](#)」を参照してください。

次の表に、データイベントを記録できる AWS エンドユーザーメッセージング SMS リソースタイプを示します。データイベントタイプ (コンソール) 列には、CloudTrail コンソールの[データイベントタイプ]リストから選択する値が表示されます。resources.type 値列には、AWS CLI または CloudTrail APIs を使用して高度なイベントセレクトを設定するときに指定する resources.type 値

が表示されます。CloudTrail に記録されたデータ API 列には、リソースタイプの CloudTrail にログ記録された API コールが表示されます。

データイベントタイプ (コンソール)	resources.type 値	CloudTrail にログ記録されたデータ API
[SMS Voice 発信元 ID]	AWS::SMSVoice::OriginIdentity	• SendTextMessage • SendVoiceMessage • SendMediaMessage
SMS Voice Notify の設定	AWS::SMSVoice::NotifyConfiguration	• SendNotifyTextMessage • SendNotifyVoiceMessage

eventName、readOnly、および resources.ARN フィールドでフィルタリングして、自分にとって重要なイベントのみをログに記録するように高度なイベントセレクトを設定できます。オブジェクトの詳細については、「AWS CloudTrail API リファレンス」の「[AdvancedFieldSelector](#)」を参照してください。

AWS CloudTrail でのエンドユーザーメッセージング SMS 管理イベント

[管理イベント](#)は、のリソースで実行される管理オペレーションに関する情報を提供します AWS アカウント。これらのイベントは、コントロールプレーンオペレーションとも呼ばれます。CloudTrail は、デフォルトで管理イベントをログ記録します。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、すべての AWS エンドユーザーメッセージング SMS コントロールプレーンオペレーションを管理イベントとしてログに記録します。AWS エンドユーザーメッセージング SMS が CloudTrail に記録する AWS エンドユーザーメッセージング SMS コントロールプレーンオペレーションのリストについては、[AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS および音声 V2 API リファレンス」](#)を参照してください。

AWS エンドユーザーメッセージング SMS イベントの例

各イベントは任意の送信元からの単一のリクエストを表し、リクエストされた API オペレーション、オペレーションの日時、リクエストパラメータなどに関する情報を含みます。CloudTrail ログファイルは、パブリック API コールの順序付けられたスタックトレースではないため、イベントは特定の順序で表示されません。

CreateConfigurationSet と CreateEventDestination のアクションを示す CloudTrail ログ入力の例を次に示します。

```
{
  "Records": [
    {
      "eventVersion": "1.05",
      "userIdentity": {
        "type": "IAMUser",
        "principalId": "AIDAIHTRCDA62EXAMPLE",
        "arn": "arn:aws:iam::111122223333:user/SampleUser",
        "accountId": "111122223333",
        "accessKeyId": "AKIAIOSFODNN7EXAMPLE",
        "userName": "SampleUser"
      },
      "eventTime": "2018-11-06T21:45:55Z",
      "eventSource": "sms-voice.amazonaws.com",
      "eventName": "CreateConfigurationSet",
      "awsRegion": "us-east-1",
      "sourceIPAddress": "192.0.0.1",
      "userAgent": "PostmanRuntime/7.3.0",
      "requestParameters": {
        "ConfigurationSetName": "MyConfigurationSet"
      },
      "responseElements": null,
      "requestID": "56dcc091-e20d-11e8-87d2-9994aexample",
      "eventID": "725843fc-8846-41f4-871a-7c52dexample",
      "readOnly": false,
      "eventType": "AwsApiCall",
      "recipientAccountId": "123456789012"
    },
    {
      "eventVersion": "1.05",
      "userIdentity": {
        "type": "IAMUser",
        "principalId": "AIDAIHTRCDA62EXAMPLE",
        "arn": "arn:aws:iam::111122223333:user/SampleUser",
        "accountId": "111122223333",
        "accessKeyId": "AKIAIOSFODNN7EXAMPLE",
        "userName": "SampleUser"
      },
      "eventTime": "2018-11-06T21:47:08Z",
      "eventSource": "sms-voice.amazonaws.com",
```

```

    "eventName": "CreateEventDestination",
    "awsRegion": "us-east-1",
    "sourceIpAddress": "192.0.0.1",
    "userAgent": "PostmanRuntime/7.3.0",
    "requestParameters": {
      "EventDestinationName": "CloudWatchEventDestination",
      "ConfigurationSetName": "MyConfigurationSet",
      "EventDestination": {
        "Enabled": true,
        "MatchingEventTypes": [
          "INITIATED_CALL",
          "INITIATED_CALL"
        ],
        "CloudWatchLogsDestination": {
          "IamRoleArn": "arn:aws:iam::111122223333:role/iamrole-01",
          "LogGroupArn": "arn:aws:logs:us-east-1:111122223333:log-
group:clientloggroup-01"
        }
      }
    },
    "responseElements": null,
    "requestID": "81de1e73-e20d-11e8-b158-d5536example",
    "eventID": "fcafc21f-7c93-4a3f-9e72-fca2dexample",
    "readOnly": false,
    "eventType": "AwsApiCall",
    "recipientAccountId": "111122223333"
  }
]
}

```

以下の例は、SendTextMessage アクションを示す CloudTrail ログエントリです。

```

{
  "eventVersion": "1.10",
  "userIdentity": {
    "type": "AssumedRole",
    "principalId": "QWERTYUIOPASDFGHJKLZXCVBNM:EXAMPLE",
    "arn": "arn:aws:sts::111122223333:assumed-role/ASDFGHJKL/QWERTYUIOP",
    "accountId": "111122223333",
    "accessKeyId": "AKIAIOSFODNN7EXAMPLE",
    "sessionContext": {
      "sessionIssuer": {
        "type": "Role",

```

```

        "principalId": "ASDFGHJKLQWERTYUIOP",
        "arn": "arn:aws:iam::123456789123:role/QWERTYUIOP",
        "accountId": "111122223333",
        "userName": "QWERTYUIOP"
    },
    "attributes": {
        "creationDate": "2024-10-02T22:39:11Z",
        "mfaAuthenticated": "false"
    }
},
"eventTime": "2024-10-02T23:52:08Z",
"eventSource": "sms-voice.amazonaws.com",
"eventName": "SendTextMessage",
"awsRegion": "us-east-1",
"sourceIPAddress": "192.0.2.1",
"userAgent": "aws-cli/1.18.147 Python/2.7.18
Linux/5.10.218-186.862.amzn2int.x86_64 botocore/1.18.6",
"requestParameters": {
    "destinationPhoneNumber": "+11235550123",
    "originationIdentity": "phone-aa012345678901234567890123456789",
    "messageBody": "HIDDEN_DUE_TO_SECURITY_REASONS",
},
"responseElements": {
    "messageId": "a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLE11111"
},
"requestID": "a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLE22222",
"eventID": "a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLE33333",
"readOnly": false,
"resources": [{
    "accountId": "111122223333",
    "type": "AWS::SMSVoice::OriginationIdentity",
    "ARN": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:phone-number/phone-
aa012345678901234567890123456789"
}],
"eventType": "AwsApiCall",
"managementEvent": false,
"recipientAccountId": "111122223333",
"eventCategory": "Data",
"tlsDetails": {
    "clientProvidedHostHeader": "sms-voice.us-east-1.amazonaws.com"
}
}

```

以下の例は、SendVoiceMessage アクションを示す CloudTrail ログエントリです。

```
{
  "eventVersion": "1.10",
  "userIdentity": {
    "type": "AssumedRole",
    "principalId": "QWERTYUIOPASDFGHJKLZXCVBNM:EXAMPLE",
    "arn": "arn:aws:sts::111122223333:assumed-role/ASDFGHJKL/QWERTYUIOP",
    "accountId": "111122223333",
    "accessKeyId": "AKIAIOSFODNN7EXAMPLE",
    "sessionContext": {
      "sessionIssuer": {
        "type": "Role",
        "principalId": "ASDFGHJKLQWERTYUIOP",
        "arn": "arn:aws:iam::123456789123:role/QWERTYUIOP",
        "accountId": "111122223333",
        "userName": "QWERTYUIOP"
      },
      "attributes": {
        "creationDate": "2024-10-02T22:39:11Z",
        "mfaAuthenticated": "false"
      }
    }
  },
  "eventTime": "2024-10-02T23:52:08Z",
  "eventSource": "sms-voice.amazonaws.com",
  "eventName": "SendVoiceMessage",
  "awsRegion": "us-east-1",
  "sourceIPAddress": "192.0.2.1",
  "userAgent": "aws-cli/1.18.147 Python/2.7.18
Linux/5.10.218-186.862.amzn2int.x86_64 botocore/1.18.6",
  "requestParameters": {
    "destinationPhoneNumber": "+11235550123",
    "originationIdentity": "phone-aa012345678901234567890123456789",
    "messageBody": "HIDDEN_DUE_TO_SECURITY_REASONS",
  },
  "responseElements": {
    "messageId": "a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLEaaaaa"
  },
  "requestID": "a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLEbbbbbb",
  "eventID": "a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLE11111",
  "readOnly": false,
  "resources": [{
    "accountId": "111122223333",
```

```

        "type": "AWS::SMSVoice::OriginationIdentity",
        "ARN": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:phone-number/phone-
aa012345678901234567890123456789"
    }],
    "eventType": "AwsApiCall",
    "managementEvent": false,
    "recipientAccountId": "111122223333",
    "eventCategory": "Data",
    "tlsDetails": {
        "clientProvidedHostHeader": "sms-voice.us-east-1.amazonaws.com"
    }
}

```

以下の例は、SendMediaMessage アクションを示す CloudTrail ログエントリです。

```

{
    "eventVersion": "1.10",
    "userIdentity": {
        "type": "AssumedRole",
        "principalId": "QWERTYUIOPASDFGHJKLZXCVBNM:EXAMPLE",
        "arn": "arn:aws:sts::111122223333:assumed-role/ASDFGHJKL/QWERTYUIOP",
        "accountId": "111122223333",
        "accessKeyId": "AKIAIOSFODNN7EXAMPLE",
        "sessionContext": {
            "sessionIssuer": {
                "type": "Role",
                "principalId": "ASDFGHJKLQWERTYUIOP",
                "arn": "arn:aws:iam::377392627227:role/QWERTYUIOP",
                "accountId": "111122223333",
                "userName": "QWERTYUIOP"
            },
            "attributes": {
                "creationDate": "2024-10-02T22:39:11Z",
                "mfaAuthenticated": "false"
            }
        }
    },
    "eventTime": "2024-10-02T23:52:08Z",
    "eventSource": "sms-voice.amazonaws.com",
    "eventName": "SendMediaMessage",
    "awsRegion": "us-east-1",
    "sourceIPAddress": "192.0.2.1",

```

```
{
  "userAgent": "aws-cli/1.18.147 Python/2.7.18
Linux/5.10.218-186.862.amzn2int.x86_64 botocore/1.18.6",
  "requestParameters": {
    "destinationPhoneNumber": "+11235550123",
    "originationIdentity": "phone-aa012345678901234567890123456789",
    "messageBody": "HIDDEN_DUE_TO_SECURITY_REASONS",
  },
  "responseElements": {
    "messageId": "a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLE22222"
  },
  "requestID": "a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLE33333",
  "eventID": "a1b2c3d4-5678-90ab-cdef-EXAMPLEaaaaa",
  "readOnly": false,
  "resources": [{
    "accountId": "111122223333",
    "type": "AWS::SMSVoice::OriginationIdentity",
    "ARN": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:phone-number/phone-aa012345678901234567890123456789"
  }],
  "eventType": "AwsApiCall",
  "managementEvent": false,
  "recipientAccountId": "111122223333",
  "eventCategory": "Data",
  "tlsDetails": {
    "clientProvidedHostHeader": "sms-voice.us-east-1.amazonaws.com"
  }
}
```

CloudTrail レコードの内容については、「AWS CloudTrail ユーザーガイド」の「[CloudTrail record contents](#)」を参照してください。

EventBridge によるモニタリング

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、登録、SMS、MMS、音声イベントのために EventBridge にイベントを送信します。EventBridge を使用して、特定のイベントタイプが受信された場合に通知するなどのアクションを実行するルールを記述できます。詳細については、「Amazon EventBridge ユーザーガイド」で以下のトピックを参照してください。

- [Amazon EventBridge とは](#)
- [Amazon EventBridge イベント](#)
- [Amazon EventBridge のイベントパターン](#)

- [Amazon EventBridge ルール](#)

AWS End User Messaging SMS は、以下のイベントを EventBridge に直接送信します。

- テキストメッセージの配信ステータスの更新
- メディアメッセージの配信ステータスの更新
- 音声メッセージの配信ステータスの更新
- 登録ステータスの変更

テキスト、メディア、音声メッセージイベントの場合、次の例の detail セクションは [イベントデータの例](#) に似ています。

配信された SMS メッセージのイベント

```
{
  "version": "0",
  "id": "5c0fa4f8-e4ba-ed02-6101-c795472fccd0",
  "detail-type": "Text Message Delivery Status Updated",
  "source": "aws.sms-voice",
  "account": "111122223333",
  "time": "2025-10-01T18:20:41Z",
  "region": "us-east-1",
  "resources": [],
  "detail": {
    "eventType": "TEXT_SUCCESSFUL",
    "eventVersion": "1.0",
    "eventTimestamp": 1759342841377,
    "isFinal": true,
    "originationPhoneNumber": "VAJZNBLLDX",
    "isoCountryCode": "ES",
    "isInternationalSend": false,
    "mcc": "214",
    "mnc": "05",
    "carrierName": "Movistar",
    "messageId": "ed23196c-75ce-4727-93ee-7bf72b64998f",
    "messageRequestTimestamp": 1759342840978,
    "messageEncoding": "GSM",
    "messageType": "TRANSACTIONAL",
    "messageStatus": "SUCCESSFUL",
    "messageStatusDescription": "Message has been accepted by phone carrier",
```

```
    "totalMessageParts": 1,  
    "totalMessagePrice": 0.06087,  
    "totalCarrierFee": 0.0,  
    "protectConfiguration": {  
      "protectConfigurationId": "protect-e06e5d722c31455286262a108e7d863d",  
      "protectStatus": "ALLOW"  
    }  
  }  
}
```

送信された SMS メッセージのイベント

```
{  
  "version": "0",  
  "id": "4111946b-816c-e73a-9ea0-a8367b9d57e4",  
  "detail-type": "Text Message Delivery Status Updated",  
  "source": "aws.sms-voice",  
  "account": "555555555555",  
  "time": "2024-10-16T17:20:24Z",  
  "region": "eu-west-2",  
  "resources": [],  
  "detail": {  
    "eventType": "TEXT_SUCCESSFUL",  
    "eventVersion": "1.0",  
    "eventTimestamp": 1729099224788,  
    "isFinal": true,  
    "originationPhoneNumber": "+18445550123",  
    "isoCountryCode": "US",  
    "isInternationalSend": false,  
    "messageId": "9539975a-e71f-45f3-b496-8d98dc098a77",  
    "messageRequestTimestamp": 1729099224438,  
    "messageEncoding": "GSM",  
    "messageType": "PROMOTIONAL",  
    "messageStatus": "SUCCESSFUL",  
    "messageStatusDescription": "Message has been accepted by phone carrier",  
    "totalMessageParts": 1,  
    "totalMessagePrice": 0.00581,  
    "totalCarrierFee": 0.00302,  
    "protectConfiguration": {  
      "protectConfigurationId": "protect-e06e5d722c31455286262a108e7d863d",  
      "protectStatus": "ALLOW"  
    }  
  }  
}
```



```
}
```

送信された音声メッセージのイベント

```
{
  "version": "0",
  "id": "3bd18839-b5b4-79c5-1b18-bd6545f40566",
  "detail-type": "Voice Message Delivery Status Updated",
  "source": "aws.sms-voice",
  "account": "444455556666",
  "time": "2024-10-16T17:18:50Z",
  "region": "eu-west-2",
  "resources": [],
  "detail": {
    "eventType": "VOICE_INITIATED",
    "eventVersion": "1.0",
    "eventTimestamp": 1729099130226,
    "isFinal": false,
    "originationPhoneNumber": "+18445550123",
    "isoCountryCode": "US",
    "messageId": "1d2295bd-ac9b-4517-821f-7c6d95d789a1",
    "messageRequestTimestamp": 1729099129845,
    "messageStatus": "INITIATED"
  }
}
```

登録ステータス変更のイベント

AWS End User Messaging SMS は、次の登録ステータスの変更を Amazon EventBridge に送信します。

CLOSED, CREATED, COMPLETE, DELETED, PROVISIONING, REQUIRES_AUTHENTICATION, REQUIRES_UPDATES, REVIEWING, SUBMITTED

これらのステータス値の定義については、AWS End User Messaging SMS API リファレンスの[RegistrationInformation](#)」を参照してください。

```
{
  "version": "0",
  "id": "d2e8812b-d34c-90f9-a8a9-3f18e15d1db9",
  "detail-type": "Registration Status Change",
```

```
"source": "aws.sms-voice",
"account": "111122223333",
"time": "2025-09-26T17:42:25Z",
"region": "us-east-1",
"resources": ["arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:registration/
registration-30a16a8b7cec478a8e37febbb9005348"],
"detail": {
  "registrationDetails": {
    "registrationId": "registration-30a16a8b7cec478a8e37febbb9005348",
    "registrationVersionNumber": 1,
    "registrationType": "ZZ_LONG_CODE_REGISTRATION",
    "registrationStatusChangeTimestamp": 1758908543000,
    "currentStatus": "SUBMITTED"
  },
  "registrationArn": "arn:aws:sms-voice:us-east-1:111122223333:registration/
registration-30a16a8b7cec478a8e37febbb9005348"
}
```

インターフェイスエンドポイント (AWS PrivateLink) を使用して AWS End User Messaging SMS にアクセスする

AWS PrivateLink を使用して、VPC と AWS End User Messaging SMS の間にプライベート接続を作成できます。インターネットゲートウェイ、NAT デバイス、VPN 接続、または Direct Connect 接続を使用せずに、VPC 内にあるかのように AWS End User Messaging SMS にアクセスできます。VPC のインスタンスは、パブリック IP アドレスがなくても AWS End User Messaging SMS にアクセスできます。

このプライベート接続を確立するには、AWS PrivateLink を利用したインターフェイスエンドポイントを作成します。インターフェイスエンドポイントに対して有効にする各サブネットにエンドポイントネットワークインターフェイスを作成します。これらは、AWS End User Messaging SMS 宛てのトラフィックのエントリポイントとして機能するリクエスト管理型ネットワークインターフェイスです。

詳細については、『AWS PrivateLink ガイド』の「[AWS のサービスでアクセスする](#)」を参照してください。

AWS End User Messaging SMS に関する考慮事項

AWS End User Messaging SMS のインターフェイスエンドポイントを設定する前に、「AWS PrivateLink ガイド」の「[考慮事項](#)」を確認してください。

AWS End User Messaging SMS は、インターフェイスエンドポイントを介してすべての API アクションの呼び出しをサポートしています。

AWS End User Messaging SMS では、VPC エンドポイントポリシーがサポートされません。デフォルトでは、インターフェイスエンドポイント経由での AWS End User Messaging SMS への完全なアクセスが許可されます。または、セキュリティグループをエンドポイントのネットワークインターフェイスに関連付けて、インターフェイスエンドポイント経由での AWS End User Messaging SMS へのトラフィックを制御することもできます。

AWS End User Messaging SMS のインターフェイスエンドポイントを作成する

Amazon VPC コンソールまたは AWS Command Line Interface (AWS CLI) を使用して、AWS End User Messaging SMS のインターフェイスエンドポイントを作成できます。詳細については、「AWS PrivateLink ガイド」の「[インターフェイスエンドポイントを作成](#)」を参照してください。

以下のサービス名を使用して、AWS End User Messaging SMS 用のインターフェイスエンドポイントを作成します。

```
com.amazonaws.region.pinpoint-sms-voice-v2
```

インターフェイスエンドポイントのプライベート DNS を有効にすると、デフォルトの地域 DNS 名を使用して AWS End User Messaging SMS への API リクエストを行うことができます。例えば、`sms-voice.us-east-1.amazonaws.com`。

インターフェイスエンドポイントのエンドポイントポリシーを作成する

エンドポイントポリシーは、インターフェイスエンドポイントにアタッチできる IAM リソースです。デフォルトのエンドポイントポリシーでは、インターフェイスエンドポイントを介した AWS End User Messaging SMS へのフルアクセスが許可されています。VPC から AWS End User Messaging SMS に許可されるアクセスを制御するには、カスタムエンドポイントポリシーをインターフェイスのエンドポイントにアタッチします。

エンドポイントポリシーは以下の情報を指定します。

- アクションを実行できるプリンシパル (AWS アカウント、IAM ユーザー、IAM ロール)。
- 実行可能なアクション。
- このアクションを実行できるリソース。

詳細については、AWS PrivateLink ガイドの[Control access to services using endpoint policies \(エンドポイントポリシーを使用してサービスへのアクセスをコントロールする\)](#)を参照してください。

例: AWS End User Messaging SMS アクションの VPC エンドポイントポリシー

以下は、カスタムエンドポイントポリシーの例です。インターフェイスエンドポイントにアタッチされると、このポリシーは、すべてのリソースですべてのプリンシパルに、リストされている AWS End User Messaging SMS アクションへのアクセス権を付与します。

```
{
  "Statement": [
    {
      "Principal": "*",
      "Effect": "Allow",
      "Action": [
        "sms-voice:SendTextMessage",
        "sms-voice:RequestPhoneNumber",
        "sms-voice>DeletePool"
      ],
      "Resource": "*"
    }
  ]
}
```

AWS エンドユーザーメッセージング SMS のクォータ

AWS アカウント には、各 の制限と呼ばれるデフォルトのクォータがあります AWS のサービス。特に明記されていない限り、クォータは地域固有です。一部のクォータについては引き上げをリクエストできますが、その他のクォータについては引き上げることはできません。

クォータの引き上げをリクエストするには、「[サポートによるクォータの引き上げリクエスト](#)」を参照してください。

AWS アカウント には、AWS エンドユーザーメッセージング SMS に関連する次のクォータがあります。

次の表に、AWS End User Messaging SMS と音声 v2 API の各リソースの 1 秒あたりのリクエスト数 (RPS) クォータを示します。「[クォータの増加をリクエスト](#)」の指示に従うことで、すべてのリソースはレート引き上げの対象となります。

[リソース]	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
AssociateOriginationIdentity	1
AssociateProtectConfiguration	1
CreateConfigurationSet	1
CreateEventDestination	1
CreateNotifyConfiguration	1
CreateOptOutList	1
CreatePool	1
CreateProtectConfiguration	1
CreateRegistration	1
CreateRegistrationAssociation	1
CreateRegistrationAttachment	1

[リソース]	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
CreateRegistrationVersion	1
CreateRcsAgent	1
CreateVerifiedDestinationNumber	1
DeleteAccountDefaultProtectConfiguration	1
DeleteConfigurationSet	1
DeleteDefaultMessageType	1
DeleteDefaultSenderId	1
DeleteEventDestination	1
DeleteKeyword	1
DeleteMediaMessageSpendLimitOverride	1
DeleteNotifyConfiguration	1
DeleteNotifyMessageSpendLimitOverride	1
DeleteOptedOutNumber	10
DeleteOptOutList	1
DeletePool	1
DeleteProtectConfiguration	1
DeleteProtectConfigurationRuleSetNumberOverride	1
DeleteRegistration	1
DeleteRegistrationAttachment	1

[リソース]	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
DeleteRegistrationFieldValue	1
DeleteRcsAgent	1
DeleteTextMessageSpendLimitOverride	1
DeleteVerifiedDestinationNumber	1
DeleteVoiceMessageSpendLimitOverride	1
DescribeAccountAttributes	1
DescribeAccountLimits	1
DescribeConfigurationSets	1
DescribeKeywords	1
DescribeNotifyConfigurations	1
DescribeNotifyTemplates	1
DescribeOptedOutNumbers	1
DescribeOptOutLists	1
DescribePhoneNumbers	1
DescribePools	1
DescribeProtectConfiguration	1
DescribeRegistrationAttachments	1
DescribeRegistrationFieldDefinitions	1
DescribeRegistrationFieldValues	1
DescribeRegistrations	1

[リソース]	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
DescribeRegistrationSectionDefinitions	1
DescribeRegistrationTypeDefinitions	1
DescribeRegistrationVersions	1
DescribeRcsAgents	1
DescribeRcsAgentCountryLaunchStatus	1
DescribeSenderId	1
DescribeSpendLimits	1
DescribeVerifiedDestinationNumbers	1
DisassociateOriginationIdentity	1
DisassociateProtectConfiguration	1
DiscardRegistrationVersion	1
GetProtectConfigurationCountryRuleSet	1
ListNotifyCountries	1
ListPoolOriginationIdentities	1
ListProtectConfigurationRuleSetNumberOverrides	1
ListRegistrationAssociations	1
ListTagsForResource	10
ProtectConfiguration	1
PutKeyword	1

[リソース]	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
PutMessageFeedback	20
PutOptedOutNumber	10
PutProtectConfigurationRuleSetNumber Override	1
PutRegistrationFieldValue	1
ReleasePhoneNumber	1
ReleaseSenderId	1
RequestPhoneNumber	1
RequestSenderId	1
SendDestinationNumberVerificationCode	1
SendMediaMessage	1
SendNotifyTextMessage	1
SendNotifyVoiceMessage	1
SendTextMessage	1
SendVoiceMessage	1
SetAccountDefaultProtectConfiguration	1
SetDefaultMessageFeedbackEnabled	1
SetDefaultMessageType	1
SetDefaultSenderId	1
SetMediaMessageSpendLimitOverride	1

[リソース]	デフォルトのクォータレート (1 秒あたりのリクエスト数)
SetNotifyMessageSpendLimitOverride	1
SetTextMessageSpendLimitOverride	1
SetVoiceMessageSpendLimitOverride	1
SubmitRegistrationVersion	1
TagResource	1
UntagResource	1
UpdateEventDestination	1
UpdateNotifyConfiguration	1
UpdatePhoneNumber	1
UpdateProtectConfiguration	1
UpdateProtectConfigurationCountryRuleSet	1
UpdatePool	1
UpdateRcsAgent	1
UpdateSenderId	1
VerifyDestinationNumber	1

SMS および MMS クォータ

SMS および MMS チャンネルには、以下のクォータが適用されます。

[リソース]	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
利用額しきい値	アカウントごとに 1.00 米ドル (USD)。	はい 。ただし、リージョンによって上限が異なります。上限の引き上げが必要なリージョンを指定する必要があります。
1 秒ごとに送信できる SMS メッセージの数 (送信レート)	送信先の国および発信元の電話番号によって異なります。詳細については、「 メッセージパーツ/秒 (MPS) の制限とは 」を参照してください。	はい。ただし、より高いスループットに対応した電話番号の取得が必要な場合があります。使用する番号タイプが不明な場合は、サポート または AWS アカウントマネージャーにお問い合わせください。 英数字の送信者 ID を使用してメッセージを送信すると、スループットレート向上する場合があります。お使いの送信者 ID でスループットの増加が可能かどうかを確認するには、サポートセンターコンソールの を使用して送信者 ID をリクエストする方法 サポート。リクエストには、既存の送信者 ID、その送信者 ID を使用している国、希望するスループットレートを含めてください。
1 秒ごとに受信者に送信できる SMS および MMS メッセージの数	1 秒あたり 1 メッセージ	いいえ

[リソース]	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
双方向 SMS の Amazon SNS トピック数	アカウントあたり 100,000 個	あり
双方向 SMS のキーワードの数	番号あたり 30 個のキーワード	あり
SMS、MMS、および音声番号の数	アカウントあたり 25	あり
専用電話番号の数	アカウントあたり 25	あり
オプトアウトリストの数 注: 必須のデフォルトオプトアウトリストは、このクォータにカウントされます。	アカウントあたり 25	あり
設定セットの数	アカウントあたり 25	あり
イベント送信先の数	設定セットあたり 5	いいえ
SMS サンドボックス内で検証済みの宛先電話番号の数	アカウントあたり 10 個	いいえ
電話番号プールの数	アカウントあたり 25	あり
電話番号プールに関連付けることができる発信元 ID の数	電話番号プールあたり 100	あり
SenderId の数	アカウントあたり 200	あり

10DLC クォータ

10DLC の電話番号を使用して送信される SMS メッセージには、以下のクォータが適用されます。10DLC 番号は、米国内の受信者へのメッセージ送信にのみ使用できます。

[リソース]	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
最大 10DLC 企業数	アカウントあたり 25	あり
最大 10DLC キャンペーン数	10DLC ブランドあたり 10	あり
最大 10DLC 番号数	10DLC キャンペーンあたり 49	いいえ

保護設定クォータ

設定を保護するために、以下のクォータが適用されます。

[リソース]	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
保護設定の数	アカウントあたり 25	あり

登録クォータ

以下のクォータは登録に適用されます。

[リソース]	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
登録数	アカウントあたり 25	あり
登録添付ファイルの数	アカウントあたり 25	あり

RCS クォータ

RCS メッセージングには、次のクォータが適用されます。

[リソース]	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
アカウントあたりの AWS RCS エージェントの数	アカウントあたり 5	あり
AWS RCS エージェントあたりの検証済み送信先番号の数	AWS RCS エージェントあたり 10	いいえ
AWS RCS エージェントあたりのキーワードの数	AWS RCS エージェントあたり 30	あり

音声クォータ

音声チャンネルには、以下のクォータが適用されます。

Note

アカウントがサンドボックスから削除されると、以下の表に示す最大クォータが自動的に適用されます。

[リソース]	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
24 時間に送信できる音声メッセージの最大数。	アカウントがサンドボックスにある場合: 20 メッセージ。	いいえ
24 時間に 1 人の受信者に送信できる音声メッセージの数	5 メッセージ	いいえ
1 分あたりに送信できる音声メッセージの最大数。	アカウントがサンドボックスにある場合: 5 分あたり 5 個の呼び出し。	いいえ

[リソース]	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
	アカウントがサンドボックスの外にある場合: 1 分あたり 20 個の呼び出し。	
1 秒間に発信元の単一の電話番号から送信できる音声メッセージの数	1 秒あたり 1 メッセージ	いいえ
音声メッセージの長さ。	アカウントがサンドボックスにある場合: 30 秒。 アカウントがサンドボックスの外にある場合: 5 分。	いいえ

[リソース]	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
国際電話番号に音声メッセージを送信する機能	アカウントがサンドボックスにある場合は、次の国の受信者にのみメッセージを送信できます。 • オーストラリア • カナダ • ドイツ • Hong Kong • イスラエル • 日本 • メキシコ • シンガポール • スウェーデン • アメリカ • 英国 アカウントがサンドボックスの外にある場合は、どの国の受信者にもメッセージを送信できます。  Note 国際電話には追加料金がかかりますが、これは送信先の国やリージョンによって異なります。	いいえ

[リソース]	デフォルトのクォータ	引き上げの対象かどうかの確認
音声メッセージの文字数	3,000 の請求可能な文字 (話されている単語の中の文字) 合計 6,000 文字 (請求可能な文字と SSML タグを含む)	いいえ
設定セットの数	10,000 音声設定セット	いいえ

サポートによるクォータの引き上げリクエスト

上記のいずれかの表の [Eligible for Increase] 列の値が [Yes] の場合、そのクォータの引き上げをリクエストすることができます。

クォータの引き上げをリクエストするには

1. で AWS サポート ケースを作成しますか? <https://support.console.aws.amazon.com/support/home#/case/createissueType=service-limit-increase>。
2. [サービスクォータの引き上げ] で、以下の操作を行います。
 - [サービス] で、[AWS End User Messaging SMS (Pinpoint)] を選択します。
 - (オプション) [Provide a link to the site or app which will be sending SMS messages (SMS メッセージを送信するサイトまたはアプリケーションへのリンクを指定する)] で、SMS メッセージを送信する Web サイト、アプリケーション、またはサービスに関する情報を入力します。
 - (オプション) [What type of messages do you plan to send (送信するメッセージのタイプ)] で、ロングコードを使用して送信する予定のメッセージのタイプを選択します。
 - [ワンタイムパスワード] - ウェブサイトまたはアプリケーションを認証するために顧客が使用するパスワードを提供するメッセージ。
 - [プロモーション] - 特価販売やお知らせなど、ビジネスやサービスを宣伝する非クリティカルなメッセージ。
 - [トランザクション] - 注文確認やアカウントアラートなど、顧客のトランザクションをサポートする重要な情報メッセージ。トランザクションメッセージにプロモーションコンテンツまたはマーケティングコンテンツを含めることはできません。

- (オプション) メッセージを送信 AWS リージョン する元の で、メッセージを送信 AWS リージョン する元の を選択します。
 - (オプション) [Which countries do you plan to send messages to] で、ショートコードを購入する国または地域を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。
 - (オプション) [How do your customers opt to receive messages from you] で、オプトインプロセスの詳細を入力します。[Please provide the message template that you plan to use to send messages to your customers] の項目に使用するテンプレートを入力します。
3. [Requests (リクエスト)] で、次のいずれかを実行します。
 - [リージョン] で、ご利用の AWS リージョンを選択します。
 - [リソースタイプ] で、[一般的な制限] を選択します。
 - [クォータ] で、変更するクォータを選択します。
 - [新しいクォータ値] に、クォータの新しい値を入力します。
 - 追加の で同じクォータの引き上げをリクエストするには AWS リージョン、別のリクエストを追加を選択し、追加を選択して新しいリクエスト AWS リージョン を入力します。
 4. [Case description] の [Use case description] で、クォータの引き上げをリクエストする理由を説明します。
 5. 問い合わせオプションで、優先する問い合わせ言語について、AWS サポートチームと通信するときに使用する言語を選択します。
 6. 問い合わせ方法 で、AWS サポートチームとの連絡方法を選択します。
 7. [Submit] を選択してください。

AWS Service Quotas を使用するクォータ引き上げのリクエスト

AWS マネジメントコンソールの開始方法のアカウントまたはリソースレベルでクォータを引き上げます。

サービスクォータ引き上げをリクエストするには

1. [AWS マネジメントコンソール] にサインインし、<https://console.aws.amazon.com/servicequotas/home> で [Service Quotas] コンソールを開きます。
2. ナビゲーションペインで、[AWS のサービス] を選択します。

3. リストから AWS サービスを選択するか、検索ボックスにサービスの名前を入力します。
4. クォータが調整可能な場合、[調整可能性] 列にリストされている値に基づいて、アカウントレベルまたはリソースレベルでクォータの引き上げをリクエストできます。
 - [アカウントレベル] - [AWS End User Messaging のリージョンごとの TextMessageMonthlySpend] などのアカウントレベルのクォータについて、アカウントレベルでクォータの引き上げをリクエストします。アカウントレベルの引き上げをリクエストするには、リストからクォータを選択し、[アカウントレベルでの引き上げをリクエスト] を選択します。
 - [リソースレベル] - [TextMessageMonthlySpend for AWS End User Messaging] などのリソースレベルのクォータについて、特定のリソースのクォータ引き上げをリクエストします。リソースレベルの引き上げをリクエストするには、クォータ名を選択して追加情報を表示します。[リソースレベルのクォータ] セクションで、クォータ値を引き上げるリソースを選択し、[リソースレベルでの引き上げをリクエスト] を選択します。
5. [クォータ値を引き上げる] の値に、新しい値を入力します。新しい値は現在値よりも大きい値である必要があります。
6. [リクエスト] を選択します。
7. 保留中または最近解決されたリクエストをコンソールに表示するには、サービスの詳細ページから [リクエスト履歴] タブに移動するか、ナビゲーションペインから [ダッシュボード] を選択します。保留中のリクエストの場合は、リクエストのステータスを選択してリクエストの受信をオープンします。リクエストの初期ステータスは [Pending] (保留中) です。ステータスが [リクエストされたクォータ] に変わると、サポートケース番号が表示されます。リクエストのチケットを開くには、ケース番号を選択します。

AWS サポートチームは、24 時間以内にリクエストに最初の応答を提供します。

迷惑なコンテンツや悪意のあるコンテンツを送信するためにシステムが悪用されないように、各リクエストを慎重に検討する必要があります。可能であれば、24 時間以内にリクエストを承認します。ただし、お客様から追加情報を取得する必要がある場合は、お客様のリクエストの解決に時間がかかる場合があります。

お客様のユースケースが当社の方針と一致しない場合は、リクエストを承認できない場合があります。

AWS 「エンドユーザーメッセージング SMS ユーザーガイド」のドキュメント履歴

次の表に、AWS エンドユーザーメッセージング SMS のドキュメントリリースを示します。

変更	説明	日付
RCS メッセージングのサポートを追加	検証済みブランドアイデンティティ、配信受信、自動 SMS フォールバックを使用した Rich Communication Services (RCS) メッセージングのサポートが追加されました。詳細については、 「RCS メッセージング」 を参照してください。	2026 年 3 月 31 日
Notify のサポートを追加	マネージド送信元 ID を使用してテンプレート化された OTP および検証メッセージを送信するための AWS マネージドメッセージングソリューションである Notify のサポートが追加されました。詳細については、 「通知」 を参照してください。	2026 年 3 月 31 日
リージョナルな可用性	サポートされているリージョンのリストに、アジアパシフィック (ニュージーランド) とアジアパシフィック (台北) を追加しました。詳細については、 「リージョナルな可用性」 を参照してください。	2026 年 2 月 5 日

[登録に関する Gen-AI フィードバックのサポートを追加](#)

Gen-AI を活用した登録フィードバックのサポートを追加し、キャリアレビュー前の登録申請を改善しました。詳細については、[「登録に関する Gen-AI フィードバック \(プレビュー\)」](#)を参照してください。

2025 年 12 月 22 日

[CarrierLookup のサポートが追加されました](#)

CarrierLookup サービスを使用して、電話番号が有効かどうかなど、電話番号に関する情報を取得します。詳細については、[「キャリアルックアップサービスを使用する」](#)および[「CarrierLookup」](#)を参照してください。

2025 年 10 月 21 日

[EventBridge への登録ステータスの更新イベント送信のサポートが追加されました](#)

登録ステータスの更新イベントが Amazon EventBridge に送信されるようになりました。詳細については、[「EventBridge での SMS、MMS、音声のモニタリング」](#)を参照してください。

2025 年 10 月 1 日

[発信元の登録にかかる推定時間を含む新しいトピックを追加しました](#)

国および発信元 ID タイプ別の登録完了までの推定時間の詳細については、[「登録にかかる推定時間」](#)を参照してください。

2025 年 9 月 17 日

[通話料無料の国際送信のサポートを追加しました](#)

米国の通話料無料番号を使用して、海外にメッセージを送信できるようになりました。国際送信をサポートする送信先の国の詳細については、「[サポートされている国とリージョン \(SMS チャネル\)](#)」を参照してください。電話番号で国際送信を有効にする方法については、「[電話番号の機能を変更する](#)」を参照してください。

2025 年 8 月 28 日

[アイルランドの送信者 ID 登録](#)

アイルランドで送信者 ID を登録する手順を追加しました。「[アイルランドの送信者 ID 登録](#)」を参照してください。

2025 年 7 月 3 日

[利用額しきい値の引き上げ](#)

AWS サポートクォータまたは AWS Service Quotas。詳細については、「[End User Messaging SMS のクォータ](#)」および「[使用クォータの変更のリクエスト](#)」を参照してください。

2025 年 6 月 13 日

[10DLC キャンペーン登録](#)

新しい 10DLC キャンペーン登録フィールドのサポートが追加されました。詳細については、「[10DLC キャンペーン登録フォーム](#)」を参照してください。

2025 年 1 月 7 日

[登録例](#)

AWS CLIを使用して登録を作成して送信する例を追加しました。詳細については、「[AWS CLIを使用した登録を作成する](#)」を参照してください。

2024 年 12 月 20 日

[登録フォーム](#)

新たに 19 か国の送信者 ID の登録のサポートが追加されました。詳細については、「[登録フォーム](#)」を参照してください。

2024 年 12 月 12 日

[登録拒否に関するヘルプ](#)

新しい登録拒否エラーメッセージを追加しました。詳細については、「[登録拒否に関するヘルプ](#)」を参照してください。

2024 年 12 月 11 日

[電話番号のオーバーライドルール](#)

特定の電話番号への送信を許可または拒否するための電話番号オーバーライドルールのサポートが追加されました。詳細については、「[電話番号オーバーライドルール](#)」を参照してください。

2024 年 11 月 15 日

[CloudWatch メトリクスの新しいサービスリンクロール](#)

ユーザーに代わって CloudWatch にメトリクスを発行する新しいサービスリンクロール「AWSServiceRoleForSMSVoice」を追加しました。詳細については、「[Using service-linked roles](#)」を参照してください。

2024 年 11 月 15 日

[EventBridge を使用した SMS、MMS、音声のモニタリング](#)

イベントをモニタリングするための EventBridge のサポートが追加されました。詳細については、「[EventBridge を使用したモニタリング](#)」を参照してください。

2024 年 11 月 15 日

[メッセージフィードバック](#)

SMS および MMS メッセージ配信をモニタリングするためのメッセージフィードバックのサポートが追加されました。詳細については、「[メッセージフィードバック](#)」を参照してください。

2024 年 11 月 15 日

[新しい CloudWatch メトリクスを追加](#)

メッセージ配信、メッセージフィードバック、保護に関する新しい CloudWatch メトリクスを追加しました。詳細については、「[CloudWatch metrics](#)」を参照してください。

2024 年 11 月 15 日

[を使用した AWS エンドユーザーメッセージング SMS API コールのログ記録 AWS CloudTrail](#)

、SendTextMessage、SendVoiceMessage および AWS CloudTrail のサポートが追加されました SendMediaMessage。詳細については、「[を使用した AWS エンドユーザーメッセージング SMS API コールのログ記録 AWS CloudTrail](#)」を参照してください。

2024 年 10 月 22 日

10DLC ブランド登録	Campaign Registry 10DLC ブランド登録 E メール認証のサポートが追加されました。詳細については、「 10DLC ブランド登録フォーム 」を参照してください。	2024 年 10 月 17 日
共有リソース	電話プール、電話番号、オプトアウトリスト、送信者 IDs ました AWS Resource Access Manager。詳細については、「 共有リソースの使用 」を参照してください。	2024 年 9 月 24 日
ドキュメント名の変更	Amazon Pinpoint SMS ユーザーガイドの名前を AWS End User Messaging SMS ユーザーガイドに変更しました。	2024 年 7 月 24 日
リージョナルな可用性	サポートされるリージョンのリストにカナダ西部 (カルガリー) を追加しました。詳細については、「 リージョナルな可用性 」を参照してください。	2024 年 7 月 2 日
英国の送信者 ID 登録	英国で送信者 ID を登録するためのフォームを追加しました。詳細については、「 電話番号をリクエストする 」を参照してください。	2024 年 6 月 27 日

[電話番号をリクエストする](#)

米国向けの電話番号のリクエストは、10DLC の新しいフローに更新されました。詳細については、「[電話番号をリクエストする](#)」を参照してください。

2024 年 6 月 24 日

[保護設定](#)

保護設定を使用して、AWS エンドユーザーメッセージング SMS がメッセージを送信できる送信先国を制御します。詳細については、「[設定を保護する](#)」を参照してください。

2024 年 4 月 30 日

[マルチメディアメッセージングサービス \(MMS\) のサポート](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、MMS 対応発信元 ID からのマルチメディアメッセージとファイルの送信をサポートするようになりました。詳細については、「[MMS メッセージの送信](#)」を参照してください。

2024 年 4 月 30 日

[支出限度額の設定](#)

SMS および音声メッセージの適用限度額とアカウントの支出限度額を設定できます。詳細については、「[支出限度額の設定](#)」を参照してください。

2024 年 3 月 27 日

[SMS サンドボックス](#)

SMS 確認メッセージの料金は、最初の確認メッセージが送信された後に請求されます。詳細については、「[SMS サンドボックス](#)」を参照してください。

2023 年 11 月 28 日

[電話番号の双方向メッセージング](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS は、処理のために双方向 SMS メッセージを Amazon Connect に送信できるようになりました。詳細については、「[双方向 SMS メッセージング](#)」を参照してください。

2023 年 11 月 28 日

[初回リリース](#)

AWS エンドユーザーメッセージング SMS ユーザーガイドの初回リリース

2023 年 11 月 16 日

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。